

SETSUNAN UNIVERSITY
SYLLABUS

2015 外国語学部 授業
計画
外国語学科

I

外 国 語 学 部

(学部略号：L)

Faculty of Foreign Studies

外国語学科

(学科略号：L)

Department of Foreign Studies

外国語学部 教育目標

外国語学部外国語学科は、外国語と日本語によるコミュニケーション能力および異文化と日本の文化に対する理解を涵養し、人間力・実践力・統合力を身につけた、異文化接触の現場で活躍できる知的専門職業人を養成することを目的とする。

※**外国語学部 外国語学科 I**に掲載されているのは、目次:P. 1～P. 14、
専門科目：P. 15～P. 524 になります。

専門科目：P. 525～P. 1064 は**II**に、基礎科目：P. 1065～P. 1108、教
養科目:P.1109～P. 1183、キャリア形成:P. 1185～P. 1204、教職科目：
P. 1205～P. 1245 は**III**に掲載されております。

授 業 計 画

科目名	担当者	ページ
ア		
アカデミック スタディーズ	スコット ライリー	17
アジア文化論	森田 良成	18
アドバンスト イングリッシュ a	後藤 一章	19
アドバンスト イングリッシュ a	ジェフリー ベル	21
アドバンスト イングリッシュ a	中島 直嗣	23
アドバンスト イングリッシュ a	皆本 智美	25
アドバンスト イングリッシュ a	サラー マイケル	26
アドバンスト イングリッシュ a	マーティン オイクル	28
アドバンスト イングリッシュ b	後藤 一章	30
アドバンスト イングリッシュ b	ジェフリー ベル	32
アドバンスト イングリッシュ b	中島 直嗣	34
アドバンスト イングリッシュ b	皆本 智美	36
アドバンスト イングリッシュ b	サラー マイケル	37
アドバンスト イングリッシュ b	マーティン オイクル	39
アドバンスト ライティング a	齋藤 安以子	41
アドバンスト ライティング a	西川 眞由美	42
アドバンスト ライティング a	ショーン マクガバン	43
アドバンスト ライティング a	天野 貴史	44
アドバンスト ライティング a	ダニエル マリンズ	45
アドバンスト ライティング b	齋藤 安以子	46
アドバンスト ライティング b	西川 眞由美	47
アドバンスト ライティング b	ショーン マクガバン	48
アドバンスト ライティング b	天野 貴史	49
アドバンスト ライティング b	ダニエル マリンズ	50
アメリカ史学	林田 敏子	51
アメリカ文化論	大原関 一浩	52

科目名	担当者	ページ
イ		
異文化接触論	篠原 愛人	53
イングリッシュ プレゼンテーション I b	ブラッドリー パークス	54
イングリッシュ プレゼンテーション I b	ニール カー	55
イングリッシュ プレゼンテーション I b	マシュー ケーパー	56
イングリッシュ プレゼンテーション I b	ダニエル マリンズ	57
イングリッシュ プレゼンテーション I b	マーティン オイクル	58
イングリッシュ プレゼンテーション I b	マイケル ハーキー	59
イングリッシュ プレゼンテーション II a	ジョン カール	60
イングリッシュ プレゼンテーション II a	スコット ライリー	61
イングリッシュ プレゼンテーション II a	崎 ミチアン	62
イングリッシュ プレゼンテーション II a	マーティン オイクル	64
イングリッシュ プレゼンテーション II a	家口 美智子	65
イングリッシュ プレゼンテーション II a	サラー マイケル	66
イングリッシュ プレゼンテーション II b	崎 ミチアン	67
イングリッシュ プレゼンテーション II b	ジョン カール	68
イングリッシュ プレゼンテーション II b	スコット ライリー	69
イングリッシュ プレゼンテーション II b	齋藤 安以子	70
イングリッシュ プレゼンテーション II b	ニール カー	71
イングリッシュ プレゼンテーション II b	スミザーズ 理恵	72
English Language Teaching	齋藤 安以子	73
インターンシップ I	西川 眞由美	1111
インターンシップ I	石井 三恵	1112

科目名	担当者	ページ
インターンシップ II	西川 眞由美	1113
インターンシップ II	石井 三恵	1114
インドネシア・マレー語圏概論	森田 良成	74
インドネシア・マレー語圏近現代史	森田 良成	75
インドネシア・マレー語圏の諸言語	山口 眞佐夫	76
インドネシア・マレー社会論	上田 達	77
インドネシア語 I a	山口 眞佐夫	78
インドネシア語 I b	山口 眞佐夫	79
インドネシア語 II a	浦野 崇央	80
インドネシア語 II b	浦野 崇央	81
インドネシア語 III a	大坪 紀子	82
インドネシア語 III b	大坪 紀子	83
インドネシア語 IV a	エニ レスタリ	84
インドネシア語 IV b	エニ レスタリ	85
インドネシア語 コムニカシ I a	エニ レスタリ	86
インドネシア語 コムニカシ I b	エニ レスタリ	87
インドネシア語 コムニカシ II a (1)	大坪 紀子	88
インドネシア語 コムニカシ II a (2)	エニ レスタリ	90
インドネシア語 コムニカシ II b (1)	大坪 紀子	91
インドネシア語 コムニカシ II b (2)	エニ レスタリ	93
インドネシア語 コムニカシ III a	デウィ クスリニ	94
インドネシア語 コムニカシ III b	デウィ クスリニ	96
インドネシア語 コムニカシ IV a	エニ レスタリ	97
インドネシア語 コムニカシ IV b	エニ レスタリ	98
インドネシア語入門 a (1)	山口 眞佐夫	99
インドネシア語入門 a (2)	浦野 崇央	100
インドネシア語入門 a (3)	大坪 紀子	101
インドネシア語入門 b (1)	山口 眞佐夫	102
インドネシア語入門 b (2)	浦野 崇央	103
インドネシア語入門 b (3)	大坪 紀子	104
インドネシア語表現法	山口 玲子	105
インドネシア語表現法 a	山口 玲子	106
インドネシア語ボキャブラリー a	山口 玲子	107
インドネシア語ボキャブラリー b	大坪 紀子	108
インドネシアトピックス	エニ レスタリ	109

科目名	担当者	ページ
エ		
エアラインビジネス論 I	坂下 正憲	110
エアラインビジネス論 II	坂下 正憲	112
映画のスペイン語 I	梶原 三佳	114
映画のスペイン語 I	サトウ 七郎	115
映画のスペイン語 II	梶原 三佳	116
映画のスペイン語 II	サトウ 七郎	117
映画のスペイン語 III	ヒセレ ラサロ	118
映画のスペイン語 IV	ヒセレ ラサロ	119
英語 I	高橋 章夫	1067
英語 I	本多 善	1068
英語 I	田浦 アマンダ	1069
英語 I	ショーン マクガバン	1070
英語 I	國友 万裕	1071
英語 I	東野 厚子	1072
英語 I	マイケル ハーキー	1073

科目名	担当者	ページ
英語Ⅰ	小川 一美	1074
英語Ⅱ	田浦 アマンダ	1075
英語Ⅱ	マイケル ハーキー	1076
英語Ⅱ	ジョン マクガバン	1077
英語Ⅱ	高橋 章夫	1078
英語Ⅱ	小川 一美	1079
英語Ⅱ	高橋 章夫	1080
英語Ⅱ	マイケル ハーキー	1081
英語Ⅱ	國友 万裕	1082
英語科教育法Ⅰ	家口 美智子	1207
英語科教育法Ⅱ	齋藤 安以子	1208
英語科教育法Ⅲ	齋藤 安以子	1210
英語科教育法Ⅳ	家口 美智子	1212
英語学Ⅰ	家口 美智子	120
英語学Ⅱ	後藤 一章	121
英語学Ⅱ	西川 眞由美	122
英語学Ⅲ	田中 秀毅	124
英語学概論	家口 美智子	125
英語圏概論（北米・ヨーロッパ）	吉村 征洋	126
英語圏概論（北米・ヨーロッパ）	マイケル ハーキー	127
英語圏概論	吉村 征洋	128
英語圏概論	マイケル ハーキー	129
英語で学ぶ工学入門（ものづくり編）	森脇 俊道	1116
映像中国語 a	中西 正樹	130
映像中国語 b	中西 正樹	131
英米文学史	天野 貴史	133
英米文学	皆本 智美	134
エリアスタディーズ（アフリカ）	伊東 未来	135
エリアスタディーズ（オセアニア）	木本 浩一	136
エリアスタディーズ（北アメリカ）	大原 一浩	138
エリアスタディーズ（東南アジア）	原 秀禎	139
エリアスタディーズ（日本）	赤澤 春彦	140
エリアスタディーズ（東アジア）	瀬戸 宏 北島 由紀子	141
エリアスタディーズ（ヨーロッパ）	林田 敏子	142
エリアスタディーズ（ラテンアメリカ）	北條 ゆかり	143
エンプロイメントデザインⅠ	石井 三恵	1187

オ

オーラル コミュニケーションⅠ a	スコット ライリー	144
オーラル コミュニケーションⅠ a	ジョセフ シウンシ	146
オーラル コミュニケーションⅠ a	アーサー ロングス	147
オーラル コミュニケーションⅠ a	アイビス ウィリアム	148
オーラル コミュニケーションⅠ a	田浦 アマンダ	149
オーラル コミュニケーションⅠ a	神崎 舞	150
オーラル コミュニケーションⅠ a	小池 正平	151
オーラル コミュニケーションⅠ a	内山 知美	152
オーラル コミュニケーションⅠ a	勿斯特アー ジョストン	153
オーラル コミュニケーションⅠ a	ロナルド メイソン	154
オーラル コミュニケーションⅠ a	松浦 茂寿	155
オーラル コミュニケーションⅠ a	オーエン クロー	156
オーラル コミュニケーションⅠ a	田中 秀毅	157

科目名	担当者	ページ
オーラル コミュニケーションⅠ a	アレン ニール	159
オーラル コミュニケーションⅠ b	スコット ライリー	160
オーラル コミュニケーションⅠ b	ジョセフ シウンシ	162
オーラル コミュニケーションⅠ b	アーサー ロングス	163
オーラル コミュニケーションⅠ b	アイビス ウィリアム	164
オーラル コミュニケーションⅠ b	田浦 アマンダ	165
オーラル コミュニケーションⅠ b	神崎 舞	166
オーラル コミュニケーションⅠ b	小池 正平	167
オーラル コミュニケーションⅠ b	内山 知美	168
オーラル コミュニケーションⅠ b	勿斯特アー ジョストン	169
オーラル コミュニケーションⅠ b	ロナルド メイソン	170
オーラル コミュニケーションⅠ b	松浦 茂寿	171
オーラル コミュニケーションⅠ b	オーエン クロー	172
オーラル コミュニケーションⅠ b	田中 秀毅	173
オーラル コミュニケーションⅠ b	アレン ニール	174
オーラル コミュニケーションⅡ a	ステイブ トムウェアスキー	175
オーラル コミュニケーションⅡ b	ステイブ トムウェアスキー	177
音声学	中島 直嗣	179

カ

海外インターンシップ	岩間 香	180
海外実習	田中 秀毅	181
海外実習	兪 鳴蒙	182
海外実習	篠原 愛人	183
海外実習	北條 ゆかり	184
海外実習	上田 達	185
海外留学事前演習	田浦 アマンダ	186
海外留学事前演習	兪 鳴蒙	188
海外ワークキャンプ	浅野 英一	189
カレント イングリッシュ a	皆本 智美	190
カレント イングリッシュ a	吉村 征洋	191
カレント イングリッシュ a	松田 早恵	192
カレント イングリッシュ a	大神 雄一郎	193
カレント イングリッシュ a	サトラー マイケル	194
カレント イングリッシュ a	ニール カー	196
カレント イングリッシュ a	ジェフリー ベル	197
カレント イングリッシュ b	皆本 智美	198
カレント イングリッシュ b	吉村 征洋	199
カレント イングリッシュ b	松田 早恵	200
カレント イングリッシュ b	大神 雄一郎	201
カレント イングリッシュ b	サトラー マイケル	202
カレント イングリッシュ b	ニール カー	204
カレント イングリッシュ b	ジェフリー ベル	205
環境学	木本 浩一	1117
韓国語Ⅰ a	沈 明姫	206
韓国語Ⅰ b	周 相勳	207
韓国語Ⅱ a	沈 明姫	208
韓国語Ⅱ b	千 英子	209
韓国語Ⅲ a	北島 由紀子	210
韓国語Ⅲ b	北島 由紀子	211
韓国語Ⅳ a	千 英子	212
韓国語Ⅳ b	千 英子	213

科目名	担当者	ページ
歓待の哲学	森 本 誠 一	214
キ		
基礎演習 I	天 野 貴 史 西 川 眞由美 住 吉 誠	216
基礎演習 I	田 中 健 二 鳥 居 祐 介 家 口 美智子	217
基礎演習 I	住 吉 誠 田 浦 アマンダ 西 川 眞由美	218
基礎演習 I	田 浦 アマンダ 田 中 秀 毅 天 野 貴 史	219
基礎演習 I	ショーン マクガバン 田 中 秀 毅 鳥 居 祐 介	220
基礎演習 I	田 中 健 二 家 口 美智子 ショーン マクガバン	221
基礎演習 I	瀬 戸 宏 兪 鳴 蒙 中 西 正 樹	222
基礎演習 I	篠 原 愛 人	223
基礎演習 I	北 條 ゆかり	224
基礎演習 I	上 田 達 山 口 眞佐夫 浦 野 崇 央	225
基礎演習 I	浅 野 英 一 門 脇 薫	226
基礎演習 I	赤 澤 春 彦 岩 間 香	227
基礎演習 I	大原関 一 浩 マイケル ハーキー 吉 村 征 洋	228
基礎演習 I	神 崎 舞 後 藤 一 章 中 島 直 嗣	229
基礎演習 I	中 島 直 嗣 吉 村 征 洋 神 崎 舞	230
基礎演習 I	松 田 早 恵 皆 本 智 美 大原関 一 浩	231
基礎演習 I	大原関 一 浩 マイケル ハーキー 松 田 早 恵	232
基礎演習 I	神 崎 舞 後 藤 一 章 皆 本 智 美	233
基礎演習 I	小 川 豊 生	234

科目名	担当者	ページ
	木 本 浩 一	
基礎演習 II	住 吉 誠 西 川 眞由美 天 野 貴 史	235
基礎演習 II	鳥 居 祐 介 家 口 美智子 田 中 健 二	236
基礎演習 II	住 吉 誠 西 川 眞由美 田 浦 アマンダ	237
基礎演習 II	天 野 貴 史 田 浦 アマンダ 田 中 秀 毅	238
基礎演習 II	田 中 秀 毅 鳥 居 祐 介 ショーン マクガバン	239
基礎演習 II	ショーン マクガバン 田 中 健 二 家 口 美智子	240
基礎演習 II	瀬 戸 宏 兪 鳴 蒙 中 西 正 樹	241
基礎演習 II	北 條 ゆかり	242
基礎演習 II	篠 原 愛 人	243
基礎演習 II	山 口 眞佐夫	244
基礎演習 II	有 馬 善 一 橋 本 正 俊	245
基礎演習 II	有 馬 善 一 林 田 敏 子	246
基礎演習 II	マイケル ハーキー 吉 村 征 洋 大原関 一 浩	247
基礎演習 II	神 崎 舞 中 島 直 嗣 後 藤 一 章	248
基礎演習 II	神 崎 舞 吉 村 征 洋 中 島 直 嗣	249
基礎演習 II	大原関 一 浩 皆 本 智 美 松 田 早 恵	250
基礎演習 II	大原関 一 浩 松 田 早 恵 マイケル ハーキー	251
基礎演習 II	後 藤 一 章 皆 本 智 美 神 崎 舞	252
基礎演習 II	小 川 豊 生 橋 本 正 俊	253
基礎教養演習 I a	橋 本 正 俊	254
基礎教養演習 I b	門 脇 薫	255
基礎教養演習 II a	澤 野 加 奈	256

科目名	担当者	ページ
基礎教養演習Ⅱ a	山 口 尚	257
基礎教養演習Ⅱ a	木 宮 正 裕	258
基礎教養演習Ⅱ b	丹 下 暖 子	259
基礎教養演習Ⅱ b	澤 野 加 奈	260
基礎教養演習Ⅱ b	山 口 尚	261
基礎ゼミナール	天 野 貴 史	262
基礎ゼミナール	有 馬 善 一	263
基礎ゼミナール	上 田 達	264
基礎ゼミナール	瀬 戸 宏	265
基礎ゼミナール	田 中 健 二	266
基礎ゼミナール	鳥 居 祐 介	267
基礎ゼミナール	西 川 眞由美	268
基礎ゼミナール	家 口 美智子	269
基礎ゼミナール	木 本 浩 一	270
基礎ゼミナール	浅 野 英 一	271
基礎ゼミナール	門 脇 薫	272
基礎ゼミナール	後 藤 一 章	273
基礎ゼミナール	齋 藤 安以子	274
基礎ゼミナール	中 島 直 嗣	275
基礎ゼミナール	原 秀 禎	276
基礎ゼミナール	皆 本 智 美	277
基礎ゼミナール	神 崎 舞	278
基礎ゼミナール	木 本 浩 一	279
基礎マレー語 a	上 田 達	280
基礎マレー語 b	上 田 達	281
北河内学－摂南大学と北河内を知る－	尾 山 廣	1119
キャリアデザイン	石 井 三 恵	1189
キャリアプランニング	中 島 直 嗣 家 口 美智子	1191
キャリアプランニング	浅 野 英 一 鳥 居 祐 介	1192
キャリアプランニング	住 吉 誠 後 藤 一 章	1193
キャリアプランニング	中 西 正 樹	1194
キャリアプランニング	天 野 貴 史 林 田 敏 子	1195
キャリアプランニング	赤 澤 春 彦 松 田 早 恵	1196
キャリアプランニング	田浦 アマンダ	
教育課程論	大 野 順 子	1213
教育経営論	朝 日 素 明	1215
教育原理	小 山 裕 樹	1217
教育原理	小 山 裕 樹	1219
教育実習Ⅰ	大 野 順 子	1221
教育実習Ⅱ	吉 田 佐治子	1223
教育実習Ⅲ	吉 田 佐治子	1224
教職実践演習(中・高)	吉 田 佐治子	1225
教育社会学	大 野 順 子	1227
教育心理学	吉 田 佐治子	1229
教育相談	吉 田 佐治子	1230
教育方法論	林 茂 樹	1231
教師論	朝 日 素 明	1233

科目名	担当者	ページ
ク		
暮らしの中の文化	木 本 浩 一	282
グラマー	西 美都子	284
Global Issues	大原関 一 浩	285
ケ		
経済学入門	後 藤 和 子	1121
芸術論	岩 間 香	1122
芸能と文化	岩 間 香	286
芸能文化論	岩 間 香	287
健康科学	藤 林 真 美	1123
健康論	河 瀬 泰 治	1125
言語学	山 口 真佐夫	288
現代学術論	鳥 田 喜 行	289
現代社会と法	小 野 晃 正	1126
現代社会論	浦 野 崇 央	290
現代中国論	大 西 紀	292
現代東南アジア論	森 田 良 成	293
現代文化論	小 川 豊 生	294
現代ラテンアメリカ論	北 條 ゆかり	295
コ		
国際関係の基礎理解	黒 田 賢 治	296
国際機構論	浅 野 英 一	298
国際協力論	浅 野 英 一	299
国際貢献実習演習	浅 野 英 一	300
国際文化概論(アジア)	中 西 正 樹	301
国際文化概論Ⅰ	有 馬 善 一	302
国際文化概論Ⅱ	赤 澤 春 彦	303
国際平和論	濱 良 祐	304
国際ボランティア論	浅 野 英 一	306
シ		
視覚芸術論	中 川 馨	307
時事インドネシア・マレー語 a	上 田 達	308
時事インドネシア・マレー語 b	浦 野 崇 央	310
思想と文化	小 川 豊 生	312
実践インドネシア・マレー語 a	大 坪 紀 子	313
実践インドネシア・マレー語 b	上 田 達	314
社会と人権	有 馬 善 一 林 田 敏 子 松 島 裕 一	1128
就職実践基礎	亀 田 峻 宣	1130
就職実践基礎	西 座 由 紀	1131
就職実践基礎	橋 本 朗 子	1132
就職実践基礎	松 田 剛 典	1133
就職実践基礎	西 座 由 紀	1134
就職実践基礎	亀 田 峻 宣	1135
生涯学習概論	橋 本 孝 成	315
生涯学習論	橋 本 孝 成	316
上級検定インドネシア語	山 口 玲 子	317

科目名	担当者	ページ
情報処理 I	星 山 幸 子	1083
情報処理 I	藤 木 健 史	1084
情報処理 I	星 山 幸 子	1085
情報処理 I	藤 木 健 史	1086
情報処理 II	星 山 幸 子	1087
情報処理 II	藤 木 健 史	1088
情報処理 II	星 山 幸 子	1089
情報処理 II	藤 木 健 史	1090
初級検定インドネシア語	山 口 玲 子	318
食品機能学	青 笹 治	1136
初年次ゼミナール	赤 澤 春 彦	319
初年次ゼミナール	浅 野 英 一	320
初年次ゼミナール	浦 野 崇 央	321
初年次ゼミナール	門 脇 薫	322
初年次ゼミナール	住 吉 誠	323
初年次ゼミナール	田 中 秀 毅	324
初年次ゼミナール	中 西 正 樹	325
初年次ゼミナール	山 口 真 佐 夫	326
初年次ゼミナール	神 崎 舞	327
初年次ゼミナール	有 馬 善 一	328
初年次ゼミナール	小 川 豊 生	329
初年次ゼミナール	橋 本 正 俊	330
初年次ゼミナール	林 田 敏 子	331
初年次ゼミナール	原 秀 禎	332
初年次ゼミナール	松 田 早 恵	333
初年次ゼミナール	吉 村 征 洋	334
初年次ゼミナール	大 原 関 一 浩	335
初年次ゼミナール	木 本 浩 一	336

ス

数学	小 林 俊 公	1138
スキルズ トレーニング I a	スコット ライリー	337
スキルズ トレーニング I b	スコット ライリー	339
スキルズ トレーニング II a	ブルース ライリー	341
スキルズ トレーニング II b	ブルース ライリー	342
スキルズ トレーニング a	鳥 居 祐 介	343
スキルズ トレーニング a	松 田 早 恵	345
スキルズ トレーニング a	田 中 秀 毅	347
スキルズ トレーニング a	神 崎 舞	349
スキルズ トレーニング a	後 藤 一 章	351
スキルズ トレーニング b	吉 村 征 洋	353
スキルズ トレーニング b	後 藤 一 章	355
スキルズ トレーニング b	鳥 居 祐 介	357
スキルズ トレーニング b	松 田 早 恵	359
スキルズ トレーニング b	神 崎 舞	361
スキルズ トレーニング b	田 中 秀 毅	363
スピーキング I a	ジェーン パーマンター	365
スピーキング I b	ジェーン パーマンター	367
スピーキング II a	田浦 アマンダ	369
スピーキング II a	勿 寿 夫 一 浩	371
スピーキング II a	オーエン クロー	372
スピーキング II a	アレン ニール	373

科目名	担当者	ページ
スピーキング II a	アーサー ロングソン	374
スピーキング II a	小 池 正 平	375
スピーキング II a	江 戸 智 美	376
スピーキング II a	ロナルド メインソン	377
スピーキング II a	内 山 知 美	378
スピーキング II a	松 浦 茂 寿	379
スピーキング II a	ジョセフ シウンシ	380
スピーキング II a	神 崎 舞	381
スピーキング II a	アイビス ウイリアム	382
スピーキング II a	マシュー ケーパー	383
スピーキング II b	田浦 アマンダ	384
スピーキング II b	勿 寿 夫 一 浩	385
スピーキング II b	オーエン クロー	386
スピーキング II b	アレン ニール	387
スピーキング II b	アーサー ロングソン	388
スピーキング II b	小 池 正 平	389
スピーキング II b	江 戸 智 美	390
スピーキング II b	ロナルド メインソン	391
スピーキング II b	内 山 知 美	392
スピーキング II b	松 浦 茂 寿	393
スピーキング II b	ジョセフ シウンシ	394
スピーキング II b	神 崎 舞	395
スピーキング II b	アイビス ウイリアム	396
スピーキング II b	マシュー ケーパー	397
スピーキング&ライティング I a	マイケル ハーキー	398
スピーキング&ライティング I a	ダニエル マリンズ	400
スピーキング&ライティング I a	グラント パーミンハム	402
スピーキング&ライティング I a	アレン ニール	404
スピーキング&ライティング I a	ニール カー	406
スピーキング&ライティング I a	ブラッドリー パークス	408
スピーキング&ライティング I a	スコット ライリー	410
スピーキング&ライティング I a	マーティン オイクル	412
スピーキング&ライティング I a	ジェーン パーマンター	414
スピーキング&ライティング I a	ショーン マクガバン	416
スピーキング&ライティング I b	マイケル ハーキー	418
スピーキング&ライティング I b	ブラッドリー パークス	420
スピーキング&ライティング I b	スコット ライリー	422
スピーキング&ライティング I b	マーティン オイクル	424
スピーキング&ライティング I b	ショーン マクガバン	426
スピーキング&ライティング I b	ニール カー	428
スピーキング&ライティング I b	グラント パーミンハム	430
スピーキング&ライティング I b	アレン ニール	432
スピーキング&ライティング I b	ジェーン パーマンター	434
スピーキング&ライティング I b	ジェフリー ベル	436
スピーキング&ライティング I b	ジョセフ シウンシ	438
スピーキング&ライティング I b	ダニエル マリンズ	440
スペイン語 I a	宮多良 デイスネル	442
スペイン語 I b	宮多良 デイスネル	443
スペイン語 II a	マツダイラ キーメル	444
スペイン語 II b	マツダイラ キーメル	445
スペイン語 III a	森 川 香 織	446
スペイン語 III a	ヒセレ ラサロ	447

科目名	担当者	ページ
スペイン語Ⅲb	ヒセレ ラサロ	448
スペイン語Ⅲb	森 川 香 織	449
スペイン語Ⅳa	マツダイラ キーメル	450
スペイン語Ⅳa	サバセ ダニエル	451
スペイン語Ⅳb	マツダイラ キーメル	452
スペイン語Ⅳb	サバセ ダニエル	453
スペイン語応用Ⅰ	磯 野 吉 美	454
スペイン語応用Ⅱ	磯 野 吉 美	455
スペイン語オラルⅡA	オラシオ ゴメス	456
スペイン語オラルⅡA	ヒセレ ラサロ	457
スペイン語オラルⅡB	宮多良 ディスネル	458
スペイン語オラルⅠ	オラシオ ゴメス	459
スペイン語オラルⅠ	ヒセレ ラサロ	460
スペイン語オラルⅡ	オラシオ ゴメス	461
スペイン語オラルⅡ	ヒセレ ラサロ	462
スペイン語オラルⅠA	オラシオ ゴメス	463
スペイン語オラルⅠA	ヒセレ ラサロ	464
スペイン語オラルⅠB	宮多良 ディスネル	465
スペイン語オラルⅢA	オラシオ ゴメス	466
スペイン語オラルⅢA	宮多良 ディスネル	467
スペイン語オラルⅢA	岡 あゆみ	468
スペイン語オラルⅢB	穂 原 三 佳	469
スペイン語オラルⅢB	マツダイラ キーメル	470
スペイン語オラルⅢB	サバセ ダニエル	471
スペイン語オラルⅣA	オラシオ ゴメス	472
スペイン語オラルⅣA	宮多良 ディスネル	473
スペイン語オラルⅣA	岡 あゆみ	474
スペイン語オラルⅣB	穂 原 三 佳	475
スペイン語オラルⅣB	マツダイラ キーメル	476
スペイン語オラルⅣB	サバセ ダニエル	477
スペイン語オラルⅤ	宮多良 ディスネル	478
スペイン語オラルⅥ	宮多良 ディスネル	479
スペイン語オラルⅦ	オラシオ ゴメス	480
スペイン語オラルⅧ	オラシオ ゴメス	481
スペイン語学	三 浦 知佐子	482
スペイン語基礎A	北 條 ゆかり	483
スペイン語基礎A	森 川 香 織	484
スペイン語基礎B	篠 原 愛 人	485
スペイン語基礎B	岡 あゆみ	486
スペイン語基礎C	穂 原 三 佳	487
スペイン語基礎C	酒 井 真梨奈	488
スペイン語圏概論	篠 原 愛 人	489
スペイン語圏トピックスⅠ	宮多良 ディスネル	490
スペイン語圏トピックスⅡ	三 浦 知佐子	491
スペイン語圏トピックスⅢ	林 安紀子	492
スペイン語圏トピックスⅣ	林 安紀子	493
スペイン語圏の芸術	オラシオ ゴメス	494
スペイン語講読Ⅰ	三 浦 知佐子	495
スペイン語講読Ⅰ	宮多良 ディスネル	496
スペイン語講読Ⅱ	宮多良 ディスネル	497
スペイン語講読Ⅱ	三 浦 知佐子	498
スペイン語通訳ガイドⅠ	篠 原 愛 人	499

科目名	担当者	ページ
スペイン語通訳ガイドⅡ	篠 原 愛 人	500
スペイン語入門A	北 條 ゆかり	501
スペイン語入門A	森 川 香 織	502
スペイン語入門B	篠 原 愛 人	503
スペイン語入門B	岡 あゆみ	504
スペイン語入門C	穂 原 三 佳	505
スペイン語入門C	酒 井 真梨奈	506
スペイン語文章構成Ⅰ	北 條 ゆかり	507
スペイン語文章構成Ⅰ	林 安紀子	508
スペイン語文章構成Ⅱ	北 條 ゆかり	509
スペイン語文章構成Ⅱ	林 安紀子	510
スペイン語文章構成Ⅲ	磯 野 吉 美	511
スペイン語文章構成Ⅳ	磯 野 吉 美	512
スペイン語翻訳	森 川 香 織	513
スペインの社会と文化	磯 野 吉 美	515
スペインの文化	磯 野 吉 美	516
スペシャリストインドネシア・マレー語	上 田 達	517
	山 口 真佐夫	
スポーツ科学実習Ⅰ	横 山 喬 之	1091
	川 野 裕姫子	
スポーツ科学実習Ⅰ	横 山 喬 之	1092
	川 野 裕姫子	
スポーツ科学実習Ⅱ	横 山 喬 之	1093
	川 野 裕姫子	
スポーツ科学実習Ⅱ	横 山 喬 之	1094
	川 野 裕姫子	
住まいとデザイン	平 田 陽 子	1139

セ

生活思想論	木 本 浩 一	518
生活のなかの数学	小 林 俊 公	1141
青少年育成ファシリテーター養成講座	浅 野 英 一	1142
生徒指導論	朝 日 素 明	1235
生命と物質	松 浦 哲 郎	1143
世界の宗教	村 上 司 樹	520
世界の政治	椿 原 敦 子	1145
世界の地理	高 崎 章 裕	521
世界の文化の比較	村 上 司 樹	523
世界の歴史	林 田 敏 子	524
専門日本語 FⅠ	中 岡 樹 里	1095
専門日本語 FⅡ	中 岡 樹 里	1096

ソ

総合インドネシア語 a (1)	浦 野 崇 央	525
総合インドネシア語 a (2)	山 口 玲 子	526
総合インドネシア語 b (1)	浦 野 崇 央	527
総合インドネシア語 b (2)	山 口 玲 子	528
総合スペイン語Ⅰ	磯 野 吉 美	529
総合スペイン語Ⅱ	磯 野 吉 美	530
総合スペイン語ⅢA	北 條 ゆかり	531
総合スペイン語ⅢA	森 川 香 織	532
総合スペイン語ⅢB	岡 あゆみ	533

科目名	担当者	ページ
総合スペイン語ⅢB	篠原 愛人	534
総合中国語 a	段 飛虹	535
総合中国語 a	瀬戸 宏	536
総合中国語 b	段 飛虹	537
総合中国語 b	瀬戸 宏	538
総合マレー語 a	上田 達	539
総合マレー語 b	上田 達	540
卒業研究	小川 豊生	541
卒業研究 I	赤澤 春彦	542
卒業研究 I	浅野 英一	543
卒業研究 I	天野 貴史	544
卒業研究 I	岩間 香	545
卒業研究 I	上田 達	546
卒業研究 I	浦野 崇央	547
卒業研究 I	小川 豊生	548
卒業研究 I	門脇 薫	549
卒業研究 I	後藤 一章	550
卒業研究 I	齋藤 安以子	551
卒業研究 I	篠原 愛人	552
卒業研究 I	ション マクガバン	553
卒業研究 I	住吉 誠	554
卒業研究 I	瀬戸 宏	555
卒業研究 I	田浦 アマンダ	556
卒業研究 I	田中 健二	557
卒業研究 I	田中 秀毅	558
卒業研究 I	鳥居 祐介	559
卒業研究 I	中島 直嗣	560
卒業研究 I	中西 正樹	561
卒業研究 I	西川 眞由美	562
卒業研究 I	橋本 正俊	563
卒業研究 I	林田 敏子	564
卒業研究 I	原 秀禎	565
卒業研究 I	北條 ゆかり	566
卒業研究 I	マイケル ハーキー	567
卒業研究 I	松田 早恵	568
卒業研究 I	皆本 智美	569
卒業研究 I	家口 美智子	570
卒業研究 I	兪 鳴蒙	571
卒業研究 I	吉村 征洋	572
卒業研究 II	赤澤 春彦	573
卒業研究 II	浅野 英一	574
卒業研究 II	天野 貴史	575
卒業研究 II	岩間 香	576
卒業研究 II	上田 達	577
卒業研究 II	浦野 崇央	578
卒業研究 II	小川 豊生	579
卒業研究 II	門脇 薫	580
卒業研究 II	後藤 一章	581
卒業研究 II	齋藤 安以子	582
卒業研究 II	篠原 愛人	583
卒業研究 II	ション マクガバン	584
卒業研究 II	住吉 誠	585

科目名	担当者	ページ
卒業研究 II	瀬戸 宏	586
卒業研究 II	田浦 アマンダ	587
卒業研究 II	田中 健二	588
卒業研究 II	田中 秀毅	589
卒業研究 II	鳥居 祐介	590
卒業研究 II	中島 直嗣	591
卒業研究 II	中西 正樹	592
卒業研究 II	西川 眞由美	593
卒業研究 II	橋本 正俊	594
卒業研究 II	林田 敏子	595
卒業研究 II	原 秀禎	596
卒業研究 II	北條 ゆかり	597
卒業研究 II	マイケル ハーキー	598
卒業研究 II	松田 早恵	599
卒業研究 II	皆本 智美	600
卒業研究 II	家口 美智子	601
卒業研究 II	兪 鳴蒙	602
卒業研究 II	吉村 征洋	603

夕

体験型特別実習 B	中西 正樹	604
大衆文化論	森本 誠一	605
ダイバーシティとコミュニケーション	石井 三恵	1146
旅と観光の地理	原 秀禎	607
旅の文学	小川 豊生	608
多文化の共生	木本 浩一	610

チ

地域研究論	森田 良成	612
地域連携教育活動 I	浅野 英一	1147
地域連携教育活動 II	浅野 英一	1148
チームビルディング	水野 武	1149
中級検定インドネシア語	山口 玲子	613
中国経済論	郭 進	614
中国語 I a	今中 崇文	615
中国語 I b	今中 崇文	616
中国語 II a	兪 鳴蒙	617
中国語 II b	欒 玉璽	618
中国語 III a	欒 玉璽	619
中国語 III a	曹 櫻	620
中国語 III b	欒 玉璽	621
中国語 III b	曹 櫻	622
中国語 IV a	孫 輝	623
中国語 IV b	孫 輝	624
中国語 L L I a	兪 鳴蒙	625
中国語 L L I b	兪 鳴蒙	626
中国語 L L II a	中西 正樹	627
中国語 L L II b	瀬戸 宏	628
中国語科教育法 I	瀬戸 宏	1236
中国語科教育法 II	中西 正樹	1237
中国語科教育法 III	瀬戸 宏	1239
中国語科教育法 IV	中西 正樹	1241

科目名	担当者	ページ
中国語圏概論	中西正樹	629
中国語会話Ⅰ a	曹 櫻	630
中国語会話Ⅰ b	曹 櫻	631
中国語会話Ⅱ a	李 英杰	632
中国語会話Ⅱ b	李 英杰	633
中国語会話表現法Ⅰ a	曹 櫻	634
中国語会話表現法Ⅰ b	曹 櫻	635
中国語会話表現法Ⅱ a	李 英杰	636
中国語会話表現法Ⅱ b	李 英杰	638
中国語学Ⅰ	中西正樹	640
中国語学Ⅱ	俞 鳴蒙	641
中国語研究	俞 鳴蒙	642
中国語原書講読Ⅰ a	曹 櫻	643
中国語原書講読Ⅰ a	大西紀	644
中国語原書講読Ⅰ b	曹 櫻	645
中国語原書講読Ⅰ b	大西紀	646
中国語原書講読Ⅱ a	俞 鳴蒙	647
中国語原書講読Ⅱ b	俞 鳴蒙	648
中国語講読Ⅰ a	瀬戸宏	649
中国語講読Ⅰ b	瀬戸宏	650
中国語講読Ⅱ a	孫 輝	651
中国語講読Ⅱ b	孫 輝	652
中国語コミュニケーション a	李 英杰	653
中国語コミュニケーション a	欒 玉璽	655
中国語コミュニケーション b	李 英杰	657
中国語コミュニケーション b	欒 玉璽	658
中国語作文Ⅰ a	今中崇文	660
中国語作文Ⅰ b	今中崇文	661
中国語作文Ⅱ a	大西紀	662
中国語作文Ⅱ b	大西紀	663
中国語視聴専科 a	中西正樹	664
中国語視聴専科 b	中西正樹	665
中国語トピックス a	馮 艶	667
中国語トピックス b	馮 艶	668
中国語を書くⅠ a	今中崇文	669
中国語を書くⅠ b	今中崇文	670
中国語を聞くⅠ a	俞 鳴蒙	671
中国語を聞くⅠ b	俞 鳴蒙	672
中国語を話すⅠ a	曹 櫻	673
中国語を話すⅠ b	曹 櫻	674
中国語を読むⅠ a	瀬戸宏	675
中国語を読むⅠ b	瀬戸宏	676
中国史学	森川裕貫	677
中国地誌学	原 秀禎	678
中国文学	瀬戸宏	679

ツ

通訳・翻訳インドネシア・マレー語	山口真佐夫	680
ツーリズム論Ⅰ	坂下正憲	681
ツーリズム論Ⅱ	坂下正憲	683

科目名	担当者	ページ
テ		
ディスプレイ論	毛呂祐子	685
ディベート	ブライアン スレーター	686
ディベート	ニール カー	687
ディベート	マーティン オイクル	688
哲学から学ぶ	有馬善一	1150
ト		
統計学	星山幸子	1152
道德教育の研究	小山裕樹	1243
東南アジア史学	森田良成	689
東南アジア人類学	上田達	690
東南アジア地誌学	原 秀禎	692
東南アジア文化論	大坪紀子	693
特別活動の理論と方法	林 茂樹	1245
トピック スタディーズⅠ	西川真由美	695
トピック スタディーズⅠ	村上幸太郎	696
トピック スタディーズⅠ	サトラー マイケル	697
トピック スタディーズⅠ	マーティン オイクル	699
トピック スタディーズⅠ a	ブライアン スレーター	700
トピック スタディーズⅠ a	ジェフリー ベル	701
トピック スタディーズⅠ a	マイケル ハーキー	703
トピック スタディーズⅠ a	大原関一浩	704
トピック スタディーズⅠ b	西川真由美	705
トピック スタディーズⅠ b	村上幸太郎	706
トピック スタディーズⅠ b	サトラー マイケル	707
トピック スタディーズⅠ b	マーティン オイクル	709
トピック スタディーズⅡ	ブラッドリー パークス	710
トピック スタディーズⅡ	ショーン マクガバン	711
トピック スタディーズⅡ	マーティン オイクル	713
トピック スタディーズⅡ	ダニエル マリンズ	714
トピック スタディーズⅢ	村木美紀子	716
トピック スタディーズⅢ	松下乃垂	717
トピック スタディーズⅢ	松田早恵	719
トピック スタディーズⅢ	本多善	720
ドラマ	マーティン オイクル	721
ドラマ	ブラッドリー パークス	722
ドラマ	ダニエル マリンズ	724
ドラマ	マシュー クーパー	726
ドラマ	ニール カー	728
ドラマⅠ	マーティン オイクル	729
ドラマⅠ	ブラッドリー パークス	730
ドラマⅠ	ダニエル マリンズ	732
ドラマⅠ	マシュー クーパー	734
ドラマⅠ	ニール カー	736
ドラマⅡ	田浦アマンダ	737
ドラマⅡ	ブライアン スレーター	738
ドラマⅡ	ジョセフ シウンシ	740
ドラマⅡ	齋藤安以子	741
ドラマⅡ	吉村征洋	742
ドラマⅡ	ニール カー	743

科目名	担当者	ページ
トランスレーション トレーニング a	田中 秀毅	744
トランスレーション トレーニング a	瀧川 宏樹	746
トランスレーション トレーニング a	湊 由妃子	747
トランスレーション トレーニング a	田中 健二	749
トランスレーション トレーニング a	鈴木 三千代	750
トランスレーション トレーニング b	田中 秀毅	751
トランスレーション トレーニング b	瀧川 宏樹	753
トランスレーション トレーニング b	湊 由妃子	754
トランスレーション トレーニング b	田中 健二	756
トランスレーション トレーニング b	鈴木 三千代	757

二

日米関係論	有馬 善一	758
日米比較文化	鳥居 祐介	759
日米文化交流史	田中 健二	761
日中関係論	大西 紀	762
日中観光文化と通訳法	中西 正樹	763
日中翻訳法 I a	李 英杰	765
日中翻訳法 I b	李 英杰	767
日中翻訳法 II a	李 英杰	769
日中翻訳法 II a	馮 艶	771
日中翻訳法 II b	李 英杰	773
日中翻訳法 II b	馮 艶	775
日本語会話 F I	高井 美穂	1097
日本語会話 F II	高井 美穂	1098
日本語学 I	橋本 正俊	777
日本語学 II	橋本 正俊	778
日本語学 IV	小川 豊生	779
日本語教育実習演習	門脇 薫	780
日本語教育実習	門脇 薫	781
日本語教授法 I	門脇 薫	782
日本語教授法 II	藤原 京佳	783
日本語教授法 III	宮崎 玲子	784
日本国憲法	小野 晃正	1153
日本語史概説	橋本 正俊	785
日本語上級会話 F I	高井 美穂	1155
日本語上級会話 F II	高井 美穂	1156
日本語上級会話 I	高井 美穂	786
日本語上級会話 II	高井 美穂	787
日本語上級作文 F I	中岡 樹里	1157
日本語上級作文 F II	中岡 樹里	1158
日本語上級作文 I	中岡 樹里	788
日本語上級作文 II	中岡 樹里	789
日本語上級読解 F I	古川 由理子	1159
日本語上級読解 F II	古川 由理子	1160
日本語上級読解 I	古川 由理子	790
日本語上級読解 II	古川 由理子	791
日本語総合 F I	古川 由理子	1099
日本語総合 F II	古川 由理子	1100
日本語読解 F I	中岡 樹里	1101
日本語読解 F II	中岡 樹里	1102
日本語読解 I	中岡 樹里	792

科目名	担当者	ページ
日本語読解 II	中岡 樹里	793
日本語能力開発 I	澤野 加奈	1197
日本語能力開発 I	高嶋 藍	1198
日本語能力開発 I	田中 教子	1199
日本語能力開発 I	人形寺 英利子	1200
日本語能力開発 II	澤野 加奈	1201
日本語能力開発 II	高嶋 藍	1202
日本語能力開発 II	田中 教子	1203
日本語能力開発 II	人形寺 英利子	1204
日本語表現作文 F I	中岡 樹里	1103
日本語表現作文 F II	中岡 樹里	1104
日本語表現作文 I	中岡 樹里	794
日本語表現作文 II	中岡 樹里	795
日本語文法 F I	中岡 樹里	1105
日本語文法 F II	中岡 樹里	1106
日本語文法 I	中岡 樹里	796
日本語文法 II	中岡 樹里	797
日本史学	赤澤 春彦	798
日本事情 F I	門脇 薫	1107
日本事情 F II	門脇 薫	1108
日本事情 I	門脇 薫	799
日本事情 II	門脇 薫	800
日本と世界の出会い	村上 司樹	801
日本の思想	中村 翼	802
日本の歴史	赤澤 春彦	804
日本美術史	岩間 香	805
日本文学	小川 豊生	806
日本文学	小川 豊生	808
人間の探求	池田 清	1161

ハ

博物館概論	谷 直樹	809
博物館学 I	谷 直樹	811
博物館学 II	岩間 香	813
博物館教育論	毛 呂祐子	814
博物館実習	岩間 香	816
	赤澤 春彦	
	谷 直樹	
博物館情報・メディア論	中川 馨	817
博物館資料保存論	赤澤 春彦	818
博物館資料論	岩間 香	819
パブリックスピーキング a	ステイブ トマエフスキー	820
パブリックスピーキング b	ステイブ トマエフスキー	822
犯罪被害者と法的救済	小野 晃正	1162

ヒ

ビジネス イングリッシュ a	ブラッドリー パークス	824
ビジネス イングリッシュ a	ダニエル マリンズ	825
ビジネス イングリッシュ a	マーティン オイクル	826
ビジネス イングリッシュ a	藤岡 真樹	827
ビジネス イングリッシュ a	梅田 尋道	829
ビジネス イングリッシュ b	ブラッドリー パークス	830

科目名	担当者	ページ
ビジネス イングリッシュ b	ダニエル マリズ	831
ビジネス イングリッシュ b	マーティン オイクル	832
ビジネス イングリッシュ b	藤岡 真樹	833
ビジネス イングリッシュ b	梅田 尋道	835
ビジネスインドネシア・マレー語	エニ レスタリ	836
ビジネス中国語Ⅱ a	馮 艶	837
ビジネス中国語Ⅱ b	馮 艶	838
ビジネス中国語Ⅲ a	今中 崇文	839
ビジネス中国語Ⅲ b	今中 崇文	840
ビジネス中国語 a	大西 紀	841
ビジネス中国語 b	大西 紀	842
ビジネスマナー	富岡 直美	1164
美術の歩み	岩間 香	843

フ

風土と地理	木本 浩一	844
武道論	横山 喬之	1166
フランス語Ⅰ a	藤本 武司	846
フランス語Ⅰ b	藤本 武司	847
フランス語Ⅱ a	中井 裕之	848
フランス語Ⅱ b	中井 裕之	850
フランス語Ⅲ a	藤本 武司	852
フランス語Ⅲ b	藤本 武司	853
フランス語Ⅳ a	中井 裕之	854
フランス語Ⅳ b	中井 裕之	856
プレゼンテーション	ブラッドリー パークス	858
プレゼンテーション	ニール カー	859
プレゼンテーション	マシュー ケーパー	860
プレゼンテーション	ダニエル マリズ	861
プレゼンテーション	マーティン オイクル	862
プレゼンテーション	マイケル ハーキー	863
プレゼンテーションインドネシア・マレー語	エニ レスタリ	864
フレッシュマン イングリッシュ	西 美都子	865
文化演習Ⅰ	天野 貴史	866
文化演習Ⅰ	齋藤 安以子	867
文化演習Ⅰ	住吉 誠	868
文化演習Ⅰ	田浦 アマンダ	869
文化演習Ⅰ	田中 秀毅	870
文化演習Ⅰ	鳥居 祐介	871
文化演習Ⅰ	西川 眞由美	872
文化演習Ⅰ	ショーン マクガバン	873
文化演習Ⅰ	家口 美智子	874
文化演習Ⅰ	篠原 愛人	875
文化演習Ⅰ	北條 ゆかり	876
文化演習Ⅰ	上田 達	877
文化演習Ⅰ	浦野 崇央	878
文化演習Ⅰ	山口 真佐夫	879
文化演習Ⅰ	赤澤 春彦	880
文化演習Ⅰ	浅野 英一	881
文化演習Ⅰ	有馬 善一	882
文化演習Ⅰ	岩間 香	883
文化演習Ⅰ	門脇 薫	884

科目名	担当者	ページ
文化演習Ⅰ	橋本 正俊	885
文化演習Ⅰ	林田 敏子	886
文化演習Ⅰ	後藤 一章	887
文化演習Ⅰ	中島 直嗣	888
文化演習Ⅰ	マイケル ハーキー	889
文化演習Ⅰ	松田 早恵	890
文化演習Ⅰ	皆本 智美	891
文化演習Ⅰ	吉村 征洋	892
文化演習Ⅰ	兪 鳴蒙	893
文化演習Ⅰ	中西 正樹	894
文化演習Ⅰ	瀬戸 宏	895
文化演習Ⅰ	小川 豊生	896
文化演習Ⅰ	原 秀禎	897
文化演習Ⅱ	天野 貴史	898
文化演習Ⅱ	齋藤 安以子	899
文化演習Ⅱ	住吉 誠	900
文化演習Ⅱ	田浦 アマンダ	901
文化演習Ⅱ	田中 秀毅	902
文化演習Ⅱ	鳥居 祐介	903
文化演習Ⅱ	西川 眞由美	904
文化演習Ⅱ	ショーン マクガバン	905
文化演習Ⅱ	家口 美智子	906
文化演習Ⅱ	篠原 愛人	907
文化演習Ⅱ	北條 ゆかり	908
文化演習Ⅱ	上田 達	909
文化演習Ⅱ	浦野 崇央	910
文化演習Ⅱ	山口 真佐夫	911
文化演習Ⅱ	赤澤 春彦	912
文化演習Ⅱ	浅野 英一	913
文化演習Ⅱ	有馬 善一	914
文化演習Ⅱ	岩間 香	915
文化演習Ⅱ	門脇 薫	916
文化演習Ⅱ	橋本 正俊	917
文化演習Ⅱ	林田 敏子	918
文化演習Ⅱ	後藤 一章	919
文化演習Ⅱ	中島 直嗣	920
文化演習Ⅱ	マイケル ハーキー	921
文化演習Ⅱ	松田 早恵	922
文化演習Ⅱ	皆本 智美	923
文化演習Ⅱ	吉村 征洋	924
文化演習Ⅱ	兪 鳴蒙	925
文化演習Ⅱ	中西 正樹	926
文化演習Ⅱ	瀬戸 宏	927
文化演習Ⅱ	小川 豊生	928
文化演習Ⅱ	原 秀禎	929
文化観光実習演習	赤澤 春彦	930
	橋本 正俊	
	林田 敏子	
文化人類学	西垣 有	1167
文化と表現	橋本 正俊	931

科目名	担当者	ページ
へ		
平和の思想	濱 良 祐	932
ホ		
法学入門	小 野 晃 正	1168
ボキャブラリー&グラマー a	松 田 早 恵	934
ボキャブラリー&グラマー a	後 藤 一 章	935
ボキャブラリー&グラマー a	西 川 眞由美	936
ボキャブラリー&グラマー a	齋 藤 安以子	937
ボキャブラリー&グラマー a	鳥 居 祐 介	938
ボキャブラリー&グラマー a	中 島 直 嗣	939
ボキャブラリー&グラマー a	家 口 美智子	940
ボキャブラリー&グラマー a	神 崎 舞	941
ボキャブラリー&グラマー a	皆 本 智 美	942
ボキャブラリー&グラマー a	住 吉 誠	943
ボキャブラリー&グラマー b	家 口 美智子	944
ボキャブラリー&グラマー b	皆 本 智 美	945
ボキャブラリー&グラマー b	西 川 眞由美	946
ボキャブラリー&グラマー b	齋 藤 安以子	947
ボキャブラリー&グラマー b	天 野 貴 史	948
ボキャブラリー&グラマー b	後 藤 一 章	949
ボキャブラリー&グラマー b	中 島 直 嗣	950
ボキャブラリー&グラマー b	住 吉 誠	951
ボキャブラリー&グラマー b	大原関 一 浩	952
ボキャブラリー&グラマー b	田浦 アマンダ	953
ボキャブラリー&グラマー b	松 田 早 恵	954
ボキャブラリー&グラマー b	鳥 居 祐 介	955
ホスピタリティ・インターンシップ	坂 下 正 憲	956
ホスピタリティ演習	坂 下 正 憲	957
ホスピタリティ論Ⅰ	沖 中 美 喜	959
ホスピタリティ論Ⅱ	沖 中 美 喜	960
ホテルビジネス論Ⅰ	坂 下 正 憲	961
ホテルビジネス論Ⅱ	坂 下 正 憲	963
翻訳文化論	小 川 豊 生	965
マ		
マーケティングと歴史	武 居 奈緒子	1170
マーケティング入門	武 居 奈緒子	1171
マイノリティ論	有 馬 善 一	967
マレー語圏トピックス	ノレハ ビンティ	969
ミ		
身近な犯罪から自分、家族、まちを守る	中 沼 丈 晃	1172
ミュージアムへの招待	谷 直 樹	971
ミュージアムマネジメント論	赤 澤 春 彦	973
メ		
メディア イングリッシュ a	山 本 尚 子	975
メディア イングリッシュ a	江 戸 智 美	977
メディア イングリッシュ a	中 道 英美子	978
メディア イングリッシュ a	湊 由妃子	979

科目名	担当者	ページ
メディア イングリッシュ a	里 井 真理子	980
メディア イングリッシュ a	オーエン クロー	981
メディア イングリッシュ a	アーサー ロングス	982
メディア イングリッシュ b	山 本 尚 子	983
メディア イングリッシュ b	江 戸 智 美	985
メディア イングリッシュ b	中 道 英美子	986
メディア イングリッシュ b	湊 由妃子	987
メディア イングリッシュ b	里 井 真理子	988
メディア イングリッシュ b	オーエン クロー	989
メディア イングリッシュ b	アーサー ロングス	990
メディアのスペイン語Ⅰ	三 浦 知佐子	991
メディアのスペイン語Ⅱ	林 安紀子	992
メディアのスペイン語Ⅲ	磯 野 吉 美	994
モ		
ものづくりインターンシップ基礎	奥 野 竜 平	1174
ものづくりインターンシップ基礎	川 野 常 夫	1176
ものづくりインターンシップ実践	奥 野 竜 平	1177
ものづくり海外インターンシップ	川 野 常 夫	1179
ヤ		
役立つ金融知力	陸 川 富 盛	1181
ヨ		
ヨーロッパ史学	林 田 敏 子	995
ヨーロッパ思想	池 田 清	996
ラ		
ライティング a	家 口 美智子	997
ライティング a	グラント パーミンハム	999
ライティング a	住 吉 誠	1001
ライティング a	スコット ライリー	1003
ライティング a	ブライアン スレーター	1005
ライティング a	ブルース ライリー	1007
ライティング a	ジョン カール	1009
ライティング a	ダニエル マリンズ	1011
ライティング b	家 口 美智子	1013
ライティング b	グラント パーミンハム	1014
ライティング b	住 吉 誠	1016
ライティング b	スコット ライリー	1018
ライティング b	ブライアン スレーター	1019
ライティング b	ブルース ライリー	1021
ライティング b	ジョン カール	1022
ライティング b	ダニエル マリンズ	1024
ラテンアメリカ史学	篠 原 愛 人	1025
ラテンアメリカの社会と文化	北 條 ゆかり	1026
ラテンアメリカ文学	森 川 香 織	1027
リ		
リーディングⅠ a	江 戸 智 美	1028
リーディングⅠ a	湊 由妃子	1029
リーディングⅠ a	西 谷 継 治	1030

科目名	担当者	ページ
リーディングⅠ a	住 吉 誠	1031
リーディングⅠ a	田 中 健 二	1032
リーディングⅠ a	瀧 川 宏 樹	1033
リーディングⅠ b	江 戸 智 美	1034
リーディングⅠ b	湊 由妃子	1035
リーディングⅠ b	住 吉 誠	1036
リーディングⅠ b	田 中 健 二	1037
リーディングⅠ b	関 初 海	1038
リーディングⅠ b	瀧 川 宏 樹	1039
リーディングⅠ b	西 谷 継 治	1040
リーディングⅡ a	天 野 貴 史	1041
リーディングⅡ a	湊 由妃子	1042
リーディングⅡ a	松 井 信 義	1043
リーディングⅡ a	木 村 ゆ み	1044
リーディングⅡ a	アレン ニール	1045
リーディングⅡ a	ジェフリー ベル	1046
リーディングⅡ a	グラント パーミンハム	1047
リーディングⅡ a	ジェン パーメンター	1049
リーディングⅡ b	天 野 貴 史	1051
リーディングⅡ b	湊 由妃子	1052
リーディングⅡ b	松 井 信 義	1053
リーディングⅡ b	木 村 ゆ み	1054
リーディングⅡ b	アレン ニール	1055
リーディングⅡ b	ジェフリー ベル	1056
リーディングⅡ b	グラント パーミンハム	1057
リーディングⅡ b	ジェン パーメンター	1059
旅行インドネシア・マレー語	大 坪 紀 子	1061

レ

歴史に学ぶ	林 田 敏 子	1183
-------	---------	------

ロ

ロマンス語研究Ⅰ	柱 本 元 彦	1063
ロマンス語研究Ⅱ	柱 本 元 彦	1064

專 門 科 目

科目名	アカデミック スタディーズ	科目名 (英文)	Academic Studies
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	スコット ライリー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	This course will deal with American Film studies. Students will learn to watch films in a more critical manner. As well, various aspects of film genres (drama, classic film noir etc.) will be discussed and the themes present in each (for example, Feminism and the Feminist Film in films such as Working Girl (1988) or Thelma and Louise (1991).) This course will also serve as an introduction to American popular culture.
到達目標	During this course students will learn to think critically, using skills of both analysis and synthesis, in which they make the leap from the specific (studying a number of related films) to the general (understanding common themes and concepts). Finally, students' problems of grammar or vocabulary will be dealt with as the need arises.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
科目学習の効果 (資格)	

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Film 1 (Title: To Be Determined (TBD))	Individual tasks, Pair work, and Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Film 1 Continued	Individual tasks, Pair work, and Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Film 1 Continued	Individual tasks, Pair work, and Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Film 2 Title: TBD	Individual tasks, Pair work, and Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Film 2 Continued	Individual tasks, Pair work, and Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Film 2 Continued	Individual tasks, Pair work, and Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Film 3 Title: TBD	Individual tasks, Pair work, and Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Film 3 Continued	Individual tasks, Pair work, and Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Film 3 Continued	Individual tasks, Pair work, and Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Film 4 Title: TBD	Individual tasks, Pair work, and Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Film 4 Continued	Individual tasks, Pair work, and Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Film 4 Continued	Individual tasks, Pair work, and Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Film 5 Title: TBD	Individual tasks, Pair work, and Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Film 5 Continued	Individual tasks, Pair work, and Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson

関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1																
	2																
3																	

参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1																
	2																
3																	

評価方法 (基準)	Assignments 50% Classwork 30% Quizzes 20%
学生へのメッセージ	Watching films is not only entertaining, but a great way to learn and practice English skills. The more involved you are in the lessons, the more you will get out of each film.
担当者の研究室等	7号館2階
備考	Handouts will be provided in class. 授業の事前・事後の学習にかかる総時間はおよそ 15 時間程度とする。

科目名	アジア文化論	科目名(英文)	Asian Cultures
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	森田 良成
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	東南アジアの文化の多様性ということがしばしばいわれる。だが、一般的な日本人にとっての東南アジアのイメージは、ごく偏った限られたものかもしれない。たとえばインドネシアについて説明するさい、「多民族国家」「多様な文化」という言葉はよく用いられる。しかし、多くの日本人が思い浮かべるインドネシアとは、実際にはジャワやバリなどのいくつかの限られた地域にすぎないだろう。この講義では、インドネシアの東部地域における人々の暮らしについて、各地域における人類学的研究成果をもとに紹介していく。
到達目標	インドネシアがいかにか「多民族」で「多様」であるかを深く理解することで、東南アジアの「多民族」「多文化」の様相への理解を深めることができる。
授業方法と留意点	東南アジアについて基礎的な知識を習得済みであることが望ましいが、東南アジアに関する講義にまったく出たことがないという初学者も大いに歓迎する。各時間ごとに、感想や、こちらが提示する質問についての考えを書いてもらう。

科目学習の効果(資格)	
-------------	--

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	イントロダクション	授業内容、授業の進め方、評価基準等について説明	関連する文献を紹介するので読むこと。
2	東南アジア、インドネシアの基礎知識1	文化・経済・政治について概説	関連する文献を紹介するので読むこと。
3	東南アジア、インドネシアの基礎知識2	文化・経済・政治について概説	関連する文献を紹介するので読むこと。
4	インドネシア東部地域の基礎知識1	地理、歴史、インドネシア国内における位置づけ	関連する文献を紹介するので読むこと。
5	インドネシア東部地域の基礎知識2	地理、歴史、インドネシア国内における位置づけ	関連する文献を紹介するので読むこと。
6	ティモール1	ティモール島の歴史と文化	関連する文献を紹介するので読むこと。
7	ティモール2	ティモール島の歴史と文化	関連する文献を紹介するので読むこと。
8	ティモール3	ティモール島の歴史と文化	関連する文献を紹介するので読むこと。
9	ロテ1	ロテ島の歴史と文化	関連する文献を紹介するので読むこと。
10	ロテ2	ロテ島の歴史と文化	関連する文献を紹介するので読むこと。
11	フローレス1	フローレス島の歴史と文化	関連する文献を紹介するので読むこと。
12	フローレス2	フローレス島の歴史と文化	関連する文献を紹介するので読むこと。
13	スンバ1	スンバ島の歴史と文化	関連する文献を紹介するので読むこと。
14	スンバ2	スンバ島の歴史と文化	関連する文献を紹介するので読むこと。
15	まとめ	授業全体のまとめ	関連する文献を紹介するので読むこと。

関連科目	東南アジアに関する講義科目すべて、文化人類学
------	------------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	授業への参加の度合い(30%、主に授業終了時に提出してもらったコメント・感想から判断する)と、授業期間中に行うテスト(自由記述)(70%)から評価する。
----------	--

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	アドバンスト イングリッシュ a	科目名 (英文)	Advanced English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	S
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	後藤 一章
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	この授業では、リーディング II より語彙数も多く、文章の構造もやや複雑な英文を読み、ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成することを目的とする。また、速読や多読を通じてパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶと共に、会話に必要な語彙や多様な表現も習得する。
到達目標	大量の英文から必要な情報を素早く正確に見出すことができるようになる。
授業方法と留意点	毎回の出席とクラスでの積極的な参加が求められます。
科目学習の効果 (資格)	読解力強化を中心とした総合的な英語力向上と、その結果としての英語資格試験等のスコアの向上

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Individual Task, Pair Work or Group Work	Extensive Reading 次週の予習
2	Unit 1 「情報技術」 On the Menu	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
3	Unit 1 「情報技術」 On the Menu	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
4	Unit 2 「言語」 Animals and Language	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
5	Unit 2 「言語」 Animals and Language	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
6	Unit 3 「歴史」 History Detectives	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
7	Unit 3 「歴史」 History Detectives	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
8	Review Quiz 1	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
9	Unit 4 「旅」 Great Destinations	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
10	Unit 4 「旅」 Great Destinations	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
11	Unit 5 「自然災害」 Storms	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
12	Unit 5 「自然災害」 Storms	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
13	Unit 6 「海洋」 Reef Encounters	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
14	Unit 6 「海洋」 Reef Encounters	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
15	Review Quiz 2 Wrap-up	Individual Task	Extensive Reading 今学期の復習

授業計画

関連科目 全ての英語科目, Global Issues など

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Reading EXPLORER 2	Paul MacIntyre	Cengage Learning
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	平常点 (50点) + 課題 (50点)			
学生への メッセージ	英語力は読書量に比例します。たくさんの本を読んで下さい。			
担当者の 研究室等	7号館5階 後藤研究室			
備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	アドバンスト イングリッシュ a	科目名 (英文)	Advanced English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	A B
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ジェフリー ベル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	大量の情報から必要なものを正確に選び取り、また会話に必要な語彙や多様な表現を習得するために、読解能力は欠かせない。この授業では、リーディング II より語彙数も多く、文章の構造もやや複雑な英文を読み、ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成することを目的とする。また、速読や多読を通じてパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	大量の英文から情報を的確に把握できるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	...

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	「情報技術」: Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	3	「情報技術」: Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	4	「言語」: Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	5	「言語」: Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	6	「歴史」: Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	7	「歴史」: Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	8	Review Quizzes : Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	「旅」: Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	10	「旅」: Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	11	「自然災害」: Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	12	「自然災害」: Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	13	「海洋」: Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	14	「海洋」: Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	15	Wrap-up: Review	Individual Task, Pair Work or Group Work	...

関連科目	文法、スキルズ トレーニング、イングリッシュ プレゼンテーション、ライティングなど
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Reading Explorer 3	Nancy Douglas / David Bohlke	CENGAGE
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	<ul style="list-style-type: none"> ・読んでくる・考えてくる宿題 (毎回) ・ ・ ・ ・ ・ 20% ・授業中の発表 ・ ・ ・ ・ ・ 30% ・学期末の発表と、それをまとめたレポート ・ 50%
学生への メッセージ	This course will focus on interesting reading using a National Geographic based text with a variety of topics in adventurous fields utilizing visual DVD content as well for learning synthesis. Essential language skills will be strengthened through activities that promote active learning and which are designed to boost confidence and encourage motivated development.
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室
備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	アドバンスト イングリッシュ a	科目名 (英文)	Advanced English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	C D
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	中島 直嗣
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	大量の情報から必要なものを正確に選び取り、また会話に必要な語彙や多様な表現を習得するために、読解能力は欠かせない。この授業では、リーディング II より語彙数も多く、文章の構造もやや複雑な英文を読み、ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成することを目的とする。また、速読や多読を通じてパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	大量の英文の中から、情報を的確に把握する能力の獲得。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	英語関連の資格一般・および卒業研究などの資料処理能力の向上...

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson

関連科目	リーディング I・II
------	-------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	必要に応じてプリント、スライド資料、音声・ビデオ教材などを使用する。		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	必要に応じて指示する。		
	2			
	3			

評価方法 (基準)	毎回行う小テスト (60%)、授業中の発表・作業、課題など (40%) を合わせて評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	一回一回の授業を大切にしてほしいと願っています。
-----------	--------------------------

担当者の研究室等	7号館4階
----------	-------

備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---------------------------------------

科目名	アドバンスト イングリッシュ a	科目名 (英文)	Advanced English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	E F
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	皆本 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	大量の情報から必要なものを正確に選び取り、また会話に必要な語彙や多様な表現を習得するために、読解能力は欠かせない。この授業では、リーディング II より語彙数も多く、文章の構造もやや複雑な英文を読み、ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成することを目的とする。また、速読や多読を通じてパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	大量の英文の中から情報を的確に把握する能力の獲得。
授業方法と留意点	音声教材をふんだんに取り入れながら、英語力を伸ばす。また幅広い英字新聞の記事にも挑戦する。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task 記事から情報を絞上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Pair Work 音声を聞いて情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Group Work 記事から情報を絞上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual Task 音声を聞いて情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Pair Work 記事から情報を絞上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Group Work 音声を聞いて情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual Task 記事から情報を絞上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Pair Work 音声を聞いて情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Group Work 記事から情報を絞上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual Task 音声を聞いて情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Pair Work 記事から情報を絞上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Group Work 音声を聞いて情報を拾い上げる	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual Task 記事から情報を絞上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	リーディング、オーラルコミュニケーション
------	----------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	BBC World Profile on DVD	森田彰 他	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	出席、授業態度、課題提出、定期試験の得点などを総合的に判断する。(1回目の授業時に詳しく説明する。)
-----------	--

学生へのメッセージ	頑張りましょう。
-----------	----------

担当者の研究室等	7号館4階皆本研究室
----------	------------

備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---------------------------------------

科目名	アドバンスト イングリッシュ a	科目名 (英文)	Advanced English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	G H
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	サトラー マイケル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	This is a pre-intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	さまざまなスキルを使って、大量の英文の中から情報を的確に把握する能力の獲得。
授業方法と留意点	Reading, listening, speaking and writing activities, done individually, as well as pair/small group work and class discussions.
科目学習の効果 (資格)	Students will develop the skills and confidence to use English more fluently and accurately.

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction and course orientation	Self-introduction, needs analysis grammar/vocabulary quiz, preview textbook	Buy the textbook
2	「生活」 Unit 1 Lifestyles	Useful language for talking about daily life and routines Textbook activities 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
3	「生活」 Unit 1 continue	Listening, reading, speaking activities 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
4	「余暇」 Unit 2 Leisure	Talking about likes and dislikes. Listening, reading, speaking activities 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
5	「余暇」 Unit 2 continue	Listening, reading, speaking activities 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
6	「人間関係」 Unit 3 Getting along	Making requests, responding to requests Listening, reading, speaking activities 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
7	「人間関係」 Unit 3 continue	Listening, reading, speaking activities	Preview vocabulary for next lesson
8	「趣味」 Review of Units 1-3 for mid-semester test, begin Unit 4	Listening, reading, speaking activities, pairs/small group work, also review of vocabulary and grammar for next week's test 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Review for mid-semester test next week (Units 1-3) grammar, vocabulary, reading comprehension
9	Mid-semester test (Units 1-3)	Mid-semester test (Units 1-3) Vocabulary, grammar, listening	Preview vocabulary for next lesson
10	「趣味」 Unit 4 continue	Talking about hobbies and interests. Listening, reading, speaking activities 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
11	「物語」 Unit 5 Telling a story	Describing events, using tense correctly, sequencing. Listening, reading, speaking activities 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
12	「物語」 Unit 5 continue	Listening, reading, speaking activities 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
13	「祝宴」 Unit 6 Celebrations	Talking about celebrations and festivals. Listening, reading, speaking activities 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
14	「祝宴」 Unit 6 continue, review of Units 4-6	Listening, reading, speaking activities. Review Units 4-6 for the end of semester test next week 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Review vocabulary and grammar for the end of semester test next week
15	End of semester test (Units 4-6)	End of semester test (Units 4-6) Vocabulary, grammar, listening	None

関連科目	Nothing.			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Breakthrough Plus 2 ISBN 978-0-230-43820-0	Miles Craven	Macmillan Publishers
	2			

	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	Attendance/attitude/effort (30%), Mid-semester test (20%, End of semester test (30%), Small tests and quizzes (20%)			
学生への メッセージ	This is a communication course, so students should try to use English as much as possible. Behaviour such as poor attendance, habitual lateness, using mobile phones for other than learning purposes, sleeping in class, or forgetting to bring the textbook, will result in a lower grade. Students are expected to be courteous to one another and to the teacher, and to demonstrate a co-operative attitude to learning. Homework will sometimes be given and counts towards students grades. Students are expected to do assigned homework at home, by themselves. Failure to submit homework when it is due will result in a lower grade.			
担当者の 研究室等	Building 7, 2nd floor.			
備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	アドバンスト イングリッシュ a	科目名 (英文)	Advanced English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	再
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	マーティン オイクル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	このクラス一番の目的は学生達の会話能力を伸ばす事にある。ペアになっての会話の練習、小さなグループに分かれての討論、対話練習等が重点的になっていくだろう。そしてリスニング、読解、文法などもそれらほどではないが扱っていく。 The objective of this class is for students to improve their oral English communication skills. Conversational pair work, dialogue practice and small group work will be emphasized. In addition to the textbook, a variety of conversational prints will be used for conversational practice. Vocabulary, grammar and listening will also be covered.
到達目標	Upon completion of this course, students should have a working knowledge of the language and grammar needed to express themselves in the topics studied: talking about memories, events that have changed your life, giving opinions, problems in your life, future events and plans.
授業方法と留意点	As this is a communication class, students are expected to actively participate in communication activities such as pair work, small group work, as well as try to use English much as possible. Regular attendance is expected.
科目学習の効果 (資格)	The content of this course is concerned with the language to express a variety of topics in daily life such as: talking about memories, events that have changed your life, giving opinions, problems in your life, future events and plans.

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	「思い出」 Unit 1 Memories.	Talking about memories. Past tense and "used to". Collocations. 記事の中から情報を拾い上げる訓練をする	Pages 4-6, 102.
3	「思い出」 Unit 1 Memories continued	Talking about memories continued. Agreeing. Common uses of "get". 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Pages 7-9.
4	「生活スタイルの変化」 Unit 2 Life Changes.	Talking about events that changed your life. Present perfect. Prepositions. Reacting to news. 記事の中から情報を拾い上げる訓練をする	Pages 10-12, 103.
5	「生活スタイルの変化」 Unit 2 Life Changes continued.	Talking about events that changed your life. Talking about events that changed your life. 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Pages 13-15.
6	「物の見方」 Unit 3 Viewpoints.	Expressing your opinions. Gerunds. Common verbs that use gerunds. 記事の中から情報を拾い上げる訓練をする	Pages 16-18, 104.
7	「物の見方」 Unit 3 Viewpoints continued.	Expressing your opinions continued. Dependent prepositions. Manners. Language for giving opinions. 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Pages 19-21
8	Special topic and review of units 1-3.	Special topic and review of units 1-3.	Pages 22-23, 102-104.
9	「問題」 Unit 4 Problems.	Talking about problems. "Too much, many, enough, more, less". Women and work. Opposite adjectives. 記事の中から情報を拾い上げる訓練をする	Pages 24-26, 105.
10	「問題」 Unit 4 Problems continued.	Talking about problems continued. Language for giving advice. Common uses of "change". 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Pages 27-29.
11	「計画的思考」 Unit 5 Thinking Ahead.	Predicting future events in your life. "Will, won't, may, might". Suffixes. 記事の中から情報を拾い上げる訓練をする	Pages 30-32, 106.
12	「計画的思考」 Unit 5 Thinking Ahead continued.	won't, may, might". Suffixes. Short responses. Prefixes. 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Pages 33-35.
13	「想像」 Unit 6 Imagine!	Talking about future plans. "If...will, until, unless, when, as soon as". 記事の中から情報を拾い上げる訓練をする	Pages 36-38, 107.
14	「想像」 Unit 6 Imagine! continued.	Are you an optimist or a pessimist? Talking about future plans.	Pages 39-41.

			continued. Follow up questions. "make" vs "do". 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	
	15	Term test units 1-6.	Term test units 1-6.	Study for test units 1-6.
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Breakthrough Plus 3	Miles Craven	MacMillan ISBN: 978-0-230-43826-2
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	辞書		
	2			
	3			
評価方法 (基準)	出席授業参加態度 60%, テスト 40%			
学生への メッセージ	<p>ベストを尽くすこと！ 出来る限り英語を話すこと！ そしてミスを恐れず、わからないことをわからないと言う事を恥ずかしがらずにどんどんと質問して欲しい。 あと、出席と授業参加態度も大切です。</p>			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	アドバンスト イングリッシュ b	科目名 (英文)	Advanced English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	S
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	後藤 一章
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	この授業では、リーディング II より語彙数も多く、文章の構造もやや複雑な英文を読み、ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成することを目的とする。また、速読や多読を通じてパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶと共に、会話に必要な語彙や多様な表現も習得する。
到達目標	大量の英文から必要な情報を素早く正確に発見することができるようになる。
授業方法と留意点	毎回の出席とクラスでの積極的な参加が求められます。
科目学習の効果 (資格)	読解力強化を中心とした総合的な英語力向上と、その結果としての英語資格試験等のスコアの向上

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Individual Task, Pair Work or Group Work	Extensive Reading 次週の予習
	2	Unit 7 「五感」 Sweet Scents	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
	3	Unit 7 「五感」 Sweet Scents	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
	4	Unit 8 「探検家」 Great Explorers	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
	5	Unit 8 「探検家」 Great Explorers	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
	6	Unit 9 「伝統と儀式」 Traditions and Rituals	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
	7	Unit 9 「伝統と儀式」 Traditions and Rituals	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
	8	Review Quiz 1	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
	9	Unit 10 「地球温暖化」 Global Warming	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
	10	Unit 10 「地球温暖化」 Global Warming	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
	11	Unit 11 「未知の昆虫」 Incredible Insects	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
	12	Unit 11 「未知の昆虫」 Incredible Insects	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
	13	Unit 12 「極限への挑戦」 Going to Extremes	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
	14	Unit 12 「極限への挑戦」 Going to Extremes	Individual Task, Pair Work or Group Work Vocabulary Test 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Extensive Reading 今週の復習、次週の予習
15	Review Quiz 2 Wrap-up	Individual Task	Extensive Reading 今学期の復習	

関連科目	全ての英語科目, Global Issues など			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Reading EXPLORER 2	Paul MacIntyre	Cengage Learning
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	平常点 (50点) + 課題 (50点)			
学生への メッセージ	英語力は読書量に比例します。たくさんの本を読んで下さい。			
担当者の 研究室等	7号館5階 後藤研究室			
備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	アドバンスト イングリッシュ b	科目名 (英文)	Advanced English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	A B
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ジェフリー ベル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	大量の情報から必要なものを正確に選び取り、また会話に必要な語彙や多様な表現を習得するために、読解能力は欠かせない。この授業では、リーディング II より語彙数も多く、文章の構造もやや複雑な英文を読み、ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成することを目的とする。また、速読や多読を通じてパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	大量の英文から情報を的確に把握できる能力の獲得。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	...

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Unit 7 「五感」 Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	3	Unit 7 「五感」 Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	4	Unit 8 「探検家」 Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	5	Unit 8 「探検家」 Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	6	Unit 9 「伝統と儀式」 Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	7	Unit 9 「伝統と儀式」 Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	8	Review Quiz : Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Unit 10 「地球温暖化」 Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	10	Unit 10 「地球温暖化」 Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	11	Unit 11 「未知の昆虫」 Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	12	Unit 11 「未知の昆虫」 Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	13	Unit 12 「極限への挑戦」 Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	14	Unit 12 「極限への挑戦」 Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Individual Task, Pair Work or Group Work	...

関連科目	文法、スキルズ トレーニング、イングリッシュ プレゼンテーション、ライティングなど
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Reading Explorer 3	Nancy Douglas / David Bohlke	CENGAGE
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	<ul style="list-style-type: none"> ・読んでくる・考えてくる宿題 (毎回) ・ ・ ・ ・ ・ 20% ・授業中の発表 ・ ・ ・ ・ ・ 30% ・学期末の発表と、それをまとめたレポート ・ 50%
学生への メッセージ	This course will focus on interesting reading using a National Geographic based text with a variety of topics in adventurous fields utilizing visual DVD content as well for learning synthesis. Essential language skills will be strengthened through activities that promote active learning and which are designed to boost confidence and encourage motivated development.
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室
備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	アドバンスト イングリッシュ b	科目名 (英文)	Advanced English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	C D
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	中島 直嗣
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	大量の情報から必要なものを正確に選び取り、また会話に必要な語彙や多様な表現を習得するために、読解能力は欠かせない。この授業では、リーディング II より語彙数も多く、文章の構造もやや複雑な英文を読み、ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成することを目的とする。また、速読や多読を通じてパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	大量の英文から情報を的確に把握する能力の獲得。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	英語関連の資格一般・および卒業研究などの資料処理能力の向上...

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work 音声聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson

関連科目	リーディング I・II
------	-------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	必要に応じてプリント、スライド資料、音声・ビデオ教材などを使用する。		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	必要に応じて指示する。		
	2			

	3		
評価方法 (基準)	毎回行う小テスト(60%)、授業中の発表・作業、課題など(40%)を合わせて評価する。		
学生への メッセージ	一回一回の授業を大切にしてほしいと願っています。		
担当者の 研究室等	7号館4階		
備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。		

科目名	アドバンスト イングリッシュ b	科目名 (英文)	Advanced English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	E F
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	皆本 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	大量の情報から必要なものを正確に選び取り、また会話に必要な語彙や多様な表現を習得するために、読解能力は欠かせない。この授業では、リーディング II より語彙数も多く、文章の構造もやや複雑な英文を読み、ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成することを目的とする。また、速読や多読を通じてパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	大量の英文から情報を的確に把握する能力の獲得。
授業方法と留意点	音声教材をふんだんに取り入れながら、英語力を伸ばす。また幅広い英字新聞の記事にも挑戦する。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Exercises	Pair Work 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises	Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises	Individual Task 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises	Pair Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises	Group Work 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises	Individual Task 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises	Pair Work 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises	Group Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises	Individual Task 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Exercises	Pair Work 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Exercises	Group Work 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Exercises	Individual Task 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Feedback session 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	...

関連科目	リーディング、オーラルコミュニケーション
------	----------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	BBC World Profile on DVD	森田彰 他	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	出席、授業態度、課題提出、定期試験の得点など総合的に判断する。
-----------	---------------------------------

学生へのメッセージ	頑張りましょう。
-----------	----------

担当者の研究室等	7号館4階皆本研究室
----------	------------

備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---------------------------------------

科目名	アドバンスト イングリッシュ b	科目名 (英文)	Advanced English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	GH
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	サトラー マイケル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	This is a pre-intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	さまざまなスキルを活用し、大量の英文の中から情報を的確に把握する能力の獲得。
授業方法と留意点	Reading, listening, speaking and writing activities, done individually, as well as pair/small group work and class discussions.
科目学習の効果 (資格)	Students will develop the skills and confidence to use English more fluently and accurately.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	「食」 Welcome back (continuing students), orientation for new students, self-introductions, Unit 7 Food and Drink	Unit 7 Discussing food/drink preferences, Summer vacation questionnaire, Listening, reading, speaking activities. Pair/small group work 記事を読んで情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
	2	「食」 Unit 7 continue	Listening, reading, speaking activities. 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
	3	「規則」 Unit 8 Rules	Talking about various kinds of rules, college rules. Listening, reading, speaking activities. 記事を読んで情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
	4	「規則」 Unit 8 continue	Listening, reading, speaking activities. 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
	5	「冒険」 Unit 9 Adventures	Talking about adventurous things you've done. Listening, reading, speaking activities. Pair/small group work 記事を読んで情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson and review vocabulary and grammar for quiz next week
	6	「冒険」 Unit 9 continue	Listening, reading, speaking activities. 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
	7	「健康」 Review Units 7-9 for mid-semester test, begin Unit 10 Health	Talking about health, natural remedies. Listening, reading, speaking activities. Review of Units 7-9 vocabulary and grammar for mid-semester test next week. 記事を読んで情報を拾い上げる訓練をする	Review Units 7-9 vocabulary and grammar for mid-semester test next week
	8	Mid-semester test (Units 7-9)	Mid-semester test (Units 7-9) Vocabulary, grammar, listening	Preview vocabulary for next lesson
	9	「健康」 Unit 10 continue, discuss test results	Reading, listening, speaking activities. Pair/small group work. 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
	10	「比較」 Unit 11 Comparisons	Comparing things and expressing preferences. Listening, reading, speaking activities. 記事を読んで情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
	11	「比較」 Unit 11 continue	Reading, listening, speaking activities. Pair/small group discussion. 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson
	12	「現代」 Unit 12 The Modern World	Talking about the impact of technology on our lives. Listening, reading, speaking activities. Pair/small group work. 記事を読んで情報を拾い上げる訓練をする	Preview vocabulary for next lesson and review vocabulary and grammar for quiz next week
13	「現代」 Unit 12 continue	Listening, reading, speaking activities. 音声を聞いて情報を拾い上げる訓練をする	Review lessons 10-12 vocabulary, grammar	

	14	Course review and review of Units 10-12 for end of year test	Group discussion, individual and pair/small group activities, review of Units 10-12 for next week`s end of semester test	Review Units 10-12
	15	End of semester test (Units 10-12)	End of semester test (Units 10-12) Vocabulary, grammar, listening	None
関連科目	Nothing.			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Breakthrough Plus 2 ISBN 978-0-230-43820-0	Miles Craven	Macmillan Publishers
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	Attendance/attitude/effort (30%), Mid-semester test (20%), End of semester test (30%), Homework, small tests and quizzes (20%)			
学生への メッセージ	This is a communication course, so students should try to use English as much as possible. Students should endeavour to be courteous to one another and to the teacher, and to demonstrate a co-operative attitude to learning. Habitual lateness, sleeping in class, forgetting to bring the textbook, using cell phones except as a learning aid, are examples of unacceptable behaviour and repeat offenders will incur a lower grade and may find it difficult to pass this course. If a student forgets to bring his/her textbook to class, the onus is on the student to arrange making a copy of somebody else`s textbook for that lesson. Homework will sometimes be assigned for grading purposes and students are expected to do the homework at home, by themselves, and submit it when it is due.			
担当者の 研究室等	Building 7, 2nd floor.			
備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	アドバンスト イングリッシュ b	科目名 (英文)	Advanced English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	再
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	マーティン オイクル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	このクラスの一歩の目的は学生達の会話能力を伸ばす事にある。ペアになっての会話の練習、小さなグループに分かれての討論、対話練習等が重点的になっていくだろう。そしてリスニング、読解、文法などもそれらほどではないが扱っていく。 The objective of this class is for students to improve their oral English communication skills. Conversational pair work, dialogue practice and small group work will be emphasized. In addition to the textbook, a variety of conversational prints will be used for conversational practice. Vocabulary, grammar and listening will also be covered.
到達目標	Upon completion of this course, students should have a working knowledge of the language and grammar needed to express themselves in the topics studied: talking about people, place and things, talking about experiences, feelings and emotions, wishes and possibilities, making deductions, and key events from the past.
授業方法と留意点	As this is a communication class, students are expected to actively participate in communication activities such as pair work, small group work, as well as try to use English much as possible. Regular attendance is expected.
科目学習の効果 (資格)	The content of this course is concerned with the language to express a variety of topics in daily life such as: talking about people, place and things, talking about experiences, feelings and emotions, wishes and possibilities, making deductions, and key events from the past.

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	「世界」 Unit 7 My World continued.	Talking about people, places and things continued. Tag questions. American vs British English. 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Pages 47-49.
3	「過去」 Unit 8 Past Events.	Talking about your experiences. Narrative tenses: simple past, past continuous, past perfect. 音声聞いて情報を拾い上げる	Pages 50-52, 109.
4	「過去」 Unit 8 Past Events continued.	Talking about your experiences continued. Adverbs of time and attitude. Responding with "That's..." 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Pages 53-55.
5	「本音と意見」 Unit 9 Feelings and Opinions.	Talking about feelings and emotions. Participles as adjectives: -ed vs -ing. Kinds of TV shows. 音声聞いて情報を拾い上げる	Pages 56-58, 110.
6	「本音と意見」 Unit 9 Feelings and Opinions continued.	Talking about feelings and emotions continued. Expressions for starting and ending a conversation. 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Pages 59-61.
7	Special topic and review of units 1-6.	Special topic and review of units 1-6.	Pages 62-63, 108-110.
8	「仮定」 Unit 10 What if...?	Talking about wishes and possibilities. Second conditional: "I wish + simple past. 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Pages 64-66, 111.
9	「仮定」 Unit 10 What if...? continued.	Talking about wishes and possibilities continued. Vocabulary for moving to a new country. 音声聞いて情報を拾い上げる	Pages 67-69.
10	「解決」 Unit 11 Work it Out.	Making deductions. Modals of deduction: could/might/must/etc. 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Pages 70-72, 112.
11	「解決」 Unit 11 Work it Out continued.	Making deductions continued. Expressions for responding. Common proverbs. 音声聞いて情報を拾い上げる	Pages 73-75.
12	「回顧」 Unit 12 Looking Back.	Talking about key events from the past. Passive tense. Telling a story with passive. 記事から情報を拾い上げる訓練をする	Pages 76-78, 113.
13	「回顧」 Unit 12 Looking Back continued.	Talking about key events from the past continued. Verb - noun collocations. 音声聞いて情報を拾い上げる	Pages 79-81
14	Special topic and review of units 7-12.	Special topic and review of units 7-12.	Pages 82-83, 111-113.
15	Term test units 7-12.	Term test units 7-12.	Study for test units 7-12.

関連科目									
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Breakthrough Plus 3</td> <td>Miles Craven</td> <td>MacMillan 978-0-230-43826-2</td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Breakthrough Plus 3	Miles Craven	MacMillan 978-0-230-43826-2
番号	書籍名	著者名	出版社名						
1	Breakthrough Plus 3	Miles Craven	MacMillan 978-0-230-43826-2						

	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	辞書		
	2			
	3			
評価方法 (基準)	出席授業参加態度 60%、テスト 40%			
学生への メッセージ	<p>ベストを尽くすこと！ 出来る限り英語を話すこと！ そしてミスを恐れず、わからないことをわからないと言う事を恥ずかしがらずにどんどんと質問して欲しい。 あと、出席と授業参加態度も大切です。</p>			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	アドバンスト ライティング a	科目名 (英文)	Advanced Writing a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	S
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	齋藤 安以子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	アドバンスト・ライティングでは、ライティングよりさらに高度な文章構成力・表現力を磨く練習をする。 エッセイ・ライティングの力を養う。
到達目標	・文法的に正確であるだけでなく、状況にあった表現方法を探す姿勢を身につける。 ・短文を組み合わせて構造を持ったパラグラフを書けるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	英語関連の資格一般

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Purpose 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Purpose 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Purpose 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Target readers 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Target readers 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Target readers 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	logical structure 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	logical structure 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	logical structure 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	layout 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	layout 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	layout 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Review	Feedback session	・・・
15	Review	Feedback session	・・・	

関連科目 グラマー、スキルズ トレーニング、イングリッシュ プレゼンテーション、ライティングなど

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	文法から英作文、そしてパラグラフライティングへ	山内 信幸ほか	英宝社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)
 active participation in class 30%
 assignments 50%
 quiz 20%

学生へのメッセージ
 ・2年次のライティング a/b で学んだパラグラフ・ライティングのスキルを発展させ、エッセイ・ライティングのスキルを身につけます。
 ・社会人として文書を作成するときの基本は、日本語でも英語でも共通するところがあります。成人となったみなさんにとって、これから長くよりどころとなるような言語使用への誠実な姿勢を、育んでいきましょう。

担当者の研究室等
 7号館4階 齋藤研究室

備考
 ・予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。
 ・道具として例文がたくさん載っている英和辞典、英英辞典、和英辞典が必要です。電子辞書も、「英語が専門の大学生」にふさわしい内容のものを入手しておきましょう。
 ・日本語でも英語でも、まとまった内容を印刷物でたくさん読みましょう。よいお手本を知ることが、自分の文章をバージョンアップする助けになります。

科目名	アドバンスド ライティング a	科目名 (英文)	Advanced Writing a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	A B
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	西川 眞由美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的 大学入学までに学んださまざまな英語の基礎知識を、実際の音声コミュニケーションに活かせるよう練習する。発音記号と調音の仕組みを理解しリスニングやスピーキングに生かせるようにする。

到達目標

授業方法と留意点 Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.

科目学習の効果 (資格) TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 grammar, skills training, speaking

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	The Write Way	Chizuko Tsumatori/ Matsui Kozue	センテージ・ラーニング
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準) 小テスト (毎回) 30%、授業態度 30%、まとめのテスト 40%

学生へのメッセージ 宿題は必ずやってきてください。辞書は必ず授業に持参してください。一回一回の授業を大切にしてほしいと願っています。

担当者の研究室等 7号館4階西川研究室

備考 授業の事前・事後学習にかかる総時間はおおよそ 15 時間である。

科目名	アドバンスド ライティング a	科目名 (英文)	Advanced Writing a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	C D
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ショーン マクガバン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	In the spring term of this advanced writing course students will learn to write in different genres that include descriptive writing (people and places) and narrative writing (personal experiences) and academic writing (short research reports that include graphs and other data). Part of the coursework will focus on vocabulary and grammar development related to these topics.			
到達目標	This is an advanced writing class and students must have the ability to follow directions and participate in class using English.			
授業方法と留意点	Students will gain experience in writing directly in English without translation. They will also learn to improve their writing skills using a computer that includes effectively incorporating, graphs photos and other visual information into their written work.			
科目学習の効果 (資格)				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Course overview	Course objectives. Formatting and computer skills.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	2	Personal Questionnaire	Introducing oneself in writing.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	3	Personal Questionnaire 2	Expanding topic vocabulary and improving grammar.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	4	Mini research report	Expanding topic vocabulary and improving grammar.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	5	Vocabulary building	Expanding topic vocabulary and improving grammar.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	6	Photos and illustrations	Formatting and computer skills.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	7	Graphs	Writing and graphic design activities.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	8	Mini research report	Writing and graphic design activities.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	9	Paraphrasing	Expanding topic vocabulary and improving grammar.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	10	Mini research report	Writing and graphic design activities.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	11	Timed writing	Organizing a topic writing without translation.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	12	Mini research report	Writing and graphic design activity	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	13	Comprehensive term project	Organizing classwork into a comprehensive notebook report.	Students should review and study for the exam.
	14	Vocabulary test	Vocabulary assessment	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
15	Timed writing	Writing without translation.	...	
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	Grades are based on reliable weekly attendance that includes active participation and quizzes, 50%; comprehensive notebook 40%; vocabulary examination 10%.			
学生へのメッセージ	Be prepared to communicate using English. All the classwork and all course assignments will be in English.?			
担当者の研究室等	McGovern7号館5階			
備考	授業の事前・事後に学習する総時間はおおよそ15時間程度である。			

科目名	アドバンスト ライティング a	科目名 (英文)	Advanced Writing a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	E F
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	天野 貴史
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	アドバンスト・ライティングでは、ライティングよりさらに高度な文章構成力・表現力を磨く練習をする。			
到達目標	エッセイライティングの基礎を習得する。			
授業方法と留意点	Regular attendance, active participation and reading outside the classroom are the three basic requirements for success in this course.			
科目学習の効果 (資格)	To build up your speaking, listening, reading and writing skills in a variety of activities.			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Purpose 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Purpose 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Purpose 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Target readers 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Target readers 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Target readers 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	logical structure 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	logical structure 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	logical structure 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	layout 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	layout 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	layout 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Review	Feedback session	・・・
15	Review	Feedback session	・・・	
関連科目	文法、スキルズ トレーニング、イングリッシュ プレゼンテーション、ライティングなど			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Get It Write: Developing Writing Skills for Correct and Logical English	Yasuhiro Ichikawa and Peter Serafin	Kinseido
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	平常点 50% 小テスト 40% 共通単語試験 10%			
学生へのメッセージ	正確に書くことを楽しみましょう。			
担当者の研究室等	7号館3階 天野研究室			
備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	アドバンスト ライティング a	科目名 (英文)	Advanced Writing a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	G H
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ダニエル マリンズ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	アドバンスト・ライティングでは、ライティングよりさらに高度な文章構成力・表現力を磨く練習をする。 エッセイ・ライティングの力を養う。
到達目標	英語でエッセイを書く能力を身につける。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	英語関連の資格一般

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			1
2	Purpose 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Purpose 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Purpose 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Target readers 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Target readers 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Target readers 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	logical structure 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	logical structure 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	logical structure 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	layout 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	layout 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	layout 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Review	Feedback session	...
15	Review	Feedback session	...

関連科目: グラマー, スキルズ トレーニング、イングリッシュ プレゼンテーション、ライティングなど

番号	書籍名	著者名	出版社名
			1
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
			1
2			
3			

評価方法 (基準)
 Writing assignment tasks・・・60%
 Textbook exercises and weekly journal・・・40%

学生へのメッセージ

In order to pass this course, you must:

- attempt all assignments
- show evidence of prewriting and editing for each assignment
- obtain an average of at least 60% for your best three assignments
- not be absent for more than four lessons.

Please use lined, B5 looseleaf writing paper (in a slim binder) for all notes and assignments.

N.B.: Absence is not an excuse for incomplete homework tasks. Ask a classmate or email the instructor for homework details.

担当者の研究室等: Part-time faculty lounge, Bldg. 7, 2F

備考: 予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	アドバンスト ライティング b	科目名 (英文)	Advanced Writing b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	S
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	齋藤 安以子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	アドバンスト・ライティングでは、ライティングよりさらに高度な文章構成力・表現力を磨く練習をする。 エッセイ・ライティングの力を養う。																																																																		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・文法的に正確であるだけでなく、状況にあった表現方法を探す姿勢を身につける。 ・パラグラフを積み上げて、構造を持ったエッセイを書けるようになる。 ・リサーチペーパーを書くための基礎を身につける。 																																																																		
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.																																																																		
科目学習の効果 (資格)	英語関連の資格一般																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Introduction</td> <td>Orientation and introduction</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Purpose 1</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Purpose 2</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Purpose 3</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Target readers 1</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Target readers 2</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Target readers 3</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>logical structure 1</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>logical structure 2</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>logical structure 3</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>layout 1</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>layout 2</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>layout 3</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Review</td> <td>Feedback session</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>Review</td> <td>Feedback session</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction	Orientation and introduction	Students should study the content of the day's lesson	2	Purpose 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	3	Purpose 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	4	Purpose 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	5	Target readers 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	6	Target readers 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	7	Target readers 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	8	logical structure 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	9	logical structure 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	10	logical structure 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	11	layout 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	12	layout 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	13	layout 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	14	Review	Feedback session	...	15	Review	Feedback session	...
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction	Orientation and introduction	Students should study the content of the day's lesson																																																																
2	Purpose 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
3	Purpose 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
4	Purpose 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
5	Target readers 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
6	Target readers 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
7	Target readers 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
8	logical structure 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
9	logical structure 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
10	logical structure 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
11	layout 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
12	layout 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
13	layout 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
14	Review	Feedback session	...																																																																
15	Review	Feedback session	...																																																																
関連科目	グラマー、スキルズ トレーニング、イングリッシュ プレゼンテーション、ライティングなど																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>文法から英作文、そしてパラグラフライティングへ [前期と同じ]</td> <td>山内信幸 ほか</td> <td>英宝社</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	文法から英作文、そしてパラグラフライティングへ [前期と同じ]	山内信幸 ほか	英宝社	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	文法から英作文、そしてパラグラフライティングへ [前期と同じ]	山内信幸 ほか	英宝社																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	assignment 50% active participation in class 20% quiz 30%																																																																		
学生へのメッセージ	書く、読む、聞く、話す、はすべてつながっています。他の授業や、勉強時間以外に触れた「いつか使ってみたい言葉、表現」を、メモしていくと自分の言葉のストックが増えます。お気に入りの英語のドラマを日本語字幕付きでくりかえし見るのもおすすめです。																																																																		
担当者の研究室等	7号館4階 齋藤研究室																																																																		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。 ・道具として例文がたくさん載っている英和辞典、英英辞典、和英辞典が必要です。電子辞書も、「英語が専門の大学生」にふさわしい内容のものを入手しておきましょう。 ・日本語でも英語でも、まとまった内容を印刷物でたくさん読みましょう。よいお手本を知ることが、自分の文章をバージョンアップする助けになります。 																																																																		

科目名	アドバンスド ライティング b	科目名 (英文)	Advanced Writing b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	A B
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	西川 眞由美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	大学入学までに学んださまざまな英語の基礎知識を、実際の音声コミュニケーションに活かせるよう練習する。発音記号と調音の仕組みを理解しリスニングやスピーキングに生かせるようにする。																																																																		
到達目標																																																																			
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>Introduction</td><td>Orientation and Self-Introduction</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>2</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair work, and group work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>3</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair work, and group work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>4</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair work, and group work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>5</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair work, and group work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>6</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair work, and group work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>7</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair work, and group work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>8</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair work, and group work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>9</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair work, and group work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>10</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair work, and group work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>11</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair work, and group work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>12</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair work, and group work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>13</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair work, and group work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>14</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair work, and group work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>15</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair work, and group work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson	2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson	3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson	4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson	5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson	6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson	7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson	8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson	9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson	10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson	11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson	12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson	13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson	14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson	15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson																																																																
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
関連科目	grammar, skills training, speaking																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>The Write Way</td> <td>Chizuko Tsumatori/ Matsui Kozue</td> <td>センテージ・ラーニング</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	The Write Way	Chizuko Tsumatori/ Matsui Kozue	センテージ・ラーニング	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	The Write Way	Chizuko Tsumatori/ Matsui Kozue	センテージ・ラーニング																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	小テスト (毎回) 30%、授業態度 30%、まとめのテスト 40%																																																																		
学生へのメッセージ	宿題は必ずやってきてください。 辞書は必ず授業に持参してください。 一回一回の授業を大切にしてほしいと願っています。																																																																		
担当者の研究室等	7号館4階西川研究室																																																																		
備考	授業の事前・事後学習にかかる総時間はおおよそ 15 時間程度とする。																																																																		

科目名	アドバンスト ライティング b	科目名 (英文)	Advanced Writing b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	C D
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ショーン マクガバン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	In the spring term of this advanced writing course students will learn to write in different genres that include descriptive writing (people and places) and narrative writing (personal experiences) and academic writing (short research reports that include graphs and other data). Part of the coursework will focus on vocabulary and grammar development related to these topics.			
到達目標	This is an advanced writing class and students must have the ability to follow directions and participate in class using English.			
授業方法と留意点	Students will gain experience in writing directly in English without translation. They will also learn to improve their writing skills using a computer that includes effectively incorporating, graphs photos and other visual information into their written work.			
科目学習の効果 (資格)				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Course overview	Course objectives. Formatting and computer skills.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	2	Describing locations	Expanding topic vocabulary and improving grammar.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	3	Describing locations 2	Expanding topic vocabulary and improving grammar.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	4	Mini research report	Expanding topic vocabulary and improving grammar.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	5	Vocabulary building	Expanding topic vocabulary and improving grammar.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	6	Timed writing	Organizing a topic writing without translation.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	7	Questionnaires to graphs	Writing and graphic design activities.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	8	Mini research report	Writing and graphic design activities.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	9	Paraphrasing practice	Expanding topic vocabulary and improving grammar.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	10	Timed writing	Organizing a topic writing without translation.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	11	Holidays and events	Writing and graphic design activities.	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	12	Mini research report	Writing and graphic design activity	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
	13	Comprehensive term project	Organizing classwork into a comprehensive notebook report.	Students should review and study for the exam.
	14	Vocabulary test	Vocabulary assessment	Coming up with new ideas; writing a draft; or collecting data and other information to write about in the next class.
15	Timed writing	Writing without translation.	...	
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	Grades are based on reliable weekly attendance that includes active participation and quizzes, 50%; comprehensive notebook 40%; vocabulary examination 10%.			
学生へのメッセージ	Be prepared to communicate using English. All the classwork and all course assignments will be in English.?			
担当者の研究室等	McGovern7号館5階			
備考	授業の事前・事後学習にかかる総時間はおよそ15時間程度とする。			

科目名	アドバンスト ライティング b	科目名 (英文)	Advanced Writing b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	E F
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	天野 貴史
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	アドバンスト・ライティングでは、ライティングよりさらに高度な文章構成力・表現力を磨く練習をする。			
到達目標	エッセイライティングの基礎を習得する。			
授業方法と留意点	Regular attendance, active participation and reading outside the classroom are the three basic requirements for success in this course.			
科目学習の効果 (資格)	To build up your speaking, listening, reading and writing skills in a variety of activities.			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Purpose 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Purpose 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Purpose 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Target readers 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Target readers 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Target readers 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	logical structure 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	logical structure 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	logical structure 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	layout 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	layout 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	layout 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Review	Feedback session	・・・
15	Review	Feedback session	・・・	
関連科目	文法、スキルズ トレーニング、イングリッシュ プレゼンテーション、ライティングなど			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Get It Write: Developing Writing Skills for Correct and Logical English	Yasuhiro Ichikawa and Peter Serafin	Kinseido
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	平常点 50% 小テスト 40% 共通単語試験 10%			
学生へのメッセージ	正確に書くことを楽しみましょう。			
担当者の研究室等	7号館3階 天野研究室			
備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	アドバンスト ライティング b	科目名 (英文)	Advanced Writing b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	GH
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ダニエル マリンズ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	アドバンスト ライティングでは、さらに高度な文章構成力・表現力を磨くことを目標とする。卒業研究レポートにもつなげられるように論理的な文章の組み立て方、展開の仕方を学ぶ。
到達目標	英語によるパラグラフライティングの能力を身につけ、ある程度の長さのエッセイを書けるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	英語関連の資格一般

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Research 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Research 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Cooperative writing 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Cooperative writing 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Cooperative writing 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Discussion 1	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Discussion 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Discussion 3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Peer evaluation	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Rewriting	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Semi Final draft	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Final draft	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Review	Feedback session	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Feedback session	・・・	

関連科目	文法、スキルズ トレーニング、イングリッシュ プレゼンテーション、ライティングなど
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Learn The Paragraph (ISBN: 9780071188296)	L. and M. Spaventa	McGraw-Hill
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Writing assignment tasks・・・60% Textbook exercises and weekly journal・・・40%
-----------	---

学生へのメッセージ	In order to pass this course, you must: - attempt all assignments - show evidence of prewriting and editing for each assignment - obtain an average of at least 60% for your best three assignments - not be absent for more than four lessons. Please use lined, B5 looseleaf writing paper (in a slim binder) for all notes and assignments. N.B.: Absence is not an excuse for incomplete homework tasks. Ask a classmate or email the instructor for homework details.
-----------	--

担当者の研究室等	Part-time faculty lounge, Bldg. 7, 2F
----------	---------------------------------------

備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---------------------------------------

科目名	アメリカ史学	科目名(英文)	American History
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	林田 敏子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択 【科目】教科に関する科目(中学校 社会) 【施行規則に定める科目区分】日本史及び外国史 【教員免許状取得のための履修区分】選択 【科目】教科に関する科目(高等学校 地理歴史) 【施行規則に定める科目区分】外国史 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	アメリカ社会のマイノリティとして生きる黒人の歴史に焦点をあてる。アメリカにおける黒人差別は過去の出来事ではけっしてない。それは都市問題や貧困問題に形を変え、今なおアメリカ社会に残っており、そうしたアメリカの姿は国境を越え、日本に住むわれわれにも人種差別問題について多くのことを語ってくれる。さまざまな人種・民族が織り成すアメリカの歴史を、「自由と民主主義の国」の暗部に光をあてることで考えていきたい。
到達目標	18世紀から現代に至るまでのアメリカ合衆国史の流れをつかむとともに、人種問題の歴史的起源とその克服に向けたさまざまな取り組みについて理解を深める。
授業方法と留意点	毎回プリントを配布し、図像史料を活用しながら、板書をまじえて授業をすすめる。
科目学習の効果(資格)	アメリカの歴史に関する基本的知識を身につけるとともに、現代社会を違った角度から読み解く力を養う。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	人種差別の今	『ちびくろサンボ』絶版騒動を考える。	差別的表現の具体例を調べてくる。
2	黒人奴隷制度の対立	奴隷船の恐怖	奴隷制度と奴隷貿易の関係性についてまとめる。
3	独立革命	・黒人兵士 ・合衆国憲法の「矛盾」	独立革命の「革命性」についてまとめる。
4	南部黒人奴隷制社会	・綿花王国の形成 ・日没から夜明けまで	国際的な綿花および綿製品の貿易体制について調べてくる。
5	奴隷制廃止運動の展開	・奴隷制の黙認 ・黙認から廃止へ	黙認から廃止へと転換した契機についてまとめる。
6	南北戦争	・リンカーンの政治公約 ・奴隷解放宣言	リンカーンについて調べてくる。
7	再建の時代	・リンカーンの再建プラン ・「再建の時代」がもたらしたもの	第二次再建法成立までを年表化する。
8	新たな闘い	・KKKの恐怖 ・ジムクロウの成立 ・前半の授業内容を踏まえ、中間テストを実施する。	分離差別とは何か、調べてくる。
9	立ち上がる黒人たち①	・公民権運動の展開 ・中間テストの解説	授業中に紹介した公民権運動に関する文献のなかから一つ選んで読んでくる。
10	立ち上がる黒人たち②	映画『ロング・ウォークホーム』にみるバス・ボイコット運動	公民権運動が残した問題について考える。
11	公民権の獲得	・黒人指導者の登場 ・ワシントン大行進	キング牧師について調べてくる。
12	果てしない道	・ケネディとキング牧師の暗殺 ・ブラックパワー	ブラックパワー運動についてまとめる。
13	移民国家アメリカ	人種問題と移民問題のはざま	アメリカ合衆国が抱える移民問題について、その概要を調べてくる。
14	人種差別の今	現代の黒人問題	「貧困」「格差」「人種」をキーワードに、現代のアメリカ合衆国が抱える社会問題の一つ調べてくる。
15	総括	小テストの実施と解説	全授業内容を復習しておく。

関連科目: ヨーロッパ史学

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	第15回目に実施する小テスト(80%)、中間テスト(10%)、提出物(10%)の結果を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	歴史学とは、過去に起こった事件の年号や偉人の名前を暗記する学問ではありません。過去の出来事を通して、現代社会や未来についての思考力を養うためのものです。積極的に関連文献を読み、講義内容を批判的に摂取するよう心がけてください。
担当者の研究室等	7号館4階(林田研究室)
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間。

科目名	アメリカ文化論	科目名(英文)	American Studies
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	大原 一浩
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	本講義は、19世紀半ばから現在までのアメリカにおけるアジア系の人々の経験を辿り、その歴史的意義を考える。アジア人移住が発生した背景、渡航プロセス、アメリカにおける労働、コミュニティ形成過程、アジア人排斥運動、第二次大戦とアジア人移民への影響、戦後の新しい移民、モデル・マイノリティ神話の意義などを、グローバルな視点から理解することをめざす。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ文化形成におけるアジア系アメリカ人の経験の意義を議論できる。 ・アジア系グループ間の関係、歴史的経験の類似点・相違点を理解できる。 ・テーマを設定し、それについて調べ、効果的に発表できる。 ・アジア系アメリカ人の歴史を学び、身近なエスニシティの問題に意識的になる。
授業方法と留意点	統計・写真・地図などの資料を配布し、それらと合わせて講義を進める。意見交換の場を作るので、受講者の積極的な発言を重視する。また、講義内容の理解を促すため、小クイズも行う。授業内容に多少の変更の可能性があるため初回の授業に必ず出席すること。
科目学習の効果(資格)	<ul style="list-style-type: none"> ・異なるバックグラウンドの人々と生活するために必要な素養を身につける ・証拠を提示しながら自分の議論を展開するスキルを身につける

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	イントロダクション	授業内容と方法の説明	授業内容の復習
2	移住、労働、コミュニティ、排斥	中国人	授業内容の復習
3	移住、労働、コミュニティ、排斥	日本人(ハワイ)	授業内容の復習
4	移住、労働、コミュニティ、排斥	日本人(西海岸)	授業内容の復習
5	アジア系移民女性	パイオニア女性たち	授業内容の復習
6	移住、労働、コミュニティ、排斥	韓国人/レポート中間報告	事前に報告の準備をしておくこと
7	移住、労働、コミュニティ、排斥	インド人/レポート中間報告	事前に報告の準備をしておくこと
8	移住、労働、コミュニティ、排斥	フィリピン人	授業内容の復習
9	移住、労働、コミュニティ、排斥	中国系ほか	授業内容の復習
10	第二次世界大戦とアジア系移民	日系アメリカ人収容	授業内容の復習
11	戦後のアジア系1	冷戦、公民権運動、アジア系運動	授業内容の復習
12	戦後のアジア系2	モデル・マイノリティ神話	授業内容の復習
13	戦後のアジア系3	ベトナム難民ほか	授業内容の復習
14	戦後のアジア系4	21世紀のアジア系	授業内容の復習
15	レポート内容報告	発表とディスカッション	事前に報告の準備をしておくこと

関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>なし。統計・写真・地図などの資料を配布/表示。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	なし。統計・写真・地図などの資料を配布/表示。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	なし。統計・写真・地図などの資料を配布/表示。																
2																	
3																	

参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>アジア系アメリカ人—アメリカの新しい顔</td> <td>村上 由見子</td> <td>中公新書</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Strangers from a Different Shore</td> <td>Ronald Takaki</td> <td>Little, Brown and Company</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	アジア系アメリカ人—アメリカの新しい顔	村上 由見子	中公新書	2	Strangers from a Different Shore	Ronald Takaki	Little, Brown and Company	3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	アジア系アメリカ人—アメリカの新しい顔	村上 由見子	中公新書														
2	Strangers from a Different Shore	Ronald Takaki	Little, Brown and Company														
3																	

評価方法(基準)	平常点(30%)：授業中のパフォーマンス(質問、コメント、リアクション)と講義内容に関するクイズや小エッセイの得点をあわせて評価。 リサーチ・レポート(70%)：アジア系アメリカ人の歴史と文化に関するトピックを選び、それについて調査し、レポートにまとめる。評価の方法は、課題とリサーチ・クエスチョンが設定できていること、必要な文献・資料を準備できること、文献を正しく引用していること、授業で学んだことと関連づけて分析できること、論理的な文章で議論を展開できること、などによる。
学生へのメッセージ	
担当者の研究室等	
備考	

科目名	異文化接触論	科目名(英文)	Cultural Contacts
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	篠原 愛人
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	16世紀はじめ、後に新大陸と呼ばれる土地に住んでいた人びとは、顔つきや言葉、服装も異なる人間と出会った。この異文化接触によってラテンアメリカには独特な文化が生まれるようになった。ただし、異なる文化の接触は過去だけのものではなく、現在なお引き続き進行している現象である。異文化とであったとき、人びとはそれをどのように理解し、どのように自文化と関連付けるのだろうか。本講義では、大航海時代にアメリカ大陸で遭遇した複数の文化がどのように相手を、またその文化を認識し、理解(誤解)したのかを資料を通してなぞっていく。
到達目標	歴史資料の読み方を身につける。異文化理解のさまざまなあり方を知る。
授業方法及び留意点	授業では毎回プリントを配布するが、必要に応じて穴埋めや小レポート等の課題を課す。専用のファイルを用意して資料を管理する必要がある。資料を事前に配布する場合は、よく読んでおくこと。
科目学習の効果(資格)	異文化とは何か、他者とは何かについて考えることをとおして、自文化や自己を相対化する視点を養う。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	中世・ルネサンス時代のヨーロッパと異文化理解	コロンブスほどの世界に出会えると想像していたか	配布資料を読んでおくこと
3	コロンブスの異文化理解(1)	航海日誌などを読む	配布資料を読んでおくこと
4	コロンブスの異文化理解(2)	航海日誌などを読む	配布資料を読んでおくこと
5	アメリカゴ・ヴェスプッチの異文化理解	アメリカゴの書簡を読む	配布資料を読んでおくこと
6	その他の植民者の異文化理解	植民者らの書簡を読む	配布資料を読んでおくこと
7	メソアメリカの人々と文化	ヨーロッパ人到来前のアメリカ大陸に存在していた社会について考える。	配布資料を読んでおくこと
8	メソアメリカの征服	アステカ王国の征服プロセス	配布資料を読んでおくこと
9	征服者の視点(1)	エルナン・コルテスの書簡を読む	配布資料を読んでおくこと
10	征服者の視点(2)	一兵士の報告を読む	配布資料を読んでおくこと
11	精神的征服	カトリックの伝道事業	配布資料を読んでおくこと
12	修道士の視点(1)	修道士の書簡を読む	配布資料を読んでおくこと
13	修道士の視点(2)	修道士の書簡を読む	配布資料を読んでおくこと
14	先住民の視点	先住民文書を読む	配布資料を読んでおくこと
15	おわりに	講義全体のまとめと試験(レポート)に関する手引き	試験(レポート)に備えること

関連科目 ラテンアメリカ史学、現代ラテンアメリカ論、ラテンアメリカの社会と文化

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	プリント		
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)
 (1) 定期試験の実施。
 (2) 授業で指示する小課題(レポート)の達成状況。
 以上を評価基準とし、総合的に成績をつける。

学生へのメッセージ
 異文化との接触を通して、相手を理解しようとするだけでなく、自分をよりよく知ることにつながればいいですね。

担当者の研究室等
 7号館5階(篠原研究室)

備考
 受講生の関心や予備知識によって授業内容を一部変更する可能性がある。

科目名	イングリッシュ プレゼンテーション I b	科目名 (英文)	English Presentation Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	イ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ア'ラッド'リー パークス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	ハンドアウトなどの資料や ICT を用いて、英語でプレゼンテーションを行うためのスキルを修得する。プレゼンテーションを円滑に進めるスキル (身振り、姿勢、話し方など) や発表構成 (導入・展開・結論) を修得する。
到達目標	CEFR-J [A1.1-3] を目標とし、前もって発表原稿を準備すれば、自分に関連する情報 (自己紹介、趣味、関心事、学校、家族・友達に関すること) を簡単な語句や基本構文を用いて発表できるようになる。
授業方法と留意点	学期末に、ハンドアウトや ICT を使って、1人5分程度以上の英語プレゼンテーションを行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Preparation(1) :Analyze your audience	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Preparation(2) :Purpose	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Organization(1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Organization(2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Organization(3)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Delivery (1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Delivery (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Delivery (3)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Rehearsal	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Presentation and peer evaluation (1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Presentation and peer evaluation (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Final presentation and self/peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Final presentation and self/peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Review	Feedback session	...	

関連科目	ドラマ
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking of Speech	Harrington	MacMillan ISBN 13 9780230726024
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、プレゼンテーション、宿題、提出物等) の成績を総合的に評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	Prepare for your future by studying today.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	イングリッシュ プレゼンテーション I b	科目名 (英文)	English Presentation Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ロ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ニール カー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	ハンドアウトなどの資料や ICT を用いて、英語でプレゼンテーションを行うためのスキルを修得する。プレゼンテーションを円滑に進めるスキル (身振り、姿勢、話し方など) や発表構成 (導入・展開・結論) を修得する。
到達目標	CEFR-J [A1.1-3] を目標とし、前もって発表原稿を準備すれば、自分に関連する情報 (自己紹介、趣味、関心事、学校、家族・友達に関すること) を簡単な語句や基本構文を用いて発表できるようになる。
授業方法と留意点	ハンドアウトや ICT を使って、1人5分程度以上の英語プレゼンテーションを行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Unit 1	Posture and Eye Contact	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Unit 2	Gestures	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Unit 3	Voice Inflection	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Unit 4	Effective Visuals	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Unit 5	Explaining Visuals	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Preparing for Presentation1	Preparing your presentation	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Presentation1	Making your presentation in the class	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Unit 6	The Introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Unit 7	The Body	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Unit 8	The Conclusion	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Preparing for Presentation2	Preparing your presentation	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Presentation2	Making your presentation in the class	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Preparing for Final Presentation	Preparing your presentation	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Final Presentation	Making your presentation in the class	・・・	

関連科目	ドラマ
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking of Speech, New Edition	David Harrington and Charles LeBeau	Macmillan
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、プレゼンテーション、宿題、提出物等) の成績を総合的に評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	You will be able to present in a small class, in a comfortable atmosphere, and enjoy improving your speaking skills with some valuable hints on making your presentation exciting. Those who engage wholeheartedly in class activities, who read up on lessons and do their homework will benefit most from this course.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階非常勤講師室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	イングリッシュ プレゼンテーション I b	科目名 (英文)	English Presentation Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ハ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	マシュー クーパー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	ハンドアウトなどの資料や ICT を用いて、英語でプレゼンテーションを行うためのスキルを修得する。プレゼンテーションを円滑に進めるスキル (身振り、姿勢、話し方など) や発表構成 (導入・展開・結論) を修得する。
到達目標	CEFR-J [A1.1-3] を目標とし、前もって発表原稿を準備すれば、自分に関連する情報 (自己紹介、趣味、関心事、学校、家族・友達に関すること) を簡単な語句や基本構文を用いて発表できるようになる。
授業方法と留意点	ハンドアウトや ICT を使って、1人5分程度以上の英語プレゼンテーションを行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises : Structure	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises : Structure	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises : Structure	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises:Audience Analysis	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises:Audience Analysis	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises:Audience Analysis	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises:Delivery	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises:Delivery	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises:Delivery	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises:Giving Presentations	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises:Giving Presentations	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises:Peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises:Peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	ドラマ
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Present Yourself 1 . 2nd edition	Steven Gershon	Cambridge
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、プレゼンテーション、宿題、提出物等) の成績を総合的に評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	英語での主張のために必要な証拠、事実について、それらの効果的な提示の方法について学びます。就職活動、仕事などに役立つ知識として身につけてほしいと思います。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	イングリッシュ プレゼンテーション I b	科目名 (英文)	English Presentation Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ニ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ダニエル マリンズ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	ハンドアウトなどの資料や ICT を用いて、英語でプレゼンテーションを行うためのスキルを修得する。プレゼンテーションを円滑に進めるスキル (身振り、姿勢、話し方など) や発表構成 (導入・展開・結論) を修得する。
到達目標	CEFR-J [A1.1-3] を目標とし、前もって発表原稿を準備すれば、自分に関連する情報 (自己紹介、趣味、関心事、学校、家族・友達に関すること) を簡単な語句や基本構文を用いて発表できるようになる。
授業方法と留意点	ハンドアウトや ICT を使って、1人5分程度以上の英語プレゼンテーションを行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検,

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction.	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Dramatic Poetry Reading	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Dramatic Poetry Reading	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Dramatic Poetry Reading	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Dramatic Poetry Reading Performance	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Storytelling	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Storytelling	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Storytelling	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Storytelling Performance	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Reading Aloud: Children's Picture Books	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Reading Aloud: Children's Picture Books	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Reading Aloud: Children's Picture Books	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Reading Aloud Performances	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Video Feedback	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Course Reflection	...

関連科目	speaking, drama
------	-----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Present Yourself Level 1 Student Book Experiences 2nd Edition (ISBN: 9781107435636)	Gershon, S.	Cambridge University Press
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、プレゼンテーション、宿題、提出物等) の成績を総合的に評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	Learning about and giving presentations can be enjoyable, and students can improve their confidence through giving speeches in English. Students can expect to give at least four to five presentations during the semester. Absence is not an excuse for incomplete homework tasks. Ask a classmate or email the instructor for homework details.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	イングリッシュ プレゼンテーション I b	科目名 (英文)	English Presentation Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ホ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	マーティン オイクル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	ハンドアウトなどの資料や ICT を用いて、英語でプレゼンテーションを行うためのスキルを修得する。プレゼンテーションを円滑に進めるスキル (身振り、姿勢、話し方など) や発表構成 (導入・展開・結論) を修得する。
到達目標	CEFR-J [A1.1-3] を目標とし、前もって発表原稿を準備すれば、自分に関連する情報 (自己紹介、趣味、関心事、学校、家族・友達に関すること) を簡単な語句や基本構文を用いて発表できるようになる。
授業方法と留意点	ハンドアウトや ICT を使って、1人5分程度以上の英語プレゼンテーションを行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	英検、TOEIC

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Informative Speech. Introducing your hometown.	Practice presenting the Informative Speech about your hometown.	Write a short speech about your hometown.
3	Physical message in presentation 1: gestures.	The importance of using the body for communication. DVD episode 2, The Layout Speech.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.
4	The Layout Speech.	Perform the Layout Speech.	Write a Layout Speech about a place you know.
5	Write a Layout Speech about a place you know.	The importance in using voice inflection for emphasis in speech.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.
6	The physical message in presentation 3: gestures and voice inflection.	DVD episode 3, The Demonstration Speech. Practice using gestures and voice inflection in explaining how to make a sandwich.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.
7	The Demonstration Speech.	Perform the Demonstration Speech.	Write a Demonstration Speech about how to do something.
8	The Visual Message 1: effective visuals.	DVD episode 4, Effective Visuals. Using visuals in presentation, such as charts, graphs, photos and diagrams.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.
9	The Visual Message 2, explaining visuals.	DVD episode 5, Explaining visuals. Language to explain visuals in English. Practice explaining graphs.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.
10	The Story Message.	Overview of Introduction, Body and Conclusion of the presentation.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.
11	The Comparison Speech.	Perform the Comparison Speech.	Write a speech comparing two places with graphs.
12	The Effective Introduction.	DVD episode 6, The Introduction.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.
13	The Body of the Presentation.	DVD 7, The Body. Using evidence to prove your statements. Using transitions between main points.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.
14	The Conclusion.	DVD episode 8, The Conclusion. Focus Points. Final Presentation topic and outline.	DVD episode 8, The Conclusion. Focus Points. Final Presentation topic and outline.
15	Final Presentation.	Perform the Final Presentation.	Write Final Presentation.

関連科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking of Speech	David Harrington and Charles LeBeau	MacMillan ISBN: 978-4-7773-6271-4
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Dictionary		
2				
3				

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、プレゼンテーション、宿題、提出物等) の成績を総合的に評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	Learning about and giving presentations can be fun, and students can improve their confidence through giving speeches in English. Students can expect to write five presentations during the semester. Attendance is very important.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	イングリッシュ プレゼンテーション I b	科目名 (英文)	English Presentation Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	へ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	マイケル ハーキー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	ハンドアウトなどの資料や ICT を用いて、英語でプレゼンテーションを行うためのスキルを修得する。プレゼンテーションを円滑に進めるスキル (身振り、姿勢、話し方など) や発表構成 (導入・展開・結論) を修得する。
到達目標	CEFR-J [A1.1-3] を目標とし、前もって発表原稿を準備すれば、自分に関連する情報 (自己紹介、趣味、関心事、学校、家族・友達に関すること) を簡単な語句や基本構文を用いて発表できるようになる。
授業方法と留意点	ハンドアウトや ICT を使って、1人5分程度以上の英語プレゼンテーションを行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises : Description and Layout	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises : Description and Layout	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises : Description and Layout	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises:Definition, Comparison and Contrast	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises:Definition, Comparison and Contrast	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises:Definition, Comparison and Contrast	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises:Visual Support Materials	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises:Visual Support Materials	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises:Visual Support Materials	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises:Giving Presentations	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises:Giving Presentations	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises:Peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises:Peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	ドラマ
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、プレゼンテーション、宿題、提出物等) の成績を総合的に評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	The quality of your voice and pronunciation is just as important as the content of your speech. Audiences listen to passionate speakers. Let's present from the heart.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館3階 Herke 研究室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	イングリッシュ プレゼンテーションⅡ a	科目名 (英文)	English Presentation IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	ニ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ジョン カール
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	The aim of this course is to introduce basic presentation skills. The focus will be on the steps of organizing a presentation. These include providing a clear introduction; going through a series of points; providing clear examples. The aim of this course is to improve presentation skills.																																																																		
到達目標	Students will get skills necessary to make a clear presentation with appropriate examples.																																																																		
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.																																																																		
科目学習の効果(資格)	英検																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Interview: House & Home</td> <td>Interview</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>House & Home Presentation Preparation</td> <td>Write presentation, prepare visual aids</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>House & Home Presentation Practice</td> <td>Presentation Practice</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Presentation: House & Home</td> <td>Students give their Presentations</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Interview: Work</td> <td>Interview</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Work Presentation Preparation</td> <td>Write presentation, prepare visual aids</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Presentation: Work</td> <td>Students give their Presentations</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Interview: Dating</td> <td>Interview</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Dating Presentation Preparation</td> <td>Write presentation, prepare visual aids</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Presentation: Dating</td> <td>Students give their Presentations</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Interview: TV</td> <td>Interview</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>TV Presentation Preparation</td> <td>Write presentation, prepare visual aids</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Presentation: TV</td> <td>Students give their Presentations</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Conversation Test Practice</td> <td>Students talk about various topics from the semester</td> <td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>Conversation Test</td> <td>Pair conversation test</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Interview: House & Home	Interview	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	2	House & Home Presentation Preparation	Write presentation, prepare visual aids	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	3	House & Home Presentation Practice	Presentation Practice	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	4	Presentation: House & Home	Students give their Presentations	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	5	Interview: Work	Interview	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	6	Work Presentation Preparation	Write presentation, prepare visual aids	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	7	Presentation: Work	Students give their Presentations	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	8	Interview: Dating	Interview	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	9	Dating Presentation Preparation	Write presentation, prepare visual aids	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	10	Presentation: Dating	Students give their Presentations	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	11	Interview: TV	Interview	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	12	TV Presentation Preparation	Write presentation, prepare visual aids	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	13	Presentation: TV	Students give their Presentations	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	14	Conversation Test Practice	Students talk about various topics from the semester	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	15	Conversation Test	Pair conversation test	...
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Interview: House & Home	Interview	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
2	House & Home Presentation Preparation	Write presentation, prepare visual aids	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
3	House & Home Presentation Practice	Presentation Practice	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
4	Presentation: House & Home	Students give their Presentations	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
5	Interview: Work	Interview	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
6	Work Presentation Preparation	Write presentation, prepare visual aids	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
7	Presentation: Work	Students give their Presentations	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
8	Interview: Dating	Interview	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
9	Dating Presentation Preparation	Write presentation, prepare visual aids	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
10	Presentation: Dating	Students give their Presentations	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
11	Interview: TV	Interview	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
12	TV Presentation Preparation	Write presentation, prepare visual aids	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
13	Presentation: TV	Students give their Presentations	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
14	Conversation Test Practice	Students talk about various topics from the semester	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																																
15	Conversation Test	Pair conversation test	...																																																																
関連科目	speaking, drama																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	60% Presentations 10% Homework, Prints & Notebook 15% Participation 15% Conversation Test																																																																		
学生へのメッセージ	自分の考えをわかりやすく人に伝えることは、日本語でも簡単ではありません。英語でそれをするに戸惑う人もいるかもしれませんが、少しずつ慣れていくしかありません。英語の話し上手を目指して着実にレベルアップしていきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室																																																																		
備考	Students must bring class prints to every class. Students also need to keep a notebook and folder for this class. 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。																																																																		

科目名	イングリッシュ プレゼンテーションⅡ a	科目名 (英文)	English Presentation IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	ホ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	スコット ライリー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	The aim of this course is to introduce basic presentation skills. The initial focus of this course will be on the first steps of organizing a presentation. Students will learn how to provide a clear introduction; go through a series of points; providing clear examples.
到達目標	Students will get skills necessary to make a clear presentation with appropriate examples.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.

科目学習の効果(資格)

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
2	Exercises : Structure	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Exercises : Structure	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises : Structure	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises:Audience Analysis	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises:Audience Analysis	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises:Audience Analysis	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises:Delivery	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises:Delivery	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises:Delivery	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises:Giving Presentations	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Exercises:Giving Presentations	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Exercises:Peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Exercises:Peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Feedback session	...

関連科目

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Present Yourself 1 2nd Edition ISBN 9781107435636	Steven Gershon	Cambridge University Press
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	Class Work 30% Presentations 40% Quizzes 10% Homework 20%
-----------	--

学生へのメッセージ 「伝わる」プレゼンテーションを行うには、コツが必要です。授業を通してそのコツを学び、常に聞き手を意識した発表ができるようにしましょう。

担当者の研究室等 7号館2階 非常勤講師室

備考 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	イングリッシュ プレゼンテーションⅡ a	科目名 (英文)	English Presentation IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	へ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	崎 ミチアン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	The objective of this course is to learn the basics of speech presentation. Upon the completion of the course, students should have the verbal, physical and visual skills to give a presentation in any language.
到達目標	Students who are successful in this course will have learnt how to create and perform a speech in English, using basic skills such as eye-contact, presentation voice, non-verbal communication skills (expression, gestures, etc.), inflection and creating effective visuals for their presentations.
授業方法と留意点	Students will write five presentations and present them in class. In addition to textbook study, an instructional DVD will be regularly used to watch presentation skills being performed. Attendance, pair/group work, in-class presentations and homework assignments are very important to succeed in this course.
科目学習の効果(資格)	Presentation skills, public speaking.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction.	Class overview. Introducing the physical message. DVD episode 1, The Informative Speech.	No preparation required.
	2	Informative Speech. Introducing your hometown.	Practice presenting the Informative Speech about your hometown.	Write a short speech about your hometown.
	3	Physical message in presentation 1: gestures.	The importance of using the body for communication. DVD episode 2, The Layout Speech.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.
	4	The Layout Speech.	Perform the Layout Speech.	Write a Layout Speech about a place you know.
	5	Physical message in presentation 2: voice inflection.	The importance in using voice inflection for emphasis in speech.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.
	6	The physical message in presentation 3: gestures and voice inflection.	DVD episode 3, The Demonstration Speech. Practice using gestures and voice inflection in explaining how to make a sandwich.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.
	7	The Demonstration Speech.	Perform the Demonstration Speech.	Write a Demonstration Speech about how to do something.
	8	The Visual Message 1: effective visuals.	DVD episode 4, Effective Visuals. Using visuals in presentation, such as charts, graphs, photos and diagrams.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.
	9	The Visual Message 2, explaining visuals.	DVD episode 5, Explaining visuals. Language to explain visuals in English. Practice explaining graphs.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.
	10	The Story Message.	Overview of Introduction, Body and Conclusion of the presentation.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.
	11	The Comparison Speech.	Perform the Comparison Speech.	Write a speech comparing two places with graphs.
	12	The Effective Introduction.	DVD episode 6, The Introduction.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.
	13	The Body of the Presentation.	DVD 7, The Body. Using evidence to prove your statements. Using transitions between main points.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.
	14	The Conclusion.	DVD episode 8, The Conclusion. Focus Points. Final Presentation topic and outline.	Final Presentation topic and outline.
15	Final Presentation.	Perform the Final Presentation.	Write Final Presentation.	

関連科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	Student grades are based on the students' own written and performed presentations, homework, active in-class participation and attendance.
学生への	Learning about and giving presentations can be fun, and students can improve their confidence through giving speeches in English. Students

メッセージ	can expect to write five presentations during the semester. Attendance, pair/group work, and the submission of in-class and homework assignments are very important.
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師控室
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	イングリッシュ プレゼンテーションⅡa	科目名(英文)	English Presentation IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	イ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	マーティン オイクル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	This course is a continuation of 1st year Presentation 1. In this course we will look at six additional presentations: The Option Presentation, The Proposal Presentation, The Sales Presentation, The Technical Presentation, The Academic Presentation and The Team Presentation.
到達目標	Students will further learn and refine presentation skills through writing and presenting various topics.
授業方法と留意点	Students can expect to write and present six presentations. It is expected that students entering this course have completed the 1st year presentation course.
科目学習の効果(資格)	Upon completion of this course, students should have a strong understanding and ability to present in any language.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction. Class overview.	Introduction. Class overview.	No preparation required.
	2	Unit 1. What are the Options?	The Option Presentation.	Pages 1-11.
	3	Unit 2. What are the Options? Performance.	Performing the Option Presentation.	Pages 12-14.
	4	Unit 3. Job Hunting.	The Proposal Presentation.	Pages 15-25.
	5	Unit 4. Job Hunting. Performance.	Performing the Proposal Presentation.	Pages 26-28.
	6	Unit 5. Have I Got Your Interest?	The Sales Presentation.	Pages 29-39.
	7	Unit 6. Have I Got Your Interest? Performance.	Performing the Sales Presentation.	Pages 40-42.
	8	Unit 7. Technical Problems.	The Technical Presentation.	Pages 43-53.
	9	Unit 8. Technical Problems. Performance.	Performing the Technical Presentation.	Pages 54-56.
	10	Unit 9. Cite Your Source!	The Academic Presentation.	Pages 57-67.
	11	Unit 10. Cite Your Source! Performance.	Performing the Academic Presentation.	Pages 68-70.
	12	Unit 11. Creative Innovations.	The Team Presentation.	Pages 71-81.
	13	Unit 11. Creative Innovations. Performance.	Performing the Team Presentation.	Pages 82-85.
	14	Review.	Review.	Review.
15	Final Presentations.	Final Presentations.	Prepare for final presentation.	

関連科目	Presentation 1
------	----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking of Speech 2	Charles LeBeau	MacMillan Languagehouse ISBN: 978477365159
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Dictionary		
	2			
	3			

評価方法(基準)	Grades are based on student presentations, homework, class participation and attitude. Attendance is considered very important.
----------	---

学生へのメッセージ	This is a continuation of Presentation 1, 1st year. Students should have taken Presentation 1 before entering this course.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階非常勤講師室
----------	-------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	イングリッシュ プレゼンテーションⅡa	科目名(英文)	English Presentation IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	ロ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	家口 美智子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<p>人前でプレゼンするときが一番大事なことは、「聞き手が理解できること」です。そして二番めに大事なことは「聞き手が楽しむことができること」です。これは日本語であれ、英語であれ共通の鉄則です。英語で行うときは話し手にとっても聞き手にとっても外国語ですから、「わかりやすく」「面白く」することはより大事です。</p> <p>本授業ではどうやれば「わかりやすい」「面白い」プレゼンを行うことができるかを学ぶ。</p>																																																																		
到達目標	<p>*人前でメモを見ないで、自分の言葉でプレゼンできるようになる。</p> <p>*レシテーションを、感情を込めて行えるようになる。</p> <p>*論理的に話せるようになる。</p> <p>*英語をfluentに話すことを目指す。</p>																																																																		
授業方法と留意点	<p>授業は以下の要領で行う。</p> <p>1. レシテーション 2. プレゼンの原理説明 3. プレゼン</p> <p>しっかり準備を行って授業にのぞむこと。レシテーション・プレゼンはすべて合格しないとイケない。1回でも合格していないと単位を与えない。</p>																																																																		
科目学習の効果(資格)																																																																			
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Introduction.</td> <td>Learning about posture and eye contact. Introduction to making an Informative Speech</td> <td>No preparation required.</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>The physical Message in Presentation 1</td> <td>Recitation, explanation Write first draft of your speech</td> <td>Preparation for recitation (1h)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>The Physical Message in Presentation 2</td> <td>Recitation, explanation How to use Power Point</td> <td>Preparation for recitation and presentation (1h)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>The Physical Message in Presentation 3</td> <td>Recitation, presentation,</td> <td>Preparation for recitation and presentation (1h)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Informative Presentation</td> <td>Recitation, presentation</td> <td>Preparation for recitation and presentation (1h)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>The Visual Message 1</td> <td>Recitation, presentation</td> <td>Preparation for recitation and presentation (1h)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>The Visual Message 2</td> <td>Recitation, presentation</td> <td>Preparation for recitation and presentation (1h)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>The Visual Message 3</td> <td>Recitation, presentation</td> <td>Preparation for recitation and presentation (1h)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Layout Presentation</td> <td>Recitation, presentation</td> <td>Preparation for recitation and presentation (1h)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>The Story Message 1</td> <td>Recitation, presentation</td> <td>Preparation for recitation and presentation (1h)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>The Story Message 2</td> <td>Recitation, presentation</td> <td>Preparation for recitation and presentation (1h)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>The Story Message 3</td> <td>Recitation, presentation</td> <td>Preparation for recitation and presentation (1h)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>The Story Message 4</td> <td>Recitation, presentation</td> <td>Preparation for recitation and presentation (1h)</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Demonstration Presentation</td> <td>Perform the Final Presentation.</td> <td>Preparation for recitation and presentation (1h)</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>Make Up Presentations/ Review</td> <td>Perform the Final Presentation</td> <td>Preparation for recitation and presentation (1h)</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	Introduction.	Learning about posture and eye contact. Introduction to making an Informative Speech	No preparation required.	2	The physical Message in Presentation 1	Recitation, explanation Write first draft of your speech	Preparation for recitation (1h)	3	The Physical Message in Presentation 2	Recitation, explanation How to use Power Point	Preparation for recitation and presentation (1h)	4	The Physical Message in Presentation 3	Recitation, presentation,	Preparation for recitation and presentation (1h)	5	Informative Presentation	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)	6	The Visual Message 1	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)	7	The Visual Message 2	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)	8	The Visual Message 3	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)	9	Layout Presentation	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)	10	The Story Message 1	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)	11	The Story Message 2	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)	12	The Story Message 3	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)	13	The Story Message 4	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)	14	Demonstration Presentation	Perform the Final Presentation.	Preparation for recitation and presentation (1h)	15	Make Up Presentations/ Review	Perform the Final Presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction.	Learning about posture and eye contact. Introduction to making an Informative Speech	No preparation required.																																																																
2	The physical Message in Presentation 1	Recitation, explanation Write first draft of your speech	Preparation for recitation (1h)																																																																
3	The Physical Message in Presentation 2	Recitation, explanation How to use Power Point	Preparation for recitation and presentation (1h)																																																																
4	The Physical Message in Presentation 3	Recitation, presentation,	Preparation for recitation and presentation (1h)																																																																
5	Informative Presentation	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)																																																																
6	The Visual Message 1	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)																																																																
7	The Visual Message 2	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)																																																																
8	The Visual Message 3	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)																																																																
9	Layout Presentation	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)																																																																
10	The Story Message 1	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)																																																																
11	The Story Message 2	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)																																																																
12	The Story Message 3	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)																																																																
13	The Story Message 4	Recitation, presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)																																																																
14	Demonstration Presentation	Perform the Final Presentation.	Preparation for recitation and presentation (1h)																																																																
15	Make Up Presentations/ Review	Perform the Final Presentation	Preparation for recitation and presentation (1h)																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	<p>Presentations 40%</p> <p>Recitation 40%</p> <p>Homework 20%</p>																																																																		
学生へのメッセージ	<p>プレゼンは就活でも求められることがあります。人を飽きさせない面白いプレゼンをやれるようになりましょう。</p>																																																																		
担当者の研究室等	<p>7号館4F</p>																																																																		
備考	<p>Skype教材 3,200円 (初回授業のときに説明する)</p> <p>配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。</p>																																																																		

科目名	イングリッシュ プレゼンテーションⅡ a	科目名 (英文)	English Presentation IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	ハ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	サトラー マイケル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	This course follows on from 1st year Presentation 1 and is designed to further develop presentation skills. In this course we will cover 6 additional presentations: the Option presentation, the Proposal presentation, the Sales presentation, the technical presentation, the Academic presentation, and the Team presentation.
到達目標	Students will further develop and refine presentation skills through writing and presenting various topics.
授業方法と留意点	Regular attendance, active participation, and assignments (written homework, oral presentations, etc.) in every class are the three important requirements to succeed in this course. During the course, students will write and present six presentations. It is expected that students who enrol in this course have already completed the first year presentation course.
科目学習の効果 (資格)	After completing this course, students will have gained a deeper understanding of what constitutes an effective presentation, and also the confidence and skills to present to an audience.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction and class overview.	Introduction and class overview.	No preparation required
	2	Unit 1 What are the options?	The Option presentation.	pages 1-11
	3	Unit 2 What are the options? Performance.	Perform the Option presentation.	pages 12-14
	4	Unit 3 Job hunting.	The Proposal presentation.	pages 15-25
	5	Unit 4 Job hunting. Performance.	Perform the Proposal presentation.	pages 26-28
	6	Unit 5 Have I got your interest?	The sales presentation.	pages 29-39
	7	Unit 6 Have I got your interest? Performance.	Perform the Sales presentation.	pages 40-42
	8	Unit 7 Technical problems.	The Technical presentation.	pages 43-53
	9	Unit 8 Technical problems. Performance.	Perform the Technical presentation.	pages 54-56
	10	Unit 9 Cite your source!	The Academic presentation.	pages 57-67
	11	Unit 10 Cite your source! Performance.	Perform the Academic presentation.	pages 68-70
	12	Unit 11 Creative innovations.	The Team presentation	pages 71-81
	13	Unit 12 Creative innovations. Performance.	Perform the Team presentation.	pages 82-85
	14	Review	Review	Review
15	Final Presentations.	Final Presentations.	Final Presentations.	

関連科目	Writing a , b Speaking I, II Drama I, II
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking of Speech Level 2: Basic Skills for Academic and Professional Presentations ISBN 978-4-7773-6515-9	Charles LeBeau	macmillan education
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Dictionary		
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業中の参加態度、提出課題、プレゼンテーション演習などを総合評価します。第1回目授業時に、評価の配分、発表会スケジュールなどについての詳しい説明を行います。
-----------	--

学生へのメッセージ	Grades are based on participation in class, student presentations, homework, and overall attitude. Regular attendance is considered very important.
-----------	---

学生へのメッセージ	All students taking this course are expected to participate actively in class, work together in groups with classmates and discuss and offer peer feedback when practicing presentation skills in class. Students should try to use English as much as possible, be courteous to one another and to the teacher, and demonstrate a co-operative attitude to learning. Habitual lateness, sleeping in class, forgetting to bring the textbook, using cell phones except as a learning aid, are examples of unacceptable behaviour and repeat offenders will incur a lower grade and may find it difficult to pass this course. Homework will sometimes be assigned for grading purposes and students are expected to do the homework at home, by themselves, and submit it when it is due.
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	イングリッシュ プレゼンテーションⅡb	科目名(英文)	English Presentation IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	ニ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	崎 ミチアキ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	The aim of this course is to introduce basic presentation skills. The focus will be on the steps of organizing a presentation. These include providing a clear introduction; going through a series of points; providing clear examples. The aim of this course is to improve presentation skills.
到達目標	Students who succeed in the course will have learned basic presentation skills in English (eye-contact, non-verbal communication skills, expression, presentation voice, inflection, etc.).
授業方法と留意点	Regular attendance, active participation in every class and submission of assignments (written homework, in-class presentation practice, quizzes, etc.) are the important requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目: grammar, skills training, speaking

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準): In-class group work (毎回) 50%、授業中の発表、課題提出など50%を合わせて評価する。

学生へのメッセージ: Students are expected to work together with each other in every class, discuss and provide peer feedback to their partner or group members. Students will perform both individual and group presentations in class. Active participation in every class is strongly encouraged and expected.

担当者の研究室等: 7号館2階 非常勤講師控室

備考: 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	イングリッシュ プレゼンテーションⅡb	科目名(英文)	English Presentation IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	ホ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ジョン カール
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	The aim of this course is to introduce basic presentation skills. The focus will be on the steps of organizing a presentation. These include providing a clear introduction; going through a series of points; providing clear examples. The aim of this course is to improve presentation skills.
到達目標	Students will get skills necessary to make a clear presentation with appropriate examples.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
科目学習の効果(資格)	英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Interview: Travel (Summer)	Interview	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Travel Presentation Preparation	Write presentation, prepare visual aids	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Travel Presentation Practice	Presentation Practice	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Presentation: Travel	Students give their Presentations	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Interview: Movies	Interview	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Movies Presentation Preparation	Write presentation, prepare visual aids	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Presentation: Movies	Students give their Presentations	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Interview: Sports	Interview	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Sports Presentation Preparation	Write presentation, prepare visual aids	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Presentation: Sports	Students give their Presentations	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Interview: Restaurants	Interview	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Restaurants Presentation Preparation	Write presentation, prepare visual aids	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Presentation: Restaurants	Students give their Presentations	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Conversation Test Practice	Students talk about various topics from the semester	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Conversation Test	Pair conversation test	...	

関連科目	speaking, drama
------	-----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	60% Presentations 10% Homework, Prints & Notebook 15% Participation 15% Conversation Test
----------	--

学生へのメッセージ	自分の考えをわかりやすく人に伝えることは、日本語でも簡単ではありません。英語でそれをするに戸惑う人もいるかもしれませんが、少しずつ慣れていくしかありません。英語の話し上手を目指して着実にレベルアップしていきましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	Students must bring class prints to every class. Students also need to keep a notebook and folder for this class. 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	イングリッシュ プレゼンテーションⅡb	科目名(英文)	English Presentation IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	へ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	スコット ライリー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	The aim of this course is to introduce basic presentation skills. The initial focus of this course will be on the first steps of organizing a presentation. Students will learn how to provide a clear introduction; go through a series of points; providing clear examples.
到達目標	Students will get skills necessary to make a clear presentation with appropriate examples.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
科目学習の効果(資格)	英検・TOEIC・TOEFL

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
2	Exercises: Structure	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Exercises: Structure	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises: Structure	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises: Audience Analysis	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises: Audience Analysis	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises: Audience Analysis	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises: Delivery	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises: Delivery	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises: Delivery	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises: Giving Presentations	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Exercises: Giving Presentations	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Exercises: Peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Exercises: Peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Feedback session	...

関連科目	speaking, drama
------	-----------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Present Yourself 1 2nd Edition ISBN 9781107435636	Steven Gershon	Cambridge University Press
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	Class Work 30% Presentations 40% Homework 20% Quizzes 10%
----------	--

学生へのメッセージ	「伝わる」プレゼンテーションを行うには、コツが必要です。授業を通してそのコツを学び、常に聞き手を意識した発表ができるようにしましょう。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	イングリッシュ プレゼンテーションⅡb	科目名(英文)	English Presentation IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	イ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	齋藤 安以子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目(中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目(高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	自分で選んだトピックについて調査し、独自の英語のプレゼンテーションを準備・実践する。また、発表の際、聴衆からの英語の質問に対応することも学ぶ。
到達目標	・内容を効果的に構成・配置する技術の基礎を身につける。 ・英語を使って音声で効果的にメッセージを伝える技術の基礎を身につける。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Preparation(1) :Analyze your audience	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Preparation(2) :Purpose	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Organization(1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Organization(2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Organization(3)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Delivery (1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Delivery (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Delivery (3)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Rehearsal	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Presentation and peer evaluation (1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Presentation and peer evaluation (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Final presentation and self/peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Final presentation and self/peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Review	Feedback session	...

関連科目	Writing a, b Speaking I, II Drama I, II
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	active participation of each class 40% presentations during the course 60%
----------	---

学生へのメッセージ	日本語でも英語でも思っていることを相手に伝えるには、意識的なトレーニングと、数多い「本番」が必要です。授業の外でも、チャンスを自分で探して、人前で話してみましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階齋藤研究室
----------	------------

備考	必ず辞書を持参のこと。 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	イングリッシュ プレゼンテーションⅡb	科目名(英文)	English Presentation IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	ロ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ニール カー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	The initial focus will be on the first steps of organizing a presentation. These include providing a clear introduction; going through a series of points; providing clear examples. The aim of this course is to introduce basic presentation skills.
到達目標	Students will get skills necessary to make a clear presentation with appropriate examples.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Unit 1	Posture and Eye Contact	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Unit 2	Gestures	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Unit 3	Voice Inflection	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Unit 4	Effective Visuals	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Unit 5	Explaining Visuals	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Preparing Presentation1 for	Preparing your presentation	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Presentation1	Making your presentation in the class	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Unit 6	The Introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Unit 7	The Body	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Unit 8	The Conclusion	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Preparing Presentation2 for	Preparing your presentation	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Presentation2	Making your presentation in the class	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Preparing for Final Presentation	Preparing your presentation	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Final Presentation	Making your presentation in the class	・・・	

関連科目	speaking, drama
------	-----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking of Speech, New Edition	David Harrington and Charles LeBeau	Macmillan
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	Presentation 40% Class Participation 30% Attitude 30%
----------	---

学生へのメッセージ	You will be able to present in a small class, in a comfortable atmosphere, and enjoy improving your speaking skills with some valuable hints on making your presentation exciting. Those who engage wholeheartedly in class activities, who read up on lessons and do their homework will benefit most from this course.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階非常勤講師室
----------	-------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	イングリッシュ プレゼンテーションⅡb	科目名(英文)	English Presentation IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	ハ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	スマザース 理恵
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	The initial focus will be on the first steps of organizing a presentation. These include providing a clear introduction; going through a series of points; providing clear examples. The aim of this course is to introduce basic presentation skills.
到達目標	The purpose of this lecture is to make presentations which can attract audiences' interests. In order to do so, it is needed to make sure that you master the basic grammar and expressions in English.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	英検・TOEIC・TOEFL

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises: Structure	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises: Structure	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises: Structure	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises: Audience Analysis	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises: Audience Analysis	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises: Audience Analysis	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises: Delivery	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises: Delivery	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises: Delivery	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises: Giving Presentations	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises: Giving Presentations	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises: Giving Presentations	Individual task, pair work, and group work	Students should prepare thier own presentations.
	14	Exercises: Peer evaluation	Making presentations	Students should prepare thier own presentations.
15	Exercises: Peer evaluation	Making presentations	...	

関連科目	speaking, drama
------	-----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	In-class?activities, ?participation, ?attitude, ?timeliness 20% Homework?and?preparation 20% Presentations 40%
----------	--

学生へのメッセージ	「伝わる」プレゼンテーションを行うには、コツが必要です。授業を通してそのコツを学び、常に聞き手を意識した発表ができるようにしましょう。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	English Language Teaching	科目名(英文)	English Language Teaching
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	齋藤 安以子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	日本の小学生および中学生等の初級英語学習者を対象に、英語で英語を教える具体的な方法について学びます。母国語を介した外国語学習以外の方法を体験しながら理解するのが目的です。
到達目標	・外国語教育には学習者の第一言語を使っても、学習言語だけを使っても、どちらの方法にも長所や利点があるので、複数の教え方を使い分けできるようにしましょう。今の在学生のみなさんの多くは、第一言語を併用して学習言語を学んだ人たちが多く、授業では主に「英語で英語を学ぶ」初級の授業の仕組みを扱います。
授業方法と留意点	講義・演習・ディスカッションを併用します。 小学校教員志望、または外国語教育の教職課程を履修中の学生に、特に勧めます。また、海外インターンシップで日本語教育や幼稚園実習などを希望している場合も役にたつでしょう。
科目学習の効果(資格)	・教員免許取得を目指す学生にとっては、教育実習で会う生徒を理解する助けとして。 ・教員志望以外の学生にとっては、年下の子供たちが、自分とは異なる外国語教育を受けて育っている、というジェネレーションギャップを理解し、卒業後の仕事に生かす。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	学習言語と学習者の第一言語	講義・ディスカッション	ディスカッション内容をふりかえり、文字でまとめる
	2	教室で使う教員の言葉(1)	Classroom English と その目的・使い方を学ぶ演習：新出語彙の場合	自分が受けている言語科目を注意深く観察し、教員が使う言葉を記録する。
	3	教室で使う教員の言葉(2)	Classroom English と その目的・使い方を学ぶ演習：既習語彙の復習の場合	自分が受けている言語科目を注意深く観察し、教員が使う言葉を記録する。
	4	説明しない教え方(1)	言葉で説明しないで、見せて伝える方法を学ぶ演習：名詞	復習
	5	説明しない教え方(2)	言葉で説明しないで、見せて伝える方法を学ぶ演習：動詞	復習
	6	説明しない教え方(3)	言葉で説明しないで、見せて伝える方法を学ぶ演習：形容詞	復習
	7	ゲームで「習った外国語を使う」機会を増やす(1)	少ない語彙でできるゲーム：ルール紹介から、ゲーム本番まで	復習
	8	ゲームで「習った外国語を使う」機会を増やす(2)	少ない道具でできるゲーム：ルール紹介から、ゲーム本番まで	復習
	9	ゲームで「習った外国語を使う」機会を増やす(3)	人数が定まらなくてもできるゲーム：ルール紹介から、ゲーム本番まで	復習
	10	教材作り(1)	授業の目的と教材のデザインについて：講義とサンプル分析	復習・次回の材料集め
	11	教材作り(2)	実用に向けて考えるべき色と形、材質について：講義とサンプル分析	次回の材料集め
	12	教材作り(3)	目的に合わせて、教材を作る：演習	作った教材の仕上げ
	13	試作した教材を使ってみよう(1)	前回作った教材を使った授業を考える：演習	再考と試作品を扱う練習
	14	試作した教材を使ってみよう(2)	作った教材での授業を披露する：発表	復習
	15	まとめ	これまでの授業の振り返りと、講義内容への質疑応答	筆記テスト準備

関連科目	すべての言語科目
------	----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	NHK プレキシ英語 (番組とNHKのHP参照)	NHK	
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業中の学習活動への積極的な参加 50% 実技と筆記のテスト 50%
学生へのメッセージ	人は、自分が体験してきた学び方を中心に物事を考えがちですが、同じ目的(ここでは言語学習)をちがう方法で叶えることもできます。実際に体験しながら、学んでいきましょう。
担当者の研究室等	7号館4階 齋藤研究室
備考	復習や教材作成のための材料収集などにかかる事前事後学習総時間を15時間程度とする。

科目名	インドネシア・マレー語圏概論	科目名(英文)	A Survey of the Indonesian-Malay Language Speaking World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	前期	授業担当者	森田 良成
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア・マレー語圏の文化、社会、歴史、経済、政治についての基礎的な知識を習得し、そのうえで各地域における人びとの生活の多様性と共通性について考える。インドネシアとマレーシアが話題の中心になるが、あわせて他の東南アジア諸国についても基礎的な情報を紹介する。																																																																		
到達目標	将来、自らの関心に従ってテーマを見つけて研究を進めるための基礎的な知識を得る。インドネシア・マレー語圏の人々の現在の生活を、われわれの日常と地続きのものとして理解する。																																																																		
授業方法と留意点	各時間ごとに、感想や、こちらが提示する質問についての考えを書いてもらう。																																																																		
科目学習の効果(資格)																																																																			
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>イントロダクション</td> <td>授業内容、授業の進め方、評価基準等について説明</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>東南アジア諸国の基礎知識 1</td> <td>東南アジアの地理的特徴</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>東南アジア諸国の基礎知識 2</td> <td>東南アジア諸国の政治・経済・文化的特徴</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>信仰 1</td> <td>イスラム教の基礎知識</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>信仰 2</td> <td>イスラム教、およびキリスト教など他の宗教の基礎知識</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>西洋との出会い 1</td> <td>諸王国の歴史</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>西洋との出会い 2</td> <td>「香料諸島」の歴史</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>植民地支配と独立</td> <td>東南アジア各国における植民地支配の歴史と独立の過程</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>インドネシア政治史 1</td> <td>植民地支配と独立、独立後</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>インドネシア政治史 2</td> <td>スカルノとスハルト</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>インドネシアの現在</td> <td>民族、経済、文化</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>マレーシア政治史 1</td> <td>植民地支配と独立、独立後</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>マレーシア政治史 2</td> <td>ラーマンとマハティール</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>マレーシアの現在 + テスト</td> <td>民族、経済、文化 + 自由記述形式のテストを行う</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>まとめ</td> <td>授業全体のまとめ</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	授業内容、授業の進め方、評価基準等について説明	関連する文献を紹介するので読むこと。	2	東南アジア諸国の基礎知識 1	東南アジアの地理的特徴	関連する文献を紹介するので読むこと。	3	東南アジア諸国の基礎知識 2	東南アジア諸国の政治・経済・文化的特徴	関連する文献を紹介するので読むこと。	4	信仰 1	イスラム教の基礎知識	関連する文献を紹介するので読むこと。	5	信仰 2	イスラム教、およびキリスト教など他の宗教の基礎知識	関連する文献を紹介するので読むこと。	6	西洋との出会い 1	諸王国の歴史	関連する文献を紹介するので読むこと。	7	西洋との出会い 2	「香料諸島」の歴史	関連する文献を紹介するので読むこと。	8	植民地支配と独立	東南アジア各国における植民地支配の歴史と独立の過程	関連する文献を紹介するので読むこと。	9	インドネシア政治史 1	植民地支配と独立、独立後	関連する文献を紹介するので読むこと。	10	インドネシア政治史 2	スカルノとスハルト	関連する文献を紹介するので読むこと。	11	インドネシアの現在	民族、経済、文化	関連する文献を紹介するので読むこと。	12	マレーシア政治史 1	植民地支配と独立、独立後	関連する文献を紹介するので読むこと。	13	マレーシア政治史 2	ラーマンとマハティール	関連する文献を紹介するので読むこと。	14	マレーシアの現在 + テスト	民族、経済、文化 + 自由記述形式のテストを行う	関連する文献を紹介するので読むこと。	15	まとめ	授業全体のまとめ	関連する文献を紹介するので読むこと。
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション	授業内容、授業の進め方、評価基準等について説明	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
2	東南アジア諸国の基礎知識 1	東南アジアの地理的特徴	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
3	東南アジア諸国の基礎知識 2	東南アジア諸国の政治・経済・文化的特徴	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
4	信仰 1	イスラム教の基礎知識	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
5	信仰 2	イスラム教、およびキリスト教など他の宗教の基礎知識	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
6	西洋との出会い 1	諸王国の歴史	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
7	西洋との出会い 2	「香料諸島」の歴史	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
8	植民地支配と独立	東南アジア各国における植民地支配の歴史と独立の過程	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
9	インドネシア政治史 1	植民地支配と独立、独立後	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
10	インドネシア政治史 2	スカルノとスハルト	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
11	インドネシアの現在	民族、経済、文化	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
12	マレーシア政治史 1	植民地支配と独立、独立後	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
13	マレーシア政治史 2	ラーマンとマハティール	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
14	マレーシアの現在 + テスト	民族、経済、文化 + 自由記述形式のテストを行う	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
15	まとめ	授業全体のまとめ	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
関連科目	インドネシア・マレー語関係科目および東南アジア関係の講義科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>東南アジアを知る事典</td> <td></td> <td>平凡社</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>民族大国インドネシア-文化継承とアイデンティティ</td> <td>鏡味治也編</td> <td>木犀社</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	東南アジアを知る事典		平凡社	2	民族大国インドネシア-文化継承とアイデンティティ	鏡味治也編	木犀社	3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	東南アジアを知る事典		平凡社																																																																
2	民族大国インドネシア-文化継承とアイデンティティ	鏡味治也編	木犀社																																																																
3																																																																			
評価方法(基準)	授業への参加の度合い(30%、提出してもらったコメント・感想など総合的に判断する)と、授業期間中に行うテスト(自由記述)(70%)から評価する。																																																																		
学生へのメッセージ																																																																			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考																																																																			

科目名	インドネシア・マレー語圏近現代史	科目名(英文)	History of Modern Malay World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	森田 良成
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア・マレー語圏における近・現代の重要な事象について考察し、この地域の文化、政治、経済についての専門的な知識を習得する。			
到達目標	インドネシア・マレー語圏の人々の現在の生活を、われわれの日常と地続きのものとしてとらえることができるようになる。自らの関心に従って研究を進めるための手がかりを得る。			
授業方法と留意点	インドネシアとマレーシアについて基礎的な知識を習得済みであることが望ましいが、初学者も歓迎する。各時間ごとに、感想や、こちらが提示する質問についての考えを書いてもらう。			
科目学習の効果(資格)				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業内容、授業の進め方、評価基準等について説明	関連する文献を紹介するので読むこと。
	2	インドネシアの基礎知識	インドネシアの文化・経済・政治について概説	関連する文献を紹介するので読むこと。
	3	マレーシアの基礎知識	マレーシアの文化・経済・政治について概説	関連する文献を紹介するので読むこと。
	4	インドネシアの経済	中間層の拡大と消費市場としての注目	関連する文献を紹介するので読むこと。
	5	インドネシアの政治1	インドネシア・ナショナリズムの誕生と現在	関連する文献を紹介するので読むこと。
	6	インドネシアの政治2	民主化、地方分権化	関連する文献を紹介するので読むこと。
	7	インドネシアにおける文化の多様性1	「多民族国家」インドネシア	関連する文献を紹介するので読むこと。
	8	インドネシアにおける文化の多様性2	都市の暮らし	関連する文献を紹介するので読むこと。
	9	インドネシアにおける文化の多様性3	地方の暮らし	関連する文献を紹介するので読むこと。
	10	マレーシアの経済	「ビジョン2020」	関連する文献を紹介するので読むこと。
	11	マレーシアの政治1	マレーシア・ナショナリズムの誕生と現在	関連する文献を紹介するので読むこと。
	12	マレーシアの政治2	「ブミプトラ政策」から「ビジョン2020」へ	関連する文献を紹介するので読むこと。
	13	マレーシアにおける文化の多様性1	「多民族国家」マレーシア	関連する文献を紹介するので読むこと。
	14	マレーシアにおける文化の多様性2	都市の暮らし	関連する文献を紹介するので読むこと。
	15	マレーシアにおける文化の多様性3	地方の暮らし	関連する文献を紹介するので読むこと。
関連科目	インドネシア語・マレー語関係科目および東南アジア関係の講義科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	授業への参加の度合い(30%、主に授業終了時に提出してもらったコメント・感想から判断する)と、授業期間中に行うテスト(自由記述)(70%)から評価する。			
学生へのメッセージ				
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考				

科目名	インドネシア・マレー語圏の諸言語	科目名(英文)	Languages in the Indonesian-Malay Language Speaking World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	山口 真佐夫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この講義の目的はインドネシア、マレーシアおよびその周辺に分布するオーストロネシア語族の言語についての知識を習得することにある。系統、言語分類、歴史、文字等について講義する。なお、東南アジア大陸部の言語についても言及する。
到達目標	インドネシア・マレー語圏、およびその周辺の諸言語についての知識を習得することができる。
授業方法と留意点	授業は講義を中心にすすめるが、受講者に意見を求めたり、課題を与えることがあるので、積極的に参加するように。
科目学習の効果(資格)	東南アジアの言語事情がわかる。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	インドネシア語、マレー語の音韻	・インドネシア語、マレー語の音韻を学ぶことを通して音韻論の基礎知識を得る。	内容について復習すること
3	世界の言語からみたインドネシア、マレー語圏の言語	・言語数、話者数	内容について復習すること
4	オーストロネシア語の実際	・フィリピン語、ジャワ語等がどのような構造を持った言語か概観する。	内容について復習すること
5	インドネシア、マレー語圏の言語の系統1	・比較言語学の基礎知識 ・音韻対応	内容について復習すること
6	インドネシア、マレー語圏の言語の系統2	・語族、語派、語群 ・比較形態論	内容について復習すること
7	オーストロネシア語族の研究史とその分布	・オーストロネシア語族の故地	内容について復習すること
8	インドネシア語、マレー語の歴史	・古代マレー語、古典マレー語について研究する	インドネシア語あるいはマレー語の辞書を持っている場合は持参すること 内容について復習すること
9	インドネシア、マレー語圏の言語の文字1	・インドネシア語、マレー語の文字使用の歴史	内容について復習すること
10	インドネシア、マレー語圏の言語の文字2	・ジャワ文字1	ジャワ文字について復習しておくこと
11	インドネシア、マレー語圏の言語の文字3	・ジャワ文字2 ・ブギス・マカッサル文字1	ジャワ文字、ブギス・マカッサル文字について復習しておくこと
12	インドネシア、マレー語圏の言語の文字4	・ブギス・マカッサル文字2	ブギス・マカッサル文字について復習しておくこと
13	国語、公用語	・国語、公用語 ・多言語国家	授業内容を復習すること
14	東南アジア大陸部の言語	・東南アジア大陸部の言語についての概説	内容について復習すること
15	・理解度確認テスト ・まとめ	・理解度確認テスト ・授業全体についてのまとめを行う	内容について復習すること

関連科目	インドネシア語、マレー語関係の科目、音声学、言語学
------	---------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリントを用意する。		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	適宜指示する。		
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点、参加度(発言等)、理解度確認テストの総合評価。
----------	-----------------------------

学生へのメッセージ	この授業では、受講者の意見発表を重視するので、積極的に意見を述べることを期待する。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館5階(山口研究室)
----------	--------------

備考	指示された予習・復習には充分時間をかけ、学習効果を上げるようにすること。
----	--------------------------------------

科目名	インドネシア・マレー社会論	科目名(英文)	Studies on Societies of Malay World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	上田 達
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア・マレー語が話されている地域を事例に、社会という概念について考える。インドネシア・マレー語が話される地域は複数の国民国家から成立しており、それぞれの国民国家内部には文化的に多様な諸集団が暮らしている。こうした多様な集団が織りなす人と人との結びつきのありかたは、私たちの想定する社会という概念と重なるところがある一方で、多くの点で異なっている。本講義では、当該地域における人と人との結びつきの在り方を学ぶことを通じて、インドネシアやマレーシアを含む地域の「いま」をよりよく理解することを目指す。
到達目標	*インドネシア・マレー語が話されている地域の社会のあり方について理解する。 *事例研究を通じて、自分たちの生きる社会について考える視角を得る。
授業方法と留意点	・適宜、写真や映像資料を利用する。 ・小レポートを適宜課すので、積極的な参加姿勢が望まれる。
科目学習の効果(資格)	・インドネシア・マレー語を話す地域に生きる人びとの暮らしについて知見を深められる。 ・異なるものの見方や物事のとらえ方を身につけられる。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	イントロダクション	講義の進め方や講義概要について説明する。	配付資料を熟読して理解に努めるとともに、関連する文献の該当箇所を読んでおくこと。
2	社会とは	社会学や人類学における社会という言葉の捉え方について学ぶ。	配付資料を熟読して理解に努めるとともに、関連する文献の該当箇所を読んでおくこと。
3	東南アジアに関する基礎知識	東南アジア地域の地理・歴史を概観する。	配付資料を熟読して理解に努めるとともに、関連する文献の該当箇所を読んでおくこと。
4	国民国家と社会 1	マレーシアを事例に、国民国家の成立と国家内部の複数の社会との関係について学ぶ。	配付資料を熟読して理解に努めるとともに、関連する文献の該当箇所を読んでおくこと。
5	国民国家と社会 2	マレーシアを事例に、国民国家の成立と国家内部の複数の社会との関係について学ぶ。	配付資料を熟読して理解に努めるとともに、関連する文献の該当箇所を読んでおくこと。
6	国民国家と社会 3	マレーシアを事例に、国民国家の成立と国家内部の複数の社会との関係について学ぶ。	配付資料を熟読して理解に努めるとともに、関連する文献の該当箇所を読んでおくこと。
7	国民国家と社会 4	インドネシアを事例に、国民国家の成立と国家内部の複数の社会との関係について学ぶ。	配付資料を熟読して理解に努めるとともに、関連する文献の該当箇所を読んでおくこと。
8	国民国家と社会 5	インドネシアを事例に、国民国家の成立と国家内部の複数の社会との関係について学ぶ。	配付資料を熟読して理解に努めるとともに、関連する文献の該当箇所を読んでおくこと。
9	国民国家と社会 6	シンガポールとブルネイにおける多様な社会の在り方について学ぶ。	配付資料を熟読して理解に努めるとともに、関連する文献の該当箇所を読んでおくこと。
10	社会を越える社会 1	宗教を媒介とする新たな社会性の在り方について学ぶ。	配付資料を熟読して理解に努めるとともに、関連する文献の該当箇所を読んでおくこと。
11	社会を越える社会 2	宗教を媒介とする新たな社会性の在り方について学ぶ。	配付資料を熟読して理解に努めるとともに、関連する文献の該当箇所を読んでおくこと。
12	社会を越える社会 3	種々のメディアに焦点を当てて、新たな社会性の想像について学ぶ。	配付資料を熟読して理解に努めるとともに、関連する文献の該当箇所を読んでおくこと。
13	社会を越える社会 4	種々のメディアに焦点を当てて、新たな社会性の想像について学ぶ。	配付資料を熟読して理解に努めるとともに、関連する文献の該当箇所を読んでおくこと。
14	社会を越える社会 5	人の移動にともなう社会の変容について学ぶ。	配付資料を熟読して理解に努めるとともに、関連する文献の該当箇所を読んでおくこと。到達度の確認を図る課題のために、授業の内容全体について復習すること。
15	まとめ	到達度の確認を図る課題を出し、それについての講評と授業全体のまとめを行う。	到達度の確認を図る課題を出すので準備しておくこと

関連科目	インドネシア・マレー語コースの開講する講義科目。
------	--------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	2?3回実施する小レポート(30%)による平常点と、到達度の確認を図る課題(70%)の二点から総合的に評価する。
----------	--

学生へのメッセージ	積極的に授業に関わってください。わからないことがあれば質問して下さい。
-----------	-------------------------------------

担当者の研究室等	7号館5階上田研究室
----------	------------

備考	
----	--

科目名	インドネシア語 I a	科目名 (英文)	Indonesian Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	山口 真佐夫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	人口2億人以上を有するインドネシア共和国の国語、インドネシア語を学び、運用できる能力の養成を目指します。インドネシア語はマレーシア、シンガポール、ブルネイの国語であるマレー語と同一言語で、方言差程度の差異しかありません。インドネシア語を学ぶことによって、これらの国でもコミュニケーションを行うことができます。この講義では基本的なインドネシア語運用能力修得を目指します。インドネシア語の発音、綴り、初歩の文法を学び、それらの知識を基に、比較的簡単な文型を中心に学習します。
到達目標	インドネシア語の初歩が理解できる。
授業方法と留意点	インドネシア語の発音を各自がしっかりと体得できるよう、発音の練習を毎回必ず行います。文の学習についても音読と作文を行います。適宜、小テストを行います。
科目学習の効果 (資格)	『インドネシア語技能検定』に役立つ

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	インドネシア語の概略	・インドネシア語の構造を知る ・品詞	1回目の授業内容を復習しておくこと
3	文字と発音 1	・綴りと発音	習った発音を復習しておくこと
4	文字と発音 2	・綴りと発音	習った発音を復習しておくこと
5	基本的な文法	・語と文	3, 4回で習った発音の復習
6	語順	・簡単な文を使って語順を学ぶ	前回の内容を復習しておくこと
7	人称代名詞 否定辞	・人称代名詞の使い分け ・疑問文と否定辞	人称代名詞を覚えておくこと
8	インドネシア語の数詞	・数詞の構成と使い方	数詞をすぐに言えるように練習しておくこと
9	曜日、週、月、日付	・曜日、週、月、日付の表現法	曜日、月名を覚えること
10	インドネシア語の接辞	・接辞の説明	これまでの授業に出た単語を覚えること
11	基本的な文法 2	・語構成法	これまでの授業に出た単語を覚えること
12	接頭辞 ber-	・ber-の付け方	ber-を付ける時の変化を復習しておくこと
13	重複	・色々な重複の説明	重複の役割を憶えておくこと
14	様々な文の講読	・講読練習	これまでに授業で習った文法事項を予習しておくこと
15	総復習	総復習	総復習

関連科目	インドネシア語 II a
------	--------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリントを配布		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点および臨時試験による総合評価。
-----------	--------------------

学生へのメッセージ	インドネシア語は親しみやすく、確実に身につく言語です。そのためには、自分の口、耳などを使ってインドネシア語の音をマスターすることも重要です。授業中は恥ずかしがらずに指示に従ってしっかり発声してください。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館 5階 (山口研究室)
----------	----------------

備考	指示された予習・復習には充分時間をかけ、学習効果を上げるようにすること。
----	--------------------------------------

科目名	インドネシア語 I b	科目名 (英文)	Indonesian Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	山口 真佐夫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア語 I a で学んだことを基礎に、さらに文法事項の学習、ある程度長いまとまった文を読む練習、作文、聞き取り等を行います。文法変化が少なく、学習しやすいインドネシア語の特性を理解し、インドネシア語がいつそう運用できるようになることを目指します。																																																																		
到達目標	初級程度のインドネシア語能力が身につく。																																																																		
授業方法と留意点	この授業はおもに文法等の説明と講読、作文等が中心となります。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	『インドネシア語技能検定』に役立つ																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>発音、綴りの復習 1</td> <td>・発音の再確認 ・綴りと発音の関係</td> <td>前期に習った発音をもう一度予習しておくこと</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>発音、綴りの復習 2</td> <td>・発音の再確認 ・綴りと発音の関係</td> <td>もう一度発音を再確認しておくこと</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>人称代名詞、数詞</td> <td>・人称代名詞の使い方 ・数詞の復習</td> <td>人称代名詞、数詞の復習をしておくこと</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>曜日、月、日付</td> <td>・曜日、月、日付についての復習</td> <td>曜日、月、日付について復習をしておくこと</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>接頭辞 me- 1</td> <td>・接頭辞 me-の使い方 1</td> <td>me-の付け方について復習しておくこと</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>接頭辞 me- 2</td> <td>・接頭辞 me-の使い方 2</td> <td>me-の付け方について復習しておくこと</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>助数詞</td> <td>・助数詞の使い方</td> <td>日本語の序数詞との違いを確認しておくこと</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>序数詞</td> <td>・序数詞の使い方</td> <td>序数詞の使い方を復習しておくこと</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>様々な接辞 1</td> <td>・様々な接辞の使い方 1</td> <td>この回で習った接辞を確認しておくこと</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>様々な接辞 2</td> <td>・様々な接辞の使い方 2</td> <td>この回で習った接辞を確認しておくこと</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>様々な文の講読</td> <td>・講読練習</td> <td>これまでの授業に出てきた語彙を再確認しておくこと</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>重要語彙の練習 1</td> <td>・重要な語彙を用いた文の講読 1</td> <td>授業に出てきた重要な語彙を覚えておくように</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>重要語彙の練習 2</td> <td>・重要な語彙を用いた文の講読 2</td> <td>授業に出てきた重要な語彙を覚えておくように</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>重要語彙の練習 3</td> <td>・重要な語彙を用いた文の講読 3</td> <td>授業に出てきた重要な語彙を覚えておくように</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習</td> <td>総復習</td> <td>総復習</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	発音、綴りの復習 1	・発音の再確認 ・綴りと発音の関係	前期に習った発音をもう一度予習しておくこと	2	発音、綴りの復習 2	・発音の再確認 ・綴りと発音の関係	もう一度発音を再確認しておくこと	3	人称代名詞、数詞	・人称代名詞の使い方 ・数詞の復習	人称代名詞、数詞の復習をしておくこと	4	曜日、月、日付	・曜日、月、日付についての復習	曜日、月、日付について復習をしておくこと	5	接頭辞 me- 1	・接頭辞 me-の使い方 1	me-の付け方について復習しておくこと	6	接頭辞 me- 2	・接頭辞 me-の使い方 2	me-の付け方について復習しておくこと	7	助数詞	・助数詞の使い方	日本語の序数詞との違いを確認しておくこと	8	序数詞	・序数詞の使い方	序数詞の使い方を復習しておくこと	9	様々な接辞 1	・様々な接辞の使い方 1	この回で習った接辞を確認しておくこと	10	様々な接辞 2	・様々な接辞の使い方 2	この回で習った接辞を確認しておくこと	11	様々な文の講読	・講読練習	これまでの授業に出てきた語彙を再確認しておくこと	12	重要語彙の練習 1	・重要な語彙を用いた文の講読 1	授業に出てきた重要な語彙を覚えておくように	13	重要語彙の練習 2	・重要な語彙を用いた文の講読 2	授業に出てきた重要な語彙を覚えておくように	14	重要語彙の練習 3	・重要な語彙を用いた文の講読 3	授業に出てきた重要な語彙を覚えておくように	15	総復習	総復習	総復習
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	発音、綴りの復習 1	・発音の再確認 ・綴りと発音の関係	前期に習った発音をもう一度予習しておくこと																																																																
2	発音、綴りの復習 2	・発音の再確認 ・綴りと発音の関係	もう一度発音を再確認しておくこと																																																																
3	人称代名詞、数詞	・人称代名詞の使い方 ・数詞の復習	人称代名詞、数詞の復習をしておくこと																																																																
4	曜日、月、日付	・曜日、月、日付についての復習	曜日、月、日付について復習をしておくこと																																																																
5	接頭辞 me- 1	・接頭辞 me-の使い方 1	me-の付け方について復習しておくこと																																																																
6	接頭辞 me- 2	・接頭辞 me-の使い方 2	me-の付け方について復習しておくこと																																																																
7	助数詞	・助数詞の使い方	日本語の序数詞との違いを確認しておくこと																																																																
8	序数詞	・序数詞の使い方	序数詞の使い方を復習しておくこと																																																																
9	様々な接辞 1	・様々な接辞の使い方 1	この回で習った接辞を確認しておくこと																																																																
10	様々な接辞 2	・様々な接辞の使い方 2	この回で習った接辞を確認しておくこと																																																																
11	様々な文の講読	・講読練習	これまでの授業に出てきた語彙を再確認しておくこと																																																																
12	重要語彙の練習 1	・重要な語彙を用いた文の講読 1	授業に出てきた重要な語彙を覚えておくように																																																																
13	重要語彙の練習 2	・重要な語彙を用いた文の講読 2	授業に出てきた重要な語彙を覚えておくように																																																																
14	重要語彙の練習 3	・重要な語彙を用いた文の講読 3	授業に出てきた重要な語彙を覚えておくように																																																																
15	総復習	総復習	総復習																																																																
関連科目	インドネシア語 II b																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>プリントを配布</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	プリントを配布			2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	プリントを配布																																																																		
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	平常点、臨時試験による総合評価。																																																																		
学生へのメッセージ	インドネシア語は勉強すればするほど、身につく言語です。インドネシア語 I a で得た能力を伸ばすためにも、積極的に学習してください。																																																																		
担当者の研究室等	7号館 5階 (山口研究室)																																																																		
備考	指示された予習・復習には充分時間をかけ、学習効果を上げるようにすること。																																																																		

科目名	インドネシア語Ⅱ a	科目名(英文)	Indonesian IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	浦野 崇央
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本授業は、インドネシア語における基礎的な会話能力の修得を目的とする。日常生活のさまざまな場面において役に立つ表現を学ぶ。
到達目標	この授業では、基本的なインドネシア語運用能力の修得を目指し、インドネシアへ旅行に出かけたり、インドネシア人と話す機会において不自由のない実力をつけることができる。
授業方法と留意点	教科書を用いて基本的な文法事項をマスターしながら、基礎会話を中心とした学習を行う。インドネシア語の学習においては単語力の増強が欠かせない。そこで、毎週、単語テストを行う。自身で単語帳を作成するなど、努力する必要がある。
科目学習の効果(資格)	インドネシア語技能検定

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション	授業の進め方について インドネシア語の特徴を把握する。	学んだことの再確認 (インドネシアという国について調べてみる)
2	文字と発音	アルファベットの読み方	学んだことの再確認 (アルファベットを読めるようにすること)
3	発音	基本単語の発音練習	学んだことの再確認 (単語の読み方を理解し、単語の意味も覚えるようにすること)
4	挨拶(1)	挨拶表現	学んだことの再確認 (selamatを使った挨拶表現を復習すること)
5	挨拶(2)	挨拶表現	学んだことの再確認 (基本的な挨拶表現を復習すること)
6	自己紹介(1)	自己紹介、人称代名詞	学んだことの再確認 (簡単な自己紹介ができるように復習すること)
7	自己紹介(2)	自己紹介、疑問文の作り方	学んだことの再確認 (簡単な疑問文が作れるようにすること)
8	他己紹介	他人を紹介する	学んだことの再確認 (自分の家族を紹介してみる)
9	復習	これまでに学んだことの復習 中間テスト	これまでに学んだことの再確認
10	尋ねる	場所を尋ねる	学んだことの再確認 (疑問詞を使った疑問文が作れるようにすること)
11	数詞(1)	数詞の仕組み	学んだことの再確認 (数字を覚えるべく復習すること)
12	数詞(2)	数詞を使った文章	学んだことの再確認 (電話番号や住所など、数字の入った文章を作ってみる)
13	数詞(3)	日付の言い表し方	学んだことの再確認 (自身の誕生日を言えるようにすること)
14	説明する	場所を説明する	学んだことの再確認 (自分の家への行き方を説明できるようにすること)
15	総復習	これまでに学んだことの総復習 理解度確認テスト	これまでに学んだことの再確認

関連科目	インドネシア語Ⅰ a
------	------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	カラー版CD付 インドネシア語が面白いほど身につく本	ドミニクス・バタオネ/近藤由美	KADOKAWA
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	インドネシア語辞典ポケット版	末永晃	大学書林
2			
3			

評価方法(基準)	毎回の単語テスト、学期途中に行う中間テストおよび学期末の理解度確認テストの結果、授業への積極的な参加の度合いなどをと、総合的に評価する。
学生へのメッセージ	今注目のインドネシアへ出かけ、学んだインドネシア語で語りかけてみましょう。言葉が通じると、必ずや自信につながります。
担当者の研究室等	7号館4階(浦野研究室)
備考	毎週の予習は基本的に必要ないが、復習については毎週少なくとも1時間程度以上は行うこと。半期中の事後学習総時間は60時間程度である。

科目名	インドネシア語Ⅱ b	科目名(英文)	Indonesian I Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	浦野 崇央
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本授業は、インドネシア語における基礎的な会話能力の修得を目的とする。日常生活のさまざまな場面において役に立つ表現を学ぶ。
到達目標	この授業では、前期の「インドネシア語Ⅱa」に引き続き、基本的なインドネシア語運用能力の修得を目指し、インドネシアへ旅行へ出かけたり、インドネシア人と話す機会において不自由のない実力をつけることができる。
授業方法と留意点	教科書を用いて基本的な文法事項をマスターしながら、さまざまな状況に応じた基礎会話を中心とした学習を行う。 毎回の復習が欠かせないので、よく留意のこと。
科目学習の効果(資格)	インドネシア語技能検定

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
			1
2	買い物(1)	買い物の際の表現を学ぶ	学んだことの再確認 (買い物の際は値段交渉が必要なので、数字を復習すること)
3	買い物(2)	買い物の際の表現を学ぶ	学んだことの再確認 (比較級を使った表現の復習をすること)
4	時間表現	時間の言い表し方を学ぶ	学んだことの再確認 (時間表現の復習をすること)
5	レストラン(1)	レストランで使われる表現を学ぶ	学んだことの再確認 (注文の仕方を復習すること)
6	レストラン(2)	レストランで使われる表現を学ぶ	学んだことの再確認 (予約の仕方を復習すること)
7	ホテル	ホテルで使われる表現を学ぶ	学んだことの再確認 (ホテルでの表現の復習をすること)
8	復習	これまでに学んだことの復習 中間テスト	中間テストに向けてこれまでに学んだことの復習をすること
9	旅行会話(1)	道をたずねる 両替	学んだことの再確認 (学んだフレーズの単語を入れ替えて復習すること)
10	旅行会話(2)	ホテル	学んだことの再確認 (学んだフレーズの単語を入れ替えて復習すること)
11	旅行会話(3)	買い物 レストラン	学んだことの再確認 (学んだフレーズの単語を入れ替えて復習すること)
12	旅行会話(4)	郵便局 飛行機	学んだことの再確認 (学んだフレーズの単語を入れ替えて復習すること)
13	旅行会話(5)	タクシー バス 鉄道	学んだことの再確認 (学んだフレーズの単語を入れ替えて復習すること)
14	旅行会話(6)	病気・けが 警察	学んだことの再確認 (学んだフレーズの単語を入れ替えて復習すること)
15	総復習	これまでに学んだことの総復習 理解度確認テスト	これまでに学んだことの再確認

関連科目	インドネシア語Ⅰa、インドネシア語Ⅰb、インドネシア語Ⅱa
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	カラー版CD付 インドネシア語が面白いほど身につく本	ドミニクス・バタオネ/近藤由美	KADOKAWA
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	インドネシア語辞典ポケット版	末永晃	大学書林
	2			
	3			

評価方法(基準)	学期中に行う中間テストおよび学期末の理解度確認テストの結果、授業への積極的な参加の度合いなどをとに、総合的に評価する。
----------	---

学生へのメッセージ	今注目のインドネシアへ出かけ、学んだインドネシア語で語りかけてみましょう。言葉が通じると、必ずや自信につながります。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階(浦野研究室)
----------	--------------

備考	毎週の予習は基本的に必要ないが、復習については毎週少なくとも30分程度以上は行うこと。半期中の事後学習総時間は60時間程度である。
----	---

科目名	インドネシア語Ⅲ a	科目名 (英文)	Indonesian IIIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	大坪 紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア語の中級レベルの運用能力を育成する。語彙数を増やすとともに応用練習を行い、自己紹介や買い物などの実用的会話でも使いこなせるようにする。随時、インドネシアでのマナーや礼儀、習慣なども取り上げる。
到達目標	短文読解力と表現力の養成
授業方法と留意点	テーマごとに会話や作文の練習を行い、適宜小テストも行う。 初級よりも新出単語は増えるが、その都度必ず覚えること。 復習を怠らず、積極的に授業に参加してください。
科目学習の効果 (資格)	自己紹介や、旅行などでの基本的な会話ができる運用能力が身に付く。 『インドネシア語技能検定』に役立つ。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	第1課 インドネシア語とは	インドネシア語の概要や、インドネシア語が話されている地域の概要を確認する。	学習項目の復習
2	第2課 インドネシア語の基本①	綴り字と発音、基本的な語順、肯定文、修飾などの復習と応用練習。	学習項目の復習
3	第3課 インドネシア語の基本②	否定文、人称代名詞と呼びかけの表現復習と応用練習。	学習項目の復習
4	第4課 あいさつ	名詞文、否定文、疑問文、答え方などの復習と応用練習。	学習項目の復習
5	第5課 知人宅の訪問①	疑問詞と基語動詞、前置詞の復習と応用練習。接尾辞-nya。	学習項目の復習
6	第6課 知人宅の訪問②	助動詞、meN-動詞、beR-動詞の復習と応用練習。	学習項目の復習
7	第7課 友人と一緒に出かける①	数の数え方、時刻の表現、日付、曜日、助動詞の復習と応用練習。	学習項目の復習
8	第8課 友人と一緒に出かける②	第7課までに学習したことをふまえて、建物や町の様子を描写する。	学習項目の復習
9	第9課 友人との会話①	さまざまな助動詞や接続詞の復習と応用練習。	学習項目の復習
10	第10課 友人との会話②	beR-動詞と meN-動詞。いろいろな動詞を使いながら、行動や趣味について語る。	学習項目の復習
11	第11課 長文読解	第10課までに学んだことをふまえて、比較的やさしい長文を読む。	学習項目の復習
12	第12課 買い物をする①	yangを使った表現。簡単な受け身表現の応用練習。	学習項目の復習
13	第13課 買い物をする②	受け身表現。	学習項目の復習
14	まとめ①	第13回までに学習した項目をまとめて復習する。応用練習。	学習項目の復習
15	まとめ② 復習テスト	前期に学んだ項目をまとめて復習する。復習テスト。	学習項目の復習

関連科目	インドネシア語Ⅳa
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業における積極的な参加度や復習テストによって総合的に評価する。
-----------	----------------------------------

学生へのメッセージ	インドネシア語は親しみやすい言語ですが、語彙を増やすことが重要です。復習を怠らず、どんどん単語を覚えてください。中級レベルをマスターすると、さらに表現が広がります。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	インドネシア語Ⅲ b	科目名 (英文)	Indonesian IIIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	大坪 紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア語Ⅲaに引き続き、インドネシア語の運用能力を伸ばし、さらに上級へつなげるための実力を育成する。とくに第5回以降は中部ジャワに伝わる民話から短編を選び、読解とともに文法や表現方法も深める。
到達目標	前期で得た短文読解力と表現力をさらに発展させ、ある程度の長さの長文を理解できる能力を得ること。
授業方法と留意点	テーマごとに会話や作文、応用練習を行い、比較的長い文章の読解も行う。適宜、文の暗記も課します。必ず復習をおこなうこと。
科目学習の効果 (資格)	個人旅行もできる程度のインドネシア語運用能力が身に付く。 『インドネシア語技能検定』に役立つ。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	インドネシアの文化と言語	インドネシア語が話されている地域と、各地域の文化をいくつか紹介する。	学習項目の復習
2	復習 (1) 名詞文、形容詞文	名詞文、形容詞文の作り方を復習し、読解や作文などの応用問題で理解度を確認する。	学習項目の復習
3	復習 (2) 単純動詞と ber-動詞	単純動詞と ber-動詞を使った文の作り方を復習し、読解や作文などの応用問題で理解度を確認する。	学習項目の復習
4	復習 (3) meN-動詞とその他の接辞、辞書の引き方	基語形から meN-形を作る方法、meN-形から基語形に戻す方法を復習し、その他の接辞もふくめて、接辞をとりさつて辞書を引く方法を復習する。	学習項目の復習
5	講読 (1) 接尾辞-an	接尾辞-an のさまざまな用法。-an を使った文章の講読と、会話や作文の練習。短い文章の講読。	学習項目の復習
6	講読 (2) 共接辞 meN-kan, meN-i	共接辞 meN-kan, meN-i の用法。meN-kan, meN-i を使った文章の講読と、会話や作文の練習。	学習項目の復習
7	講読 (3) 依頼表現と勧める表現	minta, tolong, silakan を使った文章の講読と、会話や作文の練習。	学習項目の復習
8	講読 (4) 接頭辞 ke-, 共接辞 ke-an	接頭辞 ke-, 共接辞 ke-an の用法。ke-an を使った文章の講読と、会話や作文の練習。	学習項目の復習
9	講読 (5) 接頭辞 se-	接頭辞 se-のさまざまな用法。se- を使った文章の講読と、作文や会話の練習。	学習項目の復習
10	講読 (6) 共接辞 se-nya	共接辞 se-nya のさまざまな用法。se-nya を使った文章の講読と、会話や作文の練習。	学習項目の復習
11	講読 (7) 付加疑問文	付加疑問文を使った読み物の講読と、会話や作文の練習。	学習項目の復習
12	講読 (8) 受け身文	受け身文。読み物の講読と、会話や作文の練習。	学習項目の復習
13	講読 (9) 接頭辞 ter-	接頭辞 ter-のさまざまな用法。接頭辞 ter- を使った読み物の講読と、会話や作文の練習。	学習項目の復習
14	総まとめ (1) 応用練習	後期に学習した項目を整理し復習する。応用練習。	学習項目の復習
15	総まとめ (2) 復習テスト。	後期に学習した項目をまとめて復習する。復習テスト。	学習項目の復習

関連科目	インドネシア語Ⅳb、東南アジア関係の講義科目、文化人類学
------	------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業における積極的な参加度、適宜おこなう小テストおよび文の暗記、復習テストによって総合的に評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	インドネシア語は親しみやすい言語ですが、毎回の復習を怠らずに頑張ってください。中級レベルをマスターして、読解力と会話能力をさらに大きく広げましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	インドネシア語IV a	科目名 (英文)	Indonesian IVa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	エニ レスタリ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	これまでのインドネシア語学習の成果を見て、日常会話の習得を目標にします。インドネシア語を話す練習をします。																																																																		
到達目標	基本文法学習して、会話文を作成・日常会話出来る能力をつける。																																																																		
授業方法と留意点	テーマによって、会話の文書を作り、会話を実践する。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	日常会話が出来るようになる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>挨拶。</td> <td>日常生活に使う挨拶を練習する。</td> <td>授業内容を復習する。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>自己紹介。</td> <td>挨拶から自己紹介までの会話練習をする。</td> <td>授業内容を復習する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>呼びかけ。</td> <td>人称代名詞。</td> <td>授業内容を復習する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>聞き直し。</td> <td>聞き直しの表現を使って会話を練習。</td> <td>授業内容を復習する。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>依頼。</td> <td>依頼の文章を使って、会話練習をする。</td> <td>授業内容を復習する。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>許可。</td> <td>許可の文章を使って会話を練習する。</td> <td>授業内容を復習する。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>希望、願い。</td> <td>会話練習。</td> <td>授業内容を会話する。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第 ① ～ ⑦の復讐</td> <td>会話文の作成。</td> <td>全授業内容の小テスト。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>助動詞・語順 ①</td> <td>”出来る・必要がある・しなければならない”表現。</td> <td>授業内容を復習。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>助動詞・語順 ②</td> <td>助動詞を使って会話文を学習。</td> <td>授業内容を復習する。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>時制 ①</td> <td>現在形・未来形・過去形・進行形。</td> <td>授業内容を復習する。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>時制 ②</td> <td>前授業内容の復讐。</td> <td>授業内容を復習する。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>疑問詞 ①</td> <td>人、物、理由などを訪ねる。</td> <td>授業内容を復習する。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>疑問詞 ②。</td> <td>前授業内容の復讐。</td> <td>授業内容を復習する。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>第 ⑨ ～⑭の復讐。</td> <td>会話文の作成。</td> <td>授業内的小テスト。</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	挨拶。	日常生活に使う挨拶を練習する。	授業内容を復習する。	2	自己紹介。	挨拶から自己紹介までの会話練習をする。	授業内容を復習する。	3	呼びかけ。	人称代名詞。	授業内容を復習する。	4	聞き直し。	聞き直しの表現を使って会話を練習。	授業内容を復習する。	5	依頼。	依頼の文章を使って、会話練習をする。	授業内容を復習する。	6	許可。	許可の文章を使って会話を練習する。	授業内容を復習する。	7	希望、願い。	会話練習。	授業内容を会話する。	8	第 ① ～ ⑦の復讐	会話文の作成。	全授業内容の小テスト。	9	助動詞・語順 ①	”出来る・必要がある・しなければならない”表現。	授業内容を復習。	10	助動詞・語順 ②	助動詞を使って会話文を学習。	授業内容を復習する。	11	時制 ①	現在形・未来形・過去形・進行形。	授業内容を復習する。	12	時制 ②	前授業内容の復讐。	授業内容を復習する。	13	疑問詞 ①	人、物、理由などを訪ねる。	授業内容を復習する。	14	疑問詞 ②。	前授業内容の復讐。	授業内容を復習する。	15	第 ⑨ ～⑭の復讐。	会話文の作成。	授業内的小テスト。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	挨拶。	日常生活に使う挨拶を練習する。	授業内容を復習する。																																																																
2	自己紹介。	挨拶から自己紹介までの会話練習をする。	授業内容を復習する。																																																																
3	呼びかけ。	人称代名詞。	授業内容を復習する。																																																																
4	聞き直し。	聞き直しの表現を使って会話を練習。	授業内容を復習する。																																																																
5	依頼。	依頼の文章を使って、会話練習をする。	授業内容を復習する。																																																																
6	許可。	許可の文章を使って会話を練習する。	授業内容を復習する。																																																																
7	希望、願い。	会話練習。	授業内容を会話する。																																																																
8	第 ① ～ ⑦の復讐	会話文の作成。	全授業内容の小テスト。																																																																
9	助動詞・語順 ①	”出来る・必要がある・しなければならない”表現。	授業内容を復習。																																																																
10	助動詞・語順 ②	助動詞を使って会話文を学習。	授業内容を復習する。																																																																
11	時制 ①	現在形・未来形・過去形・進行形。	授業内容を復習する。																																																																
12	時制 ②	前授業内容の復讐。	授業内容を復習する。																																																																
13	疑問詞 ①	人、物、理由などを訪ねる。	授業内容を復習する。																																																																
14	疑問詞 ②。	前授業内容の復讐。	授業内容を復習する。																																																																
15	第 ⑨ ～⑭の復讐。	会話文の作成。	授業内的小テスト。																																																																
関連科目	他の共通インドネシア語科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>やさしい初歩のインドネシア語</td> <td>舟田京子</td> <td>南雲堂</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	やさしい初歩のインドネシア語	舟田京子	南雲堂	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	やさしい初歩のインドネシア語	舟田京子	南雲堂																																																																
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	クラス参加 20% クラス活動 30% 小テスト 50%																																																																		
学生へのメッセージ	会話練習を積極的にしたら、自然に話すことが出来ます。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階の非常勤室。																																																																		
備考																																																																			

科目名	インドネシア語IV b	科目名 (英文)	Indonesian IVb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	エニ レスタリ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	これまでのインドネシア語の学習成果を見て、インドネシアを訪れても何とか対応出来るような日常会話の習得を目標にします。
到達目標	基本文法学習して、会話文を作成する能力をつける。
授業方法と留意点	テーマによって、基本文法を作成、会話を実感する。
科目学習の効果 (資格)	旅行の会話が出来ようになります。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	関係代名詞 の復讐	前授業の復讐。	授業内容を復習する。
3	所有を示す表現	”punya - ada - ber +へ”。	授業内容を復習する。
4	所有を示す表現	前授業内容の復讐。	授業内容を復習する。
5	接続詞 ①	時に関する接続詞。	授業内容を復習する。
6	接続詞 ②	時間に関する以外の接続詞。	授業内容を復習する。
7	接続詞 ③	全接続詞の復讐。	授業内容を復習する。
8	第 ①～⑦の復讐	文章を作成・小テスト	授業内容を復習する。
9	原級・比較・最上級 ①	基本文法。	授業内容を復習する。
10	原級・比較・最上級 ②	形容詞のとても・すぎるの表現	授業内容を復習する。
11	動詞：単純動詞・ber が付く動詞・ me が付く動詞	動詞の組み立て方・基本文法①。	授業内容を復習する。
12	動詞：単純動詞・ber が付く動詞・ me が付く動詞	動詞の組み立て方・基本文法②。	授業内容を復習する。
13	受動態 ①	基本文法：文の作成。	授業内容を復習する。
14	受動態 ②	基本文法：文の作成	授業内容を復習する。
15	第 ⑨～⑭までの復讐	文の作成の小テスト	授業内容を復習する。

関連科目	他の共通インドネシア語科目
------	---------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	やさしい初歩のインドネシア語	舟田京子	南雲堂
	2			
	3			

評価方法 (基準)	クラスの参加 20% クラス活動 30% 小テスト 50%
-----------	-------------------------------------

学生へのメッセージ	基本文法マスター出来たら会話能力ついてくる。
-----------	------------------------

担当者の研究室等	7号館の2階、非常勤講師室。
----------	----------------

備考	
----	--

科目名	インドネシア語コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Indonesian Language Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	エニ レスタリ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	日常会話ができる能力を付ける。
到達目標	挨拶から基本会話出来る能力つける。
授業方法と留意点	会話を学習し、会話を練習すること。
科目学習の効果 (資格)	挨拶から基本的な会話ができる。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	挨拶	日常に使われる挨拶	日常の挨拶練習。
3	お礼とお詫び	お礼とお詫びの表現.	お礼と謝る場合の表現を練習する。
4	自己紹介	人の名前・人称代名詞・職業の単語を学習し、その文を発言する練習。	授業内容を復習すること。
5	自己紹介	疑問詞”誰”・家族に関する単語を学習・家族に付いての自己紹介。	前回の授業の内容を使って会話の練習をする。
6	第1～5までの復習	小テスト・聞き取り会話テスト	事前に全部の授業内容を復習すること。。
7	基本文・肯定文・否定文・疑問文	名詞・名詞の否定詞	周りにあるものの名前を覚える。
8	基本文・肯定文・否定文・疑問文	動詞・形容詞とその単語の否定詞を学習し、聞き取り会話練習。	日常生活に使用されている動詞又は目に身近な形容詞を覚える。
9	位置・疑問詞”どこ”・場所に表す前置詞①	前置詞・色々な位置・場所の名前を学習し、その文を使用し、聞き取り会話練習を行う。	授業内容を復習 r 事。
10	位置・疑問詞”どこ”・場所に表す前置詞②	方向・場所を尋ねる・道を案内する、聞き取り会話練習。	授業内容を復習すること。
11	第6～10までの復習	小テスト。聞き取りテストを行う。	前回の授業で学んだ単語を文書を作成。
12	数詞・記号の読み方・助数詞	数字の言い方・分数および小数の言い方。	授業内容を復習すること。
13	数詞・記号の読み方・助数詞	記号の言い方・電話番号と年語の言い方。疑問詞”berapa”使用し、会話を作成数字を覚える。	授業内容の復習。
14	数詞・記号の読み方・助数詞	助数詞の言い方。聞き取り会話練習。	全部の授業内容の復習。
15	まとめ	まとめ	復習、まとめ。

関連科目	主言語インドネシア語科目のすべて
------	------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

評価方法 (基準)	クラスの参加 20% クラス活動 30% 小テスト 50%
-----------	-------------------------------------

学生へのメッセージ	授業で学んだ単語を覚える為には、毎日インドネシア語の挨拶から会話まで、出来る限り友達と先生とインドネシア語で話す。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	インドネシア語コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Indonesian Language Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	エニ レスタリ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	日常会話の出来る能力をつける。
到達目標	日常に使われる表現と基本会話をマスター出来る。
授業方法と留意点	会話を学習して、会話練習をすること。
科目学習の効果 (資格)	インドネシアの生活習慣含めて日常コミュニケーション出来るようになる。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	時に関する表現 ①	日付・曜日・時間。	インドネシア式の日付・曜日を覚える。
3	時に関する表現 ②	日付・曜日・時間	前回の授業内容と時計の読み方を覚える。
4	時に関する表現 ③	日付・曜日・時間を使って会話文を作る。	聞き取り会話練習すること。
5	選択の表現 ①	比較・選ぶ・示す	基本文を学習。
6	選択の表現 ②	比較・選ぶ・示す	聞き取り会話練習。
7	第①～⑥までの復習	会話文を作成。	小テスト。
8	なぜ～なぜならば の表現		買い物の仕方を練習する。
9	伝聞と理由説明の表現	マナーの表現	会話練習
10	誘う・許可・依頼の表現 ①	注文する表現	会話練習
11	誘う・許可・依頼の表現 ②	インドネシア料理、食べ方など。	インドネシアと日本の共通点をまとめる。
12	誘う・許可・依頼の表現 ③	地方の食べ物。	インドネシアと日本の共通点をまとめる。
13	人の体・特徴に関する表現 ①	体の部分の名前。	授業内容を覚える。
14	人の体・特徴に関する表現 ②	体の部分・特徴に関する会話。	会話練習。
15	第⑧～⑭までの復習	事前に学んだ事を復習する。	聞き取り会話テスト。

関連科目	主言語インドネシア語の科目のすべて
------	-------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	今すぐ話せるインドネシア語	ファリーダイドリスノ/好光 智子	株式会社ナガセ◎ブックス
	2	インドネシア語リスニング	ホラス 由美子	株式会社三修社
	3			

評価方法 (基準)	クラス参加 20% クラス活動 30% 小テスト 50%
-----------	------------------------------------

学生へのメッセージ	会話文だけではなく、インドネシアの文化や生活習慣などを理解し、コミュニケーション能力を上達する。出来る限りクラスメートと先生との会話をインドネシア語で。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	インドネシア語コミュニケーションⅡa (1)	科目名 (英文)	Indonesian Language Communication IIa(1)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	大坪 紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	1年間のインドネシア語学習を通じて、単語力や文法の理解が深まったかと思われます。この授業では過去1年間で得た能力をさらに開花させつつ、日本に住むあなたが、日本に住むインドネシア人と、インドネシア語でコミュニケーションを深めることを目的とします。
到達目標	相手の発言に対して自分が答えることも重要であるが、まずは過去1年間で得た単語力と文法理解力をもとに、自分が言いたいことや伝えたいことを即座に比較的短い文で発言できることを目標とする。
授業方法と留意点	会話がテーマです。毎回のテーマに応じて、どのような内容を伝えなければならないのか、もしくはどのような状況であるのかを事前にいくつか想像しておくこと。積極的な発言と態度で臨んでください。
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語技能検定

	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	プロローグ	授業の進め方と、受講にあたっての留意点に関する説明を行なう。	授業の進め方に対する質問や要望を事前に考えておくこと。
2	自己紹介	1. 手短かに自己紹介をおこなう。 2. Bermain peran.	自己紹介をおこなううえで必要な事項を、事前に想定しておくこと。 自己紹介された時の返答も事前に考えておくこと。	
3	「ありがとう」 「ごめんなさい」	1. 感謝をあらわす会話表現 2. 過失を詫げる会話表現 3. Bermain peran	感謝の意を言葉で表さなければならない状況のわずかずと、過失を詫げなければいけない状況のわずかずを事前に想定しておくこと。	
4	「失礼します」 「お願いします」	1. 依頼の会話表現。 2. 「失礼します」を用いた会話表現 3. Bermain peran	「お願いします」を言葉で表さなければならない状況や事態を事前に想定しておくこと。	
5	「～を知りません」 「～がわかりません」 「～を教えてください」	1. 「～がわかりません」の会話表現。 2. 「～を教えてください」の会話表現 3. Bermain peran	belum mengerti と tidak mengerti に代表される tidak と belum の使い分けを事前に復習しておくこと。 「～を教えてください」を使用するいくつかの状況を事前に想定しておくこと。	
6	小試験および第2回から第5回までの復習	第2回から第5回までに学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	授業内容の復習	
7	日本に住むインドネシア人の家に電話をかける①	1. 挨拶、相手方の確認、自己紹介、呼び出し、会話等の電話をかける時の表現。 2. Bermain peran	家へ電話をかける場合に、どのような会話およびコミュニケーションをとらなければならないのか、事前に想定しておくこと。	
8	日本に住むインドネシア人の家に電話をかける②	1. 挨拶、相手方の確認、自己紹介、呼び出し、伝達依頼など、電話をかける時の会話表現。 2. Bermain peran	復習	
9	日本に住むインドネシア人へ電話をかけて、地下鉄「なんば」駅で会う約束をする①	1. 場所、時刻、日付、曜日、交通手段、入口、出口などの正確な説明と表現 2. Bermain peran	約束する際に必要な、「時間、場所、相手や自分の希望」などの事項を事前に想定しておくこと。	
10	日本に住むインドネシア人へ電話をかけて、地下鉄「なんば」駅で会う約束をする②	1. 場所、時刻、日付、曜日、交通手段、入口、出口などの正確な説明と表現 2. Bermain peran	復習	
11	小試験および第7回から第10回までの復習	第7回から第10回までに学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	授業内容の復習	
12	日本に住むインドネシア人と「なんば」で会ったあと、飲食施設で一緒に食事をとることになった①	1. 食材、料理法を説明する表現 2. Bermain peran	相手の信仰する宗教や信条、体質を想定しておくこと。話し合ってから相談する可能性があることも事前に想定しておくこと。	
13	日本に住むインドネシア人と「なんば」で会ったあと、飲食施設で一緒に食事をとることになった②	1. 食材、料理法を説明する表現 2. Bermain peran	授業内容の復習	
14	インドネシア人観光客が梅田で困っている	1. 位置の表現 2. Bermain peran	困っている人に話しかける言葉や、旅行者が何に困りやすいのかを事前に想定しておくこと。	
15	総復習試験	全回で学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	全授業内容の復習。	

関連科目 主言語インドネシア語科目のすべて

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	積極的な授業態度および平常点、小テスト、第 15 回の総復習試験の結果をあわせた総合評価。 詳細は、第 1 回目の授業で伝える。
学生への メッセージ	間違いを恐れずに、学んだ単語を自発的に使ってみましょう。 日々の地道な学習と努力は「気づき」と大きな成果を必ずもたらします。
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 (非常勤講師室)
備考	

科目名	インドネシア語コミュニケーションⅡa(2)	科目名(英文)	Indonesian Language Communication IIa(2)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	エニ レスタリ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア語のコミュニケーション能力を育成する。会話によく使われる表現を学び、ネイティブスピーカーの話すインドネシア語を理解し、適切に対応できるようになることを目標とする。
到達目標	日常に様々な場面をテーマにして、そのテーマによる会話文を作成・会話練習を行う。
授業方法と留意点	歌やドラマの一場面など視聴覚資料を用いて、生のインドネシア語を聞き取る練習を行う。また、重要な口語表現を学び、これを用いた会話練習をする。積極的に授業に参加してください。
科目学習の効果(資格)	インドネシアの生活習慣を含めて日常のコミュニケーションが出来るようになる。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	インドネシアへ行く ①	飛行機に乗る場面の会話練習。	授業内容に関する単語を覚える。
2	インドネシアへ行く ②	入館と会話やり取り。	授業内容に関する語彙を取得する。
3	インドネシアへ行く ③	荷物を取る・探す	授業内容に関する語彙を取得する。
4	インドネシアへ行く ④	税関のやり取り会話場面。	授業内容に関する語彙を取得する。
5	宿泊探す	空港からホテル予約する。	授業内容に関する語彙を取得する。
6	ホテルに到着する	フロントと会話する。	授業内容に関する語彙を取得する。
7	タクシーに乗る	運転手との会話。	授業内容に関する語彙を取得する。
8	第①～⑦までの復讐。	前授業内容の小テスト。	基本文と授業内容に関する語彙を取得する。
9	観光案内所	観光名所を訪ねる。	授業内容に関する語彙を取得する。
10	鉄道に乗る	駅係り人と会話する。	授業内容に関する語彙を取得する。
11	レストランにて。	料理を注文する。	授業内容に関する語彙を取得する。
12	病気 ①	病院で医者・看護師と会話する。	授業内容に関する語彙を取得する。
13	病気 ②	薬局にて。薬の買い方など。	授業内容に関する語彙を取得する。
14	郵便局にて	荷物を送る。	授業内容に関する語彙を取得する。
15	第⑨～⑭までの復讐	基本文を作成・小テスト。	授業内容に関する語彙を取得する。

関連科目 主言語インドネシア語の科目すべて

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	インドネシア語スピーキング	ホラス由美子	株式会社三修社
2	今すぐ話せるインドネシア語	フェアリーダイドリスノ好光 智子	株式会社ガネサ©ボックス
3			

評価方法(基準) 毎回の授業における参加度、および適宜行う小テストによって総合的に評価する。
 授業参加 20%
 クラス活動 30%
 小テスト 50%

学生へのメッセージ 口語表現の基本を身につければ、ネイティブの話が聞き取れるようになり、自然なやりとりができるようになります。

担当者の研究室等 7号館2階(非常勤講師室)

備考

科目名	インドネシア語コミュニケーションⅡb(1)	科目名(英文)	Indonesian Language Communication IIB(1)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	大坪 紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	前期の「インドネシア語コミュニケーションⅡa(1)」をさらに発展させ、あなたがインドネシアに滞在していると想定したうえで、インドネシアのひとびとと、インドネシア語でコミュニケーションを深めることを目的とします。
到達目標	相手の発言内容をより深く理解し、自分の意思や感想も伝えて、会話能力をいっそう高めることを目標とする。
授業方法と留意点	会話がテーマです。 毎回のテーマに応じて、インドネシアならびにインドネシア各地の習慣や様子を事前に簡単に調べておいてください。そのうえでどのような会話がやりとりされるのか事前にいくつか想像しておくこと。 間違いを恐れずに、積極的な発言と態度で臨んでください。
科目学習の効果(資格)	インドネシア語技能検定

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	同年代の友人との会話① 友人が「出かけよう」と誘いに来た	1. 挨拶表現 2. 勧誘表現 3. 数に関する表現 4. Bermain peran	中部ジャワや東部ジャワの乗り物について先に調べておくこと。
3	同年代の友人との会話②	1. 数に関する表現 2. 仮定の表現 3. Bermain peran	乗り物の値段交渉を事前に想定しておくこと。 助数詞や数字にまつわる表現を事前に復習しておくこと。
4	同年代の友人との会話③	1. yang を用いた表現の復習 2. 第2回と第3回の復習 3. Bermain peran	授業内容の復習
5	近所の人との会話① 道端で	1. 相手の話を聞いて理解する 2. 時系列の表現 3. Bermain peran	授業内容の復習
6	近所の人との会話② ワルンで	1. 相手の話を聞いて理解する 2. 時系列の表現 3. Bermain peran	授業内容の復習
7	近所の人との会話③	1. 相手の話を聞いて理解する 2. 強調文を理解する 3. Bermain peran	授業内容の復習
8	小試験①	第2回から第7回までに学習した項目をもとに、或る場面を想定した会話を課す。	第2回から第7回までの授業内容の総復習
9	友人と中心街へ出かける① ショッピングモールで買い物をする	1. 相手の話を聞いて理解する 2. di-形を用いた表現 3. Bermain peran	授業内容の復習
10	友人と中心街へ出かける② 食事をする	1. 相手の話を聞いて理解する 2. di-形を用いた表現 3. 時系列の表現 4. Bermain peran	授業内容の復習
11	友人と中心街へ出かける③ 自分からの希望で一緒にパサールへ行く	1. 第9回と第10回の復習 2. Bermain peran	授業内容の復習
12	小試験②	第5回から第7回までと、第9回から第11回までに学習した項目をもとに、或る状況を想定した会話を課す。	第5回から第7回までと、第9回から第11回までの授業内容の総復習
13	冠婚葬祭に関する儀礼・儀式に招待される①	1. 相手の話を聞いて理解する。 2. エチケットやマナーを質問する。 3. 第3者に説明する。 4. Bermain peran	さまざまな宗教や信仰、儀礼、慣習について、あらかじめ調べておくこと。
14	冠婚葬祭に関する儀礼・儀式に招待される②	1. 相手の話を聞いて理解する。 2. エチケットやマナーを質問する。 3. 第3者に説明する。 4. Bermain peran	授業内容の復習。
15	総復習試験	全回で学習した内容をもとに、或る状況を想定した会話を課す。	全授業内容の復習

関連科目 主言語インドネシア語科目のすべて

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 積極的な授業態度および平常点、小試験、第15回の総復習試験の結果を合わせた総合評価。

(基準)	詳細は、第1回目の授業で伝える。
学生への メッセージ	間違いを恐れずに、とにかく何かを言ってみましょう。間違いは「気づきのもと、「きっかけ」です。 日々の地道な学習と努力、勇気は必ず大きな成果を必ずもたらします。
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	インドネシア語コミュニケーションⅡb (2)	科目名 (英文)	Indonesian Language Communication IIb(2)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	エニ レスタリ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア語コミュニケーションⅠaに引き続き、インドネシア語のコミュニケーション能力を育成する。ネイティブスピーカーの話すインドネシア語を理解し、適切に対応できるようになることを目標とする。また、書き言葉とは異なる口語的な表現について学び、口語表現を正式な表現に言い換えられるようにする。
到達目標	日常の様々な場面をテーマにして、そのテーマによる会話文を作成・会話練習を行う。
授業方法と留意点	歌やドラマの一場面など視聴覚資料を用いて、生のインドネシア語を聞き取る練習を行う。また、重要な口語表現を学び、これを用いた会話練習をする。積極的に授業に参加してください。
科目学習の効果 (資格)	生きた会話ができるインドネシア語の運用能力が身に付く (インドネシア語検定試験)

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	インドネシアでの生活 ①	他の人の家に訪問する。インドネシアの常識。聞き取り会話練習。	授業の内容に関する語彙を覚える。
2	インドネシアでの生活 ②	誕生日パーティに参加する。聞き取り会話練習。	授業の内容に関する語彙を覚える。
3	銀行へ行く ①	口座を作る。聞き取り会話練習。	授業の内容に関する語彙を覚える。
4	銀行へ行く ②	ATMの使い方。聞き取り会話練習。	授業の内容に関する語彙を覚える。
5	結婚式に参加①	結婚式についての会話のやり取り	授業の内容に関する語彙を覚える。
6	結婚式に参加 ②	前授業の復讐	授業の内容に関する語彙を覚える。
7	博物館に 訪問する。	博物館の物について聞き取り会話練習。	授業の内容に関する語彙を覚える。
8	第 ①～⑦ までの	会話文を作成・小テスト。	授業の内容に関する語彙を覚える。
9	インドネシアの習慣 ①	若者の習慣、malam minggu について聞き取り会話練習。	授業の内容に関する語彙を覚える。
10	インドネシアの習慣 ②	断食について聞き取り会話練習。	授業の内容に関する語彙を覚える。
11	インドネシア語の習慣 ③	様々な儀式に関する聞き取り会話練習。	授業の内容に関する語彙を覚える。
12	インドネシアの習慣 ④。	様々な儀式に関する聞き取り会話練習。	授業の内容に関する語彙を覚える。
13	インドネシアのお葬式 ①	マナー聞き取り会話練習。	授業の内容に関する語彙を覚える。
14	インドネシアのお葬式 ②	聞き取りと会話の練習の復讐	授業の内容に関する語彙を覚える。
15	第 ⑨～⑭までの復讐	会話文を作成・小テスト。	授業の内容に関する語彙を覚える。

関連科目 主言語インドネシア語の科目すべて

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	今すぐ話せるインドネシア語	ファミリーダイドリスノ/好光 智子	株式会社ナガセ◎ブックス
2	インドネシア語スピーキング	ホラス由美子	
3			

評価方法 (基準) 授業参加 20%
クラス活動 30%
テスト 50%

学生へのメッセージ 口語表現の基本を身につければ、ネイティブの話が聞き取れるようになり、自然なやりとりができるようになります。

担当者の研究室等 7号館2階(非常勤講師室)

備考

科目名	インドネシア語コミュニケーションⅢa	科目名(英文)	Indonesian Language Communication IIIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	デヴィ クスリニ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	Kuliah ini bertujuan agar mahasiswa dapat mengenal budaya Indonesia dan kondisi Indonesia terkini sehingga dapat berkomunikasi lebih baik dengan orang Indonesia. Mahasiswa diharapkan dapat berpresentasi secara komunikatif dalam bahasa Indonesia dengan menggunakan powerpoint. Mahasiswa yang menyimak presentasi, diharapkan dapat berdiskusi mengenai isi materi dalam bahasa Indonesia. Mahasiswa dapat membuat laporan dalam bahasa Indonesia.
到達目標	Mahasiswa dapat melakukan presentasi dengan penyampaian dalam bahasa Jepang dan slide dalam bahasa Indonesia. Presentasi yang baik mencakup : presentasi yang membuat aktif kedua belah pihak yaitu presenter dan pendengarnya dan penyampaian yang mudah dimengerti pendengarnya. Mahasiswa dapat membuat laporan dalam bahasa Jepang dan bahasa Indonesia dari hasil presentasi yang telah dilakukan sebelumnya.
授業方法と留意点	Mahasiswa akan melakukan 2 kali presentasi terkait budaya Indonesia dalam bahasa Indonesia. Usahkan agar cara presentasi tidak sepihak, tetapi dapat membuat teman-temannya memberi komentar terhadap tema presentasi yang dibawakan. Mahasiswa yang tidak bertanggung jawab melakukan presentasi, tetap harus menyiapkan bahan terkait tema presentasi, agar dapat turut serta aktif berdiskusi.
科目学習の効果(資格)	インドネシア語検定試験C級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Penjelasan tentang isi silabus dan teknik perkuliahan.	Penjelasan tema yang akan dipresentasikan mahasiswa. Pembagian tugas presentasi. Percakapan bebas dalam bahasa Indonesia.	Membaca koran berbahasa Indonesia. Memilih tema artikel koran yang ingin dipresentasikan.
	2	Kehidupan sehari-hari orang Indonesia	Kehidupan keluarga, kelahiran, menjenguk orang sakit, melayat ke kuburan, dll.	Mencari informasi terkait materi di kelas, agar dapat ikut serta berdiskusi.
	3	Bahasa yang digunakan oleh orang Indonesia.	Pemakaian bahasa Indonesia dan bahasa daerah orang Indonesia.	Mencari informasi terkait materi di kelas, agar dapat ikut serta berdiskusi.
	4	Makanan Indonesia.	Makanan pokok, jenis-jenis masakan Indonesia seperti masakan sunda, padang, dll, makanan atau kue khas setempat seperti dodol dari Garut, atau pempek dari Palembang, dll.	Mencari informasi terkait materi di kelas, agar dapat ikut serta berdiskusi.
	5	Evaluasi materi dan menonton film Indonesia	Evaluasi pemahaman materi 2-4 Menonton film Indonesia	Membaca ulang materi 2-4
	6	Permainan anak-anak Indonesia.	Permainan tradisional (lompat tali, ular tangga), permainan modern (play station, dll)。	Mencari informasi terkait materi di kelas, agar dapat ikut serta berdiskusi.
	7	Kegiatan anak muda Indonesia.	Bimbel/les, kegiatan ekstra kurikuler, karang taruna, dll.	Mencari informasi terkait materi di kelas, agar dapat ikut serta berdiskusi.
	8	Kegiatan di dalam masyarakat Indonesia.	kerja bakti, siskamling, arisan, pengajian など	Mencari informasi terkait materi di kelas, agar dapat ikut serta berdiskusi.
	9	Evaluasi materi dan menonton film Indonesia (2)	Evaluasi pemahaman materi 6-8 Menonton film Indonesia (2)	Membaca ulang materi 6-8
	10	Alat transportasi di Indonesia.	Jenis alat transportasi, ongkos, kemacetan, dll.	Mencari informasi terkait materi di kelas, agar dapat ikut serta berdiskusi.
	11	Tempat tinggal di Indonesia	Rumah tradisional, perumahan/kompleks, rumah susun, asrama, kost, kontrakan, dll.	Mencari informasi terkait materi di kelas, agar dapat ikut serta berdiskusi.
	12	Lagu Indonesia	lagu daerah, lagu anak "Cicak-cicak", lagu keroncong "Bengawan Solo", lagu kebangsaan "Indonesia Raya", dll.	Mencari informasi terkait materi di kelas, agar dapat ikut serta berdiskusi.
	13	Evaluasi materi dan menonton film Indonesia (3)	Evaluasi pemahaman terhadap materi 10 sampai materi 12 Menonton film Indonesia (3)	Membaca ulang materi 10-12
	14	Perbaikan penulisan laporan dalam bahasa Indonesia.	Melakukan cek penulisan laporan dengan teman lalu dengan dosen.	Menyiapkan laporan dari materi yang telah dipresentasikan dalam bahasa Indonesia.
15	Pengumpulan laporan dan evaluasi serta menonton film Indonesia (4)	Setiap mahasiswa akan mempresentasikan sekilas tentang isi materi laporan, dan menonton film Indonesia (4)	Memperbaiki laporan dalam bahasa Indonesia dan membawa hasilnya untuk dikumpulkan.	

関連科目	Seluruh mata kuliah terkait bahasa Indonesia.
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

	2			
	3			
評価方法 (基準)	Presentasi 30%, keaktifan dalam berdiskusi setiap pertemuan 20%, evaluasi materi 20%, laporan 30%			
学生への メッセージ	Bagi presenter, siapkan bahan berbentuk powerpoint. Lakukan presentasi secara komunikatif. Bagi pendengar, ungkapkan pendapat Anda secara aktif.			
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	Untuk mengetahui kondisi Indonesia terbaru, bacalah koran pada website berikut ; www.kompas.com www.tempo.co www.republika.co.id			

科目名	インドネシア語コミュニケーションⅢb	科目名(英文)	Indonesian Language Communication IIIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	デウィ クスリニ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	Kuliah ini bertujuan agar mahasiswa dapat menganalisa penggunaan bahasa Indonesia orang Indonesia dalam novel modern sehingga dapat mengetahui penerapan ilmu bahasa yang selama ini dipelajari dalam kehidupan sehari-hari orang Indonesia. Dan hasilnya akan kembali pada mahasiswa itu sendiri untuk dapat berbahasa Indonesia lebih lancar.
到達目標	Mahasiswa dapat mengetik ulang naskah novel berbahasa Indonesia ke dalam excel. Mahasiswa dapat menemukan kata dasar dari kata berimbuhan yang digunakan dalam novel. Mahasiswa dapat menemukan kecenderungan pemakaian bahasa yang menarik untuk dianalisa. Mahasiswa dapat mempresentasikan kecenderungan pemakaian bahasa Indonesia dalam bentuk powerpoint. Mahasiswa dapat membuat laporan dari apa yang telah dipresentasikan dalam bahasa Jepang.
授業方法と留意点	Mahasiswa akan mengetik ulang naskah novel berbahasa Indonesia (sekitar 10 lembar) ke dalam excel. Mahasiswa akan mencari kata dasar dari kata berimbuhan yang digunakan dalam novel. Mahasiswa akan menemukan kecenderungan pemakaian bahasa yang menarik untuk dianalisa. Mahasiswa akan mempresentasikan kecenderungan pemakaian bahasa Indonesia dalam bentuk powerpoint. Mahasiswa akan membuat laporan dari apa yang telah dipresentasikan dalam bahasa Jepang.

科目学習の効果(資格)	インドネシア語検定試験C級
-------------	---------------

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	Pengetikan naskah novel ke dalam excel(1)	Pengetikan naskah novel ke dalam excel(1)	Pengecekan dan pengetikan bahan tersisa(1)
3	Pengetikan naskah novel ke dalam excel(2)	Pengetikan naskah novel ke dalam excel(2)	Pengecekan dan pengetikan bahan tersisa(2)
4	Pengetikan naskah novel ke dalam excel(3)	Pengetikan naskah novel ke dalam excel(3)	Pengecekan dan pengetikan bahan tersisa(3)
5	Pengecekan kata dasar dan arti kata(1)	Mendata kata dasar dan arti kata(1)	Pengecekan dan menghafal kata dasar beserta artinya(1)
6	Pengecekan kata dasar dan arti kata(2)	Mendata kata dasar dan arti kata(2)	Pengecekan dan menghafal kata dasar beserta artinya(2)
7	Pengecekan kata dasar dan arti kata(3)	Mendata kata dasar dan arti kata(3)	Pengecekan dan menghafal kata dasar beserta artinya(3)
8	Penerjemahan kalimat(1)	Penerjemahan kalimat ke dalam bahasa Jepang(1)	Pengecekan penerjemahan(1)
9	Penerjemahan kalimat(2)	Penerjemahan kalimat ke dalam bahasa Jepang(2)	Pengecekan penerjemahan(2)
10	Penerjemahan kalimat(3)	Penerjemahan kalimat ke dalam bahasa Jepang(3)	Pengecekan penerjemahan(3)
11	Penentuan tema presentasi	Menemukan tema untuk dianalisa dan dipresentasikan.	Membaca ulang naskah novel.
12	Analisa data	Menganalisa data dalam excel.	Menghitung dan cek ulang hasil analisa data.
13	Presentasi ke-1	Mempresentasikan hasil sementara analisa data.	Memperbaiki analisa data untuk dipresentasikan ulang pada minggu berikutnya.
14	Presentasi ke-2	Mempresentasikan hasil akhir analisa data.	Merangkum hasil analisa data yang telah dipresentasikan dalam bentuk laporan berbahasa Jepang.
15	Pengumpulan laporan dan evaluasi.	Pengumpulan laporan dan evaluasi perkuliahan secara keseluruhan.	Menyelesaikan laporan untuk dapat dikumpulkan.

関連科目	Seluruh mata kuliah terkait bahasa Indonesia.
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	Pengumpulan data 30%, analisa data 30%, presentasi 20%, laporan 20%
----------	---

学生へのメッセージ	Biasakan untuk membaca novel dan biasakan pula mengolah data dalam excel. Kalau ada pertanyaan terkait perkuliahan, hubungi saya lewat email : dewipadi@hotmail.com
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	インドネシア語コミュニケーションⅣa	科目名(英文)	Indonesian Language Communication IVa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	エニ レスタリ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	Mahasiswa mampu berdiskusi tentang hal-hal yang berkaitan dengan Jepang. Kemampuan ini akan berguna untuk menerangkan tentang Jepang kepada orang Indonesia dalam berbagai situasi yang akan dialami di Indonesia.
到達目標	Tiap pertemuan mahasiswa mempersiapkan bahan diskusi tentang tema yang ditentukan.
授業方法と留意点	Dalam kuliah ini, mahasiswa harus mempersiapkan presentasi. Dan setiap ketiga kali dari satu tema, diadakan diskusi.

科目学習の効果(資格)	インドネシア語検定試験
-------------	-------------

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	Tentang Kebudayaan Jepang 1	Presentasi Mahasiswa mengenai Geografi Jepang	Ulangan Kuliah Kali Ini
3	Tentang Kebudayaan Jepang 2	Presentasi Mahasiswa mengenai tempat pariwisata terkenal dan budaya setempat	Ulangan Kuliah Kali Ini
4	Tentang Kebudayaan Jepang 3	Diskusi Tema tentang Kebudayaan Jepang	Ulangan Kuliah Kali Ini
5	Tentang Ekonomi Jepang 1	Presentasi Mahasiswa mengenai fluktuasi mata uang dan pengaruhnya terhadap perekonomian Jepang	Ulangan Kuliah Kali Ini
6	Tentang Ekonomi Jepang 2	Presentasi Mahasiswa tentang hubungan ekonomi dan kerja sama luar negeri	Ulangan Kuliah Kali Ini
7	Tentang Ekonomi Jepang 3	Diskusi Tema tentang ekonomi Jepang	Ulangan Kuliah Kali Ini
8	Perulangan untuk Tema selama Ini	Berdiskusi tentang Kedua Tema yang Telah dibicarakan dalam Kuliah ini	Ulangan Kuliah Kali Ini
9	Tentang Sejarah Jepang 1	Presentasi Mahasiswa tempat bersejarah Kyoto	Ulangan Kuliah Kali Ini
10	Tentang Sejarah Jepang 2	Presentasi Mahasiswa tempat bersejarah Nara	Ulangan Kuliah Kali Ini
11	Tentang Sejarah Jepang 3	Diskusi Tema tentang Sejarah Jepang	Ulangan Kuliah Kali Ini
12	Tentang Masalah Sosial Jepang 1	Presentasi Mahasiswa tentang kesenjangan usia	Ulangan Kuliah Kali Ini
13	Tentang Masalah Sosial Jepang 2	Presentasi Mahasiswa tentang bantuan pemerintah dalam berbagai masalah sosial	Ulangan Kuliah Kali Ini
14	Tentang Masalah Sosial Jepang 3	Diskusi Tema tentang Masalah Sosial Jepang	Ulangan Kuliah Kali Ini
15	Perulangan	Berdiskusi tentang Kedua Tema Terakhir yang Telah dibicarakan dalam Kuliah ini	Ulangan Kuliah Kali Ini

関連科目	インドネシア語の全科目
------	-------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	Kehadiran dan aktivitas kelas 50% Presentasi 50%
----------	---

学生へのメッセージ	Mahasiswa harus berpartisipasi aktif dalam kegiatan kuliah.
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	インドネシア語コミュニケーションⅣb	科目名(英文)	Indonesian Language Communication IVb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	エニ レスタリ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的 Memberikan pengetahuan dan kemampuan memahami bahasa dan sastra Indonesia. Mahasiswa mampu mempraktekkan bahasa Indonesia dalam dunia sastra.

到達目標 Mahasiswa, membaca karya sastra dan mendiskusikan isinya bersama.

授業方法と留意点 Dalam kuliah ini, mahasiswa berperan aktif dalam membaca buku sastra, kemudian bersama-sama mempraktekkan drama (sandiwara) sebagai tugas akhir.

科目学習の効果(資格) インドネシア語検定試験

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Orientasi	Penjelasan tentang Kuliah Ini	Ulangan Kuliah Kali Ini
2	Membaca karya sastra	Sastra lama (pantun)	Ulangan Kuliah Kali Ini
3	Membaca karya sastra	Sastra lama (syair & puisi)	Ulangan Kuliah Kali Ini
4	Perbandingan Karya Sastra Indonesia dan Jepang	Diskusi Tema tentang Perbandingan Kebudayaan Indonesia dan Jepang	Ulangan Kuliah Kali Ini
5	Perbandingan Karya sastra Jepang dan Indonesia	Presentasi karya puisi mahasiswa.	Membaca puisi hasil karya sendiri atau karya pengarang yang terkenal
6	Membaca karya sastra cerita rakyat	Cerita rakyat Jepang	Ulangan Kuliah Kali Ini
7	Membaca karya sastra	ceritera rakyat Indonesia	Ulangan Kuliah Kali Ini
8	Membaca karya sastra sandiwara 1	Berdiskusi tentang Kedua Tema yang Telah dibicarakan dalam Kuliah ini	Ulangan Kuliah Kali Ini
9	Membaca karya sastra sandiwara 2	menyiapkan naskah sandiwara	Ulangan Kuliah Kali Ini
10	Membaca karya sastra sandiwara 3	Bermain peran	Ulangan Kuliah Kali Ini
11	Sandiwara	Praktek bermain peran	Ulangan Kuliah Kali Ini
12	Sandiwara	Praktek bermain peran	Ulangan Kuliah Kali Ini
13	Sandiwara	mempersiapkan setting , musik dan sebaynya.	Ulangan Kuliah Kali Ini
14	Sandiwara	Gladi resik, pementasan sandiwara	Ulangan Kuliah Kali Ini
15	Pementasan Sandiwara	Pentas Sandiwara	Ulangan Kuliah Kali Ini

関連科目 インドネシア語の全科目

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準) Kehadiran danAktivitas Kelas 50%
Laporan/ paper 50%

学生へのメッセージ Mahasiswa harus berpartisipasi aktif dalam kegiatan kuliah.

担当者の研究室等 7号館2階(非常勤講師室)

備考

科目名	インドネシア語入門 a (1)	科目名 (英文)	Introduction to Indonesian Language a(1)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	山口 真佐夫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	人口2億人以上を擁するインドネシア共和国の国語であるインドネシア語 (Bahasa Indonesia) の基礎的な運用能力の向上を目指す。本授業では、特に文法能力を高めることを目的としている。
到達目標	インドネシア語文法の基礎をマスターすることができる。
授業方法と留意点	本授業は、「インドネシア語入門 a (2)」と同じテキストを用い、リレー方式で行っていく。なお、定期試験についても「インドネシア語入門」統一試験を実施する。
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語技能検定

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	第1課	インドネシア語の綴りと発音の説明1	本課の復習を必ずすること
	2	第2課	インドネシア語の綴りと発音の説明2	本課の復習を必ずすること
	3	第3課	名詞の文法説明、講読	本課の予習・復習を必ずすること
	4	これまでの復習	発音と綴り等の再確認	復習を必ずすること
	5	第4課	形容詞文法説明、講読	本課の予習・復習を必ずすること
	6	第5課	動詞の説明、講読	本課の予習・復習を必ずすること
	7	第6課	数詞の説明、講読	本課の予習・復習を必ずすること
	8	第7課	時の表現の説明、講読	本課の予習・復習を必ずすること
	9	第8課	その他の品詞の文法1の説明、講読	本課の予習・復習を必ずすること
	10	第9課	その他の品詞の文法2説明、講読	本課の予習・復習を必ずすること
	11	第10課	修飾語、被修飾語の位置の説明、講読	本課の予習・復習を必ずすること
	12	第11課	文形の説明、講読	本課の予習・復習を必ずすること
	13	第12課	インドネシア語の接辞の説明	本課の予習・復習を必ずすること
	14	第13課	接頭辞 ber- の役割、使い方の説明、講読	本課の予習・復習を必ずすること
	15	第14課	接尾辞 -an の文法説明 人称接辞の説明、講読	本課の予習・復習を必ずすること

関連科目	主言語インドネシア語の科目すべて
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	『インドネシア語入門』(2,000円程度)	浦野崇央、山口真佐夫	
	2	『インドネシア語辞典ポケット版』(8,000円+税)	末永晃	大学書林
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	適宜指示する。		
	2			
	3			

評価方法 (基準)	定期試験(「インドネシア語入門」統一試験)を実施する。 平常点と積極的な授業参加度の度合いなどを総合的に判断する。 詳細は、第1回目の授業で伝える。
学生へのメッセージ	1年次の基本となる授業なので、欠席せずにしっかり出席すること。
担当者の研究室等	7号館5階(山口研究室)
備考	指示された予習・復習には充分時間をかけ、学習効果を上げるようにすること。

科目名	インドネシア語入門 a (2)	科目名 (英文)	Introduction to Indonesian Language a(2)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	浦野 崇央
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	人口2億人以上を擁するインドネシア共和国の国語であるインドネシア語 (Bahasa Indonesia) の基礎的な運用能力の向上を目指す。			
到達目標	基本的なインドネシア語運用能力を高めることを目的とする。 本授業では、特に「読む」「書く」能力を高めることを目標とし、インドネシア語で表現する方法の基礎をマスターする。			
授業方法と留意点	本授業は、「インドネシア語入門 a (1)」と同じテキストを用い、リレー方式で行なっていく。なお、定期試験についても「インドネシア語入門」統一試験を実施する。 授業時には辞書を必ず携行すること。			
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語技能検定			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	ガイダンス	インドネシア共和国におけるインドネシア語の位置づけについての説明	学んだことの再確認
	2	第1課	インドネシア語の綴りと発音①	学んだことの再確認
	3	第2課	インドネシア語の綴りと発音②	学んだことの再確認
	4	第3課	名詞を使った文の講読・作文	学んだことの再確認
	5	第4課	形容詞を使った文の講読・作文	学んだことの再確認
	6	第5課	動詞を使った文の講読・作文	学んだことの再確認
	7	第6課	数詞を使った文の講読・作文	学んだことの再確認
	8	第7課	時の表現についての文の講読・作文	学んだことの再確認
	9	第8課	その他の品詞を使った文の講読・作文①	学んだことの再確認
	10	第9課	その他の品詞を使った文の講読・作文②	学んだことの再確認
	11	第10課	語順①	学んだことの再確認
	12	第11課	語順②	学んだことの再確認
	13	復習 中間テスト	これまでに学んだことの復習 中間テスト	学んだことの再確認
	14	第13課	接頭辞 ber-を使った文の講読・作文	学んだことの再確認
15	第14課	接尾辞-an、人称接辞を使った文の講読・作文	学んだことの再確認	
関連科目	インドネシア語科目すべて (特に、「インドネシア語入門 a(1)」)			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	インドネシア語入門 (第3版)	浦野崇央・山口真佐夫編	摂南大学外国語学部
	2	インドネシア語辞典ポケット版	末永晃	大学書林
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	定期試験 (「インドネシア語入門」統一試験) および「積極的な授業参加」の度合いなどをもとに総合的に判断する。 詳細は、第1回目の授業で伝える。			
学生へのメッセージ	インドネシア語はとても学びやすい言語です。是非、楽しんで学んでいきましょう。 質問があれば、いつでも研究室に来てください。積極的な姿勢がとても大切です。			
担当者の研究室等	7号館4階(浦野研究室)			
備考	毎回の予習は基本的に必要ないが、少なくとも毎週30分程度以上の復習は欠かさず行うこと。			

科目名	インドネシア語入門 a (3)	科目名 (英文)	Introduction to Indonesian Language a(3)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	大坪 紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本授業では「インドネシア語入門 a (1)、(2)」で学んだ基礎、すなわち「読み」「書き」の徹底をはかる。			
到達目標	インドネシア語の短文読解力と表現力を高めること。			
授業方法と留意点	テーマごとにプリントを用いて「読み」「書き」の練習をおこなう。かならず予習・復習をおこなうこと。適宜、小テストも実施する。受講者の習得度によっては、授業テーマおよび内容を修正しながら行なうことがある。			
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語技能検定			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	第1課	インドネシア語の綴りと発音①	復習
	2	第2課	インドネシア語の綴りと発音②	復習
	3	第3課	名詞	復習
	4	第4課	形容詞	復習
	5	第5課	動詞	復習
	6	第6課	数詞	復習
	7	第7課	時(とき)の表現	復習
	8	第8課	その他の品詞①	復習
	9	第9課	その他の品詞②	復習
	10	第10課	語順①	復習
	11	第11課	語順②	復習
	12	第12課	これまでに学習したことの復習	復習
	13	第13課	接辞 ber-	復習
	14	第14課	接尾辞-an、人称接辞	復習
	15	第15課	総復習「まとめ試験」	復習
関連科目	主言語インドネシア語科目のすべて			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	積極的な授業態度および平常点と第15回目の「まとめ試験」結果を合わせた総合評価。詳細は、第1回目の授業で伝える。			
学生へのメッセージ	間違いを恐れずに、積極的な態度で授業に臨みましょう。日々の地道な学習と努力は必ず大きな成果をもたらします。			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考				

科目名	インドネシア語入門 b (1)	科目名 (英文)	Introduction to Indonesian Language b(1)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	山口 真佐夫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	人口2億人以上を擁するインドネシア共和国の国語であるインドネシア語 (Bahasa Indonesia) の基礎的な運用能力の向上を目指す。本授業では、特に文法能力を高めることを目的としている。			
到達目標	インドネシア語文法の基礎をマスターすること。			
授業方法と留意点	本授業は、「インドネシア語入門 b (2)」と同じテキストを用い、リレー方式で行っていく。なお、定期試験についても「インドネシア語入門」統一試験を実施する。			
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語技能検定			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	第15課	綴りの規則の説明、講読	本課の復習を必ずすること
	2	第16課	接頭辞 se-、共接辞 se-nya、ke--an、接尾辞 -nya の文法説明、講読	本課の復習を必ずすること
	3	第16課	接頭辞 se-、共接辞 se-nya、ke--an、接尾辞 -nya の講読、作文	本課の復習を必ずすること
	4	第17課、第18課	接頭辞 me- の講読 接頭辞 di- の文法説明	両課の復習を必ずすること
	5	第19課	接頭辞 ter- の文法説明、講読	本課の復習を必ずすること
	6	第20課	共接辞 ber--an、per--an の文法説明、講読	本課の復習を必ずすること
	7	第21課	接頭辞 pe-、共接辞 pe--an の文法説明、講読	本課の復習を必ずすること
	8	中間テスト対策講座	中間テストのための準備を行う	復習をすること
	9	第22課	接尾辞 -i、-kan の文法説明、講読	本課の復習を必ずすること
	10	第23課	接頭辞 member- の文法的説明、講読	本課の復習を必ずすること
	11	インドネシア語でスピーチしてみよう	インドネシア語で話すことの実践演習	予習をしてくること
	12	第24課	能動文と受動文の文法説明	本課の復習を必ずすること
	13	第25課	重複の文法説明、講読	本課の復習を必ずすること
	14	第26課	接辞の例外的変化、不規則変化の文法説明、講読	本課の復習を必ずすること
15	第27課 総復習	接辞のまとめおよびその他の接辞 総復習	もう一度教科書全体を見ておくこと	
関連科目	主言語インドネシア語の科目すべて			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	『インドネシア語入門』(前期に購入済み)	浦野崇央、山口真佐夫	
	2	『インドネシア語辞典ポケット版』(前期に購入済み)	末永晃	大学書林
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	適宜指示する。		
	2			
	3			
評価方法 (基準)	定期試験 (「インドネシア語入門」統一試験) を実施する。 平常点と積極的な授業参加度の度合いなどを総合的に判断する。 詳細は、第1回目の授業で伝える。			
学生へのメッセージ	1年次の基本となる授業なので、欠席せずにしっかり出席すること			
担当者の研究室等	7号館5階 (山口研究室)			
備考	指示された予習・復習には充分時間をかけ、学習効果を上げるようにすること。			

科目名	インドネシア語入門 b (2)	科目名 (英文)	Introduction to Indonesian Language b(2)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	浦野 崇央
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	人口2億人以上を擁するインドネシア共和国の国語であるインドネシア語 (Bahasa Indonesia) の基本的な運用能力の向上を目指す。																																																																		
到達目標	前期開講の「インドネシア語入門 a (2)」に引き続き、本授業では特に「読む」「書く」能力を高めることを目標とし、インドネシア語で表現する方法の基礎をマスターする。																																																																		
授業方法と留意点	本授業は、「インドネシア語入門 b (1)」と同じテキストを用い、リレー方式で行なっていく。なお、定期試験についても「インドネシア語入門」統一試験を実施する。 授業時は辞書を必ず携行すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語技能検定																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第15課</td> <td>綴りの規則に基づいた文の講読・作文</td> <td>学んだことの再確認</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第17課</td> <td>接頭辞 me- を使った文の文法説明および講読</td> <td>学んだことの再確認</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第18課</td> <td>接頭辞 di- を使った文の講読・作文</td> <td>学んだことの再確認</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第19課</td> <td>接頭辞 ter- を使った文の講読・作文</td> <td>学んだことの再確認</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第20課</td> <td>共接辞 ber- -an, per- -an を使った文の講読・作文</td> <td>学んだことの再確認</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第21課</td> <td>接頭辞 pe-, 共接辞 pe- -an を使った文の講読・作文</td> <td>学んだことの再確認</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>復習 中間テスト</td> <td>これまでに学んだことの復習 中間テスト</td> <td>学んだことの再確認</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第22課</td> <td>接尾辞 -i, -kan を使った文の講読・作文</td> <td>学んだことの再確認</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第23課</td> <td>接頭辞 memper- を使った文の講読・作文</td> <td>学んだことの再確認</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>復習</td> <td>中間テスト返却指導</td> <td>学んだことの再確認</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第24課</td> <td>能動文と受動文の使い分け練習と講読</td> <td>学んだことの再確認</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>第25課</td> <td>重複の文の講読・作文</td> <td>学んだことの再確認</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>第26課</td> <td>接辞の例外的変化、不規則変化を使った文の講読・作文</td> <td>学んだことの再確認</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>講読実践練習</td> <td>これまでに学んだ構文の講読・作文練習</td> <td>学んだことの再確認</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習</td> <td>これまでに学んだ項目の総復習</td> <td>学んだことの再確認</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	第15課	綴りの規則に基づいた文の講読・作文	学んだことの再確認	2	第17課	接頭辞 me- を使った文の文法説明および講読	学んだことの再確認	3	第18課	接頭辞 di- を使った文の講読・作文	学んだことの再確認	4	第19課	接頭辞 ter- を使った文の講読・作文	学んだことの再確認	5	第20課	共接辞 ber- -an, per- -an を使った文の講読・作文	学んだことの再確認	6	第21課	接頭辞 pe-, 共接辞 pe- -an を使った文の講読・作文	学んだことの再確認	7	復習 中間テスト	これまでに学んだことの復習 中間テスト	学んだことの再確認	8	第22課	接尾辞 -i, -kan を使った文の講読・作文	学んだことの再確認	9	第23課	接頭辞 memper- を使った文の講読・作文	学んだことの再確認	10	復習	中間テスト返却指導	学んだことの再確認	11	第24課	能動文と受動文の使い分け練習と講読	学んだことの再確認	12	第25課	重複の文の講読・作文	学んだことの再確認	13	第26課	接辞の例外的変化、不規則変化を使った文の講読・作文	学んだことの再確認	14	講読実践練習	これまでに学んだ構文の講読・作文練習	学んだことの再確認	15	総復習	これまでに学んだ項目の総復習	学んだことの再確認
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	第15課	綴りの規則に基づいた文の講読・作文	学んだことの再確認																																																																
2	第17課	接頭辞 me- を使った文の文法説明および講読	学んだことの再確認																																																																
3	第18課	接頭辞 di- を使った文の講読・作文	学んだことの再確認																																																																
4	第19課	接頭辞 ter- を使った文の講読・作文	学んだことの再確認																																																																
5	第20課	共接辞 ber- -an, per- -an を使った文の講読・作文	学んだことの再確認																																																																
6	第21課	接頭辞 pe-, 共接辞 pe- -an を使った文の講読・作文	学んだことの再確認																																																																
7	復習 中間テスト	これまでに学んだことの復習 中間テスト	学んだことの再確認																																																																
8	第22課	接尾辞 -i, -kan を使った文の講読・作文	学んだことの再確認																																																																
9	第23課	接頭辞 memper- を使った文の講読・作文	学んだことの再確認																																																																
10	復習	中間テスト返却指導	学んだことの再確認																																																																
11	第24課	能動文と受動文の使い分け練習と講読	学んだことの再確認																																																																
12	第25課	重複の文の講読・作文	学んだことの再確認																																																																
13	第26課	接辞の例外的変化、不規則変化を使った文の講読・作文	学んだことの再確認																																																																
14	講読実践練習	これまでに学んだ構文の講読・作文練習	学んだことの再確認																																																																
15	総復習	これまでに学んだ項目の総復習	学んだことの再確認																																																																
関連科目	インドネシア語科目すべて (特に、「インドネシア語入門 b(1)」)																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>インドネシア語入門第3版</td> <td>浦野崇央・山口真佐夫編</td> <td>摂南大学外国語学部</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>インドネシア語辞典ポケット版</td> <td>末永晃</td> <td>大学書林</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	インドネシア語入門第3版	浦野崇央・山口真佐夫編	摂南大学外国語学部	2	インドネシア語辞典ポケット版	末永晃	大学書林	3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	インドネシア語入門第3版	浦野崇央・山口真佐夫編	摂南大学外国語学部																																																																
2	インドネシア語辞典ポケット版	末永晃	大学書林																																																																
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	定期試験 (「インドネシア語入門」統一試験) および「積極的な授業参加」の度合いなどをもとに総合的に判断する。 詳細は、第1回目の授業で伝える。																																																																		
学生へのメッセージ	インドネシア語はとても学びやすい言語です。是非、楽しんで学んでいきましょう。 質問があれば、いつでも研究室に来てください。積極的な姿勢がとても大切です。																																																																		
担当者の研究室等	7号館4階(浦野研究室)																																																																		
備考	毎週の予習は基本的に必要ないが、毎週少なくとも30分程度以上の復習は欠かせないこと。																																																																		

科目名	インドネシア語入門 b (3)	科目名 (英文)	Introduction to Indonesian Language b(3)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	大坪 紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本授業では「インドネシア語入門 b (1)、(2)」で学んだ基礎、すなわち「読み」「書き」の徹底をはかる。			
到達目標	平易な文章で書かれた短編が読める程度のインドネシア語能力を身につけること。			
授業方法と留意点	テーマごとにプリントを用いて「読み」「書き」の練習をおこなう。かならず予習・復習をおこなうこと。適宜、小テストも実施する。受講者の習得度によっては、授業テーマおよび内容を修正しながら行なうことがある。			
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語技能検定			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	第 15 課	綴りの規則	復習
	2	第 16 課	接頭辞 se-, 共接辞 se--nya, ke--an、 接尾辞-nya	復習
	3	第 17 課	接頭辞 me-	復習
	4	第 18 課	接頭辞 di-	復習
	5	第 19 課	接頭辞 ter-	復習
	6	第 20 課	共接辞 ber--an, per--an	復習
	7	第 21 課	接頭辞 pe-, 共接辞 pe--an	復習
	8	整理と復習	これまでに学んだことの復習	復習
	9	第 22 課	接尾辞-i, -kan	復習
	10	第 23 課	接頭辞 memper-	復習
	11	第 24 課	能動文と受動文	復習
	12	第 25 課	重複	復習
	13	第 26 課	接辞の例外的変化・不規則変化	復習
	14	第 27 課	これまでに学んだ語彙や構文を使った 文章の読解と作文	復習
	15	第 28 課	総復習「まとめ試験」	復習
関連科目	主言語インドネシア語科目のすべて			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	積極的な授業態度および平常点と第 15 回目の「まとめ試験」結果をあわせた総合評価。詳細は、第 1 回目の授業で伝える。			
学生へのメッセージ	前期のインドネシア語学習を通じて、インドネシア語にかなり慣れ親しんだかと思えます。この授業を通じて「読み」「書き」の理解力をいっそう高めましょう。			
担当者の研究室等	7 号館 2 階(非常勤研究室)			
備考				

科目名	インドネシア語表現法	科目名(英文)	Indonesian Language Expression
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	山口 玲子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本授業では、日常会話レベルで用いる基本的な表現（フレーズや言い回し）について学ぶ。日常生活で用いられる何気ない表現をできるだけ平易な言葉で言い表わすための文例をしっかりとマスターし、語学運用能力の向上を目指す。			
到達目標	日常生活で用いられている基本的な表現を習得すること。			
授業方法と留意点	本授業は、配布するプリントを中心に進めていく。また、適宜小テストを実施する。授業においては辞書を必ず携行すること。			
科目学習の効果(資格)	インドネシア語技能検定			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	今後の授業の進め方についての説明を行う	—————
	2	文字と発音	文字と発音および簡単な文法説明を行う	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
	3	あいさつの表現①	あいさつで用いる表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
	4	あいさつの表現②	同上	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
	5	お礼の表現	お礼をする際の表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
	6	謝罪の表現	謝罪する際の表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
	7	許可の表現	許可を求めたり、受けたりする際の表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
	8	禁止・依頼の表現	禁止したり、依頼する際の表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
	9	誘いの表現	誘う際の表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
	10	肯定・否定の表現	肯定したり否定する際の表現を習得する。	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
	11	命令の表現	命令を下す際の表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
	12	希望・意志の表現	希望や意志を伝える際の表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
	13	推量の表現	推量する際の表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
	14	感情の表現	種々の感情表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
	15	総まとめと理解度確認テスト	「インドネシア語表現法 a」で学んだことの総まとめを行う	理解度確認テストに向けての学習
関連科目	インドネシア語科目すべて			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	平常点、小テスト、理解度確認テストなどによる総合評価。			
学生へのメッセージ	インドネシア語のプロフェッショナルを目指し、積極的に学んでいきましょう。			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	授業内容を確実に理解するためにも、事前・事後学習課題には十分な時間をかけること。			

科目名	インドネシア語表現法 a	科目名 (英文)	Indonesian Language Expression a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	山口 玲子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本授業では、日常会話レベルで用いる基本的な表現（フレーズや言い回し）について学ぶ。日常生活で用いられる何気ない表現をできるだけ平易な言葉で言い表わすための文例をしっかりとマスターし、語学運用能力の向上を目指す。
到達目標	日常生活で用いられている基本的な表現を習得すること。

授業方法と留意点	本授業は、配布するプリントを中心に進めていく。また、適宜小テストを実施する。授業においては辞書を必ず携帯すること。
----------	---

科目学習の効果 (資格)	インドネシア語技能検定
--------------	-------------

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題

1	オリエンテーション	今後の授業の進め方についての説明を行う	
2	文字と発音	文字と発音および簡単な文法説明を行う	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
3	あいさつの表現①	あいさつで用いる表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
4	あいさつの表現②	同上	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
5	お礼の表現	お礼をする際の表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
6	謝罪の表現	謝罪する際の表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
7	許可の表現	許可を求めたり、受けたりする際の表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
8	禁止・依頼の表現	禁止したり、依頼する際の表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
9	誘いの表現	誘う際の表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
10	肯定・否定の表現	肯定したり否定する際の表現を習得する。	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
11	命令の表現	命令を下す際の表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
12	希望・意志の表現	希望や意志を伝える際の表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
13	推量の表現	推量する際の表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
14	感情の表現	種々の感情表現を習得する	授業内容を復習し、習った表現を暗記する
15	総まとめと理解度確認テスト	「インドネシア語表現法 a」で学んだことの総まとめを行う	理解度確認テストに向けての学習

関連科目	インドネシア語科目すべて
------	--------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点、小テスト、理解度確認テストなどによる総合評価。
-----------	-----------------------------

学生へのメッセージ	インドネシア語のプロフェッショナルを目指し、積極的に学んでいきましょう。
-----------	--------------------------------------

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	授業内容を確実に理解するためにも、事前・事後学習課題には十分な時間をかけること。
----	--

科目名	インドネシア語ボキャブラリー a	科目名 (英文)	Indonesian Language Vocabulary Practice a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	山口 玲子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	語彙の強化をはかるとともに、日常生活に必要なインドネシア語の単語や表現を理解し、使えるようになることを目的とする。
到達目標	日常生活に必要な語彙を習得すること。
授業方法と留意点	テーマごとに語彙を導入し、授業で十分に練習をおこなって定着をはかる。 必ず復習をすること。毎回、前週で学んだことの小テストを実施する。 適宜復習テストも実施する。
科目学習の効果 (資格)	日常生活に欠かせない単語や表現が身に付く。 インドネシア語技能検定

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	導入、挨拶表現	授業の進め方の説明 インドネシア語の語彙の特徴と簡単な挨拶について	学習項目の復習
2	教室、道具	教室で使う基本的な表現と文房具の名称	学習した語彙の暗記と発音練習
3	基本的な親族名称、動物の名前	基本的な親族名称と身近な動物の名前	学習した語彙の暗記と発音練習
4	基本的な飲食物、味覚、色彩	基本的な飲食物の名前、調味料の名前、味覚表現・色彩表現について	学習した語彙の暗記と発音練習
5	基本的な形容詞	大きさ・広さ・重さ・高さ・長さなどを表す基本的な形容詞 数字の0～10まで	学習した語彙の暗記と発音練習
6	基本的な基語動詞、場所(1)	接辞を使わない動詞と身近な場所を表す名詞や月の名前 数字の11～99まで	学習した語彙の暗記と発音練習
7	数、助数詞、時間、曜日と日付	数字の101～10000まで 助数詞、時間・曜日・日付を表す表現	学習した語彙の暗記と発音練習
8	助動詞、頻度・確実性・位置関係	助動詞、頻度や確実性を表す表現、位置関係を表す表現	学習した語彙の暗記と発音練習
9	方角、各種の商店、食材	方角、各種の商店、食材(野菜・加工食品・果物)の名称	学習した語彙の暗記と発音練習
10	場所(2)、服飾関係用語	山や海などの地形を表す表現、服飾関係の名詞と形容詞	学習した語彙の暗記と発音練習
11	乗り物、大陸・地域・国	乗り物の名称、陸・地域・国の名称	学習した語彙の暗記と発音練習
12	身体名称(1)	身体の各部分の名称	学習した語彙の暗記と発音練習
13	身体名称(2)、病気・けが・治療	内臓などの器官名称、病気・けが・治療に関する基本的な表現	学習した語彙の暗記と発音練習
14	インターネット関連用語やデジタル機器に関する用語 総まとめ(1)	日常よく使われるインターネット用語やデジタル機器に関する代表的な用語 前期の授業をふりかえる	これまでに学習した語彙の復習
15	総まとめ(2)	前期の授業をふりかえり、学習項目の確認 復習テスト	これまでに学習した語彙の意味とその用法の復習

関連科目 主言語インドネシア語の科目すべて、東南アジア関係の講義科目、文化人類学

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)	毎週の小テスト、積極的な授業参加の度合い、復習テストの結果から、総合的に判断する。
学生へのメッセージ	インドネシア語を使いこなすには、語彙を増やすことも欠かせません。どんどん単語を覚えて、使ってみましょう。
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	授業内容を確実に理解するためにも、事前・事後学習課題には十分な時間をかけること。

科目名	インドネシア語ボキャブラリーb	科目名(英文)	Indonesian Language Vocabulary Practice b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	大坪 紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア語を学ぶにあたり、語彙の増加および単語力の強化はたいへん重要である。本授業では、インドネシア語の単語力を増強し、よりいっそう豊かな表現力と理解力を身に付けることを目的とする。			
到達目標	インドネシア語の単語力を増強し、よりいっそう豊かな表現力と理解力を身に付けること。後期に実施される学内「インドネシア語ボキャブラリーコンテスト」で、高得点の獲得を目指したい。			
授業方法と留意点	本授業では適宜小テストを行なう。 なお、本授業は受講者の単語習得状況によって、一部、授業テーマおよび内容を修正しながら行なうことがある。			
科目学習の効果(資格)	インドネシア語技能検定			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	プロローグ	授業の進め方や受講にあたっての留意点の説明を行なう。	—————
	2	人間	人間(個人)をめぐる単語を習得する。	復習
	3	家族・友人・親戚	自分との立場や関係をめぐる単語を習得する。	復習
	4	政治・経済	政治・経済分野にかかわる単語を習得する。	復習
	5	運輸・通信	運輸・通信にかかわる単語を習得する。	復習
	6	社会・生活	社会・生活にかかわる単語を習得する。	復習
	7	基本動詞の単語	基本動詞の単語を習得する。	復習
	8	形容詞の単語	形容詞の単語を習得する。	復習
	9	音楽・伝統芸能・映画・美術・スポーツ	音楽、伝統芸能、映画、美術、スポーツにかかわる単語を習得する。	復習
	10	世界の国ぐにとインドネシアの地域	世界の国ぐにとインドネシアの各地域などの名称を習得する。	復習
	11	文学・学問	文学や学問にかかわる単語を習得する。	復習
	12	自然	自然にかかわる単語を習得する。	復習
	13	テレビ、SNS、インターネット	テレビ、そしてSNSやwebサービスにかかわる単語を習得する。	復習
	14	流行語	流行語、若者言葉、頻繁に使われる略語の1部を紹介する。	復習
	15	まとめ	単語習得状況の確認およびまとめ(到達度テスト)	復習
関連科目	インドネシア語科目すべて			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	平常点、小テスト、ボキャブラリーコンテストによる総合評価。 詳細は、第1回目の授業で伝える。			
学生へのメッセージ	初めて学ぶインドネシア語の運用能力の向上にあたっては、語彙の増強が欠かせません。日頃から単語の暗記を心がけましょう。また間違いを恐れずに、学んだ単語を自発的に使ってみましょう。日々の地道な学習と努力は必ず大きな成果をもたらします。			
担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)			

科目名	インドネシアトピックス	科目名(英文)	Indonesian Topics
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	エニ レスタリ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本授業は、インドネシア語およびインドネシアの知識を深めるためにインドネシアの新聞や雑誌等から記事を抜粋し、精読する。特に、多様な文化や日本との結びつきに重点を置いた記事を通して、インドネシア語運用能力だけでなく、インドネシアにかんする理解を高めることも目的である。
到達目標	インドネシアの歴史から現在のインドネシア社会に起こる様々な文化・生活習慣・政治・経済などに関する知識をつける。
授業方法と留意点	テーマに関連したインドネシア語の記事を精読する。プリントを配布するので、必ず予習しておくこと。確認テスト以外にも、随時小テストを行う。
科目学習の効果(資格)	より実践的、実用的なインドネシア語が身につく、またインドネシアにかんする知識が得られる。インドネシア語技能検定に役立つ。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション	今後の授業の進め方や留意点、評価基準について説明する。	-----
2	食文化 ①	インドネシアの食文化にかんする記事を読む。	新出語彙を調べる。
3	食文化 ②	内容の把握、語彙、文法について説明する。	授業内容を復習すること。
4	芸術 ①;	インドネシアの芸術にかんする記事を読む。民族衣装 について。	新出語彙を調べる。着る体験。
5	芸術 ②;	民族楽器を紹介。内容の把握、語彙、文法について説明する。	授業内容を復習すること。
6	スポーツ ①	インドネシアのスポーツにかんする記事を読む。	新出語彙を調べる。
7	スポーツ ②	内容の把握、語彙、文法について説明する。	授業内容を復習すること。
8	確認テスト	これまでに学んだことへの理解度を確認するためにテストを行う。	確認テストに向けて復習を行うこと。
9	歴史 ①;	インドネシアの歴史にかんする記事を読む。	新出語彙を調べる。
10	歴史 ②	内容の把握、語彙、文法について説明する。	授業内容を復習すること。
11	経済 ①	インドネシアの経済にかんする記事を読む。	新出語彙を調べる。
12	経済 ②	内容の把握、語彙、文法について説明する。	授業内容を復習すること。
13	政治 ①	インドネシアの政治にかんする記事を読む。	新出語彙を調べる。
14	政治 ②	内容の把握、語彙、文法について説明する。	授業内容を復習すること。
15	総まとめ	授業全体のまとめおよび確認テスト	これまでの総復習を行っておくこと。

関連科目 インドネシア語科目および東南アジア関係の講義科目すべて。

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

評価方法(基準)	平常点、確認テスト、小テストなどによる総合評価。
学生へのメッセージ	授業へは積極的に参加することを望みます。
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	エアラインビジネス論 I	科目名 (英文)	Airline Industry I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	坂下 正憲
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	航空産業に興味を持つ受講生に航空業界の基本的な事業知識やその実態について最新の情報をまじえて分かり易く説明する。
到達目標	航空業界の業務知識や実態を学ぶことにより、航空業界で働くにはどのようにしたら良いのか、どのような意識を持てば良いのか等就業意識や社会で働く力を高める事を目標とする。
授業方法と留意点	主にパワーポイントを使用しての授業となる。教科書は特に指定しないが、よく授業が理解できるように、適宜関連プリントを配布する。受講に当たっては、日ごろから航空業界に関する報道（新聞、TVニュース等）に関心を払う事。
科目学習の効果（資格）	航空産業の様々な業種を知る事により、将来の進路の判断材料に資する。（特に公的資格取得には直接繋がらない。）

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション	講師紹介。授業方法の説明。授業概要、到達点の説明。成績評価、履修上の注意点などの説明。	特になし。
2	航空産業の概要 (多様性・役割分担・専門性)	一機の航空機が運航するために様々な業務の役割と専門性が求められている。各論に入る前に航空業界全体のイメージについて講義する。	特になし。
3	情報・予約	顧客が航空券を購入する入り口となる予約部門、更に安全で質の高い航空輸送サービスを提供するためにも情報部門も欠かせない。最新の予約・情報部門について航空券販売方式なども含めて解説する。	特になし。
4	営業・販売	厳しい競争に打ち勝つための商品企画、座席販売方法を説明。また、何故、航空会社にとって多様な運賃設定が必要なのかも解説する。	特になし。
5	空港の役割	単に航空機が離発着するだけではなく、なってきた最新の空港事情。空港の役割、重要性を課題も含めて講義する。	特になし。
6	旅客取扱業務	空港の花形、グラウンドスタッフの業務について解説する。見た目より体力が必要。	特になし。
7	グラウンドハンドリング	飛行機が到着して飛び立つまでの空港での作業の流れについて説明する。定時出発の為に、限られた時間の中で驚くほどの作業がなされている。	特になし。
8	整備	安全の品質に責任を持つ整備作業。様々な整備作業などメンテナンスについて説明する。堅苦しいイメージがあるが意外とウエット。	特になし。
9	オペレーション（運航）	運航方式、管制、飛行ルートなども解説。飛行機はどうして飛ぶのかも分かりやすく説明する。	特になし。
10	運航乗務員	どうすればパイロットになれるのか、どんな人がパイロットに向いているのか、運航乗務員の業務、訓練について説明する。	特になし。
11	客室乗務員	客室乗務員の業務は多岐に渡る。顧客の目に触れるのはほんの一部。華やかに見える客室乗務員の実態について具体的に解説する。	特になし。
12	機内サービス	機内サービスで一番大切な機内食、機内を快適に過ごしていただくため他にも工夫、努力がなされている。機内食工場から毛布に至るまで機内サービスのハードウェアについて解説する。	特になし。
13	航空貨物	最速の物流手段である航空貨物。貨物専用機の驚くべき輸送能力や特別な輸送器材などを学習。	特になし。
14	航空と安全	航空最大の使命である安全性。航空産業が如何に事故を減減させるために努力しているかを具体例もまじえて解説する。	特になし。
15	航空産業の将来	航空産業の実態と課題について説明し、将来展望を論じる。	特になし。

関連科目	ツーリズム論 1、2
------	------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	数字で見る航空（2015）	国土交通省航空局	航空振興財団
	2	エアラインオペレーション入門	ANA総合研究所	ぎょうせい
	3	日本の空を問う	伊藤元重他	日本経済新聞社
評価方法 (基準)	最低10回以上の出席を成績評価の条件とする。定期試験、レポート評価を基本に、講義参加姿勢等も考慮して総合的に評価する。			
学生への メッセージ	航空産業に携わる人はパイロットとCAだけと思いませんか？実際には業務は多岐にわたり、パイロットやCAたちはほんの一部です。航空産業にはどのような仕事があってどのような個性の人が向いているのかを実務者の観点から分かり易く解説します。航空産業に関心を持っている学生には興味深い講義です。さらに、航空産業を将来の進路と考えている学生諸君にとっては大変参考になると思います。			
担当者の 研究室等	7号館4階（エアライン・ホスピタルプログラムルーム）			
備考				

科目名	エアラインビジネス論Ⅱ	科目名(英文)	Airline Industry II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	坂下 正憲
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	航空会社の経営がどのような環境にあつてどのような課題があるのかを解説する。また、収益を改善するための努力や社会貢献など航空会社を一例として取り上げるが、広く一般企業がどのように成り立ち、社会貢献も含めどのような活動をしているのかを理解する。
到達目標	航空業界の経営環境や社会貢献などを学ぶことにより、航空業界に働くにはどうしたら良いのか、どういう意識を持てば良いのか等、就業意識や社会で働く力を高める事を目標とする。
授業方法と留意点	主にパワーポイントを使用しての授業となる。教科書は特に指定しないが、よく授業が理解できるように、適宜関連プリントを配布する。受講に当っては、日ごろから航空業界に関する報道(新聞、TVニュース等)に関心を払う事。
科目学習の効果(資格)	航空産業の様々な業種を知る事により、将来の進路の判断材料に資する。(特に公的資格取得には直接繋がらない。)

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション	講師紹介。授業方法の説明。授業概要、到達点の説明。成績評価、履修上の注意点などの説明。	特になし。
2	航空の歴史	飛行機の歴史は即ち航空の歴史、戦後の航空技術の発展、空の大衆化までを説明。	特になし。
3	企業としての航空会社	航空産業の特徴とそこにおける民間航空の役割について説明を行う。	特になし。
4	航空の自由化	米国に始まる自由化が欧州やその他の地域にどのような影響をおよぼしたのか、現在の航空事情を理解するために不可欠なOPEN SKY政策について説明。	特になし。
5	我が国の航空自由化	45・47体制といわれた護送船団政策がもたらした日本の航空業界の脆弱さ、最近の米国との航空自由化合意の意味などについて説明。	特になし。
6	格安航空の躍進	航空の自由化に伴い、現在最も航空業界で注目を集めている格安航空について、そのコスト削減戦略や実態、将来の展望までを解説する。	特になし。
7	羽田自由化と関西3空港	自由化に伴い、国際線の新たなハブとなる羽田空港、就航便数低迷に悩む関西3空港、伊丹空港と関西空港の統合など、現状と将来への課題について説明を行う。	特になし。
8	自由化の副産物(ハブ&スポーク)	格安航空の対極にあるネットワークキャリア、その基本となるハブ&スポークについてメリット、デメリットを分かり易く解説。	特になし。
9	自由化の副産物(アライアンス)	単独では生き残れない厳しい競争の中、アライアンスの意義は?成功例と失敗例を具体的に挙げてメリット、デメリットについて分かり易く解説する。	特になし。
10	収入を増やす努力(顧客管理)	顧客を囲い込む絶対条件となったマイレージプログラム、航空会社の利益向上への貢献度やユーザーとして得する情報等も含めて説明。	特になし。
11	収入を増やす努力(運賃設定)	何故、同じ区間、同じ日に搭乗するのに違う運賃が存在するのか、運賃設定の自由化に伴い、今、航空会社が実施している料金設定について解説する。	特になし。
12	支出を減らす努力	航空会社が如何にしてコスト削減に取り組んでいるかを、乱高下する原油価格のヘッジや重量の軽減化など航空会社の費用削減策等について説明する。	特になし。
13	国際航空物流	今、注目されている国際物流について基本的な航空貨物の仕組みや航空貨物代理店の仕事の紹介等、分かり易く説明する。	特になし。
14	企業の社会的責任	会社は儲けるだけで良いのか、企業の社会的責任とは何か、企業の社会貢献などについて具体例を挙げて説明する。	特になし。
15	航空産業の将来	今までの講義を踏まえ、地球に優しいエアラインを目指し、将来のあり方について議論する。	特になし。

関連科目	ツーリズム論1、2 エアラインビジネス論1
------	--------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	数字でみる航空2014	国土交通省航空局監修	航空振興財団
	2	航空産業入門	ANA 総合研究所	東洋経済新報社
	3	あなたが創る顧客満足	佐藤知恭	日経ビジネス人文庫
評価方法 (基準)	最低10回以上の出席を成績評価の条件とする。定期試験、レポート評価を基本に、講義参加姿勢等も考慮して総合的に評価する。			
学生への メッセージ	日々変動する航空産業を実務者の視点から分かり易く解説します。航空関連産業を将来の進路と考えている学生諸君にとっては大変参考になると思います。また、そうでない方々にとっても最新の航空事情が学べ興味深い講義と考えます。			
担当者の 研究室等	7号館4階 (エアライン・ホスピタルプログラムルーム)			
備考	エアラインビジネス論1との直接の関連はありませんので、エアラインビジネス論1を受講している必要はありません。			

科目名	映画のスペイン語 I	科目名 (英文)	Spanish in Movies I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	穂原 三佳
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語のヒアリング力を高めるために、映画を利用し、2回で1チャプタを終えるスピードで進む。まずショットを見ながら、だいたいの内容を把握する。次に、そのチャプターで使われているスペイン語を和訳する。その後、スペイン語を聞いてのディクテーション。そうして、原語である日本語とスペイン語字幕、スペイン語音声との間の差を検討することで、日本語→スペイン語へのヒントを把握し、会話や作文に役立てられるようにしたい。また、おりにふれて別の映画も利用する。			
到達目標	スペイン語のヒアリング力を高める。			
授業方法と留意点	スペイン語の映画を用いる。取り扱う映画は検討中なので、授業開始時に発表する。			
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定4級			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業の進め方の説明。ヒアリング、ディクテーションの練習。	—————
	2	Actividades con peliculas (1)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
	3	Actividades con peliculas (1)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
	4	Actividades con peliculas (2)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
	5	Actividades con peliculas (2)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
	6	Actividades con peliculas (3)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
	7	Actividades con peliculas (3)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
	8	Actividades con peliculas (4)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
	9	Actividades con peliculas (4)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
	10	Actividades con peliculas (5)	単語テスト。	単語の暗記
	11	Actividades con peliculas (5)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
	12	Actividades con peliculas (6)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
	13	Actividades con peliculas (6)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
	14	Actividades con peliculas (7)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
	15	Actividades con peliculas (7)	総復習および聞き取り確認テスト	単語の暗記
関連科目	スペイン語関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	毎回のディクテーション			
学生へのメッセージ	集中力を養うのには最適			
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)			
備考	辞書は必携			

科目名	映画のスペイン語 I	科目名 (英文)	Spanish in Movies I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	R
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	サウロ・セガミダニエル・ダニエル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語のヒアリング力を高めるために、映画を利用し、2回で1チャプタを終えるスピードで進む。まずショットを見ながら、だいたいの内容を把握する。次に、そのチャプターで使われているスペイン語を和訳する。その後、スペイン語を聞いてのディクテーション。そうして、原語である日本語とスペイン語字幕、スペイン語音声との間の差を検討することで、日本語→スペイン語へのヒントを把握し、会話や作文に役立てられるようにしたい。また、おりにふれて別の映画も利用する。
到達目標	スペイン語のヒアリング力を高める。
授業方法と留意点	スペイン語の映画を用いる。取り扱う映画は検討中なので、授業開始時に発表する。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定4級

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	イントロダクション	授業の進め方の説明。ヒアリング、ディクテーションの練習。	—————
2	Actividades con peliculas (1)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
3	Actividades con peliculas (1)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
4	Actividades con peliculas (2)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
5	Actividades con peliculas (2)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
6	Actividades con peliculas (3)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
7	Actividades con peliculas (3)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
8	Actividades con peliculas (4)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
9	Actividades con peliculas (4)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
10	Actividades con peliculas (5)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
11	Actividades con peliculas (5)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
12	Actividades con peliculas (6)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
13	Actividades con peliculas (6)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
14	Actividades con peliculas (7)	単語テスト。ヒアリング、ディクテーション、和訳	単語の暗記
15	Actividades con peliculas (7)	総復習および聞き取り確認テスト	単語の暗記

関連科目	スペイン語関連科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント配布。		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	授業時に指示する。		
	2			
	3			

評価方法 (基準)	毎回のディクテーション
-----------	-------------

学生へのメッセージ	集中力が養われます。
-----------	------------

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	辞書は必携
----	-------

科目名	映画のスペイン語Ⅱ	科目名(英文)	Spanish in Movies II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	穂原 三佳
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	映画を利用して、スペイン語のヒアリング力を高める。前期科目〔映画のスペイン語Ⅰ〕の継続であり、概要等についてはそちらを参考にすること。ただし、継続とはいえ、初めての受講も可能である。前期の「映画のスペイン語Ⅰ」では2週で1チャプターという進捗であったが、ここでは、3週で2チャプター、さらには1週で1チャプターという場合もあり、進捗が若干速くなる。
到達目標	スペイン語のヒアリング力を高める。
授業方法と留意点	「映画のスペイン語Ⅰ」を参照。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定4級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Actividades con películas (8)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	2	Actividades con películas (8)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	3	Actividades con películas (9)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	4	Actividades con películas (9)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	5	Actividades con películas (10)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	6	Actividades con películas (10)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	7	Actividades con películas (11)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	8	Actividades con películas (11)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	9	Actividades con películas (12)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	10	Actividades con películas (12)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	11	Actividades con películas (13)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	12	Actividades con películas (13)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	13	Actividades con películas (14)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	14	Actividades con películas (14)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	15	Actividades con películas (15)	総復習。聞き取り確認テスト。	単語の暗記

関連科目	スペイン語関連科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	毎回のディクテーション
----------	-------------

学生へのメッセージ	単語を覚えることが肝心です。
-----------	----------------

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	辞書は必携
----	-------

科目名	映画のスペイン語Ⅱ	科目名(英文)	Spanish in Movies II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	R
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	サウロ・セガミダニエル・ダシ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	映画を利用して、スペイン語のヒアリング力を高める。前期科目「映画のスペイン語Ⅰ」の継続であり、概要等についてはそちらを参考のこと。ただし、継続とはいえ、初めての受講も可能である
到達目標	スペイン語のヒアリング力を高める。
授業方法と留意点	「映画のスペイン語Ⅰ」を参照。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定4級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Actividades con películas (8)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	2	Actividades con películas (8)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	3	Actividades con películas (9)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	4	Actividades con películas (9)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	5	Actividades con películas (10)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	6	Actividades con películas (10)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	7	Actividades con películas (11)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	8	Actividades con películas (11)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	9	Actividades con películas (12)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	10	Actividades con películas (12)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	11	Actividades con películas (13)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	12	Actividades con películas (13)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	13	Actividades con películas (14)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	14	Actividades con películas (14)	単語テスト。ヒアリングとディクテーション、和訳。	単語の暗記
	15	Actividades con películas (15)	総復習。聞き取り確認テスト。	単語の暗記

関連科目	スペイン語関連科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	授業時に指示する。		
	2			
	3			

評価方法(基準)	毎回のディクテーション
----------	-------------

学生へのメッセージ	単語を覚えることが肝心です。
-----------	----------------

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	辞書は必携
----	-------

科目名	映画のスペイン語Ⅲ	科目名(英文)	Spanish in Movies III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ヒセラ ラサロ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語のヒアリング力を高めるために、映画を利用し、2回で1チャプタを終えるスピードで進む。ショットを見ながら、だいたいの内容を把握する。次に、そのチャプタで使われているスペイン語を和訳する。その後、スペイン語を聞いてのディクテーションをする。			
到達目標	スペイン語のヒアリング力を高める。			
授業方法と留意点	スペインの映画監督ペドロ・アルモドバルのアカデミー賞受賞作品「Talk To Her」を用いる。			
科目学習の効果(資格)	.			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業の進め方の説明。ヒアリング、ディクテーションの練習。	授業内容を復習する。
	2	HABLE CON ELLA (Escena 1)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	3	HABLE CON ELLA (Escena 1)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	4	HABLE CON ELLA (Escena 2)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	5	HABLE CON ELLA (Escena 2)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	6	HABLE CON ELLA (Escena 3)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	7	HABLE CON ELLA (Escena 3)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	8	HABLE CON ELLA (Escena 4)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	9	HABLE CON ELLA (Escena 4)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	10	HABLE CON ELLA (Escena 5)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	11	HABLE CON ELLA (Escena 5)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	12	HABLE CON ELLA (Escena 6)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	13	HABLE CON ELLA (Escena 6)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	14	HABLE CON ELLA (Escena 6)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	15	まとめ	———	———
関連科目	スペイン語と関連のあるすべての科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	毎回のディクテーション			
学生へのメッセージ	.			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考				

科目名	映画のスペイン語Ⅳ	科目名(英文)	Spanish in Movies IV
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ヒセレ ラサロ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語のヒアリング力を高めるために、映画を利用し、2回で1チャプタを終えるスピードで進む。ショットを見ながら、だいたいの内容を把握する。次に、そのチャプタで使われているスペイン語を和訳する。その後、スペイン語を聞いてのディクテーションをする。			
到達目標	スペイン語のヒアリング力を高める。			
授業方法と留意点	スペインの映画監督ペドロ・アルモドバルのアカデミー賞受賞作品「Talk To Her」を用いる。			
科目学習の効果(資格)	.			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Repaso del argumento	Escena 6 までの復習	授業内容を復習する。
	2	HABLE CON ELLA (Escena 7)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	3	HABLE CON ELLA (Escena 7)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	4	HABLE CON ELLA (Escena 8)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	5	HABLE CON ELLA (Escena 8)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	6	HABLE CON ELLA (Escena 9)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	7	HABLE CON ELLA (Escena 9)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	8	HABLE CON ELLA (Escena 10)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	9	HABLE CON ELLA (Escena 10)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	10	HABLE CON ELLA (Escena 11)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	11	HABLE CON ELLA (Escena 11)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	12	HABLE CON ELLA (Escena 12)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	13	HABLE CON ELLA (Escena 12)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	14	HABLE CON ELLA (Escena 12)	ヒアリング、ディクテーション、和訳	授業内容を復習する。
	15	まとめ	—————	—————
関連科目	スペイン語と関連のあるすべての科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	毎回のディクテーション			
学生へのメッセージ	.			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考				

科目名	英語学 I	科目名 (英文)	English Linguistics I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	家口 美智子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語学 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	英語学概論では、主に文法の誤用に焦点を当てながら、合わせて英語学周辺領域を学ぶ。文法を中心に英語の歴史や単語の歴史、文法理論などを学習するだけでなく、女性言葉・男性言葉の違いや日英比較などについても学習する。英語は単に受験のためでなく、長い歴史をつむいできた生きた人間の使う生き物であることを理解する。
到達目標	授業の到達目標及びテーマ 1. 文法は生きた人間が使う生きたものであることを認識する。 2. 英語のレジスターや男言葉・女言葉がどのようなものであるかを知る。 3. 日英比較と通じて、それぞれの言語に共通するものがあることを認識する。
授業方法と留意点	授業は講義形式で行う。目的意識をもって内容の理解に努めること。また、教員免許のための認定科目としても指定されている。よってレベルの高い文法事項を勉強するので、要求されたことには真摯に取り組むこと。毎回の小テストで平均 60% ない学生には単位を与えない。また欠席は 2 回までとする。これは病欠も含む。欠席した場合は、指定された時間帯に追試を受けにくること。
科目学習の効果 (資格)	教員免許と関連する科目である。TOEIC 対策にもなる。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	英語学について: 文法とは何か	授業の概要と進め方について・学習にあたっての留意事項 リンガフランカとしての英語を概観する。	
2	英語の歴史	英語の歴史に関して概略を知る。	教科書 p. 1~p. 6 (1h)
3	名詞の誤り (1) 語形成	英語の名詞の性質について学習する 小テスト	教科書 p. 7~p. 12 (1h)
4	名詞の誤り (2) (不) 加算名詞と (Un) boundedness という考え方	名詞について学習する 小テスト	教科書 p. 13~p. 18 (1h)
5	冠詞の誤り	冠詞について学習する 小テスト	教科書 p. 19~p. 24 (1h)
6	動詞の誤り (1) 構文とは何か	頻繁に使う動詞について学習する 小テスト	教科書 p. 25~p. 30 (1h)
7	動詞の誤り (2) 意味と動詞の構文の関係	頻繁に使う動詞について学習する 小テスト	教科書 p. 31~p. 36 (1h)
8	時制の誤り 日英比較	日・英時制のずれ 小テスト	教科書 p. 37~p. 42 (1h)
9	英語の語順	英語の語順の規則を学習する 小テスト	復習 (2h)
10	準動詞の誤り	準動詞について学ぶ 小テスト	教科書 p. 43~p. 48 (1h)
11	英語の意味	語や文の意味について考える。 小テスト	教科書 p. 49~p. 54 (1h)
12	形容詞の誤り (1) different from/to にみられる性別における言葉使いの違い	形容詞について学習する 小テスト	教科書 p. 55~p. 60 (1h)
13	形容詞の誤り (2) 形容詞の構文と意味	形容詞について学習する 小テスト	教科書 p. 61~p. 66 (1h)
14	前置詞と接続詞の誤り	前置詞と接続詞に関して学習する 小テスト	総復習 (1h)
15	まとめ: 人間が使用する言語としての英語	まとめを行う 小テスト	総復習 (1h)

関連科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Common Errors in English Writing 6th edition	木塚 晴夫 ノースリッジ ロジャ	マクミラン
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準) 課題+小テスト+確認テストの成績を合わせて評価するものとする。

学生へのメッセージ こつこつやりさえすれば英語はものにできます。学習の習慣をつけてください。No pain, no gain.

担当者の研究室等 7号館 4階(家口研究室)

備考 小テストを遅刻・欠席に理由で受けなかった場合は、次回の授業までに必ず追試を受けにくること。この授業を履修しなくても、英語意味論・語用論(英語学 II)、英語構造論(英語学 III)は履修可能である。

科目名	英語学Ⅱ	科目名(英文)	English Linguistics II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	1
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	後藤 一章
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語学 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	本授業では、英語と日本語を比較しながら、ことばの意味、語彙、文法などのメカニズムについて学びます。英日言語を対照することで、英語だけでなく、日本語についても新たな発見があるはずです。																																																																		
到達目標	英語と日本語の特徴的な差異について、具体的な事例を用いながら、説明することができるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	授業は講義形式で行われるが、受け身の姿勢にならず、積極的に参加すること。																																																																		
科目学習の効果(資格)	教職員免許																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>授業の内容・進め方に関する説明。</td><td>予習</td></tr> <tr><td>2</td><td>言語と語</td><td>「ことば」の多義性について学ぶ。</td><td>復習・予習</td></tr> <tr><td>3</td><td>語義と指示物</td><td>語形と語義について学ぶ。</td><td>復習・予習</td></tr> <tr><td>4</td><td>文構造と語彙構造</td><td>単語間の意味的關係について学ぶ。</td><td>復習・予習</td></tr> <tr><td>5</td><td>類義語と反意語</td><td>同義語の定義や反意語について学ぶ。</td><td>復習・予習</td></tr> <tr><td>6</td><td>同音語と多義語</td><td>同音語と多義語のまぎらわしさについて学ぶ。</td><td>復習・予習</td></tr> <tr><td>7</td><td>文法と語法</td><td>動詞と構文の關係について学ぶ。</td><td>復習・予習</td></tr> <tr><td>8</td><td>コンテキスト</td><td>文とテキスト、談話について学ぶ。</td><td>復習・予習</td></tr> <tr><td>9</td><td>テキスト成立の基準</td><td>テキスト成立の基準と原則について学ぶ。</td><td>復習・予習</td></tr> <tr><td>10</td><td>意味の変化</td><td>単語を巡る日英言語の変化について学ぶ。</td><td>復習・予習</td></tr> <tr><td>11</td><td>意味変化の分類</td><td>類似性や近接性に基づいた意味変化について学ぶ。</td><td>復習・予習</td></tr> <tr><td>12</td><td>メタファーとメトニミー</td><td>語義の類似性や近接性について学ぶ。</td><td>復習・予習</td></tr> <tr><td>13</td><td>言語の普遍性</td><td>自然な表現・不自然な表現について学ぶ。</td><td>復習・予習</td></tr> <tr><td>14</td><td>英日間の表現の差異</td><td>英語話者好みの表現と日本語話者好みの表現について学ぶ。</td><td>復習・予習</td></tr> <tr><td>15</td><td>総まとめ</td><td>総まとめのテストを行う。</td><td>総復習</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	授業の内容・進め方に関する説明。	予習	2	言語と語	「ことば」の多義性について学ぶ。	復習・予習	3	語義と指示物	語形と語義について学ぶ。	復習・予習	4	文構造と語彙構造	単語間の意味的關係について学ぶ。	復習・予習	5	類義語と反意語	同義語の定義や反意語について学ぶ。	復習・予習	6	同音語と多義語	同音語と多義語のまぎらわしさについて学ぶ。	復習・予習	7	文法と語法	動詞と構文の關係について学ぶ。	復習・予習	8	コンテキスト	文とテキスト、談話について学ぶ。	復習・予習	9	テキスト成立の基準	テキスト成立の基準と原則について学ぶ。	復習・予習	10	意味の変化	単語を巡る日英言語の変化について学ぶ。	復習・予習	11	意味変化の分類	類似性や近接性に基づいた意味変化について学ぶ。	復習・予習	12	メタファーとメトニミー	語義の類似性や近接性について学ぶ。	復習・予習	13	言語の普遍性	自然な表現・不自然な表現について学ぶ。	復習・予習	14	英日間の表現の差異	英語話者好みの表現と日本語話者好みの表現について学ぶ。	復習・予習	15	総まとめ	総まとめのテストを行う。	総復習
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	授業の内容・進め方に関する説明。	予習																																																																
2	言語と語	「ことば」の多義性について学ぶ。	復習・予習																																																																
3	語義と指示物	語形と語義について学ぶ。	復習・予習																																																																
4	文構造と語彙構造	単語間の意味的關係について学ぶ。	復習・予習																																																																
5	類義語と反意語	同義語の定義や反意語について学ぶ。	復習・予習																																																																
6	同音語と多義語	同音語と多義語のまぎらわしさについて学ぶ。	復習・予習																																																																
7	文法と語法	動詞と構文の關係について学ぶ。	復習・予習																																																																
8	コンテキスト	文とテキスト、談話について学ぶ。	復習・予習																																																																
9	テキスト成立の基準	テキスト成立の基準と原則について学ぶ。	復習・予習																																																																
10	意味の変化	単語を巡る日英言語の変化について学ぶ。	復習・予習																																																																
11	意味変化の分類	類似性や近接性に基づいた意味変化について学ぶ。	復習・予習																																																																
12	メタファーとメトニミー	語義の類似性や近接性について学ぶ。	復習・予習																																																																
13	言語の普遍性	自然な表現・不自然な表現について学ぶ。	復習・予習																																																																
14	英日間の表現の差異	英語話者好みの表現と日本語話者好みの表現について学ぶ。	復習・予習																																																																
15	総まとめ	総まとめのテストを行う。	総復習																																																																
関連科目	スピーキング・リスニング・オーラルコミュニケーション・イングリッシュ・プレゼンテーション																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	平常点(10%) まとめのテスト(90%)																																																																		
学生へのメッセージ	新しいことを知る楽しさを知って下さい。																																																																		
担当者の研究室等	7号館5階(後藤研究室)																																																																		
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数を15時間程度とする。																																																																		

科目名	英語学Ⅱ	科目名(英文)	English Linguistics II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	2
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	西川 眞由美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語学 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	<p>本授業では、英語と日本語の接続表現について学びます。日本語と英語における様々な接続表現を比較しながら、それらの意味や機能、使い方のメカニズムについて詳しく見ていきます。</p> <p>英日言語を対照することで、英語だけでなく、日本語についても新たな発見があるはずですよ。</p>
到達目標	<p>本授業で様々な日英の接続表現を学ぶことによって、文章を読んだり書いたりするとき、あるいは会話において相手の言うことを聞いたり自分が話したりするとき、前後の論理的な関係を作り出し理解することができるようになります。</p> <p>また、自分が本当に伝えたいことを、効率よくきちんと伝えることができるようになります。</p>
授業方法と留意点	授業は講義形式で行われるが、受け身の姿勢にならず、積極的に参加すること。
科目学習の効果(資格)	教職員免許, TOIEC Test, TOEFL Test, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション	授業の内容・進め方に関する説明。	予習
2	確定条件・仮定条件の接続表現	so, therefore, then, だから、それで、したがって、それなら、すると	復習・予習
3	否定条件・理由の接続表現	or, otherwise, because, after all, you know さもないと、そうでなければ、なぜなら、というのは	復習・予習
4	逆接の接続表現	but, however, nonetheless, yet, still しかし、とはいえ	復習・予習
5	添加・累加の接続表現	and, plus, in addition, also, moreover, besides, plus, furthermore そして、それに、しかも	復習・予習
6	換言・例示の接続表現	in other words, I mean, for example, in fact, actually すなわち、つまり、例えば、実際	復習・予習
7	卓立・代替の接続表現	especially, above all, rather, instead 特に、とりわけ、代わりに、というのは	復習・予習
8	並列的提示、選択的提示の接続表現	and, also, moreover, or および、かつ、または、あるいは	復習・予習
9	転換の接続表現	by the way, so, now, anyway, look ところで、さて、それはそうと	復習・予習
10	列挙・対比の接続表現	first, next, moreover, finally, on the other hand, on the contrary まず、つぎに、それはそうと、それに対して、逆に、一方	復習・予習
11	まとめ・補足・無視の接続表現	thus, therefore, in sum, but, anyway, okay このように、要するに、ただし、もっとも、いずれにしても、とにかく	復習・予習
12	あいづち・受け答えの接続表現	yes, yeah, okay, uh-huh, hm, well はい、はあ、ええ、ふーん、まあ	復習・予習
13	言いよどみ・思考のプロセスの接続表現	well, uh(m), er(m), you know, I mean, あのう、ええーと、うーん、えっと、ああ、	復習・予習
14	動作や行為を促す表現・情動の変化を表す表現	okay, now, look, (you) see, uh, oh, ah, well, wow ほら、そら、ねえ、ああ、まあ、あら、うわあ	復習・予習
15	総まとめ	総まとめのテストを行う。	総復習

関連科目: スピーキング・リスニング・オーラルコミュニケーション・イングリッシュ・プレゼンテーション

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準)	平常点(10%) まとめのテスト(90%)
学生へのメッセージ	新しいことを知る楽しさを知って下さい。
担当者の	7号館4階(西川研究室)

研究室等	
備考	ハンドアウト配布 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間を15時間程度とする。

科目名	英語学Ⅲ	科目名(英文)	English Linguistics III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	田中 秀毅
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語学 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	日本人が英語を見るときには、日本語との相違点にばかり目がいきがちである。日英語の相違点を見つけるのは容易だが、詳細に見てみると両言語には同じ人間言語であるがゆえの共通点も数多く存在する。本講義は、英語と日本語を比較分析することで両言語の相違点と共通点を理解し、それによって今よりも1段上のレベルから英語をとらえられるようになることを目標にする。																																																																		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語を英語学・言語学のレベルで観察できるようになる。 2. 日本語の意味や構造を意識できるようになる。 3. 英語と日本語を比較し、相違点と共通点が見いだせるようになる。 																																																																		
授業方法と留意点	<p>講義内容の理解を深められるようにプリントを配布する。講義形式で進めるが、疑問・質問の時間を適宜取り、受講生との対話も組み入れたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本講義は英語学・言語学の科目なので、受講生として言語(特に、構造や意味)に興味がある学生を想定している。英語学Ⅰや英語学Ⅱを履修済みであることが望ましい。 2. 授業用プリントは順次配布するので可能な範囲で予習を行うこと(例文の意味を調べたり、関連する文法事項の復習したりする)。 3. 積み上げ式に学習するので復習には十分時間をかけ、わからないことは早めに質問すること(ほかの受講生にも有益なのでできるだけ授業中に設ける質問時間を活用してほしい)。 																																																																		
科目学習の効果(資格)	言語の構造・意味の理解、3年次以降のゼミ、教職や大学院進学																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>授業の進め方と注意事項</td><td>テキスト復習</td></tr> <tr><td>2</td><td>日英比較入門</td><td>日英語の道具表現と場所表現</td><td>テキスト復習</td></tr> <tr><td>3</td><td>have 構文①</td><td>存在を表すhaveと経験を表すhaveの関連性</td><td>テキスト学習</td></tr> <tr><td>4</td><td>have 構文②</td><td>have 構文の概念構造</td><td>テキスト学習</td></tr> <tr><td>5</td><td>have 構文③</td><td>構造と意味の対応</td><td>テキスト学習</td></tr> <tr><td>6</td><td>have 構文④</td><td>have 構文が成立するための語用論的条件</td><td>テキスト学習</td></tr> <tr><td>7</td><td>結果構文①</td><td>結果構文と日本語の対応表現</td><td>テキスト学習</td></tr> <tr><td>8</td><td>結果構文②</td><td>結果構文の意味的特徴</td><td>テキスト学習</td></tr> <tr><td>9</td><td>結果構文③</td><td>非対格性仮説</td><td>テキスト学習</td></tr> <tr><td>10</td><td>壁塗り構文①</td><td>壁塗り構文と日本語の対応表現</td><td>テキスト学習</td></tr> <tr><td>11</td><td>壁塗り構文②</td><td>壁塗り構文の意味解釈</td><td>テキスト学習</td></tr> <tr><td>12</td><td>壁塗り構文③</td><td>壁塗り構文の概念構造</td><td>テキスト学習</td></tr> <tr><td>13</td><td>中間構文①</td><td>中間構文の意味的特徴</td><td>テキスト学習</td></tr> <tr><td>14</td><td>中間構文②</td><td>中間構文の成立条件</td><td>テキスト学習</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td><td>総復習</td><td>テキスト学習</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	授業の進め方と注意事項	テキスト復習	2	日英比較入門	日英語の道具表現と場所表現	テキスト復習	3	have 構文①	存在を表すhaveと経験を表すhaveの関連性	テキスト学習	4	have 構文②	have 構文の概念構造	テキスト学習	5	have 構文③	構造と意味の対応	テキスト学習	6	have 構文④	have 構文が成立するための語用論的条件	テキスト学習	7	結果構文①	結果構文と日本語の対応表現	テキスト学習	8	結果構文②	結果構文の意味的特徴	テキスト学習	9	結果構文③	非対格性仮説	テキスト学習	10	壁塗り構文①	壁塗り構文と日本語の対応表現	テキスト学習	11	壁塗り構文②	壁塗り構文の意味解釈	テキスト学習	12	壁塗り構文③	壁塗り構文の概念構造	テキスト学習	13	中間構文①	中間構文の意味的特徴	テキスト学習	14	中間構文②	中間構文の成立条件	テキスト学習	15	まとめ	総復習	テキスト学習
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	授業の進め方と注意事項	テキスト復習																																																																
2	日英比較入門	日英語の道具表現と場所表現	テキスト復習																																																																
3	have 構文①	存在を表すhaveと経験を表すhaveの関連性	テキスト学習																																																																
4	have 構文②	have 構文の概念構造	テキスト学習																																																																
5	have 構文③	構造と意味の対応	テキスト学習																																																																
6	have 構文④	have 構文が成立するための語用論的条件	テキスト学習																																																																
7	結果構文①	結果構文と日本語の対応表現	テキスト学習																																																																
8	結果構文②	結果構文の意味的特徴	テキスト学習																																																																
9	結果構文③	非対格性仮説	テキスト学習																																																																
10	壁塗り構文①	壁塗り構文と日本語の対応表現	テキスト学習																																																																
11	壁塗り構文②	壁塗り構文の意味解釈	テキスト学習																																																																
12	壁塗り構文③	壁塗り構文の概念構造	テキスト学習																																																																
13	中間構文①	中間構文の意味的特徴	テキスト学習																																																																
14	中間構文②	中間構文の成立条件	テキスト学習																																																																
15	まとめ	総復習	テキスト学習																																																																
関連科目	英語学Ⅰ、英語学Ⅱ																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>プリント配付</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	プリント配付			2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	プリント配付																																																																		
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary, 8th revised ed. (Collins コウビルド英英辞典)</td><td></td><td>Collins COBUILD</td></tr> <tr><td>2</td><td>コンサイス英文法辞典</td><td>安井稔</td><td>三省堂</td></tr> <tr><td>3</td><td>現代英文法講義</td><td>安藤貞雄</td><td>開拓社</td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary, 8th revised ed. (Collins コウビルド英英辞典)		Collins COBUILD	2	コンサイス英文法辞典	安井稔	三省堂	3	現代英文法講義	安藤貞雄	開拓社																																																
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary, 8th revised ed. (Collins コウビルド英英辞典)		Collins COBUILD																																																																
2	コンサイス英文法辞典	安井稔	三省堂																																																																
3	現代英文法講義	安藤貞雄	開拓社																																																																
評価方法(基準)	<p>【定期試験を実施】</p> <p>評価の対象 定期試験、平常点 試験の頻度 学期の最後 評価に対する重み 定期試験(90%)、平常点(10%)</p>																																																																		
学生へのメッセージ	英語を理解のレベルを日本語の理解を含めた「言語の理解」にまで高めてみましょう。そうすれば、日英語の相違点や共通点が見えてきます。それと同時に、これまで意識ののぼりにくかった日本語の理解も深まるでしょう。																																																																		
担当者の研究室等	田中(秀)研究室(7号館4階)																																																																		
備考	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の分析には英英辞典が不可欠である(電子辞書に入っていない人には参考書欄の英英辞典を推奨する)。電子辞書については、学習用に適した辞書を内蔵している場合に限り使用を認める。液晶画面の小さいものや旅行用のポータブルタイプは不可。 2. 欠席は授業に出席しなかった場合(公欠・忌引き・病欠を含む)のすべてを対象とする(ただし、やむを得ない事情と判断できる欠席については考慮するので申し出ること)。 3. 遅刻は本人の授業理解度を低下させ、ほかの受講者の集中力を阻害するので避けること。また、携帯電話が授業中に鳴ると授業の進行の妨げになるので電源は授業開始までに切っておくこと。 4. 配布資料の読み込みなどを含めて、事前事後学習にかかる総時間を15時間程度とする。 																																																																		

科目名	英語学概論	科目名(英文)	Introduction to English Linguistics
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	家口 美智子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語学 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	英語学概論では、主に文法の誤用に焦点を当てながら、合わせて英語学周辺領域を学ぶ。文法を中心に英語の歴史や単語の歴史、文法理論などを学習するだけでなく、女性言葉・男性言葉の違いや日英比較などについても学習する。英語は単に受験のためだけでなく、長い歴史をつむいできた生きた人間の使う生き物であることを理解する。
到達目標	授業の到達目標及びテーマ 1. 文法は生きた人間が使う生きたものであることを認識する。 2. 英語のレジスターや男言葉・女言葉がどのようなものであるかを知る。 3. 日英比較と通じて、それぞれの言語に共通するものがあることを認識する。
授業方法と留意点	授業は講義形式で行う。目的意識をもって内容の理解に努めること。また、教員免許のための認定科目としても指定されている。よってレベルの高い文法事項を勉強するので、要求されたことには真摯に取り組むこと。毎回の小テストで平均60%ない学生には単位を与えない。また欠席は2回までとする。これは病欠も含む。欠席した場合は、指定された時間帯に追試を受けにくること。
科目学習の効果(資格)	教員免許と関連する科目である。TOEIC対策にもなる。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	英語学について:文法とは何か	授業の概要と進め方について・学習にあたっての留意事項 リンガフランカとしての英語を概観する。	
2	英語の歴史	英語の歴史に関して概略を知る。	教科書 p. 1~p. 6 (1h)
3	名詞の誤り(1) 語形成	英語の名詞の性質について学習する 小テスト	教科書 p. 7~p. 12 (1h)
4	名詞の誤り(2) (不)加算名詞と(Un)boundednessという考え方	名詞について学習する 小テスト	教科書 p. 13~p. 18 (1h)
5	冠詞の誤り	冠詞について学習する 小テスト	教科書 p. 19~p. 24 (1h)
6	動詞の誤り(1) 構文とは何か	頻繁に使う動詞について学習する 小テスト	教科書 p. 25~p. 30 (1h)
7	動詞の誤り(2) 意味と動詞の構文の関係	頻繁に使う動詞について学習する 小テスト	教科書 p. 31~p. 36 (1h)
8	時制の誤り 日英比較	日・英時制のずれ 小テスト	教科書 p. 37~p. 42 (1h)
9	英語の語順	英語の語順の規則を学習する 小テスト	復習 (2h)
10	準動詞の誤り	準動詞について学ぶ 小テスト	教科書 p. 43~p. 48 (1h)
11	英語の意味	語や文の意味について考える。 小テスト	教科書 p. 49~p. 54 (1h)
12	形容詞の誤り(1) different from/toにみられる性別における言葉使いの違い	形容詞について学習する 小テスト	教科書 p. 55~p. 60 (1h)
13	形容詞の誤り(2) 形容詞の構文と意味	形容詞について学習する 小テスト	教科書 p. 61~p. 66 (1h)
14	前置詞と接続詞の誤り	前置詞と接続詞に関して学習する 小テスト	総復習 (1h)
15	まとめ:人間が使用する言語としての英語	まとめを行う 小テスト	総復習 (1h)

関連科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Common Errors in English Writing 6th edition	木塚 晴夫 ノースリッジ ロジャ	マクミラン
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準) 課題+小テスト+確認テストの成績を合わせて評価するものとする。

学生へのメッセージ こつこつやりさえすれば英語はものにできます。学習の習慣をつけてください。No pain, no gain.

担当者の研究室等 7号館4階(家口研究室)

備考 小テストを遅刻・欠席に理由で受けなかった場合は、次回の授業までに必ず追試を受けにくること。この授業を履修しなくても、英語意味論・語用論(英語学 II)、英語構造論(英語学 III)は履修可能である。

科目名	英語圏概論 (北米・ヨーロッパ)	科目名 (英文)	Introduction to Cultures of the English-Speaking World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	1
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	吉村 征洋
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本授業では、映像を用いながら、イギリス文化について幅広く学習することが目的である。																																																																		
到達目標	大衆文化のみならず、文学・宗教、あるいは帝国主義といったイギリスを形成してきた主義・思想などを概観し、イギリス文化への理解を深める。																																																																		
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> 各テーマに応じて、原作や映像を用いながら、授業を進める。 学期中、1回グループプレゼンテーションをしてもらう 																																																																		
科目学習の効果 (資格)	<ul style="list-style-type: none"> 教員 異文化理解 教養 																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション</td> <td>授業計画、成績評価、受講上の注意などの説明。</td> <td>イギリスにおける音楽について調べる</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>音楽</td> <td>ビートルズなど</td> <td>イギリスにおける階級について調べる</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>階級</td> <td>イギリスの階級制度について</td> <td>イギリスにおける教育について調べる</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>教育</td> <td>イギリスの教育制度について</td> <td>イギリスの国民性について調べる</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>国民性</td> <td>連合王国の複雑さ、国民性とは何か</td> <td>ジェンダー/セクシュアリティについて調べる</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ジェンダー/セクシュアリティ</td> <td>フェミニズム、クィアなど</td> <td>イギリスの宗教について調べる</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>宗教</td> <td>主にキリスト教について</td> <td>イギリスの食について調べる</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>食文化</td> <td>フィッシュ・アンド・チップス、紅茶、肉料理、アルコール飲料など</td> <td>中間レポートの提出</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>地域性</td> <td>イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランド</td> <td>帝国主義や戦争について調べる</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>帝国主義/戦争</td> <td>イギリスの帝国主義、戦争、王室など</td> <td>イギリスに関する犯罪について調べる</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>犯罪</td> <td>イギリスの警察や司法制度</td> <td>イギリスのファッションについて調べる</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>ファッション</td> <td>ヴィヴィアン・ウエストウッド、アレキサンダー・マックウィーンなど</td> <td>イギリス文学について調べる</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>イギリス文学</td> <td>シェイクスピア、オースティン、ディケンズなど</td> <td>イギリスの民族・人種について調べる</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>民族/人種</td> <td>多民族、マイノリティなど</td> <td>イギリスのユーモアについて調べる</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>ユーモアについて</td> <td>諷刺、皮肉、ウィットなど</td> <td>レポートの準備</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	授業計画、成績評価、受講上の注意などの説明。	イギリスにおける音楽について調べる	2	音楽	ビートルズなど	イギリスにおける階級について調べる	3	階級	イギリスの階級制度について	イギリスにおける教育について調べる	4	教育	イギリスの教育制度について	イギリスの国民性について調べる	5	国民性	連合王国の複雑さ、国民性とは何か	ジェンダー/セクシュアリティについて調べる	6	ジェンダー/セクシュアリティ	フェミニズム、クィアなど	イギリスの宗教について調べる	7	宗教	主にキリスト教について	イギリスの食について調べる	8	食文化	フィッシュ・アンド・チップス、紅茶、肉料理、アルコール飲料など	中間レポートの提出	9	地域性	イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランド	帝国主義や戦争について調べる	10	帝国主義/戦争	イギリスの帝国主義、戦争、王室など	イギリスに関する犯罪について調べる	11	犯罪	イギリスの警察や司法制度	イギリスのファッションについて調べる	12	ファッション	ヴィヴィアン・ウエストウッド、アレキサンダー・マックウィーンなど	イギリス文学について調べる	13	イギリス文学	シェイクスピア、オースティン、ディケンズなど	イギリスの民族・人種について調べる	14	民族/人種	多民族、マイノリティなど	イギリスのユーモアについて調べる	15	ユーモアについて	諷刺、皮肉、ウィットなど	レポートの準備
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	授業計画、成績評価、受講上の注意などの説明。	イギリスにおける音楽について調べる																																																																
2	音楽	ビートルズなど	イギリスにおける階級について調べる																																																																
3	階級	イギリスの階級制度について	イギリスにおける教育について調べる																																																																
4	教育	イギリスの教育制度について	イギリスの国民性について調べる																																																																
5	国民性	連合王国の複雑さ、国民性とは何か	ジェンダー/セクシュアリティについて調べる																																																																
6	ジェンダー/セクシュアリティ	フェミニズム、クィアなど	イギリスの宗教について調べる																																																																
7	宗教	主にキリスト教について	イギリスの食について調べる																																																																
8	食文化	フィッシュ・アンド・チップス、紅茶、肉料理、アルコール飲料など	中間レポートの提出																																																																
9	地域性	イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランド	帝国主義や戦争について調べる																																																																
10	帝国主義/戦争	イギリスの帝国主義、戦争、王室など	イギリスに関する犯罪について調べる																																																																
11	犯罪	イギリスの警察や司法制度	イギリスのファッションについて調べる																																																																
12	ファッション	ヴィヴィアン・ウエストウッド、アレキサンダー・マックウィーンなど	イギリス文学について調べる																																																																
13	イギリス文学	シェイクスピア、オースティン、ディケンズなど	イギリスの民族・人種について調べる																																																																
14	民族/人種	多民族、マイノリティなど	イギリスのユーモアについて調べる																																																																
15	ユーモアについて	諷刺、皮肉、ウィットなど	レポートの準備																																																																
関連科目	国際関係論、アメリカ文化論など																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『映画でわかるイギリス文化入門』</td> <td>板倉巖一郎他著</td> <td>松柏社</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	『映画でわかるイギリス文化入門』	板倉巖一郎他著	松柏社	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	『映画でわかるイギリス文化入門』	板倉巖一郎他著	松柏社																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	<ul style="list-style-type: none"> Reports 50% Homework 20% Group Presentation 30% 																																																																		
学生へのメッセージ	英語でのコミュニケーション力を深めるには、異文化を理解することが大切です。イギリス文化を学ぶことで、英語への関心が高まることを期待します。																																																																		
担当者の研究室等	7号館3階 吉村研究室																																																																		
備考	英和・英英辞書を持ってくるようにして下さい 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする																																																																		

科目名	英語圏概論 (北米・ヨーロッパ)	科目名 (英文)	Introduction to Cultures of the English-Speaking World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	2
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	マイケル ハーキー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	This is an introduction to Canada. Canada has 13 provinces and territories. Each week we will examine the culture, history, economy and other interesting features of one province.
到達目標	Through the class, tests, and group presentations, students will learn more about Canada, a country they can visit and study in for one year if they choose.
授業方法と留意点	The class will feature lectures, film, music, art and some reading. Students will need to listen carefully and take notes.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, N検.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Let's get started: PEI.	Orientation, map, Prince Edward Island.	Read, watch Ann of Green Gables.
	2	Newfoundland and Labrador	The newest province.	Map Quiz, student presentations.
	3	New Brunswick	The only bilingual province; Acadians.	Quiz, student presentations.
	4	Nova Scotia	Halifax, Bluenose.	Quiz, student presentations.
	5	Northwest Territories	Inuit, Arctic region.	Quiz, student presentations.
	6	Nunavut	The newest territory, First Nations self government.	Quiz, student presentations.
	7	Yukon	Northern Lights.	Quiz, student presentations.
	8	Midterm Exam	100 point exam.	Student presentations.
	9	Quebec	La belle province.	Quiz, student presentations.
	10	Ontario	The largest province.	Quiz, student presentations.
	11	Manitoba	The coldest city in North America.	Quiz, student presentations.
	12	Saskatchewan	The underground university.	Quiz, student presentations.
	13	Alberta	Oil!	Quiz, student presentations.
	14	British Columbia	UBC, SFU.	Quiz, student presentations.
	15	Final Exam	100 point cumulative final exam.	Student presentations.

関連科目	
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Midterm Exam 35% Final Exam 35% Group Presentation 30%
-----------	--

学生へのメッセージ	Although it is the second largest country in the world, Canada has a low profile. Let's examine how such a large country successfully manages a diverse immigrant population.
-----------	---

担当者の研究室等	Building 7, 3rd floor, Herke's office.
----------	--

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする
----	---

科目名	英語圏概論	科目名(英文)	Introduction to Cultures of the English-Speaking World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	1
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	吉村 征洋
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本授業では、映像を用いながら、イギリス文化について幅広く学習することが目的である。
到達目標	大衆文化のみならず、文学・宗教、あるいは帝国主義といったイギリスを形成してきた主義・思想などを概観し、イギリス文化への理解を深める。
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> 各テーマに応じて、原作や映像を用いながら、授業を進める。 学期中、1回グループプレゼンテーションをしてもらう
科目学習の効果(資格)	<ul style="list-style-type: none"> 教員 異文化理解 教養

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション	授業計画、成績評価、受講上の注意などの説明。	イギリスにおける音楽について調べる
2	音楽	ビートルズなど	イギリスにおける階級について調べる
3	階級	イギリスの階級制度について	イギリスにおける教育について調べる
4	教育	イギリスの教育制度について	イギリスの国民性について調べる
5	国民性	連合王国の複雑さ、国民性とは何か	ジェンダー/セクシュアリティについて調べる
6	ジェンダー/セクシュアリティ	フェミニズム、クィアなど	イギリスの宗教について調べる
7	宗教	主にキリスト教について	イギリスの食について調べる
8	食文化	フィッシュ・アンド・チップス、紅茶、肉料理、アルコール飲料など	中間レポートの提出
9	地域性	イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランド	帝国主義や戦争について調べる
10	帝国主義/戦争	イギリスの帝国主義、戦争、王室など	イギリスに関する犯罪について調べる
11	犯罪	イギリスの警察や司法制度	イギリスのファッションについて調べる
12	ファッション	ヴィヴィアン・ウエストウッド、アレキサンダー・マックウィーンなど	イギリス文学について調べる
13	イギリス文学	シェイクスピア、オースティン、ディケンズなど	イギリスの民族・人種について調べる
14	民族/人種	多民族、マイノリティなど	イギリスのユーモアについて調べる
15	ユーモアについて	諷刺、皮肉、ウィットなど	レポートの準備

関連科目	国際関係論、アメリカ文化論など
------	-----------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	『映画でわかるイギリス文化入門』	板倉巖一郎他著	松柏社
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	<ul style="list-style-type: none"> Reports 50% Homework 20% Group Presentation 30%
----------	---

学生へのメッセージ	英語でのコミュニケーション力を深めるには、異文化を理解することが大切です。イギリス文化を学ぶことで、英語への関心が高まることを期待します。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館3階 吉村研究室
----------	-------------

備考	英和・英英辞書を持ってくるようにして下さい 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする
----	--

科目名	英語圏概論	科目名 (英文)	Introduction to Cultures of the English-Speaking World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	2
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	マイケル ハーキー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	This is an introduction to Canada. Canada has 13 provinces and territories. Each week we will examine the culture, history, economy and other interesting features of one province.
到達目標	Through the class, tests, and group presentations, students will learn more about Canada, a country they can visit and study in for one year if they choose.
授業方法と留意点	The class will feature lectures, film, music, art and some reading. Students will need to listen carefully and take notes.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, N検.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Let's get started: PEI.	Orientation, map, Prince Edward Island.	Read, watch Ann of Green Gables.
	2	Newfoundland and Labrador	The newest province.	Map Quiz, student presentations.
	3	New Brunswick	The only bilingual province; Acadians.	Quiz, student presentations.
	4	Nova Scotia	Halifax, Bluenose.	Quiz, student presentations.
	5	Northwest Territories	Inuit, Arctic region.	Quiz, student presentations.
	6	Nunavut	The newest territory, First Nations self government.	Quiz, student presentations.
	7	Yukon	Northern Lights.	Quiz, student presentations.
	8	Midterm Exam	100 point exam.	Student presentations.
	9	Quebec	La belle province.	Quiz, student presentations.
	10	Ontario	The largest province.	Quiz, student presentations.
	11	Manitoba	The coldest city in North America.	Quiz, student presentations.
	12	Saskatchewan	The underground university.	Quiz, student presentations.
	13	Alberta	Oil!	Quiz, student presentations.
	14	British Columbia	UBC, SFU.	Quiz, student presentations.
	15	Final Exam	100 point cumulative final exam.	Student presentations.

関連科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Midterm Exam 35% Final Exam 35% Group Presentation 30%
学生へのメッセージ	Although it is the second largest country in the world, Canada has a low profile. Let's examine how such a large country successfully manages a diverse immigrant population.
担当者の研究室等	Building 7, 3rd floor, Herke's office.
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする

科目名	映像中国語 a	科目名 (英文)	Film Chinese a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】「中国語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	映像と音声を通じて、中国語を聞き取る能力を重点的に養成することを目的とする。授業ではパソコンやネットワーク、タッチパネルディスプレイなどを利用して、発音のチェックや他の学生との情報共有、シャドーイングなどの活動を行う。この課程は1年次の必修中国語各科目の内容と連動するもので、それらで学んだ事項を定着させることができる。
到達目標	中国語の音声を正確に判別し、既習の語彙やフレーズについて正しく発音したり漢字やピンインでディクテーションできることを目指す。中国語検定4級リスニング試験の形式やレベルの問題にも取り組み、同級合格レベルへの到達を具体的な目標とする。
授業方法と留意点	1. 必修中国語各課程で学んだ発音・語彙・文法を復習し、しっかりと理解できるようにする。 2. さらにそれらを聞き取り理解できるようさまざまな訓練を行う。とくに1年次では発音の基礎と基本的語彙の練習・運用に重点を置き、確実に聞き取れるように訓練する。以上二点に重点を置いて授業を進めていく。
科目学習の効果 (資格)	中国語聞き取り能力が向上し、前期終了時には中国語検定試験4級の受験が可能。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	中国語知識 (1)	地理・民族・人口	中国語を学ぶのに必要な中国に関する高等学校程度の知識を確認する。
2	第1課	四声と基本的な母音、子音 四択練習問題四声と基本的な母音、子音 四択練習問題	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
3	第2課	鼻母音と発音しにくい子音。 四択練習問題。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
4	第3課	声調バタンの反復練習。 練習問題。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
5	第4課	「是」構文 名前の言い方に関する置き換え練習。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
6	第5課	数量に関する表現と「有」構文に関する置き換え練習。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
7	第6課	動詞述語文と職業に関する表現の置き換え練習。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
8	第7課	形容詞述語文と比較表現を使った置き換え練習。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
9	第8課	前置詞と方位詞を使った表現の置き換え練習。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
10	第9課	「了」と結果補語を使った置き換え練習。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
11	第10課	「了」と結果補語を使った置き換え練習。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
12	第11課	動作の進行、完了の表現に関する置き換え練習。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
13	第12課	「就」「才」を使った文および「在」のいくつかの用法。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
14	第13課	程度補語の使い方。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
15	第14課	復習	

関連科目 必修中国語科目 (週4コマ) を必ず履修していること。

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	中国語 I a	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	単元ごとに実施する小テストと3つの単元の到達度を測るテストなどを基準に評価する (中国語必修科目との共通テスト)。
学生へのメッセージ	選択科目なので、目的意識をしっかりと持って授業に臨んでほしい。
担当者の研究室等	7号館3階 (中西研究室)
備考	教科書は中国語必修科目用のものと共通。

科目名	映像中国語 b	科目名 (英文)	Film Chinese b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】「中国語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	映像と音声を通じて、中国語を聞き取る能力を重点的に養成することを目的とする。授業ではパソコンやネットワーク、タッチパネルディスプレイなどを利用して、発音のチェックや他の学生との情報共有、シャドーイングなどの活動を行う。この課程は1年次の必修中国語各科目の内容と連動するもので、それらで学んだ事項を定着させることができる。
到達目標	11月下旬の中国語検定4級試験受験までに、そのリスニング試験問題で6割以上の正答率を達成することを目標とする。12月以降は4級試験の長文読解問題レベルの文章を教材として、これを正しくディクテーションしたりシャドーイングすることを目指す。
授業方法と留意点	1. 必修中国語各課程で学んだ発音・語彙・文法を復習し、しっかりと理解できるようにする。 2. さらにそれらを聞き取り理解できるようさまざまな訓練を行う。とくに1年次では発音の基礎と基本的語彙の練習・運用に重点を置き、確実に聞き取れるように訓練する。以上二点に重点を置いて授業を進めていく。
科目学習の効果 (資格)	中国語聞き取り能力が向上し、11月に実施される中国語検定試験4級に合格することを可能とする。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	時をかける少女(2/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのう ち初級段階で学んでおかねばならない 語彙や構文について 25 項目を取り上 げ、Web ベースで作成された問題を考 える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にア クセスして復習する。
3	時をかける少女(3/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのう ち初級段階で学んでおかねばならない 語彙や構文について 25 項目を取り上 げ、Web ベースで作成された問題を考 える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にア クセスして復習する。
4	時をかける少女(4/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのう ち初級段階で学んでおかねばならない 語彙や構文について 25 項目を取り上 げ、Web ベースで作成された問題を考 える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にア クセスして復習する。
5	時をかける少女(5/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのう ち初級段階で学んでおかねばならない 語彙や構文について 25 項目を取り上 げ、Web ベースで作成された問題を考 える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にア クセスして復習する。
6	時をかける少女(6/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのう ち初級段階で学んでおかねばならない 語彙や構文について 25 項目を取り上 げ、Web ベースで作成された問題を考 える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にア クセスして復習する。
7	時をかける少女(7/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのう ち初級段階で学んでおかねばならない 語彙や構文について 25 項目を取り上 げ、Web ベースで作成された問題を考 える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にア クセスして復習する。
8	時をかける少女(8/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのう ち初級段階で学んでおかねばならない 語彙や構文について 25 項目を取り上 げ、Web ベースで作成された問題を考 える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にア クセスして復習する。
9	時をかける少女(9/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのう ち初級段階で学んでおかねばならない 語彙や構文について 25 項目を取り上 げ、Web ベースで作成された問題を考 える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にア クセスして復習する。
10	時をかける少女(10/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのう ち初級段階で学んでおかねばならない 語彙や構文について 25 項目を取り上 げ、Web ベースで作成された問題を考 える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にア クセスして復習する。
11	時をかける少女(11, 12/12)	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのう ち初級段階で学んでおかねばならない 語彙や構文について 25 項目を取り上 げ、Web ベースで作成された問題を考 える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にア クセスして復習する。
12	サマーウォーズ(1/4) CALL システムを利用した タイピング訓練	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのう ち初級段階で学んでおかねばならない 語彙や構文について 25 項目を取り上 げ、Web ベースで作成された問題を考 える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にア クセスして復習する。
13	サマーウォーズ(2/4) CALL システムを利用した タイピング訓練	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのう ち初級段階で学んでおかねばならない 語彙や構文について 25 項目を取り上	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にア クセスして復習する。

			げ、Web ベースで作成された問題を考える。																	
	14	サマーウォーズ(3/4) CALL システムを利用したタイピング訓練	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのうち初級段階で学んでおかねばならない語彙や構文について 25 項目を取り上げ、Web ベースで作成された問題を考える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にアクセスして復習する。																
	15	サマーウォーズ(4/4) 中国語検定 3 級模擬テスト	最新の試験問題を解きながら、6 月に受験する検定への対策を考える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にアクセスして復習する。																
関連科目	必修中国語科目 (週 4 コマ) を必ず履修していること。																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>中国語 I a</td> <td>摂南大学外国語学部</td> <td>摂南大学外国語学部</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1	中国語 I a	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部	2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1	中国語 I a	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部																	
2																				
3																				
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1																				
2																				
3																				
評価方法 (基準)	単元ごとに実施する小テストと 3 つの単元の到達度を測るテストなどを基準に評価する (中国語必修科目との共通テスト)。																			
学生への メッセージ	選択科目なので、目的意識をしっかりと持って授業に臨んでほしい。																			
担当者の 研究室等	7 号館 3 階 (中西研究室)																			
備考	教科書は中国語必修科目用のものと共通。																			

科目名	英米文学史	科目名(英文)	English and American Literature I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	天野 貴史
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	アメリカ文学の歴史を大づかみに振り返る。19世紀・20世紀アメリカを代表する文学者13人に焦点を絞って、それぞれの作家の時代背景、社会状況、伝記的事実、作品を紹介しながら、アメリカ文学の全体の流れだけでなく、その本質的な特徴や魅力を伝える。また適宜、イギリス文学・文化を参照する。
到達目標	アメリカ文学を歴史と文化の観点から理解する。
授業方法と留意点	講義形式
科目学習の効果(資格)	アメリカ文学・文化理解

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	神話の国、アメリカ	ウィリアム・ブラッドフォード、ベンジャミン・フランクリン、イギリスからの独立	『自然について』
3	19世紀アメリカ文学	ラルフ・ウォルドン・エマソン	『緋文字』
4	19世紀アメリカ文学	ナサニエル・ホーソーン	『詐欺師』
5	19世紀アメリカ文学	ハーマン・メルヴィル	復習
6	確認テスト1	第2回から5回までの確認テスト 映画『緋文字』を見る	『ユリイカ』
7	19世紀アメリカ文学	エドガー・アラン・ポー	『まぬけのウィルソン』
8	19世紀イギリス・アメリカ文学	マーク・トウェイン、ウォルター・スコット	『シスター・キャリー』
9	世紀転換期のイギリス・アメリカ文学	ケイト・ショパン、セオドア・ドライサー、D.H. ロレンス	『夜はやさし』
10	20世紀アメリカ文学	F・スコット・フィッツジェラルド	復習
11	確認テスト2	第7回から10回までの確認テスト 映画『グレート・ギャツビー』を見る	『日はまた昇る』
12	20世紀アメリカ文学	アーネスト・ヘミングウェイ	『焼けたトタンの上の猫』
13	20世紀イギリス・アメリカ文学	文学とは何か、アメリカのシェイクスピア、ユージーン・オニール	『青い目がほしい』
14	20世紀アメリカ文学	トニ・モリソン	復習
15	確認テスト3	第12回から14回までの確認テスト 映画『欲望という名の電車』を見る	課題レポートの作成

関連科目 他の英語科目、英米文学、アメリカ文化論

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	定期試験で評価する。
学生へのメッセージ	おもに翻訳を使用しますので、英語に自信がなくても楽しめます。
担当者の研究室等	7号館3階 天野研究室
備考	配布資料の読み込み、レポート作成などにかかる事前事後学習の総時間を15時間程度とする。

科目名	英米文学	科目名(英文)	English and American Literature II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	皆本 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	「文学は社会を映す」と言われることがある。本講義では、英文学史を概観しながら、特にルネサンス期・ロマン主義時代・19世紀に焦点を絞り、アメリカ文学を適宜参照することによって、社会変化と文学との関係について考察を深めることを目的とする。			
到達目標	英文学の歴史的流れをつかみ、英米文学・文化についての理解を深めることを目標とする。			
授業方法と留意点	授業中に原文を読むことがある。必ず辞書と教科書を持参すること。 授業では資料を配布するので、配布資料を自己管理し、前回分を持参すること。			
科目学習の効果(資格)	教職課程科目。			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	授業オリエンテーション	授業方法・成績評価の説明	—————
	2	イギリスの階級と文学	階級についての概説、イギリス文学についての基礎知識、アメリカ文学との比較	教科書の指定部分を読んでくること・配布資料を復習すること
	3	ルネサンスまでの文学	中世の英語と文学、ルネサンス期についての基礎知識、アメリカ大陸発見が文学に与えた影響	教科書の指定部分を読んでくること・配布資料を復習すること
	4	シェイクスピア(1)	喜劇・歴史劇等	教科書の指定部分を読んでくること・配布資料を復習すること
	5	シェイクスピア(2)	四大悲劇	教科書の指定部分を読んでくること・配布資料を復習すること
	6	18世紀までの文学(1)	詩の発展と小説の誕生・同時代のアメリカにおける文学	教科書の指定部分を読んでくること・配布資料を復習すること
	7	18世紀までの文学(2)	小説ジャンルの発展	教科書の指定部分を読んでくること・配布資料を復習すること
	8	ロマン主義(1)	ロマン主義の詩	教科書の指定部分を読んでくること・配布資料を復習すること
	9	ロマン主義(2)	ロマン主義時代の小説(Jane Austen、ゴシック小説など)	教科書の指定部分を読んでくること・配布資料を復習すること
	10	19世紀の文学(1)	ヴィクトリア朝時代の小説家(1)、アメリカの小説(1)	教科書の指定部分を読んでくること・配布資料を復習すること
	11	19世紀の文学(2)	ヴィクトリア朝時代の小説家(2)、ヴィクトリア朝時代の詩人、アメリカの小説(2)	教科書の指定部分を読んでくること・配布資料を復習すること
	12	19世紀の文学(3)	ヴィクトリア朝時代の小説家(3)、アメリカの小説(3)	教科書の指定部分を読んでくること・配布資料を復習すること
	13	20世紀の文学(1)	20世紀の小説(イギリスとアメリカ)	教科書の指定部分を読んでくること・配布資料を復習すること
	14	20世紀の文学(2)	20世紀の詩と劇、アイルランドや旧植民地の文学	教科書の指定部分を読んでくること・配布資料を復習すること
	15	21世紀の文学の可能性と授業のまとめ	21世紀以降の文学とまとめ	教科書の指定部分を読んでくること・配布資料を復習すること
関連科目	英米文学史			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	授業に対する姿勢(私語や携帯使用は大幅に減点します)と定期試験で評価。			
学生へのメッセージ	英文学の魅力を味わってください。主にアメリカ文学を扱う「英米文学史」の授業をあわせて受講してください。			
担当者の研究室等	7号館4階(皆本研究室)			
備考	配布資料の読み込みなどにかかる事前事後学習の総時間を15時間程度とする。			

科目名	エリアスタディーズ (アフリカ)	科目名 (英文)	Area Studies (Africa)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	後期	授業担当者	伊東 未来
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本講義では、アフリカの歴史や諸社会に暮らす人々の暮らしについて学ぶ。日本で一般的に触れるアフリカについてのトピック (政治的混乱や貧困や資源開発など) だけでなく、テレビや新聞だけではなかなか知りえない、同時代に生きるアフリカの人々の日常生活 (食、衣服、音楽など) についても理解を深めることを目指す。
到達目標	全講義を通じて、以下の事柄について知り、同時代のアフリカについて自身の関心にひきつけて考える。 ○アフリカの歴史 ○アフリカの地域ごとの地理的・社会的特徴 ○現代アフリカの諸相 (政治・経済・文化など) ○日本を含めた世界とアフリカのつながり
授業方法と留意点	講義形式。パワーポイントを板書代わりに用いるので、それを各自ノートにとること。必要に応じて適宜、補助資料プリントを配布する。トピックによっては、教員からの問いかけに対して、その場で考え意見を記述や発言してもらおう場合もあるので、受身ではなく能動的に授業参加して欲しい。ノートは原則、筆記具でとること (パソコン等でノート・テイクをする事情がある場合には、初回の講義で個別に要相談)。

科目学習の 効果 (資格)				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	今後の授業内容の概要 イントロダクション 履修者の興味関心の質問	【事前】アフリカについて、今現在じぶんが知っていることは何か、今後何を知りたいのかを考えておくこと。
	2	アフリカの歴史	アフリカの歴史についての講義	【事前】アフリカ大陸の面積・人口を予想し、実際に調べ、予想と実際にどれくらい差があったのかメモしておくこと。
	3	アフリカの地理	アフリカの地理についての講義	【事前】アフリカの気候について知っていることを調べ、メモしておくこと。
	4	アフリカの政治・経済 (1)	アフリカの政治・経済についての講義	【事前】講義前一週間に報道されたアフリカの政治・経済に関するニュースを調べ、その内容を10行程度にまとめておくこと。
	5	アフリカの政治・経済 (2)	アフリカの政治・経済についての講義	【事前】講義前一週間に報道されたアフリカの政治・経済に関するニュースを調べ、その内容を10行程度にまとめておくこと。
	6	アフリカの人々 (1)	アフリカの集団と言語の多様性についての講義	【事前】アフリカ大陸で用いられる言語はいくつあるのか調べておくこと。
	7	アフリカの人々 (2)	東アフリカに暮らすアフリカの人々の社会や日常生活についての講義	【事前】東アフリカに区分される国家の名前を調べておくこと
	8	アフリカの人々 (3)	南部アフリカに暮らすアフリカの人々の社会や日常生活についての講義	【事前】南部アフリカに区分される国家の名前を調べておくこと
	9	アフリカの人々 (4)	西アフリカに暮らすアフリカの人々の社会や日常生活についての講義	【事前】西アフリカに区分される国家の名前を調べておくこと
	10	アフリカの人々 (5)	北アフリカに暮らすアフリカの人々の社会や日常生活についての講義	【事前】北アフリカに区分される国家の名前を調べておくこと
	11	アフリカと世界のかかわり (1)	世界とアフリカの社会・経済的な関係についての講義	【事前】アフリカから一国を選び、その国の最大貿易国を調べておくこと
	12	アフリカと世界のかかわり (2)	アフリカの社会・経済的な関係についての講義	【事前】アフリカ出身で世界的に名を知られる人 (政治家・スポーツ選手・芸術家など) を一人選び、その来歴について10行程度にまとめておくこと
	13	アフリカと日本のかかわり	アフリカと日本の関係についての講義	【事前】日本在住のアフリカ出身者の概数を調べておくこと。
	14	アフリカの豊かさ (1)	これまでの講義をふまえ、アフリカの豊かさについて考える	【事前】これまでの講義を受けて、アフリカに対するイメージや知識がいかに変化したかを、10行程度にまとめておくこと。
	15	アフリカの豊かさ (2) 臨時試験	これまでの講義をふまえ、アフリカの豊かさについて考える 臨時試験を実施する	【事前】これまでの講義を受けて、行ってみたいアフリカの国を挙げ、その国について10行程度でまとめておくこと。

関連科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準) 臨時試験の得点 (70%) と平常点 (事前学習の成果、授業態度などで30%) で評価。

学生へのメッセージ

担当者の研究室等 7号館2階 (非常勤講師室)

備考

科目名	エリアスタディーズ (オセアニア)	科目名 (英文)	Area Studies (Oceania)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	後期	授業担当者	木本 浩一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	エリアスタディーズの一つとして、オセアニア地域について、多角的に検討します。			
到達目標	1) オセアニアという地域の特徴を把握できる。 2) オーストラリア、ニュージーランドなど、オセアニアの主要地域について知識を修得する。 3) 地域研究の考え方・手法を修得する。			
授業方法と留意点	講義形式で進めますが、可能な限りグループワークを取り入れたいと思います。			
科目学習の効果 (資格)	「地域研究」という手法をオセアニアを題材として学ぶことができます。			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション ーエリアスタディーズの一つとしてー	・授業の進め方について説明する。 ・エリアスタディーズという考え方	【事前】オセアニアについての自分のイメージについてまとめておく。 【事後】
	2	オセアニアの位置・自然条件 (1)	・オセアニアの位置について、説明する。	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	3	オセアニアの位置・自然条件 (2)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	4	オセアニアの歴史 (1)	・歴史「以前」 ・人びとの歴史	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	5	オセアニアの歴史 (2)	・発見「以後」	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	6	オセアニアの歴史 (3)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	7	オーストラリア概説 (1)	・自然環境	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	8	オーストラリア概説 (2)	・農業	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	9	オーストラリア概説 (3)	・鉱業 (資源)	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	10	ニュージーランド概説 (1)	・自然環境	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	11	ニュージーランド概説 (2)	・農業 ・鉱業	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	12	島嶼部	・自然環境 ・産業	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	13	オセアニアのいま (1)	・観光	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	14	オセアニアのいま (2)	・環境	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	15	オセアニアのいま (3)	多文化	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
関連科目	「多文化の共生」「風土と地理」			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	コメント、小テスト、レポートを総合して評価する。			

学生への メッセージ	オセアニアという枠組みの中で、オーストラリアやニュージーランド、南太平洋の島々のことを理解しましょう。
担当者の 研究室等	木本研究室（7号館5階）
備考	

科目名	エリアスタディーズ (北アメリカ)	科目名 (英文)	Area Studies (North America)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	後期	授業担当者	大原 一浩
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	アメリカの歴史はヨーロッパ人が入植してから400年ほどですが、ダイナミックな変化を経験してきました。この授業では、アメリカという国の社会・文化を、歴史、地理、民族、精神、生活、人間関係、日米関係など、さまざまな視点から考察し理解を深めていきます。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ社会・文化を多角的な視点から理解する。 ・アメリカという国の理念とその実現の試みを批判的に理解する。 ・日本人としてアメリカ社会・文化を学ぶ意義を説明できる。
授業方法と留意点	各回のテーマに沿って、統計・写真・地図などの資料を参照しながら、講義を進める。授業内容の理解を促すための小クイズも予定している。
科目学習の効果 (資格)	・アメリカに関する多くの情報のなかから、正しいものを選ぶ力をつける。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業内容・方法説明	授業内容の復習
	2	アメリカの歴史1	植民地時代から独立まで	授業内容の復習
	3	アメリカの歴史2	領土拡張、奴隷制、南北戦争	授業内容の復習
	4	アメリカの歴史3	金びか時代から第二次大戦まで	授業内容の復習
	5	アメリカの歴史4	戦後のアメリカ、現在まで	授業内容の復習
	6	アメリカの地理1	北部・南部	授業内容の復習
	7	アメリカの地理2	中西部・西部	授業内容の復習
	8	アメリカの民族1	ヨーロッパ系	授業内容の復習
	9	アメリカの民族2	アジア系	授業内容の復習
	10	アメリカの民族3	ラティーノ/ネイティブほか	授業内容の復習
	11	アメリカの精神	ピューリタニズム、フロンティア精神、個人主義ほか	授業内容の復習
	12	アメリカ人の生活	衣食住、祝祭	授業内容の復習
	13	人間関係	子供、家族、LGBT など	授業内容の復習
	14	日米関係	中浜万次郎から現在まで	授業内容の復習
	15	まとめ	確認テストと解説	前期範囲の復習

関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	なし。統計・写真・地図などの資料を配布/表示します。		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (20%) : 授業態度、課題への取り組み、小クイズなど レポート (40%) 確認テスト (40%)
学生へのメッセージ	
担当者の研究室等	
備考	授業スケジュール等に多少の変更の可能性があるため、初回の授業に必ず出席すること。

科目名	エリアスタディーズ (東南アジア)	科目名 (英文)	Area Studies (Southeast Asia)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	後期	授業担当者	原 秀禎
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの国について、歴史的背景、工業、農業、貿易、交通、人口、都市、村落、観光、宗教、民族等を解説する。 現在の観光問題や日系企業の海外進出、現地生産の状況、民族独立問題などについても言及していく。 特に、東南アジア各国の首都と世界遺産について詳細に解説する。 毎回ビデオ教材を多数使用し、具体的な各国紹介を行う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジア各国の現況を理解し、日本との関係を把握する。 東南アジアの世界遺産と観光について理解する。
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> 配布プリントを中心に教科書を併用して、各国別に解説する。 ビデオ教材を毎回使用し、具体的な東南アジア像を把握できるように努めたい。
科目学習の効果 (資格)	東南アジア各国の現況を把握できる。旅行業界に就職を希望する学生諸君にとっては、地理的知識の修得につながる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	東南アジアの地域区分	自然・人文環境による地域区分、各国の分布	地域区分を整理する
	2	メコンデルタの開発とベトナム	ベトナム戦争後の復興とドイモイ政策、エビ養殖の現状、世界遺産と観光	ベトナムの特色をまとめる
	3	内陸国ラオス	ラオスの農業と開放政策、熱帯林の伐採問題、世界遺産と観光	ラオスの特色をまとめる
	4	クメール文化とカンボジア	内戦の終結と地雷撤去問題、アンコールワットの観光問題、世界遺産と観光	カンボジアの特色をまとめる
	5	小乗仏教の国タイ	タイの工業化とエイズ問題、リゾート開発とプーケット、世界遺産と観光	タイの特色をまとめる
	6	ヒンズー文化とミャンマー	軍事政権とスーチーさん問題、首都移転と経済	ミャンマーの特色をまとめる
	7	第1回から第6回までのまとめと理解度確認テスト	第1回から第6回までのまとめを行った後、理解度を確認するためのテストを実施する。	解答できなかった内容を復習する
	8	半島国マレーシアとブランテーション	ルックイースト政策と工業化、ペナン島・ランカウイ島の観光開発、世界遺産と観光	マレーシアの特色をまとめる
	9	ビジネスセンターとしてのシンガポール	工業化と観光、シンガポール開発とラッフルズホテル	シンガポールの特色をまとめる
	10	集団島嶼群フィリピン	出稼ぎ問題と工業化、日比混血児問題、世界遺産と観光	フィリピンの特色をまとめる
	11	石油国家ブルネイ	石油開発と市民生活、観光開発の現状	ブルネイの特色をまとめる
	12	回教徒の国インドネシアⅠ	工業開発と東チモール問題、世界遺産と観光	インドネシアの特色をまとめる
	13	回教徒の国インドネシアⅡ	バリ島の観光とテロ問題	バリ観光の特色をまとめる
	14	第8回から第13回までのまとめと理解度確認テスト	第8回から第13回までのまとめを行った後、理解度を確認するためのテストを実施する。	解答できなかった内容を復習する
	15	理解度確認テストの結果を踏まえ、全体を総括する。	東南アジア地域の特色と地域性	東南アジアの地域性を整理する

関連科目	中国地誌学、旅と観光の地理学、環境学
------	--------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	2015・データブック・オブ・ザ・ワールド	二宮健二	二宮書店
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	東南アジアの自然	高谷好一	弘文堂
	2	東南アジアの自然と土地利用	岩田慶治・他	勁草書房
	3			

評価方法 (基準)	2回の理解度確認テストの成績を中心に、授業参加、講義態度も加味して、総合的に評価する。
-----------	---

学生へのメッセージ	板書した内容だけでなく、口頭で説明した内容やビデオの内容もしっかり要約して、メモする習慣をつけてください。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館5階(原研究室)
----------	-------------

備考	
----	--

科目名	エリアスタディーズ（日本）	科目名（英文）	Area Studies（Japan）
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	後期	授業担当者	赤澤 春彦
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本講義では日本の文化について理解を深めることを目的とします。取り上げるテーマは「和食」「名前」といった身近なものです。また「宗教」も取り上げます。宗教は一見、距離がありそうに思えますが、私たちの日常生活や年中行事の至る所に見られます。本講義を通して日本の文化に対する理解を深め世界の国々と比較するさいに役立ててください。
到達目標	日本の歴史や文化の特質を理解し、他の国々との違いを比較しながら、自らの言葉で解説できる能力を習得できます。
授業方法と留意点	基本的に板書で講義を進めますが、プリント・スライドなどの資料も使用します。
科目学習の効果（資格）	異文化コミュニケーションの場では自分の国の文化を披露することがあるでしょう。そのさい、日本の文化の特徴について伝えることができます。また、他の国の文化に触れるときにも深く理解することができるでしょう。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	
1	オリエンテーション	講義の目的や進め方について説明します。歴史学とはどのような学問か解説します。	復習	
2	和食の歴史（1）	和食に対するイメージや考えをみなで考え、整理します。	復習	
3	和食の歴史（2）	和食の歴史のうち、神饌と直会など古代日本の食について考えます。	復習	
4	和食の歴史（3）	中世以降の精進料理、本膳料理が和食の成立に与えた影響について考えます。	復習	
5	和食の歴史（4）	現代における和食の実態や問題点について考えます。	復習	
6	名前の歴史と文化（1）	日本における姓名の歴史について考えます。	復習	
7	名前の歴史と文化（2）	日本における家族の歴史と文化について考えます。	復習	
8	名前の歴史と文化（3）	日本における共同体と家について考えます。	復習	
9	映画『もののけ姫』にみる日本文化（1）	エミシの世界 「日本」の枠組みについて考えます。	復習	
10	映画『もののけ姫』にみる日本文化（2）	ヤマトの世界 モデルとなった室町時代の村、町場、戦争などについて考えます。	復習	
11	映画『もののけ姫』にみる日本文化（3）	タタラ場の世界 タタラ製鉄や石火矢について考えます。	復習	
12	映画『もののけ姫』にみる日本文化（4）	シンガミの世界 日本の地理的環境や日本人の信仰について考えます。	復習	
13	映画『もののけ姫』にみる日本文化（5）	『もののけ姫』世界の構成 4つの世界の関係について考えます。	復習	
14	映画『もののけ姫』にみる日本文化（6）	『もののけ姫』とは何か？ この映画を通じてどのような事を語れるのか、講義参加者がそれぞれ考えます。	復習	
15	まとめ	論述試験を行います（持ち込み可）		今までのノートをまとめておく

関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1																
	2																
3																	

参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1																
	2																
3																	

評価方法（基準）	講義最終日に行う論述試験（持ち込み可）、講義中に課す小レポート、小テストなどによって評価します。
学生へのメッセージ	本講義で日本の文化や歴史がすべてわかるわけではありません。講義を通じて興味を持ったことがありましたら、Webや図書などで積極的に調べるとよいでしょう。
担当者の研究室等	7号館4階（赤澤研究室）
備考	事前・事後学習は総時間60時間を目安とする。

科目名	エリアスタディーズ（東アジア）	科目名（英文）	Area Studies (East Asia)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	後期	授業担当者	瀬戸 宏、北島 由紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目（中学校・高等学校 中国語） 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	中国と韓国を中心とした東アジアの地域社会・文化の概要を学び、これらの地域への理解を深めます。
到達目標	中国と韓国を中心とした東アジアの歴史・文化の概要が理解できます。
授業方法と留意点	毎回の出席を重視します。
科目学習の効果（資格）	東アジアへの理解が深まります。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	中国の現代社会①	映画「きれいなお母さん」を鑑賞し、変化する中国社会を理解する。	二〇世紀末から二一世紀初めの中国社会について調べる。
2	中国の現代社会②	映画「きれいなお母さん」の背景にある市場経済の浸透、学校教育のあり方について考える。	中国の障害者教育、母子家庭の現状について調べる。
3	中国の現代社会③	映画「生きる」を鑑賞し、中華民国期から文化大革命までの中国社会の歩みを理解する。	中華民国から中華人民共和国への社会変化について調べる。
4	中国の現代社会④	映画「生きる」の背景にある現代中国人の生き方について考える。	大躍進、文化大革命など中華人民共和国の歴史について調べる。
5	中国の伝統社会①	映画「紅夢」を鑑賞し、旧時代の家庭の有り様を理解する。	旧中国の家庭制度、結婚制度について調べる。
6	中国の伝統社会②	映画「紅夢」の背景にある封建家庭の構造、そこでの人々の思考について考える。	中国旧家庭の構造について調べる。
7	中国の伝統社会③	映画「ヒーロー」を鑑賞し、古代の人々の状況を理解する。	中国古代の歴史について調べる。
8	中国の伝統社会④	映画「ヒーロー」の背景にある中国古代社会の構造を考える。	中国古代の社会状況について調べる。
9	まとめ	これまでの授業で理解した中国社会と日本社会を比較し、その共通点と相違点を考える。	これまでの授業に関するレポートを書く。
10	新しい韓国文化①	韓流はどのように浸透したのか	近年の韓国文化の流れや日本への影響を知る
11	新しい韓国文化②	韓流の変化	韓流の変化を通して、日本における韓国文化について考える
12	古い伝承からみる朝鮮半島①	神話に登場する神々	朝鮮半島の説話を知る
13	古い伝承からみる朝鮮半島②	古代国家の建国神話	朝鮮半島の古代国家についてより深く知る
14	古い伝承からみる朝鮮半島③	昔話・動物説話	昔話にあらわれる文化的特徴をみる
15	伝承からみる日本との関わり	日韓昔話比較の一例	日本との関連性を考える

関連科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法（基準）
出席およびレポートで評価します。

学生へのメッセージ
いっしょに中国、韓国について勉強しましょう。

担当者の研究室等
7号館3階瀬戸研究室、7号館2階非常勤講師室

備考
授業の進行状況を見て、取り上げる作品などを変更することがあります。

科目名	エリアスタディーズ (ヨーロッパ)	科目名 (英文)	Area Studies (Europe)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	後期	授業担当者	林田 敏子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	20世紀末以来、ヨーロッパは、EUを中心に経済のみならず政治や文化の面でも結びつきを強化してきた。「国民国家の枠をこえ、一つのヨーロッパをつくる」というその目標は達成されたかに見える一方、外国人や移民に対する排斥運動、域内の経済格差や失業問題、地域ナショナリズムの高揚など、ヨーロッパ諸国が抱える問題はいずれも深刻なものである。国境をこえ「ヨーロッパ」の再生・創造をめざすEUがわれわれに投げかける問題を、多文化、多民族の共生という観点から考える。
到達目標	EU (European Union)の歩みに関する基本的知識を習得し、現代の「ヨーロッパ」が抱えている問題の本質を理解する。
授業方法と留意点	毎回プリントを配布し、図像資料を活用しながら板書をまじえて授業をすすめる。
科目学習の効果 (資格)	EUの拡大と深化が社会に与えた影響を考察することで、現代の「ヨーロッパ」に対する多面的な理解が可能になる。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	EUのあゆみ	EU誕生までの歴史	第二次世界大戦の終了からEU誕生までの歴史を年表化する。
3	EUの成り立ち	・従来の超国家連合との違い ・欧州議会が抱える問題	EUの行政機構とその役割について調べてくる。
4	EUに入らない国・入れない国	・永世中立国スイスとEU ・トルコの加盟問題 ～非ヨーロッパ世界との防波堤～	トルコの加盟問題を、トルコ側、EU側双方から考察する。
5	「ヨーロッパの創造」	・欧州市民権の付与 ・国境をこえるヒト・モノ・カネ	欧州市民権の付与をめぐる問題を授業の内容に即してまとめる。
6	欧州共通教科書をめぐる問題	共通の「神話」? 「記憶」? ～「ヨーロッパ人」はいかにして創られるか～	EU加盟国間で歴史解釈が異なる例の一つ挙げ、「欧州共通教科書」がそれにどう対処したのかじつさいの記述をもとにまとめる。
7	「国境なきヨーロッパ」の虚実	制度上の壁 ～国籍取得と選挙権の付与～	国籍取得法を大きく二つに分類し、それぞれの特性を整理する。
8	「一つのヨーロッパ」が抱える問題	・排外主義の台頭 ～極右勢力とEU～ ・小テストの実施	・これまでの授業内容をふりかえる。 ・極右勢力の台頭に注目しながら、EU加盟国の政治状況を調べてくる。
9	新たな衝突 ～定住移民をめぐる問題①～	・「外国人労働者」という名の定住移民 ～ドイツにおけるトルコ人移民問題～ ・小テストの解説	EU加盟国が抱える移民問題の全体像を調べてくる。
10	新たな衝突 ～定住移民をめぐる問題②～	フランスにおける移民問題 ～移民2世の社会統合をめぐる～	フランスにおける移民問題の特徴（他の国と違う点）についてまとめる。
11	映画『憎しみ』にみる移民問題	移民社会と暴力	映画の解釈をレポートとしてまとめる。
12	EUと「地域」 ～国家の周辺地域からEUの中心地域へ～	・アルザスの可能性 ・スコットランド独立の「失敗」	スコットランド独立騒動の経緯について調べ、「独立失敗」の原因について考えてくる。
13	国境をこえるさまざまな試み	・EUと脱ナショナル化 ・留学と言語教育の可能性	EUの言語教育、留学制度について調べてくる。
14	ボーダレス社会の到来	広域経済圏・多国籍企業・NGO	国を越えた経済的、政治的、文化的パートナーシップのありかたについて自分の考えをまとめる。
15	まとめ	小テストの実施と解説	これまでの授業内容を復習しておく。

関連科目	
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	第15回目に実施する小テスト (80%)、中間テスト (10%)、提出物 (10%)の結果を総合的に評価する。
-----------	---

学生へのメッセージ	歴史学とは過去に起こった事件の年号や偉人の名前を暗記する学問ではありません。過去の出来事を通して、現代社会や未来についての思考力を養うためのものです。積極的に関連文献を読み、講義内容を批判的に摂取するよう心がけてください。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館4階 林田研究室
----------	-------------

備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間。
----	------------------------

科目名	エリアスタディーズ (ラテンアメリカ)	科目名 (英文)	Area Studies (Latin America)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	後期	授業担当者	北條 ゆかり
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	広大なラテンアメリカという地域（北米大陸から南米大陸にかけて、カリブ海地域を含めた 33 ヶ国から成る）を多角的な視野から学際的かつ総合的に学ぶことで、異文化理解を深める一助とする。
到達目標	ヨーロッパによる支配とそこからの独立をアジアやアフリカ諸国に比べてより早く遂げたラテンアメリカ地域の独自性を知るだけでなく、隣接する北米のアンглоアメリカとの歴史的關係と今後の共存のゆくえや日本とのより深い関係構築可能性について展望できるようになる。
授業方法と留意点	教材と参考文献一覧は授業で配布します。 毎回、質問票を書き提出してもらい、次の授業で解説を行います。
科目学習の効果 (資格)	日本ではあまり知られていないラテンアメリカという地域の持つ固有の文化に親しむことで、グローバル社会の中で複眼的思考のできる観点につなげる。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	ラテンアメリカの地理 (1)	地域名称の由来 域内諸国の名称と位置の学習	地域を構成する 33 ヶ国・13 非独立領を地図上で確認する
2	ラテンアメリカの地理 (2)	地域の歴史的概要	基礎統計資料一覧を読み解く
3	ラテンアメリカの地理 (3)	産業と特産品	ラテンアメリカ原産作物と資源について調べる
4	ラテンアメリカの地理 (4)	世界文化遺産を通して見る多民族・多文化社会	ラテンアメリカの世界遺産について調べる
5	ラテンアメリカの歴史 (1)	先住民古代文明と征服	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
6	ラテンアメリカの歴史 (2)	植民地時代から独立国家の時代へ	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
7	ラテンアメリカの文化 (1)	文学と映画	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
8	ラテンアメリカの文化 (2)	美術と音楽	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
9	ラテンアメリカの文化 (3)	食文化	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
10	ラテンアメリカの政治	政治体制の変遷	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
11	ラテンアメリカの経済	ラテンアメリカ経済の歴史的変容、現状と課題	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
12	ラテンアメリカの社会	階層社会の構造、民族文化と国民社会	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
13	現代世界の中のラテンアメリカ	国際政治・経済の中のラテンアメリカの位置づけ	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
14	ラテンアメリカと日本の関係	移住と日系社会、政治・外交関係におけるラテンアメリカと日本	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
15	総括	達成度確認テスト	総復習

関連科目	1 年次前期に「スペイン語圏概論」を履修することを推奨する。「ラテンアメリカ史」「ラテンアメリカ文学」のほか、ラテンアメリカを亜地域に分類し具体像をもとに理解を深めるためには「現代ラテンアメリカ論」を履修するとよい。
------	--

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	プリント		
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	達成度確認テストまたはレポートにより総合的に評価する。
学生へのメッセージ	日本から遠く離れた地域ですが、不思議な魅力にあふれる混沌とした世界です。そこへと分け入ることで、自分自身のものの見方を相対化するきっかけとなるでしょう。
担当者の研究室等	7 号館 5 階 北條研究室
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 60 時間を目安とする。

科目名	オーラル コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Oral Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	S
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	スコット ライリー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English. Students will gain fluency and confidence in expressing opinions and in English conversation.
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
8	Midterm Assessment Activity		
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
15	Final Assessment Activity		...

関連科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Interchange Level 3 4th Edition ISBN 978-1107648708		Cambridge University Press
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準)	Quizzes 10% Class Work 30% Homework 20% Midterm Speaking Activity 20%
----------	--

	Final Speaking Activity 20%
学生への メッセージ	
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師控室
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	オーラル コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Oral Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	あ
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ジョセフ シウンシ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English. In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations.																																																																
到達目標	The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes. By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.																																																																
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.																																																																
科目学習の効果 (資格)	TOEIC																																																																
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>Introduction</td><td>Orientation and Self-Introduction</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>2</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>3</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>4</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>5</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>6</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>7</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>8</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>9</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>10</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>11</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>12</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>13</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>14</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>15</td><td>Review</td><td>Feedback sessionk</td><td>...</td></tr> </tbody> </table>	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	15	Review	Feedback sessionk	...
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																														
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson																																																														
2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																														
3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																														
4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																														
5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																														
6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																														
7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																														
8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																														
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																														
10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																														
11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																														
12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																														
13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																														
14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																														
15	Review	Feedback sessionk	...																																																														
関連科目	スピーキング I a・I b スピーキング II a・II b デイベート ab																																																																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>SCD Revised</td><td>Richard Rowat</td><td>Weissman Press</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	SCD Revised	Richard Rowat	Weissman Press	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1	SCD Revised	Richard Rowat	Weissman Press																																																														
2																																																																	
3																																																																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1																																																																	
2																																																																	
3																																																																	
評価方法 (基準)	Class participation 50% Performance 50%																																																																
学生へのメッセージ	Students will need the textbook, a notebook, and highlighting pens of various colors (your choice). This class offers students a chance to engage in a wide variety of speaking situations with a focus on critical thinking skills and learning strategies.																																																																
担当者の研究室等	Building 7, 2nd. floor teacher's room																																																																
備考	Come see me anytime you need help. Also, you can write to me at: joeciunci@yahoo.com 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ 15 時間程度とする。																																																																

科目名	オーラル コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Oral Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	い
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	アーサー ロングス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English. Students will gain fluency and confidence in expressing opinions and in English conversation
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introductions	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Unit 1 Day 1 That's What Friends Are For	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
3	Unit 1 Day 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
4	Unit 2 Day 1 Career Moves	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
5	Unit 2 Day 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
6	Unit 3 Day 1 Could You Do Me a Favor?	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
7	Unit 3 Day 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
8	Midterm Test	Test	...
9	Unit 4 Day 1 What a Story	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
10	Unit 4 Day 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
11	Unit 5 Day 1 Crossing Cultures	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
12	Unit 5 Day 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
13	Unit 6 Day 1 What's Wrong With It? (Describing problems)	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
14	Unit 6 Day 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
15	Test	Test	...

関連科目	None
------	------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Vocabulary Quizzes 20% Class work 20% Homework 20% Midterm Test 20% Final Test 20%
-----------	--

学生へのメッセージ	Learning a new language is different from learning other subjects you may be taking. To succeed you must continually learn new vocabulary, discover new communication strategies and speak whenever given the chance. For this reason it is very important to attend every class and try your best to actively speak and listen. If you do this, your communication skills will definitely improve.
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	オーラル コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Oral Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	う
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	アイビス ウイリアム
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<p>In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English.</p> <p>In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes.</p>																																																																		
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.																																																																		
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Introduction</td> <td>Orientation and Self-Introduction</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>Review</td> <td>Feedback sessionk</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	15	Review	Feedback sessionk	...
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson																																																																
2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
15	Review	Feedback sessionk	...																																																																
関連科目	スピーキング I a・I b スピーキング II a・II b デイベート ab																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>English In Common 2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	English In Common 2			2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	English In Common 2																																																																		
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	Grades will be based on attendance, participation, and tests.																																																																		
学生へのメッセージ	I hope that all of the students in this class will work hard to improve their communication skills in English.																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。																																																																		

科目名	オーラル コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Oral Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	え
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	田浦 アマンダ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<p>In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English.</p> <p>In this course students will study everyday conversational English in a series of different situations. They will create role plays and perform them to gain communicative competence and confidence in using English.</p>																																																																		
到達目標	<p>Students will improve their four skills - speaking through role plays, listening through using English in the class, reading by joining the reading marathon and reading books on a weekly basis, and writing in a language journal.</p> <p>By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.</p>																																																																		
授業方法と留意点	Regular, on-time attendance, a willingness to use English in class, reading outside the class and positive participation are the key to a good grade.																																																																		
科目学習の効果(資格)	TOEIC, TOEFL, STEP																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Introduction</td> <td>Orientation and Self-Introduction</td> <td>Buy textbooks</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Reading Marathon</td> <td>Introduction to extensive reading</td> <td>Language note journal, reading for the marathon, review last week's class</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Theme: Jobs</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Language note journal, reading for the marathon, review last week's class</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Theme: Jobs</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Language note journal, reading for the marathon, review last week's class</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Theme: Job role plays</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Language note journal, reading for the marathon, review last week's class</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Theme: Body Language and Small Talk</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Language note journal, reading for the marathon, review last week's class</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Shakespeare and the Merchant of Venice</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Language note journal, reading for the marathon, review last week's class</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Theme: Body Language and Small Talk</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Language note journal, reading for the marathon, review last week's class</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Theme: Body Language and Small Talk</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Language note journal, reading for the marathon, review last week's class</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Theme: Future Predictions</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Language note journal, reading for the marathon, review last week's class</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Theme: Future Predictions</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Language note journal, reading for the marathon, review last week's class</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Theme: Future Predictions role plays</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Language note journal, reading for the marathon, review last week's class</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Theme: Giving Advice</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Language note journal, reading for the marathon, review last week's class</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Theme: Giving Advice role plays</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Language note journal, reading for the marathon, review last week's class</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>Review</td> <td>Feedback session</td> <td>No homework</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Buy textbooks	2	Reading Marathon	Introduction to extensive reading	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class	3	Theme: Jobs	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class	4	Theme: Jobs	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class	5	Theme: Job role plays	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class	6	Theme: Body Language and Small Talk	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class	7	Shakespeare and the Merchant of Venice	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class	8	Theme: Body Language and Small Talk	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class	9	Theme: Body Language and Small Talk	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class	10	Theme: Future Predictions	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class	11	Theme: Future Predictions	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class	12	Theme: Future Predictions role plays	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class	13	Theme: Giving Advice	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class	14	Theme: Giving Advice role plays	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class	15	Review	Feedback session	No homework
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Buy textbooks																																																																
2	Reading Marathon	Introduction to extensive reading	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class																																																																
3	Theme: Jobs	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class																																																																
4	Theme: Jobs	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class																																																																
5	Theme: Job role plays	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class																																																																
6	Theme: Body Language and Small Talk	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class																																																																
7	Shakespeare and the Merchant of Venice	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class																																																																
8	Theme: Body Language and Small Talk	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class																																																																
9	Theme: Body Language and Small Talk	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class																																																																
10	Theme: Future Predictions	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class																																																																
11	Theme: Future Predictions	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class																																																																
12	Theme: Future Predictions role plays	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class																																																																
13	Theme: Giving Advice	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class																																																																
14	Theme: Giving Advice role plays	Individual Task, Pair Work or Group Work	Language note journal, reading for the marathon, review last week's class																																																																
15	Review	Feedback session	No homework																																																																
関連科目	スピーキング I a・I b スピーキング II a・II b デイバート ab																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Moving On with English</td> <td>Eric Bray</td> <td>Nanundo</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Language Note (languagenote.com)</td> <td>Richard McMahon</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Moving On with English	Eric Bray	Nanundo	2	Language Note (languagenote.com)	Richard McMahon		3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Moving On with English	Eric Bray	Nanundo																																																																
2	Language Note (languagenote.com)	Richard McMahon																																																																	
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	Class participation, role play presentations, enthusiasm to speak English, on-time attendance, homework, vocabulary quizzes and reading on a weekly basis will be graded.																																																																		
学生へのメッセージ	Don't be afraid to make mistakes - mistakes mean you remember for next time!																																																																		
担当者の研究室等	7号館5階 田浦研究室 (Building 7, 5th floor, Koala poster on the door)																																																																		
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。																																																																		

科目名	オーラル コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Oral Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	お
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	神崎 舞
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English.
到達目標	In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes. By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	To build up your speaking, listening, reading and writing skills in a variety of activities.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson	Classroom English
	2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	Help language
	3	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	Family relationships
	4	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	Biographical information
	5	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	Gestures
	6	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	Body language
	7	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	Recreational sports
	8	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	Hobbies
	9	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	Visiting the mountains
	10	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	Visiting the beach
	11	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	Emotions
	12	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	Feelings
	13	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	Location of objects in a house and prepositions
	14	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	Review
	15	Feedback session	・・・	

関連科目	スピーキング ディベート ab
------	--------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Minitalks	広瀬孝文/Helen Kyle	成美堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (受講態度、課題など)、小テスト、期末テストで総合的に評価。
-----------	------------------------------------

学生へのメッセージ	英語で話すことを楽しみましょう。
-----------	------------------

担当者の研究室等	7号館5階
----------	-------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	オーラル コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Oral Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	か
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	小池 正平
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English. In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes.
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises	Test	...

関連科目	スピーキング I a・I b スピーキング II a・II b ディベート ab
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	イラストでわかる日常生活の英語表現 改訂版	ローレンス・J. ズヴァイヤー	コンパス パブリッシング
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業参加 30% 小テスト 40% 期末試験 30%
-----------	----------------------------------

学生へのメッセージ	今までに学んだたくさんの語句や表現を、とにかく口に出して言ってみる手助けをしたいと思います。また、聴き取りの力が一層つくような授業にもしたいと思います。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師控室
----------	---------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	オーラル コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Oral Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	き
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	内山 知美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<p>In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English.</p> <p>In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes.</p>																																																																		
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.																																																																		
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Introduction</td> <td>Orientation and Self-Introduction</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>Review</td> <td>Feedback sessionk</td> <td>・・・</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	15	Review	Feedback sessionk	・・・
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson																																																																
2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
15	Review	Feedback sessionk	・・・																																																																
関連科目	スピーキング I a・I b スピーキング II a・II b デイベート ab																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	Evaluation will be based on attendance, class participation and small tests.																																																																		
学生へのメッセージ																																																																			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	<p>There is no text, but I will make print outs and give assigned reading.</p> <p>事前・事後学習にかかる総時間はおおよそ15時間程度とする。</p>																																																																		

科目名	オーラル コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Oral Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	く
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	クリスティー ジョスト
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<p>In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English.</p> <p>In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes.</p>																																																																		
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.																																																																		
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>Introduction</td><td>Orientation and Self-Introduction</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>2</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>3</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>4</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>5</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>6</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>7</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>8</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>9</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>10</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>11</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>12</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>13</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>14</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>15</td><td>Review</td><td>Feedback session</td><td>...</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	15	Review	Feedback session	...
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson																																																																
2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
15	Review	Feedback session	...																																																																
関連科目	スピーキング I a・I b スピーキング II a・II b ディベート ab																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	Class participation and oral performance tasks 45% Project work 20% Presentations 15% Final speaking assessment 20%																																																																		
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> - Students are required to review their notes regularly and to complete (submit) all homework (assignments) to the best of their ability by the due date. - Students are expected to speak English only in this class. - Students must not be absent more than one-third of the classes. - More than 30 minutes late is regarded as an absence. 																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)																																																																		
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。																																																																		

科目名	オーラル コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Oral Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	け
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ロナルド メイソン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<p>In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English.</p> <p>In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes.</p>																																																																		
到達目標	<p>By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.</p> <p>To become a better speaker of English, you must speak up and take part in the activities in every class.</p>																																																																		
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.																																																																		
科目学習の効果(資格)	TOEIC																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>Introduction</td><td>Orientation and Self-Introduction</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>2</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>3</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>4</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>5</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>6</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>7</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>8</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>9</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>10</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>11</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>12</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>13</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>14</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>15</td><td>Review</td><td>Feedback session</td><td>・・・</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	15	Review	Feedback session	・・・
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson																																																																
2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
15	Review	Feedback session	・・・																																																																
関連科目	スピーキング I a・I b スピーキング II a・II b デイベート ab																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Interchange 3 *(Forth Edition), Jack C. Richards, ISBN978-0-521-60218-1 (Cambridge Univ. Press) *Interchange 3 Workbook*</td> <td>Jack C. Richards</td> <td>Cambridge</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Interchange 3 *(Forth Edition), Jack C. Richards, ISBN978-0-521-60218-1 (Cambridge Univ. Press) *Interchange 3 Workbook*	Jack C. Richards	Cambridge	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Interchange 3 *(Forth Edition), Jack C. Richards, ISBN978-0-521-60218-1 (Cambridge Univ. Press) *Interchange 3 Workbook*	Jack C. Richards	Cambridge																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	Grades are based on team work projects and student worksheets.																																																																		
学生へのメッセージ	Please don't hesitate to speak out in class.																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階非常勤講師室																																																																		
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。																																																																		

科目名	オーラル コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Oral Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	こ
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	松浦 茂寿
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English. In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes.
到達目標	In this course, we focus on developing conversation skill, vocabulary and listening skill. By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	To build up your speaking, listening, reading and writing skills in a variety of activities.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	...
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback Session	...

関連科目	スピーキング a・b ディベート a・b
------	-------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	New Time to Communicate	Eric Bray	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Evaluation will be based on quizzes, homework assignments and class participation.
-----------	--

学生へのメッセージ	Active participation in all class activities is required. If you participate actively, you will learn more in this class. If you miss classes, it will lower your grade. Remember that you are responsible for any information you miss if you are absent. Late homework will get much lower grade in some cases.
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師控室
----------	---------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	オーラル コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Oral Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	さ
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	オーエン クロー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English. In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes.
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	To build up your speaking, listening, reading and writing skills in a variety of activities.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	スピーキング a・b スピーキング a・b ディベート ab
------	-----------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Impact Issues 3	Richard Day	Pearson Longman
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	40% Attendance; 30% Participation; 30% Test
-----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	辞書を必ず持参すること。 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ 15 時間程度とする。
----	---

科目名	オーラル コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Oral Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	し
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	田中 秀毅
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English. In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes.
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	To increase fluency in spoken English

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
15	Review	Feedback session	...

関連科目: スピーキング ab, ディベート ab

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Communication Focus (英語コミュニケーション道場)	Mark D. Stafford ほか	金星堂
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Longman Dictionary of Contemporary English, 6th ed. (ロングマン現代英英辞典第6版)		ロングマン
2	Oxford Advanced Learner's Dictionary, 8th ed. (オックスフォード現代英英辞典第8版)		オックスフォード
3			

評価方法 (基準): 評価の対象 プレゼン, 課題, 平常点
評価に対する重み プレゼン (60%), 課題 (20%), 平常点 (20%)

学生へのメッセージ: 英語コミュニケーションには英語の知識が不可欠ですが、それだけでは不十分です。日本語コミュニケーションでもそうであるように、話すネタ (話題) が欠かせません。コミュニケーション力を高めるために、日頃から世の中の出来事に目を向け、自分の考え・意見をもつように心がけましょう。

担当者の研究室等: 田中 (秀) 研究室 (7号館4階)

備考: 1. 英和・英英辞典は最新版が望ましい。電子辞書については、学習用に適した辞書を内蔵している場合に限り使用を認める。ただし、液晶画面の小さいものや旅行用のポータブルタイプは不可。英英辞典を用いたアクティビティーを行うので、電子辞書に入っていない人は用意すること (参考書欄の英英辞典を推奨する)。
2. 欠席は授業に出席しなかった場合 (公欠・忌引き・病欠を含む) のすべてを対象とする (ただし、やむを得ない事情と判断できる欠席については考慮するので申し出ること)。欠席回数については初回授業で説明するので必ず確認すること。
3. 遅刻は本人の授業理解度を低下させ、ほかの受講者の集中力を阻害するので避けること。また、携帯電話が授業中に鳴ると授業の進行の妨げ

になるので電源は授業開始までに切っておくこと。

4. 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ 15 時間程度とする。

科目名	オーラル コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Oral Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	再
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	アレク ニール
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English. Students will gain fluency and confidence in expressing opinions and in English conversation
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.
授業方法と留意点	Students will work in pairs and learn to form teams. Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	To increase fluency in spoken English

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introductions/Cosmetic Surgery	Orientation and Self-Introduction/ Discussion	Students should study the content of the day's lesson
2	Cosmetic Surgery	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
3	Friends or Lovers	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
4	Friends or Lovers	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
5	The Environment	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
6	The Environment	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
7	Parents Rules	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
8	Parents Rules	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
9	Plagiarism	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
10	Plagiarism	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
11	Sharing the housework	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
12	Sharing the housework	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
13	Abortion	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
14	Abortion	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
15	Test	Test	...

関連科目	None
------	------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	40% attendance, 30% participation, 30% end of term test
学生へのメッセージ	Attendance and active participation is important
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	Handouts will be distributed in class. 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	オーラル コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Oral Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	S
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	スコット ライリー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English. Students will gain fluency and confidence in expressing opinions and in English conversation.
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well as a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC800 以上を取得する

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
	8	Midterm Assessment Speaking		
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Quiz "Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson
	15	Final Speaking Assessment		

関連科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Interchange Level 3 Fourth Edition. ISBN 978-1107648708		Cambridge University Press
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Quizzes 10% Homework 20% Classwork 30% Midterm Speaking Activity 20%
-----------	---

	Final Speaking Activity 20%
学生への メッセージ	
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師控室
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	オーラル コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Oral Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	あ
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ジョセフ シウンシ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<p>In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English.</p> <p>In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes.</p>																																																																		
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.																																																																		
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Introduction</td> <td>Orientation and Self-Introduction</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>Review</td> <td>Feedback sessionk</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	15	Review	Feedback sessionk	...
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson																																																																
2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
15	Review	Feedback sessionk	...																																																																
関連科目	スピーキング I a・I b スピーキング II a・II b ディベート ab																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>SCD Revised</td> <td>Richard Rowat</td> <td>Weissman Press</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	SCD Revised	Richard Rowat	Weissman Press	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	SCD Revised	Richard Rowat	Weissman Press																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	Class participation 50% Performance 50%																																																																		
学生へのメッセージ	Students will need the textbook, a notebook, and highlighting pens of various colors (your choice). This class offers students a chance to engage in a wide variety of speaking situations with a focus on critical thinking skills and learning strategies.																																																																		
担当者の研究室等	Building 7, 2nd. floor teacher's room																																																																		
備考	Come see me anytime you need help. Also, you can write to me at: joeciunci@yahoo.com 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ 15 時間程度とする。																																																																		

科目名	オーラル コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Oral Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	い
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	アーサー ロングス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English. Students will increase confidence and fluency in expressing opinions and conversation in English
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	To improve spoken English fluency

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Class Orientation	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Unit 7 Day 1 The World We Live In	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Unit 7 Day 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Unit 8 Day 1 Life-long Learning	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Unit 8 Day 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Unit 9 Day 1 Self-improvement	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Unit 9 Day 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Midterm Test	test	...
	9	Unit 10 Day1 The Past and The Future	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Unit 10 Day 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Unit 11 Day1 Life's Little Lessons	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Unit 11 Day 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Unit 12 Day 1 The Right Stuff	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Unit 12 Day 2	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Final Test	Test	...

関連科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Vocabulary Quizzes 20% Class work 20% Homework 20% Midterm Test 20% Final Test 20%
-----------	--

学生へのメッセージ
Learning a new language is different from learning other subjects you may be taking. To succeed you must continually learn new vocabulary, discover new communication strategies and speak whenever given the chance. For this reason it is very important to attend every class and try your best to actively speak and listen. If you do this, your communication skills will definitely improve.

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

備考
配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	オーラル コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Oral Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	う
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	アイビス ウイリアム
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<p>In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English.</p> <p>In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes.</p>																																																																		
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.																																																																		
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Introduction</td> <td>Orientation and Self-Introduction</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Exercises</td> <td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td> <td>Students should study the content of the day's lesson</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>Review</td> <td>Feedback session</td> <td>・・・</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	15	Review	Feedback session	・・・
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson																																																																
2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
15	Review	Feedback session	・・・																																																																
関連科目	スピーキング I a・I b スピーキング II a・II b デイベート ab																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>English In Common 2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	English In Common 2			2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	English In Common 2																																																																		
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	Grades will be based on attendance, participation, and tests.																																																																		
学生へのメッセージ	I hope that all of the students in this class will work hard to improve their communication skills in English.																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。																																																																		

科目名	オーラル コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Oral Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	え
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	田浦 アマンダ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English. In this course students will study everyday conversational English in a series of different situations. They will create role plays and perform them to gain communicative competence and confidence in using English in various situations.
到達目標	Students will improve their four skills - speaking through role plays, listening through using English in the class, reading by joining the reading marathon and reading books on a weekly basis, and writing by writing in a class journal.
授業方法と留意点	Regular, on-time attendance, a willingness to use English in class, reading outside the class and positive participation are the key to a good grade.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, STEP

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Re-introductions	Role Play, Language note writing
2	Theme: Summer holiday role play and Reading Marathon	Individual Task, Pair Work or Group Work	Reading, Language Note writing, review today's class
3	Theme: Movie viewing for listening and comprehension (Harry Potter)	Individual Task, Pair Work or Group Work	Reading, Language Note writing, review today's class
4	Movie - language review	Individual Task, Pair Work or Group Work	Reading, Language Note writing, review today's class
5	Theme: World Traveler	Individual Task, Pair Work or Group Work	Reading, Language Note writing, review today's class
6	Theme: World Traveler	Individual Task, Pair Work or Group Work	Reading, Language Note writing, review today's class
7	Theme: World Traveler role plays	Individual Task, Pair Work or Group Work	Reading, Language Note writing, review today's class
8	Theme: Customer service	Individual Task, Pair Work or Group Work	Reading, Language Note writing, review today's class
9	Theme: Customer service	Individual Task, Pair Work or Group Work	Reading, Language Note writing, review today's class
10	Theme: Customer service role plays	Individual Task, Pair Work or Group Work	Reading, Language Note writing, review today's class
11	Theme: The Older People in your Life	Individual Task, Pair Work or Group Work	Reading, Language Note writing, review today's class
12	Theme: The Older People in your Life	Individual Task, Pair Work or Group Work	Reading, Language Note writing, review today's class
13	Theme: The Older People in your Life role plays	Individual Task, Pair Work or Group Work	Reading, Language Note writing, review today's class
14	Review	Individual Task, Pair Work or Group Work	Reading, Language Note writing, review today's class
15	Final assessment	Feedback session	No homework - last class

関連科目	スピーキング I a・I b スピーキング II a・II b デイバート ab
------	---

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Moving On with English	Eric Bray	Nanundo
2	Language Note (languagenote.com)	Richard McMahon	
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	Class participation, role play presentations, enthusiasm to speak English, on-time attendance, homework, vocabulary quizzes and reading on a weekly basis will be graded.
学生へのメッセージ	Don't be afraid to make mistakes - mistakes mean you remember for next time!
担当者の研究室等	7号館5階 田浦研究室 (Building 7, 5th floor, Koala poster on the door)
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	オーラル コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Oral Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	お
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	神崎 舞
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<p>In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English.</p> <p>In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes.</p>																																																																		
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.																																																																		
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.																																																																		
科目学習の効果 (資格)	To build up your speaking, listening, reading and writing skills in a variety of activities.																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>Introduction</td><td>Orientation and Self-Introduction</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>2</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>3</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>4</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>5</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>6</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>7</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>8</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>9</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>10</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>11</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>12</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>13</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>14</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair Work or Group Work</td><td>Students should study the content of the day's lesson</td></tr> <tr><td>15</td><td>Review</td><td>Feedback session</td><td>...</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson	15	Review	Feedback session	...
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson																																																																
2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson																																																																
15	Review	Feedback session	...																																																																
関連科目	スピーキング ab ディベート ab																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Minitalks</td> <td>広瀬孝文/Helen Kyle</td> <td>成美堂</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Minitalks	広瀬孝文/Helen Kyle	成美堂	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Minitalks	広瀬孝文/Helen Kyle	成美堂																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	平常点 (受講態度、課題など)、小テスト、期末テストで総合的に評価。																																																																		
学生へのメッセージ	英語で話すことを楽しみましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館5階 神崎研究室																																																																		
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。																																																																		

科目名	オーラル コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Oral Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	か
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	小池 正平
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English. Students will increase confidence and fluency in expressing opinions and conversation in English
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	To improve spoken English fluency

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Class overview	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
15	Review	Test	...

関連科目	None
------	------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	イラストでわかる日常生活の英語表現 改訂版	ローレンス・J. ズヴァイヤー	コンパス パブリッシング
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	授業参加 30% 小テスト 40% 期末試験 30%
学生へのメッセージ	今までに学んだたくさんさんの語句や表現を、とにかく口に出して言ってみる手助けをしたいと思っています。また、聴き取りの力が一層つくような授業にもしたいと思っています。
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	オーラル コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Oral Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	き
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	内山 知美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes.			
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.			
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.			
科目学習の効果(資格)	TOEIC			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback sessionk	...
関連科目	スピーキング I a・I b スピーキング II a・II b デイベート ab			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	Evaluation will be based on attendance, class participation and small tests.			
学生へのメッセージ				
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	There is no text, but I will make print outs and give assigned reading. 事前・事後学習にかかる総時間はおよそ15時間程度とする。			

科目名	オーラル コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Oral Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	く
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	クリスティー ジョスト
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes.
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	スピーキング I a・I b スピーキング II a・II b デイバート ab
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Class participation and oral performance tasks 45% Project work 20% Presentations 15% Final speaking assessment 20%
-----------	--

学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> - Students are required to review their notes regularly and to complete (submit) all homework (assignments) to the best of their ability by the due date. - Students are expected to speak English only in this class. - Students must not be absent more than one-third of the classes. - More than 30 minutes late is regarded as an absence.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	オーラル コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Oral Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	け
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ロナルド メイソン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes.
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations. To become a better speaker of English, you must speak up and take part in the activities in every class.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
15	Review	Feedback sessionk	...

関連科目	スピーキング I a・I b スピーキング II a・II b デイバート ab
------	---

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Interchange 3 *(Forth Edition), Jack C. Richards, *Interchange 3 Workbook*	Jack C. Richards	Cambridge
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	Grades are based on team work projects and student worksheets.
-----------	--

学生へのメッセージ	Please don't hesitate to speak out in class.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階非常勤講師室
----------	-------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	オーラル コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Oral Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	こ
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	松浦 茂寿
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes.
到達目標	In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English. In this course, we focus on developing conversation skill, vocabulary and listening skill.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	To build up your speaking, listening, reading and writing skills in a variety of activities.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	...
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback Session	...

関連科目	スピーキング a・b ディベート a・b
------	-------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	NewTime to Communicate	Eric Bray	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Evaluation will be based on quizzes, homework assignments and class participation
-----------	---

学生へのメッセージ	Active participation in all class activities is required. If you participate actively, you will learn more in this class. If you miss classes, it will lower your grade. Remember that you are responsible for any information you miss if you are absent. Late homework will get much lower grade in some cases.
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師控室
----------	---------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	オーラル コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Oral Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	さ
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	オーエン クロー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes.
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	To build up your speaking, listening, reading and writing skills in a variety of activities.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	スピーキング a・b スピーキング a・b ディベート ab
------	-----------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Impact Issues 3	Richard Day	Pearson Longman
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	40% Attendance; 30% Participation; 30% Test
-----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	辞書を必ず持参すること。 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ 15 時間程度とする。
----	---

科目名	オーラル コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Oral Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	し
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	田中 秀毅
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	"In this course students will study the various types of English used in social, business, and academic situations. The goal of this course is to gain communicative competence and confidence in using English for various purposes."
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	To increase fluency in spoken English

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	15	Review	Feedback session	・・・

関連科目	スピーキング ab, ディベート ab
------	---------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Communication Focus (英語コミュニケーション道場)	Mark D. Staffordほか	金星堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Longman Dictionary of Contemporary English, 6th ed. (ロングマン現代英英辞典第6版)		ロングマン
	2	Oxford Advanced Learner's Dictionary, 8th ed. (オックスフォード現代英英辞典第8版)		オックスフォード
	3			

評価方法 (基準)	評価の対象 プレゼン, 課題, 平常点 評価に対する重み プレゼン (60%), 課題 (20%), 平常点 (20%)
-----------	---

学生へのメッセージ	英語コミュニケーションには英語の知識が不可欠ですが、それだけでは不十分です。日本語コミュニケーションでもそうであるように、話すネタ(話題)が欠かせません。コミュニケーション力を高めるために、日頃から世の中の出来事に目を向け、自分の考え・意見をもつように心がけましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	田中 (秀) 研究室 (7号館4階)
----------	--------------------

備考	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英和・英英辞典は最新版が望ましい。電子辞書については、学習用に適した辞書を内蔵している場合に限り使用を認める。ただし、液晶画面の小さいものや旅行用のポータブルタイプは不可。英英辞典を用いたアクティビティーを行うので、電子辞書に入っていない人は用意すること(参考書欄の英英辞典を推奨する)。 2. 欠席は授業に出席しなかった場合(公欠・忌引き・病欠を含む)のすべてを対象とする(ただし、やむを得ない事情と判断できる欠席については考慮するので申し出ること)。欠席回数の限度については初回授業で説明するので必ず確認すること。 3. 遅刻は本人の授業理解度を低下させ、ほかの受講者の集中力を阻害するので避けること。また、携帯電話が授業中に鳴ると授業の進行の妨げになるので電源は授業開始までに切っておくこと。 4. 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	オーラル コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Oral Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	再
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	アレク ニール
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In the class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations. This course is designed to develop basic skills in conversational English. Students will increase confidence and fluency in expressing opinions and conversation in English.
到達目標	By the end of this course students should have learned new vocabulary, and be able to use it in conversational situations. As well a number of new speaking techniques will be learned by students, so they will be able to communicate more effectively in real life situations.
授業方法と留意点	Students will work in pairs and learn to form teams. Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	To improve spoken English fluency

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Working as an Escort	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Working as an Escort	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Piercings	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Piercings	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Adults living with parents	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Adults living with parents	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Is it OK to date your boss?	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Is it OK to date your boss?	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Study Abroad	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Study Abroad	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Career Choice	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Career Choice	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Racism	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Racism	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Test	Test	...

関連科目	None
------	------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Handouts distributed in class		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	40% attendance, 30% participation, 30% term end test
-----------	--

学生へのメッセージ	Attendance and participation are important
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	オーラル コミュニケーションⅡ a	科目名 (英文)	Oral Communication Iia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	スティーブ トマシェフスキー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In this course the students will participate in exercises to improve the oral and aural competency of material already familiar to them. In addition advanced communicative tasks using grammar that may be unfamiliar will be introduced. This will be achieved through use of materials and activities that focus on the successful completion of communicative functions. Students will be expected to give oral presentations to small groups, exchange information with single partners, and perform reading and research activities designed to reinforce information dealt with in the class.
到達目標	Students will be able to express their needs smoothly in an English speaking environment.
授業方法と留意点	20% of the grade will be based upon the successful preparation for the class, 20% will be for active participation and involvement in the class and 60% will be based on the multiple presentations students will be expected to give in the class.
科目学習の効果 (資格)	

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Self introduction, checking information	Wh-questions, statements with be	Students should have prepared a self-portrait photograph 30mm. wide X 35mm. high
2	Asking about someone; exchanging personal information	Yes /no questions, short answers w/ be;	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
3	Describing work & school	Simple present Wh-questions and statements	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
4	Asking for and giving opinions; talking about daily schedules Review Quiz- Short Presentation / Discussion	time expressions; at, in, on, around, until, etc. Short presentation about daily life	Students should review the vocabulary and homework tasks of the 3 previous lessons before they come to class.
5	Talking about prices; giving opinions, preferences	Demonstratives; This, that, these, etc.	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
6	Comparisons; buying/selling	Questions; How much, which adjective comparisons	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
7	Review quiz- Short Presentation Likes and dislikes	Simple present Yes / no, Wh questions	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
8	Giving opinions, invitations, excuses Review Quiz- Short Presentation / Discussion	Wh questions with do, what kind ; object pronouns; modal verb would Short role-play concerning an invitation and opinions of entertainment	Students should review the vocabulary and homework tasks of the 3 previous lessons before they come to class.
9	Family information	Present continuous yes /no and Wh-questions	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
10	Exchanging information about the present	Wh-questions /statements-short answers;determiners: all, nearly all, most, many, etc.	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
11	Describing routines & exercise	Adverbs of frequency; always, almost, usually, etc.	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
12	Describing frequency of activity, ability Review Quiz- Short Presentation / Discussion	Questions with How: How long, How often, etc. Short discourse concerning personal daily schedules	Students should review the vocabulary and homework tasks of the 3 previous lessons before they come to class.
13	Discussing past events	Past tense yes / no, Wh-questions	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
14	Discussing past experiences	Statements w/ short answers and regular and irregular verbs	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
15	Review Quiz- Short Presentation / Discussion	Asking about and describing locations.Use of There; There is, There are, etc. Short discourse concerning locations and places of interest	Students should review the vocabulary and homework tasks of the 2 previous lessons before they come to class.

関連科目	なし
------	----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Interchange -Full Contact - Fourth Edition	Jack C. Richards	Cambridge
	2			
	3			
参考書				

	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	An English to English Dictionary		Oxford, Cambridge or other respected publisher
	2			
	3			
評価方法 (基準)	20% of the grade will be based upon the successful preparation for the class, 20% will be for active participation and involvement in the class and 60% will be based on the multiple presentations students will be expected to give in the class.			
学生への メッセージ	It is my hope that all of the students in this class will seriously work to improve their communication skills in English. I ask that students try to make their best efforts in completing and discussing the tasks assigned in this class. It will also be necessary for students to have access to a computer in which they can upload the Video and other DVD-ROM self-study materials that will be used in this course.			
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	オーラル コミュニケーションⅡ b	科目名 (英文)	Oral Communication IIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	スティーブ トマシェフスキー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	In this course the students will participate in exercises to improve the oral and aural competency of material already familiar to them. In addition advanced communicative tasks using grammar that may be unfamiliar will be introduced. This will be achieved through use of materials and activities that focus on the successful completion of communicative functions. Students will be expected to give oral presentations to small groups, exchange information with single partners, and perform reading and research activities designed to reinforce information dealt with in the class.
到達目標	Students will be able to express their needs smoothly in an English speaking environment.
授業方法と留意点	20% of the grade will be based upon the successful preparation for the class, 20% will be for active participation and involvement in the class and 60% will be based on the multiple presentations students will be expected to give in the class.
科目学習の効果 (資格)	...

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Describing places	quantities prepositions of place, How-questions countable-uncountable nouns	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
2	Asking about and describing appearance	Questions about physical features What.....look like, how old etc.	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
3	Describing past experiences;	Present perfect yes/no questions, statements	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
4	Exchanging information about past experiences and events. Short discourse & Progress Evaluation	Regular and irregular past participles, already and yet	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous 3 lessons before they come to class.
5	Describing cities, asking/giving suggestions, discussing tourism	Adverbs/ adjectives; conjunctions conjunctions	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
6	Discussing health problems	infinitive complements, modal verbs can, could and may for requests	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
7	Expressing likes / dislikes ordering a meal	So, neither, too, and either; modal verbs would and will for requests	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
8	Describing countries, comparing Short discourse & Progress Evaluation	Comparative and superlative of adjectives	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous 3 lessons before they come to class.
9	Describing countries, expressing opinions	Questions w/ How. How big, How tall discussing distance and measurements	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
10	Short Presentation- A Country Profile	Self Evident	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
11	Discussing plans, invitations, refusals	Future with present continuous and be going to	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
12	Telephone messages Short discourse & Progress Evaluation	messages with tell and ask	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous 3 lessons before they come to class.
13	Exchanging Personal Information	Describing changes with present tense and comparatives	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
14	Future Plans	Discuss hopes and future activities	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous lesson before they come to class.
15	Short Presentation- Future Hopes Short discourse & Progress Evaluation	Self Evident	Students should review the vocabulary and homework tasks of the previous 2 lessons before they come to class.

関連科目	...
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Interchange Full Contact - Fourth Edition	Jack C. Richards	Cambridge
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	English to English Dictionary		Oxford, Cambridge or other

				respected publisher
	2			
	3			
評価方法 (基準)	Grades will be based on student preparation, in-class performance and short speaking quizzes given periodically during the course.			
学生への メッセージ	It is my hope that all of the students in this class will seriously work to improve their communication skills in English. I ask that students try to make their best efforts in completing and discussing the tasks assigned in this class. It will also be necessary for students to have access to a computer in which they can upload the Video and other DVD-ROM self-study materials that will be used in this course.			
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	音声学	科目名(英文)	Phonetics
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中島 直嗣
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	主に日本語や英語の音声(発音)を具体例として扱いながら、調音音声学に関する基礎知識の習得を目的とします。			
到達目標	まずは発音記号の理解と習得が基本となり、データから規則性を導き出す科学的手法について考察することも目標の一つとします。			
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・講義と演習を織り交ぜながら行います。また、必要に応じてAV教材を用います。 ・(電子)辞書を必ず持参すること。 ・難易度の高い科目ですので、特に復習に力を入れることをお勧めします。 			
科目学習の効果(資格)	TOEICのリスニング対策など。			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション 調音音声学とは	本授業の目的や方針などを説明する。 調音音声学の概要を説明する。	授業の内容や方針を確認する。
	2	母音と子音 有声音と無声音	その基礎となる母音と子音、有声音と無声音について学ぶ。	音声学に関する基本的概念を確認する。
	3	母音について (1)	母音の発音記号と、実際の発音の特徴について学ぶ。	扱った母音について具体例とともに確認する。
	4	母音について (2)	母音の発音記号と、実際の発音の特徴について学ぶ。	扱った母音について具体例とともに確認する。
	5	母音について (3)	母音の発音記号と、実際の発音の特徴について学ぶ。	扱った母音について具体例とともに確認する。
	6	子音について (1)	子音の発音記号と、実際の発音の特徴について学ぶ。	扱った子音について具体例とともに確認する。
	7	子音について (2)	子音の発音記号と、実際の発音の特徴について学ぶ。	扱った子音について具体例とともに確認する。
	8	子音について (3)	子音の発音記号と、実際の発音の特徴について学ぶ。	扱った子音について具体例とともに確認する。
	9	音連続による変化 (1)	同化を中心に、日本語や英語の事例を用いて考察する。	同化現象について具体例とともに確認する。
	10	音連続による変化 (2)	音の連結や脱落などについて、日本語や英語の事例を用いて考察する。	連結や脱落といった音変化について具体例とともに確認する。
	11	アクセント・強勢 (1)	日本語と英語など言語間における違いについて観察する。また、英語の接辞との関係にも注目する。	アクセント・強勢の特徴について具体例とともに確認する。
	12	アクセント・強勢 (2)	品詞や語形成によってアクセント(強勢)がどのように変化するかを考察する。	品詞や語形成がアクセント・強勢に及ぼす影響について理解する。
	13	内容語と機能語 強形と弱形	内容語と機能語の違いに着目し、特に英語の強形と弱形について考察する。	内容語/機能語と強形/弱形の関係について理解する。
	14	リズムとイントネーション	リズムとイントネーションについて日本語や英語の違いにも注目しながら考察する。	リズムとイントネーションについて具体例とともに要点を整理する。
	15	まとめ	学習した内容の要点整理と総括を行う。また、それらがTOEIC(Listening)などにどのように活かせるかを検証する。	要点の整理 定期試験対策
関連科目	他の語学科目など。			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリントを用います。		
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	必要に応じて指示します。		
	2			
	3			
評価方法(基準)	定期試験(100%)の成績によって評価します。			
学生へのメッセージ	知的好奇心を持った学生の受講を期待しています。			
担当者の研究室等	7号館 4階(中島研究室)			
備考				

科目名	海外インターンシップ	科目名 (英文)	Overseas Internship
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	通年集中	授業担当者	岩間 香
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	外国語学部では、次代の国際ビジネスで活躍する人材の育成を目指している。このプログラムでは、将来、語学力を生かして国際ビジネスに携わることを目標とする学生が、海外企業の現場を視察したり、実際に就業体験することによって、ビジネスで実際に使われている言葉遣いを学ぶとともに、そこで働く人たちの現状・意識を正しく認識することを目的としている。同時に、日本と相手国の生活や文化の違いを正しく理解し、それらを尊重できる態度を身に付けるとともに、自分の考えを明確に表現し、意思疎通の図れるコミュニケーション能力を育成する。																		
到達目標	日本と相手国の生活や文化の違いを正しく理解する。 それらを尊重できる態度を身につける。 自分の考えを明確に表現し、意思疎通の図れるコミュニケーション能力を身につける。																		
授業方法と留意点	本学内での事前・事後授業と実習先での研修（約2週間）による。 事前・事後授業には必ず出席すること。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>コース／中国・上海、米国・ロサンゼルス</p> <p>(1) 事前・事後指導 本学内での事前指導を出発前に5回、事後指導を帰国後に1回程度行う予定にしている。また、体験報告書の提出を求める。渡航に必要な手続きや研修受入企業とのマッチング、企業訪問上のマナー、実習先の社会・経済事情等の予備知識などを解説する。このほか、安全面を中心とした注意事項（リスクマネジメント）の指導も行う。</p> <p>(2) 現地実習 ・中国・上海（夏休み15日間） 近年、経済成長が著しいその経済の中心地である上海の著名企業を訪れ、みずほホールディングス系列の現地法人の協力の下、中国企業の現状について講義を受ける。市内の代表的な公的施設を見学した後、国営大手企業や日系大手企業など計8社以上を訪問し、中国ビジネス最前線で働く人々の様子を視察する。 ・米国・ロサンゼルス（春休み16日間） ライトハウス・キャリアエンカレッジ社の協力・指導の下、北米・ロサンゼルス地区に存在する日系企業中心の研修プログラム。言葉をはじめ、様々な文化が交わる北米エリアでの海外生活と一般企業での職場体験を通し、社会で必要な職業観と社会性の習得を目指す。「Kintetsu International Express, Inc」「Gulliver USA」「Famima」「POLA U.S.A., INC.」「公立小学校」「福祉施設」など約60の企業・団体の中から参加者の希望や語学力に応じて研修先を斡旋する。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	各コースとも、現地研修先での研修状況および事前・事後授業の参加状況、体験報告書の提出による。合格者には文化科目として単位認定する。 なお、事前・事後授業の出席状況が悪い者、受講態度・マナーの悪い者には、本プログラムへの参加および単位を認めないことがあるので、真剣に取り組むこと。																		
学生へのメッセージ	将来、海外を生活の拠点に働いてみたいと考えている人も、まだ漠然としかイメージできない人も、国際ビジネスの現場の雰囲気を直に体感してもらいたい。そうすれば、海外で実際に働くうえで、今の自分に何が足りないのかを発見できるし、就職活動を開始するまでに対策を講じることができるだろう。中国コースは3年次夏休みに、米国コースは2年次春休みに参加するのが望ましい。																		
担当者の研究室等備考																			

科目名	海外実習	科目名 (英文)	Overseas Studies Programs
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	通年集中	授業担当者	田中 秀毅
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	外国語学部では、世界の中の日本を理解し、国際的な立場で活躍する人材の育成という教育理念を実行に移す最も有効な手段の一つとして、海外語学実習を実施している。実習先大学において独自のプログラム授業を受けるとともに、現地での体験を通して、生活に密着した言語表現を学び、語学力に磨きをかけることを目的としている。																
到達目標	日本と実習先の国の生活や文化の違いを正しく理解し、自分と異なる考え方や生き方をする人々の存在を認め、それらを尊重できる態度を身に付ける。同時に、自分の考えを明確に表現し、意思疎通の図れるコミュニケーション能力を育成する。																
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・本学内での事前授業と、実習先での研修 (約3週間) によって構成される。 ・事前指導には必ず出席すること。 ※インドネシア・マレー語コースは、2年次からの実施とする。(1年次にはマレー語科目がないため) ※スペイン語コースは、春季 (2月初旬～3月初旬) の実施となる予定。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	(1) 事前授業 本学内での事前授業は7回程度行う。渡航に必要な手続きや所持品、安全面を中心とした注意事項 (リスクマネジメント) や実習先の国・地域の社会の予備知識などをテーマに説明すると同時に、コミュニケーションに不可欠な会話能力を高めるため、毎回いくつかの課題に取り組んでいく。																
関連科目	(2) 海外実習 実用会話を中心に学習する。教室での授業の他に、さまざまな課外アクティビティがある。また、中国語コース以外のコースはホームステイするので、ホストファミリーとの交流もその国の文化・生活習慣を学ぶ上で貴重な機会となる。																
	【実習先と実習時期 (予定)】 <ul style="list-style-type: none"> ・英語コース (オーストラリア・サザンクロス大学[コフスパーバー校]) (8月中旬～9月初旬) ・中国語コース (中国・上海外国語大学) (8月上旬～8月下旬) ・スペイン語コース (スペイン・バレンシア州立アリカンテ大学) (2月初旬～3月初旬) ・インドネシア・マレー語コース (マレーシア国民大学) (8月中旬～9月初旬) 																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>適宜プリントなどを配布する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	適宜プリントなどを配布する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	適宜プリントなどを配布する。																
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要に応じて指示する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	必要に応じて指示する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	必要に応じて指示する。																
2																	
3																	
評価方法 (基準)	※主言語と同一のコースに参加する場合は主言語科目として、共通言語のコースに参加する場合は文化科目として認定する。 ・事前授業の出席、現地講師による授業評価、全体の受講態度に基づき、担当教員が総合的に評価を行う。また、事前授業に欠席した者、受講態度・マナーの悪い者には、実習への参加および単位を認めないことがあるので、真剣に取り組むこと。																
学生へのメッセージ																	
担当者の研究室等																	
備考	(1) 英語圏のコースは参加者が多く団体行動に特に規律を求められることから、申請時に書類審査・面接を行い、志望動機や一般常識が著しく欠如している者には参加を認めない。 (2) 参加人数が少ない場合は実施を取り止めたり、引率者をつけずに実施することがある。必ず授業担当者の指示に従うとともに、より一層、学生本人の主体性と危機管理意識が求められる。																

科目名	海外実習	科目名 (英文)	Overseas Studies Programs
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	通年集中	授業担当者	兪 鳴蒙
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】「中国語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	外国語学部では、世界の中の日本を理解し、国際的な立場で活躍する人材の育成という教育理念を実行に移す最も有効な手段の一つとして、海外語学実習を実施している。実習先大学において独自のプログラム授業を受けるとともに、現地での体験を通して、生活に密着した言語表現を学び、語学力に磨きをかけることを目的としている。																
到達目標	日本と実習先の国の生活や文化の違いを正しく理解し、自分と異なる考え方や生き方をする人々の存在を認め、それらを尊重できる態度を身に付ける。同時に、自分の考えを明確に表現し、意思疎通の図れるコミュニケーション能力を育成する。																
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・本学内での事前授業と、実習先での研修 (約3週間) によって構成される。 ・事前指導には必ず出席すること。 ※インドネシア・マレー語コースは、2年次からの実施とする。(1年次にはマレー語科目がないため) ※スペイン語コースは、春季 (2月初旬～3月初旬) の実施となる予定。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	(1) 事前授業 本学内での事前授業は7回程度行う。渡航に必要な手続きや所持品、安全面を中心とした注意事項 (リスクマネジメント) や実習先の国・地域の社会の予備知識などをテーマに説明すると同時に、コミュニケーションに不可欠な会話能力を高めるため、毎回いくつかの課題に取り組んでいく。 (2) 海外実習 実用会話を中心に学習する。教室での授業の他に、さまざまな課外アクティビティがある。また、中国語コース以外のコースはホームステイするので、ホストファミリーとの交流もその国の文化・生活習慣を学ぶ上で貴重な機会となる。 【実習先と実習時期 (予定)】 <ul style="list-style-type: none"> ・英語コース (オーストラリア・サザンクロス大学[コフスバーク校]) (8月中旬～9月初旬) ・中国語コース (中国・上海外国語大学) (8月上旬～8月下旬) ・スペイン語コース (スペイン・バレンシア州立アリカンテ大学) (2月初旬～3月初旬) ・インドネシア・マレー語コース (マレーシア国民大学) (8月中旬～9月初旬) 																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>適宜プリントなどを配布する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	適宜プリントなどを配布する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	適宜プリントなどを配布する。																
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要に応じて指示する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	必要に応じて指示する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	必要に応じて指示する。																
2																	
3																	
評価方法 (基準)	※主言語と同一のコースに参加する場合は主言語科目として、共通言語のコースに参加する場合は文化科目として認定する。 ・事前授業の出席、現地講師による授業評価、全体の受講態度に基づき、担当教員が総合的に評価を行う。また、事前授業に欠席した者、受講態度・マナーの悪い者には、実習への参加および単位を認めないことがあるので、真剣に取り組むこと。																
学生へのメッセージ																	
担当者の研究室等																	
備考	(1) 英語圏のコースは参加者が多く団体行動に特に規律を求められることから、申請時に書類審査・面接を行い、志望動機や一般常識が著しく欠如している者には参加を認めない。 (2) 参加人数が少ない場合は実施を取り止めたり、引率者をつけずに実施することがある。必ず授業担当者の指示に従うとともに、より一層、学生本人の主体性と危機管理意識が求められる。																

科目名	海外実習	科目名 (英文)	Overseas Studies Programs
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	通年集中	授業担当者	篠原 愛人
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	外国語学部では、世界中の日本を理解し、国際的な立場で活躍する人材の育成という教育理念を実行に移す最も有効な手段の一つとして、海外語学実習を実施している。実習先大学において独自のプログラム授業を受けるとともに、現地での体験を通して、生活に密着した言語表現を学び、語学力に磨きをかけることを目的としている。																		
到達目標	日本と実習先の国の生活や文化の違いを正しく理解し、自分と異なる考え方や生き方をする人々の存在を認め、それらを尊重できる態度を身に付ける。同時に、自分の考えを明確に表現し、意思疎通の図れるコミュニケーション能力を育成する。																		
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・本学内での事前授業と、実習先での研修（約3週間）によって構成される。 ・事前指導には必ず出席すること。 ※インドネシア・マレー語コースは、2年次からの実施とする。（1年次にはマレー語科目がないため） ※スペイン語コースは、春季（2月初旬～3月初旬）の実施となる予定。 																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>（1）事前授業 本学内での事前授業は7回程度行う。渡航に必要な手続きや所持品、安全面を中心とした注意事項（リスクマネジメント）や実習先の国・地域の社会の予備知識などをテーマに説明すると同時に、コミュニケーションに不可欠な会話能力を高めるため、毎回いくつかの課題に取り組んでいく。</p> <p>（2）海外実習 実用会話を中心に学習する。教室での授業の他に、さまざまな課外アクティビティがある。また、中国語コース以外のコースはホームステイするので、ホストファミリーとの交流もその国の文化・生活習慣を学ぶ上で貴重な機会となる。</p> <p>【実習先と実習時期（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語コース（オーストラリア・サザンクロス大学[コフスバーク校]）（8月中旬～9月初旬） ・中国語コース（中国・上海外国語大学）（8月上旬～8月下旬） ・スペイン語コース（スペイン・バレンシア州立アリカンテ大学）（2月初旬～3月初旬） ・インドネシア・マレー語コース（マレーシア国民大学）（8月中旬～9月初旬） 																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>適宜プリントなどを配布する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	適宜プリントなどを配布する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	適宜プリントなどを配布する。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要に応じて指示する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	必要に応じて指示する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	必要に応じて指示する。																		
2																			
3																			
評価方法（基準）	<p>※主言語と同一のコースに参加する場合は主言語科目として、共通言語のコースに参加する場合は文化科目として認定する。</p> <p>・事前授業の出席、現地講師による授業評価、全体の受講態度に基づき、担当教員が総合的に評価を行う。また、事前授業に欠席した者、受講態度・マナーの悪い者には、実習への参加および単位を認めないことがあるので、真剣に取り組むこと。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等																			
備考	<p>（1）英語圏のコースは参加者が多く団体行動に特に規律を求められることから、申請時に書類審査・面接を行い、志望動機や一般常識が著しく欠如している者には参加を認めない。</p> <p>（2）参加人数が少ない場合は実施を取り止めたり、引率者をつけずに実施することがある。必ず授業担当者の指示に従うとともに、より一層、学生本人の主体性と危機管理意識が求められる。</p>																		

科目名	海外実習	科目名 (英文)	Overseas Studies Programs
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	通年集中	授業担当者	北條 ゆかり
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	外国語学部では、世界中の日本を理解し、国際的な立場で活躍する人材の育成という教育理念を実行に移す最も有効な手段の一つとして、海外語学実習を実施している。実習先大学において独自のプログラム授業を受けるとともに、現地での体験を通して、生活に密着した言語表現を学び、語学力に磨きをかけることを目的としている。																		
到達目標	日本と実習先の国の生活や文化の違いを正しく理解し、自分と異なる考え方や生き方をする人々の存在を認め、それらを尊重できる態度を身に付ける。同時に、自分の考えを明確に表現し、意思疎通の図れるコミュニケーション能力を育成する。																		
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・本学内での事前授業と、実習先での研修（約3週間）によって構成される。 ・事前指導には必ず出席すること。 ※インドネシア・マレー語コースは、2年次からの実施とする。（1年次にはマレー語科目がないため） ※スペイン語コースは、春季（2月初旬～3月初旬）の実施となる予定。 																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>（1）事前授業 本学内での事前授業は7回程度行う。渡航に必要な手続きや所持品、安全面を中心とした注意事項（リスクマネジメント）や実習先の国・地域の社会の予備知識などをテーマに説明すると同時に、コミュニケーションに不可欠な会話能力を高めるため、毎回いくつかの課題に取り組んでいく。</p> <p>（2）海外実習 実用会話を中心に学習する。教室での授業の他に、さまざまな課外アクティビティがある。また、中国語コース以外のコースはホームステイするので、ホストファミリーとの交流もその国の文化・生活習慣を学ぶ上で貴重な機会となる。</p> <p>【実習先と実習時期（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語コース（オーストラリア・サザンクロス大学[コフスパーバー校]）（8月中旬～9月初旬） ・中国語コース（中国・上海外国語大学）（8月上旬～8月下旬） ・スペイン語コース（スペイン・バレンシア州立アリカンテ大学）（2月初旬～3月初旬） ・インドネシア・マレー語コース（マレーシア国民大学）（8月中旬～9月初旬） 																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>適宜プリントなどを配布する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	適宜プリントなどを配布する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	適宜プリントなどを配布する。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要に応じて指示する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	必要に応じて指示する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	必要に応じて指示する。																		
2																			
3																			
評価方法（基準）	<p>※主言語と同一のコースに参加する場合は主言語科目として、共通言語のコースに参加する場合は文化科目として認定する。</p> <p>・事前授業の出席、現地講師による授業評価、全体の受講態度に基づき、担当教員が総合的に評価を行う。また、事前授業に欠席した者、受講態度・マナーの悪い者には、実習への参加および単位を認めないことがあるので、真剣に取り組むこと。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等																			
備考	<p>（1）英語圏のコースは参加者が多く団体行動に特に規律を求められることから、申請時に書類審査・面接を行い、志望動機や一般常識が著しく欠如している者には参加を認めない。</p> <p>（2）参加人数が少ない場合は実施を取り止めたり、引率者をつけずに実施することがある。必ず授業担当者の指示に従うとともに、より一層、学生本人の主体性と危機管理意識が求められる。</p>																		

科目名	海外実習	科目名 (英文)	Overseas Studies Programs
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	通年集中	授業担当者	上田 達
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	外国語学部では、世界中の日本を理解し、国際的な立場で活躍する人材の育成という教育理念を実行に移す最も有効な手段の一つとして、海外語学実習を実施している。実習先大学において独自のプログラム授業を受けるとともに、現地での体験を通して、生活に密着した言語表現を学び、語学力に磨きをかけることを目的としている。																		
到達目標	日本と実習先の国の生活や文化の違いを正しく理解し、自分と異なる考え方や生き方をする人々の存在を認め、それらを尊重できる態度を身に付ける。同時に、自分の考えを明確に表現し、意思疎通の図れるコミュニケーション能力を育成する。																		
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・本学内での事前授業と、実習先での研修（約3週間）によって構成される。 ・事前指導には必ず出席すること。 ※インドネシア・マレー語コースは、2年次からの実施とする。（1年次にはマレー語科目がないため） ※スペイン語コースは、春季（2月初旬～3月初旬）の実施となる予定。 																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>（1）事前授業 本学内での事前授業は7回程度行う。渡航に必要な手続きや所持品、安全面を中心とした注意事項（リスクマネジメント）や実習先の国・地域の社会の予備知識などをテーマに説明すると同時に、コミュニケーションに不可欠な会話能力を高めるため、毎回いくつかの課題に取り組んでいく。</p> <p>（2）海外実習 実用会話を中心に学習する。教室での授業の他に、さまざまな課外アクティビティがある。また、中国語コース以外のコースはホームステイするので、ホストファミリーとの交流もその国の文化・生活習慣を学ぶ上で貴重な機会となる。</p> <p>【実習先と実習時期（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語コース（オーストラリア・サザンクロス大学[コフスパーバー校]）（8月中旬～9月初旬） ・中国語コース（中国・上海外国語大学）（8月上旬～8月下旬） ・スペイン語コース（スペイン・バレンシア州立アリカンテ大学）（2月初旬～3月初旬） ・インドネシア・マレー語コース（マレーシア国民大学）（8月中旬～9月初旬） 																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>適宜プリントなどを配布する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	適宜プリントなどを配布する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	適宜プリントなどを配布する。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要に応じて指示する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	必要に応じて指示する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	必要に応じて指示する。																		
2																			
3																			
評価方法（基準）	<p>※主言語と同一のコースに参加する場合は主言語科目として、共通言語のコースに参加する場合は文化科目として認定する。</p> <p>・事前授業の出席、現地講師による授業評価、全体の受講態度に基づき、担当教員が総合的に評価を行う。また、事前授業に欠席した者、受講態度・マナーの悪い者には、実習への参加および単位を認めないことがあるので、真剣に取り組むこと。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等																			
備考	<p>（1）英語圏のコースは参加者が多く団体行動に特に規律を求められることから、申請時に書類審査・面接を行い、志望動機や一般常識が著しく欠如している者には参加を認めない。</p> <p>（2）参加人数が少ない場合は実施を取り止めたり、引率者をつけずに実施することがある。必ず授業担当者の指示に従うとともに、より一層、学生本人の主体性と危機管理意識が求められる。</p>																		

科目名	海外留学事前演習	科目名 (英文)	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	通年集中	授業担当者	田浦 アマンダ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	To prepare students for study overseas, giving them the opportunity to learn how to apply for an overseas program, obtain a visa, request a plane ticket, understand the responsibilities of going to another country, get to know what problems and issues to expect, give them coping strategies, and help them to have the underlying language to deal with the issues that may arise, and the confidence to seek people out to ask for help.																		
到達目標	Students should upon completion of the course, be ready to leave for their overseas experience with knowledge to help them enjoy their experience safely.																		
授業方法と留意点	100% attendance is required. Students must attend EVERY class in order to be able to go overseas. This is necessary to allow enough time to prepare applications, visas, airplane travel, and the knowledge of what to expect.																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>1. ガイダンス：本講義の目的や方針などの確認 (Orientation and introduction) 留学準備の重要性について 各校担当教員（留学委員）への挨拶メール 日本語メールの基本的な書き方指導 英語で自己紹介（日本の授業における自己紹介でなく、海外で自己紹介する場面を想定）</p> <p>2. 経費・送金・換金方法 (How to make a remittance to overseas counties/Exchange rates) クレジットカードの注意点 外国為替・為替レートについて</p> <p>3～4. 入学手続など・各種提出書類 (How to fill in English application forms) 入学書類の書き込み方を示す見本を参照しながら作成</p> <p>5. 出入国・渡航手続き (Student's visa, airport and flight information)</p> <p>6. 英文メールの書き方 (How to write an e-mail in English) 英文メールの構成 ホームステイ先と海外大学担当者宛てに英文メールを作成</p> <p>8. サバイバル・イングリッシュ (Survival English) 関連書籍を参考に、空港や機内、ホストファミリーとの顔合わせ、ホストファミリーとのトラブル、病院、危機的状況等の場面を想定して、最低限必要な英語表現を指導</p> <p>9. 研修先事情(1)：医療・衣食・交通・余暇 (Medical system, clothes and food, traffic system, and leisure) 学生による下調べ、口頭発表</p> <p>10. 研修先事情(2)：医療・衣食・交通・余暇 (Medical system, clothes and food, traffic system, and leisure) 学生による下調べ、口頭発表</p> <p>11. 日本の社会・文化の理解と伝え方 (How to explain the Japanese society and culture) 学生による下調べ・英語での口頭発表 ・自分について（家族や自分の経験、自分の出身地の特徴など）：モノや写真を用いて説明 ・日本社会・文化について：モノや写真を用いて説明 土産選びのポイント</p> <p>12. 留学先で受ける可能性のあるテストについて (On TOEFL and IELTS) ?英語の様々なテストの種類について解説</p> <p>13. 安全対策 (Measures of safety) 浅野先生によるビデオを用いた解説・保険会社からの説明 レポート提出</p> <p>14. 最終確認と総括 (Summing up final check before departure) 留学先での目標、目標達成のための計画、その他やってみたいことなどについて英語で口頭発表</p> <p>15. 帰国者報告会・出発予定者との質疑応答 (Question and Answer : Talk with returnees)</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ホームステイ・イングリッシュ (Amanda Taura)</td> <td>Ozawa</td> <td>英潮社</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Language Note</td> <td>Richard McMahon</td> <td>languagenote.com</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	ホームステイ・イングリッシュ (Amanda Taura)	Ozawa	英潮社	2	Language Note	Richard McMahon	languagenote.com	3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	ホームステイ・イングリッシュ (Amanda Taura)	Ozawa	英潮社																
2	Language Note	Richard McMahon	languagenote.com																
3																			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	Students will receive permission to go overseas once they have passed this preparatory course. Passing the class is based on on-time attendance at the class, 100% participation in doing everything that is necessary to prepare for their overseas departure, quickly, and efficiently, at-home assignments, and a presentation. This will be a steep learning curve before leaving, and students should approach everything with a positive attitude.			
学生への メッセージ	Make sure you take this class seriously, and do your best to excel in everything that is asked of you as a positive start to your overseas experience.			
担当者の 研究室等	田浦研究室 7号館 5階 (Amanda Taura) 2学期の英語担当			
備考				

科目名	海外留学事前演習	科目名 (英文)	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	通年集中	授業担当者	兪 鳴蒙
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	海外語学留学は、提携大学の独自のプログラム授業を受けるとともに、現地での体験を通して、生活に密着した言葉づかいを学び、語学力に磨きをかけることを目的とし、日本と相手国の生活や文化の違いを正しく理解し、自分と異なる考え方や生き方をする人々の存在を認め、それらを尊重できる態度を身に付ける同時に、自分の考えを明確に表現し、意思疎通の図れるコミュニケーション能力を育成する。 中国(北京あるいは上海)での留学はスムーズに行われ、実りあるものになるように、提携校の概要と環境、中国での生活上知っておくべきこと、日中文化の相違などを紹介しながら、渡航までのスケジュールの確認、大学提出書類作成など、留学ための万全な準備しておくのを徹底して指導する。																		
到達目標	万全な留学準備を整える。																		
授業方法と留意点	メモを取るのが肝心であり、毎回要点を確認する。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	1回目：提携校の概要と環境の紹介、大学提出書類作成指導。 2回目：日中文化の相違について。 3回目：中国での生活上知っておくべきこと。 4回目：渡航に持っていくべきもの、用意しておくべきもの。 5回目：学費と宿泊費の支払い上の注意事項、履修上の注意事項。 6回目：ビザ取得のための指導、最終確認。 7回目：(学部合同の安全指導と保険加入)																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	受講態度による。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等備考																			

科目名	海外ワークキャンプ	科目名 (英文)	Overseas Work Experience
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	前期集中	授業担当者	浅野 英一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	フィリピン・ミンダナオにある NGO ハウスオブジョイ (HOJ) 児童養護施設での実践型貢献実習とミンダナオ国際大学での英語実習を複合的に組み合わせた 3 週間の海外プログラムである。参加メンバー (履修生) との共同活動を通じ、開発途上国への理解を深め、実習先での経験との共通点、相違点を確認する。現地の人々との出会いの中から、見つけた新たな課題と、今後の関わり方について考える。																
到達目標	①使える語学力 (英語) や、異文化コミュニケーションを身につける。 ②異なる社会・文化のなかで暮らし、働くための総合力を身につける。 ③フィールドでの実体験を通じて、国際知識を養い、多文化環境のもとプロジェクトを動かすスキルを修得する。 ④国際貢献、自立支援の活動など、国内外の団体で活動																
授業方法と留意点	履修登録学生は、オリエンテーションを行うので、必ず参加のこと。日時と教室は、外国語学事務室前の掲示板に掲示する。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	事前教育 4 回程度 (生活環境・語学・習慣・ハートアクティビティプログラム*の習得) 事前教育の日程と教室については、外国語学部事務室前の掲示板に掲示する。 現地活動 2015 年 2 月中旬～3 月上旬の 3 週間を予定している。 *ハートアクティビティ (Human Relation Training) プログラム: いろいろなゲームを通して、緊張をほぐし、お互いに尊重することを学び、コミュニケーションや協力関係、豊かな人間関係を築いていくためのプログラム。 履修登録時の注意事項: 宿泊施設に限度があるため、上限は最大 15 名とする。履修希望者が 15 名を超えた場合、オリエンテーションの時に、履修希望調査レポートを提出し、履修理由とモチベーションを総合的に判断して 15 名を決定する。履修人数が 5 名に達しない場合は開講しない。履修希望者は、シラバス内容だけでなく、担当教員 (浅野教授) から、十分な説明を受けた上で履修申請を行うこと。説明を受けずに、履修申請した場合、履修を取り消す場合もある。																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	宿泊施設に限度があるため、上限は最大 15 名とする。履修希望者が 15 名を超えた場合、オリエンテーションの時に、履修希望調査レポートを提出し、履修理由とモチベーションを総合的に判断して 15 名を決定する。 成績評価は、履修希望調査レポート・事前活動・現地活動状況・帰国後レポートを総合的に評価する。																
学生へのメッセージ	JICA ボランティア (青年海外協力隊) に参加したい場合、この海外ワークキャンプの経験が「合格」の鍵となる。																
担当者の研究室等	7 号館 5 階 浅野研究室																
備考	履修希望者は、必ず事前に担当教員 (浅野教授) の研究室を訪問し、十分な説明を受けた上で履修申請を行うこと。																

科目名	カレント イングリッシュ a	科目名 (英文)	Current English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	S
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	皆本 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。集中的 (intensive) に読解を行うことで、文意を的確に把握しながら、ポイントをつかんでいく訓練をする。
到達目標	時事的な英文を読むことで、英語読解力の増強だけでなく、多角的なものの考え方、教養を身につけることを狙いとする。
授業方法と留意点	必ず充分予習して出席すること。授業中の応答、学習活動への積極的な参加を重視する。 また、毎日必ず新聞を読み、現代社会の動きに注意を払うようにすること。
科目学習の効果 (資格)	高度な読解力の養成。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	2	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	3	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	4	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	5	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	6	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	7	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	8	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	9	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	10	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	11	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	12	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	13	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	14	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	15	Intensive reading	Individual work, pair work	・・・

関連科目	リーディング、ライティング
------	---------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	BBC World Profile on DVD	森田彰 他	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業への参加、小テスト、まとめの確認テストなどを総合的に判断します。(詳しくは初回の授業で説明します。)
-----------	--

学生へのメッセージ	辞書は必携です。 社会で起こっている出来事に注意を払う習慣を身に付けましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階 皆本研究室
----------	-------------

備考	
----	--

科目名	カレント イングリッシュ a	科目名 (英文)	Current English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	あい
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	吉村 征洋
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてもまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。集中的 (intensive) に読解を行うことで、文意を的確に把握しながら、ポイントをつかんでいく訓練をする。
到達目標	時事的な英文を読むことで、英語読解力の増強だけでなく、多角的なものの考え方、教養を身につけることを狙いとする。
授業方法と留意点	必ず充分予習して出席すること。授業中の応答、学習活動への積極的な参加を重視する。 また、毎日必ず新聞を読み、現代社会の動きに注意を払うようにすること。

科目学習の効果 (資格)

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
2	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
9	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review	Feedback session	・・・

関連科目 リーディング、ライティング

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準) 平常点 (受講態度、小テスト、宿題、授業内課題等) 80%
オンライン課題 20%

学生へのメッセージ 日本語だけではなく、英語で書かれた新聞やネット記事に目を通し、物事を多角的に見る「眼」を養いましょう。
また自分の意見等を英語でアウトプットすることを目指しましょう。

担当者の研究室等 7号館3階 吉村研究室

備考 課外オンライン学習として、「Skype 英会話」を取り入れる(4回:3,200円)。

科目名	カレント イングリッシュ a	科目名 (英文)	Current English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	うえ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	松田 早恵
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてもまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。集中的 (intensive) に読解を行うことで、文意を的確に把握しながら、ポイントをつかんでいく訓練をする。
到達目標	時事的な英文を読むことで、英語読解力の増強だけでなく、多角的なものの考え方、教養を身につけることを狙いとする。
授業方法と留意点	必ず充分予習して出席すること。授業中の応答、学習活動への積極的な参加を重視する。 また、毎日必ず新聞を読み、現代社会の動きに注意を払うようにすること。
科目学習の効果 (資格)	高度な読解力の養成。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	2	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	3	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	4	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	5	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	6	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	7	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	8	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	9	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	10	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	11	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	12	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	13	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	14	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	15	Review	Feedback session	・・・

関連科目	リーディング、ライティング
------	---------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	15 Selected Units of English through the News Media (15章版: ニュースメディアの英語)	Masami Takahashi, Noriko Itoh, Richard Powell	Asahi Press (朝日出版社)
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点: 20% 授業内外課題: 40% 中間・まとめテスト: 40%
-----------	---

学生へのメッセージ	社会・文化・政治経済・情報・言語・教育・科学・医学・環境・娯楽・スポーツなどの多彩な分野の記事を読み、世界の動きを知りましょう。知識と情報は力になります。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館5階 松田研究室
----------	-------------

備考	通年で履修することが望ましい。
----	-----------------

科目名	カレント イングリッシュ a	科目名 (英文)	Current English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	おか
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	大神 雄一郎
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてもまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。集中的 (intensive) に読解を行うことで、文意を的確に把握しながら、ポイントをつかんでいく訓練をする。
到達目標	時事的な英文を読むことで、英語読解力の増強だけでなく、多角的なものの考え方、教養を身につけることを狙いとする。
授業方法と留意点	必ず充分予習して出席すること。授業中の応答、学習活動への積極的な参加を重視する。 また、毎日必ず新聞を読み、現代社会の動きに注意を払うようにすること。

科目学習の効果 (資格)	TOEIC
--------------	-------

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			1
2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review	Feedback sessionk	・・・

関連科目	
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Outlook on Society 構造で読む社会科学エッセイ	Yumiko Ishitani/Emma Andrews	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	以下の3項目から成績評価を行う。この授業では、現代社会に関する様々な知識を得ることと同時に、半期の授業を通じての英文読解力の発展を目的とするため、この目的に向けたプロセスとしての予習および授業中の取り組みにも重点を置いて成績を評価する。 ①予習や課題への取り組み状況 30% ②授業活動への取り組み状況 30% ③最後の授業で行う習熟度テスト 40%
-----------	--

学生へのメッセージ	英文読解力を高めていくには、地道な学習の積み重ねが欠かせません。手間と時間のかかる活動ではありますが、目的意識を持って一緒に取り組んでいきましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	
----	--

科目名	カレント イングリッシュ a	科目名 (英文)	Current English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	きく
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	サトラー マイケル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。集中的 (intensive) に読解を行うことで、文意を的確に把握しながら、ポイントをつかんでいく訓練をする。 This is a pre-intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	時事的な英文を読むことで、英語読解力の増強だけでなく、多角的なものの考え方、教養を身につけることを狙いとする。
授業方法と留意点	必ず充分予習して出席すること。授業中の応答、学習活動への積極的な参加を重視する。 また、毎日必ず新聞を読み、現代社会の動きに注意を払うようにすること。 Reading, listening, speaking and writing activities, done individually, as well as pair/small group work and class discussions.
科目学習の効果 (資格)	Students will develop the skills and confidence to use English more fluently and accurately.

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	Introduction and course orientation	Self-introduction, needs analysis grammar/vocabulary quiz, preview textbook	Buy the textbook
2	Unit 1 Lifestyles	Useful language for talking about daily life and routines Textbook activities	Preview vocabulary for next lesson
3	Unit 1 continue	Listening, reading, speaking activities	Preview vocabulary for next lesson
4	Unit 2 Leisure	Talking about likes and dislikes. Listening, reading, speaking activities	Preview vocabulary for next lesson
5	Unit 2 continue	Listening, reading, speaking activities	Preview vocabulary for next lesson
6	Unit 3 Getting along	Making requests, responding to requests Listening, reading, speaking activities	Preview vocabulary for next lesson
7	Unit 3 continue	Listening, reading, speaking activities	Preview vocabulary for next lesson
8	Review of Units 1-3 for mid-semester test, begin Unit 4	Listening, reading, speaking activities, pairs/small group work, also review of vocabulary and grammar for next week's test	Review for mid-semester test next week (Units 1-3) grammar, vocabulary, reading comprehension
9	Mid-semester test (Units 1-3)	Mid-semester test (Units 1-3) Vocabulary, grammar, listening	Preview vocabulary for next lesson
10	Unit 4 continue	Talking about hobbies and interests. Listening, reading, speaking activities	Preview vocabulary for next lesson
11	Unit 5 Telling a story	Describing events, using tense correctly, sequencing. Listening, reading, speaking activities	Preview vocabulary for next lesson
12	Unit 5 continue	Listening, reading, speaking activities	Preview vocabulary for next lesson
13	Unit 6 Celebrations	Talking about celebrations and festivals. Listening, reading, speaking activities	Preview vocabulary for next lesson
14	Unit 6 continue, review of Units 4-6	Listening, reading, speaking activities. Review Units 4-6 for the end of semester test next week	Review vocabulary and grammar for the end of semester test next week
15	End of semester test (Units 4-6)	End of semester test (Units 4-6) Vocabulary, grammar, listening	None

関連科目

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Breakthrough Plus 2 ISBN 978-0-230-43820-0	Miles Craven	Macmillan Publishers
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 Attendance/attitude/effort (30%), Mid-semester test (20%), End

(基準)	of semester test (30%), Small tests and quizzes (20%)
学生への メッセージ	This is a communication course, so students should try to use English as much as possible. Students are expected to be courteous to one another and to the teacher, and to demonstrate a co-operative attitude to learning. Habitual lateness, sleeping in class, forgetting to bring the textbook, using cell phones other than as a learning aid, are examples of unacceptable behaviour and repeat offenders will receive a lower grade or may find it difficult to pass this course. If a student forgets to bring his/her textbook to class, the onus is on the student to make a copy of someone else's textbook for that lesson. Students are expected to do assigned homework at home, by themselves. Failure to submit homework when it is due will result in a lower grade.
担当者の 研究室等	Building 7, 2nd floor.
備考	予習復習を含めた事前事後学習の総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	カレント イングリッシュ a	科目名 (英文)	Current English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	けこ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ニール カー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてもまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。集中的 (intensive) に読解を行うことで、文意を的確に把握しながら、ポイントをつかんでいく訓練をする。 This course is designed to develop skills in conversational English. In class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations.
到達目標	時事的な英文を読むことで、英語読解力の増強だけでなく、多角的なものの考え方、教養を身につけることを狙いとする。

授業方法と留意点	必ず充分予習して出席すること。授業中の応答、学習活動への積極的な参加を重視する。 また、毎日必ず新聞を読み、現代社会の動きに注意を払うようにすること Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
----------	--

科目学習の効果 (資格)	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations.
--------------	---

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Feedback session	•••

関連科目	N/A
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Life, British Edition, Student Book 2, Elementary with DVD	Paul Dummett, John Hughes, Helen Stephenson	CENGAGE Learning
2	Life, British Edition, Workbook 2, Elementary with Audio CD	Paul Dummett, John Hughes, Helen Stephenson	CENGAGE Learning	
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)	Evaluation will be based on quizzes, homework assignments and class participation
-----------	---

学生へのメッセージ	Students who engage wholeheartedly in class activities, who read up on lessons and do their homework will achieve most from this course. Pair and group work will form the core of each lesson.
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	予習復習、課題の作成などに費やす時間を含めて、事前事後学習の総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	カレント イングリッシュ a	科目名 (英文)	Current English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	さし
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ジェフリー ベル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてもまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。集中的 (intensive) に読解を行うことで、文意を的確に把握しながら、ポイントをつかんでいく訓練をする。
到達目標	時事的な英文を読むことで、英語読解力の増強だけでなく、多角的なものの考え方、教養を身につけることを狙いとする。
授業方法と留意点	必ず充分予習して出席すること。授業中の応答、学習活動への積極的な参加を重視する。 また、毎日必ず新聞を読み、現代社会の動きに注意を払うようにすること。
科目学習の効果 (資格)	高度な読解力の養成。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson (1h)
1	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
2	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
9	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review	Feedback session	・・・

関連科目 リーディング、ライティング

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Reading Pass 1 Second Edition	Andrew E. Bennet	南雲堂
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	1. 平常点 (予習、授業への参加、提出課題、小テスト) および復習テストから総合的に評価する。 2. 授業態度に問題のある場合 (遅刻、居眠り、飲食、私語、携帯電話の使用など) は厳しく対処する。
学生へのメッセージ	英語の力は学習時間に比例して伸びてゆきます。授業以外にも、自分の興味ある分野の英文に積極的にふれてください。全員参加で活気ある授業を創り上げましょう。
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
備考	辞書を必ず持参すること。

科目名	カレント イングリッシュ b	科目名 (英文)	Current English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	S
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	皆本 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。集中的 (intensive) に読解を行うことで、文意を的確に把握しながら、ポイントをつかんでいく訓練をする。
到達目標	時事的な英文を読むことで、英語読解力の増強だけでなく、多角的なものの考え方、教養を身につけることを狙いとする。
授業方法と留意点	必ず充分予習して出席すること。授業中の応答、学習活動への積極的な参加を重視する。 また、毎日必ず新聞を読み、現代社会の動きに注意を払うようにすること。
科目学習の効果 (資格)	高度な読解力の養成。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	2	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	3	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	4	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	5	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	6	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	7	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	8	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	9	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	10	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	11	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	12	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	13	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	14	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	15	Intensive reading	Individual work, pair work	・・・

関連科目	リーディング、ライティング
------	---------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	BBC World Profile on DVD	森田彰 他	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業への参加、小テスト、まとめの確認テストなどを総合的に判断します。(詳しくは初回の授業で説明します。)
-----------	--

学生へのメッセージ	辞書は必携です。 社会で起こっている出来事に注意を払う習慣を身に付けましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階 皆本研究室
----------	-------------

備考	
----	--

科目名	カレント イングリッシュ b	科目名 (英文)	Current English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	あい
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	吉村 征洋
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてもまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。集中的 (intensive) に読解を行うことで、文意を的確に把握しながら、ポイントをつかんでいく訓練をする。
到達目標	時事的な英文を読むことで、英語読解力の増強だけでなく、多角的なものの考え方、教養を身につけることを狙いとする。
授業方法と留意点	必ず充分予習して出席すること。授業中の応答、学習活動への積極的な参加を重視する。 また、毎日必ず新聞を読み、現代社会の動きに注意を払うようにすること。

科目学習の効果 (資格)

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson (1h)
1	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
2	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
9	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review	Feedback session	・・・

関連科目 リーディング、ライティング

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準) 授業への参加、小テスト、まとめの確認テストなどを総合的に判断します。(詳しくは初回の授業で説明します。)

学生へのメッセージ 日本語だけではなく、英語で書かれた新聞やネット記事に目を通し、物事を多角的に見る「眼」を養いましょう。また自分の意見等を英語でアウトプットすることを目指しましょう。

担当者の研究室等 7号館3階 吉村研究室

備考

科目名	カレント イングリッシュ b	科目名 (英文)	Current English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	うえ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	松田 早恵
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてもまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。集中的 (intensive) に読解を行うことで、文意を的確に把握しながら、ポイントをつかんでいく訓練をする。
到達目標	時事的な英文を読むことで、英語読解力の増強だけでなく、多角的なものの考え方、教養を身につけることを狙いとする。
授業方法と留意点	必ず充分予習して出席すること。授業中の応答、学習活動への積極的な参加を重視する。 また、毎日必ず新聞を読み、現代社会の動きに注意を払うようにすること。
科目学習の効果 (資格)	高度な読解力の養成。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	2	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	3	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	4	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	5	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	6	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	7	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	8	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	9	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	10	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	11	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	12	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	13	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	14	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	15	Review	Feedback session	・・・

関連科目	リーディング、ライティング
------	---------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	15 Selected Units of English through the News Media (15章版: ニュースメディアの英語)	Masami Takahashi, Noriko Itoh, Richard Powell	Asahi Press (朝日出版社)
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点: 20% 授業内外課題: 40% 中間・まとめテスト: 40%
-----------	---

学生へのメッセージ	社会・文化・政治経済・情報・言語・教育・科学・医学・環境・娯楽・スポーツなどの多彩な分野の記事を読み、世界の動きを知りましょう。知識と情報は力になります。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館5階 松田研究室
----------	-------------

備考	通年で履修することが望ましい。
----	-----------------

科目名	カレント イングリッシュ b	科目名 (英文)	Current English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	おか
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	大神 雄一郎
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてもまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。集中的 (intensive) に読解を行うことで、文意を的確に把握しながら、ポイントをつかんでいく訓練をする。
到達目標	時事的な英文を読むことで、英語読解力の増強だけでなく、多角的なものの考え方、教養を身につけることを狙いとする。
授業方法と留意点	必ず充分予習して出席すること。授業中の応答、学習活動への積極的な参加を重視する。 また、毎日必ず新聞を読み、現代社会の動きに注意を払うようにすること。

科目学習の効果 (資格)	TOEIC
--------------	-------

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation, individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review	Feedback sessionk	・・・

関連科目	
------	--

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Outlook on Science and Technology 構造で読む自然科学エッセイ	Yumiko Ishitani / Suzanne Embury	南雲堂
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	以下の3項目から成績評価を行う。この授業では、現代社会に関する様々な知識を得ることと同時に、半期の授業を通じての英文読解力の発展を目的とするため、この目的に向けたプロセスとしての予習および授業中の取り組みにも重点を置いて成績を評価する。 ①予習や課題への取り組み状況 30% ②授業活動への取り組み状況 30% ③最後の授業で行う習熟度テスト 40%
-----------	--

学生へのメッセージ	英文読解力を高めていくには、地道な学習の積み重ねが欠かせません。手間と時間のかかる活動ではありますが、目的意識を持って一緒に取り組んでいきましょう。
-----------	--

担当者の研究室等備考	7号館2階非常勤講師室
------------	-------------

科目名	カレント イングリッシュ b	科目名 (英文)	Current English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	きく
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	サトラー マイケル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。集中的 (intensive) に読解を行うことで、文意を的確に把握しながら、ポイントをつかんでいく訓練をする。 This is a pre-intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	時事的な英文を読むことで、英語読解力の増強だけでなく、多角的なものの考え方、教養を身につけることを狙いとする。
授業方法と留意点	必ず充分予習して出席すること。授業中の応答、学習活動への積極的な参加を重視する。 また、毎日必ず新聞を読み、現代社会の動きに注意を払うようにすること。 Reading, listening, speaking and writing activities, done individually, as well as pair/small group work and class discussions.
科目学習の効果 (資格)	Students will develop the skills and confidence to use English more fluently and accurately.

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Unit 7 continue	Listening, reading, speaking activities.	Preview vocabulary for next lesson
3	Unit 8 Rules	Talking about various kinds of rules, college rules. Listening, reading, speaking activities.	Preview vocabulary for next lesson
4	Unit 8 continue	Listening, reading, speaking activities.	Preview vocabulary for next lesson
5	Unit 9 Adventures	Talking about adventurous things you've done. Listening, reading, speaking activities. Pair/small group work	Preview vocabulary for next lesson and review vocabulary and grammar for quiz next week
6	Unit 9 continue	Listening, reading, speaking activities.	Preview vocabulary for next lesson
7	Review Units 7-9 for mid-semester test, begin Unit 10 Health	Talking about health, natural remedies. Listening, reading, speaking activities. Review of Units 7-9 vocabulary and grammar for mid-semester test next week.	Review Units 7-9 vocabulary and grammar for mid-semester test next week
8	Mid-semester test (Units 7-9)	Mid-semester test (Units 7-9) Vocabulary, grammar, listening	Preview vocabulary for next lesson
9	Unit 10 continue, discuss test results	Reading, listening, speaking activities. Pair/small group work.	Preview vocabulary for next lesson
10	Unit 11 Comparisons	Comparing things and expressing preferences. Listening, reading, speaking activities.	Preview vocabulary for next lesson
11	Unit 11 continue	Reading, listening, speaking activities. Pair/small group discussion.	Preview vocabulary for next lesson
12	Unit 12 The Modern World	Talking about the impact of technology on our lives. Listening, reading, speaking activities. Pair/small group work.	Preview vocabulary for next lesson and review vocabulary and grammar for quiz next week
13	Unit 12 continue	Listening, reading, speaking activities.	Review lessons 10-12 vocabulary, grammar
14	Course review and review of Units 10-12 for end of year test	Group discussion, individual and pair/small group activities, review of Units 10-12 for next week's end of semester test	Review Units 10-12
15	End of semester test (Units 10-12)	End of semester test (Units 10-12) Vocabulary, grammar, listening	None

関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Breakthrough Plus 2 ISBN 978-0-230-43820-0</td> <td>Miles Craven</td> <td>Macmillan Publishers</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Breakthrough Plus 2 ISBN 978-0-230-43820-0	Miles Craven	Macmillan Publishers	2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1	Breakthrough Plus 2 ISBN 978-0-230-43820-0	Miles Craven	Macmillan Publishers													
	2																
3																	

参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1																
	2																
3																	

評価方法 (基準)	Attendance/attitude/effort (30%), Mid-semester test (20%), End of semester test (30%), Homework, small tests and quizzes (20%)
学生への メッセージ	This is a communication course, so students should try to use English as much as possible. Students are expected to be courteous to one another and to the teacher, and to demonstrate a co-operative attitude to learning. Habitual lateness, sleeping in class, forgetting to bring the textbook, using cell phones other than as a learning aid, are examples of unacceptable behaviour and repeat offenders will receive a lower grade or may find it difficult to pass this course. If a student forgets to bring his/her textbook to class, the onus is on the student to make a copy of someone else's textbook for that lesson. Students are expected to do assigned homework at home, by themselves. Failure to submit homework when it is due will result in a lower grade.
担当者の 研究室等	Building 7, 2nd floor.
備考	まどめの確認テストなど学習を含め、事前事後学習の総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	カレント イングリッシュ b	科目名 (英文)	Current English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	けこ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ニール カー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。集中的 (intensive) に読解を行うことで、文意を的確に把握しながら、ポイントをつかんでいく訓練をする。 This course is designed to develop all four skills in English. In class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations.																																																																
到達目標	時事的な英文を読むことで、英語読解力の増強だけでなく、多角的なものの考え方、教養を身につけることを狙いとする。 The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations.																																																																
授業方法と留意点	必ず充分予習して出席すること。授業中の応答、学習活動への積極的な参加を重視する。 また、毎日必ず新聞を読み、現代社会の動きに注意を払うようにすること。 Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.																																																																
科目学習の効果 (資格)																																																																	
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>Introduction</td><td>Orientation and self introduction</td><td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td></tr> <tr><td>2</td><td>Exercises</td><td>Individual task, pair work, and group work</td><td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td></tr> <tr><td>3</td><td>Exercises</td><td>Individual task, pair work, and group work</td><td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td></tr> <tr><td>4</td><td>Exercises</td><td>Individual task, pair work, and group work</td><td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td></tr> <tr><td>5</td><td>Exercises</td><td>Individual task, pair work, and group work</td><td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td></tr> <tr><td>6</td><td>Exercises</td><td>Individual task, pair work, and group work</td><td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td></tr> <tr><td>7</td><td>Exercises</td><td>Individual task, pair work, and group work</td><td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td></tr> <tr><td>8</td><td>Exercises</td><td>Individual task, pair work, and group work</td><td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td></tr> <tr><td>9</td><td>Exercises</td><td>Individual task, pair work, and group work</td><td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td></tr> <tr><td>10</td><td>Exercises</td><td>Individual task, pair work, and group work</td><td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td></tr> <tr><td>11</td><td>Exercises</td><td>Individual task, pair work, and group work</td><td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td></tr> <tr><td>12</td><td>Exercises</td><td>Individual task, pair work, and group work</td><td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td></tr> <tr><td>13</td><td>Exercises</td><td>Individual task, pair work, and group work</td><td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td></tr> <tr><td>14</td><td>Exercises</td><td>Individual task, pair work, and group work</td><td>Students should study the vocabulary and grammar for the lesson</td></tr> <tr><td>15</td><td>Review</td><td>Feedback session</td><td>•••</td></tr> </tbody> </table>	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson	15	Review	Feedback session	•••
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																														
1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																														
2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																														
3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																														
4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																														
5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																														
6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																														
7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																														
8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																														
9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																														
10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																														
11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																														
12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																														
13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																														
14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson																																																														
15	Review	Feedback session	•••																																																														
関連科目	N/A																																																																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Life, British Edition, Student Book 2, Elementary with DVD</td> <td>Paul Dummett, John Hughes, Helen Stephenson</td> <td>CENGAGE Learning</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Life, British Edition, Workbook 2, Elementary with Audio CD</td> <td>Paul Dummett, John Hughes, Helen Stephenson</td> <td>CENGAGE Learning</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Life, British Edition, Student Book 2, Elementary with DVD	Paul Dummett, John Hughes, Helen Stephenson	CENGAGE Learning	2	Life, British Edition, Workbook 2, Elementary with Audio CD	Paul Dummett, John Hughes, Helen Stephenson	CENGAGE Learning	3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1	Life, British Edition, Student Book 2, Elementary with DVD	Paul Dummett, John Hughes, Helen Stephenson	CENGAGE Learning																																																														
2	Life, British Edition, Workbook 2, Elementary with Audio CD	Paul Dummett, John Hughes, Helen Stephenson	CENGAGE Learning																																																														
3																																																																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1																																																																	
2																																																																	
3																																																																	
評価方法 (基準)	Evaluation will be based on quizzes, homework assignments and class participation																																																																
学生へのメッセージ	Students who engage wholeheartedly in class activities, who read up on lessons and do their homework will achieve most from this course. Pair and group work will form the core of each lesson.																																																																
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室																																																																
備考	事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。																																																																

科目名	カレント イングリッシュ b	科目名 (英文)	Current English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	さし
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ジェフリー ベル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。集中的 (intensive) に読解を行うことで、文意を的確に把握しながら、ポイントをつかんでいく訓練をする。
到達目標	時事的な英文を読むことで、英語読解力の増強だけでなく、多角的なものの考え方、教養を身につけることを狙いとする。
授業方法と留意点	必ず充分予習して出席すること。授業中の応答、学習活動への積極的な参加を重視する。 また、毎日必ず新聞を読み、現代社会の動きに注意を払うようにすること。
科目学習の効果 (資格)	高度な読解力の養成。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson
	2	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Intensive Reading	Individual work, pair work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Intensive Reading	Pair work, group work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Intensive Reading	Individual work, group work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson
	11	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson
	12	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson
	13	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson
	14	Intensive Reading	Group project	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	・・・

関連科目	リーディング、ライティング
------	---------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Reading Pass 1 Second Edition	Andrew E. Bennet	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	1. 平常点 (予習、授業への参加、提出課題、小テスト) および復習テストから総合的に評価する。 2. 授業態度に問題のある場合 (遅刻、居眠り、飲食、私語、携帯電話の使用など) は厳しく対処する。
-----------	--

学生へのメッセージ	英語の力は学習時間に比例して伸びてゆきます。授業以外にも、自分の興味ある分野の英文に積極的にふれてください。全員参加で活気ある授業を創り上げましょう。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	辞書を必ず持参すること。 事前事後学習にかかる総時間をおおよそ 15 時間程度とする。
----	--

科目名	韓国語 I a	科目名 (英文)	Korean Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	沈 明姫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	不慣れな姿のハングルを知り韓国語を学ぶことで、日本語と韓国語のもつ類似点、そして同じ漢字文化圏なので、様々な言葉や表現の共通点を発見することが出来る。隣の国、韓国を真の意味で近い国として実感し、韓国の歴史や文化に興味を深めることと、両国がより近い関係に回復できるきっかけとなつてほしいと望みます。外国語である日本語を習得する過程から得られた私の経験を踏まえ、初めて韓国語を学習する人でも楽しくやさしく学ぶことが出来るように心掛けます。
到達目標	
授業方法と留意点	教科書とプリントを配布して授業を行う。必要に応じてビデオ・CDも活用しながら、k-popや韓国映画、ドラマも紹介する。
科目学習の効果(資格)	韓国語の勉強はもとより、韓国社会と文化への理解を深める良い機会になる。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	韓国語について	韓国語の歴史、文字構成を説明。授業の進め方についてのガイダンス及び、受講生の希望を伺うなど、韓国語をめぐる受講生とのコミュニケーション。	特になし
2	ハングル文字について	基本母音字	テキストP. 16-19
3	ハングル文字について	基本子音字	テキスト. 20-27
4	ハングル文字について	複合母音字	テキストp. 28-32
5	ハングル文字について	激音、濃音について。自分の名前と家族や友達の名3をハングルで書いてみる	テキストp. 30-39
6	ハングル文字について	パッチムについて。	テキストp. 40-47
7	ハングル文字総合まとめ	ハングルを覚える際に使っていた単語を覚える。韓国で使われている外来語を読んで、意味を予測してみたり、日本語との発音の違い調べてみる。	テキストp. 16-47
8	ハングル文字総合まとめ	中間単語テスト	中間単語テスト勉強
9	韓国の映画を見て、耳から聞こえる韓国語を感じる	「カンナさん大成功です！」	映画の中から聞き取れた韓国語を5つ以上ノートに書く。
10	韓国の映画を見て、耳から聞こえる韓国語を感じる	「カンナさん大成功です！」	映画の中から聞き取れた韓国語を5つ以上ノートに書く。
11	基本的な助詞をまなぶ。	文字を勉強する際に覚えた単語を使って、短い作文をしながら、助詞を勉強する。	宿題;各助詞を使った作文を書いて次回の授業時間に提出する。
12	第6課 こんにちは。	基本的な挨拶と簡単な自己紹介。	テキスト P. 52-54
13	第6課 こんにちは。	職業は何ですか? 用言の終止形	テキスト p. 55-59
14	前期総合まとめ	ハングル文字の復習 前期授業の中で出てきた単語全てを整理して覚える。 前期定期試験の準備	テキスト p. 16-59
15	まとめ	前期定期試験	前期定期試験に備えての勉強

関連科目	韓国語基礎会話
------	---------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	美しい韓国語 1-1 初級日本語 (CD 2 枚付)	韓国語教育開発研究院	EKO ランゲージセンター
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業参加状況、講義時の対応、小テスト、期末試験の成績などを総合的に評価する。
----------	--

学生へのメッセージ	楽しく韓国語を習いましょう。積み重ねが大切ですので遅刻・欠席しないでください。安価で韓国へ渡航して、授業で学んだ韓国語を直接体験したり、確認したりすれば、大学生活の最高の思い出になるでしょう！
-----------	--

担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)
------------	---------------

科目名	韓国語 I b	科目名 (英文)	Korean Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	周 相勳
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	ハングル語の原理を学び、組み合わせによる文字の書き方、読み方を学びます。 韓国旅行に行っても溢れているハングル文字に戸惑わず、読めるように基本文字の発音と書く練習をします。
到達目標	ハングル文字の書き順が分かる。 発音をハングル文字で書くことが出来る。 文字が読める。
授業方法と留意点	教科書とプリントを配布して授業を行う。必要に応じてビデオ・CDも活用しながら、k-pop や韓国映画、ドラマも紹介する。
科目学習の効果 (資格)	韓国語の勉強は、韓国社会と文化への理解を深める良い機会になる。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	基本母音	基本母音の読み、書き練習	授業中に勉強した基本母音を覚える。
3	基本子音 1	基本子音 1 の読み、書き練習	授業中に勉強した基本子音を覚える。
4	基本子音 2	基本子音 2 の読み、書き練習	子音を母音を組み合わせて発音してみる
5	基本子音 (激音)	子音 (激音) をひらがなの発音と比較しながら、読む練習をする。	ハングル文字表を埋めてくる。
6	基本子音 (濃音)	子音 (濃音) をひらがなの発音と比較しながら、読む練習をする。	次回、これまで勉強した文字を読むことが出来るか小テストを行う。
7	合成母音 1	合成母音の仕組みを理解しながら発音を覚える。	合成母音を覚える。 日本語の中に使われている外来語を 10 個、調べてくる。
8	合成母音 2	調べてきた外来語を韓国語に変えてみる。	韓国語を外来語を読み、その意味を予測してみる。
9	パッチム	これまで勉強した子音がパッチムとして使われる時に、どんな発音となるか、練習する。	パッチムの発音を覚える
10	発音一連音化	一文字一文字が合わさり、単語となった時に、発音を勉強する。	授業中に出てきた単語を覚える。
11	自己紹介ー私は日本人です。	韓国語で簡単な自己紹介をしてみる。	韓国語で覚えて置きたい、自己紹介の内容を書いてみる
12	これは何ですか。	‘これは何ですか’ の練習を兼ねて様々な名詞を学ぶ。	単語を覚える
13	誰の本ですか。	基本的な助詞を学ぶ。	単語テスト
14	韓国映画を見よう!	韓国の映画を通して韓国の文化に触れる。	テスト勉強。
15	まとめ	後期定期試験	後期定期試験

関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>韓国語をはじめよう、初級</td> <td>李 昌圭</td> <td>朝日出版社</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	韓国語をはじめよう、初級	李 昌圭	朝日出版社	2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1	韓国語をはじめよう、初級	李 昌圭	朝日出版社													
	2																
3																	

参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1																
	2																
3																	

評価方法 (基準)	授業参加状況、講義時の対応、小テスト、定期試験の成績などを総合的に評価する。 テスト 50% 出席 30% (5回以上欠席は単位不可) 平常点 20%
学生へのメッセージ	
担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)

科目名	韓国語Ⅱa	科目名(英文)	Korean IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	沈 明姫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	不慣れな姿のハングル文字を知り、韓国語を学ぶことで、日本語と韓国語のもつ類似点、そして同じ漢字文化圏故の、様々な言葉や表現の共通点を発見することが出来る。隣の国、韓国を真の意味で近い国として実感し、韓国の歴史や文化に興味を深めることと、両国がより関係に回復できるきっかけとなってほしいと望みます。 外国語である日本語を習得する過程から得られた私の経験を踏まえ、初めて韓国語を学習する人でも楽しくやさしく学ぶことが出来るように心掛けます。
---------	---

到達目標	
授業方法と留意点	教科書とプリントを配布して授業を行う。必要に応じてビデオ・CDも活用しながら、k-popや韓国映画、ドラマも紹介する。

科目学習の効果(資格)	韓国語の勉強はもとより、韓国社会と文化への理解を深める良い機会になる。
-------------	-------------------------------------

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	ハングル文字について	基本母音字	テキストP. 16-19
3	ハングル文字について	基本子音字	テキスト. 20-27
4	ハングル文字について	複合母音字	テキストp. 28-32
5	ハングル文字について	激音、濃音について。自分の名前と家族や友達の名3をハングルで書いてみる	テキストp. 30-39
6	ハングル文字について	パッチムについて。	テキストp. 40-47
7	ハングル文字総合まとめ	ハングルを覚える際に使っていた単語を覚える。韓国で使われている外来語を読んで、意味を予測してみたり、日本語との発音の違い調べてみる。	テキストp. 16-47
8	ハングル文字総合まとめ	中間単語テスト	中間単語テスト勉強
9	韓国の映画を見て、耳から聞こえる韓国語を感じる	「カンナさん大成功です！」	映画の中から聞き取れた韓国語を5つ以上ノートに書く。
10	韓国の映画を見て、耳から聞こえる韓国語を感じる	「カンナさん大成功です！」	映画の中から聞き取れた韓国語を5つ以上ノートに書く。
11	基本的な助詞をまなぶ。	文字を勉強する際に覚えた単語を使って、短い作文をしながら、助詞を勉強する。	宿題;各助詞を使った作文を書いて次回の授業時間に提出する。
12	第6課 こんにちは。	基本的な挨拶と簡単な自己紹介。	テキスト P. 52-54
13	第6課 こんにちは。	職業は何ですか? 用言の終止形	テキスト p. 55-59
14	前期総合まとめ	ハングル文字の復習 前期授業の中で出てきた単語全てを整理して覚える。 前期定期試験の準備	テキスト p. 16-59
15	まとめ	前期定期試験	前期定期試に備えての勉強

関連科目	韓国語基礎会話
------	---------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	美しい韓国語1-1 初級日本語 (CD2枚付)	韓国語教育開発研究院	EKO ランゲージセンター
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業参加状況、講義時の対応、小テスト、定期試験の成績などを総合的に評価する。
----------	--

学生へのメッセージ	楽しく韓国語を学びましょう。語学がまじめに積み重ねる他方法がありませんので、遅刻・欠席しない用に頑張りましょう。韓国旅行や韓国のテレビ番組などを通して、授業で学んだ韓国語が役立つという実感があれば、もしくは将来的に就職活動にまで生かすことが出来れば、最高でしょう！
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	韓国語Ⅱb	科目名(英文)	Korean IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	千 英子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	日韓交流の発展に伴い、韓国語ができる人材がたくさん必要になるだろう。本授業では前期に引き続き、日常会話の能力を養成することを目指している。授業中に学んだ会話パターンや熟語などを用いて会話練習を行ない、ネイティブ先生による指導によって、韓国語の会話能力を一步一步確実に養ってゆこうというねらいである。学期の終わりには韓国語で簡単な韓国ドラマを理解できるようになるだろう。																																																																		
到達目標																																																																			
授業方法と留意点	教科書を中心に、ロールプレー (Role Play) も行なう。必要に応じてビデオ・CD も活用しながら、K-POP や韓国ドラマも紹介する。毎回の講義では日常生活における様々な場面を想定した会話を学習し、常に会話の内容と関わる文法や発音の説明を加えながら授業を行なう。																																																																		
科目学習の効果(資格)	韓国語の勉強はもとより、韓国社会と文化への理解を深める良い機会になる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>日課</td><td>単語、文法</td><td>テキストp. 22-25</td></tr> <tr><td>2</td><td>日課</td><td>文法、本文</td><td>テキストp. 26-28</td></tr> <tr><td>3</td><td>道で</td><td>単語、本文</td><td>テキストp. 29</td></tr> <tr><td>4</td><td>道で</td><td>単語、文法</td><td>テキストp. 30-31</td></tr> <tr><td>5</td><td>お店で</td><td>単語、文法</td><td>テキストp. 32-33</td></tr> <tr><td>6</td><td>お店で</td><td>文法、本文</td><td>テキストp. 34-35</td></tr> <tr><td>7</td><td>電話で約束</td><td>単語、文法</td><td>テキストp. 36-37</td></tr> <tr><td>8</td><td>電話で約束</td><td>文法、本文</td><td>テキストp. 38-39</td></tr> <tr><td>9</td><td>まとめ</td><td>前半のまとめ、小テスト、韓国ドラマの鑑賞</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>10</td><td>食堂で</td><td>単語、本文、練習</td><td>テキストp. 40-43</td></tr> <tr><td>11</td><td>食堂で、友達の紹介</td><td>文法、本文</td><td>テキストP.44-46</td></tr> <tr><td>12</td><td>友達の紹介、冬休みの計画</td><td>文法、本文、練習</td><td>テキスト P. 47-50</td></tr> <tr><td>13</td><td>冬休みの計画、休み中の出来事</td><td>単語、文法、本文</td><td>テキスト P.52-53</td></tr> <tr><td>14</td><td>前期・後期のまとめ</td><td>日韓における言語と文化の類似性と相違性に関して</td><td>小テストの準備</td></tr> <tr><td>15</td><td>前期・後期のまとめ</td><td>韓国ドラマの鑑賞、まとめ</td><td>定期試験の準備</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	日課	単語、文法	テキストp. 22-25	2	日課	文法、本文	テキストp. 26-28	3	道で	単語、本文	テキストp. 29	4	道で	単語、文法	テキストp. 30-31	5	お店で	単語、文法	テキストp. 32-33	6	お店で	文法、本文	テキストp. 34-35	7	電話で約束	単語、文法	テキストp. 36-37	8	電話で約束	文法、本文	テキストp. 38-39	9	まとめ	前半のまとめ、小テスト、韓国ドラマの鑑賞	プリント配布	10	食堂で	単語、本文、練習	テキストp. 40-43	11	食堂で、友達の紹介	文法、本文	テキストP.44-46	12	友達の紹介、冬休みの計画	文法、本文、練習	テキスト P. 47-50	13	冬休みの計画、休み中の出来事	単語、文法、本文	テキスト P.52-53	14	前期・後期のまとめ	日韓における言語と文化の類似性と相違性に関して	小テストの準備	15	前期・後期のまとめ	韓国ドラマの鑑賞、まとめ	定期試験の準備
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	日課	単語、文法	テキストp. 22-25																																																																
2	日課	文法、本文	テキストp. 26-28																																																																
3	道で	単語、本文	テキストp. 29																																																																
4	道で	単語、文法	テキストp. 30-31																																																																
5	お店で	単語、文法	テキストp. 32-33																																																																
6	お店で	文法、本文	テキストp. 34-35																																																																
7	電話で約束	単語、文法	テキストp. 36-37																																																																
8	電話で約束	文法、本文	テキストp. 38-39																																																																
9	まとめ	前半のまとめ、小テスト、韓国ドラマの鑑賞	プリント配布																																																																
10	食堂で	単語、本文、練習	テキストp. 40-43																																																																
11	食堂で、友達の紹介	文法、本文	テキストP.44-46																																																																
12	友達の紹介、冬休みの計画	文法、本文、練習	テキスト P. 47-50																																																																
13	冬休みの計画、休み中の出来事	単語、文法、本文	テキスト P.52-53																																																																
14	前期・後期のまとめ	日韓における言語と文化の類似性と相違性に関して	小テストの準備																																																																
15	前期・後期のまとめ	韓国ドラマの鑑賞、まとめ	定期試験の準備																																																																
関連科目	韓国語初級																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>みんなで学ぶ韓国語 会話編</td><td>金真</td><td>朝日出版社</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	みんなで学ぶ韓国語 会話編	金真	朝日出版社	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	みんなで学ぶ韓国語 会話編	金真	朝日出版社																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業参加状況、講義時の対応、小テストの成績などを総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	韓国語を多言語の一つとして選択し、就職活動への活用はもとより、日韓を中心とした東アジア経済圏の発展における主役になることを期待します。日ごろの学習の成果を発表するスピーチコンテストも開催し、韓国の留学生を招いて、日韓両国の文化について教えあう交流会も行います。安価で韓国へ渡航して、授業で学んだ韓国語を直接体験したり、確認したりすれば、大学生活の最高の思い出になるでしょう！																																																																		
担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		

科目名	韓国語Ⅲ a	科目名 (英文)	Korean IIIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	北島 由紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	初級授業で習得した韓国語の知識を確認し、さらに日常会話でよく使う表現や文法を新たに学んでいく。韓国語を運用する上で不可欠な基本的文法事項を確認しながら、特に読み書きに重点をおいて進めていく。授業スケジュールは目安であり、学習進度、習熟度に合わせて調整する。
到達目標	日常会話で使える様々な韓国語の基本表現を身につける
授業方法と留意点	韓国語初級授業で学んだことを基礎に、教科書に基づいて文法説明を加えつつ、講読、作文練習等を行う。欠席すると次回の受講に困難をきたすので、なるべく欠席しないこと。 (韓国語初級を受けていることが望ましい)
科目学習の効果(資格)	韓国語の基礎的知識や様々な表現を習得しながら、語学を通して韓国への理解を深めることができる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	基礎構文の復習 1	語尾表現の復習	教科書 6 課、8 課
	2	基礎構文の復習 2	過去形	教科書 1 3 課
	3	「～してください」	依頼の表現	教科書 1 7 課
	4	「～しても良いですか」	許可をする、許可を求める表現	教科書 1 8 課
	5	「～しなければなりません」	義務の表現	教科書 1 9 課
	6	文法確認	文法確認	既習文法の確認
	7	「～しましょう」	勧誘	教科書 1 4 課
	8	「～しています」	現在進行形	教科書 1 5 課
	9	「～できます」・「～できません」	可能・不可能	教科書 1 6 課
	10	「～したいです」	意志・感情を表す表現	教科書 1 7 課
	11	「～しないでください」	禁止の表現	教科書 1 8 課
	12	「～するつもりです」・「～と思います」	意志・推量の表現	教科書 1 9 課、2 0 課
	13	文の練習	簡単な作文・読解	—————
	14	既習文法の総確認	既習文法の総確認	—————
	15	韓国語の実際	韓国のドラマを見る	—————

関連科目	韓国語関連科目
------	---------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版	木内明	国書刊行会
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点、授業時の各種テスト等、総合的に判断して評価
----------	---------------------------

学生へのメッセージ	日常韓国語の運用能力を高めながら、授業を通じて語学を学ぶことの楽しさを感じてもらえれば良いと思います。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	韓国語Ⅲb	科目名(英文)	Korean IIIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	北島 由紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	前期に引き続き、韓国語の様々な表現、文法を学習する。様々な表現を含む、ある程度長いまとまった文の「読む・書く」能力を養う。授業スケジュールは目安であり、学習進度、習熟度に合わせて調整する。
到達目標	日常会話で使う様々な表現を学習し、活用できるように練習をしていく。
授業方法と留意点	文法説明を加えつつ、講読、作文練習等を行う。欠席すると次回の受講に困難をきたすので、なるべく欠席しないこと。辞書を持参すること。(韓国語初級、中級aを受けておくことが望ましい)
科目学習の効果(資格)	韓国語の様々な表現を学びながら、文章読解やある程度まとまった文を作れるようになることを目指す。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	復習2	前期の復習	既習の単語、文法の復習
3	用言文(変格活用)	変格活用の用言	教科書 p174、175
4	用言文(変格活用)	変格活用の用言	教科書 p176、177
5	連体形1	形容詞の連体形	教科書 p.178 およびプリントを使って、形容詞の連体形を学習
6	連体形2	動詞・存在詞の現在連体形	形容詞と動詞の連体形を区別できるようにしておくこと。
7	連体形3	動詞・存在詞の過去連体形	動詞の連体形を時制で区別できるようにしておくこと。
8	連体形4	動詞・存在詞の未来連体形	動詞の連体形を時制で区別できるようにしておくこと。
9	既習文法の確認	既習文法の確認	既習文法の確認
10	「～して」・「～なので」	文の接続(並列・理由)	接続詞の使い方を理解し、ある程度長い文を作れるように。
11	「～であるが」	文の接続(逆説)	接続詞の使い方を理解し、ある程度長い文を作れるように。
12	「～なので」	文の接続(理由)	接続詞の使い方を理解し、ある程度長い文を作れるように。
13	文の練習	ある程度まとまった文の購読・作文	ある程度の長さをもつ文章の読解
14	総合確認	総合確認	—————
15	韓国語の実際	韓国のドラマを見る。	—————

関連科目	韓国語関連科目
------	---------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版	木内明	国書刊行会
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	平常点、授業時の各種テスト等、総合的に判断して評価
----------	---------------------------

学生へのメッセージ	これまでの韓国語の授業で培った能力を伸ばすため、より意欲的に学習してほしいと思います。韓国のドラマや歌なども使って、習得した知識を確認できる機会も持ちたいと思います。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	前半の数回は教科書も使うが、多くはプリントでの学習となる。
----	-------------------------------

科目名	韓国語IV a	科目名(英文)	Korean IVa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	千 英子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	韓国語基礎の知識をベースにして、「話す」・「書く」・「聞く」・「読む」の4つの総合技能を、より高度なレベルへと向上させることを目指す。語学の4技能である「話す」・「書く」・「聞く」・「読む」の伸長に加えて、資料を交えながら韓国の社会・文化・サブカルチャーまで取り上げて学習する。「ハングル能力検定試験」4級・「韓国語能力試験」1・2級に合格できるレベルを目指す。
到達目標	
授業方法と留意点	韓国に関する様々な資料を取り上げて、語学の4技能をトレーニングする。学生にはテーマを与えて発表・討論してもらい、学生が積極的に授業に参加するよう指導し、学習者の能力に応じて個人指導も実施する。必要に応じて画像(DVD, ビデオ)を活用して授業を行なう。
科目学習の効果(資格)	「ハングル能力検定試験」4級・「韓国語能力試験」1・2級に合格し資格をとって、韓国語・言語文化の知識を生かして、商社や旅行業やサービス業、国際関連業務など、就職にも活用できる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	講義の概要	講義時の対応・課題など、ビデオ観賞	テキストp. 14-17
	2	第1課 こんにちは	文法、単語	テキストp. 14-17
	3	第1課 こんにちは	本文、練習問題	テキストp. 18-21
	4	第2課 家族	文法、単語	テキストp. 18-21
	5	第2課 家族	本文、練習問題	テキストp. 22-25
	6	第3課 空港で	単語、文法	テキストp. 22-25
	7	第3課 空港で	本文、練習問題	テキストp. 26-29
	8	第4課 交通	単語、文法	テキスト p. 26-29
	9	まとめ	前半のまとめ、小テスト、韓国ドラマの鑑賞	テキスト p. 26-29
	10	第4課 交通	本文、練習問題	テキスト P. 30-33
	11	第5課 道を探る	単語、文法	テキスト P. 30-33
	12	第5課 道を探る	本文、練習問題	テキスト P. 34-37 プリント配布
	13	第6課 ホテルで	単語、文法	テキスト p. 34-37
	14	第6課 ホテルで	本文、練習問題	テキスト P. 38-41
	15	前期復習、質疑回答、韓国ドラマの鑑賞	韓国ドラマを鑑賞し、前期の内容に関する質疑回答をする。	後期の準備

関連科目	韓国語初級・中級、韓国語基礎会話
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	コミュニケーション韓国語 入門編1	呉英元	第三書房
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	講義時の対応、授業参加、レポート、小テストなどを総合的に評価する。
----------	-----------------------------------

学生へのメッセージ	<p>1. 検定試験に関心を持っている学生は是非受講してください！韓国語基礎で学んだ内容をベースにして、資格の獲得という一つの目標に向かって、楽しみながら頑張ってみませんか。</p> <p>2. 日ごろの学習の成果を発表するスピーチコンテストと韓国留学生との交流会も開催します。自分の実力を確認するためにも、ぜひ参加してみてください。</p> <p>3. 毎年、夏休みの間3週間の短期留学機会があります。留学先の韓国では学費を払う必要はなく、無料で寮が提供されます。詳しいことは、国際交流センターにまで尋ねてください。</p> <p>4. グローバル化時代の到来とともに、東アジアにおいても日韓が経済統合を模索しています。両国関係のさらなる進化が進められ、日本では韓国語を駆使できる人材の需要増加が見込まれます。ぜひ資格をとって、韓国語・言語文化の知識を生かして、就職にも活用し、活動の舞台を広げていきましょう！一人でも多くの学生の受講を待っています。</p>
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	韓国語IV b	科目名(英文)	Korean IVb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	千 英子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	韓国語基礎の知識をベースにして、「話す」・「書く」・「聞く」・「読む」の4つの総合技能を、より高度なレベルへと向上させることを目指す。語学の4技能である「話す」・「書く」・「聞く」・「読む」の伸長に加えて、資料を交えながら韓国の社会・文化・サブカルチャーまで取り上げて学習する。「ハングル能力検定試験」4級・「韓国語能力試験」1・2級に合格できるレベルを目指す。
到達目標	
授業方法と留意点	韓国に関する様々な資料を取り上げて、語学の4技能をトレーニングする。学生にはテーマを与えて発表・討論してもらい、学生が積極的に授業に参加するよう指導し、学習者の能力に応じて個人指導も実施する。必要に応じて画像(DVD, ビデオ)を活用して授業を行なう。
科目学習の効果(資格)	「ハングル能力検定試験」4級・「韓国語能力試験」1・2級に合格し資格をとって、韓国語・言語文化の知識を生かして、商社や旅行業やサービス業、国際関連業務など、就職にも活用できる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	第7課 電話	文法、単語	テキストp. 38-41
	2	第7課 電話	本文、練習問題	テキストp. 41-45
	3	第8課 食堂で	文法、単語	テキストp. 41-45
	4	第8課 食堂で	本文、練習問題	テキストp. 46-49
	5	第9課 薬局	単語、文法	テキストp. 46-49
	6	第9課 薬局	本文、練習問題	テキストp. 50-53
	7	第10課 約束と時間	文法、単語	テキストP. 50-53
	8	第10課 約束と時間	本文、練習問題	テキスト p. 54-57
	9	まとめ	前半のまとめ、小テスト、韓国ドラマの鑑賞	テキスト p. 54-57
	10	第11課 日付と天気	文法、単語	テキスト P. 58-61
	11	第11課 日付と天気	本文、練習問題	テキスト P. 58-61
	12	第12課 買い物	文法、単語	テキスト P. 58-61
	13	第12課 買い物	本文、練習問題	テキスト p. 61-65
	14	第13課 市内観光	文法、単語、本文	テキスト P. 61-65
	15	前期復習、質疑回答、韓国ドラマの鑑賞	韓国ドラマを鑑賞し、前期の内容に関する質疑回答をする。	小テストの準備

関連科目	韓国語初級・中級、韓国語基礎会話
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	コミュニケーション韓国語 入門篇1	呉英元	第三書房
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	講義時の対応、授業参加、レポート、小テストなどを総合的に評価する。
----------	-----------------------------------

学生へのメッセージ	<p>1. 検定試験に関心を持っている学生は是非受講してください！韓国語基礎で学んだ内容をベースにして、資格の獲得という一つの目標に向かって、楽しみながら頑張ってみませんか。</p> <p>2. 日ごろの学習の成果を発表するスピーチコンテストと韓国留学生との交流会も開催します。自分の実力を確認するためにも、ぜひ参加してみてください。</p> <p>3. 毎年、夏休みの間3週間の短期留学機会があります。留学先の韓国では学費を払う必要はなく、無料で寮が提供されます。詳しいことは、国際交流センターにまで尋ねてください。</p> <p>4. グローバル化時代の到来とともに、東アジアにおいても日韓が経済統合を模索しています。両国関係のさらなる進化が進められ、日本では韓国語を駆使できる人材の需要増加が見込まれます。ぜひ資格をとって、韓国語・言語文化の知識を生かして、就職にも活用し、活動の舞台を広げていきましょう！一人でも多くの学生の受講を待っています。</p>
-----------	--

担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)
------------	---------------

科目名	歓待の哲学	科目名(英文)	Philosophy of Hospitality
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	森本 誠一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	2020年のオリンピック開催地を決める最終プレゼンテーションを機に「おもてなし」ということが広く使われるようになりました。2013年の新語・流行語大賞には「お・も・て・な・し」が選ばれました。なぜいまおもてなしが問題となるのか、15回の授業を通じていろいろな角度から学修します。その中で、グローバル化された私たち時代に必要とされる人間関係のあり方をつかみとります。
到達目標	物事を相手の立場に立って考えられるようになること。
授業方法と留意点	この授業は講義形式ですが、受講生との対話を通じて授業を進めていきます。授業を受けるにあたって膨大な資料を読んだり多くのことを暗記したりする必要はありませんが、毎回の授業に出席しなければ学修の効果は薄いでしょう。また、授業の終わりに毎回リアクションペーパーを提出してもらい、第2回目以降の授業では冒頭でそれを取り上げます。
科目学習の効果(資格)	

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	イントロダクション	この授業で何を学ぶのか、授業の全体像を把握する。授業の進め方、成績評価の方法・基準についても確認する。	シラバスをしっかりと読んでから授業に出席しましょう。また授業に出席するにあたっては、シラバスを印刷して持参するか情報端末で見られる状態にしておきましょう。
2	巡礼と歓待	巡礼と歓待の関係について学修します。	授業中に指示します。
3	商業主義とホスピタリティー	歓待、ホスピタリティー、おもてなし。歓待と同じような意味で使われることはいろいろありますが、近年、サービス業の世界では「ホスピタリティー」「おもてなし」が注目されています。この回では、企業の研修に用いられている資料などをもとに、ホスピタリティーについて考えます。	授業中に指示します。
4	歓待で成り立つ社会(1)	日本は超高齢社会にあって、資本主義、商業主義だけではとても社会がまわらない状況にあります。第4回は、超高齢社会を手がかりに、歓待があることではじめて成り立つ社会の構造について学修します。	授業中に指示します。
5	歓待で成り立つ社会(2)	超高齢社会の背景には、私たちの寿命が伸びてきたということもありますが、女性の社会進出や経済的な理由により子どもを産んで育てにくい社会になってきたということもあります。第5回は、少子化の問題に焦点を当てて歓待について考えます。	授業中に指示します。
6	猜疑心と歓待(1)	世の中が猜疑心、不安、敵意に満ちたものになったらどうなるでしょうか。第6回と第7回の授業では、人狼というゲームを通じて猜疑心、不安、敵意に満ちた社会で過ごすことがどのようなものなのか、またそれがどのような結果へと通じるのかを体験し学修します。第6回の授業ではゲームのルールと授業の趣旨について確認します。	授業中に指示します。
7	猜疑心と歓待(2)	世の中が猜疑心、不安、敵意に満ちたものになったらどうなるでしょうか。第6回と第7回の授業では、人狼というゲームを通じて猜疑心、不安、敵意に満ちた社会で過ごすことがどのようなものなのか、またそれがどのような結果へと通じるのかを体験し学修します。第7回の授業では実際にゲームを体験します。	授業中に指示します。
8	中間のふり返り	前回までの内容をひと通り理解し、各回のテーマがどのようにつながっていたのかを再確認します。不明な点があれば質疑応答により解決します。	授業中に指示します。
9	想像の共同体	私たちは味方とそうでないものをどのようにして分けているのでしょうか。	授業中に指示します。
10	寛容と歓待	何ごとにつけても「グローバル」ということがしきりに言われるようになってきましたが「グローバルな視点」とはどのような視点なのでしょうか、また「グローバルな人間」とはどのような人間なのでしょうか。この回では、多様な価値観を認め受け入れる寛容さを手がかりに歓待について考えます。	授業中に指示します。
11	手仕事と歓待(1)	大量生産、大量消費の時代にあつて、私たちの周りにはいつでも誰がどのようにして作ったのかも分からない製品があふれかえっています。それは私たちが毎日口にする食べ物についても同様です。第11回と第12回の授業では手仕	授業中に指示します。

			事と歓待の関係について学修します。	
	12	手仕事と歓待（2）	大量生産、大量消費の時代にあつて、私たちの周りにはいつでも誰がどのようにして作ったのかも分からない製品があふれかえています。それは私たちが毎日口にする食べ物についても同様です。第11回と第12回の授業では手仕事と歓待の関係について学修します。	授業中に指示します。
	13	歓待と報酬	第3回の授業ではサービス業における歓待がテーマでした。そもそも歓待、ホスピタリティー、おもてなしといったものは、見返りがあるから提供されたりその精神が発揮されたりするものなのではないでしょうか。この回では、動物行動学、進化経済学の知見などをもとに歓待と報酬の関係について学修します。	授業中に指示します。
	14	無条件の命法としての歓待	目の前に困っている人がいたら、無条件に助けなければという感情を抱くことがあるでしょう。これまでの授業で学修したことを踏まえ、無条件の命法という観点から歓待について考えます。	授業中に指示します。
	15	まとめ、全体のふり返り	これまでの授業をふり返りながら、各回の授業が全体としてどのようにつながっていたのかを確認します。成績評価の方法・基準についても再確認します。	これまでの授業で学修したことをしっかり復習して授業に参加しましょう。授業を受けたあとは改めて授業全体をふり返りながら期末試験に向けて準備をしましょう。
関連科目	基礎、教養科目全般			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	この授業は授業内課題（リアクションペーパー）15%、受講態度（積極的な発言など）5%、期末試験80%で評価します。			
学生への メッセージ	決して堅苦しい雰囲気での授業ではありませんので、肩の力を抜いて授業に参加してもらえればと思います。授業では時事問題についてみなさんによく尋ねます。			
担当者の 研究室等	この科目の履修上の相談については、授業の前後もしくはメールにて受け付けます。 7号館2階 非常勤講師室 メールアドレス：xmorimse[*]edu.setsunan.ac.jp （[*]を半角の@に置き換え）			
備考				

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	天野 貴史, 西川 眞由美, 住吉 誠
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしくみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしくみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。																		
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 (1～5 回目) 映画の台本を使って、コミュニケーションの上手な取り方を学ぶ。(西川) (6～10 回目) 英語に潜む不思議を学び、英語学的な学問の一端に触れる。(住吉) (11～15 回目) 英語で書かれた小説を「先生が読むように」面白く読む方法を紹介します。(天野)</p> <p>【事前事後学習課題】 それぞれの担当教員が指示した課題を行ったり、グループ学習、発表の準備をしたりする。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	Presentations, homework, quizzes. 授業への参加姿勢、課題の発表・提出等から総合的に判断する。(西川・住吉・天野) 詳しくは各担当よりそれぞれの初回の授業で説明する。																		
学生へのメッセージ	映画の中には気の利いたセリフがたくさんあります。楽しく勉強しましょう。(西川)																		
担当者の研究室等																			
備考	教材などは適時指示する。プリントを使用することもある。英語辞書必携 (西川・住吉・天野) 事前・事後学習の総時間を 15 時間程度とする。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	田中 健二, 鳥居 祐介, 家口 美智子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしき、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしきなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしぐみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																
到達目標	<p>各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。</p> <p>田中健二：英語を読み書きすること、つまりインプットを多くして、発表（アウトプット）への準備をする。 家口美智子：ニュースを見てわかるようになる。TOEICの得点をアップさせる。 鳥居祐介：アメリカ合衆国の文化、社会、歴史への関心を高める。短いレポートを自信を持って書けるようになる。</p>																
授業方法と留意点	<p>授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。</p> <p>田中健二：遅刻、欠席をしないこと。集中して英語のインプットを増やす。 家口美智子：課題をしっかりとこなしてください。 鳥居祐介：資料を読み、レポートを下書きし、グループワークを経て清書して提出するところまでを5回の授業で体験してもらいます。まずは遅刻、欠席をしないこと。やむを得ない事情で欠席した時は、すぐに連絡を入れて自力で仕事を進めることです。</p>																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>①（1～5回目：田中）やさしい英語を速く読む訓練。またやさしい英語をたくさん聞く訓練。 ②（6～10回目：家口）時事問題に詳しくなる。TOIECに向けた英語力をつける。 ③（11～15回目：鳥居）アメリカ合衆国についての基礎知識とレポートの書き方を学ぶ。</p> <p>【事前事後学習課題】 担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法（基準）	<p>①（田中健二）平常点 50%、授業参加態度 50% ②（家口）小テスト 70%；課題 30%。 ③（鳥居）授業参加態度 70%、レポート 30%</p>																
学生へのメッセージ																	
担当者の研究室等	<p>田中健二：7号館 3F 家口美智子：7号館 4F 鳥居祐介：7号館 3F</p>																
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする</p>																

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	住吉 誠, 田浦 アマンダ, 西川 眞由美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしくみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。																		
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>1～5週 (Amanda Taura) Tourism and Hospitality: We will look at on the job situations for cabin crew, airline ground staff and hotel staff, do role-plays and discuss the definition of good service.</p> <p>6～10週 (西川) 映画の台本を使って、コミュニケーションの上手な取り方を学ぶ。</p> <p>11～15週 (住吉) 英語に潜む不思議を学び、英語学的な学問の一端に触れる。</p> <p>【事前事後学習課題】 各担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>な評価となる。担当者ごとの評価方法、基準は次のとおり。詳しくは各担当教員の初回の授業で説明する。</p> <p>1～5週 (Amanda Taura) 授業への積極的参加、課題、発表を総合して評価する。</p> <p>6～10週 (西川) 授業への積極的な参加、課題、発表を総合的に評価する。</p> <p>11～15週 (住吉) 授業への積極的な参加、課題、発表を総合的に評価する。</p>																		
学生へのメッセージ	Please come with a positive attitude to learn something unique about each topic and read in English on a weekly basis (Amanda Taura) 映画には、気の利いたセリフがたくさん出てきます。楽しく勉強しましょう。(西川) ささいなことに「なぜ」と思う気持ちを大事に育ててください。(住吉)																		
担当者の研究室等	田浦研究室 (7号館5階) 西川研究室 (7号館4階) 住吉研究室 (7号館4階)																		
備考	<p>プリントや教材などを適時使用する。詳細は初回の授業で説明する。英語辞書必携 (田浦・西川・住吉)</p> <p>それぞれの担当教員が指示した課題を行ったり、グループ学習、発表の準備をしたりするなどを含め、事前・事後学習の総時間を15時間程度とする。</p>																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	田浦 アマンダ, 田中 秀毅, 天野 貴史
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしぐみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようにする。																		
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 1～5週 (田中) 前置詞選択などの背景にある英語の法則に目を向け、「ネイティブ感覚」の解明を目指す。 6～10週 (天野) 英語で書かれた小説を「先生が読むように」面白く読む方法を紹介します。 11～15週 (Amanda Taura) Tourism and Hospitality: We will look at on the job situations for cabin crew, airline ground staff and hotel staff, do role-plays and discuss the definition of good service.</p> <p>【事前事後学習課題】 各担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>授業参加・授業態度を重視して評価する。詳細は担当教員の指示に従う。各担当教員の評価の平均が最終的な評価となる。担当者ごとの評価方法、基準は次のとおり。</p> <p>1～5週 (田中) レポートと平常点により評価する。 6～10週 (天野) 授業への積極的参加、課題、発表を総合して評価する。 11～15週 (田浦) 授業への積極的参加、課題、発表を総合して評価する。</p>																		
学生へのメッセージ	Come with a positive attitude to learn something unique about each topic and read in English on a weekly basis. Handouts will be given in class and each class explained clearly. Please bring a dictionary to each class. (Amanda Taura)																		
担当者の研究室等	田中 (秀) 研究室 (7号館4階) 天野研究室 (7号館3階) 田浦研究室 (7号館5階)																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ショーン マクガバン, 田中 秀毅, 鳥居 祐介
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしくみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																
到達目標	<p>各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。</p> <p>S. McGovern: In this course we will examine how people use iPhones, iPads and other devices to communicate.</p> <p>鳥居祐介: アメリカ合衆国の文化、社会、歴史への関心を高める。短いレポートを自信を持って書けるようになる。</p>																
授業方法と留意点	<p>授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。</p> <p>S. McGovern: The teacher will introduce new ideas on the course topics. Students will take notes and then make computer-designed reports with their own examples based on these topics.</p>																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>1-5 週目 (McGovern) Screen-based communication in the 21st century</p> <p>6-10 週目 (鳥居) アメリカ合衆国についての基礎知識とレポートの書き方を学ぶ。</p> <p>11-15 週目 (田中秀) 前置詞選択などの背景にある英語の法則に目を向け、「ネイティブ感覚」の解明を目指す。</p> <p>【事前事後学習課題】</p> <p>担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	<p>授業参加・授業態度を重視して評価する。詳細は担当教員の指示に従う。各担当教員の評価の平均が最終的な評価となる。担当者ごとの評価方法、基準は次のとおり。</p> <p>1-5 週目 (McGovern) Dependable weekly attendance that includes active participation 50%; notebook report 50%.</p> <p>6-10 週目 (鳥居) 授業参加態度 70%、レポート 30%</p> <p>11-15 週目 (田中) レポートと平常点により評価する。</p>																
学生へのメッセージ	All coursework will be in English. The various topics in this course will be very interesting. But the main goal of this course is to help you to improve your English listening, speaking, reading and writing abilities.? (McGovern)																
担当者の研究室等	<p>マクガバン研究室 (7号館5階)</p> <p>鳥居研究室 (7号館3階)</p> <p>田中 (秀) 研究室 (7号館4階)</p>																
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする																

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	田中 健二, 家口 美智子, ショーン マクガバン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしくみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしくみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																
到達目標	<p>各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。</p> <p>家口美智子：ニュースがわかるようになる。TOEIC の得点をアップさせる。 S. McGovern：In this course we will examine how people use iPhones, iPads and other devices to communicate. 田中健二：英語を読み聞きすること、つまりインプットを多くして</p>																
授業方法と留意点	<p>授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。</p>																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 (1～5 回目) 時事問題に詳しくなる。同時に英語力をアップさせる練習を行う。(家口) (6～10 回目) Screen-based communication in the 21st century (McGovern) (11～15 回目) やさしい英語を速く読む訓練。またやさしい英語をたくさん聞く訓練 (田中)。</p> <p>【事前事後学習課題】 担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">番号</th> <th style="width: 40%;">書籍名</th> <th style="width: 30%;">著者名</th> <th style="width: 20%;">出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">番号</th> <th style="width: 40%;">書籍名</th> <th style="width: 30%;">著者名</th> <th style="width: 20%;">出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	<p>(1～5 回目) 小テスト 70% 宿題 30% (家口) (6～10 回目) Dependable weekly attendance that includes active participation 50%; notebook report 50% (McGovern) (11～15 回目) 田中健二：平常点 50%、授業参加態度 50%</p>																
学生へのメッセージ	<p>*将来何をしたいのか、自分の人生の設計を立てましょう。(家口)</p> <p>* All coursework will be done in English. The various topics in this course will be very interesting. But the main goal of this course is to help you to improve your English listening, speaking, reading and writing ability</p>																
担当者の研究室等	<p>家口美智子 7 号館 4 階 マクガバン 7 号館 5 階 田中健二 7 号館 3 階</p>																
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 15 時間程度とする</p>																

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	瀬戸 宏, 兪 鳴蒙, 中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	1年生ゼミで学んだ資料収集, レポート作成, プレゼンテーションの技術を専攻言語に関わる分野に応用する。授業は3名の担当者が各5回担当する。それぞれの担当者が中国のことばや文化についてテーマや課題を示すので, ゼミ生はみずから調査し, 議論を行い, その成果を文章やプレゼンテーションまたは映像などの形式で発表する。																		
到達目標	資料を効果的に利用しながら説得力のある文章を書き, 発表する能力を身につける。またそのために必要かつ信頼できる資料を図書館や Web からの確に探し出し, 目的を達成するのに最適なツールを駆使しながらオリジナリティーのあるものの作成を目指す。																		
授業方法と留意点	文化演習のテーマ選択を視野に入れ, 積極的な授業参加が望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>(1) (1~5 回目) 中国語を使った道案内。中国の友だちを摂南大学に案内するという設定のもと, 寝屋川市駅から教室までのルートを中国語のナレーションを施した動画で分かりやすく紹介する (中西)</p> <p>(2) (6~10 回目) 中国の近年の短編小説を翻訳で読む。(瀬戸)</p> <p>(3) (11~15 回目) 四字熟語の日中比較 (兪)</p> <p>【事前事後学習課題】 担当教員の指示に従って, 予習・復習をする。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>授業参加・授業態度を重視して評価する。詳細は担当教員の指示に従う。<3名の担当者5回授業の評価>の平均が最終的な評価となる。各担当者の評価方法、基準は次の通り。</p> <p>(1~5 回目) 授業に望む積極性, グループ活動への貢献度, 作品の完成度をもとに評価する。(中西)</p> <p>(6~10 回目) 演習への出席, 授業に対する積極性など日常の受講態度を基礎に評価します。(瀬戸)</p> <p>(11~15 回目) 日中相違への関心度をもとに評価する。(兪)</p> <p>3人の教員が出した評価を総合して成績を付ける。授業への積極的参加, 課題, 発表, レポート等を総合して評価する。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	瀬戸研究室, 兪研究室, 中西研究室 (いずれも7号館3階)																		
備考	上に記された担当順は変更されることがあります。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	篠原 愛人
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>3年次以降の文化演習、卒業研究への足掛かりとなるようなテーマ探し、調査、レポート作成の方法を身につける。</p> <p>スペイン語圏の文化（風習、祭り、歌、言語、歴史、遺跡など）について、導入口となるような教材を提供し、そこから各自がテーマを選び、調べ、発表する。</p>																		
到達目標	<p>自分が関心を持った少なくとも1つのテーマについて調べ上げ、ほかの人も巻き込めるような発表をする。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1～5回 いくつかのテーマに関して DVD 資料を通して学び、テーマを選択し、調べる。</p> <p>6～10回 調べた内容について、経過報告とプレゼンテーションの準備</p> <p>11～13回 プレゼンテーションの方法、素材の作成</p> <p>14～15回 プレゼンテーション</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 スペイン語圏の世界遺産、祭り、風習などについて、DVD を見て、内容のまとめ、自分が関心を持った点についてレポートを書く。その後、文献で関心を持ったテーマについて調べる。</p> <p>【事前事後学習課題】 担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																		
関連科目	<p>スペイン語、スペイン語圏関連の諸科目。</p>																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>出席および最後のプレゼンテーションとその原稿</p>																		
学生へのメッセージ	<p>スペイン語を使って何かをする、その第一歩です。道は険しいけれど、シンドイ後に喜びがあります。</p>																		
担当者の研究室等備考	<p>7号館5階 (篠原研究室)</p>																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	北條 ゆかり
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語という言語に関し、楽曲・詩・小説の一節・報道文などさまざまな素材をもとに学習することにより、その背景に横たわる文化への関心を深める。																		
到達目標	スペイン語の発音に慣れ親しみ、聴解と発信を抵抗なくできるようになる。																		
授業方法と留意点	積極的な授業参加が要求される。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 スペイン語の聞き取りを反復練習する。 スペイン語の文章や詩篇を暗唱する。 小説と論説文を多読する。</p> <p>【事前事後学習課題】 文献にあたり、教材の語彙のみならず内容について調べておく。</p>																		
関連科目	スペイン語コース科目全般																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	暗唱と課題への取り組み、授業中の発表などを総合的に判断する。																		
学生へのメッセージ	専攻言語であるスペイン語をもっと好きになるための具体的な興味関心を探してください。それが文化演習と卒業研究につながっていきます。																		
担当者の研究室等	7号館5階 北條研究室																		
備考	授業中に指示された時間分の予復習を要す。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	上田 達, 山口 真佐夫, 浦野 崇央
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア語とマレー語が話されている地域での人々の暮らしに関する基礎的な知識の獲得を目指すべく、文献資料、新聞、映画、音楽などさまざまな媒体を通して、当該地域を多角的に把握する。																		
到達目標	後期の「基礎演習Ⅱ」および3年次の「文化演習」を受講するための基礎の習得を行い、自身の問題関心を設定することができる。																		
授業方法と留意点	教員が提示するテーマや資料の解説だけでなく、受講者には文献探索等を踏まえた課題を割り当て、受講者の前で発表を課す。適宜課題を出すので、授業時間外にも自主的に取り組むこと。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 授業は、山口、浦野、上田がそれぞれ5回ずつ担当する。内容・テーマは次の通り。 (山口担当) インドネシア語、マレー語と関連したテーマを選び、各自発表の練習を行う。 (浦野担当) インドネシアの女性雑誌 Femina やインドネシア語で書かれたコミックを読んだり、Pop Indonesia を聴いたりしながら、現代インドネシア社会の背景を探り、知見を深める。 (上田担当) 主に文献を読むことを通じて、マレーシアの社会や文化に関する理解を得る。</p> <p>【事前事後学習課題】 文献・インターネット等を活用し、発表の準備を行う。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業への参加姿勢、課題の発表・提出等から総合的に判断する。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館5階 (山口研究室) 7号館4階 (浦野研究室) 7号館5階 (上田研究室)																		
備考																			

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	浅野 英一・門脇 薫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>本授業は、2名の教員（門脇・浅野）で行い、下記の概要と目的にしている。</p> <p>☆外国から見た日本語・日本文化 日本語を第二言語（外国語）とする外国人学習者の第二言語習得について講義します。「母語と中間言語」「日本語の文法習得」「バイリンガリズムと年少者日本語教育」等の基礎知識を解説します。また、皆で外国人学習者の日本語使用例を分析し、日本語の習得過程についての考察を試みます。</p> <p>★グローバル人材の育成 グローバル人材とは、地球規模（グローバル）の視野を持ちながら、地域（ローカル）の課題に主体的に取り組み解決できる人材）であり、この授業では「発見力・分析力・展開力・行動力・国際力」の基礎を学ぶ。</p>																
到達目標	<p>テーマについての知識を習得する。 テーマについて自分の意見を表現できる。 日本語の誤用を分析できる。 自分の将来を見つめる。 外国人が持つ日本関心を考える。 日本とは何かを再考する。</p>																
授業方法と留意点	<p>ディスカッションの際には積極的に自分の意見を出してください。</p>																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ】 門脇担当分</p> <p>外国語としての日本語教育 * 母語と中間言語 * 国語教育と日本語教育 * 日本語の文法習得 * バイリンガリズムと年少者日本語教育 * 学習環境と学習動機 * 外国人学習者の日本語の誤用</p> <p>【授業テーマ】 浅野担当分</p> <p>グローバル化とローカリゼーションの学び ※将来自分が目指すものへの関心 ※外国人が日本の何に関心を持っているか ※自分の関心と外国人の関心の相違点 ※日本人が感じる「クール」と外国人が感じる「Cool」の相違点 ※グローバル化を知る ※ローカリズムを知る</p> <p>【内容・方法】 * 講義 * 学生間のディスカッション</p> <p>【事前・事後学習課題】 ハンドアウトのタスク</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>適宜、プリントを配布する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	適宜、プリントを配布する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	適宜、プリントを配布する。																
2																	
3																	
参考書	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>適宜、指示する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	適宜、指示する			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	適宜、指示する																
2																	
3																	
評価方法（基準）	<p>授業への参加度（出席はむろん、報告、プレゼンなどへの積極的な関わり）およびレポート等から総合的に評価する。</p>																
学生へのメッセージ	<p>将来、海外に出て働きたい！と夢を抱いている人・・・この授業を受けることが第一歩。</p>																
担当者の研究室等	<p>門脇研究室（7号館4階） 浅野研究室（7号館5階）</p>																
備考																	

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	赤澤 春彦, 岩間 香
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	赤澤担当分野：史跡・文化財と歴史をテーマとする。各地の史跡や文化財を取り上げ、歴史的背景や地域的特質について考える。調べ方、情報の取捨選択方法、まとめ方について事例をもとに紹介する。その後、史跡や文化財を一つ選択して調査し、レジュメを作成して発表を行い、みんでディスカッションする。 岩間担当分野：絵画に込められた意味について考える。伝統、歴史、宗教上の約束事などを知り、画家の意図を読み解く。教養と細やかなことに気がつく感性を養う。																
到達目標	赤澤担当：資料（情報）の集め方、資料（情報）の整理、集めて整理した情報を相手に伝えるようにまとめる方法といったスキルを身につけることができる。 岩間担当：絵画制作の技法、背景、伝統、歴史、宗教上の約束事など絵画表現に関する基礎的な知識を身につける。また注意深く観察し、的確な言葉で表現する力をつける。																
授業方法と留意点	赤澤担当：個人・共同発表や相互ディスカッションを通して、テーマに対する理解を深めていく。欠席が多いと理解できなくなるので、全授業出席することを原則とし、課題をまとめてもらう。 岩間担当：毎回一つの絵画を徹底的に読み解く。注意深く観察し、気がついたことを積極的に発言してもらうことが重要である。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	第1回 赤澤・岩間両担当者によるゼミ内容と留意事項の説明。 第2回～第8回 一人目の担当者によるゼミ 第9回～第15回 二人目の担当者によるゼミ 前半と後半で担当者が入れ替わる。 赤澤担当：まず史跡・文化財とは何か、文献や辞書の利用方法について説明する。次に実例に基づいてレジュメのまとめ方や発表の方法を解説する。その後、テーマを決定し、各自で準備をして発表する。個人報告にするかグループワークにするかは受講生と相談の上で決めることとする。 岩間担当：毎回著名な絵画作品を提示し、それについて何を表わしているか、特徴は何かなどについてディスカッションする。教員から社会背景などさまざまな情報を提示する。毎時間、その日に学んだことをまとめ、提出してもらう。最終回に自分で選んだ絵画についてレジュメを作り発表する。																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法（基準）	赤澤担当分：授業参加・授業態度を重視して評価する。 岩間担当分：毎時間のレポート、発表、レポート、参加態度を総合的に判断する。																
学生へのメッセージ																	
担当者の研究室等	赤澤研究室（7号館4階） 岩間研究室（7号館5階）																
備考																	

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	大原 一浩、マイケル、ハーキー、吉村 征洋
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしぐみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。																		
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>1回～5回 (大原)：エスニシティ、人種、ジェンダーを横軸に、歴史を縦軸に、英語圏の文化にアプローチする方法を学びます。それを通じて、自分たちの住む社会で起きている諸問題への関心を高めましょう。</p> <p>6回～10回 (吉村)：英語で寸劇を行う。授業内外でリーディング等によって英語をインプットし、それらを自分たちでアレンジして、英語でアウトプット(寸劇、レポート等)する。</p> <p>11回～15回 (Herke)： Hockey is called religion in Canada. We will examine the importance of hockey in Canadian society through the children's short story and film "The Hockey Sweater."</p> <p>【事前・事後学習課題】</p> <p>各担当から配布された資料の読み込みや調査、レポート作成など。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	授業の貢献度、授業での発表、プレゼンテーション、レポートなどを総合的に判断する。詳しい内訳などは、各担当者から初回の授業の時に説明する。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	大原：7号館5階 吉村：7号館3階 ハーキー：7号館3階																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	神崎 舞, 後藤 一章, 中島 直嗣
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしぐみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。																
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容】</p> <p>(1回～5回) 後藤： 3～4年次のゼミに向け、研究テーマの選び方や、資料の収集法などについて学びます。その後、各自でテーマを定め、順に発表を行ってもらいます。</p> <p>(6回～10回) 中島： 主に国際ビジネスや異文化論に関する記事やニュースを扱います。グローバルな視点で物事を考える力を養うとともに、そのテーマについて発表やグループディスカッションも行います。</p> <p>(11回～15回) 神崎： 舞台芸術（演劇、ミュージカル、サーカス、オペラなど）や映画などを取り上げながら、それぞれの作品に描かれている民族や人種、そして地域的特色を考察することにより、異文化理解に繋げたい。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業参加・授業態度を重視して評価する。詳細は担当教員の指示に従う。																
学生へのメッセージ																	
担当者の研究室等	後藤：7号館5階 中島：7号館4階 神崎：7号館5階																
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする																

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	中島 直嗣, 吉村 征洋, 神崎 舞
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしぐみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。																		
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>(中島担当 1回～5回)：主に国際ビジネスや異文化論に関する記事やニュースを扱います。グローバルな視点で物事を考える力を養うとともに、そのテーマについて発表やグループディスカッションも行います。</p> <p>(神崎担当 6回～10回)：舞台芸術(演劇、ミュージカル、サーカス、オペラなど)や映画などを取り上げながら、それぞれの作品に描かれている民族や人種、そして地域的特色を考察することにより、異文化理解に繋げたい。</p> <p>(吉村担当 11回～15回)：英語で寸劇を行う。授業内外でリーディング等によって英語をインプットし、それらを自分たちでアレンジして、英語でアウトプット(寸劇、レポート等)する。</p> <p>【事前事後学習課題】 資料の収集、要点の整理など。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	担当する3教員がそれぞれ授業への参加度、発表、課題(レポート)などを合わせて評価し、それらを総合して成績を決定します。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	中島：7号館4階 神崎：7号館5階 吉村：7号館3階																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	松田 早恵, 皆本 智美, 大原関 一浩
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしぐみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。																		
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>[授業テーマ・内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1-5回 (松田)：英語圏の文化知識における Literature (文学) のジャンルを扱います。文学の知識は、映画、本、新聞、雑誌、インターネット記事などを理解する上で大きな意味をもつことがあります。各種メディアに生きている文化知識を見ていきましょう。 ●6-10回 (大原関)：エスニシティ、人種、ジェンダーを横軸に、歴史を縦軸に、英語圏の文化にアプローチする方法を学びます。それを通じて、自分たちの住む社会で起きている諸問題への関心を高めましょう。 ●11-15回 (皆本)：西洋文化を理解するため、この授業では特に宗教と美術を取り上げます。絵画や聖書を読み解きましょう。授業では英文を読むので、必ず辞書を持参すること。 <p>[事前事後学習課題]</p> <p>担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">番号</th> <th style="width: 40%;">書籍名</th> <th style="width: 30%;">著者名</th> <th style="width: 20%;">出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要であれば授業で指示します。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	必要であれば授業で指示します。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	必要であれば授業で指示します。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">番号</th> <th style="width: 40%;">書籍名</th> <th style="width: 30%;">著者名</th> <th style="width: 20%;">出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>授業参加・授業態度を重視して評価する。詳細は担当教員の指示に従う。</p> <p>※この授業の単位を取得しなければ、3年次に進級できません。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	<p>7号館5階 松田研究室</p> <p>7号館5階 大原関研究室</p> <p>7号館4階 皆本研究室</p>																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	大原 関 一浩, マイケル ハーキー, 松田 早恵
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしぐみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。																		
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>●1～5回目（ハーキー）： Hockey is called religion in Canada. We will examine the importance of hockey in Canadian society through the children's short story and film "The Hockey Sweater."</p> <p>●6～10回目（松田）：英語圏の文化知識における Literature（文学）のジャンルを扱います。文学の知識は、映画、本、新聞、雑誌、インターネット記事などを理解する上で大きな意味をもつことがあります。各種メディアに生きている文化知識を見ていきましょう。</p> <p>●11～15 回目（大原関）：エスニシティ、人種、ジェンダーを横軸に、歴史を縦軸に、英語圏の文化にアプローチする方法を学びます。それを通じて、自分たちの住む社会で起きている諸問題への関心を高めましょう。</p> <p>【事前事後学習課題】 担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要に応じて授業で指示します。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	必要に応じて授業で指示します。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	必要に応じて授業で指示します。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	<p>授業への参加度、課題、発表、レポートなどを合わせて評価する。3人の教員が出した評価を総合して成績を決定する。</p> <p>※この授業の単位を取得しなければ、3年次に進級できません。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	<p>7号館3階 ハーキー研究室</p> <p>7号館5階 松田研究室</p> <p>7号館5階 大原関研究室</p>																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	神崎 舞, 後藤 一章, 皆本 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしぐみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。																		
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>(神崎 1～5回)：舞台芸術(演劇、ミュージカル、サーカス、オペラなど)や映画などを取り上げながら、それぞれの作品に描かれている民族や人種、そして地域的特色を考察することにより、異文化理解に繋げたい。</p> <p>(皆本 6回～10回)：西洋文化を理解するため、この授業では特に宗教と美術を取り上げます。絵画や聖書を読み解きましょう。授業では英文を読むので、必ず辞書を持参すること。</p> <p>(後藤 11回～15回)：3～4年次のゼミに向け、研究テーマの選び方や、資料の収集手法などについて学びます。その後、各自でテーマを定め、順に発表を行ってまいります。</p> <p>【事前事後学習課題】 担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	担当する3教員がそれぞれ授業への参加度、発表、課題(レポート)などを合わせて評価し、それらを総合して成績を決定します。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	神崎：7号館3階 皆本：7号館4階 後藤：7号館5階																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	小川 豊生, 木本 浩一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>本科目は、3年次のゼミのための準備クラスである。ゼミで求められる、資料の読解力、論理的思考力、プレゼンスキルなどの向上を目指す。前半（小川担当）は、世界遺産と伝説、図像から読み解く文化などをテーマに、具体的な資料の収集や課題の発見法の習得をめざす。後半（木本担当）は、地域の「活性化」「振興」などをテーマとして、観光に関わる基本的な知識、手法などの習得をめざす。</p>																		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文献資料を収集する方法を身につける。 ・ 資料の読解法を習得する。 ・ 自らテーマを発見・設定する力を養成する。 ・ レジュメの作成法や発表の仕方を学ぶ。 																		
授業方法と留意点	<p>観光と文化のかかわりについて、それぞれの関心を深めるような方法ですすめたい。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ】 旅と観光をめぐる文化と地理</p> <p>【内容】 旅と観光をテーマに、資料の探索、読解、分析方法を学ぶ。 ・ 前半は、世界遺産にかかわる伝説を収集し、特定の場所が歴史的な遺産となりえたのはなぜか、その要因を考えます。また長い歴史から生み出された特異な図像をとりあげ、その謎を解明し、文化研究の面白さを味わいます。 ・ 後半は、観光に関わる基本文献を読み進めながら、地域研究の仕方を学びます。</p> <p>【方法】 グループによる作業や個別の作業を通じて、ゼミで求められるスキルを強化する。 レジュメの作成法や発表にかかわる手順について学ぶ。</p> <p>【事前学習】 指定された箇所の地名やキーワードなどのリサーチ。 レジュメの作成、発表の準備。</p> <p>【事後学習】 発表内容をレポートとしてまとめる。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>【評価の対象】 到達度判定レポート・プレゼン・授業態度・出席で総合的に評価する。</p>																		
学生へのメッセージ	<p>冷たいあたまと熱いハート、この二つを基礎演習を通じて鍛えよう。</p>																		
担当者の研究室等	<p>7号館 4階 (小川研究室) 7号館 5階 (木本研究室)</p>																		
備考	<p>欠席は厳禁。遅刻も回数に欠席にカウントするので注意。 【事前事後学習時間の目安】 小川・木本ともに、毎回の授業準備が各2時間、到達度判定レポート16時間</p>																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名(英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	住吉 誠, 西川 眞由美, 天野 貴史
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。 英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。 また、担当者の専門に応じて、社会のしくみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。																
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようにする。																
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 (1～5週) (住吉) 英語に潜む不思議を学び、英語学的な学問の一端に触れる。 (6～10週) (天野) 英語で書かれた小説を「先生が読むように」面白く読む方法を紹介します。 (11～15週) (西川) 映画の台本を使って、コミュニケーションの上手な取り方を学ぶ。 【事前・事後学習課題】 担当教員の配布資料などを読む。事前に調査し、レポートにまとめるなど。																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	詳細な内訳などについては、各担当のそれぞれの初回の授業で説明する。 授業への積極的な参加、課題、発表などを総合的に評価する。(住吉) 発表、発言、確認テスト等を総合して評価を行う。(天野) 授業への積極的な参加、課題、発表を総合的に評価する。(西川)																
学生へのメッセージ	ささいなことにも「なぜ」と思う気持ちを大切に育てていきましょう。(住吉) 私にとっては初めてのことで、私はそれをする初めての人ではない。(天野) 映画には気の利いたセリフがたくさん出てきます。楽しく勉強しましょう。(西川)																
担当者の研究室等	7号館4階 住吉研究室 7号館4階 西川研究室 7号館3階 天野研究室																
備考	それぞれの担当教員が指示した課題を行ったり、グループ学習、発表の準備をしたりするなどを含め、事前・事後学習の総時間を15時間程度とする。																

科目名	基礎演習 II	科目名 (英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	鳥居 祐介, 家口 美智子, 田中 健二
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしぐみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	<p>各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようにする。</p> <p>鳥居祐介：アメリカ合衆国の文化、社会、歴史への関心を高める。短いレポートを自信を持って書けるようになる。 田中健二：少し長めの英文を速く読む訓練。英字新聞にもチャレンジする。 家口美智子：ニュースがわかるようになる。TOEICの得点をアップさせる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。</p> <p>鳥居祐介：資料を読み、レポートを下書きし、グループワークを経て清書して提出するところまでを5回の授業で体験してもらいます。まずは遅刻、欠席をしないこと。やむを得ない事情で欠席した時は、すぐに連絡を入れて自力で仕事を進めることです。 田中健二：英字新聞を読む前提として、日頃からニュースなどを見たり聞いたりしておくこと。 家口美智子：課題をしっかりとこなしてください。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>① (1～5回目：鳥居) アメリカ合衆国についての基礎知識とレポートの書き方を学ぶ。 ② (6～10回目：田中) やさしい英語を速く読む訓練。またやさしい英語をたくさん聞く訓練。 ③ (11～15回目：家口) 時事問題に詳しくなる。TOEICに向けた英語力をつける。</p> <p>【事前事後学習課題】 文献・インターネット等で内容を調べてくる。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>鳥居祐介：授業参加態度 70%、レポート 30% 田中健二：平常点 50%、授業参加態度 50% 家口美智子：小テスト 70%、課題 30%</p>																		
学生へのメッセージ	<p>馬力をあげて勉強を続けてください。</p>																		
担当者の研究室等	<p>鳥居祐介 7号館 3階 田中健二 7号館 3階 家口美智子 7号館 4階</p>																		
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする</p>																		

科目名	基礎演習 II	科目名 (英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	住吉 誠, 西川 真由美, 田浦 アマンダ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしくみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。																		
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 1～5週 (西川) 映画の台本を使って、コミュニケーションの上手な取り方を学ぶ。</p> <p>6～10週 (Amanda Taura) Tourism and Hospitality: We will look at on the job situations for cabin crew, airline ground staff and hotel staff, do role-plays and discuss the definition of good service.</p> <p>11～15週 (住吉) 英語に潜む不思議を学び、英語学的な学問の一端に触れる。</p> <p>【事前事後学習課題】 各担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>授業参加・授業態度を重視して評価する。詳細は担当教員より初回の授業で指示する。各担当教員の評価の平均が最終的な評価となる。担当者ごとの評価方法、基準は次のとおり。</p> <p>1～5週 (西川) 授業への積極的な参加、課題、発表を総合的に評価する。</p> <p>6～10週 (Amanda Taura) 授業への積極的な参加、課題、発表を総合して評価する。</p> <p>11～15週 (住吉) 授業への積極的な参加、課題、発表を総合的に評価する。</p>																		
学生へのメッセージ	<p>映画には気の利いたセリフがたくさんあります。楽しく勉強しましょう。(西川)</p> <p>Please come with a positive attitude to learn something unique about each topic and read in English on a weekly basis (Amanda Taura)</p> <p>ささいなことに「なぜ」と思う気持ちを大切に育てていってください。(住吉)</p>																		
担当者の研究室等	<p>西川研究室 (7号館4階)</p> <p>田浦研究室 (7号館5階)</p> <p>住吉研究室 (7号館4階)</p>																		
備考	<p>辞書を必ず持参すること (西川・住吉・田浦)</p> <p>それぞれの担当教員が指示した課題を行ったり、グループ学習、発表の準備をしたりするなどを含め、事前・事後学習の総時間を15時間程度とする。</p>																		

科目名	基礎演習 II	科目名 (英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	天野 貴史, 田浦 アマンド, 田中 秀毅
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしくみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。																		
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 1～5週 (Amanda Taura) Tourism and Hospitality: We will look at on the job situations for cabin crew, airline ground staff and hotel staff, do role-plays and discuss the definition of good service.</p> <p>6～10週 (田中秀) 前置詞選択などの背景にある英語の法則に目を向け、「ネイティブ感覚」の解明を目指す。</p> <p>11～15週 (天野) 英語で書かれた小説を「先生が読むように」面白く読む方法を紹介します。</p> <p>【事前事後学習課題】 担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>授業参加・授業態度を重視して評価する。詳細は担当教員の指示に従う。各担当者の評価の平均が最終的な評価となる。各担当者の評価方法、基準は次の通り。</p> <p>1～5週 (田浦) 授業への積極的参加、課題、発表を総合して評価する。</p> <p>6～10週 (田中) レポートと平常点により評価する。</p> <p>11～15週 (天野) 授業への積極的参加、課題、発表を総合して評価する。</p>																		
学生へのメッセージ	Please come with a positive attitude to learn something unique about each topic and read in English on a weekly basis (Amanda Taura)																		
担当者の研究室等	田浦研究室 (7号館5階) 田中 (秀) 研究室 (7号館4階) 天野研究室 (7号館3階)																		
備考	Bring a dictionary to class each week (Amanda Taura) 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名(英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	田中 秀毅, 鳥居 祐介, ショーン マクガバン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしくみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしくみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	<p>各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。</p> <p>鳥居：資料を読み、レポートを下書きし、グループワークを経て清書して提出するところまでを5回の授業で体験してもらいます。まずは遅刻、欠席をしないこと。やむを得ない事情で欠席した時は、すぐに連絡を入れて自力で仕事を進めることです。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>1～5週（田中秀）：前置詞選択などの背景にある英語の法則に目を向け、「ネイティブ感覚」の解明を目指す。</p> <p>6～10週（マクガバン）：Screen-based communication in the 21st century</p> <p>11～15週（鳥居）：アメリカ合衆国についての基礎知識とレポートの書き方を学ぶ。</p> <p>【事前事後学習課題】</p> <p>担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	<p>授業参加・授業態度を重視して評価する。詳細は担当教員の指示に従う。各担当者5回授業の評価の平均が最終的な評価となる。各担当者の評価方法、基準は次のとおり。</p> <p>1～5週（田中秀） レポートと平常点により評価する。</p> <p>6～10週（マクガバン） Dependable weekly attendance that includes active participation 50%; notebook report 50%</p> <p>11～15週（鳥居） 授業参加態度 70%、レポート 30%</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	<p>田中（秀）研究室（7号館4階）</p> <p>マクガバン研究室（7号館5階）</p> <p>鳥居研究室（7号館3階）</p>																		
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする</p>																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名(英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ショーン マクガバン, 田中 健二, 家口 美智子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。 英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしくみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。 また、担当者の専門に応じて、社会のしくみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。																
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。																
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容など】 ①(1回～5回) 田中健二：少し長めの英文を速く読む訓練。英字新聞にもチャレンジする。田中健二：辞書を使えば英字新聞を読めるようになる。英字新聞を読む前提として、日頃からニュースなどを見たり聞いたりしておくこと。 ②(6回～10回) 家口：ニュースがわかるようになる。TOEICの得点をアップさせる。課題をしっかりとこなすこと。 ③(11回～15回) マクガバン：Screen-based communication in the 21st century 【事前事後学習課題】 文献・インターネット等で内容を調べてくる。																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	田中健二：平常点 50%、授業参加態度 50% 家口美智子：小テスト 70%、課題 30% マクガバン：Dependable weekly attendance that includes active participation 50%; notebook report 50%																
学生へのメッセージ	馬力をあげて勉強を続けてください。																
担当者の研究室等	田中健二：7号館3階 家口：7号館4階 マクガバン7号館5階																
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする																

科目名	基礎演習 II	科目名 (英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	瀬戸 宏, 兪 鳴蒙, 中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	基礎演習 I で学んだことをもとに、より専門的なテーマに取り組む。また、他のゼミ生との議論やグループ作業を通してコミュニケーション力を高める。また、図書や Web の資料を利用する際のルールや作法についてゼミ担当教員から綿密な指導を受ける。																
到達目標	基礎演習 I で作成した文章や発表に比べてより高度なものを目指す。																
授業方法と留意点	文化演習のテーマ選択を視野に入れ、積極的な授業参加が望まれる。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>(1) (1～5 回目) 摂南大学のキャンパス紹介。図書館や食堂、スポーツ施設、CALL 教室や小スタジオをオープンキャンパスに参加する高校生に紹介するという設定のもと、中国語ナレーションや字幕を施した動画を作成する。(中西)</p> <p>(2) (6～10 回目) 中国の代表的な歌曲を選び、その歌を録音で聞いた後、中国語の歌詞を精読する。(瀬戸)</p> <p>(3) (11～15 回目) 慣用句を中心に、日中比較を行う。(兪)</p> <p>【事前事後学習課題】 担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	<p>授業参加・授業態度を重視して評価する。詳細は担当教員の指示に従う。〈3 名の担当者 5 回授業の評価〉の平均が最終的な評価となる。各担当者の評価方法、基準は次の通り。</p> <p>(1～5 回目) 授業に望む積極性、グループ活動への貢献度、作品の完成度をもとに評価する。(中西)</p> <p>(6～10 回目) 出席数、授業に対する積極性など日常の受講態度をもとに評価する。(瀬戸)</p> <p>(11～15 回目) 日中相違への関心度をもとに評価する。(兪)</p> <p>3 人の教員が出した評価を総合して成績を付ける。授業への積極的参加、課題、発表、レポート等を総合して評価する。</p>																
学生へのメッセージ																	
担当者の研究室等	瀬戸研究室, 兪研究室, 中西研究室 (いずれも 7 号館 3 階)																
備考	上に記された担当順は変更されることがあります。																

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名(英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	北條 ゆかり
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語で書かれた長文を読み、内容を理解し、まとめることが目標です。		
到達目標	1000～1500語程度のスペイン語文の概要をつかむ。 わからない単語がいくつかあっても無視して読める。 パラグラフごとのまとめができる。		
授業方法と留意点	出席は必須です。発表を課すため、欠席や遅刻はクラス全体に迷惑をかけます。特別に考慮すべき事由のない欠席や遅刻を繰り返す者、授業にのぞむ態度が特に悪い者は単位が認定されません。その場合は留年が確定することを忘れないでください。 受講者は教科書の指定範囲を読んでくることを前提とします。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 スペイン語で書かれた記事を読みます。 【事前事後学習課題】 授業中に指示します。		
関連科目	スペイン語およびスペイン語圏に関する科目		
教科書	番号	書籍名	著者名
	1	プリント	
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	授業に対する姿勢(出席、授業中の態度)と課題提出。		
学生へのメッセージ	話す、聞く、読む、書くの4つの分野で一番大変なのが、読むことです。1つ1つの文も確かに大切ですが、全体で著者が伝えたいことは何かをつかむことはもっと大切です。		
担当者の研究室等	7号館5階 北條研究室		
備考	読むことは「力」になります。 学問に王道なし。1語1語にとらわれすぎて伸び悩んでいる人は、この授業を通してとにかく読みまくりましょう。		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名(英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	篠原 愛人
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次以降の文化演習、卒業研究への足掛かりとなるようなテーマ探し、調査、レポート作成の方法を身につける。スペイン語圏の文化(風習、祭り、歌、言語、歴史、遺跡など)について、導入口となるような教材を提供し、そこから各自がテーマを選び、調べ、発表する。																		
到達目標	自分が関心を持った少なくとも1つのテーマについて調べ上げ、ほかの人も巻き込めるような発表をする。																		
授業方法と留意点	単語テストを毎回行う。リスニングの宿題も毎回あるので、時間をたっぷりかけて勉強すること。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>1～5回 いくつかのテーマに関してDVD資料を通して学び、テーマを選択し、調べる。 6～10回 調べた内容について、経過報告とプレゼンテーションの準備 11～13回 プレゼンテーションの方法、素材の作成 14～15回 プレゼンテーション</p> <p>【事前事後学習課題】 担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																		
関連科目	スペイン語、スペイン語圏関連の諸科目																		
教科書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">番号</th> <th style="width: 40%;">書籍名</th> <th style="width: 30%;">著者名</th> <th style="width: 20%;">出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">番号</th> <th style="width: 40%;">書籍名</th> <th style="width: 30%;">著者名</th> <th style="width: 20%;">出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	授業への参加、取り組み、発表内容を総合的に評価する。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館5階 (篠原研究室)																		
備考	一日一日を大切に生きましょう。																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名(英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	山口 真佐夫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア・マレー語圏の言語、社会、文化から各自テーマを選び研究する。各テーマに応じて資料収集、研究方法、研究成果の発表等について指導する。		
到達目標	研究テーマを選び、その研究成果を発表することができるようになる。		
授業方法と留意点	自発的に研究するように各自が努力すること。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	各自がテーマを選び、研究することになる。授業中に発表を行い、また質疑応答を行う。発表の準備を行うこと。また、発表の際の質問で答えられなかったこと、不十分だったことは次回の発表までに再確認しておくこと。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1	各自のテーマに応じて指示する。	
	2		
	3		
評価方法(基準)	平常点及び発表により評価する。		
学生へのメッセージ			
担当者の研究室等			
備考	7号館5階(山口研究室)		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名(英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	有馬 善一、橋本 正俊
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>前半は有馬、後半は橋本が担当する。</p> <p>《有馬》「現代日本について考える」 現代とはどういう時代なのか、現代の日本はどういう問題を抱えているのか、私たちは今どのような生き方をしているのか、等の問題について、各自の視点から発表・報告、意見交換をしていく。</p> <p>《橋本》「日本文化を考える」 人々が「日本文化」と思っているものの本質について、報告、意見交換を繰り返して考える。</p>																
到達目標	<p>《有馬》自分なりの問題意識を持つ。人前で自分の意見をまとめて発表をしたり、他の人たちと意見を交換することができるようになる。人前で自分の意見をまとめて発表をしたり、他の人たちと意見を交換することができるようになる。</p> <p>《橋本》調べ、考え、わかりやすく報告する力を身につける。建設的な意見交換ができるようになる。</p>																
授業方法と留意点	<p>ゼミですので活発な議論が望まれます。 積極的に自分の意見を出してください。</p>																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>《有馬》「現代日本について考える」 「現代日本」と関わりを持つテーマを各自で選び、それについて毎回数名が発表する。 発表をもとに、全員で意見交換をする。 発表者は意見交換を踏まえて、自分のテーマについてもう一度まとめてくる。</p> <p>《橋本》「日本文化を考える」 人々が「日本文化」と思っているものの本質について、報告、意見交換を繰り返して考える。 毎回、数名が各自の関心あるテーマに基づいて発表を行い、それに対して意見を出し合う。 それをもとに、再度分析し、発表を行う。</p> <p>【事前事後学習課題】 担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	授業参加・授業態度を重視して評価する。詳細は担当教員の指示に従う。																
学生へのメッセージ																	
担当者の研究室等	《有馬》7号館4階 《橋本》7号館4階																
備考																	

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名(英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	有馬 善一、林田 敏子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>【林田担当】 テーマは「風刺画を『読む』」。世相をするどく批判するとともに、これをおもしろおかしく揶揄した風刺画をとりあげる。ストーリー性をもった連作版画的な読み解きなどを通して風刺画の世界に触れるとともに、その時代、その社会の特質にせまる。</p> <p>【有馬担当】 「現代日本について考える」 現代とはどういう時代なのか、現代の日本はどのような問題を抱えているのか、私たちは今どのような生き方をしているのか、等の問題について、各自の視点から発表・報告、意見交換をしていく。</p>																
到達目標	<p>【林田担当】 図像資料には、いく通りもの「読み」の可能性があることを実践的に学ぶ。</p> <p>【有馬担当】 自分なりの問題意識を持つ。人前で自分の意見をまとめて発表をしたり、他の人たちと意見を交換することができるようになる。人前で自分の意見をまとめて発表をしたり、他の人たちと意見を交換することができるようになる。</p>																
授業方法と留意点	<p>【林田担当】 グループごとに、文献収集、調査、ディスカッションをおこない、レジュメを作って発表する。プレゼンテーションの仕方など、情報発信に必要な技術を習得する。</p> <p>【有馬担当】 発表、ディスカッションが中心であるので、積極的に参加し、発言する姿勢が求められる。</p>																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【林田担当】 * 授業テーマ・内容・方法 グループ・ディスカッション、小発表を通じて、風刺画の読解をおこなう。</p> <p>* 事前、事後学習課題 授業中に適宜指示する。課題に要する総時間数は約 30 時間。</p> <p>【有馬担当】 「現代日本について考える」 「現代日本」と関わりを持つテーマを各自で選び、それについて毎回数名が発表する。 発表をもとに、全員で意見交換をする。 発表者は意見交換を踏まえて、自分のテーマについてもう一度まとめてくる。 事前・事後学習は授業中に適宜指示する。総時間は約 30 時間。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	<p>【林田担当】 授業への参加、取組み、発表内容を総合的に評価する。</p> <p>【有馬担当】 授業への参加、取り組みの姿勢、発表内容を総合的に評価する。</p>																
学生へのメッセージ																	
担当者の研究室等	7号館4階 有馬研究室 7号館4階 林田研究室																
備考																	

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名(英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	マイケル ハーキー、吉村 征洋、大原関 一浩
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしぐみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。																		
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>(Herke 1回～5回) : The short story "Be Fruitful and Multiply" appears to be a simple fable but in fact contains criticism of traditional Quebec and Canadian society. We will examine these criticisms and our own attitude.</p> <p>(大原関 6回～10回) : エスニシティ、人種、ジェンダーを横軸に、歴史を縦軸に、英語圏の文化にアプローチする方法を学びます。それを通じて、自分たちの住む社会で起きている諸問題への関心を高めましょう。</p> <p>(吉村 11回～15回) : 英語で寸劇を行う。授業内外でリーディング等によって英語をインプットし、それらを自分たちでアレンジして、英語でアウトプット(寸劇、レポート等)する。</p> <p>【事前事後学習課題】 資料の収集、要点の整理など。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	担当する3教員がそれぞれ授業への参加度、発表、課題(レポート)などを合わせて評価し、それらを総合して成績を決定します。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	Herke: 7号館3階 大原関: 7号館5階 吉村: 7号館4階																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名(英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	神崎 舞, 中島 直嗣, 後藤 一章
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしぐみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようにする。																		
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>神崎(1回～5回)：舞台芸術(演劇、ミュージカル、サーカス、オペラなど)や映画などを取り上げながら、それぞれの作品に描かれている民族や人種、そして地域的特色を考察することにより、異文化理解に繋げたい。</p> <p>後藤(6回～10回)：3～4年次のゼミに向け、研究テーマの選び方や、資料の収集法などについて学びます。その後、各自でテーマを定め、順に発表を行ってもらいます。</p> <p>中島(11回～15回)：主に国際ビジネスや異文化論に関する記事やニュースを扱います。グローバルな視点で物事を考える力を養うとともに、そのテーマについて発表やグループディスカッションも行います。</p> <p>【事前事後学習課題】 担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	担当する3教員がそれぞれ授業への参加度、発表、課題(レポート)などを合わせて評価し、それらを総合して成績を決定します。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	神崎：7号館5階 後藤：7号館5階 中島：7号館4階																		
備考																			

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名(英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	神崎 舞, 吉村 征洋, 中島 直嗣
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしぐみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。																		
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>(吉村 1回～5回)：英語で寸劇を行う。授業内外でリーディング等によって英語をインプットし、それらを自分たちでアレンジして、英語でアウトプット(寸劇、レポート等)する。</p> <p>(中島担当 6回～10回)：主に国際ビジネスや異文化論に関する記事やニュースを扱います。グローバルな視点で物事を考える力を養うとともに、そのテーマについて発表やグループディスカッションも行います。</p> <p>(神崎 11回～15回)：舞台芸術(演劇、ミュージカル、サーカス、オペラなど)や映画などを取り上げながら、それぞれの作品に描かれている民族や人種、そして地域的特色を考察することにより、異文化理解に繋げたい。</p> <p>【事前事後学習課題】 資料の収集、要点の整理など。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	担当する3教員がそれぞれ授業への参加度、発表、課題(レポート)などを合わせて評価し、それらを総合して成績を決定します。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	吉村：7号館3階 中島：7号館4階 神崎：7号館5階																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名(英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	大原 一浩, 皆本 智美, 松田 早恵
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしぐみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようにする。																		
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>●1-5回(皆本): 西洋文化を理解するため、この授業では特に宗教と美術を取り上げます。絵画や聖書を読み解きましょう。授業では英文を読むので、必ず辞書を持参すること。</p> <p>●6-10回(松田): 英語圏の文化知識における Literature (文学) のジャンルを扱います。文学の知識は、映画、本、新聞、雑誌、インターネット記事などを理解する上で大きな意味をもつことがあります。各種メディアに生きている文化知識を見ていきましょう。</p> <p>●11-15回(大原): エスニシティ、人種、ジェンダーを横軸に、歴史を縦軸に、英語圏の文化にアプローチする方法を学びます。それを通じて、自分たちの住む社会で起きている諸問題への関心を高めましょう。</p> <p>[事前事後学習課題]担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要であれば授業で指示します。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	必要であれば授業で指示します。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	必要であれば授業で指示します。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	<p>授業参加・授業態度を重視して評価する。詳細は担当教員の指示に従う。</p> <p>※この授業の単位を取得しなければ、3年次に進級できません。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	<p>7号館4階 皆本研究室</p> <p>7号館5階 松田研究室</p> <p>7号館5階 大原研究室</p>																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする																		

科目名	基礎演習 II	科目名 (英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	大原 一浩, 松田 早恵, マイケル ハーキー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしぐみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようになる。																		
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>●1～5回目 (大原)：エスニシティ、人種、ジェンダーを横軸に、歴史を縦軸に、英語圏の文化にアプローチする方法を学びます。それを通じて、自分たちの住む社会で起きている諸問題への関心を高めましょう。</p> <p>●6～10回目 (ハーキー)：The short story "Be Fruitful and Multiply" appears to be a simple fable but in fact contains criticism of traditional Quebec and Canadian society. We will examine these criticisms and our own attitudes.</p> <p>●11～15回目 (松田)：英語圏の文化知識における Literature (文学) のジャンルを扱います。文学の知識は、映画、本、新聞、雑誌、インターネット記事などを理解する上で大きな意味をもつことがあります。各種メディアに生きている文化知識を見ていきましょう。</p> <p>【事前事後学習課題】 担当教員の指示に従って、予習・復習をする。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要に応じて授業で指示します。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	必要に応じて授業で指示します。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	必要に応じて授業で指示します。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>授業への参加度、課題、発表、レポートなどを合わせて評価する。3人の教員が出した評価を総合して成績を決定する。(内訳などはそれぞれの担当者の初回の授業で説明する。)</p> <p>※この授業の単位を取得しなければ、3年次に進級できません。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	<p>7号館5階 大原研究室 7号館3階 ハーキー研究室 7号館5階 松田研究室</p>																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名(英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	後藤 一章, 皆本 智美, 神崎 舞
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>各担当教員の専門に触れながら、各分野への興味を深める。</p> <p>英語という言葉に関し、文学・語学・教育などさまざまな視点から学習することにより、英語の背景にある文化やしぐみ、歴史などへの関心を高める。英語で文学を学ぶことのおもしろさ、英語で言語の仕組みを知るたのしさ、英語を教えることの喜び、英語の使用されている国々の文化を知るたのしさなどを体験する。</p> <p>また、担当者の専門に応じて、社会のしぐみや経済的な分野への関心、時事問題などを扱い、学生の知的な興味を喚起する。</p>																		
到達目標	各担当教員と共にそれぞれの分野を学ぶ楽しさを体験し、知的な関心を深め、自分が主体的に学んだことをレポートやプレゼンテーションで発表できるようにする。																		
授業方法と留意点	授業方法は各担当教員がそれぞれの初回の授業で説明する。文化演習の選択を視野に入れながら、積極的な参加、主体的な学びが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>後藤：3～4年次のゼミに向け、研究テーマの選び方や、資料の収集手法などについて学びます。その後、各自でテーマを定め、順に発表を行ってまいります。</p> <p>神崎：舞台芸術（演劇、ミュージカル、サーカス、オペラなど）や映画などを取り上げながら、それぞれの作品に描かれている民族や人種、そして地域的特色を考察することにより、異文化理解に繋げたい。</p> <p>皆本：西洋文化を理解するため、この授業では特に宗教と美術を取り上げます。絵画や聖書を読み解きましょう。授業では英文を読むので、必ず辞書を持参すること。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要であれば授業中に指示します。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	必要であれば授業中に指示します。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	必要であれば授業中に指示します。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	<p>平常点、レポート、発表などを合わせて総合的に評価します。</p> <p>3人のそれぞれの評価の内訳はそれぞれの初回の授業で説明します。</p> <p>※この授業の単位を取得しなければ、3年次に進級できません。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	<p>後藤：7号館5階</p> <p>神崎：7号館5階</p> <p>皆本：7号館4階</p>																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名(英文)	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	小川 豊生, 橋本 正俊
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>「基礎演習」では、各教員の専門研究分野の研究がどのようなものなのかを理解し、その始める下準備をすることが、すべてのクラスの共通の目的として設定されています。</p> <p>このクラスは、前半を橋本が、後半を小川が担当します。</p> <p>【橋本の担当回について】 橋本の専門研究分野は日本語・日本文化です。ゼミでは、様々な「表現」について、皆さんの関心に沿って考えていきます。芸術から小説、マンガ、また建築や町並みなど、人は何をどのように表現してきたのか考察し、そこから表現と文化との関わりについて考えてみたいと思います。</p> <p>【小川の担当回について】 小川の専門分野は日本文化および日本語です。ゼミは日本の文化を中心に、世界の諸文化との比較研究を行います。歴史的には古代から現代にわたり、扱う領域は古典から現代文化の諸領域まで含みますが、ここでは特に、《現代の最新の文化のうちに、きわめて古くから人類が培ってきたものが生き続けている事実を発見すること》、そこに目標をおきたいと思います。何気ない日常文化のうちに数万年の文明的営みが生きていることを発見することで、あたまと気分をリフレッシュしていきましょう。</p>																
到達目標	<p>【橋本の担当回の到達目標】 調べ、考え、わかりやすく報告する力を身につける。建設的な意見交換ができるようになる。</p> <p>【小川の担当回の到達目標】 なにげない日常に太古を発見する、論理と思考と意志力を身につける。 発表の仕方や質問力やコメント力を身につける。</p>																
授業方法と留意点	どんなゼミに入っても応用できる、研究の基本力を指導します。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容】 それぞれの担当者のテーマのもと、読む・考える・書くというテクニカル・スキルを養成します。</p> <p>【方法】 文献の探し方や読み方、論理的・効果的な発表の仕方、レジュメの作成方法等、これからの本格的なゼミの活動で不可欠な基礎的事項を実践します。</p> <p>【事前事後学習課題】 毎回の授業で指定します。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">番号</th> <th style="width: 40%;">書籍名</th> <th style="width: 30%;">著者名</th> <th style="width: 20%;">出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">番号</th> <th style="width: 40%;">書籍名</th> <th style="width: 30%;">著者名</th> <th style="width: 20%;">出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	それぞれ50点満点で採点して、合算します。 担当回は、到達度判定レポートによってつけます。																
学生へのメッセージ	冷たいあたまと熱いハート、この二つを演習を通じて鍛錬しよう。																
担当者の研究室等	橋本 七号館4階 小川 七号館4階																
備考	【事前事後学習時間の目安】 橋本・小川ともに、毎回の授業準備が各2時間、到達度判定レポート16時間																

科目名	基礎教養演習 I a	科目名 (英文)	Seminar on Basic Skills Competency Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	橋本 正俊
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	社会人として活躍する上で欠かせなく、また企業や社会から求められる基礎教養を身につける。 このクラスでは「現代社会についての基礎知識」を扱う。 政治、経済、法律、地理、歴史、社会ルール、時事問題などを学習し、学生それぞれの弱点を克服する。 また、教的処理や日本語運用についても、一部扱う。
到達目標	現代社会が抱える諸問題について、正確な知識を身につけ、説明できるようになる。
授業方法と留意点	就職活動時の採用試験で出されるような一般常識に関する問題を解き解説する。新聞記事も活用する。 毎回、各自が最新のニュースについて報告する。
科目学習の効果 (資格)	社会人になる上で必須の教養が身に付く。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	現代社会の諸問題	授業の説明 実力確認問題	事後：プリントの整理
	2	日本の政治	大震災からの復興	事前：プリントの予習 事後：小テストの復習
	3	日本の政治	憲法と政治の課題	事前：プリントの予習 事後：小テストの復習
	4	日本の政治	領土と隣の国々	事前：プリントの予習 事後：小テストの復習
	5	日本の経済	日本の借金	事前：プリントの予習 事後：小テストの復習
	6	日本の経済	アベノミクスと景気回復	事前：プリントの予習 事後：小テストの復習
	7	日本の経済	輸入に頼る資源と食	事前：プリントの予習 事後：小テストの復習
	8	暮らし	人口問題	事前：プリントの予習 事後：小テストの復習
	9	暮らし	社会保障	事前：プリントの予習 事後：小テストの復習
	10	社会環境	環境問題	事前：プリントの予習 事後：小テストの復習
	11	社会環境	科学技術と生命	事前：プリントの予習 事後：小テストの復習
	12	社会環境	東京オリンピック	事前：プリントの予習 事後：小テストの復習
	13	社会環境	情報社会	事前：プリントの予習 事後：小テストの復習
	14	国際	平和への道のり	事前：プリントの予習 事後：小テストの復習
		15	総括 最終確認テスト	まとめと解説

関連科目	基礎教養演習 I b
------	------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	毎回の小テスト・最終確認テスト 80% 授業への取り組み 20%
-----------	-------------------------------------

学生へのメッセージ	取り上げるのは大学生なら知っていなければならない教養です。ニュースや新聞が分かるようになります。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階(橋本研究室)
----------	--------------

備考	事前事後学習に、毎回1時間以上は必要。
----	---------------------

科目名	基礎教養演習 I b	科目名 (英文)	Seminar on Basic Skills Competency Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	門脇 薫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	社会人として活躍する上で欠かせなく、また企業や社会から求められる基礎教養を身につける。求められる四つの分野（日本語運用能力、教的处理、現代社会についての基礎知識、基礎的な英語力）のうち、このクラスでは「日本語運用能力」を扱う。言語科目とは違い、高校までの学習内容の復習を通じて、学生それぞれの弱点克服をはかる
到達目標	就職試験の言語運用力に関わるテスト形式に慣れ、時間制限内に解答し終えることができる。
授業方法と留意点	就職活動時の採用試験で出されるような単答式の問題を解いて、解説していく。
科目学習の効果（資格）	社会人になる上で必須の基礎教養が身につく。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	語彙（1）	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
3	語彙（2）	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
4	語彙（3）	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
5	文字・表記（1）	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
6	文字・表記（2）	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
7	慣用句（1）	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
8	慣用句（2）	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
9	慣用句（3）	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
10	文法（1）	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
11	文法（2）	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
12	文法（3）	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
13	敬語（1）	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
14	敬語（2）	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
15	総まとめ・確認テスト	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習

関連科目	基礎教養演習 I a
------	------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	毎回の練習問題、確認テスト及び授業における参加度
----------	--------------------------

学生へのメッセージ	日本語運用能力の弱点発見と克服をはかります。母語である日本語を客観的に見ることによって、様々な発見があるでしょう。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館4階(門脇研究室)
----------	--------------

備考	
----	--

科目名	基礎教養演習Ⅱ a	科目名 (英文)	Seminar on Basic Skills Competency IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	澤野 加奈
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	社会人として欠かせなく、また企業や社会から求められる基礎教養を身につける。求められる四つの分野（日本語運用能力、教的处理、現代社会についての基礎知識、基礎的な英語力）のうち、このクラスでは「日本語運用能力」を扱う。
到達目標	日本語を通して行われる社会活動が、円滑に支障なく行えるレベルを目指す。
授業方法と留意点	就職活動時の採用試験で出されるような単答式の問題を解いて、解説していく。
科目学習の効果（資格）	社会人になる上で必須の基礎教養が身に付く。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	同意語 1	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
3	同意語 2	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
4	反意語 1	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
5	反意語 2	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
6	慣用句 1	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
7	慣用句 2	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
8	語句の意味 1	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
9	語句の意味 2	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
10	言葉の働き	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
11	漢字、長文問題 1	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
12	敬語、長文問題 2	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
13	総復習	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
14	復習試験	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
15	まとめ	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習

関連科目	基礎教養演習Ⅱb
------	----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	授業参加度・取り組み（30%）、復習試験（70%）
----------	---------------------------

学生へのメッセージ	日本語運用能力の弱点発見と克服をはかります。
-----------	------------------------

担当者の研究室等	7号館2階（非常勤講師室）
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	基礎教養演習Ⅱ a	科目名 (英文)	Seminar on Basic Skills Competency IIA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	山口 尚
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	基礎的な数的・論理的思考能力は、現代社会を生きる上でますます重要視されるようになっていく。この授業では、主に問題演習を通じてそうした思考能力を養う。またとくに近年就職試験などで重視される数的処理科目への対応も行う。
到達目標	初等的な数学（すなわち中学・高校で学ぶ数学）の基礎的な部分をマスターすることを目指す。なぜなら、基礎をしっかりと押さえることが、数学をさまざまな場面で応用する際に、なによりも必要とされるからである。具体的には、計算・方程式、場合の数・確率、関数・グラフなどの諸単元の、最も基礎的な事項を漏れなく学ぶことを目指したい。
授業方法と留意点	板書およびプリント。授業内で演習問題を解き、後にその解説。ノート・筆記用具を携帯のこと。
科目学習の効果（資格）	SPI・公務員試験・各種就職試験の数学関連科目。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	計算・方程式(1)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	2	計算・方程式(2)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	3	計算・方程式(3)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	4	計算・方程式(4)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	5	計算・方程式(5)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	6	場合の数・確率・集合(1)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	7	場合の数・確率・集合(2)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	8	中間テストおよびグラフの入門	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	9	グラフ・図形・表記法(1)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	10	グラフ・図形・表記法(2)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	11	グラフ・図形・表記法(3)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	12	グラフ・図形・表記法(4)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	13	グラフ・図形・表記法(5)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	14	判断推理(1)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	15	判断推理(2)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。

関連科目	なし
------	----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	期末テスト、中間テスト（あわせて70%） 小テスト・レポート（あわせて30%） （ただし割合は変更することがあります。）
----------	--

学生へのメッセージ	数的・論理的思考能力を身につけるためには、実際に自分で手を動かして、あれこれ試したり、問題を解いたりすることがどうしても必要になります。授業では、実際に手を動かして問題を解いてもらう時間をできるだけたくさんもうけます。数的・論理的思考能力は、正しく努力をすれば必ず伸びます。がんばってついて来てください。
-----------	--

担当者の研究室等備考	面談を希望する際は授業中に示す連絡先に連絡してください。
------------	------------------------------

科目名	基礎教養演習Ⅱ a	科目名(英文)	Seminar on Basic Skills Competency IIA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	木宮 正裕
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	基礎的な教養を身につけることが、この講座の目的です。 特に、この授業では、基礎～標準(一部応用)レベルの4択問題演習を行うことによって、基礎的な英語力を養うことを目的とします。高校までの学習内容を復習しながら、これまで各人が積み残してきた弱点を克服することを目標とします。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・文型理解を深め、それにもとづいて、解答を導くこと。 ・自動詞と他動詞の区別ができること。 ・能動態→受動態、4文型→3文型、分詞構文といった、文の書き換えができること。 ・英語の慣用表現を覚えること。
授業方法と留意点	単答式問題を解きながら、文法事項や注意点を確認していきます。 また、毎回、前週でやったことの復習をするために、10点満点での確認テストを行います。
科目学習の効果(資格)	3年次・4年次での専門的な学習に向けての、基礎学力(英文法)の再強化となります。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	ガイダンスとプレ・テスト	授業内容の概要説明と、スタート時の実力確認	—————
2	名詞・冠詞・代名詞	問題演習、解答と解説	間違った箇所の復習 (確認テストのための勉強)
3	形容詞・副詞	問題演習、解答と解説	間違った箇所の復習 (確認テストのための勉強)
4	動詞・文型 - 1 (SV・SVC・SVO)	問題演習、解答と解説	間違った箇所の復習 (確認テストのための勉強)
5	動詞・文型 - 2 (SV00・SVOC)	問題演習、解答と解説	間違った箇所の復習 (確認テストのための勉強)
6	動詞の時制	問題演習、解答と解説	間違った箇所の復習 (確認テストのための勉強)
7	能動態・受動態	問題演習、解答と解説	間違った箇所の復習 (確認テストのための勉強)
8	疑問文・疑問詞	問題演習、解答と解説	間違った箇所の復習 (確認テストのための勉強)
9	関係詞	問題演習、解答と解説	間違った箇所の復習 (確認テストのための勉強)
10	助動詞	問題演習、解答と解説	間違った箇所の復習 (確認テストのための勉強)
11	不定詞・動名詞	問題演習、解答と解説	間違った箇所の復習 (確認テストのための勉強)
12	比較	問題演習、解答と解説	間違った箇所の復習 (確認テストのための勉強)
13	分詞	問題演習、解答と解説	間違った箇所の復習 (確認テストのための勉強)
14	仮定法	問題演習、解答と解説	間違った箇所の復習 (確認テストのための勉強)
15	接続詞	問題演習、解答と解説	間違った箇所の復習 (定期テストのための勉強)
		これまでの総復習	

関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1																
	2																
3																	

参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1																
	2																
3																	

評価方法(基準)	定期試験を実施(100%) (ただし、確認テストの点数を考慮することもあります。)
学生へのメッセージ	授業時間中だけの学習で弱点を克服するのは難しいことです。しっかり事後学習を行い、確実に実力を身につけましょう。特に、毎回の確認テストは、しっかり点数が取れるように頑張ってください。 また、分からないところがあれば質問してください。
担当者の研究室等備考	授業時間外の質問・問い合わせの方法については、第1回の授業で指示します。

科目名	基礎教養演習Ⅱb	科目名(英文)	Seminar on Basic Skills Competency Iib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	丹下 暖子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	社会人として活躍する上で欠かせなく、また企業や社会から求められる基礎教養を身につける。求められる四つの分野、日本語運用能力、数的処理、現代社会についての基礎知識、基礎的英語力のうち、このクラスでは「現代社会についての基礎知識」と歴史を扱う。政治、経済、法律、地理、歴史、社会ルール、時事問題などを学習し、学生それぞれの弱点を克服する。
到達目標	苦手意識を取り除き、就職活動時の採用試験で出される問題に慣れることができる。
授業方法と留意点	就職活動時の採用試験で出されるような一般常識に関する問題を解いて、解説していく。新聞記事も適宜活用する。各自関心のある時事問題の一つを選び、それについて授業中に発表する。
科目学習の効果(資格)	社会人になる上で必須の教養が身につく。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	ガイダンス、プレ・テスト	授業の目的、進め方の説明、スタート時の実力の確認	間違ったところの復習
	2	日本の地理	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
	3	世界の地理	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
	4	日本の歴史	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
	5	世界の歴史	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
	6	文化	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
	7	憲法	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
	8	政治①	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
	9	政治②	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
	10	法律	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
	11	経済	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
	12	国際社会のしくみ	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
	13	時事問題①	前回の内容の確認、実力チェック問題、解答と解説	間違ったところの復習
	14	復習テスト、時事問題②	復習テスト、解答と解説	間違ったところの復習
	15	まとめ	これまでの授業内容の確認と復習	間違ったところの復習

関連科目	基礎教養演習Ⅱa
------	----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業への取り組み、発表など(50%)、復習テスト(50%)
----------	-------------------------------

学生へのメッセージ	練習問題と解説を通して、弱点の発見と克服を目指します。新聞やニュースにも目を向け、最新の社会情勢に敏感になってください。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	基礎教養演習 II b	科目名 (英文)	Seminar on Basic Skills Competency Iib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	澤野 加奈
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	社会人として欠かせなく、また企業や社会から求められる基礎教養を身につける。求められる四つの分野（日本語運用能力、教的处理、現代社会についての基礎知識、基礎的な英語力）のうち、このクラスでは「日本語運用能力」を扱う。
到達目標	日本語を通して行われる社会活動が、円滑に支障なく行えるレベルを目指す。
授業方法と留意点	就職活動時の採用試験で出されるような単答式の問題を解いて、解説していく。
科目学習の効果（資格）	社会人になる上で必須の基礎教養が身に付く。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	同意語 1	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
3	同意語 2	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
4	反意語 1	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
5	反意語 2	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
6	慣用句 1	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
7	慣用句 2	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
8	語句の意味 1	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
9	語句の意味 2	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
10	言葉の働き	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
11	漢字、長文問題 1	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
12	敬語、長文問題 2	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
13	総復習	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
14	復習試験	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習
15	まとめ	前回の内容の確認 実力チェック問題 解答と解説	間違ったところの復習

関連科目	基礎教養演習 IIb
------	------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	授業参加度・取り組み（30%）、復習試験（70%）
----------	---------------------------

学生へのメッセージ	日本語運用能力の弱点発見と克服をはかります。
-----------	------------------------

担当者の研究室等	7号館2階（非常勤講師室）
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	基礎教養演習Ⅱb	科目名(英文)	Seminar on Basic Skills Competency Iib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	山口 尚
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	基礎的な数的・論理的思考能力は、現代社会を生きる上でますます重要視されるようになっていく。この授業では、主に問題演習を通じてそうした思考能力を養う。またとくに近年就職試験などで重視される数的処理科目への対応も行う。
到達目標	初等的な数学(すなわち中学・高校で学ぶ数学)の基礎的な部分をマスターすることを目指す。なぜなら、基礎をしっかりと押さえることが、数学をさまざまな場面で応用する際に、なによりも必要とされるからである。具体的には、計算・方程式、場合の数・確率、関数・グラフなどの諸単元の、最も基礎的な事項を漏れなく学ぶことを目指したい。
授業方法と留意点	板書およびプリント。授業内で演習問題を解き、後にその解説。ノート・筆記用具を携帯のこと。
科目学習の効果(資格)	SPI・公務員試験・各種就職試験の数学関連科目。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	計算・方程式(1)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	2	計算・方程式(2)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	3	計算・方程式(3)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	4	計算・方程式(4)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	5	計算・方程式(5)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	6	場合の数・確率・集合(1)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	7	場合の数・確率・集合(2)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	8	中間テストおよびグラフの入門	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	9	グラフ・図形・表記法(1)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	10	グラフ・図形・表記法(2)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	11	グラフ・図形・表記法(3)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	12	グラフ・図形・表記法(4)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	13	グラフ・図形・表記法(5)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	14	判断推理(1)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。
	15	判断推理(2)	問題演習・解説	特に課さないが、授業中回答できなかった問題は後にできるまで学習することが望ましい。

関連科目	なし
------	----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	期末テスト, 中間テスト(あわせて70%) 小テスト・レポート(あわせて30%) (ただし割合は変更することがあります。)
----------	---

学生へのメッセージ	数的・論理的思考能力を身につけるためには、実際に自分で手を動かして、あれこれ試したり、問題を解いたりすることがどうしても必要になります。授業では、実際に手を動かして問題を解いてもらう時間をできるだけたくさんもうけます。数的・論理的思考能力は、正しく努力をすれば必ず伸びます。がんばってついて来てください。
-----------	--

担当者の研究室等備考	面談を希望する際は授業中に示す連絡先に連絡してください。
------------	------------------------------

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	天野 貴史
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する</p> <p>【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってきてください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館3階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	有馬 善一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する 【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってきてください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館4階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	上田 達
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する 【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館5階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	瀬戸 宏
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する 【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館3階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	田中 健二
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する 【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館3階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	鳥居 祐介
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する</p> <p>【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館3階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	西川 眞由美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する 【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館4階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	家口 美智子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する 【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってきてください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館4階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	木本 浩一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する 【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館5階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	浅野 英一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する 【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってきてください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館5階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	門脇 薫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する 【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館4階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	後藤 一章
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する 【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってきてください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館5階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	齋藤 安以子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する 【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館4階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	中島 直嗣
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する 【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館4階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	原 秀禎
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する 【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館5階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	皆本 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する 【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館4階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	神崎 舞
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する 【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館5階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	木本 浩一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 目的：日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																
到達目標	他者と話し合うことができる。 必要な情報を調べ、整理することができる。 分かりやすく発表することができる。																
授業方法と留意点	1 ゼミ当たり十数名のクラスで、プレゼンテーション、レシテーションなども交えて進める。個人ないしはグループでテーマを設定し、成果を発表する。 また、「日本語テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を実施し、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目以降： 本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する 取り組むテーマを決める 必要な資料を集める 資料を作成する 発表する 【事前・事後学習課題】 毎回与えられた課題に取り組む。 日本語・時事問題テストの予習・復習をする。 発表のための資料作成・準備をする。 (合計 30h)																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない																
学生へのメッセージ	必ず予習と復習をやってください。 授業には積極的に参加してください。																
担当者の研究室等	7号館5階																
備考	プリントを配布します。																

科目名	基礎マレー語 a	科目名 (英文)	Basic Malay Language a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	上田 達
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本講義はマレーシアなどで話されるマレー語 (Bahasa Melayu) の基礎的な運用能力の習得を目指す。インドネシア語との相違に適宜言及しつつ、実際にマレー語に触れる機会を多く持つことで、マレー語学習の礎を築くことを目指す。読む・書く・聞く・話す力のバランスに考慮しながら講義を進める。			
到達目標	マレー語の運用能力の基礎を得る。			
授業方法と留意点	確認テストの他にも課題を出すので、予習と復習をしっかりと行うこと。			
科目学習の効果 (資格)				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	講義概要および講義の進め方について説明する。マレー語がどのような国で話され、どのような歴史的背景をもつ言語であるのかを概説する。	練習問題に取り組むこと。
	2	あいさつ、呼びかけ	マレー語の挨拶について学習する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	3	単語、綴り、発音 1	語彙と発音に注目しながら、マレー語の特徴を概説する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	4	単語、綴り、発音 2	語彙と発音に注目しながら、マレー語の特徴を概説する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	5	表現	マレー語独特の言い回しについて解説する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	6	復習 1	既習事項 (表現、語彙) について復習するとともに、理解力を問うための確認テストを行う。	既習事項の確認
	7	文法 1	マレー語の名詞について解説する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	8	文法 2	マレー語の形容詞について解説する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	9	文法 3	マレー語の動詞について解説する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	10	文法 4	マレー語の動詞について解説する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	11	復習 2	既習事項 (表現、語彙) について復習するとともに、理解力を問うための確認テストを行う。	既習事項の確認
	12	演習 1	既習事項をふまえてマレー語で自己紹介文を作成する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	13	演習 2	マレーシアの小学生程度を読者に想定した簡単なマレー語文を講読する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	14	復習 3	既習事項 (発音、文法、表現、語彙) について復習するとともに、理解力を問うための確認テストを行う。	既習事項の確認
	15	総合復習	確認テストに対する講評と、既習事項についてのフォローアップを行う。	確認テストの復習と演習課題に取り組むこと。
関連科目	基礎マレー語 b			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	マレーシア語辞典ポケット版	小野沢純、本田智津絵	大学書林
	2	基礎マレー語	上田達	
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	三回に分けて行う確認テスト (70%) と提出物等の授業への取り組み (30%) から総合的に評価する。詳細は一回目の授業時に指示する。			
学生へのメッセージ	わからないことがあれば、いつでも質問に来てください。			
担当者の研究室等	7号館5階 (上田研究室)			
備考	拙著の教科書は第一回目の授業時に頒布する。辞書は一回目の授業から使用するので購入しておくこと。			

科目名	基礎マレー語 b	科目名 (英文)	Basic Malay Language b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	上田 達
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本講義はマレーシアなどで話されるマレー語 (Bahasa Melayu) の基礎的な運用能力の習得を目指す。実際にマレー語に触れる機会を多く持つことで、マレー語学習の礎を築くことを目指す。読む・書く・聞く・話す力のバランスに考慮しながら講義を進める。
到達目標	マレー語の基礎的な運用能力を獲得する。

授業方法と留意点	確認テストの他にも課題を出すので、予習と復習をしっかりと行うこと。
----------	-----------------------------------

科目学習の効果 (資格)	
--------------	--

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	文法 1	マレー語の kata bantu について解説する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。
3	文法 2	マレー語の前置詞について解説する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。
4	文法 3	マレー語の前置詞と kata arah について解説する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。
5	復習 1	既習事項 (文法、語彙) について復習するとともに、理解力を問うための確認テストを行う。	既習事項の復習に努めること。
6	文法 4	マレー語の接続詞について解説する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。
7	文法 5	マレー語の接続詞について解説する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。
8	表現 1	簡単な地図をもとに、位置関係などを説明する文章を作成する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。
9	表現 2	グラフや表を説明する文章を作成する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。
10	復習 2	既習事項 (文法、表現) について復習するとともに、理解力を問うための確認テストを行う。	既習事項の復習に努めること。
11	演習	マレーシアで実施されている中学生向けのマレー語試験に挑戦する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。
12	基礎講読 1	新聞の投書など短い文章を講読する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。
13	基礎講読 2	新聞の投書など短い文章を講読する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。
14	復習 3	既習事項 (文法、表現) について復習するとともに、理解力を問うための確認テストを行う。	既習事項の復習に努めること。
15	総合復習	確認テストについての講評と既習事項のフォローアップを行う。	既習事項の復習と演習課題にとりくむこと。

関連科目	基礎マレー語 b
------	----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	マレーシア語辞典ポケット版	小野沢純、本田智津絵	大学書林
	2	基礎マレー語	上田達	
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	三回に分けて行う確認テスト (70%) と提出物等の授業への取り組み (30%) から総合的に判断する。
-----------	--

学生へのメッセージ	わからないことがあれば、いつでも質問に来てください。
-----------	----------------------------

担当者の研究室等	7号館5階 (上田研究室)
----------	---------------

備考	拙著の教科書は第一回目の授業時に頒布する。辞典は初回から使用するので用意しておくこと。
----	---

科目名	暮らしの中の文化	科目名(英文)	Cultures in Daily Life
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	木本 浩一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	暮らしの中で積み重ねられ、暮らしの中に刻まれてきた「暮らし方」を、文化という視点から考察します。今年度は特に、暮らしの中で使われてきた「道具(用具)」、暮らしを取り巻いてきた「容器」に着目します。
到達目標	以下の諸点を目指します。 1) 技術、生活、暮らし、道具(用具)などの概念について理解できる。 2) 暮らしの中で培われてきた「工夫」についての知識を得ることができる。 3) 以上によって得られた概念や知識を用いることによって、より大きな社会について具体的にイメージすることができるようになる。
授業方法と留意点	プリント、スライド(パワーポイント)などを用いて授業を進める。
科目学習の効果(資格)	生活や文化といった抽象的な概念について、具体的な「モノ」を通じて考えることができ。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション ー暮らしと文化ー	・授業の進め方 ・暮らしと文化をキーワードとして、授業の目的や枠組みについて説明する。	【事前】「暮らし」「文化」といったキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
2	暮らしの因数分解 (1)	・暮らしとは何か?について検討します。 ・インド、ロシア、スコットランドなど、様々な地域の暮らしをみます(スライド利用)。	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
3	暮らしの因数分解 (2)	・前回の続き ・暮らしと文化の関係について考えます。	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
4	暮らしの因数分解 (3)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
5	台所の暮らし (1)	・台所用品の歴史(近世、近代)	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
6	台所の暮らし (2)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
7	台所の暮らし (3)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
8	台所の暮らし (4)	・台所用品の生産・流通・使用	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
9	台所の暮らし (5)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
10	暮らしを支える容器 (1) ー暮らしからみたインフラー	・道路、水路、上下水道など	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
11	暮らしを支える容器 (2)	・電気・電器	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
12	暮らしを支える容器 (3)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
13	暮らしの仕草 (1) ー暮らし方の歴史ー	・道具(用具)の変化にともなう、暮らしの変化について考察する。	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
14	暮らしの仕草 (2)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
15	暮らしと文化 ーまとめー	・暮らしと文化について、まとめる。	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。

関連科目	「多文化の共生」「風土と地理」
------	-----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	毎回の課題、小テストなどを総合して評価する。
学生への メッセージ	暮らしをキーワードにして、生活の中をのぞいてみましょう。
担当者の 研究室等	木本研究室 (7号館 5階)
備考	

科目名	グラマー	科目名(英文)	Grammar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	西 美都子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目(高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	英語のさまざまな言語構造や性質を、体系的にまとめるための文法学習を行う。コミュニケーションに必要な「使える」文法力を養う。
到達目標	点数を取るための英文法ではなく、発信、受信を問わず、コミュニケーションの土台となる英語の基本的な構造が理解できるようになることを目指す。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual task pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual task pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual task pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual task pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual task pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual task pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual task pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual task pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual task pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual task pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual task pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual task pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual task pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises	Individual task pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	Reading, College writing, Skills Training
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	English Locomotion - 参加して学ぶ総合英語	JACET 教材開発研究会	成美堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	<p>授業への取り組み・発表、小テスト、復習テストから総合的に評価する。</p> <p>原則として、4回以上休んだ場合(正式な証明が可能な公休および大学指定の伝染病による欠席は除く)単位が取得できる見込みはありません。テキスト(教科書)を忘れた場合、また私語などの授業妨害行為、許可のない途中退室などの行為があった場合は、当該の授業を欠席したものと扱います。</p> <p>その他の詳細は、第1回目の授業で詳しく説明します。受講予定者は必ず出席してください。</p>
----------	---

学生へのメッセージ	外国語は自分から学ぶ姿勢が重要です。再履修だからといって評価基準が甘くなることはありません。毎回出席し、予習・復習もしっかりおこなってください。また、授業外の場面でも色々な分野での情報収集・知識習得に励んで下さい。間違えることを恐れず、積極的に授業に参加してくれることを期待しています。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	授業では、教科書と併せて英和辞書(電子辞書可/高校英語以上に対応できるレベルのもの)も使用するので、毎回必ず持参すること。教科書と辞書は1回目の授業から使用する予定です。教科書の販売期間中に早めに購入してください。事前・事後学習にかかる総時間はおよそ15時間とする。
----	---

科目名	Global Issues	科目名(英文)	Global Issues
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	大原 一浩
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	近年国家間の人やモノ、情報の動きが活発になり、一国内で起きている問題を、世界の動きのなかで理解する必要性が増しています。将来英語を使って世界の人々と交流していく皆さんには、こうしたグローバルな視点を身につけておくことが大切になります。各回異なるテーマを扱いながら、これから日本はどのように国内外の問題に取り組んでいくべきか、広い視点から考えます。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 世界で起きている様々な問題についての理解を高める。 関連する短い英文記事を読めるようになる。 問題を設定し、それについて調べ、効果的に表現できる。
授業方法と留意点	テキストの読解により一般的な情報を得たあとで、具体例の考察を通じ、さらにテーマへの理解を深めていきます。
科目学習の効果(資格)	社会人に必要な時事問題の知識。問題を設定し、調べ、文章にまとめるスキルの習得。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	イントロダクション	授業内容・方法の説明	復習
2	Stereotype and Racism (ステレオタイプと人種差別)	Teaching children how to discriminate (子供への差別教育)	復習
3	Information and Communication (情報とコミュニケーション)	Do cell phones make our world convenient? (携帯電話は便利?)	復習
4	Culture and Fashion (文化とファッション)	Can fashion change the world? (ファッションは文化を作る)	復習
5	Health (健康)	Healthy food can improve mental health (健康な食事で健全な精神)	復習
6	Food (食料)	Food waste and hunger (余る食物、足りない食物)	復習
7	Food and Population (食糧問題と世界の人口)	Impact of population change (高齢化問題)	復習
8	Global Warming (温暖化)	Global climate change (地球規模の気候変動)	復習
9	Energy (エネルギー)	Energy resource (エネルギー源)	復習
10	Ecosystem and Humans (エコシステムと人間)	Coral reefs (サンゴ礁)	復習
11	Endangered Species (絶滅危惧種)	How do animals become endangered? (動物はどのようにして絶滅危惧になるのか?)	復習
12	International Relationships (国際関係)	Foreign aid: Why do we have to help other countries? (外国援助: 援助はなぜするのでしょうか?)	復習
13	War and Peace (戦争と平和)	Wars? past and present (戦争の今と昔)	復習
14	Human Rights (人権)	What are human rights? (人権とは?)	復習
15	まとめ	確認テストと解説	復習

関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『CLIL 英語で学ぶ国際問題』(CLIL Global Issues)</td> <td>笹島茂他</td> <td>三修社</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	『CLIL 英語で学ぶ国際問題』(CLIL Global Issues)	笹島茂他	三修社	2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1	『CLIL 英語で学ぶ国際問題』(CLIL Global Issues)	笹島茂他	三修社													
	2																
3																	

参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1																
	2																
3																	

評価方法(基準)	レポート(50%) 確認テスト(50%)
学生へのメッセージ	まず世界で起きていることへの意識を高めるために、新聞(とくに国際面)を毎日読む習慣を身につけましょう。興味を持った問題を、さらに本やネットなどで調べ、多角的な視点から考えてみるのが望ましい。
担当者の研究室等	7号館5階 大原研究室
備考	授業スケジュール等に多少の変更の可能性があるため、初回の授業に必ず出席すること。 資料の読み込み、教科書の予習など、事前事後学習にかかる総時間数を15時間程度とする。

科目名	芸能と文化	科目名(英文)	Popular Entertainment and Culture
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	岩間 香
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	芸能は演者、観客、庇護者により生み出される文化である。この講義では日本独特の文化として紹介されること多い茶の湯、立花、能、狂言、歌舞伎、文楽、話芸を取り上げる。その源流、変遷、特徴を知り、作品鑑賞の方法を身につけることを目指す。実地体験を織り交ぜる。
到達目標	日本の古典芸能に関する基礎的な知識を身につける。すなわち古典芸能の歴史、用語、代表的な演目、演者、鑑賞の仕方などについて知る。
授業方法と留意点	毎回スライド・ビデオを使用する。
科目学習の効果(資格)	日本の代表的な芸能に対する理解を深める。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	遊芸 茶の湯(2)	侘び茶 千利休	本・WEB・ビデオで茶の湯について調べる
3	遊芸 茶の湯(3)	千宗旦 家元制度	本・WEB・ビデオで茶の湯の作法を見る
4	遊芸 立花(1)	立花 池坊専好	本・WEB・ビデオで立花を見る
5	遊芸 立花(2)	大名の立花 家元制度	本・WEB・ビデオで立花を見る
6	舞台芸 能(1)	散楽 猿楽四座	本・WEB・ビデオで能を見る
7	舞台芸 能(2)	世阿弥 夢幻能	本・WEB・ビデオで能を見る
8	舞台芸 能(3)	桃山時代の能 江戸時代の流派	本・WEB・ビデオで能を見る
9	舞台芸 狂言	歴史 流派	本・WEB・ビデオで狂言を見る
10	舞台芸 文楽	人形劇の歴史 近松門左衛門	本・WEB・ビデオで文楽を見る
11	舞台芸 歌舞伎(1)	江戸の荒事 市川団十郎の系譜	本・WEB・ビデオで歌舞伎を見る
12	歌舞伎(2)	上方の和事 坂田藤十郎の系譜	本・WEB・ビデオで歌舞伎を見る
13	舞台芸 歌舞伎(3)	舞台・演出の革新 幕末の歌舞伎	本・WEB・ビデオで歌舞伎を見る
14	語り芸	平家琵琶	本・WEB・ビデオで平家琵琶を調べる
15	話芸	落語 講談	本・WEB・ビデオで落語・講談を見る

関連科目	日本の歴史・美術のあゆみ・文化と表現
------	--------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	定期試験80%、小レポート20% 受講態度を加味する。
----------	--------------------------------

学生へのメッセージ	実際の舞台や芸能を見ることを勧める。
-----------	--------------------

担当者の研究室等	7号館5階(岩間研究室)
----------	--------------

備考	
----	--

科目名	芸能文化論	科目名(英文)	Studies in Popular Entertainment
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	岩間 香
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	芸能は演者、観客、庇護者により生み出される文化である。この講義では日本独特の文化として紹介されること多い茶の湯、立花、能、狂言、歌舞伎、文楽、話芸を取り上げる。その源流、変遷、特徴を知り、作品鑑賞の方法を身につけることを目指す。実地体験を織り交ぜる。			
到達目標	日本の古典芸能に関する基礎的な知識を身につける。すなわち古典芸能の歴史、用語、代表的な演目、演者、鑑賞の仕方などについて知る。			
授業方法と留意点	毎回スライド・ビデオを使用する。			
科目学習の効果(資格)	日本の代表的な芸能に対する理解を深める。			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	遊芸 茶の湯(1)	茶の湯の源流 室町文化	本・WEB・ビデオで室町文化について調べる
	2	遊芸 茶の湯(2)	侘び茶 千利休	本・WEB・ビデオで茶の湯について調べる
	3	遊芸 茶の湯(3)	千宗旦 家元制度	本・WEB・ビデオで茶の湯の作法を見る
	4	遊芸 立花(1)	立花 池坊専好	本・WEB・ビデオで立花を見る
	5	遊芸 立花(2)	大名の立花 家元制度	本・WEB・ビデオで立花を見る
	6	舞台芸 能(1)	散楽 猿楽四座	本・WEB・ビデオで能を見る
	7	舞台芸 能(2)	世阿弥 夢幻能	本・WEB・ビデオで能を見る
	8	舞台芸 能(3)	桃山時代の能 江戸時代の流派	本・WEB・ビデオで能を見る
	9	舞台芸 狂言	歴史 流派	本・WEB・ビデオで狂言を見る
	10	舞台芸 文楽	人形劇の歴史 近松門左衛門	本・WEB・ビデオで文楽を見る
	11	舞台芸 歌舞伎(1)	江戸の荒事 市川団十郎の系譜	本・WEB・ビデオで歌舞伎を見る
	12	歌舞伎(2)	上方の和事 坂田藤十郎の系譜	本・WEB・ビデオで歌舞伎を見る
	13	舞台芸 歌舞伎(3)	舞台・演出の革新 幕末の歌舞伎	本・WEB・ビデオで歌舞伎を見る
	14	語り芸	平家琵琶	本・WEB・ビデオで平家琵琶を調べる
	15	話芸	落語 講談	本・WEB・ビデオで落語・講談を見る
関連科目	日本の歴史・美術のあゆみ・文化と表現			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	定期試験80%、小レポート20% 受講態度を加味する。			
学生へのメッセージ	実際の舞台や芸能を見ることを勧める。			
担当者の研究室等	7号館5階(岩間研究室)			
備考				

科目名	言語学	科目名(英文)	Linguistics
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	山口 真佐夫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業の目的は「言語」とは何かを理解し、また「言語」に対する知識を深めることにある。より深く言語を理解し、言語の多様性と共通性を理解することは、外国語学習のためにも必要な知識である。
到達目標	「言語学」という学問分野を理解し、外国語学習に役立てることができる。
授業方法と留意点	授業は講義形式で行われるが、受講生ができるだけ参加できるようにする。
科目学習の効果(資格)	多様な言語のしくみを深く知ることができる。音声学と合わせて3・4年次のゼミや教職関連や大学院進学にも役立つ。また、現在学んでいる主言語、共通言語に対する学習効果の向上も期待できる。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	言語と言語学	言語とは何か。どのような役割を持っているのかを理解する。また、「言語学」と「言語」についても説明する。	授業内容について復習すること。
3	日本語と外国語	なぜ外国語を学ぶのか。	各自で、今学んでいる主言語、共通言語をなぜ選んだかを考えておくこと。
4	世界の言語 1	世界にはいくつくらい言語が存在するのか、そして自分たちが学んでいる言語はどのような位置づけにあるのかを理解する。	各自が学んでいる主言語、共通言語が世界の中でどのような位置づけかを考えておくこと。
5	世界の言語 2 (比較言語学)	次回までに、言語はどのように分類されるのか。そして自分たちが学んでいる言語はどのように分類されるのかを理解する。	次回までに、各自が学んでいる主言語、共通言語がどのように分類されるか理解しておくこと。
6	言語と国、社会とのかかわり (社会言語学)	国語、公用語の社会における言語の役割を考える。(社会言語学)	各自が学んでいる主言語、共通言語が使われている国の言語状況について考えておくこと。
7	言語の構造	言語はどのような構造を持っているのかを理解する。	各自が学んでいる主言語、共通言語について、どのような特徴を持っているかを考えておくこと。
8	音素 (音韻論)	外国語を学ぶための「発音」とは何かを理解する。様々な言語における音素を理解する。どのような要素がどのような役割を持っているのか学ぶ。	各自が学んでいる主言語、共通言語の発音を理解しておくこと。
9	アクセント、声調、呼吸段落	アクセント、声調、呼吸段落等の役割を説明する。	各自が学んでいる主言語、共通言語に発音上の特徴があるか、考えておくこと。
10	文字 1	文字の歴史、系統について、例を挙げ説明する。	各自が学んでいる主言語、共通言語にはどのような文字が使われているか理解しておくこと。
11	文字 2	世界で現在使われている文字について説明する。	各自が学んでいる主言語、共通言語についてどのようなシステムの文字が使われているか理解しておくこと。
12	形態素 1 (形態論)	単語はどのように出来上がっているのか。	各自が学んでいる主言語、共通言語についてどのように単語が成り立っているのかを理解しておくこと。
13	形態素 2 (形態論)	単語はどのように変化するのか。	各自が学んでいる主言語、共通言語についてどのような語形変化があるか、理解しておくこと。
14	語彙、単語の意味 (意味論)	外国語の意味をどうとらえるか。	各自が学んでいる主言語、共通言語について意味の上からの特徴を考えておくこと。
15	総復習	理解度確認テスト	総復習

関連科目	音声学・各言語科目等。
------	-------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	必要に応じてプリントを配布する。		
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	適宜指示する。		
2				
3				

評価方法(基準)	課題と平常点と臨時試験によって評価する。
----------	----------------------

学生へのメッセージ	この授業は、外国語学部で外国語を学ぶための基礎知識を身につけるための授業です。そして、「言語学」という学問分野についての入門もできます。
-----------	--

担当者の研究室等	【担当者の研究室等】 7号館 5階 (山口研究室)
----------	------------------------------

備考	指示された事前・事後学習課題には充分時間をかけ、学習効果を上げるようにすること。
----	--

科目名	現代学術論	科目名(英文)	Modern Scientific Ideas
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	島田 喜行
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	わたしたちの生きているこの世界のなかには、じつに多種多様な知見(世界の見方・捉え方)が存在している。その多様な知見のなかで、今日の日常生活において非常に重要な位置を占めているものが自然科学に由来する知見である。そこで本講義の前半では、フッサールの「生世界」論を手引きとして、私たちの生にとって科学(自然科学的な世界の見方)がどのような意義をもつのかについて考えてみたい。 さらに講義の後半では、私たちがその生のなかで、さまざまな新たな知見(世界の見方)を獲得することにはどのような意味があるのか、そこにはどのような問題が含まれているのかという根本的な問題について、「コミュニケーション」と「異文化理解」という観点から考究していきたい。
到達目標	以下の項目の理解を到達目標とする。 (1) 自然科学の基礎についての理解 (2) 科学論の諸相についての理解 (3) コミュニケーションおよび異文化理解の構造についての理解
授業方法と留意点	ノート講義方式 講義内容の理解を問うコメントカードの提出と数回的小テストを中心に平常点を評価する。
科目学習の効果(資格)	わたしたちにとって自明なものと思われる「生きること」を、科学論やコミュニケーション論という観点から批判的に検討することで生についての新たな発見がえられる。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	イントロダクション	講義の説明	特になし
2	「生世界」について	私と世界とはどのような関係にあるのか	予習 フッサールの思想について調べる
3	科学論の基礎(1)	観察すること(見ること)に関わる先入見の問題、N・R・ハンソンの「理論負荷性」について	事後学習 講義ノートの復習
4	科学論の基礎(2)	自然科学の源流としてのフランシス・ベーコン	予習 フランシス・ベーコンについて調べる
5	科学論の基礎(3)	人間にとって技術とは何か	事後学習 講義ノートの復習
6	科学論の諸相(1)	科学と疑似科学の線引き問題について	事後学習 講義ノートの復習
7	科学論の諸相(2)	「トランス・サイエンス」とは何か	事後学習 講義ノートの復習
8	科学論の諸相(3)	現代の科学技術が生み出す問題	事後学習 講義ノートの復習
9	生世界とコミュニケーション(1)	コミュニケーションとは何か	事後学習 講義ノートの復習
10	生世界とコミュニケーション(2)	コミュニケーション倫理学の基礎	事後学習 講義ノートの復習
11	生世界とコミュニケーション(3)	J・ハーバーマスの思想	予習 ハーバーマスについて調べる
12	生世界と異文化理解(1)	この世界のなかでさまざまな他者ととも生きるとはどういうことか、責任(responsibility)とは何か	事後学習 講義ノートの復習
13	生世界と異文化理解(2)	E・サイードの「オリエンタリズム」の思想	予習 サイードについて調べる
14	生世界と異文化理解(3)	E・リーチの『文化とコミュニケーション』について	予習 リーチについて調べる
15	まとめ	講義のふりかえり	事後学習 講義ノートの復習

関連科目	基礎、教養科目全般
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ヨーロッパ諸学の危機と超越論的現象学	E・フッサール(細谷恒夫・木田元訳)	中央公論新社
2	疑似科学と科学の哲学	伊勢田哲治	名古屋大学出版会	
3				

評価方法(基準)	定期試験 60%、平常点(小テストとコメントペーパー、受講態度、出席状況) 40%。
----------	--

学生へのメッセージ	講義で取り上げるさまざまな「世界の見方」を通して、今皆さんがもっている「世界の見方」について改めて考えてみませんか。私語、携帯電話の使用等で、講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。
-----------	--

担当者の研究室等	非常勤講師室
----------	--------

備考	上述の参考書以外の文献については、講義中に適宜紹介する。
----	------------------------------

科目名	現代社会論	科目名(英文)	Modern Society
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	浦野 崇央
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	昨今、私たちの日常において、「少子化」や、「女子会」、「アラフォー(around forty)」、「婚活」、「イクメン」、「パワハラ」といった新しい概念をもった言葉が頻繁に使われ、それをめぐる言説が展開されている。これらの言葉や言説はまさに、現代社会を象徴しているものであるといえよう。本講義においては、こういった言葉や言説をめぐり現象について、さまざまなレンズを使って見直してみることを通じて、私たちの住むこの社会の構造がいかなるものであるのかを明らかにする。なお、本講義では特に、社会と人との関わり合いの観点に焦点を絞ることとする。
到達目標	本講義を通じて、現代社会の姿を明らかとできると同時に、自身のふるまい方あるいは立ち位置を再確認することが可能となろう。
授業方法と留意点	本授業は、一方的な講義形式に終わらせること無く、出来るかぎり、学生諸君の生の声を取り入れていきたい。なお、本授業においては、遅刻は厳禁であるので、その点を留意されたい。
科目学習の効果(資格)	現代の社会現象を改めて見直すことを通じて、社会人としての基礎教養の獲得につながるであろう。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	「現代社会論」の目指すこと	「現代社会」の概念を把握し、今後へのステップとする。	新聞から「現代社会」を象徴していると思われる事柄を抜き出してみましょう。
2	社会のなかの「人」	「人」をテーマに、現代社会を捉えることの意義を考える。	現代社会のキーワードを考えてみましょう。
3	人間関係の社会学	現代社会における人間関係を客観的なまなざしをもって捉えなおす。	自身のアイデンティティは何なのかを考えてみましょう。
4	血液型性格判断からみえるもの	血液型性格判断を通じて、先入観の作られ方を探る。	配布プリントをよく読んでおきましょう。
5	占いからみえるもの	現代社会における各種占いの存在意義を探る。	いろいろな「占い」の結果で使われている表現を抜き出してみましょう。
6	人口減少社会の構造	日本における少子化現象を題材に、人口減少社会の構造について考察する。	「少子化」を説明できるようにしましょう。
7	人口減少社会の問題点	日本における少子化現象を題材に、人口減少社会の問題点について考察する。	配布プリントをよく読んでおきましょう。
8	各国の人口問題(人口減少社会と人口過剰社会の仕組み)	各国の人口問題を把握するとともに、各国が取り組んでいる施策について検討する。	日本以外の国の人口構造を把握しましょう。
9	セックスとジェンダー	男と女をめぐる固定観念について考える。	配布プリントをよく読んでおきましょう。
10	男と女の関係性	男と女を題材に、人が人を区別し、ひいてはそれが差別にいたることについての意味と構造を考える。	男の立場および女の立場でメリット・デメリットを考えてみましょう。
11	ハラスメントの構造	男と女、男と男、女と女の場面をめぐるセクシュアル/アカデミック/アルコール・ハラスメントにみられる権力構造についての考察を行なう。	配布プリントをよく読んでおきましょう。
12	個人と集団	自殺や犯罪という行為を事例に取り上げ、個人主義と集団主義について考える。	「社会規範」の意味について考えてみましょう。
13	家族の役割	現代社会における家族の意味と役割について考える。	自身の家族間での位置づけについて客観的に捉え直してみましょう。
14	「モノ」に翻弄される人びと	現代におけるコミュニケーション・ツール(たとえば、電話、携帯メール、インターネット、Facebook、LINE 等)の意味と役割を考える。	自身のコミュニケーション・ツールの使い方を見つめ直してみましょう。
15	まとめ	「人」「モノ」「コト」のかかわり合いの意味について考え、「現代社会」の意味づけおよびそれにあたって必要とされる眼差しについて総括する。	これまで何の学んだのかをまとめてみましょう。

関連科目	社会の探求、現代文化論
------	-------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	学期末の定期試験を実施する。 時にはレポートを課し、また、授業時における積極的な発言等も評価対象とし、総合的に判断する。 詳細は、第1回目の授業で伝える。
----------	---

学生へのメッセージ	本講義を通じて、わたしが期待することは、受講生諸君に先入観や固定観念といったものを打ち崩してもらうことです。そのためには、積極的に発言をし、議論を交わしていく必要があります。ともに切磋琢磨していきましょう。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館4階(浦野研究室)
----------	--------------

備考	本授業は、現代社会の事象を題材に進めていく。よって、突発的な事件や事故が発生した際は、シラバスの進行にかかわらず、題材として取り上げることがあることを留意されたい。
----	--

本授業における事前・事後学習課題は、総時間 60 時間を目安とする。

科目名	現代中国論	科目名(英文)	Contemporary China
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	大西 紀
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目(中学校 中国語)【施行規則に定める科目区分】「異文化理解」【教員免許状取得のための履修区分】必修【科目】教科に関する科目(高等学校 中国語)【施行規則に定める科目区分】「異文化理解」【教員免許状取得のための履修区分】必修		

授業概要・目的	今日地球レベルで国際化、情報化、開放化が進んでいる。この流れの中で世界最大の発展途上国の中国も凄まじい発展を遂げながら、さまざまな問題を抱えている。いまの中国のもつ魅力と問題点を歴史的、総合的な視点から明らかにしていくことが本授業の目標である。具体的には現代中国社会に関して、政治、経済、教育、文化、人口問題などを中心に議論をしながら、中国の全体像を正しく捉えてその社会の理解を深めたい。
到達目標	現代中国についての自分なりの見方を獲得できる。
授業方法と留意点	授業にはプリントを使用し、現代中国に関わる幾つかのトピックについて講義を行う。単方向的な授業となりがちなので、受講生からの質問は随時受け付ける。
科目学習の効果(資格)	常識力の向上。就職、面接試験に有効。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	ユニットⅠ 現代中国の概況	国土、自然、地域区分、人口	次回用のプリント・地図等配布。学習課題：人口分布の不均衡、地域差
	2	ユニットⅠ 現代中国の概況	民族、宗教、行政	学習課題：多民族、与野党、地方自治
	3	ユニットⅠ 現代中国の概況	人口問題、一人っ子政策	インドと中国の人口増加を比較し、今後の世界の人口問題を考察する。
	4	ユニットⅠ 現代中国の概況	教育問題	学習課題：教育産業化、貧困学生、
	5	ユニットⅡ 歴史と現状	毛沢東の時代	学習課題：建国初期の課題と政策
	6	ユニットⅡ 歴史と現状	鄧小平と改革開放	学習課題：なぜ改革開放政策をとるか
	7	ユニットⅡ 歴史と現状	農村改革と民工問題	改革の成果と問題点を考察する。
	8	ユニットⅡ 歴史と現状	都市化の進展	学習課題：都市化に伴って城郷格差の拡大
	9	ユニットⅢ 経済	計画経済体制から市場経済体制への転換	学習課題：計画経済と市場経済は何か
	10	ユニットⅢ 経済	現代経済と若者文化	学習課題：中国特色的市場経済、若者の価値観
	11	ユニットⅢ 経済	高齢社会と貧富格差の拡大	学習課題：中国の養老問題、社会福祉の利弊。
	12	ユニットⅣ 生活	生活観の新動向	学習課題：貯蓄型から消費型への変化
	13	ユニットⅣ 生活	消費間の変化	学習課題：都市市場の消費事情と農村市場の開拓
	14	ユニットⅣ 生活	中国時事問題(台湾問題、チベット問題)	学習課題：台湾と大陸の現状、少数民族問題の現状と展望
	15	結び	中国社会の光と影	学習課題：改革開放以来の成果と問題点。現代中国のイメージについて考察する。

関連科目	日中関係論
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	定期試験は実施しない。 授業期間中随時行う復習チェックテスト、出欠状況等により総合的に評価する。
学生へのメッセージ	授業中の私語は他の受講生の迷惑となるので慎んでほしい。随時チェックテストを行い知識の定着を図るので、授業後も復習を心がけること。チェックテストの平均点が六割に満たない者、出席率が三分の二を越えないものは、如何なる理由があれ、単位は認定できません。履修の際はこの点をふまえて慎重に履修するようにしてください。 新聞を読むことを勧める。特に現代中国にかかわる記事には注目すること。
担当者の研究室等	7号館2階非常勤講師控室
備考	

科目名	現代東南アジア論	科目名(英文)	Studies on Modern Southeast Asia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	森田 良成
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア東部にある西ティモールの社会と経済について紹介する。文化人類学による文化・社会・経済についての議論に触れながらインドネシアの地方のいまを詳しく知ること、広大な領土と多様な文化を誇るインドネシアと東南アジアに対する理解を深める。			
到達目標	インドネシアの地方のいまを詳しく知ること、広大な領土と多様な文化を誇るインドネシアと東南アジアに対する理解を深める。同時にそれを手がかりとして、自分自身の日常を新しくとらえなおすことができるようになる。			
授業方法と留意点	東南アジアについて基礎的な知識を習得済みであることが望ましいが、初学者も歓迎する。各時間ごとに、感想や、こちらが提示する簡単な設問についての考えを書いてもらう。			
科目学習の効果(資格)				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業内容、授業の進め方、評価基準等について説明	関連する文献を紹介するので読むこと。
	2	東南アジアの現在	東南アジアの基礎知識を概説	関連する文献を紹介するので読むこと。
	3	インドネシア東部地域の基礎知識	インドネシア東部地域について概説	関連する文献を紹介するので読むこと。
	4	ティモール島の現在1	ティモール島について概説	関連する文献を紹介するので読むこと。
	5	ティモール島の現在2	インドネシア領西ティモールと東ティモール共和国の歴史と現在	関連する文献を紹介するので読むこと。
	6	西ティモールの貧困と開発1	西ティモールにおける開発プロジェクトとその影響について考える。	関連する文献を紹介するので読むこと。
	7	西ティモールの貧困と開発2	西ティモールにおける開発プロジェクトとその影響について考える。	関連する文献を紹介するので読むこと。
	8	西ティモール農村における儀礼的世界1	西ティモールにおける農耕儀礼、人生儀礼のあり方について考える。	関連する文献を紹介するので読むこと。
	9	西ティモール農村における儀礼的世界2	西ティモールにおける農耕儀礼、人生儀礼のあり方について考える。	関連する文献を紹介するので読むこと。
	10	農村と村外の世界とのネットワーク1	農村と、出稼ぎ先である都市や国外の世界との関係を考える。	関連する文献を紹介するので読むこと。
	11	農村と村外の世界とのネットワーク2	農村と、出稼ぎ先である都市や国外の世界との関係を考える。	関連する文献を紹介するので読むこと。
	12	文化の継承と変容1	農村の社会変容とグローバル化について考える。	関連する文献を紹介するので読むこと。
	13	文化の継承と変容2	農村の社会変容とグローバル化について考える。	関連する文献を紹介するので読むこと。
	14	文化の継承と変容3	農村の社会変容とグローバル化について考える。	関連する文献を紹介するので読むこと。
	15	まとめ	授業全体のまとめ	関連する文献を紹介するので読むこと。
関連科目	東南アジアに関する講義科目すべて、文化人類学			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	授業への参加の度合い(30%)、主に授業終了時に提出してもらうコメント・感想などから総合的に判断する)と、授業期間中に行うテスト(自由記述)(70%)から評価する。			
学生へのメッセージ				
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考				

科目名	現代文化論	科目名(英文)	Modern Cultures
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	小川 豊生
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	現代のさまざまな文化(サブカルチャー)が、どのような歴史的な厚みをもっているのか、具体的な事例にそって見ていく。身近な生活のなかで出会った文化の問題を、たんに生活のなかだけで終わらせず、歴史的な文脈のなかに置きなおして考えてみる訓練、ささいな日常のなかから、「学問」という厚みのある世界へとつないでいく方法の獲得——これがこの講義の目的です。
到達目標	現代文化についての知識を深め、テーマに即して研究する方法を具体的に身につける。
授業方法と留意点	講義が中心となる。厳正な姿勢でのぞむこと。座席は指定する場合がある。
科目学習の効果(資格)	資格試験のベースとなる、教養・語彙力・文章読解力・思考力の養成。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	導入：現代文化の諸問題	この講義全体の目的について概説する。	—————
2	サブカルチャー論(現代文化と神話) 1	現代におけるサブカルチャーの意義について考察する。	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
3	サブカルチャー論(現代文化と神話) 2	現代におけるサブカルチャーの意義について考察する。	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
4	サブカルチャー論(現代文化と神話) 3	現代におけるサブカルチャーの意義について考察する。	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
5	童話と現代文化 1	グリムを取り上げ、サブカルチャーと童話のかかわりについて考察する。	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
6	童話と現代文化 2	童話をとりあげ、現代におけるテーマパークの成り立ちについて考察する。	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
7	童話と現代文化 3	サブカルチャーと神話のかかわりについて考察する。	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
8	映画の誕生	現代文化の代表である映画の誕生についてその歴史的経緯を解説する。	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
9	祭りとスポーツ 1	サッカーの起源を探究し、現代文化のなかで有するスポーツの意義について認識を深める。	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
10	祭りとスポーツ 2	サッカーの起源を探究し、現代文化のなかで有するスポーツの意義について認識を深める。	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
11	漫画の誕生	漫画文化の誕生について、日本の美術・文芸・芸能など幅広い分野を視野にいれながら考察する。	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
12	アトムと現代文化	アニメ「アトム」の誕生と思想的な背景について考察する。	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
13	ゴジラとモスラ	映画「ゴジラ」の誕生と思想的な背景について考察する。	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
14	小説と現代文化	現代文化における小説の意義について具体的に解説する。	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
15	総合評価授業	授業全体をまとめ、総合問題を解く。	ノートの総整理と講義内容の要点整理

関連科目	文化科目全般。
------	---------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	総合評価授業での総合問題、中間テストを中心に、授業時に回収したコメントや課題レポート等を加えて総合的に評価する。
----------	--

学生へのメッセージ	現代文化が、とおい時代から蓄積された文化の厚みのうえに成り立っていることを認識する機会にしてほしい。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階(小川研究室)
----------	--------------

備考	事前・事後の学習は、それぞれ2時間ずつ、総時間60時間を目安とする。
----	------------------------------------

科目名	現代ラテンアメリカ論	科目名 (英文)	Contemporary Latin-American Studies
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	北條 ゆかり
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	現在のラテンアメリカ社会の基本的な構造を作ったのは、欧米による植民地支配であり、それは現在も、開発や援助あるいはグローバリゼーションの名のもとに形を変えて継続している。ラテンアメリカ社会の本質を近代世界システムの中で歴史的に理解できるようにするとともに、ラテンアメリカを各亜地域に分け、その具体像を通してラテンアメリカの現状を知り、現代世界の中に位置づける。
到達目標	欧米中心のものの見方や価値観に囚われず、より均衡のとれた複眼的思考を見につける。
授業方法と留意点	ラテンアメリカをサブリージョンに分類し、視聴覚教材を用いながら、社会・文化・政治・経済などの角度から多面的な当該地域の理解を図る。毎回資料を配布し、関連する映画・ドキュメンタリー作品等を例示したり、報道記事を紹介する。できるかぎり観たり読んだりしたうえで授業に臨むとより効果的な学習となる。
科目学習の効果 (資格)	「ラテンアメリカの社会と文化」で学んだ当該地域の特色を、さらに具体的に深く理解する。 英語圏とくに米国発の情報にのみならず、異なる言語文化圏の視点に立った世界観をも知る。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	地域の概要	ラテンアメリカの地理・自然環境・言語文化	地図を思い浮かべられる程度までじっくりと見ておく
2	社会・文化の起源と形成過程	先住民文化:先コロンブス時代の諸文明(メソアメリカ/アンデス)、植民地支配の影響、イベリア文化の「伝統」とメスティサヘ、現代の多文化状況	先住民文明(マヤ、アステカ、インカなど)についての何らかの文献を読んでおく
3	メキシコ	現代メキシコをみる二つの視点 メキシコの自然環境と社会	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
4	メキシコ	近現代史を貫く三つの革命 現代メキシコ	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
5	中米地域	現代中米諸国をみる視点 中米地峡の自然環境と文化	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
6	中米地域	軍事政権の系譜と民主化の進展 米国との関係 政治統合の破綻と経済統合の進展	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
7	カリブ海地域	カリブ海地域の自然環境と文化 近代世界史とカリブ海地域	配布資料を読み、文学・映画作品を読み鑑賞しておく。
8	カリブ海地域	植民地支配の遺産と自立への道	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。 中間レポートへの取組み
9	アンデス諸国	アンデス世界の多様性 ベネズエラ、コロンビア、エクアドル	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
10	アンデス諸国	ペルー、ボリビア、チリ	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
11	ラプラタ地域	ラプラタ地域を捉える視点 アルゼンチン	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
12	ラプラタ地域	ウルグアイ、パラグアイ	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
13	ブラジル	ポルトガルの植民地ブラジル	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
14	ブラジル	大陸国家の統合と近代化、開発と環境問題	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。
15	講義内容のまとめ 到達目標確認テストと解説	現代ラテンアメリカの課題とその取組み、NGO(日本も含めた)の可能性	総復習と期末レポートへの取組み

関連科目 2年次向けの「ラテンアメリカの社会と文化」「ラテンアメリカ史学」「ラテンアメリカ文学」が基礎となる。

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント		
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)	中間でのレポートおよび到達目標確認テスト
学生へのメッセージ	日本からは遠い国々であるだけに、具体像を抱いてもらえるようテーマに直結する取材映像を駆使しつつ、いつでも何でも質問しやすい雰囲気 の双方向性の授業をめざします。なぜだろうと考えること、もっと知りたいと本を読むこと、それを続けてください。
担当者の研究室等	7号館5階(北條研究室)
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。

科目名	国際関係の基礎理解	科目名(英文)	Introduction to International Relations
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	黒田 賢治
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	国際関係についての基礎的理解は、グローバル化された今日の社会で生活するうえで不可欠となっています。この授業では、国際関係で起こる出来事について、受講生が主体的に理解と判断できるようになることを目指します。国際関係論の方法に基づいて今日の国際関係の動きを考える視座を養うとともに、今日我々が生きていくうえで無視することのできない重要なテーマについて講義を行い、能動的な学修を行います。
到達目標	国際関係での出来事について、出来事の行為主体の関係について捉えるとともに、関連する考え方を参照し、自分の意見を言うことができるようになる。
授業方法と留意点	世界の出来事や他人の意見について理解したり、自分の考えをまとめて発言したりできるように、粘り強く、1人1人の個性に合わせて指導します。 講義内容に即して、ロールプレイング型の説明などを通じて積極的に講義に参加していくことを求めます。 各講義内容の理解度を深めるために復習として、次回の講義までに課題を与えミニレポートを作成してもらいます。
科目学習の効果(資格)	国際関係の構造的な理解や国際関係論についての基礎知識が得られる。 新聞・テレビなどのメディアを通じて報道される国際関係で起こる出来事について、報道される内容を知識として直接取り込むのではなく、より深い視座をもった捉え方ができるようになる。 グローバル世界で出会う様々な異なる考え方の人に対して、相手に対する理解を深めるとともに円滑な意思疎通ができるようになる。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	国際関係論からみる世界	国際関係論とはどのような学問なのか	次回の講義までに受講目標を明確にしたレポートの提出
2	受講目標の設定	本講義受講後に提出するレポートについて、各自の構想を述べ、教員・他の受講生と討議する	—
3	国際関係を読み解く視座を養おう①	・リアリズム ・ネオリアリズム	次回の講義までに講義内容についての課題レポートを提出(課題は講義中に発表)
4	国際関係を読み解く視座を養おう②	・リベラリズム ・ネオリベラリズム ・コンストラクティヴィズム	次回の講義までに講義内容についての課題レポートを提出(課題は講義中に発表)
5	我々はいかなる国際関係を経て21世紀に生きているのか?	20世紀の国際関係の見取り図 ・二度の世界大戦 ・冷戦 ・ポスト冷戦	次回の講義までに講義内容についての課題レポートを提出(課題は講義中に発表)
6	安全保障とは何か?	・国際社会における3つの安全保障の出現契機 ・国家と地域の安全保障	次回の講義までに講義内容についての課題レポートを提出(課題は講義中に発表)
7	「平和」はどのようにつくられるか?	グローバルガバナンスと国際レジーム論 ・消極的平和 ・積極的平和	次回の講義までに講義内容についての課題レポートを提出(課題は講義中に発表)
8	グローバリゼーションとは何か?	グローバリゼーションと国際関係 ・グローバリゼーションの推進要因と背景 ・光と影	次回の講義までに講義内容についての課題レポートを提出(課題は講義中に発表)
9	現代国際関係の課題①	南北問題 ・先進国と発展途上国	次回の講義までに講義内容についての課題レポートを提出(課題は講義中に発表)
10	現代国際関係の課題②	非国家アクターの台頭 ・NGO ・NGOと政府との関係	次回の講義までに講義内容についての課題レポートを提出(課題は講義中に発表)
11	現代国際関係の課題③	環境問題 ・環境問題がなぜ国際関係と関わるのか? ・地球環境ガバナンス	次回の講義までに講義内容についての課題レポートを提出(課題は講義中に発表)
12	現代国際関係の課題④	紛争 ・ポスト冷戦時代の紛争原因 ・国際紛争 ・国内紛争	次回の講義までに講義内容についての課題レポートを提出(課題は講義中に発表)
13	現代国際関係の課題⑤	人権 ・難民保護とUNHCR ・普遍化する人権の課題	次回の講義までに講義内容についての課題レポートを提出(課題は講義中に発表)
14	現代国際関係の課題⑥	・市民社会	次回の講義までに講義内容についての課題レポートを提出(課題は講義中に発表)
15	講義の総括	—	—

関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	なし			2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1	なし															
	2																
3																	

参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>なし。ただし講義内容の理解を深めるための参考書を読書案内として紹介していきます。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	なし。ただし講義内容の理解を深めるための参考書を読書案内として紹介していきます。			2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1	なし。ただし講義内容の理解を深めるための参考書を読書案内として紹介していきます。															
	2																
3																	

評価方法 (基準)	ほぼ毎週課す講義課題レポート40%、最終レポート60% ただし受講生の人数によっては、評価方法を変更することがあります
学生への メッセージ	講義に出席するだけでなく、講義に出ている足跡を残すように積極的な参加を期待しています！
担当者の 研究室等	非常勤講師室 (7号館2階)
備考	

科目名	国際機構論	科目名(英文)	International Organizations
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	浅野 英一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	国際機関は一体どんな働きをしているのだろうか。この講義は、国際機関の基礎的知識を学ぶことを目的としている。		
到達目標	国際機構との関わりにおいて、過去の歴史から見た国際関係と現在について原理・概念がもつ重要性や課題を理解する。		
授業方法と留意点	各講義は、起承転結で構成する。起：テーマのイントロダクション、承：デオ・スライドを多様してビジュアルに国際機関の現状を知る、転：テーマ内容を深く掘り下げる、結：まとめ。各講義の最後 20～30 分間は、質疑応答の時間とする。		
科目学習の効果(資格)	国際機関で働くために知っておくべき基礎的な教養		
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等 事前・事後学習課題
	1	イントロダクションと授業内容概要	国際機構論ではどんなことを、どのように学ぶのか _____
	2	国際機構とは何か	国際機構の働きについて 前回の復習と、次回への展開
	3	日本と国際機構との関係	日本が行ってきた国際機構との協力関係について 前回の復習と、次回への展開
	4	国際機関で働くには	国際機関でグローバルに生きる方法 前回の復習と、次回への展開
	5	国際援助	国際機構が行う国際援助について 前回の復習と、次回への展開
	6	国際法	国際機関と国際法との関係 前回の復習と、次回への展開
	7	地域紛争	国際機関と地域紛争や危機管理との関係について 前回の復習と、次回への展開
	8	核の不拡散と輸出管理	大量破壊兵器と国際機関との関係について 前回の復習と、次回への展開
	9	テロリズム	9・11事件以降のテロリズム対策について 前回の復習と、次回への展開
	10	国際難民	国際的に拡大する難民問題と国際機構との関係について 前回の復習と、次回への展開
	11	人・物・金	国際協力にまつわるキーワード 前回の復習と、次回への展開
	12	貧困問題	開発途上国が持つ大きな問題が、貧困でありこの問題に国際機構がどう対応するかについて 前回の復習と、次回への展開
	13	持続可能な発展	「持続可能な発展」とは何か、どうして必要なかを紐解く 前回の復習と、次回への展開
	14	国際機構の課題	今後、国際機構はどうあるべきかを考える 前回の復習と、次回への展開
	15	記述式総括確認(必ず出席すること)	これまでに学んできたことについて記述式の総合的判断を行う _____
関連科目	国際協力論、国際ボランティア論		
教科書	番号	書籍名	著者名 出版社名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名 出版社名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	記述式小テストや記述式小レポートにより総合的に評価する。		
学生へのメッセージ	国際協力機関・国際ボランティア・青年海外協力隊など、将来この方面に進みたい学生には入門講座として役割を果たします。		
担当者の研究室等	7号館5階(浅野研究室)		
備考			

科目名	国際協力論	科目名(英文)	International Cooperation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	浅野 英一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	国際協力は、開発途上国に対する援助供与という観点で捉えられがちだが、開発途上国、開発援助国を問わず、互いが抱える問題にパートナーとして協力していくことが国際協力の本来のあり方である。本講座では国際協力や国際援助の歴史、意義、効果と限界、南北問題、日本外交と対外援助、日本のODAやNGOの現状と課題について、開発援助国と開発途上国との間で起こった事実を踏まえて学ぶ。																																																																		
到達目標	国際協力の必要性・重要性、開発途上国の実情・現状や課題について理解を深め、国際協力のありかたについて自らの考えを持つ。																																																																		
授業方法と留意点	摂南大学を休学・卒業して青年海外協力隊に参加している学生からの現地報告や、ビデオ・スライドを多様してビジュアルに国際協力の現状を知る。各講義の最後15～20分間は、質疑応答の時間とする。																																																																		
科目学習の効果(資格)	将来的に、国際分野に進むために学んでおかなければならない国際協力の基礎																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>イントロダクションと授業内容概要</td> <td>国際協力論ではどんなことを、どのように学ぶのか</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>国際協力とは何か</td> <td>国際協力の意味</td> <td>前回の復習と、次回への展開</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>日本の国際協力</td> <td>日本が行ってきた国際協力について</td> <td>前回の復習と、次回への展開</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>非政府組織(NGO)</td> <td>NGOの得意な分野と苦手な分野</td> <td>前回の復習と、次回への展開</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>草の根組織・地方自治体</td> <td>普通の人が出来る国際協力</td> <td>前回の復習と、次回への展開</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>国際連合</td> <td>様々な組織とその役割</td> <td>前回の復習と、次回への展開</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>国際協力を受ける国々(1)</td> <td>開発途上国(アジア)について(過去・現在・将来)</td> <td>前回の復習と、次回への展開</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>国際協力を受ける国々(2)</td> <td>開発途上国(アフリカ)について(過去・現在・将来)</td> <td>前回の復習と、次回への展開</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>国際協力を受ける国々(3)</td> <td>開発途上国(アジア・アフリカ以外の国)について(過去・現在・将来)</td> <td>前回の復習と、次回への展開</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>国際協力の仕組み</td> <td>国際協力の仕組みを解明する</td> <td>前回の復習と、次回への展開</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>人・物・金</td> <td>国際協力にまつわるキーワード</td> <td>前回の復習と、次回への展開</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>国際協力の課題</td> <td>主要援助国が抱える国際協力問題について</td> <td>前回の復習と、次回への展開</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>開発教育</td> <td>開発教育とはなにか、どうして必要なのかを紐解く</td> <td>前回の復習と、次回への展開</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>国際協力の課題</td> <td>今後、国際協力はどうあるべきかを考える</td> <td>前回の復習と、次回への展開</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総括的確認(必ず出席すること)</td> <td>これまでに学んできたことについて総合的判断を行う</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	イントロダクションと授業内容概要	国際協力論ではどんなことを、どのように学ぶのか	_____	2	国際協力とは何か	国際協力の意味	前回の復習と、次回への展開	3	日本の国際協力	日本が行ってきた国際協力について	前回の復習と、次回への展開	4	非政府組織(NGO)	NGOの得意な分野と苦手な分野	前回の復習と、次回への展開	5	草の根組織・地方自治体	普通の人が出来る国際協力	前回の復習と、次回への展開	6	国際連合	様々な組織とその役割	前回の復習と、次回への展開	7	国際協力を受ける国々(1)	開発途上国(アジア)について(過去・現在・将来)	前回の復習と、次回への展開	8	国際協力を受ける国々(2)	開発途上国(アフリカ)について(過去・現在・将来)	前回の復習と、次回への展開	9	国際協力を受ける国々(3)	開発途上国(アジア・アフリカ以外の国)について(過去・現在・将来)	前回の復習と、次回への展開	10	国際協力の仕組み	国際協力の仕組みを解明する	前回の復習と、次回への展開	11	人・物・金	国際協力にまつわるキーワード	前回の復習と、次回への展開	12	国際協力の課題	主要援助国が抱える国際協力問題について	前回の復習と、次回への展開	13	開発教育	開発教育とはなにか、どうして必要なのかを紐解く	前回の復習と、次回への展開	14	国際協力の課題	今後、国際協力はどうあるべきかを考える	前回の復習と、次回への展開	15	総括的確認(必ず出席すること)	これまでに学んできたことについて総合的判断を行う	_____
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクションと授業内容概要	国際協力論ではどんなことを、どのように学ぶのか	_____																																																																
2	国際協力とは何か	国際協力の意味	前回の復習と、次回への展開																																																																
3	日本の国際協力	日本が行ってきた国際協力について	前回の復習と、次回への展開																																																																
4	非政府組織(NGO)	NGOの得意な分野と苦手な分野	前回の復習と、次回への展開																																																																
5	草の根組織・地方自治体	普通の人が出来る国際協力	前回の復習と、次回への展開																																																																
6	国際連合	様々な組織とその役割	前回の復習と、次回への展開																																																																
7	国際協力を受ける国々(1)	開発途上国(アジア)について(過去・現在・将来)	前回の復習と、次回への展開																																																																
8	国際協力を受ける国々(2)	開発途上国(アフリカ)について(過去・現在・将来)	前回の復習と、次回への展開																																																																
9	国際協力を受ける国々(3)	開発途上国(アジア・アフリカ以外の国)について(過去・現在・将来)	前回の復習と、次回への展開																																																																
10	国際協力の仕組み	国際協力の仕組みを解明する	前回の復習と、次回への展開																																																																
11	人・物・金	国際協力にまつわるキーワード	前回の復習と、次回への展開																																																																
12	国際協力の課題	主要援助国が抱える国際協力問題について	前回の復習と、次回への展開																																																																
13	開発教育	開発教育とはなにか、どうして必要なのかを紐解く	前回の復習と、次回への展開																																																																
14	国際協力の課題	今後、国際協力はどうあるべきかを考える	前回の復習と、次回への展開																																																																
15	総括的確認(必ず出席すること)	これまでに学んできたことについて総合的判断を行う	_____																																																																
関連科目	特になし																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>国際協力国際交流ハンドブック 基礎から実践へ</td> <td>浅野英一</td> <td>実教出版</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	国際協力国際交流ハンドブック 基礎から実践へ	浅野英一	実教出版	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	国際協力国際交流ハンドブック 基礎から実践へ	浅野英一	実教出版																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	記述式小テストの総計により評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	国際協力機関・国際ボランティア・青年海外協力隊など、将来この方面に進みたい学生には入門講座的として役割を果たします。この講義を受けて国際協力を興味を持った摂南大学の現役学生が青年海外協力隊員として、世界の国際協力現場の最前線で活躍しています。																																																																		
担当者の研究室等	7号館5階(浅野研究室)																																																																		
備考																																																																			

科目名	国際貢献実習演習	科目名 (英文)	Practical Training Seminar in International Service
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期集中	授業担当者	浅野 英一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	フィリピン・ミンダナオにある NGO ハウスオブジョイ (HOJ) 児童養護施設での実践型貢献実習とミンダナオ国際大学での英語実習を複合的に組み合わせた 3 週間の海外プログラムである。参加メンバー (履修生) との共同活動を通じ、開発途上国への理解を深め、実習先での経験との共通点、相違点を確認する。現地の人々との出会いの中から、見つけた新たな課題と、今後の関わり方について考える。																
到達目標	①使える語学力 (英語) や、異文化コミュニケーションを身につける。 ②異なる社会・文化のなかで暮らし、働くための総合力を身につける。 ③フィールドでの実体験を通じて、国際知識を養い、多文化環境のもとプロジェクトを動かすスキルを修得する。 ④国際貢献、自立支援の活動など、国内外の団体で活動																
授業方法と留意点	履修登録学生は、オリエンテーションを行うので、必ず参加のこと。日時と教室は、外国語学事務室前の掲示板に掲示する。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	事前教育 4 回程度 (生活環境・語学・習慣・ハートアクティビティプログラム*の習得) 事前教育の日程と教室については、外国語学部事務室前の掲示板に掲示する。 現地活動 2015 年 2 月中旬～3 月上旬の 3 週間を予定している。 *ハートアクティビティ (Human Relation Training) プログラム: いろいろなゲームを通して、緊張をほぐし、お互いに尊重することを学び、コミュニケーションや協力関係、豊かな人間関係を築いていくためのプログラム。 履修登録時の注意事項: 宿泊施設に限度があるため、上限は最大 15 名とする。履修希望者が 15 名を超えた場合、オリエンテーションの時に、履修希望調査レポートを提出し、履修理由とモチベーションを総合的に判断して 15 名を決定する。履修人数が 5 名に達しない場合は開講しない。履修希望者は、シラバス内容だけでなく、担当教員 (浅野教授) から、十分な説明を受けた上で履修申請を行うこと。説明を受けずに、履修申請した場合、履修を取り消す場合もある。																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	宿泊施設に限度があるため、上限は最大 15 名とする。履修希望者が 15 名を超えた場合、オリエンテーションの時に、履修希望調査レポートを提出し、履修理由とモチベーションを総合的に判断して 15 名を決定する。 成績評価は、履修希望調査レポート・事前活動・現地活動状況・帰国後レポートを総合的に評価する。																
学生へのメッセージ	JICA ボランティア (青年海外協力隊) に参加したい場合、この海外ワークキャンプの経験が「合格」の鍵となる。																
担当者の研究室等	7 号館 5 階 浅野研究室																
備考	履修希望者は、必ず事前に担当教員 (浅野教授) の研究室を訪問し、十分な説明を受けた上で履修申請を行うこと。																

科目名	国際文化概論 (アジア)	科目名 (英文)	A Survey of International Cultures(Asia)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	中国のことばとその背景にある歴史や文化、テクノロジーについて広い視点で学ぶ。歴史は中国と日本、朝鮮や東南アジアとの関係も視野に入れながら概観し、いま中国とその周辺に起こっているさまざまな問題の原因と今後の展望についても考える。
到達目標	中国の歴史や文化に関わる事項は中国語を学ぶさいにもかならず出会うことであり、中国人と交流したり留学するさいにはさけて通れないことである。これらについて理解を深め、中国や中国語をめぐるさまざまな問題について意見を交わせるようにしたい。
授業方法と留意点	文字資料を中心としながら、画像や映像資料も併用しながら講義形式で授業を進める。ただし、必要に応じて調査や報告などゼミ形式も取り入れる。
科目学習の効果 (資格)	日本と関係の深い中国の社会を知ることにより、国際的な視野を広げ今後の大学の勉学などに役立てる。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	東アジアの地理概況	中国やその周辺地域の地形や気候とともに、主な都市や世界遺産の概要について学ぶ。	プリント 1
2	中国の歴史 (前半)	先史時代から元代にいたる歴史。	プリント 2
3	中国の歴史 (後半)	明代から現代中国にいたる歴史。	プリント 3
4	多民族国家としての中国	多民族国家が形成された過程と現状、およびその問題点。	プリント 4
5	日本と中国	古代の交流や交易から日清戦争を経て現在の日中関係を概観する。また、日本在住の中国人 (華僑) についても学ぶ。	プリント 5
6	中国の政治と経済	中華人民共和国の成立の過程とその政治システム、台湾との関係や経済の現状について概観する。	プリント 6
7	中国の思想と宗教	中国の思想の源泉をなす諸子百家の思想および道教や仏教を概観する。また中国思想にもっとも大きく影響を与えた儒教思想についても学ぶ。	プリント 7
8	中国の芸術	絵画や陶芸、書、文学、演劇など中国の芸術について概観する。	プリント 8
9	漢詩の世界	唐詩を中心に古代の文学作品を鑑賞しながら、日本における「漢文訓読」の文化について理解を深める。	プリント 9
10	現代中国の映像と音楽	現代の中国で流行している音楽や映像を鑑賞しながら、その特質を学ぶ。	プリント 10
11	中国語とは	世界の言語の中での中国語の位置づけ、「中国語」の概念、普通話と方言、文字制作などについて概観する。	プリント 11
12	漢字の今と昔	甲骨文字から現代の中国と日本で使われている漢字までの変遷をたどる。	プリント 12
13	漢字文化圏の広がり	中国と日本、朝鮮、ベトナムという漢字文化圏の歴史と現状を概観する。	プリント 13
14	日本語と中国語	別系統の言語でありながら日本途中動くが「漢字」を共有することで古来から活発な言語交流を行ってきたことについて学ぶ。	プリント 14
15	コンピューターで扱う中国語	文字コード、フォント、IMEについて理解したあと、実際に中国語を入力する練習をする。	プリント 15

関連科目	1年次必修の中国語各課目・中国関連の講義科目。
------	-------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント配布		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業の最後に行う小テストおよびレポートをもとに評価する。
-----------	------------------------------

学生へのメッセージ	授業中は私語などを慎み、集中して授業内容の理解に努めて下さい。
-----------	---------------------------------

担当者の研究室等	7号館3階(中西研究室)
----------	--------------

備考	
----	--

科目名	国際文化概論 I	科目名 (英文)	Introduction to Foreign Cultures I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	有馬 善一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この講義では、文化を軸とする国際関係について考察する。特に今日進みつつあるグローバル化、また、歴史的な流れとしての近代化の問題をどう考えるかが重要な課題である。また、グローバル化の中で、我々は日本の文化とどのように関わっていくべきかという問題も生じてくる。このような複雑多岐にわたる文化の問題について、見通しのきく視点を獲得することがこの授業の目的である。			
到達目標	文明と文化の違い、また、両者の関係について理解する。 グローバリゼーションが世界各地の独自の文化に対してどのような影響を与えているのかを理解する。 日本の近代化がどのような意義を持っているのか、世界と日本の文化における関係という点から理解する。			
授業方法と留意点	ノート講義方式をとる。適宜、資料を配付する。			
科目学習の効果 (資格)				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	はじめに	国際文化論とは何か 文化を軸とした国際関係 国際交流とグローバル化	国際文化論が目指すところを理解する。
	2	文明と文化 (1)	文明と文化の違い 文明の生態史観 文明の盛衰と文化の伝播	梅棹忠夫『文明の生態史観』を読んで、まとめておく。
	3	文明と文化 (2)	文明の衝突 (ハンチントン) 宗教と文化	講義内容 2 回分をまとめておく。
	4	文化の接触・交流・抵抗	文化の異なる国家の間の「関係」はどのようなタイプに分かれるのか 文化と文化の接触による文化変容	授業内容をまとめる。
	5	グローバリゼーション (1)	グローバリゼーションとは何か 経済の多国籍化と文化交流 グローバリゼーションと「国際文化」	グローバリゼーションの意味を調べておく。また、グローバリゼーションの事例も挙げられるようにする。
	6	グローバリゼーション (2)	グローバリゼーションがもたらす諸問題	2 回分の授業をまとめる。
	7	グローバリゼーション (3)	グローバリゼーションへの様々な評価 グローバル化とは何か	グローバリゼーションに対する自分自身の考えをまとめる。
	8	ディアスポラ	ディアスポラとは何か 民族の移動と文化的アイデンティティ	授業内容をまとめる。
	9	近代化 (1)	近代化とは何か 欧米文化の摂取と文化的アイデンティティの問題	授業内容をまとめる。
	10	近代化 (2)	日本以外の近代化の事例 トルコ 中国	授業内容をまとめる。
	11	多文化主義 (1)	多文化主義とは何か	授業内容をまとめる
	12	多文化主義 (2)	政策としての多文化主義の実践と問題 カナダ・オーストラリア ドイツ	授業内容をまとめる。
	13	日本文化の問題 (1)	明治期に至るまでの日本文化の歴史的 形成 中国文明と日本	授業内容をまとめる。
	14	日本文化の問題 (2)	明治期における近代化の意義 日本文化論の問題 (雑居文化論・雑種文化)	日本文化論を批判的に比較できるようにする。
	15	おわりに	講義の総括 国際関係における日本の役割について	復習 レポートの準備
関連科目	暮らしの中の文化 多文化の共生 世界の地理			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	文明の生態史観	梅棹忠夫	中公文庫
	2	国際文化論	平野健一郎	東京大学出版会
	3			
評価方法 (基準)	授業の内外でのレポートと定期試験を実施する。変更がある場合は授業中に指示する。			
学生へのメッセージ	国際的な文化の問題を考えることは、自分たちの文化、つまり、日本の文化を考えることです。			
担当者の研究室等	7号館4階			
備考	事前事後学習におよそ 60 時間必要。			

科目名	国際文化概論Ⅱ	科目名(英文)	Introduction to Foreign Cultures II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	赤澤 春彦
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本講義では日本の文化について理解を深めることを目的とします。取り上げるテーマは「和食」「名前」といった身近なものです。また「宗教」も取り上げます。宗教は一見、距離がありそうに思えますが、私たちの日常生活や年中行事の至る所に見られます。本講義を通して日本の文化に対する理解を深め世界の国々と比較するさいに役立ててください。
到達目標	日本の歴史や文化の特質を理解し、他の国々との違いを比較しながら、自らの言葉で解説できる能力を習得できます。
授業方法と留意点	基本的に板書で講義を進めますが、プリント・スライドなどの資料も使用します。
科目学習の効果(資格)	異文化コミュニケーションの場では自分の国の文化を披露することがあるでしょう。そのさい、日本の文化の特徴について伝えることができます。また、他の国の文化に触れるときにも深く理解することができるでしょう。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション	講義の目的や進め方について説明します。歴史学とはどのような学問か解説します。	復習
2	和食の歴史(1)	和食に対するイメージや考えをみなが考え、整理します。	復習
3	和食の歴史(2)	和食の歴史のうち、神饌と直会など古代日本の食について考えます。	復習
4	和食の歴史(3)	中世以降の精進料理、本膳料理が和食の成立に与えた影響について考えます。	復習
5	和食の歴史(4)	現代における和食の実態や問題点について考えます。	復習
6	名前の歴史と文化(1)	日本における姓名の歴史について考えます。	復習
7	名前の歴史と文化(2)	日本における家族の歴史と文化について考えます。	復習
8	名前の歴史と文化(3)	日本における共同体と家について考えます。	復習
9	映画『もののけ姫』にみる日本文化(1)	エミシの世界 「日本」の枠組みについて考えます。	復習
10	映画『もののけ姫』にみる日本文化(2)	ヤマトの世界 モデルとなった室町時代の村、町場、戦争などについて考えます。	復習
11	映画『もののけ姫』にみる日本文化(3)	タタラ場の世界 タタラ製鉄や石火矢について考えます。	復習
12	映画『もののけ姫』にみる日本文化(4)	シンガミの世界 日本の地理的環境や日本人の信仰について考えます。	復習
13	映画『もののけ姫』にみる日本文化(5)	『もののけ姫』世界の構成 4つの世界の関係について考えます。	復習
14	映画『もののけ姫』にみる日本文化(6)	『もののけ姫』とは何か？ この映画を通じてどのような事を語れるのか、講義参加者がそれぞれ考えます。	復習
15	まとめ	論述試験を行います(持ち込み可)	今までのノートをまとめておく

関連科目

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

評価方法(基準) 講義最終日に行う論述試験(持ち込み可)、講義中に課す小レポート、小テストなどによって評価します。

学生へのメッセージ 本講義で日本の文化や歴史がすべてわかるわけではありません。講義を通じて興味を持ったことがありましたら、Webや図書などで積極的に調べるとよいでしょう。

担当者の研究室等 7号館4階(赤澤研究室)

備考 事前・事後学習は総時間60時間を目安とする。

科目名	国際平和論	科目名(英文)	International Peace
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	濱 良祐
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>これまで多くの人びとが切実に平和を望んできたにもかかわらず、現在も世界は平和とは言えない状況にあります。その理由や原因は様々です。ときに人びとは平和以外の何かを平和よりも優先させています。</p> <p>そうした人びとの思考を批判的に解釈して、この世界を「平和」に向けて漸進的に再構成していく、そのような仕方を共に学び、考えることがこの授業の目的です。</p>
到達目標	<p>到達目標</p> <p>① グローバル化されていく世界の中で、様々な文化背景をもつ人びとと平和的なコミュニケーションができるようになるための基本的な考え方を理解する</p> <p>② 国際平和に関する様々な思想や方策に対して批判的な解釈に立った見解を持つことができる。</p>
授業方法と留意点	<p>基本的に毎回、授業の内容について適宜小レポートを書いてもらい、それをもとに議論していきます。</p> <p>受講者で分担して、指示した文献・資料についての要約(レジюме)を用意してもらうことがあります。その要約をもとに議論します。</p>
科目学習の効果(資格)	

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーションとイントロダクション	授業の進め方、目的について説明する。	〈事後〉授業のまとめの小レポート。
2	グローバル世界における平和(1)	現代において平和を実現するために求められること。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。
3	グローバル世界における平和(2)	現代において平和を実現するために求められること。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。
4	平和の現実主義(1)	平和をめぐる現実主義的な考え方について。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。
5	平和の現実主義(2)	平和をめぐる現実主義的な考え方について。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。
6	平和の理想主義(1)	「理想」としての平和について。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。
7	平和の理想主義(2)	「理想」としての平和について。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。
8	核兵器と軍縮(1)	軍隊や兵器の存在と平和との関連について。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。
9	核兵器と軍縮(2)	軍隊や兵器の存在と平和との関連について。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。
10	貧困と飢餓(1)	紛争の火種としての貧困について。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。
11	貧困と飢餓(2)	紛争の火種としての貧困について。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。
12	抑圧とデモクラシーについて(1)	社会内部での対立構造と、対立の民主的解決について。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。
13	抑圧とデモクラシーについて(2)	社会内部での対立構造と、対立の民主的解決について。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。
14	文化的多様性と平和	文化的共存の難しさと国際平和について。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。
15	総括と展望	これまでの授業を振り返り、現代のわれわれに残されている課題を確認する。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。

関連科目 社会の探究、世界の政治、国際関係の基礎理解、平和の思想

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)	小レポートおよび授業への参加態度 (50%)、期末定期試験 (50%)
学生への メッセージ	授業中の私語、携帯電話の使用などで授業を妨害したものには退席を命じ、欠席扱いとします。大学生にふさわしい態度で授業にのぞんでください。
担当者の 研究室等	非常勤講師控室 (7号館2階)
備考	

科目名	国際ボランティア論	科目名(英文)	International Volunteers
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	浅野 英一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本講義では国際ボランティアを、一過性のイベントとしてとらえるのではなく、自分自身を見つけるチャンスとし、それを将来的に活用する。国際NGO、NPO、JICA ボランティア青年海外協力隊や民間ボランティア等の現場を素材にケーススタディを行い、国際的社會常識と知識を深める。
到達目標	ボランティアの定義・理念、ボランティア活動に関する基礎的知識を習得する。
授業方法と留意点	ビデオ・スライドを多様してビジュアルに国際ボランティアの現状を知る。各講義の最後 15～20 分間は、質疑応答の時間とする。
科目学習の効果(資格)	日本の立場を国際的な視野から見る。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	イントロダクションと授業内容概要	授業の目的や方針を確認し、全体の流れ(起承転結)を知る	_____
2	(起-1) ボランティア	ボランティアとは何か、活動の内容とボランティアとしての自覚を学ぶ	前回の復習と、次回への展開
3	(起-2) 国際理解	なぜ貧困に悩まされているのかを知る	前回の復習と、次回への展開
4	(起-3) 国際協力	国際協力とは何かを知る	前回の復習と、次回への展開
5	(承-1) 貧困の現状把握	貧困で悩んでいる国々の現状を知る	前回の復習と、次回への展開
6	(承-2) 国際協力の現状把握	どういった国際協力が行われてきたのか、現在、何が行われているのかを知る	前回の復習と、次回への展開
7	(転-1) 国際ボランティア・NGO ボランティア	国際ボランティア・NGO ボランティアとは何かを知る	前回の復習と、次回への展開
8	(転-2) 国際ボランティア(青年海外協力隊)	国際ボランティア(青年海外協力隊)になるにはどうしたら良いのかを知る	前回の復習と、次回への展開
9	(転-3) 国際ボランティア(国連ボランティア)	国際ボランティア(国連ボランティア)になるにはどうしたら良いのかを知る	前回の復習と、次回への展開
10	(転-4) 国際ボランティア(NGO ボランティア)	国際ボランティア(NGO ボランティア)になるにはどうしたら良いのかを知る	前回の復習と、次回への展開
11	(結-1) 国際ボランティアの活動にあたって	国際ボランティアとしての自覚と次へのステップ	前回の復習と、次回への展開
12	(結-2) 自分に何ができるのか	ボランティア活動をするために、自分ができる事を明確にする	前回の復習と、次回への展開
13	(結-3) 更なる発展に向けて	ボランティア活動を一過性のイベントとして終わらせない	前回の復習と、次回への展開
14	今後の課題	ボランティア活動の諸問題と克服について知る	前回の復習と、次回への展開
15	総括的確認(必ず出席すること)	これまでに学んできたことについて総合的判断を行う	_____

関連科目	国際協力論
------	-------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	国際協力国際交流ハンドブック 基礎から実践へ	浅野英一	実教出版
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	記述式小テストや小レポートにより総合的に評価する。
----------	---------------------------

学生へのメッセージ	前期の国際協力論を履修することでこの講義内容が理解しやすくなる。
-----------	----------------------------------

担当者の研究室等	7号館5階(浅野研究室)
----------	--------------

備考	
----	--

科目名	視覚芸術論	科目名(英文)	Visual Art
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	中川 馨
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	現代社会では様々なかたちで映像メディアと接しているが、写真の歴史と表現を学ぶことにより、映像メディア登場以後の社会環境の変化について考察する。また写真をはじめとする視覚情報によって、人間の視覚認識はどのように変化したのか、現代の膨大な映像メディアによる情報との向き合い方についても考える。
到達目標	映像メディアと社会の関係を理解する。 映像メディアによる情報との向き合い方を身につける。 博物館における映像メディアの役割を理解する。
授業方法と留意点	講義中はスライドを使用する。提示する図は必要に応じてノートに描きとどめてもらいたい。
科目学習の効果(資格)	学芸員資格

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	ものを見る行為について	映像情報との関わりについて 博物館と映像メディアについて	視覚について本やWEBで調べる
2	映像イメージの発見	光の像の投影について カメラオプスキュラの誕生	カメラオプスキュラについて本やWEBで調べる
3	カメラオプスキュラの活用	カメラオプスキュラによる近世絵画表現の変化について	カメラオプスキュラについて本やWEBで調べる
4	写真のはじまり	写真技術の誕生について	初期の写真技術について本やWEBで調べる
5	肖像写真の時代	肖像写真の役割と社会への影響について	歴史上の人物の肖像写真について本やWEBで調べる
6	初期の写真表現	写真黎明期の芸術写真表現について	19世紀の写真表現について本やWEBで調べる
7	都市の記録	写真による都市表象について	19世紀の写真について本やWEBで調べる
8	写真と絵画の交わり 1	写真と西洋絵画における写実表現の関係 映像による視覚がどのように表現の変化をもたらしたかについて	近代絵画について本やWEBで調べる
9	写真と絵画の交わり 2	日本の近代絵画への写真の影響について 主に花鳥画における表現の考察	日本の近代絵画について本やWEBで調べる
10	近代写真の確立	ストレートフォトグラフィを中心に近代写真表現について	ストレートフォトグラフィについて本やWEBで調べる
11	時代の記録	報道写真について 報道写真の社会的な影響を考える	報道写真について本やWEBで調べる
12	カラー写真の登場	カラー写真による表現の変化について	カラー写真について本やWEBで調べる
13	現代写真表現 1	アメリカの現代写真を中心に表現を考察	現代写真表現について本やWEBで調べる
14	現代写真表現 2	日本の現代写真を中心に表現を考察	現代写真表現について本やWEBで調べる
15	まとめ	写真の歴史や表現から、21世紀の写真メディアの在り方を考える 博物館における映像の役割を考える	写真について復習する

関連科目	博物館科目
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準)	期末レポートを実施 受講態度を加味する
----------	------------------------

学生へのメッセージ	板書を写すだけでなく、講義の内容をノートすること。
-----------	---------------------------

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	時事インドネシア・マレー語 a	科目名 (英文)	Indonesian-Malayan Language Media a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	上田 達
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	新聞に掲載されたマレー語で書かれた時事問題に関する文に触れて、マレー語の実践的な運用能力の向上を目指す。あわせて、マレーシア・ブルネイ・シンガポールといった国々における政治・経済・社会・文化・芸能などのニュースに触れることを通じて、当該地域の社会情勢についての知識を得る。
到達目標	マレー語能力の向上。マレー語が話される国々に関する理解の深化。
授業方法と留意点	マレー語で書かれた新聞記事等の講読と、記事が書かれた背景について解説を行う。映像資料を用いて理解の一助とする。適宜課題を出すので、受講者には積極的な姿勢が望まれる。

科目学習の効果 (資格)	
--------------	--

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	イントロダクション	マレー語圏の国々について既習事項の確認を行う。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
2	表現	新聞の見出しや記事で使われる表現について学習する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
3	政治①	マレーシアの政治に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているマレーシアの政治情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
4	政治②	マレーシアの政治に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているマレーシアの政治情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
5	政治③	ブルネイとシンガポールの政治に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているブルネイとシンガポールにおける政治情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
6	確認テスト	既習の文法的な事柄と政治情勢に関して小括するとともに、達成度を確認するためのテストを行う。	確認テストのための事前準備
7	経済①	マレーシアの経済に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているマレーシア経済情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
8	経済②	ブルネイとシンガポールの経済に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているブルネイとシンガポールにおける経済情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
9	社会①	マレーシアの社会問題に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているマレーシアの社会情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
10	社会②	ブルネイとシンガポールの社会問題に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているブルネイとシンガポールにおける社会情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
11	確認テスト	既習の文法的な事柄と経済・社会情勢に関して小括するとともに、達成度を確認するためのテストを行う。	確認テストのための事前準備
12	文化①	マレーシアにおけるマレー語やマレー文化について書かれた新聞記事を講読するとともに、記事の背景について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
13	文化②	ブルネイやシンガポールにおけるマレー語やマレー文化に関わる新聞記事を講読するとともに、記事の背景について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
14	確認テスト	既習の文法的な事柄とマレー語が話されている地域の文化に関して小括するとともに、達成度を確認するためのテストを行う。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
15	総合演習	確認テストについて講評を行うとともに、受講者それぞれが新聞記事を選んできて内容について報告する。	興味・関心を持った領域についての新聞記事を探して講読する。内容に関する文法的な理解と社会的な背景についての理解を深めて、発表の準備を行う。

関連科目	総合マレー語 a & b、マレー語圏トピックス II
------	----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Kamus Dewan		Dewan Bahasa dan Pustaka
	2			
	3			
評価方法 (基準)	三回に分けて行う確認テスト (70%)、発表や提出物等の授業への取り組み (30%) から総合的に判断する。詳細は第一回目の授業で指示する。			
学生への メッセージ	日本や他国の時事問題にも関心を持つようになしてください。			
担当者の 研究室等	7号館5階(上田研究室)			
備考	『マレーシア語辞典ポケット版』で調べてもわからない単語や表現は、参考書に指定したマレー語の辞典(本学図書館所蔵)で調べること。			

科目名	時事インドネシア・マレー語 b	科目名 (英文)	Indonesian-Malayan Language Media b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	浦野 崇央
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業では、これまでに獲得したインドネシア語運用能力を存分に発揮し、新聞や雑誌に掲載されるニュース記事を読み込み、現代インドネシア社会の理解を深める。
到達目標	インドネシア語のニュース読解を通じて、インドネシア社会の構造はもちろんのこと、日本社会あるいは世界の社会についての理解力を高めることを目標とする。
授業方法と留意点	各回毎に次回の授業で使用するニュース記事プリントを配布するので、予習をしておくこと。 時事ニュース記事を読解する際、インドネシア語の基本的な運用能力だけでは理解が難しい。予習にあたっては、インドネシア共和国の諸制度、社会事情および専門用語についても理解を深めるよう留意すること。参考図書等は随時紹介する。 授業時には、辞書を必ず携帯すること。
科目学習の効果 (資格)	時事インドネシア語文の読解を通じて、日本をはじめとした世界各国における社会制度の理解がしやすくなる。さらに、インドネシア語技能検定の上位級取得が可能となる。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	日本をめぐる報道①	日本関連記事の講読を行い、インドネシア人による日本理解の一端を探る。	ニュース記事プリントの予習 学んだことの再確認
3	日本をめぐる報道②	日本関連記事の講読を行い、インドネシア人による日本理解の一端を探る。	ニュース記事プリントの予習 学んだことの再確認
4	日本をめぐる報道③	日本関連記事の講読を行い、インドネシア人による日本理解の一端を探る。	ニュース記事プリントの予習 学んだことの再確認
5	日本をめぐる報道④	日本関連記事の講読を行い、インドネシア人による日本理解の一端を探る。	ニュース記事プリントの予習 学んだことの再確認
6	国際ニュース①	インドネシアで報道される国際ニュースの読解を通じて、国際関係についての理解を深める。	ニュース記事プリントの予習 学んだことの再確認
7	国際ニュース②	インドネシアで報道される国際ニュースの読解を通じて、国際関係についての理解を深める。	ニュース記事プリントの予習 学んだことの再確認
8	国際ニュース③	インドネシアで報道される国際ニュースの読解を通じて、国際関係についての理解を深める。	ニュース記事プリントの予習 学んだことの再確認
9	総まとめと中間テスト	これまでに学んだことの総復習を行い、中間テストを実施する。	中間テストに向けての事前学習
10	単語力確認試験 インドネシア国内ニュース①	国内ニュースの読解を通じて、インドネシア社会についての理解を深める。	ニュース記事プリントの予習 学んだことの再確認
11	インドネシア国内ニュース②	国内ニュースの読解を通じて、インドネシア社会についての理解を深める。	ニュース記事プリントの予習 学んだことの再確認
12	インドネシア国内ニュース③	国内ニュースの読解を通じて、インドネシア社会についての理解を深める。	ニュース記事プリントの予習 学んだことの再確認
13	最新インドネシア事情①	インドネシアの若者事情や社会状況をめぐる最新ニュースの読解を通じて、今のインドネシアについての理解を深める。	ニュース記事プリントの予習 学んだことの再確認
14	最新インドネシア事情②	インドネシアの若者事情や社会状況をめぐる最新ニュースの読解を通じて、今のインドネシアについての理解を深める。	ニュース記事プリントの予習 学んだことの再確認
15	総まとめと理解度確認テスト	これまでに学んだことの再確認を行う。	理解度確認テストに向けての事前学習

関連科目	インドネシア語科目すべて
------	--------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	最新インドネシア語小辞典第 1.4 版	佐々木重次編	Grup Sanggar
2				
3				

評価方法 (基準)	中間テストおよび理解度確認テストの結果、授業への積極的な参加の度合いなどをとに総合的に評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	時事問題について語り合い、知的関心を大いに深めてゆきましょう。
-----------	---------------------------------

担当者の研究室等	7号館 4階(浦野研究室)
----------	---------------

備考	本授業では、できるだけ最新の時事ニュースを題材として進めていく。よって、突発的な事件や事故が発生した際は、シラバスの進行にかかわらず、題材として取り上げることがあることを留意されたい。
----	--

毎回の予習および学んだことの確認（復習）をするため、毎週少なくとも1時間程度は時間の確保をすること。

科目名	思想と文化	科目名(英文)	Ideas and Cultures
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	小川 豊生
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	日本の文化や思想の形成の歴史やその特質を、時代ごとに区分して把握することをめざす。世界の中で日本人はいかなる思想や文化を伝統として保持してきたのか、国際社会のなかでいかなる特質を保持しているのか、明快な言葉で説明できるようにする。
到達目標	日本の文化と思想の流れについて、基礎的な知識を身につけ、全体像を的確に把握できるようにする。

授業方法と留意点	プリントによる講義が中心となる。
----------	------------------

科目学習の効果(資格)	広い教養の獲得と思考力・記述力の深化。
-------------	---------------------

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	古代国家の形成と日本神話	国家の形成と神話の世界との関わりを探究する。	プリント・ノートの予習・復習
3	仏教の受容とその発展	仏教受容のプロセスとその後の変容について考える。	プリント・ノートの予習・復習
4	漢風文化から国風文化へ	平安中期の文化の特色について考察する。	プリント・ノートの予習・復習
5	平安時代の仏教	平安時代に展開された日本仏教の成り立ちについて認識を深める。	プリント・ノートの予習・復習
6	鎌倉仏教の成立	新しい仏教がどのように生み出されたのか、主要な宗教者を取り上げて解説する。	プリント・ノートの予習・復習
7	内乱期の文化	武士の登場や戦記文学の展開について解説する。	プリント・ノートの予習・復習
8	戦国期の文化	戦国時代の武士の生き方や思想について解説する。	プリント・ノートの予習・復習
9	江戸の文化と思想①	江戸時代の文化の流れについてその全体を俯瞰する。	プリント・ノートの予習・復習
10	江戸の文化と思想②	近松門左衛門の作品や思想について解説する。	プリント・ノートの予習・復習
11	明治の文化と思想	明治期に日本文化を海外に紹介した人物を取り上げ、その作品を解説する。	プリント・ノートの予習・復習
12	大正時代の文化と思想	大正時代の文化・思想の特質について解説する。	プリント・ノートの予習・復習
13	現代文化と思想	現代の大衆文化の形成と特質について解説する。	プリント・ノートの予習・復習
14	小説と現代思想	現代小説の代表的な作品を取り上げ、そこに見られる現代思想の特質について考察する。	プリント・ノートの予習・復習
15	総合確認テスト	講義内容全体に関する確認テストを行う	ノートの総合整理

関連科目	文化科目全般
------	--------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	日本文化の歴史	尾藤正英	岩波書店
	2			
	3			

評価方法(基準)	小テスト・総合テスト・課題レポート等の総合評価
----------	-------------------------

学生へのメッセージ	教養は飾りではなく生き抜くための武器である。
-----------	------------------------

担当者の研究室等	7号館4階(小川研究室)
----------	--------------

備考	事前・事後の学習は、それぞれ2時間ずつ、総時間60時間を目安とする。
----	------------------------------------

科目名	実践インドネシア・マレー語 a	科目名 (英文)	Practical Indonesian-Malayan Language a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	大坪 紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業では、特定分野のインドネシア語の講読を行う。状況にふさわしい作文も行う。この授業を通じて高度なインドネシア語能力や専門的なインドネシア語能力を養うことを目的とする。																																																																		
到達目標	特定の分野のインドネシア語を読み書きする技術を得ること。																																																																		
授業方法と留意点	この授業では、正確な作業を行う必要がある。そのため、授業に出席する前に十分な予習ならびに準備をしておくこと。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語検定。 実践的なインドネシア語能力の習得。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>新聞記事の講読 1</td> <td>新聞記事の文体に慣れる。</td> <td>授業全体について把握しておくこと。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>新聞記事の講読 2</td> <td>新聞記事中に現れる略語、専門用語の調べ方。</td> <td>図書館へ行き、色々な辞書を使い、文献を読んで予習をしてくること。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>新聞記事の講読 3</td> <td>長文の内容を把握する練習。</td> <td>これまでの授業の復習をしてくること。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>新聞記事の内容把握試験</td> <td>新聞記事を読み、大意を把握する能力の試験。</td> <td>これまでの授業の復習をしてくること。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>学術雑誌の講読 1</td> <td>学術雑誌の文体に慣れる。</td> <td>予習をしてくること。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>学術雑誌の講読 2</td> <td>学術文を正確に読む。</td> <td>図書館へ行き、色々な辞書を使い、文献を読んで予習をしてくること。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>学術雑誌の講読 3</td> <td>文の前後関係を正確に把握する。</td> <td>図書館へ行き、色々な辞書を使い、文献を読んで予習をしてくること。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>学術的な文章の書き方 1</td> <td>学術文の文体に慣れる。</td> <td>第5回から第8回までの復習。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>学術的な文章の書き方 2</td> <td>的確な文を書く練習。</td> <td>前回の復習。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>学術文の書き方試験</td> <td>学術文を書く能力の試験。</td> <td>第8回、第9回の復習。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>エッセイの講読 1</td> <td>エッセイの文体に慣れる。</td> <td>予習をしてくること。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>エッセイの講読 2</td> <td>エッセイを読む。</td> <td>予習をしてくること。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>エッセイの講読 3</td> <td>エッセイを理解する。</td> <td>予習をしてくること。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>エッセイの翻訳試験</td> <td>エッセイの内容を把握して翻訳する能力の試験</td> <td>第11回から第13回までの復習。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>まとめ</td> <td>復習。</td> <td>これまでの授業内容にたいする質問を考えてくること。</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	新聞記事の講読 1	新聞記事の文体に慣れる。	授業全体について把握しておくこと。	2	新聞記事の講読 2	新聞記事中に現れる略語、専門用語の調べ方。	図書館へ行き、色々な辞書を使い、文献を読んで予習をしてくること。	3	新聞記事の講読 3	長文の内容を把握する練習。	これまでの授業の復習をしてくること。	4	新聞記事の内容把握試験	新聞記事を読み、大意を把握する能力の試験。	これまでの授業の復習をしてくること。	5	学術雑誌の講読 1	学術雑誌の文体に慣れる。	予習をしてくること。	6	学術雑誌の講読 2	学術文を正確に読む。	図書館へ行き、色々な辞書を使い、文献を読んで予習をしてくること。	7	学術雑誌の講読 3	文の前後関係を正確に把握する。	図書館へ行き、色々な辞書を使い、文献を読んで予習をしてくること。	8	学術的な文章の書き方 1	学術文の文体に慣れる。	第5回から第8回までの復習。	9	学術的な文章の書き方 2	的確な文を書く練習。	前回の復習。	10	学術文の書き方試験	学術文を書く能力の試験。	第8回、第9回の復習。	11	エッセイの講読 1	エッセイの文体に慣れる。	予習をしてくること。	12	エッセイの講読 2	エッセイを読む。	予習をしてくること。	13	エッセイの講読 3	エッセイを理解する。	予習をしてくること。	14	エッセイの翻訳試験	エッセイの内容を把握して翻訳する能力の試験	第11回から第13回までの復習。	15	まとめ	復習。	これまでの授業内容にたいする質問を考えてくること。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	新聞記事の講読 1	新聞記事の文体に慣れる。	授業全体について把握しておくこと。																																																																
2	新聞記事の講読 2	新聞記事中に現れる略語、専門用語の調べ方。	図書館へ行き、色々な辞書を使い、文献を読んで予習をしてくること。																																																																
3	新聞記事の講読 3	長文の内容を把握する練習。	これまでの授業の復習をしてくること。																																																																
4	新聞記事の内容把握試験	新聞記事を読み、大意を把握する能力の試験。	これまでの授業の復習をしてくること。																																																																
5	学術雑誌の講読 1	学術雑誌の文体に慣れる。	予習をしてくること。																																																																
6	学術雑誌の講読 2	学術文を正確に読む。	図書館へ行き、色々な辞書を使い、文献を読んで予習をしてくること。																																																																
7	学術雑誌の講読 3	文の前後関係を正確に把握する。	図書館へ行き、色々な辞書を使い、文献を読んで予習をしてくること。																																																																
8	学術的な文章の書き方 1	学術文の文体に慣れる。	第5回から第8回までの復習。																																																																
9	学術的な文章の書き方 2	的確な文を書く練習。	前回の復習。																																																																
10	学術文の書き方試験	学術文を書く能力の試験。	第8回、第9回の復習。																																																																
11	エッセイの講読 1	エッセイの文体に慣れる。	予習をしてくること。																																																																
12	エッセイの講読 2	エッセイを読む。	予習をしてくること。																																																																
13	エッセイの講読 3	エッセイを理解する。	予習をしてくること。																																																																
14	エッセイの翻訳試験	エッセイの内容を把握して翻訳する能力の試験	第11回から第13回までの復習。																																																																
15	まとめ	復習。	これまでの授業内容にたいする質問を考えてくること。																																																																
関連科目	主言語インドネシア語の科目すべて																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	授業期間中に行う3回行われる試験、および平常点と積極的な授業参加度の度合い、予習や準備などから総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	予習、準備としての関連分野の日本語文献・インドネシア語文献の講読、復習を必ずおこなうこと。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)																																																																		
備考																																																																			

科目名	実践インドネシア・マレー語 b	科目名 (英文)	Practical Indonesian-Malayan Language b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	上田 達
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的
日々の文脈で使用されているマレー語に触れながら、話す・書くといったマレー語の実践的な運用能力の獲得を目指す。フォーマル/インフォーマルなさまざまな局面でのマレー語を使った適切な表現を理解するとともに、マレー語で意志を伝達することの訓練を行う。

到達目標
マレー語能力（特に会話と表現）の向上。

授業方法と留意点
*資料の収集やマレー語を使った課題を出すので、これらに自主的に取り組むこと。
*授業では資料の読解や文章作成の指導をおこなうとともに、提示した資料がどのような社会的背景を有するかも併せて解説する。

科目学習の効果（資格）

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	導入	授業の進め方の概要を指示する。資料へのアクセスの仕方、課題の作成方法などについて解説する。	指示された方法で資料にアクセスする。
2	紹介 1	組織や事項について書かれたマレー語による紹介文の書式、表現法、語彙について学ぶ。	既習事項の確認と演習課題への取り組み
3	紹介 2	受講者の関心にもとづいて選択したマレー語で書かれた紹介文を探し、講読する。	既習事項の確認と演習課題への取り組み
4	紹介 3	主題を設定して、学んだ書式や語彙を使いながらマレー語による紹介文を作成する。	紹介文の完成
5	演習 1	紹介文を発表するとともに、既習事項の理解を問うための確認テストを行う。	確認テストのために、既習事項を確認する。
6	文書 1	マレー語で書かれた書類の書式、表現法、語彙について学ぶ。	既習事項の確認と演習課題への取り組み
7	文書 2	受講者の関心にもとづいて選択したマレー語で書かれた書類の内容を理解する。	既習事項の確認と演習課題への取り組み
8	文書 3	既習事項に基づき、受講者で状況を設定して書類を作成する。	文章の完成と推敲
9	演習 2	作成した文書を発表するとともに、既習事項の理解を問うための確認テストを行う。	確認テストのために、既習事項を確認する。
10	広告 1	マレー語の広告表現について学ぶ。	既習事項の確認と演習課題への取り組み
11	広告 2	マレー語で広告を作成する。	広告についての既習事項の確認と広告の作成と推敲
12	論説 1	新聞の論説記事を読み、表現や語彙を解説する。	既習事項の確認と演習課題への取り組み
13	論説 2	主題を個別に設定したうえで、意見を表明するための文章を作成する。	文章の完成、プレゼンテーションの準備
14	演習 3	第 13 講義までの内容について復習するとともに、理解度を問う確認テストをおこなう。	既習事項の復習。
15	総合演習	これまでの既習事項を確認するとともに、完成させたプレゼンテーションを発表する。	既習事項の確認と発表のための資料作成

関連科目
総合マレー語、時事インドネシア・マレー語 a、マレー語圏トピックス 2

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	マレーシア語学習辞典	川上雄作	アジアのことばと辞書の会
2				
3				

評価方法（基準）
三回実施する確認テスト（60%）、発表等や提出物の提出状況等授業への取り組み（40%）から総合的に評価する。

学生へのメッセージ
マレー語を使った表現を楽しみましょう。

担当者の研究室等
7号館5階上田研究室

備考
受講者の人数と関心を見て、課題の作成方法や提出方法等を決定します。初回の授業時に指示するので、必ず出席すること。参考書は本学図書館にも所蔵しているので、課題に取り組む際には大いに参考にすること。

科目名	生涯学習概論	科目名(英文)	Lifelong Learning
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	橋本 考成
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	高齢化社会の現代日本では、生涯にわたる学習の必要性が指摘され続けています。ここでは「生涯学習」の基本的な理論とその実践例を紹介し、これからの「生涯学習」のあり方を考えていきます。特に歴史学習を取り上げ、市民への文化の提供の方法やその効果、問題点を挙げていき、学芸員や各自治体の生涯学習担当としての知識と意識を身につけることを目的とします。
到達目標	生涯学習に関する基礎的な知識と意識を身につける
授業方法と留意点	配布プリントと板書による講義中心で授業を行います。一回は展示施設の見学を行う予定です。
科目学習の効果(資格)	学芸員資格の必要単位となっていますが、自治体など市民に接する職業に就いた場合に対応の心構えの助けになるでしょう。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	生涯学習論について	本講義のねらいとその位置づけなど、講義を受けるための姿勢について	必要ありません。
2	生涯学習とはなにか	生涯学習の意味とその歴史・背景について	次回の授業の前提の話ですので、見直しを推奨します。
3	社会教育と生涯学習の誕生①	社会教育の歴史と、生涯学習論の登場について	次回の授業に続きますので、見直しを推奨します。
4	社会教育と生涯学習の誕生②	社会教育の歴史と、生涯学習論の登場について	ありません。
5	日本の生涯学習と方法、内容	日本の生涯学習とその形態、内容の原状について	授業後、機会があれば近隣自治体などで実状を見ることを推奨します。
6	生涯学習と行政の仕組み	社会教育行政の役割とあり方について	授業後、新聞やネットで行政の対応の確認を推奨します。
7	生涯各期の学習課題	年代による学習・教育の特徴と課題について	授業後、自身やご両親、周囲の人の生涯学習状況を考えてください。
8	生涯学習と社会教育施設	社会教育施設の実態と資格について	授業後、周りの社会教育施設を再確認することを推奨します。
9	なんのために学ぶのか	緒方洪庵と適塾を通じて「学ぶこと」の意味を考える	直後に適塾の見学を予定していますので、ある程度の復習を推奨します。
10	図書館と生涯学習	図書館の役割とその実態について	授業後、大学はもちろん周辺の図書館を再確認することを推奨します。
11	博物館と生涯学習	博物館の役割と組織、その実態について	授業後、近隣の博物館の見学を推奨します。
12	人と「歴史」の関係	身近な「歴史」に関わることの効果とその特徴について	授業後、周囲の歴史についてももう一度考え直してください。
13	生涯学習と文化財事業	生涯学習における歴史学習の実状と問題点、位置づけについて	授業後、周辺の自治体主催事業について再確認を推奨します。
14	これからの生涯学習と地域	講義内容を振り返りながら、生涯学習のあり方とその支えについて	事前に、これまでの授業内容を大枠で復習しておくことを推奨します。
15	現地見学	重要文化財・適塾の見学。日程については授業の中で決定します。	直前の授業内容の復習を推奨します。

関連科目	教育系科目群
------	--------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	生涯学習概論	佐藤晴雄	学陽書房
2	司書・学芸員をめざす人への生涯学習概論	大堀哲監修	樹村房
3			

評価方法(基準)	試験期間に筆記試験を行います。配布プリントと自筆のノートのみ持ち込み可です。ただし、配布プリントのコピーは許可します。
----------	---

学生へのメッセージ	「生涯学習論」ですが、これは学習を与えるだけの意味ではなく、相互に「学習」していくことも意味します。すべての人が生涯、なにを「学習」するのか、「学習」の意味は何か、を少しでも考えて知っていただくことを願います。また、臨時試験は論述が中心となります。担当者にもわかるように論述してください。相手になにかを伝えるという訓練にもなります。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階非常勤講師室
----------	-------------

備考	
----	--

科目名	生涯学習論	科目名(英文)	Lifelong Learning
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	橋本 考成
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	高齢化社会の現代日本では、生涯にわたる学習の必要性が指摘され続けています。ここでは「生涯学習」の基本的な理論とその実践例を紹介し、これからの「生涯学習」のあり方を考えていきます。特に歴史学習を取り上げ、市民への文化の提供の方法やその効果、問題点を挙げていき、学芸員や各自治体の生涯学習担当としての知識と意識を身につけることを目的とします。
到達目標	生涯学習に関する基礎的な知識と意識を身につける
授業方法と留意点	配布プリントと板書による講義中心で授業を行います。一回は展示施設の見学を行う予定です。
科目学習の効果(資格)	学芸員資格の必要単位となっていますが、自治体など市民に接する職業に就いた場合に対応の心構えの助けになるでしょう。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	生涯学習論について	本講義のねらいとその位置づけなど、講義を受けるための姿勢について	必要ありません。
2	生涯学習とはなにか	生涯学習の意味とその歴史・背景について	次回の授業の前提の話ですので、見直しを推奨します。
3	社会教育と生涯学習の誕生①	社会教育の歴史と、生涯学習論の登場について	次回の授業に続きますので、見直しを推奨します。
4	社会教育と生涯学習の誕生②	社会教育の歴史と、生涯学習論の登場について	ありません。
5	日本の生涯学習と方法、内容	日本の生涯学習とその形態、内容の原状について	授業後、機会があれば近隣自治体などで実状を見ることを推奨します。
6	生涯学習と行政の仕組み	社会教育行政の役割とあり方について	授業後、新聞やネットで行政の対応の確認を推奨します。
7	生涯各期の学習課題	年代による学習・教育の特徴と課題について	授業後、自身やご両親、周囲の人の生涯学習状況を考えてください。
8	生涯学習と社会教育施設	社会教育施設の実態と資格について	授業後、周りの社会教育施設を再確認することを推奨します。
9	なんのために学ぶのか	緒方洪庵と適塾を通じて「学ぶこと」の意味を考える	直後に適塾の見学を予定していますので、ある程度の復習を推奨します。
10	図書館と生涯学習	図書館の役割とその実態について	授業後、大学はもちろん周辺の図書館を再確認することを推奨します。
11	博物館と生涯学習	博物館の役割と組織、その実態について	授業後、近隣の博物館の見学を推奨します。
12	人と「歴史」の関係	身近な「歴史」に関わることの効果とその特徴について	授業後、周囲の歴史についてももう一度考え直してください。
13	生涯学習と文化財事業	生涯学習における歴史学習の実状と問題点、位置づけについて	授業後、周辺の自治体主催事業について再確認を推奨します。
14	これからの生涯学習と地域	講義内容を振り返りながら、生涯学習のあり方とその支えについて	事前に、これまでの授業内容を大枠で復習しておくことを推奨します。
15	現地見学	重要文化財・適塾の見学。日程については授業の中で決定します。	直前の授業内容の復習を推奨します。

関連科目	教育系科目群
------	--------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	生涯学習概論	佐藤晴雄	学陽書房
2	司書・学芸員をめざす人への生涯学習概論	大堀哲監修	樹村房
3			

評価方法(基準)	試験期間に筆記試験を行います。配布プリントと自筆のノートのみ持ち込み可です。ただし、配布プリントのコピーは許可します。
----------	---

学生へのメッセージ	「生涯学習論」ですが、これは学習を与えるだけの意味ではなく、相互に「学習」していくことも意味します。すべての人が生涯、なにを「学習」するのか、「学習」の意味は何か、を少しでも考えて知っていただくことを願います。また、臨時試験は論述が中心となります。担当者にもわかるように論述してください。相手になにかを伝えるという訓練にもなります。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階非常勤講師室
----------	-------------

備考	
----	--

科目名	上級検定インドネシア語	科目名(英文)	Advanced Test for Indonesian Language Proficiency
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	山口 玲子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア語技能検定C級の過去問題に取り組み、C級レベルの語彙や文法を学習する。			
到達目標	7月に行われる検定試験においてC級に合格すること。			
授業方法と留意点	本授業では、これまでに行われてきたインドネシア語技能検定試験の過去の問題を中心に、特に語彙と文法に重点をおき、授業を進める。また、適宜小テストを行う。辞書は必ず携帯すること。			
科目学習の効果(資格)	インドネシア語技能検定			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	練習問題(1)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す
	2	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	3	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	4	練習問題(2)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す
	5	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	6	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	7	練習問題(3)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す
	8	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	9	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	10	練習問題(4)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す
	11	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	12	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	13	練習問題(5)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す
	14	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	15	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	新出単語の復習
関連科目	主言語インドネシア語科目のすべて			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	平常点および小テストによる総合評価、なお、技能検定試験の結果も考慮する。			
学生へのメッセージ	検定試験合格を目指して、授業には積極的に参加しましょう。			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	授業内容を確実に理解するためにも、事前・事後学習課題には十分な時間をかけること。			

科目名	初級検定インドネシア語	科目名(英文)	Elementary Test for Indonesian Language Proficiency
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	山口 玲子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア語技能検定E級の過去問題に取り組み、E級レベルの語彙や文法を学習する。			
到達目標	1月に行われる検定試験においてE級に合格すること。			
授業方法と留意点	本授業では、これまでに行われてきたインドネシア語技能検定試験の過去の問題を中心に、特に語彙と文法に重点をおき、授業を進める。また、適宜小テストを行う。辞書は必ず携帯すること。			
科目学習の効果(資格)	インドネシア語技能検定			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	練習問題(1)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す
	2	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	3	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	4	練習問題(2)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す
	5	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	6	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	7	練習問題(3)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す
	8	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	9	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	10	練習問題(4)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す
	11	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明続き	次週の予習および新出単語の復習
	12	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明続き	次週の予習および新出単語の復習
	13	練習問題(5)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す
	14	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	15	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	新出単語の復習
関連科目	主言語インドネシア語科目のすべて			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	平常点と小テストによる総合評価、なお、技能検定試験の結果も考慮する。			
学生へのメッセージ	検定試験合格を目指して、授業には積極的に参加しましょう。			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	授業内容を確実に理解するためにも、事前・事後学習課題には十分な時間をかけること。			

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	赤澤 春彦
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。</p> <p>目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。</p>																		
到達目標	<p>摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。</p> <p>また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】</p> <p>第1回目：授業の目的、自己紹介</p> <p>第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて</p> <p>第3回目以降：内容は前後することがある。</p> <p>大学生活・大学生の守るべきルールについて</p> <p>摂南大学を知る (沿革、教育の特色、さまざまな施設)</p> <p>ノートの取り方</p> <p>図書館の活用</p> <p>メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など)</p> <p>レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成)</p> <p>キャリアデザイン、キャリアプランニング</p> <p>大学生活の目標</p> <p>その他</p> <p>【事前、事後学習課題】</p> <p>出された課題に取り組む</p> <p>漢字・時事問題テストの予習・復習をする</p> <p>レポートを作成する (合計 30h)</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>授業への参加度・理解度 70%</p> <p>課題・テストへの取り組み 30%</p> <p>※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館4階																		
備考																			

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	浅野 英一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。</p> <p>目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。</p>																		
到達目標	<p>摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。</p> <p>また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】</p> <p>第1回目：授業の目的、自己紹介</p> <p>第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて</p> <p>第3回目以降：内容は前後することがある。</p> <p>大学生活・大学生の守るべきルールについて</p> <p>摂南大学を知る(沿革、教育の特色、さまざまな施設)</p> <p>ノートの取り方</p> <p>図書館の活用</p> <p>メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など)</p> <p>レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成)</p> <p>キャリアデザイン、キャリアプランニング</p> <p>大学生活の目標</p> <p>その他</p> <p>【事前、事後学習課題】</p> <p>出された課題に取り組む</p> <p>漢字・時事問題テストの予習・復習をする</p> <p>レポートを作成する (合計30h)</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	<p>授業への参加度・理解度 70%</p> <p>課題・テストへの取り組み 30%</p> <p>※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館5階																		
備考																			

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	浦野 崇央
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																
授業方法と留意点	1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る(沿革、教育の特色、さまざまな施設) ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など) レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成) キャリアデザイン、キャリアプランニング 大学生活の目標 その他</p> <p>【事前、事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する (合計30h)</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	First Year Study Guide																
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。																
学生へのメッセージ																	
担当者の研究室等	7号館4階																
備考																	

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	門脇 薫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。</p> <p>目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。</p>																		
到達目標	<p>摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。</p> <p>また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】</p> <p>第1回目：授業の目的、自己紹介</p> <p>第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて</p> <p>第3回目以降：内容は前後することがある。</p> <p>大学生活・大学生の守るべきルールについて</p> <p>摂南大学を知る (沿革、教育の特色、さまざまな施設)</p> <p>ノートの取り方</p> <p>図書館の活用</p> <p>メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など)</p> <p>レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成)</p> <p>キャリアデザイン、キャリアプランニング</p> <p>大学生活の目標</p> <p>その他</p> <p>【事前、事後学習課題】</p> <p>出された課題に取り組む</p> <p>漢字・時事問題テストの予習・復習をする</p> <p>レポートを作成する (合計 30h)</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>授業への参加度・理解度 70%</p> <p>課題・テストへの取り組み 30%</p> <p>※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館4階																		
備考																			

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	住吉 誠
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。</p> <p>目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。</p>																		
到達目標	<p>摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。</p> <p>また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】</p> <p>第1回目：授業の目的、自己紹介</p> <p>第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて</p> <p>第3回目以降：内容は前後することがある。</p> <p>大学生活・大学生の守るべきルールについて</p> <p>摂南大学を知る (沿革、教育の特色、さまざまな施設)</p> <p>ノートの取り方</p> <p>図書館の活用</p> <p>メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など)</p> <p>レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成)</p> <p>キャリアデザイン、キャリアプランニング</p> <p>大学生活の目標</p> <p>その他</p> <p>【事前、事後学習課題】</p> <p>出された課題に取り組む</p> <p>漢字・時事問題テストの予習・復習をする</p> <p>レポートを作成する (合計 30h)</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>授業への参加度・理解度 70%</p> <p>課題・テストへの取り組み 30%</p> <p>※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館4階																		
備考																			

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	田中 秀毅
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。</p> <p>目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。</p>																		
到達目標	<p>摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。</p> <p>また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】</p> <p>第1回目：授業の目的、自己紹介</p> <p>第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて</p> <p>第3回目以降：内容は前後することがある。</p> <p>大学生活・大学生の守るべきルールについて</p> <p>摂南大学を知る(沿革、教育の特色、さまざまな施設)</p> <p>ノートの取り方</p> <p>図書館の活用</p> <p>メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など)</p> <p>レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成)</p> <p>キャリアデザイン、キャリアプランニング</p> <p>大学生活の目標</p> <p>その他</p> <p>【事前、事後学習課題】</p> <p>出された課題に取り組む</p> <p>漢字・時事問題テストの予習・復習をする</p> <p>レポートを作成する (合計30h)</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	<p>授業への参加度・理解度 70%</p> <p>課題・テストへの取り組み 30%</p> <p>※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館4階																		
備考																			

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																
授業方法と留意点	1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る(沿革、教育の特色、さまざまな施設) ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など) レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成) キャリアデザイン、キャリアプランニング 大学生活の目標 その他</p> <p>【事前、事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する (合計30h)</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	First Year Study Guide																
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。																
学生へのメッセージ																	
担当者の研究室等	7号館3階																
備考																	

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	山口 真佐夫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。</p> <p>目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。</p>																		
到達目標	<p>摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。</p> <p>また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】</p> <p>第1回目：授業の目的、自己紹介</p> <p>第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて</p> <p>第3回目以降：内容は前後することがある。</p> <p>大学生活・大学生の守るべきルールについて</p> <p>摂南大学を知る(沿革、教育の特色、さまざまな施設)</p> <p>ノートの取り方</p> <p>図書館の活用</p> <p>メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など)</p> <p>レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成)</p> <p>キャリアデザイン、キャリアプランニング</p> <p>大学生活の目標</p> <p>その他</p> <p>【事前、事後学習課題】</p> <p>出された課題に取り組む</p> <p>漢字・時事問題テストの予習・復習をする</p> <p>レポートを作成する (合計30h)</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	<p>授業への参加度・理解度 70%</p> <p>課題・テストへの取り組み 30%</p> <p>※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館5階																		
備考																			

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	神崎 舞
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。</p> <p>目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。</p>																		
到達目標	<p>摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。</p> <p>また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】</p> <p>第1回目：授業の目的、自己紹介</p> <p>第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて</p> <p>第3回目以降：内容は前後することがある。</p> <p>大学生活・大学生の守るべきルールについて</p> <p>摂南大学を知る (沿革、教育の特色、さまざまな施設)</p> <p>ノートの取り方</p> <p>図書館の活用</p> <p>メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など)</p> <p>レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成)</p> <p>キャリアデザイン、キャリアプランニング</p> <p>大学生活の目標</p> <p>その他</p> <p>【事前、事後学習課題】</p> <p>出された課題に取り組む</p> <p>漢字・時事問題テストの予習・復習をする</p> <p>レポートを作成する (合計 30h)</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>授業への参加度・理解度 70%</p> <p>課題・テストへの取り組み 30%</p> <p>※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館5階																		
備考																			

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	有馬 善一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。</p> <p>目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。</p>																		
到達目標	<p>摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。</p> <p>また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】</p> <p>第1回目：授業の目的、自己紹介</p> <p>第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて</p> <p>第3回目以降：内容は前後することがある。</p> <p>大学生活・大学生の守るべきルールについて</p> <p>摂南大学を知る(沿革、教育の特色、さまざまな施設)</p> <p>ノートの取り方</p> <p>図書館の活用</p> <p>メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など)</p> <p>レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成)</p> <p>キャリアデザイン、キャリアプランニング</p> <p>大学生活の目標</p> <p>その他</p> <p>【事前、事後学習課題】</p> <p>出された課題に取り組む</p> <p>漢字・時事問題テストの予習・復習をする</p> <p>レポートを作成する (合計30h)</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	<p>授業への参加度・理解度 70%</p> <p>課題・テストへの取り組み 30%</p> <p>※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館4階																		
備考																			

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	小川 豊生
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。</p> <p>目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。</p>																		
到達目標	<p>摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。</p> <p>また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】</p> <p>第1回目：授業の目的、自己紹介</p> <p>第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて</p> <p>第3回目以降：内容は前後することがある。</p> <p>大学生活・大学生の守るべきルールについて</p> <p>摂南大学を知る (沿革、教育の特色、さまざまな施設)</p> <p>ノートの取り方</p> <p>図書館の活用</p> <p>メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など)</p> <p>レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成)</p> <p>キャリアデザイン、キャリアプランニング</p> <p>大学生活の目標</p> <p>その他</p> <p>【事前、事後学習課題】</p> <p>出された課題に取り組む</p> <p>漢字・時事問題テストの予習・復習をする</p> <p>レポートを作成する (合計 30h)</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>授業への参加度・理解度 70%</p> <p>課題・テストへの取り組み 30%</p> <p>※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館4階																		
備考																			

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	橋本 正俊
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。</p> <p>目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。</p>																		
到達目標	<p>摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。</p> <p>また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】</p> <p>第1回目：授業の目的、自己紹介</p> <p>第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて</p> <p>第3回目以降：内容は前後することがある。</p> <p>大学生活・大学生の守るべきルールについて</p> <p>摂南大学を知る(沿革、教育の特色、さまざまな施設)</p> <p>ノートの取り方</p> <p>図書館の活用</p> <p>メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など)</p> <p>レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成)</p> <p>キャリアデザイン、キャリアプランニング</p> <p>大学生活の目標</p> <p>その他</p> <p>【事前、事後学習課題】</p> <p>出された課題に取り組む</p> <p>漢字・時事問題テストの予習・復習をする</p> <p>レポートを作成する (合計30h)</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	<p>授業への参加度・理解度 70%</p> <p>課題・テストへの取り組み 30%</p> <p>※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館4階																		
備考																			

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	林田 敏子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。</p> <p>目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。</p>																		
到達目標	<p>摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。</p> <p>また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】</p> <p>第1回目：授業の目的、自己紹介</p> <p>第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて</p> <p>第3回目以降：内容は前後することがある。</p> <p>大学生活・大学生の守るべきルールについて</p> <p>摂南大学を知る (沿革、教育の特色、さまざまな施設)</p> <p>ノートの取り方</p> <p>図書館の活用</p> <p>メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など)</p> <p>レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成)</p> <p>キャリアデザイン、キャリアプランニング</p> <p>大学生活の目標</p> <p>その他</p> <p>【事前、事後学習課題】</p> <p>出された課題に取り組む</p> <p>漢字・時事問題テストの予習・復習をする</p> <p>レポートを作成する (合計 30h)</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>授業への参加度・理解度 70%</p> <p>課題・テストへの取り組み 30%</p> <p>※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館4階																		
備考																			

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	原 秀禎
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。</p> <p>目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。</p>																		
到達目標	<p>摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。</p> <p>また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】</p> <p>第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。</p> <p>大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る(沿革、教育の特色、さまざまな施設) ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など) レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成) キャリアデザイン、キャリアプランニング 大学生活の目標 その他</p> <p>【事前、事後学習課題】</p> <p>出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する (合計30h)</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	<p>授業への参加度・理解度 70%</p> <p>課題・テストへの取り組み 30%</p> <p>※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館5階																		
備考																			

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	松田 早恵
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																
授業方法と留意点	1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る(沿革、教育の特色、さまざまな施設) ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など) レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成) キャリアデザイン、キャリアプランニング 大学生活の目標 その他</p> <p>【事前、事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する (合計30h)</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	First Year Study Guide																
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	授業への参加度・理解度 70% 課題・テストへの取り組み 30% ※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。																
学生へのメッセージ																	
担当者の研究室等	7号館5階																
備考																	

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	吉村 征洋
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。</p> <p>目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。</p>																		
到達目標	<p>摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。</p> <p>また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】</p> <p>第1回目：授業の目的、自己紹介</p> <p>第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて</p> <p>第3回目以降：内容は前後することがある。</p> <p>大学生活・大学生の守るべきルールについて</p> <p>摂南大学を知る(沿革、教育の特色、さまざまな施設)</p> <p>ノートの取り方</p> <p>図書館の活用</p> <p>メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など)</p> <p>レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成)</p> <p>キャリアデザイン、キャリアプランニング</p> <p>大学生活の目標</p> <p>その他</p> <p>【事前、事後学習課題】</p> <p>出された課題に取り組む</p> <p>漢字・時事問題テストの予習・復習をする</p> <p>レポートを作成する (合計30h)</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	<p>授業への参加度・理解度 70%</p> <p>課題・テストへの取り組み 30%</p> <p>※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館3階																		
備考																			

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	大原関 一浩
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。</p> <p>目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。</p>																		
到達目標	<p>摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。</p> <p>また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】</p> <p>第1回目：授業の目的、自己紹介</p> <p>第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて</p> <p>第3回目以降：内容は前後することがある。</p> <p>大学生活・大学生の守るべきルールについて</p> <p>摂南大学を知る (沿革、教育の特色、さまざまな施設)</p> <p>ノートの取り方</p> <p>図書館の活用</p> <p>メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など)</p> <p>レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成)</p> <p>キャリアデザイン、キャリアプランニング</p> <p>大学生活の目標</p> <p>その他</p> <p>【事前、事後学習課題】</p> <p>出された課題に取り組む</p> <p>漢字・時事問題テストの予習・復習をする</p> <p>レポートを作成する (合計 30h)</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>授業への参加度・理解度 70%</p> <p>課題・テストへの取り組み 30%</p> <p>※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館5階																		
備考																			

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	木本 浩一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>概要：大学で学ぶための基本的な能力を身につける。</p> <p>目的：①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。</p>																		
到達目標	<p>摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1ゼミ当たり十数名のクラスで、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。</p> <p>また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容、方法】</p> <p>第1回目：授業の目的、自己紹介</p> <p>第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて</p> <p>第3回目以降：内容は前後することがある。</p> <p>大学生活・大学生の守るべきルールについて</p> <p>摂南大学を知る (沿革、教育の特色、さまざまな施設)</p> <p>ノートの取り方</p> <p>図書館の活用</p> <p>メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など)</p> <p>レポートの書き方 (タイピング、パソコン等による文章作成)</p> <p>キャリアデザイン、キャリアプランニング</p> <p>大学生活の目標</p> <p>その他</p> <p>【事前、事後学習課題】</p> <p>出された課題に取り組む</p> <p>漢字・時事問題テストの予習・復習をする</p> <p>レポートを作成する (合計 30h)</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>First Year Study Guide</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>授業への参加度・理解度 70%</p> <p>課題・テストへの取り組み 30%</p> <p>※この授業を単位取得していなければ、2年次に進級できない。</p>																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館5階																		
備考																			

科目名	スキिल्ズ トレーニング I a	科目名 (英文)	Skills Training Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	スコット ライリー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	さまざまな分野の英語のテキストを読む。内容を効率的かつ効果的に理解するためのコミュニケーション能力の総合的向上を目指す。
到達目標	上記の目的に加えて、英語の長文を正しく理解し、正確な日本語に置き換えることができるようにし文構造を意識して内容が把握できるようになること。 また、時事的な問題に関わる語彙力を付け、各種検定試験にも役立つようにする。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises 若年層の雇用問題 1	Individual Task, Pair Work or Group Work 労働問題にかかわる英語語彙	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Exercises 若年層の雇用問題 2	Individual Task, Pair Work or Group Work 労働問題にかかわる英語表現	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises 進む少子化 1	Individual Task, Pair Work or Group Work 少子化にかかわる英語語彙	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises 進む少子化 2	Individual Task, Pair Work or Group Work 少子化にかかわる英語表現	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises ワーキングプア問題 1	Individual Task, Pair Work or Group Work 雇用問題にかかわる英語語彙	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises ワーキングプア問題 2	Individual Task, Pair Work or Group Work 雇用問題にかかわる英語表現	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises 貧困の問題 1	Individual Task, Pair Work or Group Work 格差問題にかかわる英語語彙	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises 貧困の問題 2	Individual Task, Pair Work or Group Work 格差問題にかかわる英語表現	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises 引きこもり問題 1	Individual Task, Pair Work or Group Work 人間関係にかかわる英語語彙	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises 引きこもり問題 2	Individual Task, Pair Work or Group Work 人間関係にかかわる英語表現	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Exercises カルト問題 1	Individual Task, Pair Work or Group Work 宗教問題にかかわる英語語彙	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Exercises カルト問題 2	Individual Task, Pair Work or Group Work 宗教問題にかかわる英語表現	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Exercises まとめ	Individual Task, Pair Work or Group Work 英語語彙・表現のまとめ	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review 時事問題の総まとめと確認	Individual task, pair work, and group work	...

関連科目	Writing a, b Speaking I, II
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Keywords for Japan Today	Paul Stapleton	Cengage Learning
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)	テスト2回 (30点×2回) = 60点 単語テスト30点 (3点×10回) = 30点 その他提出物など 10点
-----------	---

学生へのメッセージ	語学スキルとは言葉と多角的に接して行くことによって生まれるものだと思います。内容的に楽しいテキストを選びました。
-----------	--

	<p>プリント配布が多いのでポケットファイルを用意してください。 辞書は必ず持って来てください。紙、電子、どちらでもいいです。スマホは禁止です。 欠席は4回すると評価対象外になります。遅刻は20分まで、遅刻3回で1回の欠席とみなします。</p>
<p>担当者の 研究室等</p>	<p>・・・</p>
<p>備考</p>	<p>英語の内容を何となく把握するもの大切ですが、構文一つ一つを正確に理解することも今後の語学学習の基礎として不可欠です。 その両方をバランスよく学習して行くことを目指します。</p> <p>予習や復習、提出物の作成などにかかる事前事後総時間数を15時間程度とする。</p>

科目名	スキिल्ズ トレーニング I b	科目名 (英文)	Skills Training Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	スコット ライリー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	さまざまな分野の英語のテキストを読む。内容を効率的かつ効果的に理解するためのコミュニケーション能力の総合的向上を目指す。
到達目標	上記の目的に加えて、英語の長文を正しく理解し、正確な日本語に置き換えることができるようにし文構造を意識して内容が把握できるようになること。 また、時事的な問題に関わる語彙力を付け、各種検定試験にも役立つようにする。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises 高齢化問題 2	Individual Task, Pair Work or Group Work 高齢化に関する英語表現	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Exercises 移民問題 1	Individual Task, Pair Work or Group Work 移民問題に関する英語語彙	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises 移民問題 2	Individual Task, Pair Work or Group Work 移民問題に関する英語表現	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises 通信技術 1	Individual Task, Pair Work or Group Work 通信技術に関する英語語彙	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises 通信技術 2	Individual Task, Pair Work or Group Work 通信技術に関する英語表現	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises 医療問題 1	Individual Task, Pair Work or Group Work 医療問題に関する英語語彙	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises 医療問題 2	Individual Task, Pair Work or Group Work 医療問題に関する英語表現	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises 出産にかかわる問題 1	Individual Task, Pair Work or Group Work 出産に関する英語語彙	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises 出産にかかわる問題 2	Individual Task, Pair Work or Group Work 出産に関する英語表現	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises 育児問題 1	Individual Task, Pair Work or Group Work 育児に関する英語語彙	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Exercises 育児問題 2	Individual Task, Pair Work or Group Work 育児に関する英語表現	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Exercises 摂食障害 1	Individual Task, Pair Work or Group Work 摂食障害に関する英語語彙	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Exercises 摂食障害 2	Individual Task, Pair Work or Group Work 摂食障害に関する英語表現	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review 時事問題の総まとめ	Individual task, pair work, and group work	...

関連科目 Writing a, b Speaking I, II

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Keywords for Japan Today	Paul Stapleton	Cengage Learning
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準) テスト2回 (30点×2回) = 60点
単語テスト30点 (3点×10回) = 30点
その他提出物など 10点

学生へのメッセージ 語学スキルとは言葉と多角的に接して行くことによって生まれるものだと思います。内容的に楽しいテキストを選びました。

	<p>プリント配布が多いのでポケットファイルを用意してください。 辞書は必ず持って来てください。紙、電子、どちらでもいいです。スマホは禁止です。 欠席は4回すると評価対象外になります。遅刻は20分まで、遅刻3回で1回の欠席とみなします。</p>
<p>担当者の 研究室等</p>	<p>・・・</p>
<p>備考</p>	<p>英語の内容を何となく把握するもの大切ですが、構文一つ一つを正確に理解することも今後の語学学習の基礎として不可欠です。 その両方をバランスよく学習して行くことを目指します。</p> <p>予習や復習、提出物の作成などにかかる事前事後総時間数を15時間程度とする。</p>

科目名	スキिल्ズ トレーニングⅡ a	科目名 (英文)	Skills Training IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ブルース ライリー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	身近な話題について英語で会話を行えるようにします。これまで学習した英語の知識を会話の中で学びなおし、英語が「わかる」から「できる」に変えていくことを目指します。
到達目標	4技能のスキルをさらに磨き、できるだけ自然な英語で口頭表現ができるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Individual task, pair work, and group work	...

関連科目	英語関係全般
------	--------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Let's Talk About It	Craig Drayton, Mark Gibbon	Pearson Longman
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Student grades will be based on class participation, homework, and tests.
-----------	---

学生へのメッセージ	Please participate fully and enjoy the class.
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	辞書を持参のこと。 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	スキルズ トレーニング II b	科目名 (英文)	Skills Training IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ブルース ライリー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	身近な話題について英語で会話を行えるようにします。またプリントなどを用いてこれまで習った英語の知識を総復習し、英語が「わかる」から「できる」に変えていくことを目指します。
到達目標	これまでに身につけた英語のスキルをさらに磨き、口頭での表現がうまくできるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Pairwork and Text Activities	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Individual task, pair work, and group work	...

関連科目	英語関係全般
------	--------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Let's Talk About It	Craig Drayton, Mark Gibbon	Pearson Longman
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Student grades will be based on class participation, homework, and tests.
-----------	---

学生へのメッセージ	Please participate fully and enjoy the class.
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	辞書を持参のこと。 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	スキルズ トレーニング a	科目名 (英文)	Skills Training a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	イロ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	鳥居 祐介
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	英語学習の基盤となるスキルを習得する。
到達目標	辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICTを用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
授業方法と留意点	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文を暗唱する。『暗唱英文 100 選』の例文に関する共通テスト（口頭）が学期末に行われる。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises 『暗唱英文 100 選』6-10 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 肯定文と否定文	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises 『暗唱英文 100 選』11-15 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work Yes/No 疑問文	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-15 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (1)	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-20 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 疑問詞	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises 『暗唱英文 100 選』21-25 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work there + be 動詞	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-30 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work it の用法	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-30 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (2)	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-35 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work Let's の用法	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises 『暗唱英文 100 選』36-40 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 過去形	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises 『暗唱英文 100 選』41-45 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 助動詞 can, could	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises 『暗唱英文 100 選』46-50 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work have + to 不定詞	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-25 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (3)	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-50 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法の総まとめ	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises まとめ、および共通テスト「口頭」を実施する	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂	
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準) 平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (口頭) の成績を総合的に評価する。
※共通テスト (口頭) の結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。

学生への

メッセージ	
担当者の 研究室等	7号館3階鳥居研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	スキルズ トレーニング a	科目名 (英文)	Skills Training a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ハニ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	松田 早恵
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	英語学習の基盤となるスキルを習得する。
到達目標	辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICTを用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
授業方法と留意点	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文を暗唱する。『暗唱英文 100 選』の例文に関する共通テスト（口頭）が学期末に行われる。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises 『暗唱英文 100 選』6-10 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 肯定文と否定文	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises 『暗唱英文 100 選』11-15 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work Yes/No 疑問文	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-15 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (1)	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-20 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 疑問詞	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises 『暗唱英文 100 選』21-25 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work there+be 動詞	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-30 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work it の用法	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-30 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (2)	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-35 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work Let's の用法	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises 『暗唱英文 100 選』36-40 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 過去形	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises 『暗唱英文 100 選』41-45 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 助動詞 can, could	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises 『暗唱英文 100 選』46-50 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work have + to 不定詞	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-25 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法まとめ (3)	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-50 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法の総まとめ	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises まとめ、および共通テスト「口頭」を実施する	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準) 平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (口頭) の成績を総合的に評価する。
 ※共通テスト (口頭) の結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
 学生への 語学はかけた時間と集中力が物を言います。普段からインプットとアウトプットの両方を増やすことを心がけましょう。

メッセージ	
担当者の 研究室等	7号館5階 松田研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	スキルズ トレーニング a	科目名 (英文)	Skills Training a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ホへ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	田中 秀毅
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	英語学習の基盤となるスキルを習得する。
到達目標	辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICTを用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
授業方法と留意点	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文を暗唱する。『暗唱英文 100 選』の例文に関する共通テスト（口頭）が学期末に行われる。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises 『暗唱英文 100 選』6-10 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 肯定文と否定文	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises 『暗唱英文 100 選』11-15 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work Yes/No 疑問文	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-15 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (1)	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-20 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 疑問詞	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises 『暗唱英文 100 選』21-25 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work there + be 動詞	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-30 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work it の用法	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises 『暗唱英文 100 選』15-30 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (2)	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-35 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work Let's の用法	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises 『暗唱英文 100 選』36-40 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 過去形	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises 『暗唱英文 100 選』41-45 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 助動詞 can, could	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises 『暗唱英文 100 選』46-50 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work have + to 不定詞	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-25 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (3)	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-50 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法の総まとめ	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises まとめ、および共通テスト「口頭」を実施する	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Longman Dictionary of Contemporary English, 6th ed. (ロングマン現代英英辞典第 6 版)		ロングマン
	2	Oxford Advanced Learner's Dictionary, 8th ed. (オックスフォード現代英英辞典第 8 版)		オックスフォード
	3			

評価方法 平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (口頭) の成績を総合的に評価する。

(基準)	※共通テスト(口頭)の結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
学生へのメッセージ	英語学習の基礎を固める科目ですから真剣に取り組んでください。
担当者の研究室等	7号館4階 田中秀毅研究室
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。</p> <p>1. 英和辞典は最新版が望ましい。電子辞書については、学習用に適した辞書を内蔵している場合に限り使用を認める。液晶画面の小さいものや旅行用のポータブルタイプは不可。なお、留学に近い状況に身を置いて英語力を着実にアップさせたい受講者には参考書欄にあげた英英辞典を推薦する。</p> <p>2. 欠席は授業に出席しなかった場合(公欠・忌引き・病欠を含む)のすべてを対象とする(ただし、やむを得ない事情と判断できる欠席については考慮するので申し出ること)。欠席回数の限度については初回授業で説明するので必ず確認すること。</p> <p>3. 遅刻は本人の授業理解度を低下させ、ほかの受講者の集中力を阻害するので避けること。また、携帯電話が授業中に鳴ると授業の進行の妨げになるので電源は授業開始までに切っておくこと。</p>

科目名	スキルズ トレーニング a	科目名 (英文)	Skills Training a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	トチ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	神崎 舞
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	英語学習の基盤となるスキルを習得する。
到達目標	辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICTを用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
授業方法と留意点	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文を暗唱する。『暗唱英文 100 選』の例文に関する共通テスト（口頭）が学期末に行われる。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises 『暗唱英文 100 選』6-10 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 肯定文と否定文	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises 『暗唱英文 100 選』11-15 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work Yes/No 疑問文	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-15 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (1)	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-20 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 疑問詞	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises 『暗唱英文 100 選』21-25 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work there + be 動詞	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-30 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work it の用法	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-30 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (2)	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-35 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work Let's の用法	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises 『暗唱英文 100 選』36-40 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 過去形	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises 『暗唱英文 100 選』41-45 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 助動詞 can, could	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises 『暗唱英文 100 選』46-50 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work have + to 不定詞	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-25 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (3)	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-50 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法の総まとめ	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises まとめ、および共通テスト「口頭」を実施する	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準) 平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (口頭) の成績を総合的に評価する。
 ※共通テスト (口頭) の結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
 学生への 予習・復習を怠らず、根気よく英語の学習に取り組んで下さい。

メッセージ	
担当者の 研究室等	7号館5階 神崎研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	スキルズ トレーニング a	科目名 (英文)	Skills Training a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	リヌ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	後藤 一章
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	英語学習の基盤となるスキルを習得する。
到達目標	辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICTを用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
授業方法と留意点	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文を暗唱する。『暗唱英文 100 選』の例文に関する共通テスト（口頭）が学期末に行われる。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises 『暗唱英文 100 選』6-10 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 肯定文と否定文	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises 『暗唱英文 100 選』11-15 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work Yes/No 疑問文	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-15 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (1)	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-20 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 疑問詞	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises 『暗唱英文 100 選』21-25 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work there + be 動詞	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-30 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work it の用法	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-30 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (2)	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-35 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work Let's の用法	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises 『暗唱英文 100 選』36-40 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 過去形	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises 『暗唱英文 100 選』41-45 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 助動詞 can, could	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises 『暗唱英文 100 選』46-50 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work have + to 不定詞	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-25 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (3)	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-50 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法の総まとめ	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises まとめ、および共通テスト「口頭」を実施する	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3	Beginner Course for the TOEIC Bridge Test	Alex Cameron 他	松相社

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (口頭) の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト (口頭) の結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
-----------	---

学生への	
------	--

メッセージ	
担当者の 研究室等	7号館5階 後藤研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	スキिल्ズ トレーニング b	科目名 (英文)	Skills Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	A B
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	吉村 征洋
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	英語学習の基盤となるスキルを習得する。
到達目標	辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICTを用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
授業方法と留意点	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文を暗唱する。『暗唱英文 100 選』の例文に関する共通テスト（口頭）が学期末に行われる。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises 『暗唱英文 100 選』 56-60 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 時間の前置詞 for	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises 『暗唱英文 100 選』 61-65 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 時間の前置詞 during	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises 『暗唱英文 100 選』 51-65 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (1)	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises 『暗唱英文 100 選』 66-70 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 手段の前置詞 by	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises 『暗唱英文 100 選』 71-75 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 形容詞の比較級	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises 『暗唱英文 100 選』 76-80 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 現在完了	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises 『暗唱英文 100 選』 66-80 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (2)	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises 『暗唱英文 100 選』 81-85 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 助動詞 + 受動態	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises 『暗唱英文 100 選』 86-90 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 現在分詞 k	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises 『暗唱英文 100 選』 91-95 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 関係代名詞	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises 『暗唱英文 100 選』 96-100 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 仮定法	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises 『暗唱英文 100 選』 51-75 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (3)	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises 『暗唱英文 100 選』 76-100 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法の総まとめ	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises まとめ、および共通テスト「口頭」を実施する	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 ボキャブラリー&文法 b、スピーキング&ライティング Ib

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準) 平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (口頭) の成績を総合的に評価する。
※共通テスト (口頭) の結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。

学生への

メッセージ	
担当者の 研究室等	7号館3階 吉村研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	スキिल्ズ トレーニング b	科目名 (英文)	Skills Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	C D
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	後藤 一章
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	英語学習の基盤となるスキルを習得する。
到達目標	辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICTを用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
授業方法と留意点	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文を暗唱する。『暗唱英文 100 選』の例文に関する共通テスト（口頭）が学期末に行われる。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises 『暗唱英文 100 選』56-60 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 時間の前置詞 by	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises 『暗唱英文 100 選』61-65 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 時間の前置詞 during	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-65 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (1)	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-70 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 手段の前置詞 by	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises 『暗唱英文 100 選』71-75 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 形容詞の比較級	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-80 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 現在完了	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-80 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (2)	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-85 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 助動詞 + 受動態	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises 『暗唱英文 100 選』86-90 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 現在分詞	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises 『暗唱英文 100 選』91-95 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 関係代名詞	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises 『暗唱英文 100 選』96-100 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 仮定法	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-75 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (3)	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-100 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法の総まとめ	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises まとめ、および共通テスト「口頭」を実施する	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目: ボキャブラリー&文法 b、スピーキング&ライティング Ib

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂	
3	Strike Up The TOEIC Test Listening	塚田 幸光	金星堂	

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準): 平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (口頭) の成績を総合的に評価する。
 ※共通テスト (口頭) の結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。

学生への

メッセージ	
担当者の 研究室等	7号館5階 後藤研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	スキिल्ズ トレーニング b	科目名 (英文)	Skills Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	あい
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	鳥居 祐介
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	英語学習の基盤となるスキルを習得する。
到達目標	辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICTを用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
授業方法と留意点	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文を暗唱する。『暗唱英文 100 選』の例文に関する共通テスト（口頭）が学期末に行われる。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises 『暗唱英文 100 選』56-60 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 時間の前置詞 by	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises 『暗唱英文 100 選』61-65 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 時間の前置詞 during	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-65 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (1)	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-70 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 手段の前置詞 by	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises 『暗唱英文 100 選』71-75 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 形容詞の比較級	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-80 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 現在完了	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-80 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (2)	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-85 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 助動詞 + 受動態	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises 『暗唱英文 100 選』86-90 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 現在分詞	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises 『暗唱英文 100 選』91-95 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 関係代名詞	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises 『暗唱英文 100 選』96-100 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 仮定法	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-75 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (3)	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-100 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法の総まとめ	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises まとめ、および共通テスト「口頭」を実施する	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 ボキャブラリー&文法 b、スピーキング&ライティング Ib

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準) 平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (口頭) の成績を総合的に評価する。
※共通テスト (口頭) の結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。

学生への

メッセージ	
担当者の 研究室等	7号館3階 鳥居研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	スキルズ トレーニング b	科目名 (英文)	Skills Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	うえ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	松田 早恵
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	英語学習の基盤となるスキルを習得する。
到達目標	辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICTを用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
授業方法と留意点	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文を暗唱する。『暗唱英文 100 選』の例文に関する共通テスト（口頭）が学期末に行われる。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises 『暗唱英文 100 選』 56-60 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 時間の前置詞 for	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises 『暗唱英文 100 選』 61-65 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 時間の前置詞 during	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises 『暗唱英文 100 選』 51-65 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (1)	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises 『暗唱英文 100 選』 66-70 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 手段の前置詞 by	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises 『暗唱英文 100 選』 71-75 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 形容詞の比較級	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises 『暗唱英文 100 選』 76-80 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 現在完了	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises 『暗唱英文 100 選』 66-80 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (2)	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises 『暗唱英文 100 選』 81-85 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 助動詞 + 受動態	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises 『暗唱英文 100 選』 86-90 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 現在分詞	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises 『暗唱英文 100 選』 91-95 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 関係代名詞	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises 『暗唱英文 100 選』 96-100 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 仮定法	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises 『暗唱英文 100 選』 51-75 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (3)	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises 『暗唱英文 100 選』 76-100 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法の総まとめ	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises まとめ、および共通テスト「口頭」を実施する	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目: ボキャブラリー&文法 b、スピーキング&ライティング Ib

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準): 平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (口頭) の成績を総合的に評価する。
 ※共通テスト (口頭) の結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
 学生への: 語学はかけた時間と集中力が物を言います。普段からインプットとアウトプットの両方を増やすことを心がけましょう。

メッセージ	
担当者の 研究室等	7号館5階 松田研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	スキルズ トレーニング b	科目名 (英文)	Skills Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	おか
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	神崎 舞
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	英語学習の基盤となるスキルを習得する。
到達目標	辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICTを用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
授業方法と留意点	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文を暗唱する。『暗唱英文 100 選』の例文に関する共通テスト（口頭）が学期末に行われる。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises 『暗唱英文 100 選』56-60 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 時間の前置詞 for	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises 『暗唱英文 100 選』61-65 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 時間の前置詞 during	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-65 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (1)	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-70 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 手段の前置詞 by	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises 『暗唱英文 100 選』71-75 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 形容詞の比較級	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-80 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 現在完了	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-80 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (2)	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-85 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 助動詞 + 受動態	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises 『暗唱英文 100 選』86-90 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 現在分詞	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises 『暗唱英文 100 選』91-95 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 関係代名詞	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises 『暗唱英文 100 選』96-100 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 仮定法	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-75 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (3)	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-100 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法の総まとめ	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises まとめ、および共通テスト「口頭」を実施する	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目: ボキャブラリー&文法 b、スピーキング&ライティング Ib

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂	
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準): 平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (口頭) の成績を総合的に評価する。
 ※共通テスト (口頭) の結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
 学生への: 予習・復習を怠らず、根気よく英語の学習に取り組んで下さい。

メッセージ	
担当者の 研究室等	7号館5階 神崎研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	スキिल्ズ トレーニング b	科目名 (英文)	Skills Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	きく
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	田中 秀毅
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	英語学習の基盤となるスキルを習得する。
到達目標	辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICTを用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
授業方法と留意点	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文を暗唱する。『暗唱英文 100 選』の例文に関する共通テスト（口頭）が学期末に行われる。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises 『暗唱英文 100 選』 56-60 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 時間の前置詞句 for	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises 『暗唱英文 100 選』 61-65 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 時間の前置詞 during	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises 『暗唱英文 100 選』 51-65 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (1)	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises 『暗唱英文 100 選』 66-70 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 手段の前置詞 by	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises 『暗唱英文 100 選』 71-75 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 形容詞の比較級	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises 『暗唱英文 100 選』 76-80 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 現在完了	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises 『暗唱英文 100 選』 66-80 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (2)	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises 『暗唱英文 100 選』 81-85 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 助動詞 + 受動態	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises 『暗唱英文 100 選』 86-90 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 現在分詞	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises 『暗唱英文 100 選』 91-95 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 関係代名詞	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises 『暗唱英文 100 選』 96-100 を暗唱する	Individual Task, Pair work, and group work 仮定法	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises 『暗唱英文 100 選』 51-75 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法のまとめ (3)	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises 『暗唱英文 100 選』 76-100 を復唱する	Individual Task, Pair work, and group work 文法の総まとめ	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises まとめ、および共通テスト「口頭」を実施する	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目: ボキャブラリー&グラマー b、スピーキング&ライティング Ib

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂	
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Longman Dictionary of Contemporary English, 6th ed. (ロングマン現代英英辞典第6版)		ロングマン
2	Oxford Advanced Learner's Dictionary, 8th ed. (オックスフォード現代英英辞典第8版)		オックスフォード	
3				

評価方法: 平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (口頭) の成績を総合的に評価する。

(基準)	※共通テスト(口頭)の結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
学生へのメッセージ	英語学習の基礎を固める科目ですから真剣に取り組んでください。
担当者の研究室等	7号館4階 田中秀毅研究室
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。</p> <p>1. 英和辞典は最新版が望ましい。電子辞書については、学習用に適した辞書を内蔵している場合に限り使用を認める。液晶画面の小さいものや旅行用のポータブルタイプは不可。なお、留学に近い状況に身を置いて英語力を着実にアップさせたい受講者には参考書欄にあげた英英辞典を推薦する。</p> <p>2. 欠席は授業に出席しなかった場合(公欠・忌引き・病欠を含む)のすべてを対象とする(ただし、やむを得ない事情と判断できる欠席については考慮するので申し出ること)。欠席回数の限度については初回授業で説明するので必ず確認すること。</p> <p>3. 遅刻は本人の授業理解度を低下させ、ほかの受講者の集中力を阻害するので避けること。また、携帯電話が授業中に鳴ると授業の進行の妨げになるので電源は授業開始までに切っておくこと。</p>

科目名	スピーキング I a	科目名 (英文)	Speaking Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ジェーン パーinker
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	基礎英会話の習得を目標とする。テキストは日常的に使っている英文を扱っており、しっかり学習すれば、リスニング、スピーキングの力も確実に向上する。会話の習得を目的とする授業であるから、学生が中心になり、学生によって進められていくべきであることは言うまでもない。学科の学習・教育目標との対応：[E]
到達目標	簡単な文型や単語を使った日常会話はこなせるようになること。
授業方法と留意点	学生主導の授業である。ペアワークなど、躊躇することなく積極的に参加すること。
科目学習の効果 (資格)	英語を使つてのコミュニケーション能力が付き、今後遭遇すると思われるさまざまなシチュエーションで役に立つ。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	授業ガイダンス、自己紹介、英語パズルなど	ガイダンス、自己紹介、TOEICのスコアなど	U1の予習
2	挨拶、自己紹介等の会話	現在形の文で挨拶、自己紹介などの会話教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U1の復習、予習
3	挨拶、自己紹介等の会話	現在形の文で挨拶、自己紹介などの会話教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U1の復習、U2の予習
4	日常生活、学生生活の会話	日常生活、学生生活の会話 Wh-の疑問文教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U2の復習、予習
5	日常生活、学生生活の会話	日常生活、学生生活の会話 Wh-の疑問文教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U2の復習、U3の予習
6	娯楽、趣味の会話	～ができる。助動詞を使った会話教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U3の復習、予習
7	娯楽、趣味の会話	～ができる。助動詞を使った会話教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U3の復習
8	U1～3の見直し、復習	教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U4の予習
9	場所の会話	～があります。故郷や近所をたずねる会話教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U4の復習、予習
10	場所の会話	～があります。故郷や近所をたずねる会話教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U4の復習、U5の予習
11	旅行の会話	～はどこですか。の会話教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U5の復習、予習
12	旅行の会話	～はどこですか。の会話教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U5の復習、U6の予習
13	買い物の会話	～はいくらですか。の会話教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U6の復習、予習
14	買い物の会話	～はいくらですか。の会話教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U6の復習
15	U4～6の見直し、復習	教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U1～6の復習

関連科目 他の英語のクラスすべて

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Breakthrough Plus 1	Miles Craven	Macmillan
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準) Students will be assessed on class work, attitude and through weekly speaking activities. There will be pair work, group work and individual speaking exercises/activities.

学生への I'm looking forward to our class! This is a speaking class so don't be shy! It's important that you speak out in class as the best

メッセージ	way to improve your speaking is by speaking! This class will be taught in English. Please bring your textbook, notebook, pen and a dictionary every week.
担当者の 研究室等	非常勤講師室 (7号館2F)
備考	

科目名	スピーキング I b	科目名 (英文)	Speaking Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ジェーン パーミンター
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	基礎英会話の習得を目標とする。テキストは日常的に使っている英文を扱っており、しっかり学習すれば、リスニング、スピーキングの力も確実に向上する。会話の習得を目的とする授業であるから、学生が中心になり、学生によって進められていくべきであることは言うまでもない。学科の学習・教育目標との対応：[D]
到達目標	簡単な文型と単語を使った日常会話はマスターすること。
授業方法と留意点	学生主導の授業である。ペアワークなど、躊躇することなく積極的に参加すること。
科目学習の効果 (資格)	英語を使つてのコミュニケーション能力が付き、今後遭遇すると思われるさまざまなシチュエーションで役に立つ。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	授業ガイダンス、現在進行中の事柄の会話	～しているところです。の会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U7の復習、予習
2	現在進行中の事柄の会話	～しているところです。の会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U7の復習、U8の予習
3	人物を描写する会話	～のようにみえる、～のようです。の会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U8の復習、予習
4	人物を描写する会話	～のようにみえる、～のようです。の会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U8の復習、U9の予習
5	近い計画、招待の会話	進行形で計画、招待の会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U9の復習、予習
6	近い計画、招待の会話	進行形で計画、招待の会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U9の復習
7	U7～9の見直し、復習	教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U10の予習
8	休暇の会話	過去形の疑問文、肯定文で休暇の会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U10の復習、予習
9	休暇の会話	過去形の疑問文、肯定文で休暇の会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U10の復習、U11の予習
10	これまでの人生の会話	これまでの出来事の会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U11の復習、予習
11	これまでの人生の会話	これまでの出来事の会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U11の復習、U12の予習
12	夢を語る会話	～したい。の会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U12の復習、予習
13	夢を語る会話	～したい。の会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U12の復習
14	U10～12の見直し、復習	教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど	U10～12の復習
15	テーマは自由に選択、ペアでロールプレイを行う。	授業でペアを組み会話を実演	U7～12の復習

関連科目 他の英語のクラスすべて

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Breakthrough Plus 1	Miles Craven	Macmillan
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準) Students will be assessed on class work, attitude and through weekly speaking activities. There will be pair work, group work and individual speaking exercises/activities.

学生へのメッセージ I'm looking forward to our class! This is a speaking class so don't be shy! It's important that you speak out in class as the best way to improve your speaking is by speaking! This class will be taught in English. Please bring your textbook, notebook, pen and a dictionary every week.

担当者の 研究室等	非常勤講師室 (7号館2F)
備考	

科目名	スピーキングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	S
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	田浦 アマンダ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency. They will discuss issues relevant to society both inside and outside Japan.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English. Reading, listening, speaking and writing activities, done individually, as well as pair/small group work and class discussions and presentations. Active participation is necessary - taking an active, not passive role.
科目学習の効果 (資格)	Students will have developed the skills and confidence to use English more fluently and accurately and have learned discussion and extensive reading strategies to extend their own learning progress.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction and course orientation	Self-introductions, grammar/vocabulary quiz, preview textbook and movie intro.	Buy the textbooks
	2	Reading Marathon and Overseas study introduction	How to read? Strategies and an introduction into the 3rd floor reading lounge.	Preview vocabulary and read text for next lesson / Language Note/ Reading marathon
	3	Chapter 1 Herbivorous Males	Listening (movie), reading, speaking activities	Prepare to discuss/ Language Note/ Reading marathon
	4	Chapter 1 continued	Movie and Discussion	Preview vocabulary and read text for next lesson / Language Note/ Reading marathon
	5	Chapter 2 Galapagized Japan	Listening (movie), reading, speaking activities	Prepare to discuss/ Language Note/ Reading marathon
	6	Chapter 2 continued	Movie and Discussion	Preview vocabulary and read text for next lesson / Language Note/ Reading marathon
	7	Chapter 3 Uniformity	Listening (movie), reading, speaking activities	Prepare to discuss/ Language Note/ Reading marathon
	8	Chapter 3 continued	Movie and Discussion	Review for mid-semester test next week (Units 1-3) - vocabulary, grammar, movie listening quiz
	9	Mid-semester assessment (Chapters 1-3)	Mid-semester assessment (Units 1-3) Vocabulary, grammar, listening (movie)	Preview vocabulary and read text for next lesson / Language Note/ Reading marathon
	10	Chapter 4 Universities in Japan	Listening (movie), reading, speaking activities	Prepare to discuss/ Language Note/ Reading marathon
	11	Chapter 4 continued	Movie and Discussion	Preview vocabulary and read text for next lesson / Language Note/ Reading marathon
	12	Chapter 5 English as a Lingua Franca	Listening (movie), reading, speaking activities	Prepare to discuss/ Language Note/ Reading marathon
	13	Chapter 5 continued	Movie and Discussion/ Information about Presentations	Language Note/ Reading marathon/ Researching for presentations- Bring in source
	14	News panel presentations from English sources on Chapters 6, 7 and 8	Listening (movie), preparing News panel presentations	Preparation for Presentations
	15	Group Presentations for Assessment	Presenting on Chapters 6, 7 & 8	None

関連科目	Reading marathon and writing on a weekly basis to supplement in-class speaking and discussion
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Good-bye, Galapagos (textbook) 1,700 yen plus tax	Paul Stapleton	Cengage
	2	Language Note exercise book, 290 yen plus tax (languagenote.com)	Richard McMahon	
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	The Social Network (movie about Facebook and the founder Mark Zuckerberg)		
	2			
	3			

評価方法 (基準)	On-time attendance (20%), class participation in English and positive attitude (20%), Reading Marathon (20%), Weekly writing in Language Notebook (10%), Weekly quizzes (10%) Midterm (10%) Group presentation (10%) ,
-----------	--

学生へのメッセージ	This class is all in English. You will be able to build up friendships with your fellow students as there is a lot of pairwork and group work sharing current issues, and discussing the books you will read for the reading marathon and talking in many different situations. Please come prepared to help create a positive atmosphere.
-----------	--

担当者の	Building 7, 5th floor - koala poster on the door
------	--

研究室等	
備考	<p>Don't be afraid to make mistakes - mistakes mean you remember for next time! Just stay in English.</p> <p>配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ 15 時間程度とする。</p>

科目名	スピーキングⅡ a	科目名(英文)	Speaking IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	あ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	クリスティー ジョスト
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	...

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目 SpeakingI, Drama I & II, English Presentation I & II

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準) Class Participation, speaking tasks and projects, final speaking test

学生へのメッセージ ...

担当者の研究室等 7号館2階 非常勤講師控室

備考 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	スピーキングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	い
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	オーエン クロー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.			
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.			
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.			
科目学習の効果 (資格)	...			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...
関連科目	SpeakingI, Drama I&II, English Presentation I & II			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	English First Hand 1 ISBN 9789880030598	Marc Helgeson	Pearson Longman
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	40% Attendance; 30% Participation; 30% Test			
学生へのメッセージ	...			
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤控室			
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	スピーキングⅡa	科目名(英文)	Speaking IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	う
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	アレク ニール
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Students will work in pairs and exchange information in new teams. Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	...

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	Speaking, Drama I & II, English Presentation I & II
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	40% Attendance, 30% participation, 30% end exam
----------	---

学生へのメッセージ	間違いを恐れず沢山発話するようにしましょう。毎回の出席が大切です。ユニットが終わる毎に会話テストかスピーチ、課題レポートなどで評価します。
-----------	---

担当者の研究室等	Building 7, 2nd. floor teacher's room
----------	---------------------------------------

備考	Handouts distributed in class 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	スピーキングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	え
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	アチー ロングソン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
科目学習の効果 (資格)	

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Test units 1 - 6	Test units 1 - 6	Prepare for test

関連科目	なし
------	----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Class attendance and participation is key! Also, there will be quizzes and a final term test.
-----------	---

学生へのメッセージ	English is becoming more useful in everyday life. Let's work hard to improve our speaking skills!
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	スピーキングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	お
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	小池 正平
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	...

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson

関連科目	SpeakingI, Drama I&II, English Presentation I & II
------	--

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	マルチメディアだから、できる 今度こそ耳から学ぶ 基礎英語Ⅱー 日常会話編 CD-ROM付	小池正平	マーナビ教材開発
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	授業参加 30% 小テスト 40% 期末試験 30%
学生へのメッセージ	今までに学んだたくさんの語句や表現を、とにかく口に出して言ってみる手助けをしたいと思っています。また、聴き取りの力が一層つくような授業にもしたいと思っています。
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師控室
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	スピーキングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	か
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	江戸 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency. This course is designed to further develop students' communication skills through dictations, recitations and performances. Students will be required to make or arrange dialogues about daily school life and demonstrate them in front of their classmates in English. The skills in this course will serve as a foundation for Speaking IIb which follow.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	...

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Individual Task, Pair Work or Group Work	...

関連科目 グラマー、スキルズ トレーニング、イングリッシュ プレゼンテーション、ライティングなど

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Tell Me Your Stories/Storytelling in Conversational English	David Coulson/Bob Jones	マクミラン ランゲージハウス
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	1. 予習、授業中の活動への貢献、提出課題、小テストなどから総合的に評価する。 2. 授業態度に問題のある場合 (遅刻、居眠り、飲食、私語、携帯電話の使用など) は厳しく対処する。
学生へのメッセージ	英語の力は学習時間に比例して伸びてゆきます。課題を確実にこなし、英文を繰り返し声に出して身につけましょう。授業への積極的な参加を期待します。
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
備考	辞書を必ず持参すること。 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ 15 時間程度とする。

科目名	スピーキングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	き
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ロナルド メイソン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	...

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	SpeakingI, Drama I&II, English Presentation I & II
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	American Headway 2, student book	John and Liz Soars	Oxford
	2	American Headway 2, Workbook		
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Weekly class performance points 90%. Quiz 10%
-----------	--

学生へのメッセージ	Be eager to speak out in English in class with everyone.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階非常勤講師室
----------	-------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	スピーキングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	く
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	内山 知美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.																																																																		
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.																																																																		
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Introduction</td> <td>Orientation and self introduction</td> <td>・・・</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>Review</td> <td>Feedback Session</td> <td>・・・</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction	Orientation and self introduction	・・・	2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	15	Review	Feedback Session	・・・
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction	Orientation and self introduction	・・・																																																																
2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
15	Review	Feedback Session	・・・																																																																
関連科目	...																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	Evaluation will be based on attendance, class participation and small tests.																																																																		
学生へのメッセージ	Please try to acquire correct grammatical knowledge and pronunciation through this class. It will improve your confidence in speaking English.																																																																		
担当者の研究室等	Building 7, 2nd floor, Part-time Instructors' Room																																																																		
備考	There is no text, but I will make print outs and give assigned reading. 事前・事後の学習にかかる総時間はおおよそ 15 時間程度とする。																																																																		

科目名	スピーキングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	け
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	松浦 茂寿
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so. In this course, we focus on developing conversation skill, vocabulary and listening skill.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
科目学習の効果(資格)	

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Feedback session	...

関連科目	N/A
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	New Time to Communicate	Eric Bray	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	Evaluation will be based on quizzes, homework assignments and class participation
----------	---

学生へのメッセージ	Students who engage wholeheartedly in class activities, who read up on lessons and do their homework, will achieve most from this course. Pair and group work will form the core of each lesson.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	スピーキングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	こ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ジョセフ シウンシ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	Drama, Skills training, English Presentation
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Class participation 50% Performance 50%
-----------	--

学生へのメッセージ	You will need a notebook and writing materials for this class. Always try your best and if you have any questions, please ask me anytime. Let's have fun speaking English!
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	Handouts will be distributed in class. If you ever need help, write to me at: joeciunci@yahoo.com 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ 15 時間程度とする。
----	--

科目名	スピーキングⅡ a	科目名(英文)	Speaking IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	さ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	神崎 舞
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	・・・

関連科目	Drama, Skills training, English Presentation
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Getting Into English	Joseph Cronin and Eric Bray	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(受講態度、提出物など)、小テスト、期末テストで総合的に評価。
----------	------------------------------------

学生へのメッセージ	英語で話すことを楽しみましょう。
-----------	------------------

担当者の研究室等	7号館5階 神崎研究室
----------	-------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	スピーキングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	し
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	アイビス ウイリアム
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	As this is a communication class, students are expected to actively participate in communication activities such as pair work, small group work, as well as to try to use English as much as possible.
科目学習の効果 (資格)	The content of this course is concerned with the language to express a variety of situations in daily life, such as: student life, hometowns, shopping, leisure time, travel, etc. Upon the completion of the course, students should have the basic knowledge or ability to talk about the above topics in basic daily conversation.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction オリエンテーション	Introductions, explaining the class, overview.	No preparation required. 準備は必要ありません。
	2	Unit 1 Lifestyles.	Asking people about themselves. Telling about yourself.	Pages 4 - 5.
	3	Unit 1 Lifestyles continued.	Exchanging personal information.	Pages 6 - 8.
	4	Unit 2 Student Life.	Describing your student life.	Pages 10 - 11.
	5	Unit 2 Student Life continued.	Describing daily routines.	Pages 12 - 14.
	6	Unit 3 Hobbies and interests.	Talking about people's interests.	Pages 16 - 17.
	7	Unit 3 Leisure time and abilities.	How you spend your free time.	Pages 18 - 20.
	8	Unit 4 Neighborhoods.	Talking about your hometown.	Pages 24 - 25.
	9	Unit 4 Neighborhoods continued.	Neighborhood facilities.	Pages 26 - 28.
	10	Unit 5 Directions and travel.	How to describe where things are.	Pages 30 - 31.
	11	Unit 5 Direction and travel continued.	Finding places when you travel.	Pages 32 - 34.
	12	Unit 6 Shopping and money.	Expressions for money and travel.	Pages 36 - 37.
	13	Unit 6 Shopping and money continued.	Talking about shopping.	Pages 38 - 39.
	14	Review.	Review of units 1 - 6.	No preparation required.
15	Test of units 1 - 6.	Test of units 1 - 6.	Review of grammar and vocabulary of units 1 - 6.	

関連科目	なし
------	----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Top Notch TV 1		Pearson
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Active participation and attendance 60%. Test 40%.
-----------	---

学生へのメッセージ	毎回の授業に必ず必要な物・教科書、辞書 (本でも電子辞書でも構わない) 出席率そして積極的な授業参加発言、態度等を重要視する
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	スピーキングⅡa	科目名(英文)	Speaking IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	マシュー クーパー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This course is designed to develop skills in conversational English. In class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations.
到達目標	The aim of this course is to improve the students communication ability in a wide variety of real life situations.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
科目学習の効果(資格)	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	・・・

関連科目	・・・
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Passport 2. 2nd edition	Angela Buckingham	Oxford UP
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	Evaluation will be based on quizzes, homework assignments and class participation.
----------	--

学生へのメッセージ	Students who engage wholeheartedly in class activities, who read up on lessons and do their homework, will achieve most from this course. Pair and group work will form the core of each lesson.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	スピーキングⅡb	科目名(英文)	Speaking IIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	S
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	田浦 アマンダ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency. They will discuss issues relevant to society both inside and outside Japan.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Reading, listening, speaking and writing activities, done individually, as well as pair/small group work and class discussions and presentations. Active participation is necessary - taking an active, not passive role.
科目学習の効果(資格)	Students will have developed the skills and confidence to use English more fluently and accurately and have learned discussion and extensive reading strategies to extend their own learning progress.

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	Reading Marathon and Speech & Recitation Contest introduction	How to give a speech? Recite with a partner? Strategies given to give confidence.	Preview vocabulary and read text for next lesson / Language Note/ Reading marathon
3	Chapter 9 Lack of Entrepreneurs	Listening (movie), reading, speaking activities	Prepare to discuss/ Language Note/ Reading marathon
4	Chapter 9 continued	Movie and Discussion	Preview vocabulary and read text for next lesson / Language Note/ Reading marathon
5	Chapter 10 Distinctive Kansai	Listening (movie), reading, speaking activities	Prepare to discuss/ Language Note/ Reading marathon
6	Chapter 10 continued	Movie and Discussion	Preview vocabulary and read text for next lesson / Language Note/ Reading marathon
7	3-minute speech (mid-term)	Preparation for a 3-minute speech	Learn your speech
8	3-minute speech	Preparation for a 3-minute speech	Learn your speech
9	3-minute speech presentations	Present	Preview vocabulary and read text for next lesson / Language Note/ Reading marathon
10	Chapter 11 Fewer Japanese Students Studying Abroad	Listening (movie), reading, speaking activities	Prepare to discuss/ Language Note/ Reading marathon
11	Chapter 11 continued	Movie and Discussion	Preview vocabulary and read text for next lesson / Language Note/ Reading marathon
12	Chapter 12 Japanese Quality Food	Listening (movie), reading, speaking activities	Prepare to discuss/ Language Note/ Reading marathon
13	Chapter 12 continued	Movie and Discussion	Preparation for Presentations
14	News panel presentations from English sources on Chapters 13, 14 & 15	Listening (movie), preparing News panel presentations	Preparation for Presentations
15	Group Presentations for Assessment	Presenting on Chapters 13, 14 & 15	None

関連科目	Reading marathon and writing on a weekly basis to supplement in-class speaking and discussion
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Good-bye, Galapagos (textbook) 1,700 yen plus tax	Paul Stapleton	Cengage
2	Language Note exercise book 290 yen plus tax (languagenote.com)	Richard McMahon		
3	Steve Jobs and the Story of Apple	Fiona Beddall	Scholastic UK Publications Japan	

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Jobs (movie about Apple and the founder Steve Jobs)		
2				
3				

評価方法(基準)	On-time attendance (20%), class participation in English and positive attitude (20%), Reading Marathon (20%), Weekly writing in Language Notebook (10%), Weekly quizzes (10%) Group presentation (10%), Speech (10%)
----------	---

学生へのメッセージ	This class is all in English. You will be able to build up friendships with your fellow students as there is a lot of pairwork and group work sharing current issues, and discussing the books you will read for the reading marathon and talking in many different situations. Please come prepared to help create a positive atmosphere.
-----------	--

担当者の研究室等	(田浦研究室) Building 7, 5th floor - koala poster on the door
----------	--

備考	Don't be afraid to make mistakes - mistakes mean you remember for next time! Just stay in English. 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	スピーキングⅡb	科目名(英文)	Speaking IIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	あ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	クリスティー ジョスト
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	...

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	Speaking I, Drama I & II, English Presentation I & II
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	Class Participation, speaking tasks and projects, final speaking test
----------	---

学生へのメッセージ	If you attend regularly and take part in the activities, you will do well in this class.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師控室
----------	---------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	スピーキングⅡb	科目名(英文)	Speaking IIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	い
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	オーエン クロー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.			
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.			
授業方法と留意点	Participation in discussion and conversation in English supported by writing			
科目学習の効果(資格)	...			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...
関連科目	Speaking I, Drama I&II, English Presentation I & II			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	English First Hand 1 ISBN 9789880030598	Marc Helgesen	Pearson Longman
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	40% Attendance; 30% Participation; 30% Test			
学生へのメッセージ	...			
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師控室			
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	スピーキングⅡb	科目名(英文)	Speaking IⅡb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	う
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	アレン ニール
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Students will work in pairs and exchange information in new teams. Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	...

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	Speaking I, Drama I&II, English Presentation I & II
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	40% Attendance, 30% participation, 30% end exam
----------	---

学生へのメッセージ	間違いを恐れず沢山発話するようにしましょう。毎回の出席が大切です。ユニットが終わる毎に会話テストかスピーチ、課題レポートなどで評価します。
-----------	---

担当者の研究室等	Building 7, 2nd. floor teacher's room
----------	---------------------------------------

備考	Handouts distributed in class 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	スピーキングⅡb	科目名(英文)	Speaking IIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	え
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	アーサー ロングソン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
科目学習の効果(資格)	

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Test units 1 - 6	Test units 1 - 6	Prepare for test

関連科目	なし
------	----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	Class attendance and participation is key! Also, there will be quizzes and a final term test.
----------	---

学生へのメッセージ	English is becoming more useful in everyday life. Let's work hard to improve our speaking skills!
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	スピーキングⅡb	科目名(英文)	Speaking IIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	お
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	小池 正平
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	...

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目 Speaking I, Drama I&II, English Presentation I & II

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	マルチメディアだから、できる 今度こそ耳から学ぶ 基礎英語Ⅱー 日常会話編 CD-ROM付	小池正平	マーナビ教材開発
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業参加 30% 小テスト 40% 期末試験 30%
----------	----------------------------------

学生へのメッセージ 今までに学んだ皆さんの語句や表現を、とにかく口に出して言ってみる手助けをしたいと思っています。また、聴き取りの力が一層つくような授業にもしたいと思っています。

担当者の研究室等 7号館2階 非常勤講師控室

備考 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	スピーキングⅡb	科目名(英文)	Speaking IIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	か
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	江戸 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency. This course is designed to further develop students' communication skills through dictations, recitations and performances. Students will be required to make or arrange dialogues about daily school life and demonstrate them in front of their classmates in English..
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	...

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Individual Task, Pair Work or Group Work	...

関連科目 グラマー、スキルズ トレーニング、イングリッシュ プレゼンテーション、ライティングなど

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Tell Me Your Stories/Storytelling in Conversational English	David Coulson/Bob Jones	マクミラン ランゲージハウス
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	1. 予習、授業中の活動への貢献、提出課題、小テストなどから総合的に評価する。 2. 授業態度に問題のある場合(遅刻、居眠り、飲食、私語、携帯電話の使用など)は厳しく対処する。
学生へのメッセージ	英語の力は学習時間に比例して伸びてゆきます。課題を確実にこなし、英文を繰り返し声に出して身につけましょう。授業への積極的な参加を期待します。
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	辞書を必ず持参すること。 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	スピーキングⅡb	科目名(英文)	Speaking I Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	き
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ロナルド メイソン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so. To become a better speaker of English, you must speak up in every class, every week.

授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
----------	--

科目学習の効果(資格)	...
-------------	-----

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	Speaking I, Drama I&II, English Presentation I & II
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	American Headway 2, student book	John and Liz Soars	Oxford
	2	American Headway 2, Workbook		
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	Weekly class performance points 90%. Quiz 10%
----------	--

学生へのメッセージ	Please don't hesitate to speak out in class.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階非常勤講師室
----------	-------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	スピーキングⅡb	科目名(英文)	Speaking IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	く
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	内山 知美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.																																																																		
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.																																																																		
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.																																																																		
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Introduction</td> <td>Orientation and self introduction</td> <td>・・・</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Exercises</td> <td>Individual task, pair work, and group work</td> <td>Students should study the content of day's lesson.</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>Review</td> <td>Feedback Session</td> <td>・・・</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	Introduction	Orientation and self introduction	・・・	2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.	15	Review	Feedback Session	・・・
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction	Orientation and self introduction	・・・																																																																
2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of day's lesson.																																																																
15	Review	Feedback Session	・・・																																																																
関連科目	...																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	Evaluation will be based on attendance, class participation and small tests.																																																																		
学生へのメッセージ	Please try to acquire correct grammatical knowledge and pronunciation through this class. It will improve your confidence in speaking English.																																																																		
担当者の研究室等	Building 7, 2nd floor, Part-time Instructors' Room																																																																		
備考	There is no text, but I will make print outs and give assigned reading. 事前・事後学習にかかる学習の総時間はおおよそ15時間程度とする。																																																																		

科目名	スピーキングⅡb	科目名(英文)	Speaking IIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	け
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	松浦 茂寿
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so. In this course, we focus on developing conversation skill, vocabulary and listening skill.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
科目学習の効果(資格)	

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
			Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Feedback session	...

関連科目	N/A
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	New Time to Communicate	Eric Bray	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	Evaluation will be based on quizzes, homework assignments and class participation
----------	---

学生へのメッセージ	Students who engage wholeheartedly in class activities, who read up on lessons and do their homework, will achieve most from this course. Pair and group work will form the core of each lesson.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	スピーキングⅡb	科目名(英文)	Speaking IIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	こ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ジョセフ シウンシ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	Drama, Skills training, English Presentation
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	Class participation 50% Performance 50%
----------	--

学生へのメッセージ	You will need a notebook and writing materials for this class. Always try your best and if you have any questions, please ask me anytime. Let's have fun speaking English!
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	Handouts will be distributed in class. If you ever need help, write to me at: joeciunci@yahoo.com 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	スピーキングⅡb	科目名(英文)	Speaking IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	さ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	神崎 舞
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	・・・

関連科目	Drama, Skills training, English Presentation
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Getting Into English	Joseph Cronin and Eric Bray	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(受講態度、提出物など)、小テスト、期末テストで総合的に評価。
----------	------------------------------------

学生へのメッセージ	英語で話すことを楽しみましょう。
-----------	------------------

担当者の研究室等	7号館5階 神崎研究室
----------	-------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	スピーキングⅡb	科目名(英文)	Speaking IIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	し
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	アイビス ウイリアム
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This is an intermediate level English communication class with the goal of developing students listening, reading and speaking skills to enable them to use English with greater confidence and fluency.
到達目標	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations. After taking this course, students should be able to feel confident in discussing issues, debating both sides, discussing related issues in other countries, and be confident to speak up and give their own opinion with the necessary vocabulary to do so.
授業方法と留意点	As this is a communication class, students are expected to actively participate in communication activities such as pair work, small group work, as well as to try to use English as much as possible.
科目学習の効果(資格)	The content of this course is concerned with the language to express a variety of situations in daily life, such as: student life, hometowns, shopping, leisure time, travel, etc. Upon the completion of the course, students should have the basic knowledge or ability to talk about the above topics in basic daily conversation.

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	Unit 7 Your Life.	Describing daily routines.	Pages 44 - 45.
2	Unit 7 Your Life continued.	Talking about what you do. Asking what others do.	Pages 46 - 48.
3	Unit 8 Describing People.	Words and expressions for describing people.	Pages 50 - 51.
4	Unit 8 Describing People continued.	Asking others about people in their lives.	Pages 52 - 54.
5	Unit 9 Future plans.	Talking about what you will do in the future.	Pages 56 - 57.
6	Unit 9 Future plans continued.	How you spend your free time.	Pages 58 - 60.
7	Unit 10 Vacations.	Words to describe travel.	Pages 64 - 65.
8	Unit 10 Vacations continued.	Where you like to go on vacation and what you like to do.	Pages 66 - 68.
9	Unit 11 Early Memories.	Describing events in your life.	Pages 70 - 71.
10	Unit 11 Early Memories continued.	Asking about people's lives.	Pages 72 - 74.
11	Unit 12 Hopes and Dreams.	What you would like to do in the future.	Pages 76 - 77.
12	Unit 12 Hopes and dreams continued.	Asking others about their dreams.	Pages 78 - 80.
13	Review	Review of units 10 - 12.	No preparation required.
14	Special Topic.	To be announced.	No preparation required.
15	Test	Test of units 9 - 12.	Review of words and grammar of units 7 - 12.

関連科目	なし
------	----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Top Notch TV 1		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	Active participation and attendance 60%. Test 40%.
学生へのメッセージ	毎回の授業に必ず必要な物・教科書、辞書(本でも電子辞書でも構わない)出席率そして積極的な授業参加発言、態度等を重要視する。
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	スピーキングⅡb	科目名(英文)	Speaking I Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	マシュー クーパー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This course is designed to develop skills in conversational English. In class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations.
到達目標	The aim of this course is to improve the students communication ability in a wide variety of real life situations.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
科目学習の効果(資格)	The objective of the course is to provide students with the practical skills needed to communicate effectively in a wide range of situations.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	...
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Passport 2 2nd Edition	Angela Buckingham	Oxford U.P
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	Evaluation will be based on quizzes, homework assignments and class participation
----------	---

学生へのメッセージ	Students who engage wholeheartedly in class activities, who read up on lessons and do their homework, will achieve most from this course. Pair and group work will form the core of each lesson.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	イ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	マイケル ハーキー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 1-A1. 2] を目標とし、よく使われる日常的表現 (自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など) や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 以上の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』1-5 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 基本文型のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』6-10 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 否定のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』11-15 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Yes/No で情報を引き出すときのパターン	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-15 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-20 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Wh 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』21-25 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work How 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-30 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work It を使用したパターン	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-30 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-35 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Let's を使用した勧誘のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』36-40 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 進行中の動作を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』41-45 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 予定を表す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』46-50 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 義務を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、ポキャブラリー&文法 a
------	---------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ	Students will need a notebook and a dictionary.			
担当者の 研究室等	7号館3階 ハーキー研究室			
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。 授業時にハンドアウトが配布される。</p>			

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ロ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ダニエル マリンズ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 1-A1. 2] を目標とし、よく使われる日常的表現 (自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など) や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 以上の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』1-5 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 基本文型のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』6-10 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 否定のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』11-15 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Yes/No で情報を引き出すときのパターン	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-15 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-20 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Wh 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』21-25 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work How 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-30 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work It を使用したパターン	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-30 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-35 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Let's を使用した勧誘のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』36-40 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 進行中の動作を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』41-45 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 予定を表す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』46-50 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 義務を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、ボキャブラリー&文法 a
------	---------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ	<p>Please complete the online homework units as we complete the corresponding units in class. Absence is not an excuse for incomplete homework tasks. Ask a classmate or email the instructor for homework details. Do not be absent for more than four lessons or you will risk failing the course.</p>			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。</p> <p>Handouts distributed in class</p>			

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ハ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	グランド パーシム
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 1-A1. 2] を目標とし、よく使われる日常的表現 (自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など) や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 以上の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises 『暗唱英文 100 選』6-10 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 否定のパターン	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises 『暗唱英文 100 選』11-15 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Yes/No で情報を引き出すときのパターン	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-15 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-20 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Wh 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises 『暗唱英文 100 選』21-25 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work How 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-30 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work It を使用したパターン	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-30 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-35 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Let's を使用した勧誘のパターン	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises 『暗唱英文 100 選』36-40 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 進行中の動作を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises 『暗唱英文 100 選』41-45 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 予定を表す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises 『暗唱英文 100 選』46-50 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 予定を表す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work 義務を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 スキルズトレーニング a、ボキャブラリー&文法 a

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ				
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。 授業時にハンドアウトが配布される。</p>			

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ニ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	アレク ニール
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 1-A1. 2] を目標とし、よく使われる日常的表現 (自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など) や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 以上の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』1-5 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 基本文型のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』6-10 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 否定のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』11-15 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Yes/No で情報を引き出すときのパターン	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-15 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-20 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Wh 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』21-25 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work How 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-30 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work It を使用したパターン	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-30 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-35 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Let's を使用した勧誘のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』36-40 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 進行中の動作を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』41-45 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 予定を表す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』46-50 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 義務を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、ポキャブラリー&文法 a
------	---------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ				
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室			
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 15 時間程度とする。 授業時にハンドアウトが配布される。</p>			

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ホ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ニール カー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 1-A1. 2] を目標とし、よく使われる日常的表現 (自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など) や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 以上の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』1-5 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 基本文型のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』6-10 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 否定のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』11-15 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Yes/No で情報を引き出すときのパターン	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-15 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-20 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Wh 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』21-25 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work How 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-30 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work It を使用したパターン	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-30 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-35 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Let's を使用した勧誘のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』36-40 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 進行中の動作を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』41-45 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 予定を表す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』46-50 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 義務を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、ポキャブラリー&文法 a
------	---------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ	<p>Students who engage wholeheartedly in class activities, who read up on lessons and do their homework will achieve most from this course. Pair and group work will form the core of each lesson.</p>			
担当者の 研究室等	<p>7号館2階 非常勤講師室</p>			
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。 授業時にハンドアウトが配布される。</p>			

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	へ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	アフラッド・リー パークス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 1-A1. 2]を目標とし、よく使われる日常的表現 (自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など) や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 以上の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』1-5 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 基本文型のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』6-10 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 否定のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』11-15 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Yes/No で情報を引き出すときのパターン	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-15 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-20 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Wh 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』21-25 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work How 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-30 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work It を使用したパターン	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-30 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-35 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Let's を使用した勧誘のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』36-40 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 進行中の動作を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』41-45 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 予定を表す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』46-50 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 義務を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、ボキャブラリー&文法 a
------	---------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ				
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。 授業時にハンドアウトが配布される。</p>			

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ト
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	スコット ライリー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 1-A1. 2] を目標とし、よく使われる日常的表現 (自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など) や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 以上の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』1-5 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 基本文型のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』6-10 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 否定のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』11-15 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Yes/No で情報を引き出すときのパターン	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-15 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-20 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Wh 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』21-25 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work How 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-30 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work It を使用したパターン	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-30 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-35 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Let's を使用した勧誘のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』36-40 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 進行中の動作を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』41-45 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 予定を表す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』46-50 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 義務を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、ポキャブラリー&グラマー a
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ	Learn by doing! To become a good speaker of English do your best each and every week in class to use English. You will succeed!			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。 授業時にハンドアウトが配布される。</p>			

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	チ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	マーティン オイクル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 1-A1. 2] を目標とし、よく使われる日常的表現 (自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など) や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 以上の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』1-5 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 基本文型のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』6-10 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 否定のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』11-15 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Yes/No で情報を引き出すときのパターン	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-15 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-20 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Wh 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』21-25 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work How 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-30 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work It を使用したパターン	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-30 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-35 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Let's を使用した勧誘のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』36-40 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 進行中の動作を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』41-45 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 予定を表す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』46-50 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 義務を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、ボキャブラリー&文法 a
------	---------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2	Interchange book 1A	Jack C. Richards	Cambridge UP
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ				
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	リ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ジェーン パーミンター
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 1-A1. 2]を目標とし、よく使われる日常的表現 (自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など) や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 以上の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』1-5 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 基本文型のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』6-10 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 否定のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』11-15 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Yes/No で情報を引き出すときのパターン	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-15 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-20 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Wh 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』21-25 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work How 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-30 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work It を使用したパターン	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-30 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-35 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Let's を使用した勧誘のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』36-40 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 進行中の動作を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』41-45 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 予定を表す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』46-50 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 義務を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、ボキャブラリー&文法 a
------	---------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ	<p>I look forward to our classes. Please relax and have a positive attitude! There will be weekly assessment so it's important to do your homework and participate in the class activities. This lesson will be taught in English.</p>			
担当者の 研究室等	<p>7号館2階 非常勤講師室</p>			
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。 授業時にハンドアウトが配布される。</p>			

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ヌ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	シヨーン マクガバン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 1-A1. 2] を目標とし、よく使われる日常的表現 (自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など) や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 以上の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』1-5 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 基本文型のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』6-10 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 否定のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』11-15 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Yes/No で情報を引き出すときのパターン	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-15 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-20 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Wh 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』21-25 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work How 疑問で情報を引き出す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』26-30 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work It を使用したパターン	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』16-30 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-35 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work Let's を使用した勧誘のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』36-40 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 進行中の動作を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』41-45 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 予定を表す時のパターン	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』46-50 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 義務を表すパターン	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』31-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』1-50 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、ポキャブラリー&文法 a
------	---------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ				
担当者の 研究室等	7号館5階 マクガバン研究室			
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。 授業時にハンドアウトが配布される。</p>			

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	A
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	マイケル ハーキー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目（中学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目（高等学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信、情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』51-55 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 数量を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』56-60 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 時間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』61-65 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 空間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-65 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-70 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 手段を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』71-75 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 完了を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-80 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 受動を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-80 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-85 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 過去の経験を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』86-90 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 知覚の表現	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』91-95 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 関係詞の表現	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』96-100 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 仮定の表現	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、ポキャブラリー&グラマー b
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			

	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ				
担当者の 研究室等	7号館3階 ハーキー研究室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	B
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	アフラッドリー パークス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目（中学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目（高等学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信、情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』51-55 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 数量を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』56-60 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 時間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』61-65 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 空間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-65 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-70 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 手段を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』71-75 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 完了を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-80 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 受動を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-80 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-85 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 過去の経験を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』86-90 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 知覚の表現	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』91-95 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 関係詞の表現	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』96-100 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 仮定の表現	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、ポキャブラリー&グラマー b
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			

	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物等)の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ				
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	C
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	スコット ライリー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目（中学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目（高等学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信、情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』51-55 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 数量を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』56-60 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 時間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』61-65 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 空間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-65 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-70 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 手段を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』71-75 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 完了を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-80 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 受動を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-80 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-85 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 過去の経験を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』86-90 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 知覚の表現	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』91-95 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 関係詞の表現	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』96-100 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 仮定の表現	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、ボキャブラリー&グラマー b
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			

	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物等)の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ	Learn by doing! To become a good speaker of English do your best each and every week in class to use English. You will succeed!			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	D
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	マーティン オイクル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 3] を目標とし、自分に関連する情報 (個人情報・家族情報)、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信、情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』51-55 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 数量を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』56-60 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 時間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』61-65 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 空間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-65 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-70 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 手段を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』71-75 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 完了を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-80 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 受動を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-80 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-85 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 過去の経験を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』86-90 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 知覚の表現	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』91-95 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 関係詞の表現	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』96-100 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 仮定の表現	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、ボキャブラリー&グラマー b
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2	Interchange book 1B	Jack C. Richards	Cambridge UP

	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物等)の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ				
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	あ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	シヨーン マクガバン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目（中学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目（高等学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信、情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』51-55 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 数量を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』56-60 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 時間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』61-65 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 空間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-65 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-70 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 手段を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』71-75 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 完了を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-80 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 受動を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-80 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-85 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 過去の経験を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』86-90 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 知覚の表現	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』91-95 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 関係詞の表現	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』96-100 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 仮定の表現	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、ポキャブラリー&グラマー b
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			

	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ				
担当者の 研究室等	7号館 5階 マクガバン研究室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 15 時間程度とする。			

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	い
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ニール カー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目（中学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目（高等学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信、情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』51-55 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 数量を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』56-60 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 時間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』61-65 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 空間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-65 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-70 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 手段を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』71-75 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 完了を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-80 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 受動を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-80 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-85 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 過去の経験を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』86-90 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 知覚の表現	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』91-95 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 関係詞の表現	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』96-100 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 仮定の表現	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、ポキャブラリー&グラマー b
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			

	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物等)の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ	<p>Students who engage wholeheartedly in class activities, who read up on lessons and do their homework will achieve most from this course. Pair and group work will form the core of each lesson.</p>			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	う
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	グランド パーシム
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目（中学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目（高等学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信、情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』51-55 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 数量を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』56-60 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 時間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』61-65 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 空間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-65 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-70 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 手段を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』71-75 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 完了を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-80 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 受動を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-80 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-85 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 過去の経験を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』86-90 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 知覚の表現	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』91-95 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 関係詞の表現	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』96-100 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 仮定の表現	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、ボキャブラリー&グラマー b
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			

	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物等)の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ				
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	え
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	アレク ニール
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 3] を目標とし、自分に関連する情報 (個人情報・家族情報)、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信、情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』51-55 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 数量を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』56-60 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 時間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』61-65 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 空間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-65 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-70 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 手段を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』71-75 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 完了を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-80 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 受動を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-80 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-85 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 過去の経験を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』86-90 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 知覚の表現	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』91-95 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 関係詞の表現	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』96-100 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 仮定の表現	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、ポキャブラリー&グラマー b
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			

	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物等)の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ				
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	お
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ジェーン パーミンター
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目（中学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目（高等学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信、情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』51-55 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 数量を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』56-60 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 時間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』61-65 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 空間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-65 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-70 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 手段を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』71-75 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 完了を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-80 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 受動を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-80 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-85 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 過去の経験を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』86-90 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 知覚の表現	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』91-95 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 関係詞の表現	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』96-100 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 仮定の表現	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、ポキャブラリー&グラマー b
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			

	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物等)の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ	<p>I look forward to our classes. Please relax and have a positive attitude! There will be weekly assessment so it's important to do your homework and participate in the class activities. This lesson will be taught in English.</p>			
担当者の 研究室等	<p>7号館2階 非常勤講師室</p>			
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。</p>			

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	か
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ジェフリー ベル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目（中学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目（高等学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信、情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』51-55 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 数量を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』56-60 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 時間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』61-65 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 空間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-65 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-70 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 手段を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』71-75 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 完了を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-80 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 受動を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-80 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-85 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 過去の経験を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』86-90 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 知覚の表現	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』91-95 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 関係詞の表現	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』96-100 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 仮定の表現	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、ポキャブラリー&グラマー b
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			

	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物等)の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ				
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	き
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ジョセフ シウンシ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目（中学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目（高等学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信、情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』51-55 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 数量を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』56-60 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 時間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』61-65 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 空間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-65 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-70 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 手段を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』71-75 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 完了を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-80 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 受動を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-80 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-85 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 過去の経験を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』86-90 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 知覚の表現	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』91-95 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 関係詞の表現	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』96-100 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 仮定の表現	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、ポキャブラリー&グラマー b
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			

	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物等)の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ	A notebook and writing materials are needed for this course. Come see me anytime you have any questions or need any help.			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	く
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ダニエル マリンズ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目（中学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目（高等学校 英語）【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1. 3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信、情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC SW, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction 『暗唱英文 100 選』51-55 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Orientation and Self-Introduction 数量を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises 『暗唱英文 100 選』56-60 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 時間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises 『暗唱英文 100 選』61-65 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 空間を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-65 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-70 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 手段を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises 『暗唱英文 100 選』71-75 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 完了を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises 『暗唱英文 100 選』76-80 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 受動を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises 『暗唱英文 100 選』66-80 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-85 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises 『暗唱英文 100 選』86-90 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 過去の経験を表す表現	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises 『暗唱英文 100 選』91-95 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 知覚の表現	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises 『暗唱英文 100 選』96-100 の例文を反復練習し、暗唱およびライティング	Individual Task, Pair work, and group work 関係詞の表現	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises 『暗唱英文 100 選』81-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work 仮定の表現	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises 『暗唱英文 100 選』51-100 の復習	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises まとめ	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、ポキャブラリー&グラマー b
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2			

	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物等)の成績を総合的に評価する。 ※毎回の授業で、『暗唱英文 100 選』の暗唱を担当教員にチェックされる必要がある。学期末までに、規定数以上のチェックを受けていない学生は、原則として単位が認定されない。</p>			
学生への メッセージ	<p>Please complete the online homework units as we complete the corresponding units in class. Absence is not an excuse for incomplete homework tasks. Ask a classmate or email the instructor for homework details. Do not be absent for more than four lessons or you will risk failing the course.</p>			
担当者の 研究室等	<p>7号館2階 非常勤講師室</p>			
備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。</p> <p>Handouts distributed in class</p>			

科目名	スペイン語 I a	科目名 (英文)	Spanish Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	宮多良 ディスネル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>スペイン語は母音が日本語と同じで、日本人にとって発音は簡単です。あとは単語と文法をマスターするだけ。この授業では文法の基礎を学び、基本的な単語を覚え、聴解力と会話力の増強を目指す。一方のクラスは日本人教師が、他方はネイティブ教師が担当し、同じ教科書を使ってリレーで進む。</p>																																																																		
到達目標	<p>スペイン語の発音に慣れ、基本的な文法を学ぶことで、日常の簡単なやりとりができるようになる。</p>																																																																		
授業方法と留意点	<p>スペイン語 IIa と同じテキストを使用し、リレー式で授業を進める。必ず Ia と IIa をセットで履修すること。日本人教師担当クラスでは文法事項の説明と練習問題を、ネイティブ教師担当クラスでは書き取りやパターン・プラクティスなど口頭での練習が中心となる。なお、授業計画はあくまで目安であり、受講生の理解度により調整する。</p>																																																																		
科目学習の効果 (資格)	<p>スペイン語検定6級</p>																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>はじめに</td><td>アルファベットと発音</td><td>復習</td></tr> <tr><td>2</td><td>第1課</td><td>音節とアクセント</td><td>復習</td></tr> <tr><td>3</td><td>第2課</td><td>名詞と不定冠詞 動詞 hay</td><td>復習</td></tr> <tr><td>4</td><td>第3課</td><td>形容詞 場所を示す副詞 (句)</td><td>復習</td></tr> <tr><td>5</td><td>第4課</td><td>定冠詞・指示形容詞 動詞 ser の3人称</td><td>復習</td></tr> <tr><td>6</td><td>これまでの確認</td><td>理解度確認テスト (1)</td><td>復習</td></tr> <tr><td>7</td><td>第5課</td><td>指示語、所有格、動詞 ser</td><td>復習</td></tr> <tr><td>8</td><td>第6課</td><td>estar と hay 場所を示す副詞 (句)</td><td>復習</td></tr> <tr><td>9</td><td>第7課</td><td>ser/estar+形容詞 ser de</td><td>復習</td></tr> <tr><td>10</td><td>第8課</td><td>疑問詞と ser、estar、hay</td><td>復習</td></tr> <tr><td>11</td><td>これまでの復習</td><td>理解度確認テスト (2)</td><td>復習</td></tr> <tr><td>12</td><td>第9課</td><td>規則変化動詞 (-ar)</td><td>復習</td></tr> <tr><td>13</td><td>第10課</td><td>規則変化動詞 (-ar) と目的語</td><td>復習</td></tr> <tr><td>14</td><td>第11課</td><td>規則変化動詞 (-er、-ir)</td><td>復習</td></tr> <tr><td>15</td><td>しあげ</td><td>理解度確認テスト (3)</td><td>これまでに学習した事項の復習</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	はじめに	アルファベットと発音	復習	2	第1課	音節とアクセント	復習	3	第2課	名詞と不定冠詞 動詞 hay	復習	4	第3課	形容詞 場所を示す副詞 (句)	復習	5	第4課	定冠詞・指示形容詞 動詞 ser の3人称	復習	6	これまでの確認	理解度確認テスト (1)	復習	7	第5課	指示語、所有格、動詞 ser	復習	8	第6課	estar と hay 場所を示す副詞 (句)	復習	9	第7課	ser/estar+形容詞 ser de	復習	10	第8課	疑問詞と ser、estar、hay	復習	11	これまでの復習	理解度確認テスト (2)	復習	12	第9課	規則変化動詞 (-ar)	復習	13	第10課	規則変化動詞 (-ar) と目的語	復習	14	第11課	規則変化動詞 (-er、-ir)	復習	15	しあげ	理解度確認テスト (3)	これまでに学習した事項の復習
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	はじめに	アルファベットと発音	復習																																																																
2	第1課	音節とアクセント	復習																																																																
3	第2課	名詞と不定冠詞 動詞 hay	復習																																																																
4	第3課	形容詞 場所を示す副詞 (句)	復習																																																																
5	第4課	定冠詞・指示形容詞 動詞 ser の3人称	復習																																																																
6	これまでの確認	理解度確認テスト (1)	復習																																																																
7	第5課	指示語、所有格、動詞 ser	復習																																																																
8	第6課	estar と hay 場所を示す副詞 (句)	復習																																																																
9	第7課	ser/estar+形容詞 ser de	復習																																																																
10	第8課	疑問詞と ser、estar、hay	復習																																																																
11	これまでの復習	理解度確認テスト (2)	復習																																																																
12	第9課	規則変化動詞 (-ar)	復習																																																																
13	第10課	規則変化動詞 (-ar) と目的語	復習																																																																
14	第11課	規則変化動詞 (-er、-ir)	復習																																																																
15	しあげ	理解度確認テスト (3)	これまでに学習した事項の復習																																																																
関連科目	<p>スペイン語 IIa</p>																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	<p>小テスト+提出物 (発表) +理解度確認テスト</p>																																																																		
学生へのメッセージ	<p>レアル vs バルサを現地で応援したい人、フラメンコを習いたい人、チリやスペインのワインに興味のある人、マヤの遺跡やマチュピチュ、ナスカを見てみたい人、将来リーガ・エスパニョーラでプレーしたい人、ぜひスペイン語をやりましょう。</p>																																																																		
担当者の研究室等	<p>7号館2階 (非常勤講師室)</p>																																																																		
備考																																																																			

科目名	スペイン語 I b	科目名 (英文)	Spanish Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	宮多良 ディスネル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>スペイン語は母音が日本語と同じで、日本人にとって発音は簡単です。あとは単語と文法をマスターするだけ。この授業では文法の基礎を学び、基本的な単語を覚え、聴解力と会話力の増強を目指します。一方のクラスは日本人教師が、他方はネイティブ教師が担当し、同じ教科書を使ってリレーで進みます。</p>			
到達目標	<p>日常会話にも慣れ親しみ、辞書を使えば簡単な文章を理解できる。</p>			
授業方法と留意点	<p>スペイン語 IIa と同じテキストを使用し、リレー式で授業を進める。必ず IIa と IIb をセットで履修すること。日本人教師担当クラスでは文法事項の説明と練習問題を、ネイティブ教師担当クラスでは書き取りやパターン・プラクティスなど口頭での練習が中心となる。授業計画は目安であり、受講生の理解度により進度は調整する。</p>			
科目学習の効果 (資格)	<p>スペイン語検定 6 級</p>			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	前期の復習	前期試験の見直しと前期に学習した事項の復習	復習
	2	第 1 2 課	目的格代名詞	復習
	3	第 1 3 課	既習動詞の使い方 プリントを用い、基本的な動詞の使い方を学ぶ	復習
	4	第 1 4 課	gustar 型動詞と前置詞格人称代名詞	復習
	5	これまでの復習	理解度確認テスト (1)	復習
	6	第 1 5 課	不定詞の用法 不定語と否定語	復習
	7	第 1 6 課	1 人称単数形だけ不規則な動詞	復習
	8	ボキャブラリ・コンテスト	スペイン語ボキャブラリ・コンテスト	復習
	9	第 1 7 課	語幹母音変化動詞 (1)	復習
	10	第 1 8 課	語幹母音変化動詞 (2)	復習
	11	これまでの復習	理解度確認テスト (2) ボキャブラリコンテストの見直し	復習
	12	第 1 9 課	その他の不規則動詞	復習
	13	第 2 0 課	現在分詞と過去分詞	復習
	14	これまでのまとめ	復習	復習
	15	確認	理解度確認テスト (3)	_____
関連科目	<p>スペイン語 IIb</p>			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	<p>小テスト+提出物 (発表) +ボキャブラリ・コンテスト+理解度確認テスト</p>			
学生へのメッセージ	<p>レアル vs バルサを現地で応援したい人、フラメンコを習いたい人、チリやスペインのワインに興味のある人、マヤの遺跡やマチュピチュ、ナスカを見てみたい人、将来リーガ・エスパニョーラでプレーしたい人、ぜひスペイン語をやりましょう。</p>			
担当者の研究室等	<p>7号館 2階 (非常勤講師室)</p>			
備考				

科目名	スペイン語Ⅱ a	科目名(英文)	Spanish IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	マツダイラ キーメル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>スペイン語は母音が日本語と同じで、日本人にとって発音は簡単です。あとは単語と文法をマスターするだけ。この授業では文法の基礎を学び、基本的な単語を覚え、聴解力と会話力の増強を目指します。一方のクラスは日本人教師が、他方はネイティブ教師が担当し、同じ教科書を使ってリレーで進みます。</p>																																																																		
到達目標	<p>スペイン語の発音に慣れ、基本的な文法を学ぶことで、日常の簡単なやりとりができるようになる。</p>																																																																		
授業方法と留意点	<p>スペイン語Ⅰaと同じテキストを使用し、リレー式で授業を進める。必ずⅠaとⅡaをセットで履修すること。日本人教師担当クラスでは文法事項の説明と練習問題を、ネイティブ教師担当クラスでは書き取りやパターン・プラクティスなど口頭での練習が中心となる。授業計画は目安であり、受講生の理解度により進度は調整する。</p>																																																																		
科目学習の効果(資格)	<p>スペイン語検定6級</p>																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>はじめに</td><td>アルファベットと発音</td><td>復習</td></tr> <tr><td>2</td><td>第1課</td><td>音節とアクセント</td><td>復習</td></tr> <tr><td>3</td><td>第2課</td><td>名詞と不定冠詞 動詞 hay</td><td>復習</td></tr> <tr><td>4</td><td>第3課</td><td>形容詞 場所を示す副詞(句)</td><td>復習</td></tr> <tr><td>5</td><td>第4課</td><td>定冠詞・指示形容詞 動詞 ser の3人称</td><td>復習</td></tr> <tr><td>6</td><td>これまでの確認</td><td>理解度確認テスト(1)</td><td>復習</td></tr> <tr><td>7</td><td>第5課</td><td>指示語、所有格、動詞 ser</td><td>復習</td></tr> <tr><td>8</td><td>第6課</td><td>estar と hay 場所を示す副詞(句)</td><td>復習</td></tr> <tr><td>9</td><td>第7課</td><td>ser/estar+形容詞 ser de</td><td>復習</td></tr> <tr><td>10</td><td>第8課</td><td>疑問詞と ser、estar、hay</td><td>復習</td></tr> <tr><td>11</td><td>これまでの復習</td><td>理解度確認テスト(2)</td><td>復習</td></tr> <tr><td>12</td><td>第9課</td><td>規則変化動詞(-ar)</td><td>復習</td></tr> <tr><td>13</td><td>第10課</td><td>規則変化動詞(-ar)と目的語</td><td>復習</td></tr> <tr><td>14</td><td>第11課</td><td>規則変化動詞(-er、-ir)</td><td>復習</td></tr> <tr><td>15</td><td>しあげ</td><td>理解度確認テスト(3)</td><td>—————</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	はじめに	アルファベットと発音	復習	2	第1課	音節とアクセント	復習	3	第2課	名詞と不定冠詞 動詞 hay	復習	4	第3課	形容詞 場所を示す副詞(句)	復習	5	第4課	定冠詞・指示形容詞 動詞 ser の3人称	復習	6	これまでの確認	理解度確認テスト(1)	復習	7	第5課	指示語、所有格、動詞 ser	復習	8	第6課	estar と hay 場所を示す副詞(句)	復習	9	第7課	ser/estar+形容詞 ser de	復習	10	第8課	疑問詞と ser、estar、hay	復習	11	これまでの復習	理解度確認テスト(2)	復習	12	第9課	規則変化動詞(-ar)	復習	13	第10課	規則変化動詞(-ar)と目的語	復習	14	第11課	規則変化動詞(-er、-ir)	復習	15	しあげ	理解度確認テスト(3)	—————
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	はじめに	アルファベットと発音	復習																																																																
2	第1課	音節とアクセント	復習																																																																
3	第2課	名詞と不定冠詞 動詞 hay	復習																																																																
4	第3課	形容詞 場所を示す副詞(句)	復習																																																																
5	第4課	定冠詞・指示形容詞 動詞 ser の3人称	復習																																																																
6	これまでの確認	理解度確認テスト(1)	復習																																																																
7	第5課	指示語、所有格、動詞 ser	復習																																																																
8	第6課	estar と hay 場所を示す副詞(句)	復習																																																																
9	第7課	ser/estar+形容詞 ser de	復習																																																																
10	第8課	疑問詞と ser、estar、hay	復習																																																																
11	これまでの復習	理解度確認テスト(2)	復習																																																																
12	第9課	規則変化動詞(-ar)	復習																																																																
13	第10課	規則変化動詞(-ar)と目的語	復習																																																																
14	第11課	規則変化動詞(-er、-ir)	復習																																																																
15	しあげ	理解度確認テスト(3)	—————																																																																
関連科目	<p>スペイン語Ⅰa</p>																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	<p>小テスト+提出物(発表)+理解度確認テスト</p>																																																																		
学生へのメッセージ	<p>レアル vs バルサを現地で応援したい人、フラメンコを習いたい人、チリやスペインのワインに興味のある人、マヤの遺跡やマチュピチュ、ナスカを見てみたい人、将来リーガ・エスパニョーラでプレーしたい人、ぜひスペイン語をやりましょう。</p>																																																																		
担当者の研究室等	<p>7号館2階(非常勤講師室)</p>																																																																		
備考																																																																			

科目名	スペイン語Ⅱb	科目名(英文)	Spanish IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	マツダイラ キーメル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語は母音が日本語と同じで、日本人にとって発音は簡単です。あとは単語と文法をマスターするだけ。この授業では文法の基礎を学び、基本的な単語を覚え、聴解力と会話力の増強を目指します。一方のクラスは日本人教師が、他方はネイティブ教師が担当し、同じ教科書を使ってリレーで進みます。			
到達目標	日常会話にも慣れ親しみ、辞書を使えば簡単な文章を理解できる。			
授業方法と留意点	スペイン語Ⅰbと同じテキストを使用し、リレー式で授業を進める。必ずⅠbとⅡbをセットで履修すること。日本人教師担当クラスでは文法事項の説明と練習問題を、ネイティブ教師担当クラスでは書き取りやパターン・プラクティスなど口頭での練習が中心となる。			
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定6級			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	前期の復習	前期試験の見直しと前期に学習した事項の復習	復習
	2	第12課	目的格代名詞	復習
	3	第13課	既習動詞の使い方 プリントを用い、基本的な動詞の使い方を学ぶ	復習
	4	第14課	gustar型動詞と前置詞格人称代名詞	復習
	5	これまでの復習	理解度確認テスト(1)	復習
	6	第15課	不定詞の用法 不定語と否定語	復習
	7	第16課	1人称単数形だけ不規則な動詞	復習
	8	ボキャブラリ・コンテスト	スペイン語ボキャブラリ・コンテスト	復習
	9	第17課	語幹母音変化動詞(1)	復習
	10	第18課	語幹母音変化動詞(2)	復習
	11	これまでの復習	理解度確認テスト(2) ボキャブラリコンテストの見直し	復習
	12	第19課	その他の不規則動詞	復習
	13	第20課	現在分詞と過去分詞	復習
	14	これまでのまとめ	復習	復習
	15	確認	理解度確認テスト(3)	_____
関連科目	スペイン語Ⅰb			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	小テスト+提出物(発表)+ボキャブラリ・コンテスト+理解度確認テスト			
学生へのメッセージ	レアルvsバルサを現地で応援したい人、フラメンコを習いたい人、チリやスペインのワインに興味のある人、マヤの遺跡やマチュピチュ、ナスカを見てみたい人、将来リーガ・エスパニョーラでプレーしたい人、ぜひスペイン語をやりましょう。			
担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)			

科目名	スペイン語Ⅲ a	科目名 (英文)	Spanish IIIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	1
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	森川 香織
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	前学年のスペイン語に引き続いて、スペイン語の文法を全体にわたって説明し、練習問題をこなして初級文法の完成をめざす。過去形や未来形といったさまざまな時制を扱うので、やはり予習は必須である。単元の最初に出てくる本文、次の文法説明の例文、練習問題とも、あらかじめ辞書で未知の単語を確認して参加すること。																																																																		
到達目標	直説法の動詞の活用と用法を正確に理解し、スペイン語による表現力を身につける。																																																																		
授業方法と留意点	受講者の習得状況に応じて、授業進度・内容ともに若干変更されることがある。 学期半ばで担任が入れ替わる。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	. スペイン語検定 6 級～5 級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>復習</td> <td>オリエンテーション 一年次に学習したスペイン語の復習 (第 1 課～第 8 課)</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>復習 (2)</td> <td>一年次に学習したスペイン語の復習 (第 9 課～第 1 5 課)</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第 1 6 課</td> <td>1 人称単数形だけ不規則な動詞</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第 1 7 課</td> <td>語幹母音変化動詞 (1)</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第 1 8 課</td> <td>語幹母音変化動詞 (2)</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第 1 9 課</td> <td>その他の不規則動詞</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>これまでの復習</td> <td>理解度確認テスト (1)</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ポキャブラリ・コンテスト</td> <td>スペイン語ポキャブラリ・コンテストへの参加</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第 1 課 (この回から 2 年生向け新教科書)</td> <td>点過去規則変化</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第 2 課</td> <td>点過去不規則変化</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第 3 課</td> <td>再帰動詞</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>第 4 課</td> <td>線過去の活用</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>第 5 課</td> <td>点過去・線過去の用法</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>第 6 課</td> <td>点過去と線過去の使い分け</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>これまでの学習のまとめ</td> <td>理解度確認テスト (2)</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	復習	オリエンテーション 一年次に学習したスペイン語の復習 (第 1 課～第 8 課)	復習	2	復習 (2)	一年次に学習したスペイン語の復習 (第 9 課～第 1 5 課)	復習	3	第 1 6 課	1 人称単数形だけ不規則な動詞	復習	4	第 1 7 課	語幹母音変化動詞 (1)	復習	5	第 1 8 課	語幹母音変化動詞 (2)	復習	6	第 1 9 課	その他の不規則動詞	復習	7	これまでの復習	理解度確認テスト (1)	復習	8	ポキャブラリ・コンテスト	スペイン語ポキャブラリ・コンテストへの参加	復習	9	第 1 課 (この回から 2 年生向け新教科書)	点過去規則変化	復習	10	第 2 課	点過去不規則変化	復習	11	第 3 課	再帰動詞	復習	12	第 4 課	線過去の活用	復習	13	第 5 課	点過去・線過去の用法	復習	14	第 6 課	点過去と線過去の使い分け	復習	15	これまでの学習のまとめ	理解度確認テスト (2)	_____
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	復習	オリエンテーション 一年次に学習したスペイン語の復習 (第 1 課～第 8 課)	復習																																																																
2	復習 (2)	一年次に学習したスペイン語の復習 (第 9 課～第 1 5 課)	復習																																																																
3	第 1 6 課	1 人称単数形だけ不規則な動詞	復習																																																																
4	第 1 7 課	語幹母音変化動詞 (1)	復習																																																																
5	第 1 8 課	語幹母音変化動詞 (2)	復習																																																																
6	第 1 9 課	その他の不規則動詞	復習																																																																
7	これまでの復習	理解度確認テスト (1)	復習																																																																
8	ポキャブラリ・コンテスト	スペイン語ポキャブラリ・コンテストへの参加	復習																																																																
9	第 1 課 (この回から 2 年生向け新教科書)	点過去規則変化	復習																																																																
10	第 2 課	点過去不規則変化	復習																																																																
11	第 3 課	再帰動詞	復習																																																																
12	第 4 課	線過去の活用	復習																																																																
13	第 5 課	点過去・線過去の用法	復習																																																																
14	第 6 課	点過去と線過去の使い分け	復習																																																																
15	これまでの学習のまとめ	理解度確認テスト (2)	_____																																																																
関連科目	. スペイン語 IV																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>西和中辞典</td> <td>高垣敏博他</td> <td>小学館</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>現代スペイン語辞典</td> <td>宮城昇他</td> <td>白水社</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>わかるスペイン語文法</td> <td>西川 喬</td> <td>同学社</td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	西和中辞典	高垣敏博他	小学館	2	現代スペイン語辞典	宮城昇他	白水社	3	わかるスペイン語文法	西川 喬	同学社																																																
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	西和中辞典	高垣敏博他	小学館																																																																
2	現代スペイン語辞典	宮城昇他	白水社																																																																
3	わかるスペイン語文法	西川 喬	同学社																																																																
評価方法 (基準)	期間中適宜実施する理解度確認テスト、ポキャブラリ・コンテスト、課題、発表等の成績を加味して総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	スペイン語の第 2 段階でも、英語と異なる特徴的な事項が出てきます。難しいと投げだしてしまえば、それまで。ここから辛抱。それとこれまでの積み重ねがものを言います。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 (非常勤講師室)																																																																		
備考	.																																																																		

科目名	スペイン語Ⅲ a	科目名 (英文)	Spanish IIIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	2
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ヒセレ ラサロ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	前学年のスペイン語に引き続いて、スペイン語の文法を全体にわたって説明し、練習問題をこなして初級文法の完成をめざす。過去形や未来形といったさまざまな時制を扱うので、やはり予習は必須である。単元の最初に出てくる本文、次の文法説明の例文、練習問題とも、あらかじめ辞書で未知の単語を確認して参加すること。																																																																		
到達目標	直説法の動詞の活用と用法を正確に理解し、スペイン語による表現力を身につける。																																																																		
授業方法と留意点	受講者の習得状況に応じて、授業進度・内容ともに若干変更されることがある。 学期半ばで担任が入れ替わる。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	. スペイン語検定 6級～5級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>復習</td> <td>オリエンテーション 一年次に学習したスペイン語の復習 (第1課～第8課)</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>復習 (2)</td> <td>一年次に学習したスペイン語の復習 (第9課～第15課)</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第16課</td> <td>1人称単数形だけ不規則な動詞</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第17課</td> <td>語幹母音変化動詞 (1)</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第18課</td> <td>語幹母音変化動詞 (2)</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第19課</td> <td>その他の不規則動詞</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>これまでの復習</td> <td>理解度確認テスト (1)</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ポキャブラリ・コンテスト</td> <td>スペイン語ポキャブラリ・コンテストへの参加</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第1課 (この回から2年生向け新教科書)</td> <td>点過去規則変化</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第2課</td> <td>点過去不規則変化</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第3課</td> <td>再帰動詞</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>第4課</td> <td>線過去の活用</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>第5課</td> <td>点過去・線過去の用法</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>第6課</td> <td>点過去と線過去の使い分け</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>これまでの学習のまとめ</td> <td>理解度確認テスト (2)</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	復習	オリエンテーション 一年次に学習したスペイン語の復習 (第1課～第8課)	復習	2	復習 (2)	一年次に学習したスペイン語の復習 (第9課～第15課)	復習	3	第16課	1人称単数形だけ不規則な動詞	復習	4	第17課	語幹母音変化動詞 (1)	復習	5	第18課	語幹母音変化動詞 (2)	復習	6	第19課	その他の不規則動詞	復習	7	これまでの復習	理解度確認テスト (1)	復習	8	ポキャブラリ・コンテスト	スペイン語ポキャブラリ・コンテストへの参加	復習	9	第1課 (この回から2年生向け新教科書)	点過去規則変化	復習	10	第2課	点過去不規則変化	復習	11	第3課	再帰動詞	復習	12	第4課	線過去の活用	復習	13	第5課	点過去・線過去の用法	復習	14	第6課	点過去と線過去の使い分け	復習	15	これまでの学習のまとめ	理解度確認テスト (2)	_____
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	復習	オリエンテーション 一年次に学習したスペイン語の復習 (第1課～第8課)	復習																																																																
2	復習 (2)	一年次に学習したスペイン語の復習 (第9課～第15課)	復習																																																																
3	第16課	1人称単数形だけ不規則な動詞	復習																																																																
4	第17課	語幹母音変化動詞 (1)	復習																																																																
5	第18課	語幹母音変化動詞 (2)	復習																																																																
6	第19課	その他の不規則動詞	復習																																																																
7	これまでの復習	理解度確認テスト (1)	復習																																																																
8	ポキャブラリ・コンテスト	スペイン語ポキャブラリ・コンテストへの参加	復習																																																																
9	第1課 (この回から2年生向け新教科書)	点過去規則変化	復習																																																																
10	第2課	点過去不規則変化	復習																																																																
11	第3課	再帰動詞	復習																																																																
12	第4課	線過去の活用	復習																																																																
13	第5課	点過去・線過去の用法	復習																																																																
14	第6課	点過去と線過去の使い分け	復習																																																																
15	これまでの学習のまとめ	理解度確認テスト (2)	_____																																																																
関連科目	. スペイン語Ⅳ																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>西和中辞典</td> <td>高垣敏博他</td> <td>小学館</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>現代スペイン語辞典</td> <td>宮城昇他</td> <td>白水社</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>わかるスペイン語文法</td> <td>西川喬</td> <td>同学社</td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	西和中辞典	高垣敏博他	小学館	2	現代スペイン語辞典	宮城昇他	白水社	3	わかるスペイン語文法	西川喬	同学社																																																
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	西和中辞典	高垣敏博他	小学館																																																																
2	現代スペイン語辞典	宮城昇他	白水社																																																																
3	わかるスペイン語文法	西川喬	同学社																																																																
評価方法 (基準)	期間中適宜実施する理解度確認テスト、ポキャブラリ・コンテスト、課題、発表等の成績を加味して総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	スペイン語の第2段階でも、英語と異なる特徴的な事項が出てきます。難しいと投げだしてしまえば、それまで。ここから辛抱。それとこれまでの積み重ねがものを言います。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)																																																																		
備考	.																																																																		

科目名	スペイン語Ⅲb	科目名(英文)	Spanish IIIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	1
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ヒセラ ラサロ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	前学期のスペイン語中級aに引き続いて、スペイン語の文法を全体にわたって説明し、練習問題をこなして初級文法の完成をめざす。過去形や未来形といったさまざまな時制を扱うので、やはり予習は必須である。単元の最初に出てくる本文、次の文法説明の例文、練習問題とも、あらかじめ辞書で未知の単語を確認して参加すること。																																																																		
到達目標	直説法と接続法の違いを正確に理解する。スペイン語による表現力を養う。																																																																		
授業方法と留意点	受講者の習得状況に応じて、授業進度・内容ともに若干変更されることがある。 学期半ばで担任が入れ替わる。																																																																		
科目学習の効果(資格)	. スペイン語検定5級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>復習</td> <td>前期学習内容の復習 前期試験の振り返り</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第6課</td> <td>過去分詞とその用法</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第7課</td> <td>現在完了形</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第8課</td> <td>現在分詞とその用法</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第9課</td> <td>未来形</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第10課</td> <td>過去未来形、無人称表現</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>これまでの学習のまとめ</td> <td>理解度確認テスト(1)</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第11課</td> <td>比較表現</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ボキャブラリ・コンテスト</td> <td>スペイン語ボキャブラリ・コンテスト</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第12課</td> <td>さまざまな完了時制</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第13課</td> <td>命令形</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>第14課</td> <td>命令形(2)</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>第15課</td> <td>接続法(1)</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>第16課</td> <td>接続法の用法</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>これまでの学習のまとめ</td> <td>理解度確認テスト(2)</td> <td>—————</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	復習	前期学習内容の復習 前期試験の振り返り	復習	2	第6課	過去分詞とその用法	復習	3	第7課	現在完了形	復習	4	第8課	現在分詞とその用法	復習	5	第9課	未来形	復習	6	第10課	過去未来形、無人称表現	復習	7	これまでの学習のまとめ	理解度確認テスト(1)	復習	8	第11課	比較表現	復習	9	ボキャブラリ・コンテスト	スペイン語ボキャブラリ・コンテスト	復習	10	第12課	さまざまな完了時制	復習	11	第13課	命令形	復習	12	第14課	命令形(2)	復習	13	第15課	接続法(1)	復習	14	第16課	接続法の用法	復習	15	これまでの学習のまとめ	理解度確認テスト(2)	—————
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	復習	前期学習内容の復習 前期試験の振り返り	復習																																																																
2	第6課	過去分詞とその用法	復習																																																																
3	第7課	現在完了形	復習																																																																
4	第8課	現在分詞とその用法	復習																																																																
5	第9課	未来形	復習																																																																
6	第10課	過去未来形、無人称表現	復習																																																																
7	これまでの学習のまとめ	理解度確認テスト(1)	復習																																																																
8	第11課	比較表現	復習																																																																
9	ボキャブラリ・コンテスト	スペイン語ボキャブラリ・コンテスト	復習																																																																
10	第12課	さまざまな完了時制	復習																																																																
11	第13課	命令形	復習																																																																
12	第14課	命令形(2)	復習																																																																
13	第15課	接続法(1)	復習																																																																
14	第16課	接続法の用法	復習																																																																
15	これまでの学習のまとめ	理解度確認テスト(2)	—————																																																																
関連科目	. リレー科目ではないが、スペイン語Ⅳ																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>西和中辞典</td> <td>高垣敏博他</td> <td>小学館</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>現代スペイン語辞典</td> <td>宮城昇他</td> <td>白水社</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>わかるスペイン語文法</td> <td>西川喬</td> <td>同学社</td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	西和中辞典	高垣敏博他	小学館	2	現代スペイン語辞典	宮城昇他	白水社	3	わかるスペイン語文法	西川喬	同学社																																																
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	西和中辞典	高垣敏博他	小学館																																																																
2	現代スペイン語辞典	宮城昇他	白水社																																																																
3	わかるスペイン語文法	西川喬	同学社																																																																
評価方法(基準)	期間中適宜実施する理解度確認テスト、ボキャブラリ・コンテスト、課題、発表等の成績を加味して総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	最後まで進めば、スペイン語の基本をほぼカバーしたことになります。あと少しの辛抱。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	.																																																																		

科目名	スペイン語Ⅲb	科目名(英文)	Spanish IIIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	2
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	森川 香織
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	前学期のスペイン語中級aに引き続いて、スペイン語の文法を全体にわたって説明し、練習問題をこなして初級文法の完成をめざす。過去形や未来形といったさまざまな時制を扱うので、やはり予習は必須である。単元の最初に出てくる本文、次の文法説明の例文、練習問題とも、あらかじめ辞書で未知の単語を確認して参加すること。																																																																		
到達目標	直説法と接続法の違いを正確に理解する。スペイン語による表現力を養う。																																																																		
授業方法と留意点	受講者の習得状況に応じて、授業進度・内容ともに若干変更されることがある。 学期半ばで担任が入れ替わる。																																																																		
科目学習の効果(資格)	. スペイン語検定5級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>復習</td><td>前期学習内容の復習 前期試験の振り返り</td><td>復習</td></tr> <tr><td>2</td><td>第6課</td><td>過去分詞とその用法</td><td>復習</td></tr> <tr><td>3</td><td>第7課</td><td>現在完了形</td><td>復習</td></tr> <tr><td>4</td><td>第8課</td><td>現在分詞とその用法</td><td>復習</td></tr> <tr><td>5</td><td>第9課</td><td>未来形</td><td>復習</td></tr> <tr><td>6</td><td>第10課</td><td>過去未来形、無人称表現</td><td>復習</td></tr> <tr><td>7</td><td>これまでの学習のまとめ</td><td>理解度確認テスト(1)</td><td>復習</td></tr> <tr><td>8</td><td>第11課</td><td>比較表現</td><td>復習</td></tr> <tr><td>9</td><td>ボキャブラリ・コンテスト</td><td>スペイン語ボキャブラリ・コンテスト</td><td>復習</td></tr> <tr><td>10</td><td>第12課</td><td>さまざまな完了時制</td><td>復習</td></tr> <tr><td>11</td><td>第13課</td><td>命令形</td><td>復習</td></tr> <tr><td>12</td><td>第14課</td><td>命令形(2)</td><td>復習</td></tr> <tr><td>13</td><td>第15課</td><td>接続法(1)</td><td>復習</td></tr> <tr><td>14</td><td>第16課</td><td>接続法の用法</td><td>復習</td></tr> <tr><td>15</td><td>これまでの学習のまとめ</td><td>理解度確認テスト(2)</td><td>—————</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	復習	前期学習内容の復習 前期試験の振り返り	復習	2	第6課	過去分詞とその用法	復習	3	第7課	現在完了形	復習	4	第8課	現在分詞とその用法	復習	5	第9課	未来形	復習	6	第10課	過去未来形、無人称表現	復習	7	これまでの学習のまとめ	理解度確認テスト(1)	復習	8	第11課	比較表現	復習	9	ボキャブラリ・コンテスト	スペイン語ボキャブラリ・コンテスト	復習	10	第12課	さまざまな完了時制	復習	11	第13課	命令形	復習	12	第14課	命令形(2)	復習	13	第15課	接続法(1)	復習	14	第16課	接続法の用法	復習	15	これまでの学習のまとめ	理解度確認テスト(2)	—————
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	復習	前期学習内容の復習 前期試験の振り返り	復習																																																																
2	第6課	過去分詞とその用法	復習																																																																
3	第7課	現在完了形	復習																																																																
4	第8課	現在分詞とその用法	復習																																																																
5	第9課	未来形	復習																																																																
6	第10課	過去未来形、無人称表現	復習																																																																
7	これまでの学習のまとめ	理解度確認テスト(1)	復習																																																																
8	第11課	比較表現	復習																																																																
9	ボキャブラリ・コンテスト	スペイン語ボキャブラリ・コンテスト	復習																																																																
10	第12課	さまざまな完了時制	復習																																																																
11	第13課	命令形	復習																																																																
12	第14課	命令形(2)	復習																																																																
13	第15課	接続法(1)	復習																																																																
14	第16課	接続法の用法	復習																																																																
15	これまでの学習のまとめ	理解度確認テスト(2)	—————																																																																
関連科目	. リレー科目ではないが、スペイン語Ⅳ																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>西和中辞典</td><td>高垣敏博他</td><td>小学館</td></tr> <tr><td>2</td><td>現代スペイン語辞典</td><td>宮城昇他</td><td>白水社</td></tr> <tr><td>3</td><td>わかるスペイン語文法</td><td>西川喬</td><td>同学社</td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	西和中辞典	高垣敏博他	小学館	2	現代スペイン語辞典	宮城昇他	白水社	3	わかるスペイン語文法	西川喬	同学社																																																
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	西和中辞典	高垣敏博他	小学館																																																																
2	現代スペイン語辞典	宮城昇他	白水社																																																																
3	わかるスペイン語文法	西川喬	同学社																																																																
評価方法(基準)	期間中適宜実施する理解度確認テスト、ボキャブラリ・コンテスト、課題、発表等の成績を加味して総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	最後まで進めば、スペイン語の基本をほぼカバーしたことになります。あと少しの辛抱。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	.																																																																		

科目名	スペイン語IV a	科目名 (英文)	Spanish IVa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	1
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	マツダイラ キーメル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語の語彙力を増強し、それらの語彙を使いながら、これまでに習った文法事項を応用しながら、スペイン語で表現する楽しみを味わえるようにする。																																																																		
到達目標	直説法の動詞の活用と用法を正確に理解し、スペイン語による表現力を身につける。																																																																		
授業方法と留意点	語彙力を確認するための小テストを随時行なう。即興の作文や会話を中心とする。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 5 級、4 級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>プレゼンテーション。</td> <td>どれだけスペイン語を覚えているか、確認する。</td> <td>単語帳あるいはカードを作る</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1課 (1)</td> <td>人を紹介する</td> <td>単語帳あるいはカードを作る</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第1課 (2)</td> <td>人やものを描写する。時間の言い方</td> <td>単語帳あるいはカードを作る</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第2課 (1)</td> <td>人・物の状態を述べる</td> <td>単語帳あるいはカードを作る</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第2課 (2)</td> <td>何があるかを述べる</td> <td>単語帳あるいはカードを作る</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第3課 (1)</td> <td>仕事・学習について述べる</td> <td>単語帳あるいはカードを作る</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第3課 (2)</td> <td>日々の活動について述べる</td> <td>単語帳あるいはカードを作る</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第3課 (3)</td> <td>食生活</td> <td>単語帳あるいはカードを作る</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ボキャブラリ・コンテスト</td> <td>ボキャブラリ・コンテストの受験</td> <td>間違えた単語のチェック</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第4課 (1)</td> <td>年齢・体調を述べる</td> <td>単語帳あるいはカードを作る</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第4課 (2)</td> <td>移動表現</td> <td>単語帳あるいはカードを作る</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>第5課 (1)</td> <td>依頼・許可</td> <td>単語帳あるいはカードを作る</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>第5課 (2)</td> <td>助言・予定</td> <td>単語帳あるいはカードを作る</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>第6課</td> <td>天候・自然現象</td> <td>単語帳あるいはカードを作る</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習と確認</td> <td>理解度確認テスト</td> <td>間違えた単語のチェック</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	プレゼンテーション。	どれだけスペイン語を覚えているか、確認する。	単語帳あるいはカードを作る	2	第1課 (1)	人を紹介する	単語帳あるいはカードを作る	3	第1課 (2)	人やものを描写する。時間の言い方	単語帳あるいはカードを作る	4	第2課 (1)	人・物の状態を述べる	単語帳あるいはカードを作る	5	第2課 (2)	何があるかを述べる	単語帳あるいはカードを作る	6	第3課 (1)	仕事・学習について述べる	単語帳あるいはカードを作る	7	第3課 (2)	日々の活動について述べる	単語帳あるいはカードを作る	8	第3課 (3)	食生活	単語帳あるいはカードを作る	9	ボキャブラリ・コンテスト	ボキャブラリ・コンテストの受験	間違えた単語のチェック	10	第4課 (1)	年齢・体調を述べる	単語帳あるいはカードを作る	11	第4課 (2)	移動表現	単語帳あるいはカードを作る	12	第5課 (1)	依頼・許可	単語帳あるいはカードを作る	13	第5課 (2)	助言・予定	単語帳あるいはカードを作る	14	第6課	天候・自然現象	単語帳あるいはカードを作る	15	総復習と確認	理解度確認テスト	間違えた単語のチェック
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	プレゼンテーション。	どれだけスペイン語を覚えているか、確認する。	単語帳あるいはカードを作る																																																																
2	第1課 (1)	人を紹介する	単語帳あるいはカードを作る																																																																
3	第1課 (2)	人やものを描写する。時間の言い方	単語帳あるいはカードを作る																																																																
4	第2課 (1)	人・物の状態を述べる	単語帳あるいはカードを作る																																																																
5	第2課 (2)	何があるかを述べる	単語帳あるいはカードを作る																																																																
6	第3課 (1)	仕事・学習について述べる	単語帳あるいはカードを作る																																																																
7	第3課 (2)	日々の活動について述べる	単語帳あるいはカードを作る																																																																
8	第3課 (3)	食生活	単語帳あるいはカードを作る																																																																
9	ボキャブラリ・コンテスト	ボキャブラリ・コンテストの受験	間違えた単語のチェック																																																																
10	第4課 (1)	年齢・体調を述べる	単語帳あるいはカードを作る																																																																
11	第4課 (2)	移動表現	単語帳あるいはカードを作る																																																																
12	第5課 (1)	依頼・許可	単語帳あるいはカードを作る																																																																
13	第5課 (2)	助言・予定	単語帳あるいはカードを作る																																																																
14	第6課	天候・自然現象	単語帳あるいはカードを作る																																																																
15	総復習と確認	理解度確認テスト	間違えた単語のチェック																																																																
関連科目	スペイン語関連科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	小テスト、ボキャブラリ・コンテスト、理解度確認テストを総合して判断する																																																																		
学生へのメッセージ	外国語の学習には日々の努力の積み重ねが必要です。なかなか先が見えず、自分が正しい道を進んでいるのか不安になることもありますが、ゆっくりでも、コツコツしっかり進んでいきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)																																																																		
備考																																																																			

科目名	スペイン語IV a	科目名 (英文)	Spanish IVa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	2
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	サウロ・セガミダニエル・ダシ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語の語彙力を増強し、それらの語彙を使いながら、これまでに習った文法事項を応用しながら、スペイン語で表現する楽しみを味わえるようにする。			
到達目標	直説法の動詞の活用と用法を正確に理解し、スペイン語による表現力を身につける。			
授業方法と留意点	語彙力を確認するための小テストを随時行なう。即興の作文や会話を中心とする。			
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 5 級、4 級			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	プレゼンテーション。	どれだけスペイン語を覚えているか、確認する。	単語帳あるいはカードを作る
	2	第1課 (1)	人を紹介する	単語帳あるいはカードを作る
	3	第1課 (2)	人やものを描写する。時間の言い方	単語帳あるいはカードを作る
	4	第2課 (1)	人・物の状態を述べる	単語帳あるいはカードを作る
	5	第2課 (2)	何があるかを述べる	単語帳あるいはカードを作る
	6	第3課 (1)	仕事・学習について述べる	単語帳あるいはカードを作る
	7	第3課 (2)	日々の活動について述べる	単語帳あるいはカードを作る
	8	第3課 (3)	食生活	単語帳あるいはカードを作る
	9	ボキャブラリ・コンテスト	ボキャブラリ・コンテストの受験	間違えた単語のチェック
	10	第4課 (1)	年齢・体調を述べる	単語帳あるいはカードを作る
	11	第4課 (2)	移動表現	単語帳あるいはカードを作る
	12	第5課 (1)	依頼・許可	単語帳あるいはカードを作る
	13	第5課 (2)	助言・予定	単語帳あるいはカードを作る
	14	第6課	天候・自然現象	単語帳あるいはカードを作る
	15	総復習と確認	理解度確認テスト	間違えた単語のチェック
関連科目	スペイン語関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	小テスト、ボキャブラリ・コンテスト、理解度確認テストを総合して判断する			
学生へのメッセージ	外国語の学習には日々の努力の積み重ねが必要です。なかなか先が見えず、自分が正しい道を進んでいるのか不安になることもありますが、ゆっくりでも、コツコツしっかり進んでいきましょう。			
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)			
備考				

科目名	スペイン語IV b	科目名 (英文)	Spanish IVb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	1
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	マツダイラ キーメル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語の語彙力を増強し、それらの語彙を使いながら、これまでに習った文法事項を応用しながら、スペイン語で表現する楽しみを味わえるようにする。
到達目標	直説法と接続法の違いを正確に理解する。スペイン語による表現力を養う。
授業方法と留意点	語彙力を確認するための小テストを随時に行なう。即興の作文や会話を中心とする。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 5 級、4 級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	前期の復習	前期テストの返却、見直し	単語帳あるいはカードを作る
	2	前期の復習 (2)	第1課～第3課までの見直し	単語帳あるいはカードを作る
	3	前期の復習 (3)	第4課～第6課までの見直し	単語帳あるいはカードを作る
	4	第7課	趣味・嗜好を述べる、意見を述べる	単語帳あるいはカードを作る
	5	第8課 (1)	日常生活を述べる、自分について述べる	単語帳あるいはカードを作る
	6	第8課 (2)	感情を述べる、再帰動詞の復習	単語帳あるいはカードを作る
	7	第9課 (1)	買い物をする	単語帳あるいはカードを作る
	8	第9課 (2)	贈り物をする、地理について述べる	単語帳あるいはカードを作る
	9	ポキヤブラリ・コンテスト	ポキヤブラリ・コンテストの受験	間違えた単語のチェック
	10	第10課 (1)	家事・雑用について述べる、人の一生を語る	単語帳あるいはカードを作る
	11	第10課 (2)	乗り物で旅行する、旅行の報告をする	単語帳あるいはカードを作る
	12	第10課 (3)	思い出を語る	単語帳あるいはカードを作る
	13	第11課	将来の展望を述べる、忠告する・希望を述べる、推測する	単語帳あるいはカードを作る
	14	第12課	コンピュータを使う、レシピを書く	単語帳あるいはカードを作る
	15	総復習と確認	理解度確認テスト	間違えた単語のチェック

関連科目	スペイン語 III
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	小テスト、ポキヤブラリ・コンテスト、理解度確認テストを総合して判断する
-----------	-------------------------------------

学生へのメッセージ	外国語の学習には日々の努力の積み重ねが必要です。なかなか先が見えず、自分が正しい道を進んでいるのか不安になることもあります。ゆっくりでも、コツコツしっかり進んでいきましょう。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	
----	--

科目名	スペイン語IV b	科目名 (英文)	Spanish IVb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	2
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	サビド・セガミ・ダニエル・ダン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語の語彙力を増強し、それらの語彙を使いながら、これまでに習った文法事項を応用しながら、スペイン語で表現する楽しみを味わえるようにする。																																																																		
到達目標	直説法と接続法の違いを正確に理解する。スペイン語による表現力を養う。																																																																		
授業方法と留意点	語彙力を確認するための小テストを随時に行なう。即興の作文や会話を中心とする。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 5 級、4 級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>前期の復習</td><td>前期テストの返却、見直し</td><td>単語帳あるいはカードを作る</td></tr> <tr><td>2</td><td>前期の復習 (2)</td><td>第1課～第3課までの見直し</td><td>単語帳あるいはカードを作る</td></tr> <tr><td>3</td><td>前期の復習 (3)</td><td>第4課～第6課までの見直し</td><td>単語帳あるいはカードを作る</td></tr> <tr><td>4</td><td>第7課</td><td>趣味・嗜好を述べる、意見を述べる</td><td>単語帳あるいはカードを作る</td></tr> <tr><td>5</td><td>第8課 (1)</td><td>日常生活を述べる、自分について述べる</td><td>単語帳あるいはカードを作る</td></tr> <tr><td>6</td><td>第8課 (2)</td><td>感情を述べる、再帰動詞の復習</td><td>単語帳あるいはカードを作る</td></tr> <tr><td>7</td><td>第9課 (1)</td><td>買い物をする</td><td>単語帳あるいはカードを作る</td></tr> <tr><td>8</td><td>第9課 (2)</td><td>贈り物をする、地理について述べる</td><td>単語帳あるいはカードを作る</td></tr> <tr><td>9</td><td>ボキャブラリ・コンテスト</td><td>ボキャブラリ・コンテストの受験</td><td>間違えた単語のチェック</td></tr> <tr><td>10</td><td>第10課 (1)</td><td>家事・雑用について述べる、人の一生を語る</td><td>単語帳あるいはカードを作る</td></tr> <tr><td>11</td><td>第10課 (2)</td><td>乗り物で旅行する、旅行の報告をする</td><td>単語帳あるいはカードを作る</td></tr> <tr><td>12</td><td>第10課 (3)</td><td>思い出を語る</td><td>単語帳あるいはカードを作る</td></tr> <tr><td>13</td><td>第11課</td><td>将来の展望を述べる、忠告する・希望を述べる、推測する</td><td>単語帳あるいはカードを作る</td></tr> <tr><td>14</td><td>第12課</td><td>コンピュータを使う、レシピを書く</td><td>単語帳あるいはカードを作る</td></tr> <tr><td>15</td><td>総復習と確認</td><td>理解度確認テスト</td><td>間違えた単語のチェック</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	前期の復習	前期テストの返却、見直し	単語帳あるいはカードを作る	2	前期の復習 (2)	第1課～第3課までの見直し	単語帳あるいはカードを作る	3	前期の復習 (3)	第4課～第6課までの見直し	単語帳あるいはカードを作る	4	第7課	趣味・嗜好を述べる、意見を述べる	単語帳あるいはカードを作る	5	第8課 (1)	日常生活を述べる、自分について述べる	単語帳あるいはカードを作る	6	第8課 (2)	感情を述べる、再帰動詞の復習	単語帳あるいはカードを作る	7	第9課 (1)	買い物をする	単語帳あるいはカードを作る	8	第9課 (2)	贈り物をする、地理について述べる	単語帳あるいはカードを作る	9	ボキャブラリ・コンテスト	ボキャブラリ・コンテストの受験	間違えた単語のチェック	10	第10課 (1)	家事・雑用について述べる、人の一生を語る	単語帳あるいはカードを作る	11	第10課 (2)	乗り物で旅行する、旅行の報告をする	単語帳あるいはカードを作る	12	第10課 (3)	思い出を語る	単語帳あるいはカードを作る	13	第11課	将来の展望を述べる、忠告する・希望を述べる、推測する	単語帳あるいはカードを作る	14	第12課	コンピュータを使う、レシピを書く	単語帳あるいはカードを作る	15	総復習と確認	理解度確認テスト	間違えた単語のチェック
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の復習	前期テストの返却、見直し	単語帳あるいはカードを作る																																																																
2	前期の復習 (2)	第1課～第3課までの見直し	単語帳あるいはカードを作る																																																																
3	前期の復習 (3)	第4課～第6課までの見直し	単語帳あるいはカードを作る																																																																
4	第7課	趣味・嗜好を述べる、意見を述べる	単語帳あるいはカードを作る																																																																
5	第8課 (1)	日常生活を述べる、自分について述べる	単語帳あるいはカードを作る																																																																
6	第8課 (2)	感情を述べる、再帰動詞の復習	単語帳あるいはカードを作る																																																																
7	第9課 (1)	買い物をする	単語帳あるいはカードを作る																																																																
8	第9課 (2)	贈り物をする、地理について述べる	単語帳あるいはカードを作る																																																																
9	ボキャブラリ・コンテスト	ボキャブラリ・コンテストの受験	間違えた単語のチェック																																																																
10	第10課 (1)	家事・雑用について述べる、人の一生を語る	単語帳あるいはカードを作る																																																																
11	第10課 (2)	乗り物で旅行する、旅行の報告をする	単語帳あるいはカードを作る																																																																
12	第10課 (3)	思い出を語る	単語帳あるいはカードを作る																																																																
13	第11課	将来の展望を述べる、忠告する・希望を述べる、推測する	単語帳あるいはカードを作る																																																																
14	第12課	コンピュータを使う、レシピを書く	単語帳あるいはカードを作る																																																																
15	総復習と確認	理解度確認テスト	間違えた単語のチェック																																																																
関連科目	スペイン語 III																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	小テスト、ボキャブラリ・コンテスト、理解度確認テストを総合して判断する																																																																		
学生へのメッセージ	外国語の学習には日々の努力の積み重ねが必要です。なかなか先が見えず、自分が正しい道を進んでいるのか不安になることもあります。ゆっくりでも、コツコツしっかり進んでいきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)																																																																		
備考																																																																			

科目名	スペイン語応用 I	科目名 (英文)	Applied Spanish I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	磯野 吉美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	初めて習う外国語は覚えることが多く、暗記と理解に時間をかけてもなかなか定着しにくい。この授業では、練習問題をこなすことで理解を深め、記憶に定着させることを目指す。 また、語学には語彙力アップが欠かせない。毎回単語テストを課す。それだけでなく、授業では覚えた単語を使った作文を数多くこなす。																																																																		
到達目標	「スペイン語入門A、B、C」で学んだばかりの内容に対応する豊富な練習問題に取り組むことで、文法の基礎を着実に習得する。																																																																		
授業方法と留意点	日本人学習者にはすぐに理解しにくい箇所を集中的に学習し、文法科目を補っていく。分からなかったことを恥ずかしいと思わず、理解が完全でないと思えば、どんどん疑問をぶつけてほしい。学生のニーズを優先したい。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 6 級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション</td> <td>この授業の目指すところ 日本人の苦手な音</td> <td>スペイン語圏の国と首都</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>発音</td> <td>日本人の苦手な音</td> <td>二重子音</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>音節分けとアクセント</td> <td>音節分けの徹底練習</td> <td>音節とは</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>名詞の性と数</td> <td>名詞の性 (何で区別するか) 複数形から単数形へ</td> <td>名詞の色々</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>名詞と形容詞</td> <td>語尾の連動</td> <td>名詞と連動する形容詞</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>人称と動詞活用 活用形から主語を知る</td> <td>人称とは何か 動詞活用とは何か 活 用形の徹底</td> <td>基本的な規則活用動詞</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>語彙力検査</td> <td>ボキャブラリ・コンテスト</td> <td>単語</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>be 動詞に相当する動詞</td> <td>ser と estar</td> <td>be 動詞</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>be 動詞に相当する動詞</td> <td>estar と hay</td> <td>be 動詞</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>指示語 所有格</td> <td>名詞との位置関係、性数一致</td> <td>あれ、これ、それ</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>動詞の活用</td> <td>活用形から主語を知る</td> <td>動詞活用</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>動詞の活用 (2)</td> <td>不規則動詞を中心に</td> <td>動詞活用</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>目的格代名詞</td> <td>頻出する目的語</td> <td>me、te、nos、os</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>gustar 型動詞</td> <td>主語と目的語</td> <td>向き違いの表現</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>確認</td> <td>理解度確認テスト</td> <td>学習事項の総点検</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	この授業の目指すところ 日本人の苦手な音	スペイン語圏の国と首都	2	発音	日本人の苦手な音	二重子音	3	音節分けとアクセント	音節分けの徹底練習	音節とは	4	名詞の性と数	名詞の性 (何で区別するか) 複数形から単数形へ	名詞の色々	5	名詞と形容詞	語尾の連動	名詞と連動する形容詞	6	人称と動詞活用 活用形から主語を知る	人称とは何か 動詞活用とは何か 活 用形の徹底	基本的な規則活用動詞	7	語彙力検査	ボキャブラリ・コンテスト	単語	8	be 動詞に相当する動詞	ser と estar	be 動詞	9	be 動詞に相当する動詞	estar と hay	be 動詞	10	指示語 所有格	名詞との位置関係、性数一致	あれ、これ、それ	11	動詞の活用	活用形から主語を知る	動詞活用	12	動詞の活用 (2)	不規則動詞を中心に	動詞活用	13	目的格代名詞	頻出する目的語	me、te、nos、os	14	gustar 型動詞	主語と目的語	向き違いの表現	15	確認	理解度確認テスト	学習事項の総点検
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	この授業の目指すところ 日本人の苦手な音	スペイン語圏の国と首都																																																																
2	発音	日本人の苦手な音	二重子音																																																																
3	音節分けとアクセント	音節分けの徹底練習	音節とは																																																																
4	名詞の性と数	名詞の性 (何で区別するか) 複数形から単数形へ	名詞の色々																																																																
5	名詞と形容詞	語尾の連動	名詞と連動する形容詞																																																																
6	人称と動詞活用 活用形から主語を知る	人称とは何か 動詞活用とは何か 活 用形の徹底	基本的な規則活用動詞																																																																
7	語彙力検査	ボキャブラリ・コンテスト	単語																																																																
8	be 動詞に相当する動詞	ser と estar	be 動詞																																																																
9	be 動詞に相当する動詞	estar と hay	be 動詞																																																																
10	指示語 所有格	名詞との位置関係、性数一致	あれ、これ、それ																																																																
11	動詞の活用	活用形から主語を知る	動詞活用																																																																
12	動詞の活用 (2)	不規則動詞を中心に	動詞活用																																																																
13	目的格代名詞	頻出する目的語	me、te、nos、os																																																																
14	gustar 型動詞	主語と目的語	向き違いの表現																																																																
15	確認	理解度確認テスト	学習事項の総点検																																																																
関連科目	スペイン語入門A、B、C																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	定期試験も実施する。ただし、毎回の単語テスト、ボキャブラリ・コンテスト、理解度確認テストで合格レベルに達しておれば、定期試験は免除することがある。																																																																		
学生へのメッセージ	初めての外国語の勉強は大変です。毎日、少しずつでも勉強しましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)																																																																		
備考																																																																			

科目名	スペイン語応用Ⅱ	科目名(英文)	Applied Spanish II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	磯野 吉美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	前期と同じように、文法の練習問題をとおして理解を深めるとともに、語彙力の増強をめざす。毎回単語テストをする。習熟度別のクラス編成にする場合もある。																																																																		
到達目標	「スペイン語基礎A、B、C」で学んだばかりの内容に対応する豊富な練習問題に取り組むことで、文法の基礎を着実に習得する。																																																																		
授業方法と留意点	日本人学習者にはすぐに理解しにくい箇所を集中的に学習し、文法科目を補っていく。分からなかったことを恥ずかしいと思わず、理解が完全でないと思えば、どんどん疑問をぶつけてほしい。ニーズに応えていきたい。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>前期の復習</td><td>前期の試験問題を持参のこと</td></tr> <tr><td>2</td><td>再帰動詞</td><td>自動詞と他動詞</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>3</td><td>再帰動詞(2)</td><td>さまざまな用法をとおして、ニュアンスをつかむ</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>4</td><td>過去形</td><td>活用の徹底</td><td>点過去の活用形の暗記</td></tr> <tr><td>5</td><td>過去形(2)</td><td>点過去と現在完了の違い</td><td>点過去と現在完了の使い分け</td></tr> <tr><td>6</td><td>過去形(3)</td><td>点過去と線過去の違い</td><td>点過去と線過去の使い分け</td></tr> <tr><td>7</td><td>復習</td><td>復習プリント</td><td>学習事項の総点検</td></tr> <tr><td>8</td><td>語彙力検査</td><td>ボキャブラリーコンテスト</td><td>既習語彙の見直し</td></tr> <tr><td>9</td><td>未来形と過去未来形</td><td>活用の徹底</td><td>未来形と過去未来形の活用</td></tr> <tr><td>10</td><td>過去完了形と未来完了形</td><td>単純時制と複合時制の関係</td><td>使い分け</td></tr> <tr><td>11</td><td>いろいろな時制</td><td>動詞活用形コンテスト</td><td>様々な時制の使い分け</td></tr> <tr><td>12</td><td>修飾語句</td><td>形容詞・過去分詞など</td><td>語尾</td></tr> <tr><td>13</td><td>修飾語句(2)</td><td>関係詞とは</td><td>英語の関係詞を少しおさらい</td></tr> <tr><td>14</td><td>これまでのまとめ</td><td>復習プリント</td><td>学習事項の総点検</td></tr> <tr><td>15</td><td>確認</td><td>理解度確認テスト</td><td>学習事項の総点検</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	前期の復習	前期の試験問題を持参のこと	2	再帰動詞	自動詞と他動詞	形と用法	3	再帰動詞(2)	さまざまな用法をとおして、ニュアンスをつかむ	形と用法	4	過去形	活用の徹底	点過去の活用形の暗記	5	過去形(2)	点過去と現在完了の違い	点過去と現在完了の使い分け	6	過去形(3)	点過去と線過去の違い	点過去と線過去の使い分け	7	復習	復習プリント	学習事項の総点検	8	語彙力検査	ボキャブラリーコンテスト	既習語彙の見直し	9	未来形と過去未来形	活用の徹底	未来形と過去未来形の活用	10	過去完了形と未来完了形	単純時制と複合時制の関係	使い分け	11	いろいろな時制	動詞活用形コンテスト	様々な時制の使い分け	12	修飾語句	形容詞・過去分詞など	語尾	13	修飾語句(2)	関係詞とは	英語の関係詞を少しおさらい	14	これまでのまとめ	復習プリント	学習事項の総点検	15	確認	理解度確認テスト	学習事項の総点検
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	前期の復習	前期の試験問題を持参のこと																																																																
2	再帰動詞	自動詞と他動詞	形と用法																																																																
3	再帰動詞(2)	さまざまな用法をとおして、ニュアンスをつかむ	形と用法																																																																
4	過去形	活用の徹底	点過去の活用形の暗記																																																																
5	過去形(2)	点過去と現在完了の違い	点過去と現在完了の使い分け																																																																
6	過去形(3)	点過去と線過去の違い	点過去と線過去の使い分け																																																																
7	復習	復習プリント	学習事項の総点検																																																																
8	語彙力検査	ボキャブラリーコンテスト	既習語彙の見直し																																																																
9	未来形と過去未来形	活用の徹底	未来形と過去未来形の活用																																																																
10	過去完了形と未来完了形	単純時制と複合時制の関係	使い分け																																																																
11	いろいろな時制	動詞活用形コンテスト	様々な時制の使い分け																																																																
12	修飾語句	形容詞・過去分詞など	語尾																																																																
13	修飾語句(2)	関係詞とは	英語の関係詞を少しおさらい																																																																
14	これまでのまとめ	復習プリント	学習事項の総点検																																																																
15	確認	理解度確認テスト	学習事項の総点検																																																																
関連科目	スペイン語基礎A、B、C																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	定期試験も実施する。ただし、理解度確認テストなどで、十分に習得できていると判断されれば、定期試験は免除する。提出物+単語テスト+ボキャブラリー・コンテスト+理解度確認テスト																																																																		
学生へのメッセージ	夏休みの間のさびを落として、心機一転、がんばりましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室																																																																		
備考	ボキャブラリー・コンテストの実施時期は上の予定より早くなることもある。																																																																		

科目名	スペイン語オラルII A	科目名(英文)	Spanish Conversation IIA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	オラシオ ゴメス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	「スペイン語基礎」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、基本的な動詞を使ってさまざまな場面での応答ができるようになる。 11月半ばから12月初旬にかけて行なうレシテーション(暗唱)コンテストに向けてこの授業で準備する。
到達目標	スペイン語で聞き話せる内容を徐々に深めることをめざす。
授業方法と留意点	2グループに分けて指導し、学期の半ばで担当者が交替することもある。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進捗より早まったり、遅くなることもありうる。 旧カリの再履修者は、水曜日の「スペイン語オラルIIB」と併せて受講しなければならない。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級、6級

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	I または I A で学習したことの復習	動詞の直説法現在の活用、語彙の復習	前期の復習
2	Unidad 8	直接目的格人称代名詞 動詞 VER, SABER, CONOCER の活用とこれらを用いた表現	食べ物と飲み物の語彙 レシピ
3	Unidad 8	動詞 PODER, QUERER の活用と用法	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(料理について)
4	Unidad 9	間接目的格人称代名詞 動詞 DAR, TRAER, DECIR の活用と用法	品質形容詞について読む。 衣服とアクセサリーに関する語彙
5	Unidad 9	比較表現(1)	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(クリスマスについて)
6	Unidad 10	動詞 GUSTAR 及び同じ用い方をする動詞群	余暇活動、スポーツに関する語彙
7	Unidad 10	比較表現(2)	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(祝祭について)
8	レシテーション	レシテーションの練習(文中の個々の単語の発音)	スペイン語テキストの内容を理解する。
9	Unidad 11	形容詞の意味に基づく SER と ESTAR の使い分け 感嘆文	身体の部位の名称 体調・感情表現
10	レシテーション	レシテーションの練習(スペイン語文のリズム)	スペイン語で朗読する際のリズムに慣れ親しむ。
11	Unidad 11	TENER QUE + 不定詞 HAY QUE + 不定詞 不定語と否定語	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(スポーツについて)
12	Unidad 12	直説法点過去規則活用	時を表す副詞表現
13	Unidad 12	直説法点過去不規則活用	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(言語について)
14	Unidad 13	直説法線過去の活用と用法 点過去と線過去の使い分け 関係代名詞 que	過去時制の復習
15	到達目標達成度の確認	理解度確認テスト	既習事項の復習

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Entre amigos 1	スペイン語教材研究会	朝日出版社
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、レシテーション、理解度確認テストなどから評価する。 再履修者は「スペイン語オラルIIB」の評価と合せて総合成績を出す。
学生へのメッセージ	授業は欠かさず出席すること。聴いて理解するには語彙力が不可欠。
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	.

科目名	スペイン語オラルII A	科目名(英文)	Spanish Conversation IIA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	R
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ヒセレ ラサロ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	「スペイン語基礎」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、基本的な動詞を使ってさまざまな場面での応答ができるようになる。 11月半ばから12月初旬にかけて行なうレシテーション(暗唱)コンテストに向けてこの授業で準備する。
到達目標	スペイン語で聞き話せる内容を徐々に深めることをめざす。
授業方法と留意点	2グループに分けて指導し、学期の半ばで担当者が交替することもある。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進捗より早まったり、遅くなることもありうる。 旧カリの再履修者は、水曜日の「スペイン語オラルIIB」と併せて受講しなければならない。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級、6級

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	I または I A で学習したことの復習	動詞の直説法現在の活用、語彙の復習	前期の復習
2	Unidad 8	直接目的格人称代名詞 動詞 VER, SABER, CONOCER の活用とこれらを用いた表現	食べ物と飲み物の語彙 レシビ
3	Unidad 8	動詞 PODER, QUERER の活用と用法	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(料理について)
4	Unidad 9	間接目的格人称代名詞 動詞 DAR, TRAER, DECIR の活用と用法	品質形容詞について読む。 衣服とアクセサリーに関する語彙
5	Unidad 9	比較表現(1)	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(クリスマスについて)
6	Unidad 10	動詞 GUSTAR 及び同じ用い方をする動詞群	余暇活動、スポーツに関する語彙
7	Unidad 10	比較表現(2)	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(祝祭について)
8	レシテーション	レシテーションの練習(文中の個々の単語の発音)	スペイン語テキストの内容を理解する。
9	Unidad 11	形容詞の意味に基づく SER と ESTAR の使い分け 感嘆文	身体の部位の名称 体調・感情表現
10	レシテーション	レシテーションの練習(スペイン語文のリズム)	スペイン語で朗読する際のリズムに慣れ親しむ。
11	Unidad 11	TENER QUE + 不定詞 HAY QUE + 不定詞 不定語と否定語	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(スポーツについて)
12	Unidad 12	直説法点過去規則活用	時を表す副詞表現
13	Unidad 12	直説法点過去不規則活用	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(言語について)
14	Unidad 13	直説法線過去の活用と用法 点過去と線過去の使い分け 関係代名詞 que	過去時制の復習
15	到達目標達成度の確認	理解度確認テスト	既習事項の復習

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Entre amigos 1	スペイン語教材研究会	朝日出版社
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、レシテーション、理解度確認テストなどから評価する。 再履修者は「スペイン語オラルIIB」の評価と合せて総合成績を出す。
----------	---

学生へのメッセージ	授業は欠かさず出席すること。聴いて理解するには語彙力が不可欠。
-----------	---------------------------------

担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)
------------	---------------

科目名	スペイン語オラルII B	科目名(英文)	Spanish Conversation IIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	宮多良 ディスネル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	「スペイン語基礎」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、基本的な動詞を使ってさまざまな場面での応答ができるようになる。11月半ばから12月初旬にかけて、レシテーション(暗唱)コンテストを行う。
到達目標	スペイン語で聞き話せる内容を深めることをめざす。
授業方法と留意点	月曜日の「スペイン語オラルIIA」とリレー形式で進める。学期の半ばで担当者が交替することもある。なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進捗より早まったり、遅くなることもありうる。本科目は再履修クラスである。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級、6級

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
			1
2	Unidad 8	招待・提案の表現 受諾・拒絶の表現 「～しなければならない」「～しているところですよ」	現在分詞 Jugar, oír, conocer
3	Unidad 9	近い将来の計画・意図 無関心・不確実の表現 「～するつもりですよ」	ir a gerundio 目的格代名詞
4	Unidad 10	過去のことを話す 原因・理由の表現	現在完了時制
5	Unidad 11	過去のことを話す(2) 様子を探る表現	点過去(不定過去)
6	復習	これまで習った内容を復習	これまでに学んだ文法事項や表現の復習
7	Unidad 12	比較の表現 所有関係の表現	所有格
8	レシテーション	レシテーションの練習(文中の個々の単語の発音)	レシテーションのテキストの意味理解
9	Unidad 13	過去のことを話す(3) 体調を探る表現	線過去(完了過去)
10	レシテーション	レシテーションの練習(スペイン語文のリズム)	レシテーション練習
11	Unidad 14	可能性の表現 義務の表現 「～なら…だ」「～なら…しなければいけない」	条件文, tener que + 不定詞
12	Unidad 14	命令・禁止の表現 「～しなさい」「～してはいけません」	命令形
13	Unidad 15	過去のことを話す(4)	点過去と線過去の使い分け
14	Unidad 15	比較級・最上級	比較表現
15	確認	理解度確認テスト	これまでの総復習

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

番号	書籍名	著者名	出版社名
			1
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
			1
2			
3			

評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、レシテーション、理解度確認テストなどから評価し、「スペイン語オラルIIA」の評価と合わせて総合成績を出す。
学生へのメッセージ	授業は欠かさず出席すること。聴いて理解するには語彙力が不可欠。
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	.

科目名	スペイン語オラル I	科目名 (英文)	Spanish Conversation I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	オラシオ ゴメス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語は、大西洋の両岸に位置する広域かつ多様な一大文化圏の公用語であり、かつ米国における話者が飛躍的に増加していることでも知られている。「スペイン語入門」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、時には「入門」より先回りして、スペイン語の聴解と発話に慣れることをめざす。
到達目標	スペイン語独特のリズムに慣れ、基本的な動詞を使って簡単な応答ができるようになることをめざす。
授業方法と留意点	2グループに分けて指導し、学期の半ばで担当者が交替する場合もある。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。 旧カリの再履修者は本授業と水曜日のオラル I B とを併せて受講しなければならない。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 6 級

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Unidad 1	発音とアクセント	名詞の性と数について教科書を読んでおく。
3	Unidad 1	教室で役に立つ表現 数字 (1~10)	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(名前と苗字について)
4	Unidad 2	名詞の性と数 定冠詞	職業に関する名詞 世界の国々の名称・言語名
5	Unidad 2	主語代名詞 動詞 SER 直説法現在 疑問文と否定文 数字 (0~30)	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(歴史上の人物について)
6	Unidad 3	不定冠詞 品質形容詞 動詞 TENER 直説法現在	家族関係を表す語彙 ?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(ジェスチャーについて)
7	Unidad 4	指示形容詞・指示代名詞 動詞 ESTAR と HABER	位置関係の表現を参照し、大学内や周辺にあるものを説明してみる。
8	Unidad 4	場所を表す副詞 数字 (100~999, 999) 理解度確認テスト	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(世界遺産都市)
9	Unidad 5	規則動詞 直説法現在 曜日 頻度を表す副詞表現	日常生活を表す動詞
10	Unidad 5	不規則動詞 HACER と IR	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(ドン・キホーテについて)
11	Unidad 6	前置詞 IR A + 不定詞 時刻の表現	月と季節、交通機関について読む。
12	Unidad 6	語幹母音変化動詞 動詞 SALIR と VENIR	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(美術館・博物館について)
13	Unidad 7	語幹母音変化動詞 天候表現	再帰動詞についての説明を読む。
14	Unidad 7	再帰動詞	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(日常の習慣について)
15	これまでの総復習と目標達成確認	理解度確認テスト	これまでに学習した事項や表現の復習

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Entre amigos 1	スペイン語教材研究会	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、理解度確認テストなどから評価する。 再履修者については、「スペイン語オラル I B」の評価と合せて総合成績を出す。
学生へのメッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業は欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的にコミュニケーションに取り組むこと。
担当者の研究室等	7号館 2階 (非常勤講師室)
備考	

科目名	スペイン語オラル I	科目名 (英文)	Spanish Conversation I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ヒセレ ラサロ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語は、大西洋の両岸に位置する広域かつ多様な一大文化圏の公用語であり、かつ米国における話者が飛躍的に増加していることでも知られている。「スペイン語入門」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、時には「入門」より先回りして、スペイン語の聴解と発話に慣れることをめざす。
到達目標	スペイン語独特のリズムに慣れ、基本的な動詞を使って簡単な応答ができるようになることをめざす。
授業方法と留意点	2グループに分けて指導し、学期の半ばで担当者が交替する場合もある。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。 旧カリの再履修者は本授業と水曜日のオラル I B とを併せて受講しなければならない。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 6 級

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Unidad 1	発音とアクセント	名詞の性と数について教科書を読んでおく。
3	Unidad 1	教室で役に立つ表現 数字 (1~10)	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(名前と苗字について)
4	Unidad 2	名詞の性と数 定冠詞	職業に関する名詞 世界の国々の名称・言語名
5	Unidad 2	主語代名詞 動詞 SER 直説法現在 疑問文と否定文 数字 (0~30)	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(歴史上の人物について)
6	Unidad 3	不定冠詞 品質形容詞 動詞 TENER 直説法現在	家族関係を表す語彙 ?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(ジェスチャーについて)
7	Unidad 4	指示形容詞・指示代名詞 動詞 ESTAR と HABER	位置関係の表現を参照し、大学内や周辺にあるものを説明してみる。
8	Unidad 4	場所を表す副詞 数字 (100~999, 999) 理解度確認テスト	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(世界遺産都市)
9	Unidad 5	規則動詞 直説法現在 曜日 頻度を表す副詞表現	日常生活を表す動詞
10	Unidad 5	不規則動詞 HACER と IR	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(ドン・キホーテについて)
11	Unidad 6	前置詞 IR A + 不定詞 時刻の表現	月と季節、交通機関について読む。
12	Unidad 6	語幹母音変化動詞 動詞 SALIR と VENIR	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(美術館・博物館について)
13	Unidad 7	語幹母音変化動詞 天候表現	再帰動詞についての説明を読む。
14	Unidad 7	再帰動詞	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(日常の習慣について)
15	これまでの総復習と目標達成確認	理解度確認テスト	これまでに学習した事項や表現の復習

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Entre amigos 1	スペイン語教材研究会	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、理解度確認テストなどから評価する。 再履修者については、「スペイン語オラル I B」の評価と合せて総合成績を出す。
学生へのメッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業は欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的にコミュニケーションに取り組むこと。
担当者の研究室等	7号館 2階 (非常勤講師室)
備考	

科目名	スペイン語オラルII	科目名(英文)	Spanish Conversation II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	オラシオ ゴメス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	「スペイン語基礎」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、基本的な動詞を使ってさまざまな場面での応答ができるようになる。 11月半ばから12月初旬にかけて行なうレシテーション(暗唱)コンテストに向けてこの授業で準備する。
到達目標	スペイン語で聞き話せる内容を徐々に深めることをめざす。
授業方法と留意点	2グループに分けて指導し、学期の半ばで担当者が交替することもある。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進捗より早まったり、遅くなることもありうる。 旧カリの再履修者は、水曜日の「スペイン語オラルIIB」と併せて受講しなければならない。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級、6級

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	I または IA で学習したことの復習	動詞の直説法現在の活用、語彙の復習	前期の復習
2	Unidad 8	直接目的格人称代名詞 動詞 VER, SABER, CONOCER, の活用とこれらを用いた表現	食べ物と飲み物の語彙 レシピ
3	Unidad 8	動詞 PODER, QUERER の活用と用法	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(料理について)
4	Unidad 9	間接目的格人称代名詞 動詞 DAR, TRAER, DECIR の活用と用法	品質形容詞について読む。 衣服とアクセサリーに関する語彙
5	Unidad 9	比較表現(1)	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(クリスマスについて)
6	Unidad 10	動詞 GUSTAR 及び同じ用い方をする動詞群	余暇活動、スポーツに関する語彙
7	Unidad 10	比較表現(2)	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(祝祭について)
8	レシテーション	レシテーションの練習(文中の個々の単語の発音)	スペイン語テキストの内容を理解する。
9	Unidad 11	形容詞の意味に基づく SER と ESTAR の使い分け 感嘆文	身体の部位の名称 体調・感情表現
10	レシテーション	レシテーションの練習(スペイン語文のリズム)	スペイン語で朗読する際のリズムに慣れ親しむ。
11	Unidad 11	TENER QUE + 不定詞 HAY QUE + 不定詞 不定語と否定語	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(スポーツについて)
12	Unidad 12	直説法点過去規則活用	時を表す副詞表現
13	Unidad 12	直説法点過去不規則活用	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(言語について)
14	Unidad 13	直説法線過去の活用と用法 点過去と線過去の使い分け 関係代名詞 que	過去時制の復習
15	到達目標達成度の確認	理解度確認テスト	既習事項の復習

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Entre amigos 1	スペイン語教材研究会	朝日出版社
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、レシテーション、理解度確認テストなどから評価する。 再履修者は「スペイン語オラルIIB」の評価と合せて総合成績を出す。
----------	---

学生へのメッセージ	授業は欠かさず出席すること。聴いて理解するには語彙力が不可欠。
-----------	---------------------------------

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	.
----	---

科目名	スペイン語オラルII	科目名(英文)	Spanish Conversation II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ヒセレ ラサロ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	「スペイン語基礎」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、基本的な動詞を使ってさまざまな場面での応答ができるようになる。 11月半ばから12月初旬にかけて行なうレシテーション(暗唱)コンテストに向けてこの授業で準備する。
到達目標	スペイン語で聞き話せる内容を徐々に深めることをめざす。
授業方法と留意点	2グループに分けて指導し、学期の半ばで担当者が交替することもある。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進捗より早まったり、遅くなることもありうる。 旧カリの再履修者は、水曜日の「スペイン語オラルIIB」と併せて受講しなければならない。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級、6級

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	IまたはIAで学習したことの復習	動詞の直説法現在の活用、語彙の復習	前期の復習
2	Unidad 8	直接目的格人称代名詞 動詞 VER, SABER, CONOCER, の活用とこれらを用いた表現	食べ物と飲み物の語彙 レシピ
3	Unidad 8	動詞 PODER, QUERER の活用と用法	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(料理について)
4	Unidad 9	間接目的格人称代名詞 動詞 DAR, TRAER, DECIR の活用と用法	品質形容詞について読む。 衣服とアクセサリーに関する語彙
5	Unidad 9	比較表現(1)	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(クリスマスについて)
6	Unidad 10	動詞 GUSTAR 及び同じ用い方をする動詞群	余暇活動、スポーツに関する語彙
7	Unidad 10	比較表現(2)	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(祝祭について)
8	レシテーション	レシテーションの練習(文中の個々の単語の発音)	スペイン語テキストの内容を理解する。
9	Unidad 11	形容詞の意味に基づく SER と ESTAR の使い分け 感嘆文	身体の部位の名称 体調・感情表現
10	レシテーション	レシテーションの練習(スペイン語文のリズム)	スペイン語で朗読する際のリズムに慣れ親しむ。
11	Unidad 11	TENER QUE + 不定詞 HAY QUE + 不定詞 不定語と否定語	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(スポーツについて)
12	Unidad 12	直説法点過去規則活用	時を表す副詞表現
13	Unidad 12	直説法点過去不規則活用	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(言語について)
14	Unidad 13	直説法線過去の活用と用法 点過去と線過去の使い分け 関係代名詞 que	過去時制の復習
15	到達目標達成度の確認	理解度確認テスト	既習事項の復習

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Entre amigos 1	スペイン語教材研究会	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、レシテーション、理解度確認テストなどから評価する。 再履修者は「スペイン語オラルIIB」の評価と合せて総合成績を出す。
----------	---

学生へのメッセージ	授業は欠かさず出席すること。聴いて理解するには語彙力が不可欠。
-----------	---------------------------------

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	.
----	---

科目名	スペイン語オラル I A	科目名 (英文)	Spanish Conversation IA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	オラシオ ゴメス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語は、大西洋の両岸に位置する広域かつ多様な一大文化圏の公用語であり、かつ米国における話者が飛躍的に増加していることでも知られている。「スペイン語入門」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、時には「入門」より先回りして、スペイン語の聴解と発話に慣れることをめざす。
到達目標	スペイン語独特のリズムに慣れ、基本的な動詞を使って簡単な応答ができるようになることをめざす。
授業方法と留意点	2グループに分けて指導し、学期の半ばで担当者が交替する場合もある。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。 旧カリの再履修者は本授業と水曜日のオラル I Bとを併せて受講しなければならない。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 6級

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Unidad 1	発音とアクセント	名詞の性と数について教科書を読んでおく。
3	Unidad 1	教室で役に立つ表現 数字 (1~10)	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(名前と苗字について)
4	Unidad 2	名詞の性と数 定冠詞	職業に関する名詞 世界の国々の名称・言語名
5	Unidad 2	主語代名詞 動詞 SER 直説法現在 疑問文と否定文 数字 (0~30)	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(歴史上の人物について)
6	Unidad 3	不定冠詞 品質形容詞 動詞 TENER 直説法現在	家族関係を表す語彙 ?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(ジェスチャーについて)
7	Unidad 4	指示形容詞・指示代名詞 動詞 ESTAR と HABER	位置関係の表現を参照し、大学内や周辺にあるものを説明してみる。
8	Unidad 4	場所を表す副詞 数字 (100~999, 999) 理解度確認テスト	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(世界遺産都市)
9	Unidad 5	規則動詞 直説法現在 曜日 頻度を表す副詞表現	日常生活を表す動詞
10	Unidad 5	不規則動詞 HACER と IR	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(ドン・キホーテについて)
11	Unidad 6	前置詞 IR A + 不定詞 時刻の表現	月と季節、交通機関について読む。
12	Unidad 6	語幹母音変化動詞 動詞 SALIR と VENIR	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(美術館・博物館について)
13	Unidad 7	語幹母音変化動詞 天候表現	再帰動詞についての説明を読む。
14	Unidad 7	再帰動詞	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(日常の習慣について)
15	これまでの総復習と目標達成確認	理解度確認テスト	これまでに学習した事項や表現の復習

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Entre amigos 1	スペイン語教材研究会	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、理解度確認テストなどから評価する。 再履修者については、「スペイン語オラル I B」の評価と合せて総合成績を出す。
-----------	---

学生へのメッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業は欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的にコミュニケーションに取り組むこと。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館 2階 (非常勤講師室)
----------	-----------------

備考	
----	--

科目名	スペイン語オラル I A	科目名 (英文)	Spanish Conversation IA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	R
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ヒセレ ラサロ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語は、大西洋の両岸に位置する広域かつ多様な一大文化圏の公用語であり、かつ米国における話者が飛躍的に増加していることでも知られている。「スペイン語入門」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、時には「入門」より先回りして、スペイン語の聴解と発話に慣れることをめざす。
到達目標	スペイン語独特のリズムに慣れ、基本的な動詞を使って簡単な応答ができるようになることをめざす。
授業方法と留意点	2グループに分けて指導し、学期の半ばで担当者が交替する場合もある。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。 旧カリの再履修者は本授業と水曜日のオラル I Bとを併せて受講しなければならない。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 6級

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Unidad 1	発音とアクセント	名詞の性と数について教科書を読んでおく。
3	Unidad 1	教室で役に立つ表現 数字 (1~10)	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(名前と苗字について)
4	Unidad 2	名詞の性と数 定冠詞	職業に関する名詞 世界の国々の名称・言語名
5	Unidad 2	主語代名詞 動詞 SER 直説法現在 疑問文と否定文 数字 (0~30)	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(歴史上の人物について)
6	Unidad 3	不定冠詞 品質形容詞 動詞 TENER 直説法現在	家族関係を表す語彙 ?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(ジェスチャーについて)
7	Unidad 4	指示形容詞・指示代名詞 動詞 ESTAR と HABER	位置関係の表現を参照し、大学内や周辺にあるものを説明してみる。
8	Unidad 4	場所を表す副詞 数字 (100~999, 999) 理解度確認テスト	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(世界遺産都市)
9	Unidad 5	規則動詞 直説法現在 曜日 頻度を表す副詞表現	日常生活を表す動詞
10	Unidad 5	不規則動詞 HACER と IR	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(ドン・キホーテについて)
11	Unidad 6	前置詞 IR A + 不定詞 時刻の表現	月と季節、交通機関について読む。
12	Unidad 6	語幹母音変化動詞 動詞 SALIR と VENIR	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(美術館・博物館について)
13	Unidad 7	語幹母音変化動詞 天候表現	再帰動詞についての説明を読む。
14	Unidad 7	再帰動詞	?SABIAS QUE...?のページを読んでおく。(日常の習慣について)
15	これまでの総復習と目標達成確認	理解度確認テスト	これまでに学習した事項や表現の復習

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Entre amigos 1	スペイン語教材研究会	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、理解度確認テストなどから評価する。 再履修者については、「スペイン語オラル I B」の評価と合せて総合成績を出す。
学生へのメッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業は欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的にコミュニケーションに取り組むこと。
担当者の研究室等	7号館 2階 (非常勤講師室)
備考	

科目名	スペイン語オラル I B	科目名 (英文)	Spanish Conversation IB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	宮多良 ディスネル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語は、大西洋の両岸に位置する広域かつ多様な一大文化圏の公用語であり、かつ米国における話者が飛躍的に増加していることでも知られている。「スペイン語入門」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、時には「入門」より先回りして、スペイン語の聴解と発話に慣れるようになる。
到達目標	スペイン語独特のリズムに慣れ、基本的な動詞を使って簡単な応答ができるようになることをめざす。
授業方法と留意点	月曜日の「スペイン語オラル IA」とリレー形式で進める。学期の半ばで担当者が交替する場合もある。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。 本科目は再履修クラスである。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 6級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション・発音・アルファベット	授業の進め方について	—————
	2	Unidad 1	発音とアクセント 挨拶と自己紹介	名詞の性と数 基本動詞の活用
	3	Unidad 1	世界の国々の名称・言語名、職業	国名形容詞
	4	Unidad 2	さまざまな挨拶	職業に関する名詞
	5	Unidad 2	電話番号 スペインの地方	数詞 基本動詞
	6	Unidad 3	家や部屋の描写 場所を表す語句 理解度確認テスト (1)	定冠詞
	7	Unidad 4	街の描写 道を尋ねる	さまざまな副詞 (句)
	8	Unidad 4	時刻の表現	数詞
	9	Unidad 5	値段を尋ねる 注文の仕方	語幹母音変化動詞 命令形
	10	Unidad 5	好き嫌いの表現	gustar 型動詞
	11	Unidad 6	人物の描写 理解度確認テスト (2)	家族構成に関する名詞 形容詞
	12	Unidad 6	日常生活の描写	再帰動詞
	13	Unidad 7	ものの描写 許可を求める	衣服に関する名詞
	14	Unidad 7	意見を尋ねる	語幹母音変化動詞
	15	確認	理解度確認テスト (3)	これまでの総復習

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Entre amigos 1	スペイン語教材研究会	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、理解度確認テストなどから評価し、「スペイン語オラル IA」の評価と合せて総合成績を出す。
-----------	---

学生へのメッセージ	辞書をつねに携行すること。授業は欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的にコミュニケーションに取り組むこと。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館 2階 (非常勤講師室)
----------	-----------------

備考	
----	--

科目名	スペイン語オラルⅢA	科目名(英文)	Spanish Conversation IIIA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	QR1
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	オラシオ ゴメス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業で用いる教科書は、実践的会話を養うための場面設定、言語運用能力を培うためのまとまりのある語彙と文法説明、文化社会的知識を深めるために読ませる文章という3つの局面から各課が構成されている。その都度、何を目的に学んでいるのか認識しながら学習を進めると効果的である。
到達目標	1年次に習得したスペイン語の基礎をもとに、いっそう複雑な会話表現ができるだけ正確にできるようにする。
授業方法と留意点	金曜日の「オラルⅢB」とリレー形式で進める。必ずどちらにも受講すること。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定4級、5級

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	Entre amigos 2 の Unidad 1	直説法現在の復習、学生生活について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
2	Entre amigos 2 の Unidad 2	直説法点過去の復習、家族について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
3	Entre amigos 2 の Unidad 3	動詞 ser, estar, haber, tener の用法の復習、場所や情景を描写する	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
4	Entre amigos 2 の Unidad 4	点過去と線過去の比較、旅行について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
5	Entre amigos 2 の Unidad 5	直説法現在完了の復習、余暇について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
6	Entre amigos 2 の Unidad 6	直説法未来と過去未来の復習、職業について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
7	Entre amigos 2 の Unidad 7	直説法過去完了、今と昔を比較して話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
8	Entre amigos 2 の Unidad 8	命令・依頼表現、食生活について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
9	復習と確認	これまで学習した範囲の復習テスト	復習
10	Entre amigos 2 の Unidad 9	接続法現在の用法 1、政治や社会問題について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
11	Entre amigos 2 の Unidad 10	接続法現在の用法 2、環境問題について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
12	Entre amigos 2 の Unidad 11	接続法過去、スペイン語圏の映画や本について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
13	Entre amigos 2 の Unidad 12	接続法過去完了、スペイン語圏の音楽について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
14	Entre amigos 2 の Unidad 13	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。
15	学習内容の確認	理解度確認テスト	事前に文法事項を総確認し、重要表現及び語彙を覚えておく。

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Entre amigos 2	スペイン語教材研究会	朝日出版社
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、臨時試験の成績から評価し、「スペイン語オラルⅢA」の評価と合せて総合成績を出す。
----------	---

学生へのメッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	.
----	---

科目名	スペイン語オラルⅢA	科目名(英文)	Spanish Conversation IIIA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	QR2
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	宮多良 ディスネル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業で用いる教科書は、実践的会話を養うための場面設定、言語運用能力を培うためのまとまりのある語彙と文法説明、文化社会的知識を深めるために読ませる文章という3つの局面から各課が構成されている。その都度、何を目的に学んでいるのか認識しながら学習を進めると効果的である。																																																																		
到達目標	1年次に習得したスペイン語の基礎をもとに、いっそう複雑な会話表現ができるだけ正確にできるようにする。																																																																		
授業方法と留意点	金曜日の「オラルⅢB」とリレー形式で進める。必ずどちらも受講すること。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。クラス編成も習熟度別にする。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定4級、5級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>前年度の復習</td> <td>Nuevo Ven 1 Unidad 10までの復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Nuevo Ven 1のUnidad 10</td> <td><直説法現在完了、点過去></td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Nuevo Ven 1のUnidad 11</td> <td>点過去</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Nuevo Ven 1のUnidad 12</td> <td>指示語、所有語、比較</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Nuevo Ven 1のUnidad 13</td> <td>線過去</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Nuevo Ven 1のUnidad 14</td> <td>Hay que Inf. 再帰動詞</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Nuevo Ven 1のUnidad 15</td> <td>過去時制の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>復習と確認</td> <td>これまで習った範囲の復習テスト</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Nuevo Ven 2のUnidad 1</td> <td>過去時制の総復習 現在分詞</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Unidad 2</td> <td>serとestar、未来形</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Unidad 3</td> <td>接続法、命令法</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Unidad 4</td> <td>過去未来形、過去完了形</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Unidad 5</td> <td>直接話法と間接話法</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Nuevo Ven 2の総復習</td> <td>復習プリント</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習</td> <td>理解度確認テスト</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	前年度の復習	Nuevo Ven 1 Unidad 10までの復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	2	Nuevo Ven 1のUnidad 10	<直説法現在完了、点過去>	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	3	Nuevo Ven 1のUnidad 11	点過去	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	4	Nuevo Ven 1のUnidad 12	指示語、所有語、比較	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	5	Nuevo Ven 1のUnidad 13	線過去	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	6	Nuevo Ven 1のUnidad 14	Hay que Inf. 再帰動詞	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	7	Nuevo Ven 1のUnidad 15	過去時制の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	8	復習と確認	これまで習った範囲の復習テスト	復習	9	Nuevo Ven 2のUnidad 1	過去時制の総復習 現在分詞	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	10	Unidad 2	serとestar、未来形	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	11	Unidad 3	接続法、命令法	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	12	Unidad 4	過去未来形、過去完了形	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	13	Unidad 5	直接話法と間接話法	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	14	Nuevo Ven 2の総復習	復習プリント	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	15	総復習	理解度確認テスト	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	前年度の復習	Nuevo Ven 1 Unidad 10までの復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
2	Nuevo Ven 1のUnidad 10	<直説法現在完了、点過去>	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
3	Nuevo Ven 1のUnidad 11	点過去	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
4	Nuevo Ven 1のUnidad 12	指示語、所有語、比較	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
5	Nuevo Ven 1のUnidad 13	線過去	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
6	Nuevo Ven 1のUnidad 14	Hay que Inf. 再帰動詞	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
7	Nuevo Ven 1のUnidad 15	過去時制の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
8	復習と確認	これまで習った範囲の復習テスト	復習																																																																
9	Nuevo Ven 2のUnidad 1	過去時制の総復習 現在分詞	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
10	Unidad 2	serとestar、未来形	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
11	Unidad 3	接続法、命令法	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
12	Unidad 4	過去未来形、過去完了形	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
13	Unidad 5	直接話法と間接話法	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
14	Nuevo Ven 2の総復習	復習プリント	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
15	総復習	理解度確認テスト	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
関連科目	スペイン語の全科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、臨時試験の成績から評価し、「スペイン語オラルⅢB」の評価と合せて総合成績を出す。																																																																		
学生へのメッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	.																																																																		

科目名	スペイン語オラルⅢA	科目名(英文)	Spanish Conversation IIIA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	QR3
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	岡 あゆみ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業で用いる教科書は、実践的会話を養うための場面設定、言語運用能力を培うためのまとまりのある語彙と文法説明、文化社会的知識を深めるために読ませる文章という3つの局面から各課が構成されている。その都度、何を目的に学んでいるのか認識しながら学習を進めると効果的である。
到達目標	1年次に習得したスペイン語の基礎をもとに、いっそう複雑な会話表現ができるだけ正確にできるようにする。
授業方法と留意点	金曜日の「スペイン語オラルⅢB」とリレー形式で進める。必ずどちらも受講すること。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進捗より早まったり、遅くなることもありうる。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定4級、5級

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	Entre amigos 2 の Unidad 1	直説法現在の復習、学生生活について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
2	Entre amigos 2 の Unidad 2	直説法点過去の復習、家族について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
3	Entre amigos 2 の Unidad 3	動詞 ser, estar, haber, tener の用法の復習、場所や情景を描写する	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
4	Entre amigos 2 の Unidad 4	点過去と線過去の比較、旅行について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
5	Entre amigos 2 の Unidad 5	直説法現在完了の復習、余暇について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
6	Entre amigos 2 の Unidad 6	直説法未来と過去未来の復習、職業について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
7	Entre amigos 2 の Unidad 7	直説法過去完了、今と昔を比較して話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
8	Entre amigos 2 の Unidad 8	命令・依頼表現、食生活について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
9	復習と確認	これまで学習した範囲の復習テスト	復習
10	Entre amigos 2 の Unidad 9	接続法現在の用法 1、政治や社会問題について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
11	Entre amigos 2 の Unidad 10	接続法現在の用法 2、環境問題について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
12	Entre amigos 2 の Unidad 11	接続法過去、スペイン語圏の映画や本について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
13	Entre amigos 2 の Unidad 12	接続法過去完了、スペイン語圏の音楽について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
14	Entre amigos 2 の Unidad 13	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。
15	学習内容の確認	理解度確認テスト	事前に文法事項を総確認し、重要表現及び語彙を覚えておく。

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Entre amigos 2	スペイン語教材研究会	朝日出版社
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、臨時試験の成績から評価し、「スペイン語オラルⅢB」の評価と合せて総合成績を出す。
----------	---

学生へのメッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	.
----	---

科目名	スペイン語オラルⅢB	科目名(英文)	Spanish Conversation IIIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	QR1
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	梶原 三佳
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業で用いる教科書は、実践的会話を養うための場面設定、言語運用能力を培うためのまとまりのある語彙と文法説明、文化社会的知識を深めるために読ませる文章という3つの局面から各課が構成されている。その都度、何を目的に学んでいるのか認識しながら学習を進めると効果的である。
到達目標	1年次に習得したスペイン語の基礎をもとに、いっそう複雑な会話表現ができるだけ正確にできるようにする。
授業方法と留意点	月曜日の「オラルⅢA」とリレー形式で進める。必ずどちらも受講すること。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定4級、5級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Entre amigos 2 の Unidad 1	直説法現在の復習、学生生活について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
	2	Entre amigos 2 の Unidad 2	直説法点過去の復習、家族について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
	3	Entre amigos 2 の Unidad 3	動詞 ser, estar, haber, tener の用法の復習、場所や情景を描写する	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
	4	Entre amigos 2 の Unidad 4	点過去と線過去の比較、旅行について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
	5	Entre amigos 2 の Unidad 5	直説法現在完了の復習、余暇について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
	6	Entre amigos 2 の Unidad 6	直説法未来と過去未来の復習、職業について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
	7	Entre amigos 2 の Unidad 7	直説法過去完了、今と昔を比較して話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
	8	Entre amigos 2 の Unidad 8	命令・依頼表現、食生活について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
	9	復習と確認	これまで学習した範囲の復習テスト	復習
	10	Entre amigos 2 の Unidad 9	接続法現在の用法 1、政治や社会問題について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
	11	Entre amigos 2 の Unidad 10	接続法現在の用法 2、環境問題について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
	12	Entre amigos 2 の Unidad 11	接続法過去、スペイン語圏の映画や本について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
	13	Entre amigos 2 の Unidad 12	接続法過去完了、スペイン語圏の音楽について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
	14	Entre amigos 2 の Unidad 13	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。
15	学習内容の確認	理解度確認テスト	事前に文法事項を総確認し、重要表現及び語彙を覚えておく。	

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Entre amigos 2	スペイン語教材研究会	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、臨時試験の成績から評価し、「スペイン語オラルⅢA」の評価と合せて総合成績を出す。
----------	---

学生へのメッセージ	辞書をつねに携行すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	.

科目名	スペイン語オラルⅢB	科目名(英文)	Spanish Conversation IIIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	QR2
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	マツダイラ キーメル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業で用いる教科書は、実践的会話力を養うための場面設定、言語運用能力を培うためのまとまりのある語彙と文法説明、文化社会的知識を深めるために読ませる文章という3つの局面から各課が構成されている。その都度、何を目的に学んでいるのか認識しながら学習を進めると効果的である。																																																																		
到達目標	1年次に習得したスペイン語の基礎をもとに、いっそう複雑な会話表現ができるだけ正確にできるようにする。																																																																		
授業方法と留意点	月曜日の「オラルⅢA」とリレー形式で進める。必ずどちらも受講すること。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定4級、5級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Entre amigos 2のUnidad 1</td> <td>直説法現在の復習、学生生活について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Entre amigos 2のUnidad 2</td> <td>直説法点過去の復習、家族について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Entre amigos 2のUnidad 3</td> <td>動詞 ser, estar, haber, tener の用法の復習、場所や情景を描写する</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Entre amigos 2のUnidad 4</td> <td>点過去と線過去の比較、旅行について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Entre amigos 2のUnidad 5</td> <td>直説法現在完了の復習、余暇について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Entre amigos 2のUnidad 6</td> <td>直説法未来と過去未来の復習、職業について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Entre amigos 2のUnidad 7</td> <td>直説法過去完了、今と昔を比較して話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Entre amigos 2のUnidad 8</td> <td>命令・依頼表現、食生活について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>復習と確認</td> <td>これまで学習した範囲の復習テスト</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Entre amigos 2のUnidad 9</td> <td>接続法現在の用法1、政治や社会問題について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Entre amigos 2のUnidad 10</td> <td>接続法現在の用法2、環境問題について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Entre amigos 2のUnidad 11</td> <td>接続法過去、スペイン語圏の映画や本について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Entre amigos 2のUnidad 12</td> <td>接続法過去完了、スペイン語圏の音楽について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Entre amigos 2のUnidad 12までの総復習</td> <td>これまでの授業で習った文法事項や表現の復習</td> <td>教科書や配布したプリントを見直す。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>学習内容の確認</td> <td>理解度確認テスト</td> <td>事前に文法事項を総確認し、重要表現及び語彙を覚えておく。</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	Entre amigos 2のUnidad 1	直説法現在の復習、学生生活について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	2	Entre amigos 2のUnidad 2	直説法点過去の復習、家族について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	3	Entre amigos 2のUnidad 3	動詞 ser, estar, haber, tener の用法の復習、場所や情景を描写する	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	4	Entre amigos 2のUnidad 4	点過去と線過去の比較、旅行について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	5	Entre amigos 2のUnidad 5	直説法現在完了の復習、余暇について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	6	Entre amigos 2のUnidad 6	直説法未来と過去未来の復習、職業について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	7	Entre amigos 2のUnidad 7	直説法過去完了、今と昔を比較して話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	8	Entre amigos 2のUnidad 8	命令・依頼表現、食生活について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	9	復習と確認	これまで学習した範囲の復習テスト	復習	10	Entre amigos 2のUnidad 9	接続法現在の用法1、政治や社会問題について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	11	Entre amigos 2のUnidad 10	接続法現在の用法2、環境問題について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	12	Entre amigos 2のUnidad 11	接続法過去、スペイン語圏の映画や本について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	13	Entre amigos 2のUnidad 12	接続法過去完了、スペイン語圏の音楽について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	14	Entre amigos 2のUnidad 12までの総復習	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。	15	学習内容の確認	理解度確認テスト	事前に文法事項を総確認し、重要表現及び語彙を覚えておく。
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	Entre amigos 2のUnidad 1	直説法現在の復習、学生生活について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
2	Entre amigos 2のUnidad 2	直説法点過去の復習、家族について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
3	Entre amigos 2のUnidad 3	動詞 ser, estar, haber, tener の用法の復習、場所や情景を描写する	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
4	Entre amigos 2のUnidad 4	点過去と線過去の比較、旅行について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
5	Entre amigos 2のUnidad 5	直説法現在完了の復習、余暇について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
6	Entre amigos 2のUnidad 6	直説法未来と過去未来の復習、職業について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
7	Entre amigos 2のUnidad 7	直説法過去完了、今と昔を比較して話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
8	Entre amigos 2のUnidad 8	命令・依頼表現、食生活について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
9	復習と確認	これまで学習した範囲の復習テスト	復習																																																																
10	Entre amigos 2のUnidad 9	接続法現在の用法1、政治や社会問題について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
11	Entre amigos 2のUnidad 10	接続法現在の用法2、環境問題について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
12	Entre amigos 2のUnidad 11	接続法過去、スペイン語圏の映画や本について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
13	Entre amigos 2のUnidad 12	接続法過去完了、スペイン語圏の音楽について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
14	Entre amigos 2のUnidad 12までの総復習	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。																																																																
15	学習内容の確認	理解度確認テスト	事前に文法事項を総確認し、重要表現及び語彙を覚えておく。																																																																
関連科目	スペイン語の全科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Entre amigos 2</td> <td>スペイン語教材研究会</td> <td>朝日出版社</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Entre amigos 2	スペイン語教材研究会	朝日出版社	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Entre amigos 2	スペイン語教材研究会	朝日出版社																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、臨時試験の成績から評価し、「スペイン語オラルⅢA」の評価と合せて総合成績を出す。																																																																		
学生へのメッセージ	辞書をつねに携行すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	.																																																																		

科目名	スペイン語オラルⅢB	科目名(英文)	Spanish Conversation IIIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	QR3
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	サウビド・セガミダニエル・ダニエル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業で用いる教科書は、実践的会話を養うための場面設定、言語運用能力を培うためのまとまりのある語彙と文法説明、文化社会的知識を深めるために読ませる文章という3つの局面から各課が構成されている。その都度、何を目的に学んでいるのか認識しながら学習を進めると効果的である。
到達目標	1年次に習得したスペイン語の基礎をもとに、いっそう複雑な会話表現ができるだけ正確にできるようにする。
授業方法と留意点	月曜日の「オラルⅢA」とリレー形式で進める。必ずどちらにも受講すること。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定4級、5級

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	Entre amigos 2のUnidad 1	直説法現在の復習、学生生活について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
2	Entre amigos 2のUnidad 2	直説法点過去の復習、家族について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
3	Entre amigos 2のUnidad 3	動詞 ser, estar, haber, tener の用法の復習、場所や情景を描写する	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
4	Entre amigos 2のUnidad 4	点過去と線過去の比較、旅行について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
5	Entre amigos 2のUnidad 5	直説法現在完了の復習、余暇について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
6	Nuevo Ven 1のUnidad 6	直説法未来と過去未来の復習、職業について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
7	Entre amigos 2のUnidad 7	直説法過去完了、今と昔を比較して話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
8	Entre amigos 2のUnidad 8	命令・依頼表現、食生活について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
9	復習と確認	これまで学習した範囲の復習テスト	復習
10	Entre amigos 2のUnidad 9	接続法現在の用法1、政治や社会問題について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
11	Entre amigos 2のUnidad 10	接続法現在の用法2、環境問題について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
12	Entre amigos 2のUnidad 11	接続法過去、スペイン語圏の映画や本について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
13	Entre amigos 2のUnidad 12	接続法過去完了、スペイン語圏の音楽について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
14	Entre amigos 2のUnidad 12 までの総復習	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。
15	学習内容の確認	理解度確認テスト	事前に文法事項を総確認し、重要表現及び語彙を覚えておく。

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Entre amigos 2	スペイン語教材研究会	朝日出版社
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、臨時試験の成績から評価し、「スペイン語オラルⅢA」の評価と合せて総合成績を出す。
----------	---

学生へのメッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	スペイン語オラルIVA	科目名(英文)	Spanish Conversation IVA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	QR1
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	オラシオ ゴメス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	後期はプリント等を併用して、より長い文章や文学作品、報道文などを読解し、自分なりの意見を述べる機会を多く設ける。																																																																		
到達目標	1年次に習得したスペイン語の基礎とオラルで積み上げてきた会話表現力をもとに、いっそう複雑な内容をできるだけ正確に話したり理解したりできるようにする。																																																																		
授業方法と留意点	金曜日の「オラル IVB」とリレー形式で進める。必ず両方を受講すること。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進捗より早まったり、遅くなることもありうる。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定3級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>前期の学習内容の復習</td> <td>夏休みについて話す</td> <td>前期に学習した文法事項や表現を見直す</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad8</td> <td>直説法現在と現在進行形の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad8</td> <td>娯楽や趣味について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad9</td> <td>目的格人称代名詞の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad9</td> <td>週末の予定について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad10</td> <td>完了時制の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad10</td> <td>休暇の過ごし方について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad11</td> <td>様々な過去時制の区別</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>スピーチコンテストの準備</td> <td>スピーチ原稿の作成、読み上げなど</td> <td>スピーチコンテストの原稿を仕上げる。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>スピーチコンテストに向けて</td> <td>スピーチの暗記、表現</td> <td>スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad11</td> <td>ウィークデーの活動について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad12</td> <td>指示詞と数詞の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad12</td> <td>旅行および交通機関について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Unidad12までの総復習</td> <td>これまでの授業で習った文法事項や表現の復習</td> <td>教科書や配布したプリントを見直す。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>学習内容の確認</td> <td>理解度確認テスト</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	前期の学習内容の復習	夏休みについて話す	前期に学習した文法事項や表現を見直す	2	Nuevo Ven1のUnidad8	直説法現在と現在進行形の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	3	Nuevo Ven1のUnidad8	娯楽や趣味について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	4	Nuevo Ven1のUnidad9	目的格人称代名詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	5	Nuevo Ven1のUnidad9	週末の予定について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	6	Nuevo Ven1のUnidad10	完了時制の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	7	Nuevo Ven1のUnidad10	休暇の過ごし方について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	8	Nuevo Ven1のUnidad11	様々な過去時制の区別	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	9	スピーチコンテストの準備	スピーチ原稿の作成、読み上げなど	スピーチコンテストの原稿を仕上げる。	10	スピーチコンテストに向けて	スピーチの暗記、表現	スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。	11	Nuevo Ven1のUnidad11	ウィークデーの活動について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	12	Nuevo Ven1のUnidad12	指示詞と数詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	13	Nuevo Ven1のUnidad12	旅行および交通機関について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	14	Unidad12までの総復習	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。	15	学習内容の確認	理解度確認テスト	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の学習内容の復習	夏休みについて話す	前期に学習した文法事項や表現を見直す																																																																
2	Nuevo Ven1のUnidad8	直説法現在と現在進行形の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
3	Nuevo Ven1のUnidad8	娯楽や趣味について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
4	Nuevo Ven1のUnidad9	目的格人称代名詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
5	Nuevo Ven1のUnidad9	週末の予定について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
6	Nuevo Ven1のUnidad10	完了時制の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
7	Nuevo Ven1のUnidad10	休暇の過ごし方について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
8	Nuevo Ven1のUnidad11	様々な過去時制の区別	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
9	スピーチコンテストの準備	スピーチ原稿の作成、読み上げなど	スピーチコンテストの原稿を仕上げる。																																																																
10	スピーチコンテストに向けて	スピーチの暗記、表現	スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。																																																																
11	Nuevo Ven1のUnidad11	ウィークデーの活動について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
12	Nuevo Ven1のUnidad12	指示詞と数詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
13	Nuevo Ven1のUnidad12	旅行および交通機関について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
14	Unidad12までの総復習	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。																																																																
15	学習内容の確認	理解度確認テスト	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
関連科目	スペイン語の全科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、臨時試験の成績から評価し、「スペイン語オラル IVA」の評価と合せて総合成績を出す。																																																																		
学生へのメッセージ	辞書をつねに携行すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。語彙をどんどん豊かにする努力を重ねましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	.																																																																		

科目名	スペイン語オラルⅣA	科目名(英文)	Spanish Conversation IVA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	QR2
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	宮多良 ディスネル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	前期と同じ教科書の後半をもとにして、この段階ではより長い文章や文学作品、報道文などを読解し、自分なりの意見を述べる機会を多く設ける。スピーチ・コンテストの準備にも時間を割く。																																																																
到達目標	1年次に習得したスペイン語の基礎とオラルで積み上げてきた会話表現力をもとに、いっそう複雑な内容をできるだけ正確に話したり理解したりできるようにする。																																																																
授業方法と留意点	金曜日の「オラルⅣB」とリレー形式で進める。必ず両方を受講すること。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。クラス編成も習熟度別にする。																																																																
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定3級																																																																
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>前期の学習内容の復習</td> <td>夏休みについて話す</td> <td>前期に学習した文法事項や表現を見直す。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad 8</td> <td>直説法現在と現在進行形の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad 8</td> <td>娯楽や趣味について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad 9</td> <td>目的格人称代名詞の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad 9</td> <td>週末の予定について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad 10</td> <td>完了時制の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad 10</td> <td>休暇の過ごし方について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad 11</td> <td>様々な過去時制の区別</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>スピーチコンテストの準備</td> <td>スピーチ原稿の作成、読み上げなど</td> <td>スピーチコンテストの原稿を仕上げる。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>スピーチコンテストに向けて</td> <td>スピーチの暗記、表現</td> <td>スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad 11</td> <td>ウィークデーの活動について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad 12</td> <td>指示詞と数詞の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad 12</td> <td>旅行および交通機関について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>nuevo Ven1のUnidad 12</td> <td>これまでの授業で習った文法事項や表現の復習</td> <td>教科書や配布したプリントを見直す。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習</td> <td>理解度確認テスト</td> <td>事前に文法事項を総確認し、重要表現及び語彙を覚えておく。</td> </tr> </tbody> </table>	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	前期の学習内容の復習	夏休みについて話す	前期に学習した文法事項や表現を見直す。	2	Nuevo Ven1のUnidad 8	直説法現在と現在進行形の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	3	Nuevo Ven1のUnidad 8	娯楽や趣味について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	4	Nuevo Ven1のUnidad 9	目的格人称代名詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	5	Nuevo Ven1のUnidad 9	週末の予定について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	6	Nuevo Ven1のUnidad 10	完了時制の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	7	Nuevo Ven1のUnidad 10	休暇の過ごし方について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	8	Nuevo Ven1のUnidad 11	様々な過去時制の区別	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	9	スピーチコンテストの準備	スピーチ原稿の作成、読み上げなど	スピーチコンテストの原稿を仕上げる。	10	スピーチコンテストに向けて	スピーチの暗記、表現	スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。	11	Nuevo Ven1のUnidad 11	ウィークデーの活動について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	12	Nuevo Ven1のUnidad 12	指示詞と数詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	13	Nuevo Ven1のUnidad 12	旅行および交通機関について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	14	nuevo Ven1のUnidad 12	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。	15	総復習	理解度確認テスト	事前に文法事項を総確認し、重要表現及び語彙を覚えておく。
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																														
1	前期の学習内容の復習	夏休みについて話す	前期に学習した文法事項や表現を見直す。																																																														
2	Nuevo Ven1のUnidad 8	直説法現在と現在進行形の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																														
3	Nuevo Ven1のUnidad 8	娯楽や趣味について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																														
4	Nuevo Ven1のUnidad 9	目的格人称代名詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																														
5	Nuevo Ven1のUnidad 9	週末の予定について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																														
6	Nuevo Ven1のUnidad 10	完了時制の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																														
7	Nuevo Ven1のUnidad 10	休暇の過ごし方について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																														
8	Nuevo Ven1のUnidad 11	様々な過去時制の区別	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																														
9	スピーチコンテストの準備	スピーチ原稿の作成、読み上げなど	スピーチコンテストの原稿を仕上げる。																																																														
10	スピーチコンテストに向けて	スピーチの暗記、表現	スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。																																																														
11	Nuevo Ven1のUnidad 11	ウィークデーの活動について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																														
12	Nuevo Ven1のUnidad 12	指示詞と数詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																														
13	Nuevo Ven1のUnidad 12	旅行および交通機関について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																														
14	nuevo Ven1のUnidad 12	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。																																																														
15	総復習	理解度確認テスト	事前に文法事項を総確認し、重要表現及び語彙を覚えておく。																																																														
関連科目	スペイン語の全科目																																																																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1																																																																	
2																																																																	
3																																																																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1																																																																	
2																																																																	
3																																																																	
評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、臨時試験の成績から評価し、「スペイン語オラルⅣB」の評価と合せて総合成績を出す。																																																																
学生へのメッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。語彙をどんどん豊かにする努力を重ねましょう。																																																																
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																
備考	.																																																																

科目名	スペイン語オラルIVA	科目名(英文)	Spanish Conversation IVA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	QR3
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	岡 あゆみ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	後期はプリント等を併用して、より長い文章や文学作品、報道文などを読解し、自分なりの意見を述べる機会を多く設ける。																																																																		
到達目標	1年次に習得したスペイン語の基礎とオラルで積み上げてきた会話表現力をもとに、いっそう複雑な内容をできるだけ正確に話したり理解したりできるようにする。																																																																		
授業方法と留意点	金曜日の「スペイン語オラルIVB」とリレー形式で進める。必ず両方を受講すること。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進捗より早まったり、遅くなることもありうる。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定3級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>前期の学習内容の復習</td> <td>夏休みについて話す</td> <td>前期に学習した文法事項や表現を見直す</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad8</td> <td>直説法現在と現在進行形の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad8</td> <td>娯楽や趣味について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad9</td> <td>目的格人称代名詞の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad9</td> <td>週末の予定について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad10</td> <td>完了時制の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad10</td> <td>休暇の過ごし方について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad11</td> <td>様々な過去時制の区別</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>スピーチコンテストの準備</td> <td>スピーチ原稿の作成、読み上げなど</td> <td>スピーチコンテストの原稿を仕上げる。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>スピーチコンテストに向けて</td> <td>スピーチの暗記、表現</td> <td>スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad11</td> <td>ウィークデーの活動について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad12</td> <td>指示詞と数詞の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad12</td> <td>旅行および交通機関について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Unidad12までの総復習</td> <td>これまでの授業で習った文法事項や表現の復習</td> <td>教科書や配布したプリントを見直す。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>学習内容の確認</td> <td>理解度確認テスト</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	前期の学習内容の復習	夏休みについて話す	前期に学習した文法事項や表現を見直す	2	Nuevo Ven1のUnidad8	直説法現在と現在進行形の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	3	Nuevo Ven1のUnidad8	娯楽や趣味について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	4	Nuevo Ven1のUnidad9	目的格人称代名詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	5	Nuevo Ven1のUnidad9	週末の予定について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	6	Nuevo Ven1のUnidad10	完了時制の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	7	Nuevo Ven1のUnidad10	休暇の過ごし方について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	8	Nuevo Ven1のUnidad11	様々な過去時制の区別	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	9	スピーチコンテストの準備	スピーチ原稿の作成、読み上げなど	スピーチコンテストの原稿を仕上げる。	10	スピーチコンテストに向けて	スピーチの暗記、表現	スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。	11	Nuevo Ven1のUnidad11	ウィークデーの活動について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	12	Nuevo Ven1のUnidad12	指示詞と数詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	13	Nuevo Ven1のUnidad12	旅行および交通機関について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	14	Unidad12までの総復習	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。	15	学習内容の確認	理解度確認テスト	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の学習内容の復習	夏休みについて話す	前期に学習した文法事項や表現を見直す																																																																
2	Nuevo Ven1のUnidad8	直説法現在と現在進行形の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
3	Nuevo Ven1のUnidad8	娯楽や趣味について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
4	Nuevo Ven1のUnidad9	目的格人称代名詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
5	Nuevo Ven1のUnidad9	週末の予定について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
6	Nuevo Ven1のUnidad10	完了時制の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
7	Nuevo Ven1のUnidad10	休暇の過ごし方について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
8	Nuevo Ven1のUnidad11	様々な過去時制の区別	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
9	スピーチコンテストの準備	スピーチ原稿の作成、読み上げなど	スピーチコンテストの原稿を仕上げる。																																																																
10	スピーチコンテストに向けて	スピーチの暗記、表現	スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。																																																																
11	Nuevo Ven1のUnidad11	ウィークデーの活動について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
12	Nuevo Ven1のUnidad12	指示詞と数詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
13	Nuevo Ven1のUnidad12	旅行および交通機関について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
14	Unidad12までの総復習	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。																																																																
15	学習内容の確認	理解度確認テスト	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
関連科目	スペイン語の全科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、臨時試験の成績から評価し、「スペイン語オラルIVB」の評価と合せて総合成績を出す。																																																																		
学生へのメッセージ	辞書をつねに携行すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。語彙をどんどん豊かにする努力を重ねましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	.																																																																		

科目名	スペイン語オラルIVB	科目名(英文)	Spanish Conversation IVB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	QR1
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	穂原 三佳
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	後期はプリント等を併用して、より長い文章や文学作品、報道文などを読解し、自分なりの意見を述べる機会を多く設ける。																																																																		
到達目標	1年次に習得したスペイン語の基礎とオラルで積み上げてきた会話表現力をもとに、いっそう複雑な内容をできるだけ正確に話したり理解したりできるようにする。																																																																		
授業方法と留意点	月曜日の「オラルIVA」とリレー形式を進める。必ず両方を受講すること。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定3級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>前期の学習内容の復習</td> <td>夏休みについて話す</td> <td>前期に学習した文法事項や表現を見直す</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad8</td> <td>直説法現在と現在進行形の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad8</td> <td>娯楽や趣味について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad9</td> <td>目的格人称代名詞の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad9</td> <td>週末の予定について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad10</td> <td>完了時制の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad10</td> <td>休暇の過ごし方について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad11</td> <td>様々な過去時制の区別</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>スピーチコンテストの準備</td> <td>スピーチ原稿の作成、読み上げなど</td> <td>スピーチコンテストの原稿を仕上げる。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>スピーチコンテストに向けて</td> <td>スピーチの暗記、表現</td> <td>スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad11</td> <td>ウィークデーの活動について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad12</td> <td>指示詞と数詞の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad12</td> <td>旅行および交通機関について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Unidad12までの総復習</td> <td>これまでの授業で習った文法事項や表現の復習</td> <td>教科書や配布したプリントを見直す。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>学習内容の確認</td> <td>理解度確認テスト</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	前期の学習内容の復習	夏休みについて話す	前期に学習した文法事項や表現を見直す	2	Nuevo Ven1のUnidad8	直説法現在と現在進行形の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	3	Nuevo Ven1のUnidad8	娯楽や趣味について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	4	Nuevo Ven1のUnidad9	目的格人称代名詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	5	Nuevo Ven1のUnidad9	週末の予定について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	6	Nuevo Ven1のUnidad10	完了時制の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	7	Nuevo Ven1のUnidad10	休暇の過ごし方について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	8	Nuevo Ven1のUnidad11	様々な過去時制の区別	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	9	スピーチコンテストの準備	スピーチ原稿の作成、読み上げなど	スピーチコンテストの原稿を仕上げる。	10	スピーチコンテストに向けて	スピーチの暗記、表現	スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。	11	Nuevo Ven1のUnidad11	ウィークデーの活動について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	12	Nuevo Ven1のUnidad12	指示詞と数詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	13	Nuevo Ven1のUnidad12	旅行および交通機関について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	14	Unidad12までの総復習	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。	15	学習内容の確認	理解度確認テスト	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の学習内容の復習	夏休みについて話す	前期に学習した文法事項や表現を見直す																																																																
2	Nuevo Ven1のUnidad8	直説法現在と現在進行形の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
3	Nuevo Ven1のUnidad8	娯楽や趣味について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
4	Nuevo Ven1のUnidad9	目的格人称代名詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
5	Nuevo Ven1のUnidad9	週末の予定について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
6	Nuevo Ven1のUnidad10	完了時制の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
7	Nuevo Ven1のUnidad10	休暇の過ごし方について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
8	Nuevo Ven1のUnidad11	様々な過去時制の区別	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
9	スピーチコンテストの準備	スピーチ原稿の作成、読み上げなど	スピーチコンテストの原稿を仕上げる。																																																																
10	スピーチコンテストに向けて	スピーチの暗記、表現	スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。																																																																
11	Nuevo Ven1のUnidad11	ウィークデーの活動について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
12	Nuevo Ven1のUnidad12	指示詞と数詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
13	Nuevo Ven1のUnidad12	旅行および交通機関について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
14	Unidad12までの総復習	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。																																																																
15	学習内容の確認	理解度確認テスト	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
関連科目	スペイン語の全科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、臨時試験の成績から評価し、「スペイン語オラルIVA」の評価と合せて総合成績を出す。																																																																		
学生へのメッセージ	辞書をつねに携行すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。語彙をどんどん豊かにする努力を重ねましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	.																																																																		

科目名	スペイン語オラルIVB	科目名(英文)	Spanish Conversation IVB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	QR2
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	マツダイラ キーメル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	1年次に習得したスペイン語の基礎とオラルで積み上げてきた会話表現力をもとに、いっそう複雑な内容をできるだけ正確に話したり理解したりできるようにする。前期と同じ教科書の後半をもとにして、この段階ではより長い文章や文学作品、報道文などを読解し、自分なりの意見を述べる機会を多く設ける。																																																																		
到達目標																																																																			
授業方法と留意点	月曜日の「オラルIVA」とリレー形式で進める。必ず両方を受講すること。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定3級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>前期の学習内容の復習</td> <td>夏休みについて話す</td> <td>前期に学習した文法事項や表現を見直す。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Nuevo VenlのUnidad 8</td> <td>直説法現在と現在進行形の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Nuevo VenlのUnidad 8</td> <td>娯楽や趣味について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Nuevo VenlのUnidad 9</td> <td>目的格人称代名詞の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Nuevo VenlのUnidad 9</td> <td>週末の予定について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Nuevo VenlのUnidad 10</td> <td>完了時制の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Nuevo VenlのUnidad 10</td> <td>休暇の過ごし方について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Nuevo VenlのUnidad 11</td> <td>様々な過去時制の区別</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>スピーチコンテストの準備</td> <td>スピーチ原稿の作成、読み上げなど</td> <td>スピーチコンテストの原稿を仕上げる。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>スピーチコンテストに向けて</td> <td>スピーチの暗記、表現</td> <td>スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Nuevo VenlのUnidad 11</td> <td>ウィークデーの活動について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Nuevo VenlのUnidad 12</td> <td>指示詞と数詞の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Nuevo VenlのUnidad 12</td> <td>旅行および交通機関について鼻うす</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Nuevo VenlのUnidad 12までの総復習</td> <td>これまでの授業で習った文法事項や表現の復習</td> <td>教科書や配布したプリントを見直す。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>学習内容の確認</td> <td>理解度確認テスト</td> <td>事前に文法事項を総確認し、重要表現及び語彙を覚えておく。</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	前期の学習内容の復習	夏休みについて話す	前期に学習した文法事項や表現を見直す。	2	Nuevo VenlのUnidad 8	直説法現在と現在進行形の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	3	Nuevo VenlのUnidad 8	娯楽や趣味について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	4	Nuevo VenlのUnidad 9	目的格人称代名詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	5	Nuevo VenlのUnidad 9	週末の予定について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	6	Nuevo VenlのUnidad 10	完了時制の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	7	Nuevo VenlのUnidad 10	休暇の過ごし方について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	8	Nuevo VenlのUnidad 11	様々な過去時制の区別	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	9	スピーチコンテストの準備	スピーチ原稿の作成、読み上げなど	スピーチコンテストの原稿を仕上げる。	10	スピーチコンテストに向けて	スピーチの暗記、表現	スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。	11	Nuevo VenlのUnidad 11	ウィークデーの活動について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	12	Nuevo VenlのUnidad 12	指示詞と数詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	13	Nuevo VenlのUnidad 12	旅行および交通機関について鼻うす	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	14	Nuevo VenlのUnidad 12までの総復習	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。	15	学習内容の確認	理解度確認テスト	事前に文法事項を総確認し、重要表現及び語彙を覚えておく。
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の学習内容の復習	夏休みについて話す	前期に学習した文法事項や表現を見直す。																																																																
2	Nuevo VenlのUnidad 8	直説法現在と現在進行形の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
3	Nuevo VenlのUnidad 8	娯楽や趣味について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
4	Nuevo VenlのUnidad 9	目的格人称代名詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
5	Nuevo VenlのUnidad 9	週末の予定について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
6	Nuevo VenlのUnidad 10	完了時制の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
7	Nuevo VenlのUnidad 10	休暇の過ごし方について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
8	Nuevo VenlのUnidad 11	様々な過去時制の区別	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
9	スピーチコンテストの準備	スピーチ原稿の作成、読み上げなど	スピーチコンテストの原稿を仕上げる。																																																																
10	スピーチコンテストに向けて	スピーチの暗記、表現	スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。																																																																
11	Nuevo VenlのUnidad 11	ウィークデーの活動について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
12	Nuevo VenlのUnidad 12	指示詞と数詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
13	Nuevo VenlのUnidad 12	旅行および交通機関について鼻うす	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
14	Nuevo VenlのUnidad 12までの総復習	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。																																																																
15	学習内容の確認	理解度確認テスト	事前に文法事項を総確認し、重要表現及び語彙を覚えておく。																																																																
関連科目	スペイン語の全科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、臨時試験の成績から評価し、「スペイン語オラルIVA」の評価と合わせて総合成績を出す。																																																																		
学生へのメッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。語彙をどんどん豊かにする努力を重ねましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	.																																																																		

科目名	スペイン語オラルIVB	科目名(英文)	Spanish Conversation IVB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	QR3
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	サウロ・セガミダニエル・ダニエル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	後期はプリント等を併用して、より長い文章や文学作品、報道文などを読解し、自分なりの意見を述べる機会を多く設ける。																																																																		
到達目標	1年次に習得したスペイン語の基礎とオラルで積み上げてきた会話表現力をもとに、いっそう複雑な内容をできるだけ正確に話したり理解したりできるようにする。																																																																		
授業方法と留意点	月曜日の「オラルIVA」とリレー形式を進める。必ず両方を受講すること。 なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進捗より早まったり、遅くなることもありうる。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定3級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>前期の学習内容の復習</td> <td>夏休みについて話す</td> <td>前期に学習した文法事項や表現を見直す</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad8</td> <td>直説法現在と現在進行形の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad8</td> <td>娯楽や趣味について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad9</td> <td>目的格人称代名詞の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad9</td> <td>週末の予定について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad10</td> <td>完了時制の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad10</td> <td>休暇の過ごし方について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad11</td> <td>様々な過去時制の区別</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>スピーチコンテストの準備</td> <td>スピーチ原稿の作成、読み上げなど</td> <td>スピーチコンテストの原稿を仕上げる。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>スピーチコンテストに向けて</td> <td>スピーチの暗記、表現</td> <td>スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad11</td> <td>ウィークデーの活動について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad12</td> <td>指示詞と数詞の復習</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Nuevo Ven1のUnidad12</td> <td>旅行および交通機関について話す</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>Unidad12までの総復習</td> <td>これまでの授業で習った文法事項や表現の復習</td> <td>教科書や配布したプリントを見直す。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>学習内容の確認</td> <td>理解度確認テスト</td> <td>教科書を事前に学習し、講義後は復習する。</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	前期の学習内容の復習	夏休みについて話す	前期に学習した文法事項や表現を見直す	2	Nuevo Ven1のUnidad8	直説法現在と現在進行形の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	3	Nuevo Ven1のUnidad8	娯楽や趣味について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	4	Nuevo Ven1のUnidad9	目的格人称代名詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	5	Nuevo Ven1のUnidad9	週末の予定について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	6	Nuevo Ven1のUnidad10	完了時制の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	7	Nuevo Ven1のUnidad10	休暇の過ごし方について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	8	Nuevo Ven1のUnidad11	様々な過去時制の区別	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	9	スピーチコンテストの準備	スピーチ原稿の作成、読み上げなど	スピーチコンテストの原稿を仕上げる。	10	スピーチコンテストに向けて	スピーチの暗記、表現	スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。	11	Nuevo Ven1のUnidad11	ウィークデーの活動について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	12	Nuevo Ven1のUnidad12	指示詞と数詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	13	Nuevo Ven1のUnidad12	旅行および交通機関について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。	14	Unidad12までの総復習	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。	15	学習内容の確認	理解度確認テスト	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の学習内容の復習	夏休みについて話す	前期に学習した文法事項や表現を見直す																																																																
2	Nuevo Ven1のUnidad8	直説法現在と現在進行形の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
3	Nuevo Ven1のUnidad8	娯楽や趣味について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
4	Nuevo Ven1のUnidad9	目的格人称代名詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
5	Nuevo Ven1のUnidad9	週末の予定について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
6	Nuevo Ven1のUnidad10	完了時制の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
7	Nuevo Ven1のUnidad10	休暇の過ごし方について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
8	Nuevo Ven1のUnidad11	様々な過去時制の区別	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
9	スピーチコンテストの準備	スピーチ原稿の作成、読み上げなど	スピーチコンテストの原稿を仕上げる。																																																																
10	スピーチコンテストに向けて	スピーチの暗記、表現	スピーチコンテストの原稿を暗記し、正しく発音する。																																																																
11	Nuevo Ven1のUnidad11	ウィークデーの活動について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
12	Nuevo Ven1のUnidad12	指示詞と数詞の復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
13	Nuevo Ven1のUnidad12	旅行および交通機関について話す	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
14	Unidad12までの総復習	これまでの授業で習った文法事項や表現の復習	教科書や配布したプリントを見直す。																																																																
15	学習内容の確認	理解度確認テスト	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。																																																																
関連科目	スペイン語の全科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業への参加状況、課題や小テスト、臨時試験の成績から評価し、「スペイン語オラルIVA」の評価と合わせて総合成績を出す。																																																																		
学生へのメッセージ	辞書をつねに携行すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。語彙をどんどん豊かにする努力を重ねましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	.																																																																		

科目名	スペイン語オラルV	科目名(英文)	Spanish Conversation V
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	宮多良 ディスネル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	教員によるスペイン語での説明を理解し、自分の意見を述べる力ができる力を育てる。多様なスペイン語の実態を知り、世界に広がるスペイン語圏の言語状況についても学ぶ。接続法を使いこなせるようになることをめざす。
到達目標	2年次までに習得したスペイン語力を基礎として、意思疎通を図ることに慣れるだけでなく、多様な今日的テーマについての基本的知識をスペイン語で養う。
授業方法と留意点	積極的な授業参加、発言を重視する。
科目学習の効果(資格)	スペイン語で詩を暗誦したり、スピーチを行ったりできるようになる。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	「オラル IV」で学んだことの復習及び習熟度の確認(1)	テキスト nuevo ven 2 を継続使用し、理解度に合わせて最初の数回で巻末の第15課までを終える。 Le/te/les/os importa + que + subjuntivo. Para que + subjuntivo 他、接続法の用法。Oraciones condicionales.	オラル IV で nuevo ven 2 の学習した箇所までを復習しておく
2	復習(2)とテキスト第13課	・ofrecer ayuda. ・Hacer planes para el fin de semana.	指示されたテーマについての作文
3	nuevo ven 第13課	・Plantear oposicion u obstaculos para hacer algo.	作文
4	nuevo ven 第14課	・Participar en un debate. ・Argumentar y estructurar el discurso.	作文
5	nuevo ven 第14課	・Aprender tratamientos de cortesia. ・Plantear dudas u obstaculos para hacer algo.	作文
6	nuevo ven 第15課	・Relatar acciones pasadas. ・Describir acciones en el pasado.	作文
7	nuevo ven 第15課 ; スピーチの添削と暗唱練習	・ Relatar acciones acabadas anteriores a otra accion pasada.	作文
8	El espanol y las lenguas del mundo. ; スピーチの添削と暗唱練習	Las lenguas del mundo y la diversidad linguistica. Las grandes lenguas internacionales.	世界の言語地図を見ておく。
9	Geografia del mundo hispanico.	Panorama de la comunidad hispanica.	事前に配布する資料をよく読んでおくこと。
10	Geografia del mundo hispanico.	El Caribe.	事前に配布する資料をよく読んでおくこと。
11	Geografia del mundo hispanico.	Mexico y Centroamerica.	事前に配布する資料をよく読んでおくこと。
12	Geografia del mundo hispanico.	America del Sur	事前に配布する資料をよく読んでおくこと。
13	Geografia del mundo hispanico.	El espanol en Espana.	事前に配布する資料をよく読んでおくこと。
14	Geografia del mundo hispanico. Repaso.	Migraciones y lenguas extranjerias en Espana e Hispanoamerica. El Spanglish de los EE.UU. Resumen del semestre.	発表の準備
15	Presentacion individual	個人またはグループ発表	_____

関連科目: スペイン語通訳ガイド、メディアのスペイン語、映画のスペイン語ほか、すべてのスペイン語科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準)	授業における参加状況、課題や理解度確認テストの成績から総合的に評価する。
学生へのメッセージ	資料を必ず読みこなし、基本的語彙を調べた上で授業に臨むこと。
担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)

科目名	スペイン語オラルVI	科目名(英文)	Spanish Conversation VI
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	宮多良 ディスネル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語圏以外で用いられているスペイン語について知り、外国語としてのスペイン語教育の現状、世界におけるスペイン語の現状と展望について理解を深める。接続法の理解と正確な運用をも目標とする。
到達目標	2年次までに習得したスペイン語力を基礎として、意思疎通はもちろんのこと、多様な視点から基本的知識を養い、議論ができる会話能力を身につけることをめざす。
授業方法と留意点	積極的な授業参加、発言を期待する。
科目学習の効果(資格)	スペイン語での詩の暗誦やスピーチを滑らかに行えること。 スペイン語検定3級(とりわけ留学帰国者)

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	El espanol fuera del mundo hispanico (1)	El espanol en Brasil	公用語圏以外でスペイン語が使用される地域について調べておくこと
	2	El espanol fuera del mundo hispanico (2)	El espanol en la historia de los Estados Unidos	事前に配布する資料をよく読んでおくこと
	3	El espanol fuera del mundo hispanico (3)	Los hispanos de los Estados Unidos	事前に配布する資料をよく読んでおくこと
	4	El espanol fuera del mundo hispanico (4)	La convivencia del espanol y el ingles en los Estados Unidos	事前に配布する資料をよく読んでおくこと
	5	El espanol fuera del mundo hispanico (5)	La lengua de la diaspora	事前に配布する資料をよく読んでおくこと
	6	El espanol fuera del mundo hispanico (6)	Hablantes de espanol en la Union Europea	事前に配布する資料をよく読んでおくこと
	7	Geografia de la ensenanza del espanol	El espanol como lengua extranjera	事前に配布する資料をよく読んでおくこと
	8	Geografia de la ensenanza del espanol	El Hispanismo en el mundo	事前に配布する資料をよく読んでおくこと
	9	Geoeconomia del espanol	Fundamentos demograficos del espanol	事前に配布する資料をよく読んでおくこと
	10	Geoeconomia del espanol	Tendencias del espanol	事前に配布する資料をよく読んでおくこと
	11	Geoeconomia del espanol	La economia del espanol	事前に配布する資料をよく読んでおくこと
	12	Geoeconomia del espanol	El espanol y la sociedad del conocimiento	事前に配布する資料をよく読んでおくこと
	13	Politicicas linguisticas	Las lenguas indigenas de America Latina y la educacion intercultural	事前に配布する資料をよく読んでおくこと
	14	Politicicas linguisticas	El catalan, el gallego y el vascuense (euskera) en relacion con el castellano	発表の準備
	15	Repaso y presentacion individual	発表と批評、理解度確認テスト	—————

関連科目: スペイン語通訳ガイド、メディアのスペイン語、映画のスペイン語ほか、すべてのスペイン語科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業における参加状況・発表、課題や理解度確認テストの成績から総合的に評価する。
学生へのメッセージ	資料を必ず読みこなし、基本的語彙を調べた上で授業に臨むこと。
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	スペイン語オラルVII	科目名(英文)	Spanish Conversation VII
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	オラシオ ゴメス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次までに習得したスペイン語力をもとに、多様な視点からスペイン語圏についての基本的知識を養い、意見交換のできるコミュニケーション力を培うことをめざす。スペインとイスパノアメリカ双方の歴史、文化、政治を主なテーマとする。
到達目標	スペイン語で意思疎通を抵抗なく図れるようになるとともに、スペイン語圏についての関心を高く持ち、日本の歴史や文化についてもスペイン語で説明できるようになる。
授業方法と留意点	理解度に合わせて進度や内容を調節するが、スペインとイスパノアメリカとの関係を歴史的に眺めることから始める。広くスペイン語圏の政治社会、文化、映画、音楽といったテーマを取り上げる。
科目学習の効果(資格)	スペイン語での詩の暗誦やスピーチを滑らかに行えること。 スペイン語検定3級(とりわけ留学帰国者)

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	Espa?a conquistada y colonizada por Roma y el Islam	古代・中世スペインの歴史	スペイン史の古代と中世の部分を日本語で読んでおく
2	Sefarad y Al Andalus	イスラム文化の影響	事前に配布された資料の熟読
3	Am?rica en 1492	「抵抗の500年」の始まりと先住民文明	事前に配布された資料の熟読
4	Espa?a conquistadora	征服の時代	事前に配布された資料の熟読
5	Afroindioiberoam?rica	メスティサヘ	事前に配布された資料の熟読
6	El ma?z y el trigo	主食穀物の交流	事前に配布された資料の熟読
7	La papa y el cacao	アメリカからせ階に伝播した作物	事前に配布された資料の熟読
8	Bernardino de Sahag?n y la evangelizaci?n de Am?rica	魂の征服	事前に配布された資料の熟読
9	Geograf?a econ?mica: miner?a y petr?leo	アメリカにおける資源開発	事前に配布された資料の熟読
10	Bol?var y la independencia de Am?rica	ラテンアメリカ諸国の独立	事前に配布された資料の熟読
11	El largo siglo barroco. 1898. 1936. Otras separaciones de Espa?a	スペインの近現代史	事前に配布された資料の熟読
12	?Am?rica para los USamericanos?	米州における米国の覇権	事前に配布された資料の熟読
13	Nuevos gobiernos latinoamericanos	ラテンアメリカの政治改革	事前に配布された資料の熟読
14	Nuevos gobiernos latinoamericanos	ラテンアメリカの政治改革	発表の準備
15	Repaso	総復習と個人発表、理解度確認テスト	総復習

関連科目	スペイン語通訳ガイド(留学期間中に3年生で受講できなかった者は4年生の前・後期に受講することを推奨します)、メディアのスペイン語II、現代ラテンアメリカ論
------	---

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	授業における参加状況・発表、課題提出、理解度確認テストをもとに総合的に評価する。
----------	--

学生へのメッセージ	教材は事前に配布します。資料に必ず目を通し、基本的語彙を調べた上で授業に出席すること。扱うテーマには履修者の関心も取り入れます。
-----------	--

担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)
------------	---------------

科目名	スペイン語オラルⅧ	科目名(英文)	Spanish Conversation VIII
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	オラシオ ゴメス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	4年次前期までに習得したスペイン語力をもとに、多様な視点からスペイン語圏についての基本的知識を養い、意見交換のできるコミュニケーション力を培うことをめざす。主にイスマノアメリカ各国の現状を題材とする。
到達目標	スペイン語で意思疎通を抵抗なく図れるようになるとともに、スペイン語圏についての関心を高く持ち、日本の歴史や文化についてもスペイン語で発信できるようになる。
授業方法と留意点	スペイン語圏のもつ現代的課題と可能性について、授業を通じて理解を深めてもらいたい。いかなる質問も大歓迎です。
科目学習の効果(資格)	スペイン語による詩の暗誦やスピーチを滑らかに行えること。 スペイン語検定3級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Caribe: el Mediterráneo americano	カリブ世界	カリブ海地域について日本語で読んでおく
	2	Cuba: ¿sobrevivir? el castrismo?	キューバ・カストロ政治の行方	事前に配布された資料の熟読
	3	Los países de NAFTA. El español en los EE.UU. México y migración	北米自由貿易協定	事前に配布された資料の熟読
	4	Los países de CAFTA	中米自由貿易協定	事前に配布された資料の熟読
	5	Guatemala: larga guerra sucia contra el pueblo maya	グアテマラにおけるマヤ先住民族の虐殺	事前に配布された資料の熟読
	6	La Bolivia de Evo Morales	モラレス政権下のボリビア	事前に配布された資料の熟読
	7	Países del Mercosur	南米南部共同市場諸国	事前に配布された資料の熟読
	8	La Venezuela y el chavismo	チャベス政権下のベネズエラ	事前に配布された資料の熟読
	9	Primeras mujeres presidentas en América Latina	ラテンアメリカ初の女性大統領	事前に配布された資料の熟読
	10	Colombia luego de la guerra contra el narcotráfico	麻薬戦争後のコロンビア	事前に配布された資料の熟読
	11	La Argentina peronista	アルゼンチン政治とペロン党	事前に配布された資料の熟読
	12	La Raza Cósmica: el mestizaje de América	「宇宙的人種」、アメリカのメスティサヘ	事前に配布された資料の熟読
	13	España y América Latina	スペインとラテンアメリカの関係	事前に配布された資料の熟読
	14	España y la Unión Europea	欧州連合の中のスペイン	発表の準備
	15	Repaso	総復習と個人発表または達成度確認テスト	総復習

関連科目: スペイン語通訳ガイド(留学期間中に3年生で受講できなかった者は今学期に積極的に受講することを推奨します。日本文化についての知識を深め、それをスペイン語で説明できることをめざしてください)、メディアのスペイン語Ⅲ、現代ラテンアメリカ論

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業における参加状況、課題への取組み、達成度確認テストから総合的に評価する。
学生へのメッセージ	教材を事前に配布します。資料に必ず目を通し、基本的語彙を調べた上で授業に臨むこと。扱うテーマには履修者の関心も取り入れます。
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	スペイン語学	科目名(英文)	Spanish Language Studies
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	三浦 知佐子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	言語学とは、言語を科学的・理論的に分析することを目指す学問である。この授業ではスペイン語の言語学を概観した後、これまでに学習したスペイン語の要素をいくつか取り上げ、各項目のより深い理解を目指す。			
到達目標	スペイン語の構造を理解する。 曖昧だった文法の知識を確かなものにする。			
授業方法と留意点	毎回プリントを配布する。 基本的には講義形式だが、随時演習も取り入れる。不定期でまとめテストを行う。課題を課すこともある。 また、受講生の関心のあるトピックをできるだけ取り上げたいので積極的な質問を歓迎する。テーマが変わる場合があります。			
科目学習の効果(資格)	スペイン語の重要な要素を詳細に学習しなおすことで、これまで曖昧だった知識を確かなもののできたり疑問点が解消されたりすることが期待できる。			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	ガイダンス スペイン語学とは スペイン語の音韻論(音声学と音韻論)	この授業の進め方、注意点 スペイン語学について導入 スペイン語の音声学と音韻論について概説	授業の内容を理解しておくこと
	2	スペイン語の音韻論	音素と異音、個々の発音	授業の内容を理解しておくこと 発音練習
	3	スペイン語の音韻論	音節、アクセント	授業の内容を理解しておくこと 発音練習
	4	スペイン語の音韻論	音のつながり	授業の内容を理解しておくこと 発音練習
	5	スペイン語の形態論	形態素、語形成	授業の内容を理解しておくこと
	6	スペイン語の形態論	接頭辞、接尾辞、派生、屈折	授業の内容を理解しておくこと
	7	スペイン語の形態論	複合語	授業の内容を理解しておくこと
	8	スペイン語の統語論	文の構成要素、単文と複文	授業の内容を理解しておくこと
	9	スペイン語の統語論	品詞	授業の内容を理解しておくこと
	10	スペイン語の統語論	これまでのまとめ	授業の内容を理解しておくこと
	11	冠詞について	スペイン語の定・不定冠詞について学習し、より深い理解を目指す	授業の内容を理解しておくこと
	12	文型について	スペイン語の文型について学習し、より深い理解を目指す	授業の内容を理解しておくこと
	13	時制の一致について	スペイン語の単純時制、複合時制などを復習し、時制の一致についてより深い理解を目指す	授業の内容を理解しておくこと
	14	語順について	スペイン語の語順について、より深い理解を目指す	授業の内容を理解しておくこと
	15	まとめ	これまでの内容を確認する	授業の内容を理解しておくこと
関連科目	スペイン語に関する科目すべて			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	授業内の積極性や、課題、まとめテストの結果から、総合的に評価します。			
学生へのメッセージ	言語学という観点からスペイン語を見ることで、これまでのスペイン語の授業で学習してきたのとはまた違ったスペイン語という言語が見えてきます。文法事項ももう一度きちんと理論的に学習し、スペイン語のスキルアップにつなげましょう。			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考				

科目名	スペイン語基礎A	科目名(英文)	Basic Spanish A
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	北條 ゆかり
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「スペイン語基礎B、C」と同じ教科書を使い、リレー式でスペイン語の論理(文法)を学ぶ。そのため、必ず「基礎B、C」と合わせて受講すること。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も大きな要素として欠かせないので、しばしば小テストを課す。 																																																																		
到達目標	動詞のさまざまな時制(点過去、線過去、完了形、未来形、過去未来形)の活用形と用法 比較表現、不定詞・現在分詞・過去分詞、前置詞と副詞、関係詞をマスターする。																																																																		
授業方法と留意点	授業では文法説明および例文解説の後、練習問題を通して理解の確認をする。宿題として出された課題は必ず自力でチャレンジしてみることに。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>前期の復習</td><td>前期に学習した事項の復習</td><td>前期学習内容の総復習</td></tr> <tr><td>2</td><td>第9課</td><td>点過去の活用</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>3</td><td>第9課</td><td>点過去の使い方</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>4</td><td>第9課</td><td>点過去と線過去</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>5</td><td>第10課</td><td>現在分詞と過去分詞</td><td>それぞれの形・用法</td></tr> <tr><td>6</td><td>第10課</td><td>受身と現在完了形</td><td>動詞活用の総復習</td></tr> <tr><td>7</td><td>ボキャブラリ・コンテスト</td><td>基本単語</td><td>語彙の総復習</td></tr> <tr><td>8</td><td>第11課</td><td>比較表現・不定詞</td><td>基本的な比較表現・不定詞の使い方</td></tr> <tr><td>9</td><td>第12課</td><td>未来形と過去未来形</td><td>活用</td></tr> <tr><td>10</td><td>第12課</td><td>過去未来形を中心に</td><td>用法</td></tr> <tr><td>11</td><td>復習</td><td>いろいろな時制の復習</td><td>使い分け</td></tr> <tr><td>12</td><td>第13課</td><td>現在完了・過去完了・未来完了</td><td>単純時制と複合時制</td></tr> <tr><td>13</td><td>第14課</td><td>関係代名詞</td><td>英語の関係詞</td></tr> <tr><td>14</td><td>第15課</td><td>副詞・前置詞・接続詞</td><td>品詞の意識づけ</td></tr> <tr><td>15</td><td>復習</td><td>復習プリント・確認テスト</td><td>総復習</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	前期の復習	前期に学習した事項の復習	前期学習内容の総復習	2	第9課	点過去の活用	形と用法	3	第9課	点過去の使い方	形と用法	4	第9課	点過去と線過去	形と用法	5	第10課	現在分詞と過去分詞	それぞれの形・用法	6	第10課	受身と現在完了形	動詞活用の総復習	7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語	語彙の総復習	8	第11課	比較表現・不定詞	基本的な比較表現・不定詞の使い方	9	第12課	未来形と過去未来形	活用	10	第12課	過去未来形を中心に	用法	11	復習	いろいろな時制の復習	使い分け	12	第13課	現在完了・過去完了・未来完了	単純時制と複合時制	13	第14課	関係代名詞	英語の関係詞	14	第15課	副詞・前置詞・接続詞	品詞の意識づけ	15	復習	復習プリント・確認テスト	総復習
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の復習	前期に学習した事項の復習	前期学習内容の総復習																																																																
2	第9課	点過去の活用	形と用法																																																																
3	第9課	点過去の使い方	形と用法																																																																
4	第9課	点過去と線過去	形と用法																																																																
5	第10課	現在分詞と過去分詞	それぞれの形・用法																																																																
6	第10課	受身と現在完了形	動詞活用の総復習																																																																
7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語	語彙の総復習																																																																
8	第11課	比較表現・不定詞	基本的な比較表現・不定詞の使い方																																																																
9	第12課	未来形と過去未来形	活用																																																																
10	第12課	過去未来形を中心に	用法																																																																
11	復習	いろいろな時制の復習	使い分け																																																																
12	第13課	現在完了・過去完了・未来完了	単純時制と複合時制																																																																
13	第14課	関係代名詞	英語の関係詞																																																																
14	第15課	副詞・前置詞・接続詞	品詞の意識づけ																																																																
15	復習	復習プリント・確認テスト	総復習																																																																
関連科目	スペイン語基礎B、C 総合スペイン語Ⅱ/スペイン語応用Ⅱ																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎</td> <td></td> <td>摂南大学</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	<p>スペイン語基礎B、Cと合わせて評価する。 2週間に1度ほどの割合で、範囲を限定して理解度確認テストをする。 最終週に前既習範囲を対象とする到達度確認テストをする。 平常点と合わせて評価する。その比重については初回授業時に説明する。 毎回、単語テストを行う。また、ボキャブラリ・コンテストを実施する(時期、未定)</p>																																																																		
学生へのメッセージ	最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまづき転びながらマスターしていきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館5階(北條研究室)																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。																																																																		

科目名	スペイン語基礎A	科目名(英文)	Basic Spanish A
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	森川 香織
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「スペイン語基礎B、C」と同じ教科書を使い、リレー式でスペイン語の論理(文法)を学ぶ。そのため、必ず「基礎B、C」と合わせて受講すること。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も大きな要素として欠かせないので、しばしば小テストを課す。 																																																																		
到達目標	時制を中心に、直説法の用法を正確に理解する。過去や未来の出来事をスペイン語で表現できるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	授業では文法説明および例文解説の後、練習問題を通して理解の確認をする。宿題として出された課題は必ず自力でチャレンジしてみる。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>前期の復習</td><td>前期に学習した事項の復習</td><td>—————</td></tr> <tr><td>2</td><td>第9課</td><td>点過去の活用</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>3</td><td>第9課</td><td>点過去の使い方</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>4</td><td>第9課</td><td>点過去と線過去</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>5</td><td>第10課</td><td>現在分詞と過去分詞</td><td>それぞれの形・用法</td></tr> <tr><td>6</td><td>第10課</td><td>受身と現在完了形</td><td>—————</td></tr> <tr><td>7</td><td>復習</td><td>復習プリント</td><td>—————</td></tr> <tr><td>8</td><td>第11課</td><td>比較表現・不定詞</td><td>基本的な比較表現・不定詞の使い方</td></tr> <tr><td>9</td><td>第12課</td><td>未来形と過去未来形</td><td>活用</td></tr> <tr><td>10</td><td>第12課</td><td>過去未来形を中心に</td><td>用法</td></tr> <tr><td>11</td><td>復習</td><td>いろいろな時制の復習</td><td>使い分け</td></tr> <tr><td>12</td><td>第13課</td><td>現在完了・過去完了・未来完了</td><td>単純時制と複合時制</td></tr> <tr><td>13</td><td>第14課</td><td>関係代名詞</td><td>英語の関係詞</td></tr> <tr><td>14</td><td>第15課</td><td>副詞・前置詞・接続詞</td><td>品詞の意識づけ</td></tr> <tr><td>15</td><td>復習</td><td>復習プリント・確認テスト</td><td>—————</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	前期の復習	前期に学習した事項の復習	—————	2	第9課	点過去の活用	形と用法	3	第9課	点過去の使い方	形と用法	4	第9課	点過去と線過去	形と用法	5	第10課	現在分詞と過去分詞	それぞれの形・用法	6	第10課	受身と現在完了形	—————	7	復習	復習プリント	—————	8	第11課	比較表現・不定詞	基本的な比較表現・不定詞の使い方	9	第12課	未来形と過去未来形	活用	10	第12課	過去未来形を中心に	用法	11	復習	いろいろな時制の復習	使い分け	12	第13課	現在完了・過去完了・未来完了	単純時制と複合時制	13	第14課	関係代名詞	英語の関係詞	14	第15課	副詞・前置詞・接続詞	品詞の意識づけ	15	復習	復習プリント・確認テスト	—————
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の復習	前期に学習した事項の復習	—————																																																																
2	第9課	点過去の活用	形と用法																																																																
3	第9課	点過去の使い方	形と用法																																																																
4	第9課	点過去と線過去	形と用法																																																																
5	第10課	現在分詞と過去分詞	それぞれの形・用法																																																																
6	第10課	受身と現在完了形	—————																																																																
7	復習	復習プリント	—————																																																																
8	第11課	比較表現・不定詞	基本的な比較表現・不定詞の使い方																																																																
9	第12課	未来形と過去未来形	活用																																																																
10	第12課	過去未来形を中心に	用法																																																																
11	復習	いろいろな時制の復習	使い分け																																																																
12	第13課	現在完了・過去完了・未来完了	単純時制と複合時制																																																																
13	第14課	関係代名詞	英語の関係詞																																																																
14	第15課	副詞・前置詞・接続詞	品詞の意識づけ																																																																
15	復習	復習プリント・確認テスト	—————																																																																
関連科目	スペイン語基礎A、B																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>西和中辞典</td><td>高垣敏博他</td><td>小学館</td></tr> <tr><td>2</td><td>現代スペイン語辞典</td><td>宮城昇他</td><td>白水社</td></tr> <tr><td>3</td><td>わかるスペイン語文法</td><td>西川喬</td><td>同学社</td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	西和中辞典	高垣敏博他	小学館	2	現代スペイン語辞典	宮城昇他	白水社	3	わかるスペイン語文法	西川喬	同学社																																																
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	西和中辞典	高垣敏博他	小学館																																																																
2	現代スペイン語辞典	宮城昇他	白水社																																																																
3	わかるスペイン語文法	西川喬	同学社																																																																
評価方法(基準)	スペイン語基礎B、Cと合わせて評価する。 2週間に1度ほどの割合で、範囲を限定して理解度確認テストをする。 最終週に前既習範囲を対象とする到達度確認テストをする。 平常点と合わせて評価する。その比重については初回授業時に説明する。																																																																		
学生へのメッセージ	最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまずき転びながらマスターしていきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。																																																																		

科目名	スペイン語基礎B	科目名(英文)	Basic Spanish B
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	篠原 愛人
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「スペイン語基礎A、C」と同じ教科書を使い、リレー式でスペイン語の論理(文法)を学ぶ。そのため、必ず「基礎A、C」と合わせて受講すること。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も大きな要素として欠かせないので、しばしば小テストを課す。 																																																																		
到達目標	動詞のさまざまな時制(点過去、線過去、完了形、未来形、過去未来形)の活用形と用法 比較表現、不定詞・現在分詞・過去分詞、前置詞と副詞、関係詞をマスターする。																																																																		
授業方法と留意点	授業では文法説明および例文解説の後、練習問題を通して理解の確認をする。宿題として出された課題は必ず自力でチャレンジしてみる事。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>前期の復習</td><td>前期に学習した事項の復習</td><td>—————</td></tr> <tr><td>2</td><td>第9課</td><td>点過去の活用</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>3</td><td>第9課</td><td>点過去の使い方</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>4</td><td>第9課</td><td>点過去と線過去</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>5</td><td>第10課</td><td>現在分詞と過去分詞</td><td>それぞれの形・用法</td></tr> <tr><td>6</td><td>第10課</td><td>受身と現在完了形</td><td>—————</td></tr> <tr><td>7</td><td>ボキャブラリ・コンテスト</td><td>基本単語</td><td>—————</td></tr> <tr><td>8</td><td>第11課</td><td>比較表現・不定詞</td><td>基本的な比較表現・不定詞の使い方</td></tr> <tr><td>9</td><td>第12課</td><td>未来形と過去未来形</td><td>活用</td></tr> <tr><td>10</td><td>第12課</td><td>過去未来形を中心に</td><td>用法</td></tr> <tr><td>11</td><td>復習</td><td>いろいろな時制の復習</td><td>使い分け</td></tr> <tr><td>12</td><td>第13課</td><td>現在完了・過去完了・未来完了</td><td>単純時制と複合時制</td></tr> <tr><td>13</td><td>第14課</td><td>関係代名詞</td><td>英語の関係詞</td></tr> <tr><td>14</td><td>第15課</td><td>副詞・前置詞・接続詞</td><td>品詞の意識づけ</td></tr> <tr><td>15</td><td>復習</td><td>復習プリント・確認テスト</td><td>—————</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	前期の復習	前期に学習した事項の復習	—————	2	第9課	点過去の活用	形と用法	3	第9課	点過去の使い方	形と用法	4	第9課	点過去と線過去	形と用法	5	第10課	現在分詞と過去分詞	それぞれの形・用法	6	第10課	受身と現在完了形	—————	7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語	—————	8	第11課	比較表現・不定詞	基本的な比較表現・不定詞の使い方	9	第12課	未来形と過去未来形	活用	10	第12課	過去未来形を中心に	用法	11	復習	いろいろな時制の復習	使い分け	12	第13課	現在完了・過去完了・未来完了	単純時制と複合時制	13	第14課	関係代名詞	英語の関係詞	14	第15課	副詞・前置詞・接続詞	品詞の意識づけ	15	復習	復習プリント・確認テスト	—————
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の復習	前期に学習した事項の復習	—————																																																																
2	第9課	点過去の活用	形と用法																																																																
3	第9課	点過去の使い方	形と用法																																																																
4	第9課	点過去と線過去	形と用法																																																																
5	第10課	現在分詞と過去分詞	それぞれの形・用法																																																																
6	第10課	受身と現在完了形	—————																																																																
7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語	—————																																																																
8	第11課	比較表現・不定詞	基本的な比較表現・不定詞の使い方																																																																
9	第12課	未来形と過去未来形	活用																																																																
10	第12課	過去未来形を中心に	用法																																																																
11	復習	いろいろな時制の復習	使い分け																																																																
12	第13課	現在完了・過去完了・未来完了	単純時制と複合時制																																																																
13	第14課	関係代名詞	英語の関係詞																																																																
14	第15課	副詞・前置詞・接続詞	品詞の意識づけ																																																																
15	復習	復習プリント・確認テスト	—————																																																																
関連科目	スペイン語基礎A、C																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎</td> <td></td> <td>摂南大学</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	スペイン語基礎A、Cと合わせて評価する。 2週間に1度ほどの割合で、範囲を限定して理解度確認テストをする。 最終週に前既習範囲を対象とする到達度確認テストをする。 平常点と合わせて評価する。その比重については初回授業時に説明する。 毎回、単語テストを行う。また、ボキャブラリ・コンテストを実施する(時期、未定)																																																																		
学生へのメッセージ	最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまづき転びながらマスターしていきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館5階(篠原研究室)																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。																																																																		

科目名	スペイン語基礎B	科目名(英文)	Basic Spanish B
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	岡 あゆみ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「スペイン語基礎A、C」と同じ教科書を使い、リレー式でスペイン語の論理(文法)を学ぶ。そのため、必ず「基礎A、C」と合わせて受講すること。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も大きな要素として欠かせないので、しばしば小テストを課す。 																																																																		
到達目標	動詞のさまざまな時制(点過去、線過去、完了形、未来形、過去未来形)の活用形と用法 比較表現、不定詞・現在分詞・過去分詞、前置詞と副詞、関係詞をマスターする。																																																																		
授業方法と留意点	授業では文法説明および例文解説の後、練習問題を通して理解の確認をする。宿題として出された課題は必ず自力でチャレンジしてみる。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>前期の復習</td><td>前期に学習した事項の復習</td><td>前期学習内容の総復習</td></tr> <tr><td>2</td><td>第9課</td><td>点過去の活用</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>3</td><td>第9課</td><td>点過去の使い方</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>4</td><td>第9課</td><td>点過去と線過去</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>5</td><td>第10課</td><td>現在分詞と過去分詞</td><td>それぞれの形・用法</td></tr> <tr><td>6</td><td>第10課</td><td>受身と現在完了形</td><td>動詞活用の総復習</td></tr> <tr><td>7</td><td>ボキャブラリ・コンテスト</td><td>基本単語</td><td>語彙の総復習</td></tr> <tr><td>8</td><td>第11課</td><td>比較表現・不定詞</td><td>基本的な比較表現・不定詞の使い方</td></tr> <tr><td>9</td><td>第12課</td><td>未来形と過去未来形</td><td>活用</td></tr> <tr><td>10</td><td>第12課</td><td>過去未来形を中心に</td><td>用法</td></tr> <tr><td>11</td><td>復習</td><td>いろいろな時制の復習</td><td>使い分け</td></tr> <tr><td>12</td><td>第13課</td><td>現在完了・過去完了・未来完了</td><td>単純時制と複合時制</td></tr> <tr><td>13</td><td>第14課</td><td>関係代名詞</td><td>英語の関係詞</td></tr> <tr><td>14</td><td>第15課</td><td>副詞・前置詞・接続詞</td><td>品詞の意識づけ</td></tr> <tr><td>15</td><td>復習</td><td>復習プリント・確認テスト</td><td>総復習</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	前期の復習	前期に学習した事項の復習	前期学習内容の総復習	2	第9課	点過去の活用	形と用法	3	第9課	点過去の使い方	形と用法	4	第9課	点過去と線過去	形と用法	5	第10課	現在分詞と過去分詞	それぞれの形・用法	6	第10課	受身と現在完了形	動詞活用の総復習	7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語	語彙の総復習	8	第11課	比較表現・不定詞	基本的な比較表現・不定詞の使い方	9	第12課	未来形と過去未来形	活用	10	第12課	過去未来形を中心に	用法	11	復習	いろいろな時制の復習	使い分け	12	第13課	現在完了・過去完了・未来完了	単純時制と複合時制	13	第14課	関係代名詞	英語の関係詞	14	第15課	副詞・前置詞・接続詞	品詞の意識づけ	15	復習	復習プリント・確認テスト	総復習
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の復習	前期に学習した事項の復習	前期学習内容の総復習																																																																
2	第9課	点過去の活用	形と用法																																																																
3	第9課	点過去の使い方	形と用法																																																																
4	第9課	点過去と線過去	形と用法																																																																
5	第10課	現在分詞と過去分詞	それぞれの形・用法																																																																
6	第10課	受身と現在完了形	動詞活用の総復習																																																																
7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語	語彙の総復習																																																																
8	第11課	比較表現・不定詞	基本的な比較表現・不定詞の使い方																																																																
9	第12課	未来形と過去未来形	活用																																																																
10	第12課	過去未来形を中心に	用法																																																																
11	復習	いろいろな時制の復習	使い分け																																																																
12	第13課	現在完了・過去完了・未来完了	単純時制と複合時制																																																																
13	第14課	関係代名詞	英語の関係詞																																																																
14	第15課	副詞・前置詞・接続詞	品詞の意識づけ																																																																
15	復習	復習プリント・確認テスト	総復習																																																																
関連科目	スペイン語基礎A、C 総合スペイン語Ⅱ/スペイン語応用Ⅱ																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎</td> <td></td> <td>摂南大学</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	<p>スペイン語基礎A、Cと合わせて評価する。</p> <p>2週間に1度ほどの割合で、範囲を限定して理解度確認テストをする。</p> <p>最終週に前既習範囲を対象とする到達度確認テストをする。</p> <p>平常点と合わせて評価する。その比重については初回授業時に説明する。</p> <p>毎回、単語テストを行う。また、ボキャブラリ・コンテストを実施する(時期、未定)</p>																																																																		
学生へのメッセージ	最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまづき転びながらマスターしていきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。																																																																		

科目名	スペイン語基礎C	科目名(英文)	Basic Spanish C
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	梶原 三佳
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「スペイン語基礎A、B」と同じ教科書を使い、リレー式でスペイン語の論理(文法)を学ぶ。そのため、必ず「基礎A、B」と合わせて受講すること。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も大きな要素として欠かせないので、しばしば小テストを課す。 																																																																		
到達目標	動詞のさまざまな時制(点過去、線過去、完了形、未来形、過去未来形)の活用形と用法 比較表現、不定詞・現在分詞・過去分詞、前置詞と副詞、関係詞をマスターする。																																																																		
授業方法と留意点	授業では文法説明および例文解説の後、練習問題を通して理解の確認をする。宿題として出された課題は必ず自力でチャレンジしてみることに。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>前期の復習</td><td>前期に学習した事項の復習</td><td>前期学習内容の総復習</td></tr> <tr><td>2</td><td>第9課</td><td>点過去の活用</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>3</td><td>第9課</td><td>点過去の使い方</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>4</td><td>第9課</td><td>点過去と線過去</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>5</td><td>第10課</td><td>現在分詞と過去分詞</td><td>それぞれの形・用法</td></tr> <tr><td>6</td><td>第10課</td><td>受身と現在完了形</td><td>動詞活用の総復習</td></tr> <tr><td>7</td><td>ボキャブラリ・コンテスト</td><td>基本単語</td><td>語彙の総復習</td></tr> <tr><td>8</td><td>第11課</td><td>比較表現・不定詞</td><td>基本的な比較表現・不定詞の使い方</td></tr> <tr><td>9</td><td>第12課</td><td>未来形と過去未来形</td><td>活用</td></tr> <tr><td>10</td><td>第12課</td><td>過去未来形を中心に</td><td>用法</td></tr> <tr><td>11</td><td>復習</td><td>いろいろな時制の復習</td><td>使い分け</td></tr> <tr><td>12</td><td>第13課</td><td>現在完了・過去完了・未来完了</td><td>単純時制と複合時制</td></tr> <tr><td>13</td><td>第14課</td><td>関係代名詞</td><td>英語の関係詞</td></tr> <tr><td>14</td><td>第15課</td><td>副詞・前置詞・接続詞</td><td>品詞の意識づけ</td></tr> <tr><td>15</td><td>復習</td><td>復習プリント・確認テスト</td><td>総復習</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	前期の復習	前期に学習した事項の復習	前期学習内容の総復習	2	第9課	点過去の活用	形と用法	3	第9課	点過去の使い方	形と用法	4	第9課	点過去と線過去	形と用法	5	第10課	現在分詞と過去分詞	それぞれの形・用法	6	第10課	受身と現在完了形	動詞活用の総復習	7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語	語彙の総復習	8	第11課	比較表現・不定詞	基本的な比較表現・不定詞の使い方	9	第12課	未来形と過去未来形	活用	10	第12課	過去未来形を中心に	用法	11	復習	いろいろな時制の復習	使い分け	12	第13課	現在完了・過去完了・未来完了	単純時制と複合時制	13	第14課	関係代名詞	英語の関係詞	14	第15課	副詞・前置詞・接続詞	品詞の意識づけ	15	復習	復習プリント・確認テスト	総復習
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の復習	前期に学習した事項の復習	前期学習内容の総復習																																																																
2	第9課	点過去の活用	形と用法																																																																
3	第9課	点過去の使い方	形と用法																																																																
4	第9課	点過去と線過去	形と用法																																																																
5	第10課	現在分詞と過去分詞	それぞれの形・用法																																																																
6	第10課	受身と現在完了形	動詞活用の総復習																																																																
7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語	語彙の総復習																																																																
8	第11課	比較表現・不定詞	基本的な比較表現・不定詞の使い方																																																																
9	第12課	未来形と過去未来形	活用																																																																
10	第12課	過去未来形を中心に	用法																																																																
11	復習	いろいろな時制の復習	使い分け																																																																
12	第13課	現在完了・過去完了・未来完了	単純時制と複合時制																																																																
13	第14課	関係代名詞	英語の関係詞																																																																
14	第15課	副詞・前置詞・接続詞	品詞の意識づけ																																																																
15	復習	復習プリント・確認テスト	総復習																																																																
関連科目	スペイン語基礎A、B 総合スペイン語Ⅱ/スペイン語応用Ⅱ																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎</td> <td></td> <td>摂南大学</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	<p>スペイン語基礎A、Bと合わせて評価する。 2週間に1度ほどの割合で、範囲を限定して理解度確認テストをする。 最終週に前既習範囲を対象とする到達度確認テストをする。 平常点と合わせて評価する。その比重については初回授業時に説明する。 毎回、単語テストを行う。また、ボキャブラリ・コンテストを実施する(時期、未定)</p>																																																																		
学生へのメッセージ	最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまづき転びながらマスターしていきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師控え室)																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。																																																																		

科目名	スペイン語基礎C	科目名(英文)	Basic Spanish C
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	酒井 真梨奈
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「スペイン語基礎A、B」と同じ教科書を使い、リレー式でスペイン語の論理(文法)を学ぶ。そのため、必ず「基礎A、B」と合わせて受講すること。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も大きな要素として欠かせないので、しばしば小テストを課す。 																																																																		
到達目標	動詞のさまざまな時制(点過去、線過去、完了形、未来形、過去未来形)の活用形と用法 比較表現、不定詞・現在分詞・過去分詞、前置詞と副詞、関係詞をマスターする。																																																																		
授業方法と留意点	授業では文法説明および例文解説の後、練習問題を通して理解の確認をする。宿題として出された課題は必ず自力でチャレンジしてみることに。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>前期の復習</td><td>前期に学習した事項の復習</td><td>前期学習内容の総復習</td></tr> <tr><td>2</td><td>第9課</td><td>点過去の活用</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>3</td><td>第9課</td><td>点過去の使い方</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>4</td><td>第9課</td><td>点過去と線過去</td><td>形と用法</td></tr> <tr><td>5</td><td>第10課</td><td>現在分詞と過去分詞</td><td>それぞれの形・用法</td></tr> <tr><td>6</td><td>第10課</td><td>受身と現在完了形</td><td>動詞活用の総復習</td></tr> <tr><td>7</td><td>ボキャブラリ・コンテスト</td><td>基本単語</td><td>語彙の総復習</td></tr> <tr><td>8</td><td>第11課</td><td>比較表現・不定詞</td><td>基本的な比較表現・不定詞の使い方</td></tr> <tr><td>9</td><td>第12課</td><td>未来形と過去未来形</td><td>活用</td></tr> <tr><td>10</td><td>第12課</td><td>過去未来形を中心に</td><td>用法</td></tr> <tr><td>11</td><td>復習</td><td>いろいろな時制の復習</td><td>使い分け</td></tr> <tr><td>12</td><td>第13課</td><td>現在完了・過去完了・未来完了</td><td>単純時制と複合時制</td></tr> <tr><td>13</td><td>第14課</td><td>関係代名詞</td><td>英語の関係詞</td></tr> <tr><td>14</td><td>第15課</td><td>副詞・前置詞・接続詞</td><td>品詞の意識づけ</td></tr> <tr><td>15</td><td>復習</td><td>復習プリント・確認テスト</td><td>総復習</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	前期の復習	前期に学習した事項の復習	前期学習内容の総復習	2	第9課	点過去の活用	形と用法	3	第9課	点過去の使い方	形と用法	4	第9課	点過去と線過去	形と用法	5	第10課	現在分詞と過去分詞	それぞれの形・用法	6	第10課	受身と現在完了形	動詞活用の総復習	7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語	語彙の総復習	8	第11課	比較表現・不定詞	基本的な比較表現・不定詞の使い方	9	第12課	未来形と過去未来形	活用	10	第12課	過去未来形を中心に	用法	11	復習	いろいろな時制の復習	使い分け	12	第13課	現在完了・過去完了・未来完了	単純時制と複合時制	13	第14課	関係代名詞	英語の関係詞	14	第15課	副詞・前置詞・接続詞	品詞の意識づけ	15	復習	復習プリント・確認テスト	総復習
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の復習	前期に学習した事項の復習	前期学習内容の総復習																																																																
2	第9課	点過去の活用	形と用法																																																																
3	第9課	点過去の使い方	形と用法																																																																
4	第9課	点過去と線過去	形と用法																																																																
5	第10課	現在分詞と過去分詞	それぞれの形・用法																																																																
6	第10課	受身と現在完了形	動詞活用の総復習																																																																
7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語	語彙の総復習																																																																
8	第11課	比較表現・不定詞	基本的な比較表現・不定詞の使い方																																																																
9	第12課	未来形と過去未来形	活用																																																																
10	第12課	過去未来形を中心に	用法																																																																
11	復習	いろいろな時制の復習	使い分け																																																																
12	第13課	現在完了・過去完了・未来完了	単純時制と複合時制																																																																
13	第14課	関係代名詞	英語の関係詞																																																																
14	第15課	副詞・前置詞・接続詞	品詞の意識づけ																																																																
15	復習	復習プリント・確認テスト	総復習																																																																
関連科目	スペイン語基礎A、B 総合スペイン語II/スペイン語応用II																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎</td> <td></td> <td>摂南大学</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	<p>スペイン語基礎A、Bと合わせて評価する。 2週間に1度ほどの割合で、範囲を限定して理解度確認テストをする。 最終週に前既習範囲を対象とする到達度確認テストをする。 平常点と合わせて評価する。その比重については初回授業時に説明する。 毎回、単語テストを行う。また、ボキャブラリ・コンテストを実施する(時期、未定)</p>																																																																		
学生へのメッセージ	最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまづき転びながらマスターしていきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師控室)																																																																		
備考																																																																			

科目名	スペイン語圏概論	科目名(英文)	Introduction to Spanish-speaking Area Studies
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	篠原 愛人
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	大西洋の両岸にまたがり、太平洋にも面した広大なスペイン語圏の国々に関する基礎知識をもち、関心を高めることを目的とする。スペイン語圏に関しては高校まではそれほど取り上げられず、メディアでも風変わりなできごとが面白半分に話題にされることが多いのが現状である。しかし、日本との縁はずっと以前から決して浅いものではない。遠いようで意外と近い国々について学び、自分の知識と視点の偏りに気づいてほしい。
到達目標	スペイン語圏の地図を自分で描け、その姿が頭の中で思い浮かべられるとともに、個々の国について地理的・歴史的な基本的知識を身につける。
授業方法と留意点	講義形式だが、視聴覚教材も適宜、利用する。プリントを配布するので、ファイルを用意すること。
科目学習の効果(資格)	外国語のマスターは、「ことば」だけでなく、その言葉が使われている地域の「こと」や使う人たちの「こころ」を知らないと、十分ではない。この講義で、「こと」と「こころ」を知るための基礎が身につくはずである。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション スペイン語圏とは	この授業の進め方 スペイン語とスペイン語圏 ラテンアメリカとは	スペイン語の特徴 スペイン語圏の広がり
2	スペインの地理(1)	スペインの地形・地勢・気候(「アフリカはピレネーから始まる」?) スペインの自然遺産	配布プリント・ノートの整理 地図に親しむ スペインの地方
3	スペインの地理(2)	スペインの経済地理 スペインのさまざまな産物 リーガ・エスパニョーラ 行政区分	地形、気候と産物 原産地呼称 主要都市と政治区分
4	スペインの地理(3)	スペインの世界遺産	それぞれの遺産の歴史的意義と場所の確認
5	スペインの地理(4)	スペインの文化遺産 「文明の十字路」:イベリア半島(DVD)	スペインの歴史と文化
6	スペインの地理・歴史(5) 確認テスト	スペインの地理に関する確認テスト	
7	ラテンアメリカの地理(1)	ラテンアメリカの地理(1) 地形と気候 ラテンアメリカの自然遺産	配布プリント・ノートの整理
8	ラテンアメリカの地理(2)	ラテンアメリカの経済地理(さまざまな産物) 植民地・モノカルチャー	配布プリント・ノートの整理
9	ラテンアメリカの地理(3)	ラテンアメリカの国々と主要都市 ラテンアメリカの都市問題と農村の貧困	地図に親しむ
10	ラテンアメリカの地理(4)	ラテンアメリカの文化遺産 多民族社会	配布プリント・ノートの整理
11	ラテンアメリカの地理(5)	ラテンアメリカの自然遺産・文化遺産(DVD)	それぞれの遺産の歴史的意味、場所の確認
12	ラテンアメリカの地理 確認テスト	第7回から第11回の授業内容についてのテスト	
13	スペイン語・文化の歴史(1)	俗ラテン語からカスティーリャ語へ 半島内の諸言語 日本語とスペイン語 スペイン語の文学作品	配布プリント・ノートの整理
14	スペイン語・文化の歴史(2)	イベリア半島からアメリカ大陸へ(本国のスペイン語とアメリカのスペイン語)・先住民言語 美術と建築	歴史的作品一覧 短編の翻訳でもよいから、作品を読んでみる
15	総括	これまでの総まとめ	配布プリント・ノートの整理

関連科目 2年次の「スペインの社会と文化」「ラテンアメリカの社会と文化」「ラテンアメリカ史」「ラテンアメリカ文学」、3年次の「現代ラテンアメリカ論」「スペイン語圏の芸術」

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	プリント		
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準) 毎回の質問表+提出物(レポートなど)+確認テスト+定期試験

学生へのメッセージ 初めて聞くようなことが多く、戸惑うことでしょう。でもそれは知識の幅が広がったということです。

担当者の研究室等 7号館5階(篠原研究室)

備考 大学での講義のノートの取り方、まとめ方を学びましょう。

科目名	スペイン語圏トピックス I	科目名 (英文)	Topics in the Spanish-speaking World I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	宮多良 ディスネル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペインの地理・歴史・文化等に関する文章を読みながら、スペインについての基本的な知識を獲得します。また、文法事項を確認しながら、重要表現、各テーマに関連する語彙を身につけます。
到達目標	スペイン語圏の文化に対する多面的な理解を、スペイン語を介してめざします。
授業方法と留意点	長文読解を中心に、適宜視聴覚教材を利用して理解を深めます。なお、テーマが変わることがあります。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 6 級

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	スペイン語圏	国名と首都 スペイン語の読み方	スペイン語の読み方
3	食文化 (1)	カフェテリアでの注文 名詞の性と数、数詞、形容詞の語尾変化	新出語彙の整理
4	スペインの地理 (1)	スペイン国内の多様性 ser 動詞、estar 動詞の活用と用法、hay の用法 疑問詞	新出語彙の整理
5	スペインの地理 (2)	ser 動詞、estar 動詞の活用と用法、hay の用法 所有詞、指示詞	新出語彙の整理
6	食文化 (2)	食生活、スペイン風オムレツの作り方 一般動詞直説法現在規則動詞、直接目的格人称代名詞	新出語彙の整理
7	大衆文化	漫画、アニメーション gustar 型動詞、間接目的格人称代名詞、前置詞格人称代名詞	新出語彙の整理
8	前半のまとめ	既習項目の復習と中間テスト	新出語彙の整理と動詞活用の復習
9	スペインの気候	天気予報 天候表現 (単人称動詞)	新出語彙の整理
10	音楽	直説法現在不規則変化動詞	新出語彙の整理
11	スポーツ	直説法現在不規則変化動詞	新出語彙の整理
12	娯楽	直説法現在不規則変化動詞、不定語と否定語、時刻表現	新出語彙の整理
13	スペインの映画	再帰動詞、無人称表現	新出語彙の整理
14	交通機関	再帰動詞、無人称表現	新出語彙の整理
15	後半のまとめ	既習項目の復習と期末テスト	新出語彙の整理と動詞活用の復習

関連科目	スペイン語の科目
------	----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)	出席、授業態度、臨時試験 (中間・期末) などを総合的に評価します。
-----------	------------------------------------

学生へのメッセージ	文法の授業で学んだ内容を基本に、辞書と格闘し、納得のいく訳でできるまで予習をして授業に臨んでください。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	
----	--

科目名	スペイン語圏トピックスⅡ	科目名(英文)	Topics in the Spanish-speaking World II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	三浦 知佐子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語圏の地理・歴史・文化等に関する文章を読みながら、スペイン語圏の国々についての基本的な知識を獲得します。また、文法事項を確認しながら、重要表現、各テーマに関連する語彙を身につけます。
到達目標	基本的な文法事項およびスペイン語圏の国々に関する知識の習得。
授業方法と留意点	長文読解を中心に、適宜視聴覚教材を利用して理解を深めます。なお、テーマが変わることがあります。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	スペイン語圏に関する記事1	直説法点過去と直説法線過去	新出語彙の整理
3	スペイン語圏に関する記事2	直説法点過去と直説法線過去	新出語彙の整理
4	スペイン語圏に関する記事3	直説法点過去と直説法線過去	新出語彙の整理
5	スペイン語圏に関する記事4	現在分詞と過去分詞	新出語彙の整理
6	スペイン語圏に関する記事5	直説法現在完了、受身	新出語彙の整理
7	スペイン語圏に関する記事6	直説法現在完了、受身	新出語彙の整理
8	前半のまとめ	既習項目の復習と中間テスト	新出語彙の整理と動詞活用の復習
9	スペイン語圏に関する記事7	比較表現	新出語彙の整理
10	スペイン語圏に関する記事8	直説法未来と直説法過去未来	新出語彙の整理
11	スペイン語圏に関する記事9	直説法過去完了と直説法未来完了	新出語彙の整理
12	スペイン語圏に関する記事10	関係詞	新出語彙の整理
13	スペイン語圏に関する記事11	関係詞	新出語彙の整理
14	スペイン語圏に関する記事12	関係詞	新出語彙の整理
15	後半のまとめ	既習項目の復習と期末テスト	新出語彙の整理と動詞活用の復習

関連科目	スペイン語の科目
------	----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	出席、授業態度、臨時試験(中間・期末)などを総合的に評価します。
学生へのメッセージ	文法の授業で学んだ内容を基本に、辞書と格闘し、納得のいく訳ができるまで予習をして授業に臨んでください。
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	スペイン語圏トピックスⅢ	科目名(英文)	Topics in the Spanish-speaking World III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	林 安紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語圏の歴史や文化などに関する資料の読解を通して、スペイン語の実践的な語彙や表現を習得する。また、DVDなどの視覚教材を用いて、スペインが抱える諸問題や現状についての理解を深める。
到達目標	スペイン語の読解力を養う。スペイン語圏についての理解を深める。
授業方法と留意点	履修生の読解力に応じて、授業テーマを変更することがある。 レポートや発表を課すことがある。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定4級

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	スペインについて	読解	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
3	スペインの社会、文化(1)	読解	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
4	スペインの社会、文化(2)	読解	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
5	スペインの地理、歴史(1)	読解	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
6	スペインの地理、歴史(2)	読解	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
7	前半のまとめ	前半の復習と中間テスト	-----
8	スペインの世界遺産(1)	読解	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
9	スペインの世界遺産(2)	読解	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
10	スペイン経済	読解	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
11	スペインの社会、文化(3)	読解	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
12	スペインの社会、文化(4)	読解	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
13	映画のなかのスペイン(1)	訳読、聞き取り	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
14	映画のなかのスペイン(2)	訳読、聞き取り	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
15	まとめ	後半のまとめと確認テスト	-----

関連科目	スペイン語の科目
------	----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(授業参加度)20%、臨時試験(中間・確認テスト)50%、その他(レポート・発表など)30%
----------	---

学生へのメッセージ	授業への積極的な参加を望む。 事前に配布したプリントがある場合は、必ず目を通し、予習してから出席する。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	スペイン語圏トピックスⅣ	科目名(英文)	Topics in the Spanish-speaking World IV
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	林 安紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語圏の歴史や文化などに関する資料の読解を通して、スペイン語の実践的な語彙や表現を習得する。また、DVDなどの視覚教材を用いて、ラテンアメリカが抱える諸問題や現状についての理解を深める。
到達目標	スペイン語の読解力を養う。スペイン語圏についての理解を深める。
授業方法と留意点	履修生の読解力に応じて、授業テーマを変更することがある。 レポートや発表を課す予定である。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定3級

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題

1	イントロダクション	授業の進め方や評価基準について	-----
2	ラテンアメリカについて	読解	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
3	メキシコ(1)	読解	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
4	メキシコ(2)	読解	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
5	ペルー	読解	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
6	キューバ	読解	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
7	前半のまとめ	前半の復習と中間テスト	-----
8	コスタリカ	読解	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
9	映画のなかのラテンアメリカ(1)	訳読、聞き取り	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
10	映画のなかのラテンアメリカ(2)	訳読、聞き取り	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
11	アルゼンチン	履修生によるグループ発表(1)	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
12	チリ	履修生によるグループ発表(2)	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
13	ベネズエラ	履修生によるグループ発表(3)	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
14	コロンビア	履修生によるグループ発表(4)	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
15	まとめ	後半のまとめと確認テスト	-----

関連科目	スペイン語の科目
------	----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(授業参加度)20%、臨時試験(中間・確認テスト)50%、その他(レポート・発表など)30%
----------	---

学生へのメッセージ	授業への積極的な参加を望む。 事前に配布したプリントがある場合は、必ず目を通し、予習してから出席する。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	スペイン語圏の芸術	科目名(英文)	Arts of Spain and Latin America
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	オラシオ ゴメス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペイン語圏の芸術を美術・音楽・建築・文学・映画の5つの側面から概説し、具体的に多くの作品に触れながら、その特質を理解する。																																																																		
到達目標	広大なスペイン語圏の、起源の異なる多様な芸術の特質を、具体的作品をもとに見聞きしながら学び、関心と理解を深める。																																																																		
授業方法と留意点	毎回プリントを配布し、図像資料も交えながら授業を進める。 事前に配布された文献資料をあらかじめ読んで授業に臨み、授業後は毎回のテーマに即した作品群を読み、聴き、観賞することが重要である。																																																																		
科目学習の効果(資格)	芸術を通じてスペイン語圏で歴史的に生じてきた文化運動や政治的潮流への相互的影響をも理解できるようになる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>はじめに</td> <td>講義の全体構想と授業の進め方</td> <td>シラバスを読んで、これから学ぶことについて概観しておく</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>セルバンテス</td> <td>スペイン語圏の文化におけるキホーテの影響</td> <td>作品を読む</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ベラスケスとゴヤ</td> <td>スペイン絵画伝統の創造</td> <td>作品観賞と時代背景学習</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>バロック建築</td> <td>スペインおよびイスマノアメリカのバロック様式</td> <td>建築作品について調べる</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ピカソと20世紀</td> <td>20世紀の芸術運動に対するピカソの作品と生</td> <td>配布文献資料を読む</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ファリャと“エル・システマ”</td> <td>ファリャの音楽とベネズエラにおける“エル・システマ”の誕生</td> <td>配布文献資料を読む</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>プニュエル</td> <td>プニュエルとシュルレアリズム運動</td> <td>配布文献資料を読む</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ボルヘス</td> <td>ボルヘスとメタファー</td> <td>配布文献資料を読む</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>主要な建築家</td> <td>パラガン、レゴレッタ他</td> <td>配布文献資料を読む</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>フラメンコ</td> <td>フラメンコの世界的波及、パコ・デ・ルシア</td> <td>配布文献資料を読む</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>壁画運動とフリーダ・カロ</td> <td>壁画運動とその米国における影響</td> <td>配布文献資料を読む</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>オクタビオ・パス</td> <td>パスとコスモポリティスモ</td> <td>配布文献資料を読む</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>アルモドバル</td> <td>スペインとラテンアメリカの映画</td> <td>配布文献資料を読む</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>メソアメリカの美術</td> <td>征服以前の先住民文明の芸術様式</td> <td>配布文献資料を読む</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>おわりに</td> <td>講義全体のまとめと達成度確認テストまたはレポート</td> <td>総合的復習</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	はじめに	講義の全体構想と授業の進め方	シラバスを読んで、これから学ぶことについて概観しておく	2	セルバンテス	スペイン語圏の文化におけるキホーテの影響	作品を読む	3	ベラスケスとゴヤ	スペイン絵画伝統の創造	作品観賞と時代背景学習	4	バロック建築	スペインおよびイスマノアメリカのバロック様式	建築作品について調べる	5	ピカソと20世紀	20世紀の芸術運動に対するピカソの作品と生	配布文献資料を読む	6	ファリャと“エル・システマ”	ファリャの音楽とベネズエラにおける“エル・システマ”の誕生	配布文献資料を読む	7	プニュエル	プニュエルとシュルレアリズム運動	配布文献資料を読む	8	ボルヘス	ボルヘスとメタファー	配布文献資料を読む	9	主要な建築家	パラガン、レゴレッタ他	配布文献資料を読む	10	フラメンコ	フラメンコの世界的波及、パコ・デ・ルシア	配布文献資料を読む	11	壁画運動とフリーダ・カロ	壁画運動とその米国における影響	配布文献資料を読む	12	オクタビオ・パス	パスとコスモポリティスモ	配布文献資料を読む	13	アルモドバル	スペインとラテンアメリカの映画	配布文献資料を読む	14	メソアメリカの美術	征服以前の先住民文明の芸術様式	配布文献資料を読む	15	おわりに	講義全体のまとめと達成度確認テストまたはレポート	総合的復習
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	はじめに	講義の全体構想と授業の進め方	シラバスを読んで、これから学ぶことについて概観しておく																																																																
2	セルバンテス	スペイン語圏の文化におけるキホーテの影響	作品を読む																																																																
3	ベラスケスとゴヤ	スペイン絵画伝統の創造	作品観賞と時代背景学習																																																																
4	バロック建築	スペインおよびイスマノアメリカのバロック様式	建築作品について調べる																																																																
5	ピカソと20世紀	20世紀の芸術運動に対するピカソの作品と生	配布文献資料を読む																																																																
6	ファリャと“エル・システマ”	ファリャの音楽とベネズエラにおける“エル・システマ”の誕生	配布文献資料を読む																																																																
7	プニュエル	プニュエルとシュルレアリズム運動	配布文献資料を読む																																																																
8	ボルヘス	ボルヘスとメタファー	配布文献資料を読む																																																																
9	主要な建築家	パラガン、レゴレッタ他	配布文献資料を読む																																																																
10	フラメンコ	フラメンコの世界的波及、パコ・デ・ルシア	配布文献資料を読む																																																																
11	壁画運動とフリーダ・カロ	壁画運動とその米国における影響	配布文献資料を読む																																																																
12	オクタビオ・パス	パスとコスモポリティスモ	配布文献資料を読む																																																																
13	アルモドバル	スペインとラテンアメリカの映画	配布文献資料を読む																																																																
14	メソアメリカの美術	征服以前の先住民文明の芸術様式	配布文献資料を読む																																																																
15	おわりに	講義全体のまとめと達成度確認テストまたはレポート	総合的復習																																																																
関連科目	ラテンアメリカの社会と文化、スペインの社会と文化、現代ラテンアメリカ論、ラテンアメリカ史学、ラテンアメリカ文学																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業への参加状況(出席・発表等)、レポートへの取り組み、達成度確認テストにより総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	さまざまな意味で作品に触れることが大切です。																																																																		
担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		

科目名	スペイン語講読 I	科目名 (英文)	Spanish Reading I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	三浦 知佐子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	辞書と習得した文法知識、そしてスペイン語圏に関する知識を余すところなく駆使して、スペイン語の長文を読みこなす力を身につけていくことを目指す。授業では主にスペイン語圏に関する文章を読み進めていくが、スペイン語の文章を正しく理解するために必要な文法事項を復習するだけでなく、スペイン語圏の国々に関する知識を修得することも併せて行う。
到達目標	スペイン語の文法知識の更なる習得と、単文のみならず複文を含めた長文の読解力を身に付ける。
授業方法と留意点	文章の読解をしていく。授業では、一文一文詳しく見ていく。また、指示語や代名詞、動詞の時制などの文法事項をひとつひとつ尋ねるので、答えられるように予習の段階で確認しておくこと。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 4~5 級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業の進め方や評価基準について	授業で指示
	2	アルゼンチン	ARGENTINA EL BOCA JUNIORS	授業で指示
	3	ボリビア	BOLIVIA LA PLATA DE POTOS? Y LA ENCOMIENDA	授業で指示
	4	チリ	CHILE EL GLACIAR GREY Y EL CAMBIO CLIM?TICO	授業で指示
	5	コロンビア	COLOMBIA EL CARNAVAL DE BARRANQUILLA	授業で指示
	6	コスタリカ	COSTA RICA EL PARQUE NACIONAL MANUEL ANTONIO	授業で指示
	7	前半の復習	前半の復習	授業で指示
	8	前半のまとめ	中間テスト	授業で指示
	9	キューバ	CUBA LA CULTURA AFROCUBANA	授業で指示
	10	エクアドル	ECUADOR LA SOCIEDAD INCA	授業で指示
	11	エルサルバドル	EL SALVADOR LAGUERRA CIVIL SALVADORE?A	授業で指示
	12	スペイン	ESPA?A LA INMIGRACI?N EN ESPA?A	授業で指示
	13	アメリカ合衆国	ESTADOS UNIDOS EL SPANGLISH	授業で指示
	14	後半の復習	後半の復習	授業で指示
	15	後半のまとめ	期末テスト	授業で指示

関連科目	スペイン語の科目
------	----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	《改訂版》El mundo de habla hispana (スペイン語を話す人びとの世界)	ダニエル・アリエタ/坂東省次/ 豊原ひとみ	第三書房
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業参加度や試験 (中間・期末) 結果等を総合的に評価します。
-----------	---------------------------------

学生へのメッセージ	必ず予習の段階で自分なりに訳してみることを。必ず予習をして授業に出席すること。また、辞書を持参すること。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師控室)
----------	-----------------

備考	
----	--

科目名	スペイン語講読 I	科目名 (英文)	Spanish Reading I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	宮多良 ディスネル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	辞書と習得した文法知識、そしてスペイン語圏に関する知識を余すところなく駆使して、スペイン語の長文を読みこなす力を身につけていくことを目指す。授業では主にスペイン語圏に関する文章を読み進めていくが、スペイン語の文章を正しく理解するために必要な文法事項を復習するだけでなく、スペイン語圏の国々に関する知識を修得することも併せて行う。
到達目標	スペイン語の文法知識の更なる習得と、単文のみならず複文を含めた長文の読解力を身に付ける。
授業方法と留意点	文章の読解をしていく。授業では、一文一文詳しく見ていく。また、指示語や代名詞、動詞の時制などの文法事項をひとつひとつ尋ねるので、答えられるように予習の段階で確認しておくこと。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 4~5 級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業の進め方や評価基準について	授業で指示
	2	アルゼンチン	ARGENTINA EL BOCA JUNIORS	授業で指示
	3	ボリビア	BOLIVIA LA PLATA DE POTOS? Y LA ENCOMIENDA	授業で指示
	4	チリ	CHILE EL GLACIAR GREY Y EL CAMBIO CLIM?TICO	授業で指示
	5	コロンビア	COLOMBIA EL CARNAVAL DE BARRANQUILLA	授業で指示
	6	コスタリカ	COSTA RICA EL PARQUE NACIONAL MANUEL ANTONIO	授業で指示
	7	前半の復習	前半の復習	授業で指示
	8	前半のまとめ	中間テスト	授業で指示
	9	キューバ	CUBA LA CULTURA AFROCUBANA	授業で指示
	10	エクアドル	ECUADOR LA SOCIEDAD INCA	授業で指示
	11	エルサルバドル	EL SALVADOR LAGUERRA CIVIL SALVADORE?A	授業で指示
	12	スペイン	ESPA?A LA INMIGRACI?N EN ESPA?A	授業で指示
	13	アメリカ合衆国	ESTADOS UNIDOS EL SPANGLISH	授業で指示
	14	後半の復習	後半の復習	授業で指示
	15	後半のまとめ	期末テスト	授業で指示

関連科目	スペイン語の科目
------	----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	《改訂版》El mundo de habla hispana (スペイン語を話す人びとの世界)	ダニエル・アリエタ/坂東省次/豊原ひとみ	第三書房
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業参加度や試験 (中間・期末) 結果等を総合的に評価します。
-----------	---------------------------------

学生へのメッセージ	必ず予習の段階で自分なりに訳してみる。必ず予習をして授業に出席すること。また、辞書を持参すること。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師控室)
----------	-----------------

備考	
----	--

科目名	スペイン語講読Ⅱ	科目名(英文)	Spanish Reading II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	宮多良 ディスネル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	辞書と習得した文法知識、そしてスペイン語圏に関する知識を余すところなく駆使して、スペイン語の長文を読みこなす力を身につけていくことを目指す。授業では主にスペイン語圏に関する文章を読み進めていくが、スペイン語の文章を正しく理解するために必要な文法事項を復習するだけでなく、スペイン語圏の国々に関する知識を修得することも併せて行う。
到達目標	スペイン語の文法知識の更なる習得と、単文のみならず複文を含めた長文の読解力を身に付ける。
授業方法と留意点	文章の読解をしていく。授業では、一文一文詳しく見ていく。また、指示語や代名詞、動詞の時制などの文法事項をひとつひとつ尋ねるので、答えられるように予習の段階で確認しておくこと。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定4~5級

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	グアテマラ	GUATEMALA UNA ESCUELA EN SANTIAGO ATITL?N	授業で指示
2	ホンジュラス	HONDURAS LOS GAR?FUNAS	授業で指示
3	メキシコ	M?XICO OCTAVIO PAZ Y EL HOMBRE MEXICANO	授業で指示
4	ニカラグア	NICARAGUA RUBEN DAR?O, POETA MODERNISTA	授業で指示
5	パナマ	PANAM? EL CANAL DE PANAM?	授業で指示
6	パラグアイ	PARAGUAY LAS MISIONES JESU?TICAS	授業で指示
7	前半の復習	前半の復習	授業で指示
8	前半のまとめ	中間テスト	授業で指示
9	ペルー	PER? PERUANOS EN JAP?N	授業で指示
10	プエルトリコ	PUERTO RICO ESTADO LIBRE ASOCIADO	授業で指示
11	ドミニカ共和国	REP?BLICA DOMINICANA BACHATA	授業で指示
12	ウルグアイ	URUGUAY EL MATE	授業で指示
13	ベネズエラ	VENEZUELA EL SOCIALISMO DEL SIGLO XXI DE HUGO CH?VEZ	授業で指示
14	後半の復習	後半の復習	授業で指示
15	後半のまとめ	期末テスト	授業で指示

関連科目	スペイン語の科目
------	----------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	《改訂版》El mundo de habla hispana (スペイン語を話す人びとの世界)	ダニエル・アリエタ/坂東省次/豊原ひとみ	第三書房
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	授業参加度や試験結果等を総合的に評価します。
学生へのメッセージ	必ず予習の段階で自分なりに訳してみること。必ず予習をして授業に出席すること。また、辞書を持参すること。
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師控室)
備考	

科目名	スペイン語講読Ⅱ	科目名(英文)	Spanish Reading II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	三浦 知佐子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	辞書と習得した文法知識、そしてスペイン語圏に関する知識を余すところなく駆使して、スペイン語の長文を読みこなす力を身につけていくことを目指す。授業では主にスペイン語圏に関する文章を読み進めていくが、スペイン語の文章を正しく理解するために必要な文法事項を復習するだけでなく、スペイン語圏の国々に関する知識を修得することも併せて行う。
到達目標	スペイン語の文法知識の更なる習得と、単文のみならず複文を含めた長文の読解力を身に付ける。
授業方法と留意点	文章の読解をしていく。授業では、一文一文詳しく見ていく。また、指示語や代名詞、動詞の時制などの文法事項をひとつひとつ尋ねるので、答えられるように予習の段階で確認しておくこと。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定4~5級

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	グアテマラ	GUATEMALA UNA ESCUELA EN SANTIAGO ATITL?N	授業で指示
2	ホンジュラス	HONDURAS LOS GAR?FUNAS	授業で指示
3	メキシコ	M?XICO OCTAVIO PAZ Y EL HOMBRE MEXICANO	授業で指示
4	ニカラグア	NICARAGUA RUBEN DAR?O, POETA MODERNISTA	授業で指示
5	パナマ	PANAM? EL CANAL DE PANAM?	授業で指示
6	パラグアイ	PARAGUAY LAS MISIONES JESU?TICAS	授業で指示
7	前半の復習	前半の復習	授業で指示
8	前半のまとめ	中間テスト	授業で指示
9	ペルー	PER? PERUANOS EN JAP?N	授業で指示
10	プエルトリコ	PUERTO RICO ESTADO LIBRE ASOCIADO	授業で指示
11	ドミニカ共和国	REP?BLICA DOMINICANA BACHATA	授業で指示
12	ウルグアイ	URUGUAY EL MATE	授業で指示
13	ベネズエラ	VENEZUELA EL SOCIALISMO DEL SIGLO XXI DE HUGO CH?VEZ	授業で指示
14	後半の復習	後半の復習	授業で指示
15	後半のまとめ	期末テスト	授業で指示

関連科目	スペイン語の科目
------	----------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	《改訂版》El mundo de habla hispana (スペイン語を話す人びとの世界)	ダニエル・アリエタ/坂東省次/豊原ひとみ	第三書房
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	授業参加度や試験結果等を総合的に評価します。
----------	------------------------

学生へのメッセージ	必ず予習の段階で自分なりに訳してみること。必ず予習をして授業に出席すること。また、辞書を持参すること。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師控室)
----------	----------------

備考	
----	--

科目名	スペイン語通訳ガイド I	科目名 (英文)	Tour Guidance in Spanish I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	篠原 愛人
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この期は日本のことについて説明できるよう、日本に関する知識を深めるとともに、外国人が日本のことをどう理解しているかを知ることに主眼を置く。日本の地理、歴史、文化、風習に関する基礎知識を深め、スペイン語で説明・紹介するために必要な語彙力と表現力の向上を目指す。しばしば単語テストを行う。
到達目標	日本の地理、歴史、社会についてスペイン語で説明できるようになる。
授業方法と留意点	スペイン語で書かれた日本紹介文献や旅行ガイドを参考に、日本についての知識とスペイン語の基本的語彙を身につける。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 3 級、通訳案内士 (スペイン語)

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	イントロダクション	「通訳案内士」とは: 通訳案内には何が必要か	通訳案内上の国家試験について
2	日本の自然	日本の地理的特徴、四季と気候について、スペイン語で書かれた日本案内のガイドブックを参考に、作文練習をする。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
3	日本の地理	日本の世界自然遺産について、スペイン語で書かれた日本案内のガイドブックを参考に、作文練習をする。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
4	日本の歴史 (1)	政治史・経済史: 世界史と関連付けながら、スペイン語で書かれた日本案内のガイドブックを参考に、作文練習をする。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
5	日本の歴史 (2)	日本文化史: 通史的に書かれたスペイン語で書かれた文章を参考に、作文練習をする。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
6	日本の歴史 (3)	奈良と京都の歴史を中心に、スペイン語で書かれた文章を参考に、作文練習をする。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
7	日本の歴史 (4)	武家社会 (サムライ・ニンジャ・ショウグン) などについてスペイン語で書かれた文章を参考に、作文練習をする。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
8	日本の歴史 (5)	明治維新以降の歴史について、スペイン語で書かれた文章を参考に、作文練習をする。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
9	日本の風習	季節ごとの習慣・年中行事について、スペイン語で書かれた文章を参考に、作文練習をする。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
10	ボキャブラリ・コンテスト	ボキャブラリ・コンテスト	語彙力の重要性を認識
11	日本の文化 (1)	茶道・華道、歌舞伎・能など伝統的技能・芸について、スペイン語で書かれた文章を参考に、作文練習をする。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
12	日本の文化 (2)	日本の宗教 (仏教と神道、禅)、相撲など武芸について、スペイン語で書かれた文章を参考に、作文練習をする。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
13	日本の文化 (3)	現代文化 (マンガ、アニメ、映画など) について、スペイン語で書かれた文章を参考に、作文練習をする。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
14	総括	日本について自分がぜひ紹介したい場所・習慣など、とっておき情報をスペイン語で。	自分が調べた、日本文化の側面について 3 分間でスピーチ
15	確認 (どれだけのことを自分が説明できるか)	理解度確認テスト	学習事項の確認、単語・表現のまとめ

関連科目: スペイン語オラル、映画のスペイン語

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント		
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準): 平常評価[単語テスト] (20%)、提出物 (20%)、ボキャブラリ・コンテスト (20%) および理解度確認テスト (40%) を総合的に評価する。

学生へのメッセージ: 予習を欠かさず積極的に授業に臨んでください。

担当者の研究室等: 7号館 5階 (篠原研究室)

備考:

科目名	スペイン語通訳ガイドⅡ	科目名(英文)	Tour Guidance in Spanish II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	篠原 愛人
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	日本の地理、歴史、文化、風習に関する基礎知識を深め、スペイン語で説明・紹介するために必要な語彙力と表現力の向上を目指す。			
到達目標	京阪神の名所についてガイドできる知識とスペイン語力を身につける。			
授業方法と留意点	日本の歴史文化を理解し、現代社会の特質をスペイン語で説明できるよう基礎知識を習得し、スペイン語での質問に口頭で応答する実践を行う。希望者には通訳案内士の資格試験に対応できる指導も行う。 しばしば単語テストを行う。			
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定3級、通訳案内士(スペイン語)			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	前期の総まとめ	前期に学んだことの再確認	前期の確認テスト
	2	近畿地方の観光スポット(1)	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(1)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
	3	近畿地方の観光スポット(2)	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(2)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
	4	近畿地方の観光スポット(3)	奈良の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(1)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
	5	ボキャブラリ・コンテスト 近畿地方の観光スポット(4)	ボキャコン実施 奈良の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(2)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
	6	近畿地方の観光スポット(4)	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(1)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
	7	近畿地方の観光スポット(5)	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(2)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
	8	近畿地方の観光スポット(5)	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(3)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
	9	近畿地方の観光スポット(6)	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(4)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
	10	近畿地方の観光スポット(7)	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(5)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
	11	近畿地方の観光スポット(7)	題京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(5)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成
	12	日本文化の諸相(1)	自分が紹介したい日本の文化のある一面について調べ、スペイン語で説明する。(1)	自分が紹介したい日本の側面について原稿作り
	13	日本文化の諸相(2)	自分が紹介したい日本の文化のある一面について調べ、スペイン語で説明する。(2)	自分が紹介したい日本の側面について、スペイン語の原稿作り
	14	日本文化の諸相(3)	自分が紹介したい日本の文化の側面について、プレゼンテーション	プレゼン文を繰り返し読み、暗記すること。
	15	総括・ガイド関連の語彙・表現について、確認テスト	自分が紹介したい日本の側面について、プレゼンテーション	プレゼン文を繰り返し読み、暗記すること。
関連科目	スペイン語文章構成、オラル、映画のスペイン語			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント		
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	平常点[単語テスト](20%)、提出物(20%)、ボキャブラリ・コンテスト(20%)と理解度確認テスト(40%)を総合的に評価する。			
学生へのメッセージ	目標は高く掲げ、それに向かって地道に学習を積み重ねましょう。			
担当者の研究室等備考	7号館5階(篠原研究室)			

科目名	スペイン語入門A	科目名(英文)	Introduction to Spanish A
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	北條 ゆかり
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「スペイン語入門B、C」と同じ教科書を使い、リレー式でスペイン語の論理(文法)を学ぶ。そのため、必ず「入門B、C」と合わせて受講すること。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も大きな要素として欠かせないので、しばしば小テストを課す。 																																																																
到達目標	スペイン語の文法事項のうち、主語や目的語になる名詞とそれを修飾する冠詞・形容詞、および動詞の現在形の活用と用法をマスターする。基本語彙(約500語)を覚える。																																																																
授業方法及び留意点	授業では文法説明および例文解説の後、練習問題を通して理解の確認をする。宿題として出された課題は必ず自力でチャレンジしてみる。																																																																
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定6級																																																																
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>第1課</td><td>アルファベットと発音</td><td>個々の音</td></tr> <tr><td>2</td><td>第2課</td><td>名詞と冠詞</td><td>それぞれの形と用法</td></tr> <tr><td>3</td><td>第2課</td><td>形容詞・数詞など</td><td>これまでの確認と復習</td></tr> <tr><td>4</td><td>第3課</td><td>主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞</td><td>主語になる代名詞、serとestarの活用</td></tr> <tr><td>5</td><td>第3課</td><td>serとestar、疑問詞</td><td>be動詞の使い分け</td></tr> <tr><td>6</td><td>第4課</td><td>estarとhay、所有語</td><td>be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形</td></tr> <tr><td>7</td><td>ボキャブラリ・コンテスト</td><td>基本単語の確認</td><td>総復習</td></tr> <tr><td>8</td><td>第5課</td><td>一般動詞の規則活用</td><td>よく使う動詞の意味、活用</td></tr> <tr><td>9</td><td>第5課</td><td>目的格の代名詞</td><td>「～を」と「…に」の代名詞、</td></tr> <tr><td>10</td><td>第6課</td><td>不規則変化動詞、gustar</td><td>日本語と主語・目的語が逆になる動詞</td></tr> <tr><td>11</td><td>第6課</td><td>gustar型動詞 指示語</td><td>表現パターンに慣れる</td></tr> <tr><td>12</td><td>第7課</td><td>その他の動詞、不定語</td><td>不規則動詞</td></tr> <tr><td>13</td><td>第7課</td><td>不定語</td><td>さまざまな不定語(だれか、何かなど)</td></tr> <tr><td>14</td><td>第8課</td><td>再帰動詞、無人称表現</td><td>自動詞と他動詞の区別</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td><td>これまでの復習・確認テスト</td><td>総復習</td></tr> </tbody> </table>	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	第1課	アルファベットと発音	個々の音	2	第2課	名詞と冠詞	それぞれの形と用法	3	第2課	形容詞・数詞など	これまでの確認と復習	4	第3課	主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞	主語になる代名詞、serとestarの活用	5	第3課	serとestar、疑問詞	be動詞の使い分け	6	第4課	estarとhay、所有語	be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形	7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語の確認	総復習	8	第5課	一般動詞の規則活用	よく使う動詞の意味、活用	9	第5課	目的格の代名詞	「～を」と「…に」の代名詞、	10	第6課	不規則変化動詞、gustar	日本語と主語・目的語が逆になる動詞	11	第6課	gustar型動詞 指示語	表現パターンに慣れる	12	第7課	その他の動詞、不定語	不規則動詞	13	第7課	不定語	さまざまな不定語(だれか、何かなど)	14	第8課	再帰動詞、無人称表現	自動詞と他動詞の区別	15	まとめ	これまでの復習・確認テスト	総復習
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																														
1	第1課	アルファベットと発音	個々の音																																																														
2	第2課	名詞と冠詞	それぞれの形と用法																																																														
3	第2課	形容詞・数詞など	これまでの確認と復習																																																														
4	第3課	主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞	主語になる代名詞、serとestarの活用																																																														
5	第3課	serとestar、疑問詞	be動詞の使い分け																																																														
6	第4課	estarとhay、所有語	be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形																																																														
7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語の確認	総復習																																																														
8	第5課	一般動詞の規則活用	よく使う動詞の意味、活用																																																														
9	第5課	目的格の代名詞	「～を」と「…に」の代名詞、																																																														
10	第6課	不規則変化動詞、gustar	日本語と主語・目的語が逆になる動詞																																																														
11	第6課	gustar型動詞 指示語	表現パターンに慣れる																																																														
12	第7課	その他の動詞、不定語	不規則動詞																																																														
13	第7課	不定語	さまざまな不定語(だれか、何かなど)																																																														
14	第8課	再帰動詞、無人称表現	自動詞と他動詞の区別																																																														
15	まとめ	これまでの復習・確認テスト	総復習																																																														
関連科目	スペイン語入門B、C 総合スペイン語/スペイン語応用I																																																																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎</td> <td></td> <td>摂南大学</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学																																																														
2																																																																	
3																																																																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>西和中辞典</td> <td>高垣ほか</td> <td>小学館</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	西和中辞典	高垣ほか	小学館	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1	西和中辞典	高垣ほか	小学館																																																														
2																																																																	
3																																																																	
評価方法(基準)	<p>スペイン語入門B、Cと合わせて評価する。</p> <p>2週間に1度ほどの割合で理解度確認テストをする。</p> <p>最終週に全既習範囲を対象とした到達度確認テストをする。</p> <p>平常点と合わせて評価する。その比重については初回授業時に説明する。</p> <p>配布する「基本単語集」をもとに、毎回、単語テストを行う。また、ボキャブラリ・コンテストも実施(時期未定)</p>																																																																
学生へのメッセージ	最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまづき転びながらマスターしていきましょう。																																																																
担当者の研究室等	7号館5階(北條研究室)																																																																
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。																																																																

科目名	スペイン語入門A	科目名(英文)	Introduction to Spanish A
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	森川 香織
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>・「スペイン語入門B,C」と同じ教科書を使い、リレー式でスペイン語の論理(文法)を学ぶ。そのため、必ず「入門A、B」と合わせて受講すること。</p> <p>・初習言語のマスターには語彙力の増強も大きな要素として欠かせないので、しばしば小テストを課す。</p>																																																																		
到達目標	スペイン語の正確な発音を身につける。スペイン語の初歩的な文法、特に動詞の現在形の活用と用法を正確に理解する。																																																																		
授業方法と留意点	授業では文法説明および例文解説の後、練習問題を通して理解の確認をする。宿題として出された課題は必ず自力でチャレンジしてみる。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定6級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>第1課</td><td>アルファベットと発音</td><td>個々の音</td></tr> <tr><td>2</td><td>第2課</td><td>名詞と冠詞</td><td>それぞれの形と用法</td></tr> <tr><td>3</td><td>第2課</td><td>形容詞・数詞など</td><td>これまでの確認と復習</td></tr> <tr><td>4</td><td>第3課</td><td>主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞</td><td>主語になる代名詞、serとestarの活用</td></tr> <tr><td>5</td><td>第3課</td><td>serとestar、疑問詞</td><td>be動詞の使い分け</td></tr> <tr><td>6</td><td>第4課</td><td>estarとhay、所有語</td><td>be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形</td></tr> <tr><td>7</td><td>これまでの復習</td><td>復習プリント</td><td>———</td></tr> <tr><td>8</td><td>第5課</td><td>一般動詞の規則活用</td><td>よく使う動詞の意味、活用</td></tr> <tr><td>9</td><td>第5課</td><td>目的格の代名詞</td><td>「～を」と「…に」の代名詞、</td></tr> <tr><td>10</td><td>第6課</td><td>不規則変化動詞、gustar</td><td>日本語と主語・目的語が逆になる動詞</td></tr> <tr><td>11</td><td>第6課</td><td>gustar型動詞 指示語</td><td>表現パターンに慣れる</td></tr> <tr><td>12</td><td>第7課</td><td>その他の動詞、不定語</td><td>不規則動詞</td></tr> <tr><td>13</td><td>第7課</td><td>不定語</td><td>さまざまな不定語(だれか、何かなど)</td></tr> <tr><td>14</td><td>第8課</td><td>再帰動詞、無人称表現</td><td>自動詞と他動詞の区別</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td><td>これまでの復習・確認テスト</td><td>———</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	第1課	アルファベットと発音	個々の音	2	第2課	名詞と冠詞	それぞれの形と用法	3	第2課	形容詞・数詞など	これまでの確認と復習	4	第3課	主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞	主語になる代名詞、serとestarの活用	5	第3課	serとestar、疑問詞	be動詞の使い分け	6	第4課	estarとhay、所有語	be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形	7	これまでの復習	復習プリント	———	8	第5課	一般動詞の規則活用	よく使う動詞の意味、活用	9	第5課	目的格の代名詞	「～を」と「…に」の代名詞、	10	第6課	不規則変化動詞、gustar	日本語と主語・目的語が逆になる動詞	11	第6課	gustar型動詞 指示語	表現パターンに慣れる	12	第7課	その他の動詞、不定語	不規則動詞	13	第7課	不定語	さまざまな不定語(だれか、何かなど)	14	第8課	再帰動詞、無人称表現	自動詞と他動詞の区別	15	まとめ	これまでの復習・確認テスト	———
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	第1課	アルファベットと発音	個々の音																																																																
2	第2課	名詞と冠詞	それぞれの形と用法																																																																
3	第2課	形容詞・数詞など	これまでの確認と復習																																																																
4	第3課	主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞	主語になる代名詞、serとestarの活用																																																																
5	第3課	serとestar、疑問詞	be動詞の使い分け																																																																
6	第4課	estarとhay、所有語	be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形																																																																
7	これまでの復習	復習プリント	———																																																																
8	第5課	一般動詞の規則活用	よく使う動詞の意味、活用																																																																
9	第5課	目的格の代名詞	「～を」と「…に」の代名詞、																																																																
10	第6課	不規則変化動詞、gustar	日本語と主語・目的語が逆になる動詞																																																																
11	第6課	gustar型動詞 指示語	表現パターンに慣れる																																																																
12	第7課	その他の動詞、不定語	不規則動詞																																																																
13	第7課	不定語	さまざまな不定語(だれか、何かなど)																																																																
14	第8課	再帰動詞、無人称表現	自動詞と他動詞の区別																																																																
15	まとめ	これまでの復習・確認テスト	———																																																																
関連科目	スペイン語入門B,C 総合スペイン語																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>西和中辞典</td><td>高垣敏博他</td><td>小学館</td></tr> <tr><td>2</td><td>現代スペイン語辞典</td><td>宮城昇他</td><td>白水社</td></tr> <tr><td>3</td><td>わかるスペイン語文法</td><td>西川喬</td><td>同学社</td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	西和中辞典	高垣敏博他	小学館	2	現代スペイン語辞典	宮城昇他	白水社	3	わかるスペイン語文法	西川喬	同学社																																																
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	西和中辞典	高垣敏博他	小学館																																																																
2	現代スペイン語辞典	宮城昇他	白水社																																																																
3	わかるスペイン語文法	西川喬	同学社																																																																
評価方法(基準)	<p>スペイン語入門B、Cと合わせて評価する。</p> <p>2週間に1度ほどの割合で理解度確認テストをする。</p> <p>最終週に全既習範囲を対象とした到達度確認テストをする。</p> <p>平常点と合わせて評価する。その比重については初回授業時に説明する。</p>																																																																		
学生へのメッセージ	最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまずき転びながらマスターしていきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。																																																																		

科目名	スペイン語入門B	科目名(英文)	Introduction to Spanish B
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	篠原 愛人
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「スペイン語入門A、C」と同じ教科書を使い、リレー式でスペイン語の論理(文法)を学ぶ。そのため、必ず「入門A、C」と合わせて受講すること。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も大きな要素として欠かせないので、しばしば小テストを課す。 																																																																
到達目標	スペイン語の文法事項のうち、主語や目的語になる名詞とそれを修飾する冠詞・形容詞、および動詞の現在形の活用と用法をマスターする。基本語彙(約500語)を覚える。																																																																
授業方法と留意点	授業では文法説明および例文解説の後、練習問題を通して理解の確認をする。宿題として出された課題は必ず自力でチャレンジしてみることに。																																																																
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定6級																																																																
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>第1課</td><td>アルファベットと発音</td><td>個々の音</td></tr> <tr><td>2</td><td>第2課</td><td>名詞と冠詞</td><td>それぞれの形と用法</td></tr> <tr><td>3</td><td>第2課</td><td>形容詞・数詞など</td><td>これまでの確認と復習</td></tr> <tr><td>4</td><td>第3課</td><td>主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞</td><td>主語になる代名詞、serとestarの活用</td></tr> <tr><td>5</td><td>第3課</td><td>serとestar、疑問詞</td><td>be動詞の使い分け</td></tr> <tr><td>6</td><td>第4課</td><td>estarとhay、所有語</td><td>be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形</td></tr> <tr><td>7</td><td>ボキャブラリ・コンテスト</td><td>基本単語の確認</td><td>—————</td></tr> <tr><td>8</td><td>第5課</td><td>一般動詞の規則活用</td><td>よく使う動詞の意味、活用</td></tr> <tr><td>9</td><td>第5課</td><td>目的格の代名詞</td><td>「～を」と「…に」の代名詞、</td></tr> <tr><td>10</td><td>第6課</td><td>不規則変化動詞、gustar</td><td>日本語と主語・目的語が逆になる動詞</td></tr> <tr><td>11</td><td>第6課</td><td>gustar型動詞 指示語</td><td>表現パターンに慣れる</td></tr> <tr><td>12</td><td>第7課</td><td>その他の動詞、不定語</td><td>不規則動詞</td></tr> <tr><td>13</td><td>第7課</td><td>不定語</td><td>さまざまな不定語(だれか、何かなど)</td></tr> <tr><td>14</td><td>第8課</td><td>再帰動詞、無人称表現</td><td>自動詞と他動詞の区別</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td><td>これまでの復習・確認テスト</td><td>—————</td></tr> </tbody> </table>	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	第1課	アルファベットと発音	個々の音	2	第2課	名詞と冠詞	それぞれの形と用法	3	第2課	形容詞・数詞など	これまでの確認と復習	4	第3課	主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞	主語になる代名詞、serとestarの活用	5	第3課	serとestar、疑問詞	be動詞の使い分け	6	第4課	estarとhay、所有語	be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形	7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語の確認	—————	8	第5課	一般動詞の規則活用	よく使う動詞の意味、活用	9	第5課	目的格の代名詞	「～を」と「…に」の代名詞、	10	第6課	不規則変化動詞、gustar	日本語と主語・目的語が逆になる動詞	11	第6課	gustar型動詞 指示語	表現パターンに慣れる	12	第7課	その他の動詞、不定語	不規則動詞	13	第7課	不定語	さまざまな不定語(だれか、何かなど)	14	第8課	再帰動詞、無人称表現	自動詞と他動詞の区別	15	まとめ	これまでの復習・確認テスト	—————
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																														
1	第1課	アルファベットと発音	個々の音																																																														
2	第2課	名詞と冠詞	それぞれの形と用法																																																														
3	第2課	形容詞・数詞など	これまでの確認と復習																																																														
4	第3課	主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞	主語になる代名詞、serとestarの活用																																																														
5	第3課	serとestar、疑問詞	be動詞の使い分け																																																														
6	第4課	estarとhay、所有語	be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形																																																														
7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語の確認	—————																																																														
8	第5課	一般動詞の規則活用	よく使う動詞の意味、活用																																																														
9	第5課	目的格の代名詞	「～を」と「…に」の代名詞、																																																														
10	第6課	不規則変化動詞、gustar	日本語と主語・目的語が逆になる動詞																																																														
11	第6課	gustar型動詞 指示語	表現パターンに慣れる																																																														
12	第7課	その他の動詞、不定語	不規則動詞																																																														
13	第7課	不定語	さまざまな不定語(だれか、何かなど)																																																														
14	第8課	再帰動詞、無人称表現	自動詞と他動詞の区別																																																														
15	まとめ	これまでの復習・確認テスト	—————																																																														
関連科目	スペイン語入門A、C 総合スペイン語																																																																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎</td> <td></td> <td>摂南大学</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学																																																														
2																																																																	
3																																																																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>西和中辞典</td> <td>高垣ほか</td> <td>小学館</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	西和中辞典	高垣ほか	小学館	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1	西和中辞典	高垣ほか	小学館																																																														
2																																																																	
3																																																																	
評価方法(基準)	<p>スペイン語入門A、Cと合わせて評価する。</p> <p>2週間に1度ほどの割合で理解度確認テストをする。</p> <p>最終週に全既習範囲を対象とした到達度確認テストをする。</p> <p>平常点と合わせて評価する。その比重については初回授業時に説明する。</p> <p>配布する「基本単語集」をもとに、毎回、単語テストを行う。また、ボキャブラリ・コンテストも実施(時期未定)</p>																																																																
学生へのメッセージ	最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまづき転びながらマスターしていきましょう。																																																																
担当者の研究室等	7号館5階(篠原研究室)																																																																
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。																																																																

科目名	スペイン語入門B	科目名(英文)	Introduction to Spanish B
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	岡 あゆみ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「スペイン語入門A、C」と同じ教科書を使い、リレー式でスペイン語の論理(文法)を学ぶ。そのため、必ず「入門A、C」と合わせて受講すること。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も大きな要素として欠かせないので、しばしば小テストを課す。 																																																																
到達目標	スペイン語の文法事項のうち、主語や目的語になる名詞とそれを修飾する冠詞・形容詞、および動詞の現在形の活用と用法をマスターする。基本語彙(約500語)を覚える。																																																																
授業方法及び留意点	授業では文法説明および例文解説の後、練習問題を通して理解の確認をする。宿題として出された課題は必ず自力でチャレンジしてみる。																																																																
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定6級																																																																
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>第1課</td><td>アルファベットと発音</td><td>個々の音</td></tr> <tr><td>2</td><td>第2課</td><td>名詞と冠詞</td><td>それぞれの形と用法</td></tr> <tr><td>3</td><td>第2課</td><td>形容詞・数詞など</td><td>これまでの確認と復習</td></tr> <tr><td>4</td><td>第3課</td><td>主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞</td><td>主語になる代名詞、serとestarの活用</td></tr> <tr><td>5</td><td>第3課</td><td>serとestar、疑問詞</td><td>be動詞の使い分け</td></tr> <tr><td>6</td><td>第4課</td><td>estarとhay、所有語</td><td>be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形</td></tr> <tr><td>7</td><td>ボキャブラリ・コンテスト</td><td>基本単語の確認</td><td>総復習</td></tr> <tr><td>8</td><td>第5課</td><td>一般動詞の規則活用</td><td>よく使う動詞の意味、活用</td></tr> <tr><td>9</td><td>第5課</td><td>目的格の代名詞</td><td>「～を」と「…に」の代名詞、</td></tr> <tr><td>10</td><td>第6課</td><td>不規則変化動詞、gustar</td><td>日本語と主語・目的語が逆になる動詞</td></tr> <tr><td>11</td><td>第6課</td><td>gustar型動詞 指示語</td><td>表現パターンに慣れる</td></tr> <tr><td>12</td><td>第7課</td><td>その他の動詞、不定語</td><td>不規則動詞</td></tr> <tr><td>13</td><td>第7課</td><td>不定語</td><td>さまざまな不定語(だれか、何かなど)</td></tr> <tr><td>14</td><td>第8課</td><td>再帰動詞、無人称表現</td><td>自動詞と他動詞の区別</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td><td>これまでの復習・確認テスト</td><td>総復習</td></tr> </tbody> </table>	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	第1課	アルファベットと発音	個々の音	2	第2課	名詞と冠詞	それぞれの形と用法	3	第2課	形容詞・数詞など	これまでの確認と復習	4	第3課	主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞	主語になる代名詞、serとestarの活用	5	第3課	serとestar、疑問詞	be動詞の使い分け	6	第4課	estarとhay、所有語	be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形	7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語の確認	総復習	8	第5課	一般動詞の規則活用	よく使う動詞の意味、活用	9	第5課	目的格の代名詞	「～を」と「…に」の代名詞、	10	第6課	不規則変化動詞、gustar	日本語と主語・目的語が逆になる動詞	11	第6課	gustar型動詞 指示語	表現パターンに慣れる	12	第7課	その他の動詞、不定語	不規則動詞	13	第7課	不定語	さまざまな不定語(だれか、何かなど)	14	第8課	再帰動詞、無人称表現	自動詞と他動詞の区別	15	まとめ	これまでの復習・確認テスト	総復習
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																														
1	第1課	アルファベットと発音	個々の音																																																														
2	第2課	名詞と冠詞	それぞれの形と用法																																																														
3	第2課	形容詞・数詞など	これまでの確認と復習																																																														
4	第3課	主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞	主語になる代名詞、serとestarの活用																																																														
5	第3課	serとestar、疑問詞	be動詞の使い分け																																																														
6	第4課	estarとhay、所有語	be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形																																																														
7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語の確認	総復習																																																														
8	第5課	一般動詞の規則活用	よく使う動詞の意味、活用																																																														
9	第5課	目的格の代名詞	「～を」と「…に」の代名詞、																																																														
10	第6課	不規則変化動詞、gustar	日本語と主語・目的語が逆になる動詞																																																														
11	第6課	gustar型動詞 指示語	表現パターンに慣れる																																																														
12	第7課	その他の動詞、不定語	不規則動詞																																																														
13	第7課	不定語	さまざまな不定語(だれか、何かなど)																																																														
14	第8課	再帰動詞、無人称表現	自動詞と他動詞の区別																																																														
15	まとめ	これまでの復習・確認テスト	総復習																																																														
関連科目	スペイン語入門A、C 総合スペイン語/スペイン語応用I																																																																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎</td> <td></td> <td>摂南大学</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学																																																														
2																																																																	
3																																																																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>西和中辞典</td> <td>高垣ほか</td> <td>小学館</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	西和中辞典	高垣ほか	小学館	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1	西和中辞典	高垣ほか	小学館																																																														
2																																																																	
3																																																																	
評価方法(基準)	<p>スペイン語入門A、Cと合わせて評価する。</p> <p>2週間に1度ほどの割合で理解度確認テストをする。</p> <p>最終週に全既習範囲を対象とした到達度確認テストをする。</p> <p>平常点と合わせて評価する。その比重については初回授業時に説明する。</p> <p>配布する「基本単語集」をもとに、毎回、単語テストを行う。また、ボキャブラリ・コンテストも実施(時期未定)</p>																																																																
学生へのメッセージ	最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまづき転びながらマスターしていきましょう。																																																																
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。																																																																

科目名	スペイン語入門C	科目名(英文)	Introduction to Spanish C
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	梶原 三佳
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「スペイン語入門A、B」と同じ教科書を使い、リレー式でスペイン語の論理(文法)を学ぶ。そのため、必ず「入門A、B」と合わせて受講すること。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も大きな要素として欠かせないので、しばしば小テストを課す。 																																																																
到達目標	スペイン語の文法事項のうち、主語や目的語になる名詞とそれを修飾する冠詞・形容詞、および動詞の現在形の活用と用法をマスターする。基本語彙(約500語)を覚える。																																																																
授業方法及び留意点	授業では文法説明および例文解説の後、練習問題を通して理解の確認をする。宿題として出された課題は必ず自力でチャレンジしてみることを。																																																																
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定6級																																																																
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>第1課</td><td>アルファベットと発音</td><td>個々の音</td></tr> <tr><td>2</td><td>第2課</td><td>名詞と冠詞</td><td>それぞれの形と用法</td></tr> <tr><td>3</td><td>第2課</td><td>形容詞・数詞など</td><td>これまでの確認と復習</td></tr> <tr><td>4</td><td>第3課</td><td>主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞</td><td>主語になる代名詞、serとestarの活用</td></tr> <tr><td>5</td><td>第3課</td><td>serとestar、疑問詞</td><td>be動詞の使い分け</td></tr> <tr><td>6</td><td>第4課</td><td>estarとhay、所有語</td><td>be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形</td></tr> <tr><td>7</td><td>ボキャブラリ・コンテスト</td><td>基本単語の確認</td><td>総復習</td></tr> <tr><td>8</td><td>第5課</td><td>一般動詞の規則活用</td><td>よく使う動詞の意味、活用</td></tr> <tr><td>9</td><td>第5課</td><td>目的格の代名詞</td><td>「～を」と「…に」の代名詞、</td></tr> <tr><td>10</td><td>第6課</td><td>不規則変化動詞、gustar</td><td>日本語と主語・目的語が逆になる動詞</td></tr> <tr><td>11</td><td>第6課</td><td>gustar型動詞 指示語</td><td>表現パターンに慣れる</td></tr> <tr><td>12</td><td>第7課</td><td>その他の動詞、不定語</td><td>不規則動詞</td></tr> <tr><td>13</td><td>第7課</td><td>不定語</td><td>さまざまな不定語(だれか、何かなど)</td></tr> <tr><td>14</td><td>第8課</td><td>再帰動詞、無人称表現</td><td>自動詞と他動詞の区別</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td><td>これまでの復習・確認テスト</td><td>総復習</td></tr> </tbody> </table>	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	第1課	アルファベットと発音	個々の音	2	第2課	名詞と冠詞	それぞれの形と用法	3	第2課	形容詞・数詞など	これまでの確認と復習	4	第3課	主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞	主語になる代名詞、serとestarの活用	5	第3課	serとestar、疑問詞	be動詞の使い分け	6	第4課	estarとhay、所有語	be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形	7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語の確認	総復習	8	第5課	一般動詞の規則活用	よく使う動詞の意味、活用	9	第5課	目的格の代名詞	「～を」と「…に」の代名詞、	10	第6課	不規則変化動詞、gustar	日本語と主語・目的語が逆になる動詞	11	第6課	gustar型動詞 指示語	表現パターンに慣れる	12	第7課	その他の動詞、不定語	不規則動詞	13	第7課	不定語	さまざまな不定語(だれか、何かなど)	14	第8課	再帰動詞、無人称表現	自動詞と他動詞の区別	15	まとめ	これまでの復習・確認テスト	総復習
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																														
1	第1課	アルファベットと発音	個々の音																																																														
2	第2課	名詞と冠詞	それぞれの形と用法																																																														
3	第2課	形容詞・数詞など	これまでの確認と復習																																																														
4	第3課	主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞	主語になる代名詞、serとestarの活用																																																														
5	第3課	serとestar、疑問詞	be動詞の使い分け																																																														
6	第4課	estarとhay、所有語	be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形																																																														
7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語の確認	総復習																																																														
8	第5課	一般動詞の規則活用	よく使う動詞の意味、活用																																																														
9	第5課	目的格の代名詞	「～を」と「…に」の代名詞、																																																														
10	第6課	不規則変化動詞、gustar	日本語と主語・目的語が逆になる動詞																																																														
11	第6課	gustar型動詞 指示語	表現パターンに慣れる																																																														
12	第7課	その他の動詞、不定語	不規則動詞																																																														
13	第7課	不定語	さまざまな不定語(だれか、何かなど)																																																														
14	第8課	再帰動詞、無人称表現	自動詞と他動詞の区別																																																														
15	まとめ	これまでの復習・確認テスト	総復習																																																														
関連科目	スペイン語入門A、B 総合スペイン語/スペイン語応用I																																																																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎</td> <td></td> <td>摂南大学</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学																																																														
2																																																																	
3																																																																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>西和中辞典</td> <td>高垣ほか</td> <td>小学館</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	西和中辞典	高垣ほか	小学館	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1	西和中辞典	高垣ほか	小学館																																																														
2																																																																	
3																																																																	
評価方法(基準)	<p>スペイン語入門A、Bと合わせて評価する。</p> <p>2週間に1度ほどの割合で理解度確認テストをする。</p> <p>最終週に全既習範囲を対象とした到達度確認テストをする。</p> <p>平常点と合わせて評価する。その比重については初回授業時に説明する。</p> <p>配布する「基本単語集」をもとに、毎回、単語テストを行う。また、ボキャブラリ・コンテストも実施(時期未定)</p>																																																																
学生へのメッセージ	最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまづき転びながらマスターしていきましょう。																																																																
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師控え室)																																																																
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。																																																																

科目名	スペイン語入門C	科目名(英文)	Introduction to Spanish C
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	酒井 真梨奈
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「スペイン語入門A、B」と同じ教科書を使い、リレー式でスペイン語の論理(文法)を学ぶ。そのため、必ず「入門A、B」と合わせて受講すること。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も大きな要素として欠かせないので、しばしば小テストを課す。 																																																																
到達目標	スペイン語の文法事項のうち、主語や目的語になる名詞とそれを修飾する冠詞・形容詞、および動詞の現在形の活用と用法をマスターする。基本語彙(約500語)を覚える。																																																																
授業方法及び留意点	授業では文法説明および例文解説の後、練習問題を通して理解の確認をする。宿題として出された課題は必ず自力でチャレンジしてみる。																																																																
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定6級																																																																
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>第1課</td><td>アルファベットと発音</td><td>個々の音</td></tr> <tr><td>2</td><td>第2課</td><td>名詞と冠詞</td><td>それぞれの形と用法</td></tr> <tr><td>3</td><td>第2課</td><td>形容詞・数詞など</td><td>これまでの確認と復習</td></tr> <tr><td>4</td><td>第3課</td><td>主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞</td><td>主語になる代名詞、serとestarの活用</td></tr> <tr><td>5</td><td>第3課</td><td>serとestar、疑問詞</td><td>be動詞の使い分け</td></tr> <tr><td>6</td><td>第4課</td><td>estarとhay、所有語</td><td>be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形</td></tr> <tr><td>7</td><td>ボキャブラリ・コンテスト</td><td>基本単語の確認</td><td>総復習</td></tr> <tr><td>8</td><td>第5課</td><td>一般動詞の規則活用</td><td>よく使う動詞の意味、活用</td></tr> <tr><td>9</td><td>第5課</td><td>目的格の代名詞</td><td>「～を」と「…に」の代名詞、</td></tr> <tr><td>10</td><td>第6課</td><td>不規則変化動詞、gustar</td><td>日本語と主語・目的語が逆になる動詞</td></tr> <tr><td>11</td><td>第6課</td><td>gustar型動詞 指示語</td><td>表現パターンに慣れる</td></tr> <tr><td>12</td><td>第7課</td><td>その他の動詞、不定語</td><td>不規則動詞</td></tr> <tr><td>13</td><td>第7課</td><td>不定語</td><td>さまざまな不定語(だれか、何かなど)</td></tr> <tr><td>14</td><td>第8課</td><td>再帰動詞、無人称表現</td><td>自動詞と他動詞の区別</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td><td>これまでの復習・確認テスト</td><td>総復習</td></tr> </tbody> </table>	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	第1課	アルファベットと発音	個々の音	2	第2課	名詞と冠詞	それぞれの形と用法	3	第2課	形容詞・数詞など	これまでの確認と復習	4	第3課	主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞	主語になる代名詞、serとestarの活用	5	第3課	serとestar、疑問詞	be動詞の使い分け	6	第4課	estarとhay、所有語	be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形	7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語の確認	総復習	8	第5課	一般動詞の規則活用	よく使う動詞の意味、活用	9	第5課	目的格の代名詞	「～を」と「…に」の代名詞、	10	第6課	不規則変化動詞、gustar	日本語と主語・目的語が逆になる動詞	11	第6課	gustar型動詞 指示語	表現パターンに慣れる	12	第7課	その他の動詞、不定語	不規則動詞	13	第7課	不定語	さまざまな不定語(だれか、何かなど)	14	第8課	再帰動詞、無人称表現	自動詞と他動詞の区別	15	まとめ	これまでの復習・確認テスト	総復習
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																														
1	第1課	アルファベットと発音	個々の音																																																														
2	第2課	名詞と冠詞	それぞれの形と用法																																																														
3	第2課	形容詞・数詞など	これまでの確認と復習																																																														
4	第3課	主格人称代名詞とスペイン語のbe動詞	主語になる代名詞、serとestarの活用																																																														
5	第3課	serとestar、疑問詞	be動詞の使い分け																																																														
6	第4課	estarとhay、所有語	be動詞の使い分け、所有格前置形と後置形																																																														
7	ボキャブラリ・コンテスト	基本単語の確認	総復習																																																														
8	第5課	一般動詞の規則活用	よく使う動詞の意味、活用																																																														
9	第5課	目的格の代名詞	「～を」と「…に」の代名詞、																																																														
10	第6課	不規則変化動詞、gustar	日本語と主語・目的語が逆になる動詞																																																														
11	第6課	gustar型動詞 指示語	表現パターンに慣れる																																																														
12	第7課	その他の動詞、不定語	不規則動詞																																																														
13	第7課	不定語	さまざまな不定語(だれか、何かなど)																																																														
14	第8課	再帰動詞、無人称表現	自動詞と他動詞の区別																																																														
15	まとめ	これまでの復習・確認テスト	総復習																																																														
関連科目	スペイン語入門A、B 総合スペイン語I/スペイン語応用I																																																																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎</td> <td></td> <td>摂南大学</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1	摂南大学 スペイン語1年教科書 入門&基礎		摂南大学																																																														
2																																																																	
3																																																																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>西和中辞典</td> <td>高垣ほか</td> <td>小学館</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	西和中辞典	高垣ほか	小学館	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1	西和中辞典	高垣ほか	小学館																																																														
2																																																																	
3																																																																	
評価方法(基準)	<p>スペイン語入門A、Bと合わせて評価する。</p> <p>2週間に1度ほどの割合で理解度確認テストをする。</p> <p>最終週に全既習範囲を対象とした到達度確認テストをする。</p> <p>平常点と合わせて評価する。その比重については初回授業時に説明する。</p> <p>配布する「基本単語集」をもとに、毎回、単語テストを行う。また、ボキャブラリ・コンテストも実施(時期未定)</p>																																																																
学生へのメッセージ	最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまづき転びながらマスターしていきましょう。																																																																
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師控室)																																																																
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。																																																																

科目名	スペイン語文章構成 I	科目名 (英文)	Spanish Composition I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	北條 ゆかり
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	文型をきちんと理解することを通して、スペイン語での文章表現が正確にできる力を養う。 与えられた共通テーマのもと、まず日本語で作文し、それをスペイン語に訳した短いスピーチ原稿を作成し、添削を受けた後、暗唱し発表する。これを後期に行うスピーチ・コンテストの試行体験と位置づける。
到達目標	語彙をより豊かにしつつ、正確な文章表現ができるようになる。
授業方法と留意点	与えられた練習問題を必ず解いたうえで授業に臨み、受講生の板書に対する添削と説明を聴き、和文西訳に慣れる。 「総合A」と「総合B」で学ぶ接続法はスペイン語で頻繁に用いられるため、本科目と密接に関連している。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 5級～4級 (4級合格には接続法の理解が必要です。)

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	直接法のさまざまな時制と用法の復習	現在時制を中心とする作文 文型の基本的説明	動詞の的確な運用・正確な活用と語彙
2	直接法のさまざまな時制と用法の復習	現在完了を中心とする作文 再帰動詞の用法解説	動詞の的確な運用と語彙
3	直接法のさまざまな時制と用法の復習	点過去と線過去の使い分けを習得するための作文	時間の経過の表現や語彙をまとめる。
4	直接法のさまざまな時制と用法の復習	過去完了の用法を理解するための作文	スピーチ原稿を日本語で準備する。
5	直接法のさまざまな時制と用法の復習 スピーチ原稿のスペイン語訳 (1)	未来と過去未来を用いる作文 日本語原稿をもとに、スペイン語訳の添削指導を受けつつ完成させる	必要に応じた日本語原稿の練り直しとスペイン語訳
6	接続法の用法についての総合的理解 スピーチ原稿のスペイン語訳 (2)	接続法現在を用いた独立文と命令文の文章表現 添削を受けた翻訳原稿の熟読 (この段階でスペイン語訳原稿を完成させる)	接続法現在の活用確認 西訳原稿の加筆修正
7	接続法の用法についての総合的理解 スピーチ原稿のスペイン語訳 (3)	名詞節で接続法を用いる作文 原稿の音読練習をし、暗唱する	「総合スペイン語A・B」で学んだ内容の復習 (名詞節で接続法を用いるべき主動詞)、接続法現在完了の活用確認 完成原稿提出
8	接続法の用法についての総合的理解 スピーチの発表	形容詞節で接続法を用いる作文 相互評価とこれからの課題確認	関係詞の復習 事前に、発音、イントネーション、表現力などの指導は行うが、「オラル」のネイティブ教員からも必ずアドバイスを受けておく
9	接続法の用法についての総合的理解	副詞節で接続法を用いる作文	接続法過去の活用確認 よく用いる接続詞 (句) の再確認
10	接続法の用法についての総合的理解	条件文の作文	接続法過去完了、直説法過去未来の活用確認
11	接続法の用法についての総合的理解	条件文の作文	直説法過去未来完了の活用確認
12	直接話法と間接話法	時制の一致を要する作文	直説法のすべての時制の再確認
13	疑問文の表現	いろいろな意味の質問を行うための作文	疑問詞の種類と用法
14	gustar 型動詞の用法	好み、興味・関心、さまざまな感情表現などの作文	gustar 型動詞のリストを作る
15	これまでの学習内容の確認	目標到達達成判定テスト	総復習

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (練習問題の予習・提出物・小テスト・スピーチの作成過程など) および目標到達達成判定テスト
-----------	---

学生へのメッセージ	スペイン語で正しく文章が書けるようになるために、数多く作文練習を積み重ねましょう。訳す文章の内容を徐々に深めていきます。毎回必ず、配布された練習問題を解く予習を欠かさないこと。 自分の主張や固有の体験を短くとも「聞かせる」日本語で書き、スペイン語に訳した原稿を暗唱し発表する、初めてのスピーチに挑戦してもらいます。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館5階 北條研究室
----------	-------------

備考	語彙力を養うために、ポキャブラリ・コンテストのための単語リストを最大限活用してください。 事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。
----	--

科目名	スペイン語文章構成 I	科目名 (英文)	Spanish Composition I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	林 安紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	文型をきちんと理解することを通して、スペイン語での文章表現が正確にできる力を養う。 与えられた共通テーマのもと、まず日本語で作文し、それをスペイン語に訳した短いスピーチ原稿を作成し、添削を受けた後、暗唱し発表する。これを後期に行うスピーチ・コンテストの試行体験と位置づける。
到達目標	語彙をより豊かにしつつ、正確な文章表現ができるようになる。
授業方法と留意点	与えられた練習問題を必ず解いたうえで授業に臨み、受講生の板書に対する添削と説明を聴き、和文西訳に慣れる。 「総合A」と「総合B」で学ぶ接続法はスペイン語で頻繁に用いられるため、本科目と密接に関連している。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 5級～4級 (4級合格には接続法の理解が必要です。)

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	直接法のさまざまな時制と用法の復習	現在完了を中心とする作文 再帰動詞の用法解説	動詞の的確な運用と語彙
3	直接法のさまざまな時制と用法の復習	点過去と線過去の使い分けを習得するための作文	時間の経過の表現や語彙をまとめる。
4	直接法のさまざまな時制と用法の復習	過去完了の用法を理解するための作文	スピーチ原稿を日本語で準備する。
5	直接法のさまざまな時制と用法の復習 スピーチ原稿のスペイン語訳 (1)	未来と過去未来を用いる作文 日本語原稿をもとに、スペイン語訳の添削指導を受けつつ完成させる	必要に応じた日本語原稿の練り直しとスペイン語訳
6	接続法の用法についての総合的理解 スピーチ原稿のスペイン語訳 (2)	接続法現在を用いた独立文と命令文の文章表現 添削を受けた翻訳原稿の熟読 (この段階でスペイン語訳原稿を完成させる)	接続法現在の活用確認 西訳原稿の加筆修正
7	接続法の用法についての総合的理解 スピーチ原稿のスペイン語訳 (3)	名詞節で接続法を用いる作文 原稿の音読練習をし、暗唱する	「総合スペイン語A・B」で学んだ内容の復習 (名詞節で接続法を用いるべき主動詞)、接続法現在完了の活用確認 完成原稿提出
8	接続法の用法についての総合的理解 スピーチの発表	形容詞節で接続法を用いる作文 相互評価とこれからの課題確認	関係詞の復習 事前に、発音、イントネーション、表現力などの指導は行うが、「オラル」のネイティブ教員からも必ずアドバイスを受けておく
9	接続法の用法についての総合的理解	副詞節で接続法を用いる作文	接続法過去の活用確認 よく用いる接続詞 (句) の再確認
10	接続法の用法についての総合的理解	条件文の作文	接続法過去完了、直説法過去未来の活用確認
11	接続法の用法についての総合的理解	条件文の作文	直説法過去未来完了の活用確認
12	直接話法と間接話法	時制の一致を要する作文	直説法のすべての時制の再確認
13	疑問文の表現	いろいろな意味の質問を行うための作文	疑問詞の種類と用法
14	gustar 型動詞の用法	好み、興味・関心、さまざまな感情表現などの作文	gustar 型動詞のリストを作る
15	これまでの学習内容の確認	目標到達達成判定テスト	総復習

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (練習問題の予習・提出物・小テスト・スピーチの作成過程など) および目標到達度判定テスト
-----------	--

学生へのメッセージ	スペイン語で正しく文章が書けるようになるために、数多く作文練習を積み重ねましょう。訳す文章の内容を徐々に深めていきます。毎回必ず、配布された練習問題を解く予習を欠かさないこと。 自分の主張や固有の体験を短くとも「聞かせる」日本語で書き、スペイン語に訳した原稿を暗唱し発表する、初めてのスピーチに挑戦してもらいます。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	語彙力を養うために、ボキャブラリ・コンテストのための単語リストを最大限活用してください。 事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。
----	--

科目名	スペイン語文章構成Ⅱ	科目名(英文)	Spanish Composition II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	北條 ゆかり
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	ただ単に文法的に正しいスペイン語を書けるようになるだけでなく、スペイン語らしい発想にもとづいた文が書けるようになることをめざす。後期前半は構文習得のための文章作法を、後半はテーマ別の作文練習を行うことで系統立った語彙力養成を中心に学習する。11月末に行うスペイン語スピーチコンテストの原稿作成に重点を置く。日本語原稿を夏休み前までに完成し、夏休み中にスペイン語訳に取り組み、後期初回の授業で提出する。10月半ばまでに添削を受け、音読と暗唱の練習を行う。詳しくは前期末に配布する実施要領を参照すること。
到達目標	大学入試程度の英作文の問題がスペイン語でできることが到達目標のめやすである。
授業方法と留意点	日本語をスペイン語に表現した場合、唯一の答えはない。いつも様々な表現や可能性を追究しながら、表現力を豊かにしていくことが重要である。毎回必ず問題を解き(作文し)授業に臨まなければ、出席したことにはならない。テーマ別および品詞別に独自の語彙リストを作成することを、後期を通じての課題とする。 理解度やスピーチ・コンテストの日程により、授業内容の順番が入れ替わることもある。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定4級(6月に不合格であった者は、10月の受験で合格をめざす。)

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	無人称表現	和文西訳 スピーチ原稿指導	再帰動詞の復習
3	現在分詞を用いた分詞構文	和文西訳 スピーチ原稿指導	現在分詞不規則形の確認
4	過去分詞を用いた分詞構文	和文西訳 スピーチ原稿指導	過去分詞不規則形の確認
5	受け身表現	和文西訳 スピーチ原稿指導	日本語との表現方法の違いを理解する
6	婉曲表現	和文西訳 スピーチ原稿指導	直接法過去未来の活用確認
7	関係詞を用いる文章表現	和文西訳 スピーチ原稿指導	さまざまな関係代名詞、関係副詞の復習
8	テーマ別作文(大学生生活)	和文西訳 スピーチ原稿指導	大学生生活に関する語彙リスト作成
9	テーマ別作文(外国語と勉学)	和文西訳 スピーチ原稿指導	外国語とその文化を学ぶための語彙リスト作成
10	テーマ別作文(旅行・留学)	和文西訳 コンテスト直前スピーチ指導	旅行・留学に必要な語彙リスト作成
11	テーマ別作文(料理・食事)	和文西訳	料理文化に関する語彙リスト作成
12	テーマ別作文(人間関係)	和文西訳	人間関係、家族生活、感情表現に関する語彙リスト作成
13	テーマ別作文(エネルギー・環境問題)	和文西訳	エネルギー資源、環境問題に関する語彙リスト作成
14	テーマ別作文(通信手段)	和文西訳	通信手段に関する語彙リスト作成
15	学習事項の確認	到達目標達成度確認テスト	総復習

関連科目	スペイン語科目全般
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(練習問題の予習・提出物・小テスト・スピーチの作成過程)および到達目標達成度判定テスト
----------	--

学生へのメッセージ	前期に続いて、後期ではより内容の深いスピーチをめざし、日本語原稿作成・添削段階からスペイン語訳・添削、朗読練習を経て暗唱・発表をやり遂げてもらいます。夏休み前に配布する実施要領に従って準備を怠らないこと。全国レベルのスペイン語弁論大会への出場もめざしましょう。この作業を通じて、自分の思ったことをスペイン語で表現する楽しみをみつけてください。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館5階 北條研究室
----------	-------------

備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。
----	------------------------------

科目名	スペイン語文章構成Ⅱ	科目名(英文)	Spanish Composition II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	林 安紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	ただ単に文法的に正しいスペイン語を書けるようになるだけでなく、スペイン語らしい発想にもとづいた文が書けるようになることをめざす。後期前半は構文習得のための文章作法を、後半はテーマ別の作文練習を行うことで系統立った語彙力養成を中心に学習する。11月末に行うスペイン語スピーチコンテストの原稿作成に重点を置く。日本語原稿を夏休み前までに完成し、夏休み中にスペイン語訳に取り組み、後期初回の授業で提出する。10月半ばまでに添削を受け、音読と暗唱の練習を行う。詳しくは前期末に配布する実施要領を参照すること。
到達目標	大学入試程度の英作文の問題がスペイン語でできることが到達目標のめやすである。
授業方法と留意点	日本語をスペイン語に表現した場合、唯一の答えはない。いつも様々な表現や可能性を追究しながら、表現力を豊かにしていくことが重要である。毎回必ず問題を解き(作文し)授業に臨まなければ、出席したことにはならない。テーマ別および品詞別に独自の語彙リストを作成することを、後期を通じての課題とする。 理解度やスピーチ・コンテストの日程により、授業内容の順番が入れ替わることもある。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定4級(6月に不合格であった者は、10月の受験で合格をめざす。)

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	無人称表現	和文西訳 スピーチ原稿指導	再帰動詞の復習
3	現在分詞を用いた分詞構文	和文西訳 スピーチ原稿指導	現在分詞不規則形の確認
4	過去分詞を用いた分詞構文	和文西訳 スピーチ原稿指導	過去分詞不規則形の確認
5	受け身表現	和文西訳 スピーチ原稿指導	日本語との表現方法の違いを理解する
6	婉曲表現	和文西訳 スピーチ原稿指導	直接法過去未来の活用確認
7	関係詞を用いる文章表現	和文西訳 スピーチ原稿指導	さまざまな関係代名詞、関係副詞の復習
8	テーマ別作文(大学生生活)	和文西訳 スピーチ原稿指導	大学生生活に関する語彙リスト作成
9	テーマ別作文(外国語と勉学)	和文西訳 スピーチ原稿指導	外国語とその文化を学ぶための語彙リスト作成
10	テーマ別作文(旅行・留学)	和文西訳 コンテスト直前スピーチ指導	旅行・留学に必要な語彙リスト作成
11	テーマ別作文(料理・食事)	和文西訳	料理文化に関する語彙リスト作成
12	テーマ別作文(人間関係)	和文西訳	人間関係、家族生活、感情表現に関する語彙リスト作成
13	テーマ別作文(エネルギー・環境問題)	和文西訳	エネルギー資源、環境問題に関する語彙リスト作成
14	テーマ別作文(通信手段)	和文西訳	通信手段に関する語彙リスト作成
15	学習事項の確認	到達目標達成度確認テスト	総復習

関連科目	スペイン語科目全般
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(練習問題の予習・提出物・小テスト・スピーチの作成過程)および到達目標達成度判定テスト
----------	--

学生へのメッセージ	前期に続いて、後期ではより内容の深いスピーチをめざし、日本語原稿作成・添削段階からスペイン語訳・添削、朗読練習を経て暗唱・発表をやり遂げてもらいます。夏休み前に配布する実施要領に従って準備を怠らないこと。全国レベルのスペイン語弁論大会への出場もめざしましょう。この作業を通じて、自分の思ったことをスペイン語で表現する楽しみをみつけてください。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。

科目名	スペイン語文章構成Ⅲ	科目名(英文)	Spanish Composition III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	磯野 吉美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	既に習得した文法知識を使い、日本語とスペイン語の違いを考えながら、テーマごとに作成された和文(プリント配布)を西訳する練習をします。			
到達目標	日常的なテーマだけでなく政治や経済などに関するテーマを扱うことで、語彙力をさらに強化できます。			
授業方法と留意点	文法事項を復習しながら、和文西訳の練習を通じて知識の定着を目指します。			
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業の概要、評価基準について 既習文法事項の復習(無人称文など)	直説法と接続法の活用
	2	旅行	和文西訳	和文西訳、新出語彙の整理
	3	料理と食事	和文西訳	和文西訳、新出語彙の整理
	4	買い物	和文西訳	和文西訳、新出語彙の整理
	5	娯楽	和文西訳	和文西訳、新出語彙の整理
	6	健康と病気	和文西訳	和文西訳、新出語彙の整理
	7	読書	和文西訳	和文西訳、新出語彙の整理
	8	前半のまとめ	既習項目の復習と中間テスト	新出語彙の整理と動詞活用の復習
	9	交通	和文西訳	和文西訳、新出語彙の整理
	10	天気	和文西訳	和文西訳、新出語彙の整理
	11	歴史的テーマ	和文西訳	和文西訳、新出語彙の整理
	12	大学	和文西訳	和文西訳、新出語彙の整理
	13	通信	和文西訳	和文西訳、新出語彙の整理
	14	人間関係	和文西訳	和文西訳、新出語彙の整理
	15	後半のまとめ	既習項目の復習と期末テスト	新出語彙の整理と動詞活用の復習
関連科目	スペイン語の科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	出席、授業態度、提出物、臨時試験(中間・期末)などを総合的に評価します。			
学生へのメッセージ	言語習得には、予習と復習は欠かせません。 スピーチ原稿作成に関しては、年頭に配布する実施要領に従って準備を怠らないこと。			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考				

科目名	スペイン語文章構成IV	科目名(英文)	Spanish Composition IV
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	磯野 吉美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	既に習得した文法知識を使い、日本語とスペイン語の違いを考えながらテーマごとに作成された和文（プリント配布）を西訳する練習をします。			
到達目標	日常的なテーマだけでなく政治や経済などに関するテーマを扱うことで、語彙力をさらに強化できます。			
授業方法と留意点	文法事項を復習しながら、和文西訳の練習を通じて知識の定着を目指します。 スピーチ・コンテストの原稿作成指導も随時行なうため、授業計画の進度に多少のずれが生じたり、単元の内容が変わることもあります。			
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	外国語学習と勉学	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳、新出語彙の整理 スピーチ原稿作成
	2	世界の安全	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳、新出語彙の整理
	3	家族、家庭	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳、新出語彙の整理
	4	現代社会と技術の進歩	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳、新出語彙の整理
	5	環境問題	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳、新出語彙の整理
	6	政治と経済	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳、新出語彙の整理
	7	前半のまとめ	既習項目の復習と中間テスト	新出語彙の整理と動詞活用の復習
	8	人生と修養	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳、新出語彙の整理
	9	季節	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳、新出語彙の整理
	10	国際関係	和文西訳	和文西訳、新出語彙の整理
	11	スポーツ	和文西訳	和文西訳、新出語彙の整理
	12	日本の文化・伝統	和文西訳	和文西訳、新出語彙の整理
	13	科学・社会	和文西訳	和文西訳、新出語彙の整理
	14	産業	和文西訳	西文和訳、新出語彙の整理
	15	後半のまとめ	既習項目の復習と期末テスト	新出語彙の整理と動詞活用の復習
関連科目	スペイン語の授業			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	出席、授業態度、提出物（スピーチ原稿など）、臨時試験（中間・期末）などを総合的に評価します。			
学生へのメッセージ	言語習得には、予習と復習は欠かせません。 スピーチ原稿作成に関しては、年頭に配布する実施要領に従って準備を怠らないこと。			
担当者の研究室等	7号館2階（非常勤講師室）			
備考				

科目名	スペイン語翻訳	科目名(英文)	Spanish-Japanese Translation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	森川 香織
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	19世紀になってラテンアメリカ諸国はスペインやポルトガルから独立。以後、文学の面でも独自の展開をしていく。やがて、20世紀後半、欧米の文学の行き詰まりもあって、ラテンアメリカ文学は世界的なブームを巻き起こす。この授業では、現代ラテンアメリカ文学を代表する作家とその作品を素材にして、ラテンアメリカ社会の抱える問題や人の生のありようを検討する。
到達目標	スペイン語の読解力を強化するとともに、正しい日本語に翻訳する能力を身につける。
授業方法と留意点	視聴覚教材を随時利用し、受講者に問いかけながら進める。なお、単元の順序が変わることがある。
科目学習の効果(資格)	スペイン語圏の社会、文化、歴史に関する理解が深まる

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション	授業の進め方について。翻訳について。課題とするテキストのコピーの配布。	配布されたコピーのスペイン語文の翻訳
2	日本語を考える	アルゼンチンの作家 Julio Cortázar の短編 Casa tomada を読み、翻訳する。原文と翻訳文の比較・検討。	各自、翻訳(日本語)文の検討、言葉遣いのチェック
3	日本語を考える	アルゼンチンの作家 Julio Cortázar の短編 Casa tomada を読み、翻訳する。原文と翻訳文の比較・検討。	各自、翻訳(日本語)文の検討、言葉遣いのチェック
4	日本語を考える	アルゼンチンの作家 Julio Cortázar の短編 Casa tomada を読み、翻訳する。原文と翻訳文の比較・検討。	各自、翻訳(日本語)文の検討、言葉遣いのチェック
5	日本語を考える	アルゼンチンの作家 Julio Cortázar の短編 Casa tomada を読み、翻訳する。原文と翻訳文の比較・検討。	各自、翻訳(日本語)文の検討、言葉遣いのチェック
6	日本語を考える	アルゼンチンの作家 Julio Cortázar の短編 Casa tomada を読み、翻訳する。原文と翻訳文の比較・検討。	各自、翻訳(日本語)文の検討、言葉遣いのチェック
7	日本語を考える	アルゼンチンの作家 Julio Cortázar の短編 Casa tomada を読み、翻訳する。原文と翻訳文の比較・検討。	各自、翻訳(日本語)文の検討、言葉遣いのチェック
8	短編の翻訳	メキシコの作家 Carlos Fuentes の短編 Chac Mool を読み、翻訳する。原文と翻訳文を比較・検討する。	各自、翻訳(日本語)文の検討、言葉遣いのチェック
9	短編の翻訳	メキシコの作家 Carlos Fuentes の短編 Chac Mool を読み、翻訳する。原文と翻訳文を比較・検討する。	各自、翻訳(日本語)文の検討、言葉遣いのチェック
10	短編の翻訳	メキシコの作家 Carlos Fuentes の短編 Chac Mool を読み、翻訳する。原文と翻訳文を比較・検討する。	各自、翻訳(日本語)文の検討、言葉遣いのチェック
11	短編の翻訳	メキシコの作家 Carlos Fuentes の短編 Chac Mool を読み、翻訳する。原文と翻訳文を比較・検討する。	各自、翻訳(日本語)文の検討、言葉遣いのチェック
12	短編の翻訳	メキシコの作家 Carlos Fuentes の短編 Chac Mool を読み、翻訳する。原文と翻訳文を比較・検討する。	各自、翻訳(日本語)文の検討、言葉遣いのチェック
13	短編の翻訳	メキシコの作家 Carlos Fuentes の短編 Chac Mool を読み、翻訳する。原文と翻訳文を比較・検討する。	各自、翻訳(日本語)文の検討、言葉遣いのチェック
14	短編の翻訳	メキシコの作家 Carlos Fuentes の短編 Chac Mool を読み、翻訳する。原文と翻訳文を比較・検討する。	各自、翻訳(日本語)文の検討、言葉遣いのチェック
15	初見のテキストの翻訳	短時間で正確な日本語に訳せるかどうかをチェックする。	—————

関連科目 「翻訳文化論」、「スペイン語」と冠した講義

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	現代ラテンアメリカ文学併走	安藤哲行	松籟社
2	ラテンアメリカ十大小説	木村榮一	岩波新書	
3	翻訳家の仕事	岩波書店編集部編	岩波新書	

評価方法(基準) 予習・復習、提出物、15回目に行う短編の翻訳等を総合的に判断する。

学生へのメッセージ 日本語文をたくさん読んで語彙力を高めてください。

担当者の研究室等 7号館2階(非常勤講師控室)

科目名	スペインの社会と文化	科目名(英文)	Spanish Society and Culture
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	磯野 吉美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペインと聞けば、サッカーをすぐに連想されるかもしれません。あるいは、フラメンコや闘牛を。しかし、スペインのあるイベリア半島はギリシア以降、古代ローマ、イスラムなど様々な歴史的要因に動かされて、様々な人種的・文化的混交が進み、その遺産が現在のスペインの観光の大きな資産にもなっています。この講義では、そんなスペインの文化の多様性と社会を概観します。																																																																		
到達目標	スペインの文化、社会、歴史の概要を理解できます。																																																																		
授業方法と留意点	視聴覚教材を利用し、受講者に問いかけながら進めます。なお、単元の順序が変わることがあります。																																																																		
科目学習の効果(資格)																																																																			
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>イントロダクション</td> <td>授業の概要、提出レポートについて</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>地理と気候(1)</td> <td>自然環境、農産物</td> <td>地図で都市の位置を確認して記憶する</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>地理と気候(2)</td> <td>民族、ジブラルタル、領土問題</td> <td>地図で都市の位置を確認して記憶する</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>食</td> <td>スペイン料理、バル、シエスタ</td> <td>料理名を調べる</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>世界遺産(1)</td> <td>観光資源(保存と活用)、先史時代の遺産</td> <td>地図で都市の位置を確認して記憶する</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>世界遺産(2)</td> <td>ローマの遺産、イスラムの遺産</td> <td>地図で都市の位置を確認して記憶する</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>絵画</td> <td>ブラド美術館、ベラスケス、ゴヤ</td> <td>画集で絵の確認</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>建築</td> <td>モダニズム、ガウディ、ムンタネール</td> <td>地図で都市の位置を確認して記憶する</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>祝祭</td> <td>火祭り、牛追い祭り、復活祭</td> <td>地図で都市の位置を確認する</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>音楽</td> <td>フラメンコ、ロマン</td> <td>音楽を聴いておく</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>闘牛</td> <td>歴史とプロセス、狂牛病、動物愛護</td> <td>狂牛病について確認</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>スペイン内戦</td> <td>フランコ独裁、民主化への歩み</td> <td>同時代のヨーロッパ諸国の社会状況を把握</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>スペインの今(1)</td> <td>テロ、地方自治</td> <td>地図で都市の位置を確認して記憶する</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>スペインの今(2)</td> <td>経済</td> <td>日本の現状を把握</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>まとめ</td> <td>スペインの全体像を浮かび上がらせる。</td> <td>—————</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	授業の概要、提出レポートについて	—————	2	地理と気候(1)	自然環境、農産物	地図で都市の位置を確認して記憶する	3	地理と気候(2)	民族、ジブラルタル、領土問題	地図で都市の位置を確認して記憶する	4	食	スペイン料理、バル、シエスタ	料理名を調べる	5	世界遺産(1)	観光資源(保存と活用)、先史時代の遺産	地図で都市の位置を確認して記憶する	6	世界遺産(2)	ローマの遺産、イスラムの遺産	地図で都市の位置を確認して記憶する	7	絵画	ブラド美術館、ベラスケス、ゴヤ	画集で絵の確認	8	建築	モダニズム、ガウディ、ムンタネール	地図で都市の位置を確認して記憶する	9	祝祭	火祭り、牛追い祭り、復活祭	地図で都市の位置を確認する	10	音楽	フラメンコ、ロマン	音楽を聴いておく	11	闘牛	歴史とプロセス、狂牛病、動物愛護	狂牛病について確認	12	スペイン内戦	フランコ独裁、民主化への歩み	同時代のヨーロッパ諸国の社会状況を把握	13	スペインの今(1)	テロ、地方自治	地図で都市の位置を確認して記憶する	14	スペインの今(2)	経済	日本の現状を把握	15	まとめ	スペインの全体像を浮かび上がらせる。	—————
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション	授業の概要、提出レポートについて	—————																																																																
2	地理と気候(1)	自然環境、農産物	地図で都市の位置を確認して記憶する																																																																
3	地理と気候(2)	民族、ジブラルタル、領土問題	地図で都市の位置を確認して記憶する																																																																
4	食	スペイン料理、バル、シエスタ	料理名を調べる																																																																
5	世界遺産(1)	観光資源(保存と活用)、先史時代の遺産	地図で都市の位置を確認して記憶する																																																																
6	世界遺産(2)	ローマの遺産、イスラムの遺産	地図で都市の位置を確認して記憶する																																																																
7	絵画	ブラド美術館、ベラスケス、ゴヤ	画集で絵の確認																																																																
8	建築	モダニズム、ガウディ、ムンタネール	地図で都市の位置を確認して記憶する																																																																
9	祝祭	火祭り、牛追い祭り、復活祭	地図で都市の位置を確認する																																																																
10	音楽	フラメンコ、ロマン	音楽を聴いておく																																																																
11	闘牛	歴史とプロセス、狂牛病、動物愛護	狂牛病について確認																																																																
12	スペイン内戦	フランコ独裁、民主化への歩み	同時代のヨーロッパ諸国の社会状況を把握																																																																
13	スペインの今(1)	テロ、地方自治	地図で都市の位置を確認して記憶する																																																																
14	スペインの今(2)	経済	日本の現状を把握																																																																
15	まとめ	スペインの全体像を浮かび上がらせる。	—————																																																																
関連科目	スペイン語圏トピックス																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	出席、授業態度、毎回の小テスト、レポート(タイトルは毎回の授業で指示)を総合的に評価します。																																																																		
学生へのメッセージ	好奇心を持って授業に臨んで下さい。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考																																																																			

科目名	スペインの文化	科目名(英文)	Spanish Cultures
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	磯野 吉美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	スペインと聞けば、サッカーをすぐに連想されるかもしれません。あるいは、フラメンコや闘牛を。しかし、スペインのあるイベリア半島はギリシア以降、古代ローマ、イスラムなど様々な歴史的要因に動かされて、様々な人種的・文化的混交が進み、その遺産が現在のスペインの観光の大きな資産にもなっています。この講義では、そんなスペインの文化の多様性と社会を概観します。																																																																		
到達目標	スペインの文化、社会、歴史の概要を理解できます。																																																																		
授業方法と留意点	視聴覚教材を利用し、受講者に問いかけながら進めます。なお、単元の順序が変わることがあります。																																																																		
科目学習の効果(資格)																																																																			
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>イントロダクション</td> <td>授業の概要、提出レポートについて</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>地理と気候(1)</td> <td>自然環境、農産物</td> <td>地図で都市の位置を確認して記憶する</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>地理と気候(2)</td> <td>民族、ジブラルタル、領土問題</td> <td>地図で都市の位置を確認して記憶する</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>食</td> <td>スペイン料理、バル、シエスタ</td> <td>料理名を調べる</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>世界遺産(1)</td> <td>観光資源(保存と活用)、先史時代の遺産</td> <td>地図で都市の位置を確認して記憶する</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>世界遺産(2)</td> <td>ローマの遺産、イスラムの遺産</td> <td>地図で都市の位置を確認して記憶する</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>絵画</td> <td>ブラド美術館、ベラスケス、ゴヤ</td> <td>画集で絵の確認</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>建築</td> <td>モダニズム、ガウディ、ムンタネール</td> <td>地図で都市の位置を確認して記憶する</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>祝祭</td> <td>火祭り、牛追い祭り、復活祭</td> <td>地図で都市の位置を確認する</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>音楽</td> <td>フラメンコ、ロマン</td> <td>音楽を聴いておく</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>闘牛</td> <td>歴史とプロセス、狂牛病、動物愛護</td> <td>狂牛病について確認</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>スペイン内戦</td> <td>フランコ独裁、民主化への歩み</td> <td>同時代のヨーロッパ諸国の社会状況を把握</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>スペインの今(1)</td> <td>テロ、地方自治</td> <td>地図で都市の位置を確認して記憶する</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>スペインの今(2)</td> <td>経済</td> <td>日本の現状を把握</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>まとめ</td> <td>スペインの全体像を浮かび上がらせる。</td> <td>—————</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	授業の概要、提出レポートについて	—————	2	地理と気候(1)	自然環境、農産物	地図で都市の位置を確認して記憶する	3	地理と気候(2)	民族、ジブラルタル、領土問題	地図で都市の位置を確認して記憶する	4	食	スペイン料理、バル、シエスタ	料理名を調べる	5	世界遺産(1)	観光資源(保存と活用)、先史時代の遺産	地図で都市の位置を確認して記憶する	6	世界遺産(2)	ローマの遺産、イスラムの遺産	地図で都市の位置を確認して記憶する	7	絵画	ブラド美術館、ベラスケス、ゴヤ	画集で絵の確認	8	建築	モダニズム、ガウディ、ムンタネール	地図で都市の位置を確認して記憶する	9	祝祭	火祭り、牛追い祭り、復活祭	地図で都市の位置を確認する	10	音楽	フラメンコ、ロマン	音楽を聴いておく	11	闘牛	歴史とプロセス、狂牛病、動物愛護	狂牛病について確認	12	スペイン内戦	フランコ独裁、民主化への歩み	同時代のヨーロッパ諸国の社会状況を把握	13	スペインの今(1)	テロ、地方自治	地図で都市の位置を確認して記憶する	14	スペインの今(2)	経済	日本の現状を把握	15	まとめ	スペインの全体像を浮かび上がらせる。	—————
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション	授業の概要、提出レポートについて	—————																																																																
2	地理と気候(1)	自然環境、農産物	地図で都市の位置を確認して記憶する																																																																
3	地理と気候(2)	民族、ジブラルタル、領土問題	地図で都市の位置を確認して記憶する																																																																
4	食	スペイン料理、バル、シエスタ	料理名を調べる																																																																
5	世界遺産(1)	観光資源(保存と活用)、先史時代の遺産	地図で都市の位置を確認して記憶する																																																																
6	世界遺産(2)	ローマの遺産、イスラムの遺産	地図で都市の位置を確認して記憶する																																																																
7	絵画	ブラド美術館、ベラスケス、ゴヤ	画集で絵の確認																																																																
8	建築	モダニズム、ガウディ、ムンタネール	地図で都市の位置を確認して記憶する																																																																
9	祝祭	火祭り、牛追い祭り、復活祭	地図で都市の位置を確認する																																																																
10	音楽	フラメンコ、ロマン	音楽を聴いておく																																																																
11	闘牛	歴史とプロセス、狂牛病、動物愛護	狂牛病について確認																																																																
12	スペイン内戦	フランコ独裁、民主化への歩み	同時代のヨーロッパ諸国の社会状況を把握																																																																
13	スペインの今(1)	テロ、地方自治	地図で都市の位置を確認して記憶する																																																																
14	スペインの今(2)	経済	日本の現状を把握																																																																
15	まとめ	スペインの全体像を浮かび上がらせる。	—————																																																																
関連科目	スペイン語圏トピックス																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	出席、授業態度、毎回の小テスト、レポート(タイトルは毎回の授業で指示)を総合的に評価します。																																																																		
学生へのメッセージ	好奇心を持って授業に臨んで下さい。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考																																																																			

科目名	スペシャリストインドネシア・マレー語	科目名(英文)	Specialized Indonesian-Malayan Language
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	上田 達, 山口 真佐夫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	これまで学習してきたインドネシア語、マレー語の運用能力をさらに高める。そのために上級レベルの講読、論文の執筆、聞きとり及び内容に対する討論、プレゼンテーションを行う。
到達目標	インドネシア語、マレー語について高度な運用能力を獲得することができる。
授業方法と留意点	各自が授業に積極的に参加することが望まれる。
科目学習の効果(資格)	インドネシア語、マレー語運用能力の向上。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	講読1	高度な内容の講読を行う。(山口担当)	予習をしておくこと。
3	講読2	高度な内容の講読を行う。(山口担当)	予習をしておくこと。
4	講読3	高度な内容の講読を行い、内容をまとめる。(山口担当)	予習を行った上、講読した文献の内容をまとめておくこと。
5	論文の執筆1	論文の執筆を行うための基礎知識を学習する。論文の執筆を行う。(山口担当)	学習した知識をもとに、予習をしておくこと。
6	論文の執筆2	論文の執筆を行う。(山口担当)	予習をしておくこと。
7	講読、論文の内容をまとめる。	論文を完成させる。(山口担当)	まとめ終わった内容をもとにプレゼンテーションの準備を完了しておく。
8	プレゼンテーション	プレゼンテーションを行う。(山口担当)	プレゼンテーションの練習をしておくこと
9	文献講読1	マレー語で書かれた文学作品を精読する。(上田担当)	指定した文献の該当箇所を読み、わからない単語や表現などについて調べておくこと。
10	文献講読2	マレー語で書かれた文学作品を精読する。(上田担当)	指定した文献の該当箇所を読み、わからない単語や表現などについて調べておくこと。
11	文献講読3	マレー語で書かれた文学作品を精読する。(上田担当)	指定した文献の該当箇所を読み、わからない単語や表現などについて調べておくこと。
12	資料読解1	受講者の関心に基づいて選んだトピックについて、マレー語で書かれた研究論文を読解する。(上田担当)	指定した文献の該当箇所を読み、わからない単語や表現などについて調べておくこと。
13	資料読解2	受講者の関心に基づいて選んだトピックについて、マレー語で書かれた研究論文を読解する。(上田担当)	指定した文献の該当箇所を読み、わからない単語や表現などについて調べておくこと。
14	資料読解3	受講者の関心に基づいて選んだトピックについて、マレー語で書かれた研究論文を読解する。(上田担当)	指定した文献の該当箇所を読み、わからない単語や表現などについて調べておくこと。
15	プレゼンテーション	受講者が選択した論文の内容について要約を行う。(上田担当)	図書館やウェブから課題文献を選択して、配付資料等の発表準備を十分に行うこと。

関連科目	インドネシア語・マレー語の全科目
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	必要に応じてプリントを用意する。		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	適宜指示する。		
	2			
	3			

評価方法(基準)	それぞれの担当者の評価を総合する。
学生へのメッセージ	
担当者の研究室等	7号館5階(山口研究室) 7号館5階(上田研究室)
備考	

科目名	生活思想論	科目名(英文)	Ideas in World Life
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	木本 浩一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	暮らしの中で積み重ねられ、暮らしの中に刻まれてきた「暮らし方」を、文化という視点から考察します。今年度は特に、暮らしの中で使われてきた「道具(用具)」、暮らしを取り巻いてきた「容器」に着目します。
到達目標	以下の諸点を目指します。 1) 技術、生活、暮らし、道具(用具)などの概念について理解できる。 2) 暮らしの中で培われてきた「工夫」についての知識を得ることができる。 3) 以上によって得られた概念や知識を用いることによって、より大きな社会について具体的にイメージすることができるようになる。
授業方法と留意点	プリント、スライド(パワーポイント)などを用いて授業を進める。
科目学習の効果(資格)	生活や文化といった抽象的な概念について、具体的な「モノ」を通じて考えることができ。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション ー暮らしと文化ー	・授業の進め方 ・暮らしと文化をキーワードとして、授業の目的や枠組みについて説明する。	【事前】「暮らし」「文化」といったキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	2	暮らしの因数分解 (1)	・暮らしとは何か?について検討します。 ・インド、ロシア、スコットランドなど、様々な地域の暮らしをみます(スライド利用)。	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	3	暮らしの因数分解 (2)	・前回の続き ・暮らしと文化の関係について考えます。	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	4	暮らしの因数分解 (3)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	5	台所の暮らし (1)	・台所用品の歴史(近世、近代)	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	6	台所の暮らし (2)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	7	台所の暮らし (3)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	8	台所の暮らし (4)	・台所用品の生産・流通・使用	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	9	台所の暮らし (5)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	10	暮らしを支える容器 (1) ー暮らしからみたインフラー	・道路、水路、上下水道など	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	11	暮らしを支える容器 (2)	・電気・電器	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	12	暮らしを支える容器 (3)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	13	暮らしの仕草 (1) ー暮らし方の歴史ー	・道具(用具)の変化にともなう、暮らしの変化について考察する。	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	14	暮らしの仕草 (2)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	15	暮らしと文化 ーまとめー	・暮らしと文化について、まとめる。	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。

関連科目	「多文化の共生」「風土と地理」
------	-----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	毎回の課題、小テストなどを総合して評価する。
学生への メッセージ	暮らしをキーワードにして、生活の中をのぞいてみましょう。
担当者の 研究室等	木本研究室 (7号館 5階)
備考	

科目名	世界の宗教	科目名(英文)	Religions of the World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	村上 司樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	どうして日曜日は休みなのか。サンタクロースとはそもそも何者なのか。その信徒が世界人口の3割を占めるキリスト教は、欧米文化のバックボーンであるとともに、私たちが現代日本人の日常生活にも深い影響を及ぼしている。この授業ではキリスト教を、信じるか否かの「心の問題」ではなく、人びとの生活と行動をかたちづけてきた「文化現象」として考察したい。なぜこのようになったか歴史をさかのぼることで理解し、何が特徴なのかイスラームや仏教など他の宗教と比較することで明確する。
到達目標	学んだことを、結論・理由・具体例に分けて簡潔に説明できるようにする。
授業方法と留意点	暗記は必要ない。教科書も必要ない。図や表もできるだけ多く使って授業する。ただ内容を理解するためには、以下3点を守る必要がある。①授業前には、プリントにあらかじめ目を通しておくこと。②授業後には、プリントを読み返すこと。③授業中に資料を読む際は、線を引くなり印をつけるなり、必ず手を動かすこと。
科目学習の効果(資格)	欧米文化の土台であり、それゆえ現代日本にも深く影響を与えているキリスト教を知り、またそこから他の宗教を比較文化的に理解する。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	はじめに	授業のルール・方針・全体計画	必ず出席するよう予定を調整する。
2	時間の区切り方	江戸時代までの日本人は日曜日を休日とは思っていなかった	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
3	時間の区切り方	週の休日は宗教によって違う	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
4	時間の区切り方	「クリスマスとバレンタインを祝うこと＝キリスト教を信仰すること」ではない	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
5	時間の区切り方	「今年は2015年」に客観的根拠はない	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
6	恋愛の考え方	江戸時代までの日本人に「同性愛＝アブノーマル」という発想はなかった	同上の課題に加えて「レポートの手引き」を熟読する。
7	恋愛の考え方	性や愛に対する考え方は宗教によって決まる	同上の課題に加えて「レポートの手引き」を熟読する。
8	恋愛の考え方	私たちが常識だと思っている恋愛観はキリスト教が生み出したもの	同上の課題に加えて小レポート。
9	恋愛の考え方	「欧米は性や愛に関して寛容」という思い込み	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
10	恋愛の考え方	寛容だったのは、むしろ日本の宗教	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
11	神話か聖典か	現代日本人が「宗教」になじめない理由	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
12	神話か聖典か	神話の宗教と聖典の宗教、この2つを区別することが必要	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
13	神話か聖典か	祭りも芸能も宗教から始まった	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
14	神話か聖典か	日本人は一般に「空気を読む宗教」を信じてきた	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
15	修行と説教(結)	日本人が理解しづらいのは「ルールを明文化する宗教」	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。

関連科目	日本と世界の出会い／東西文化交流史
------	-------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	暗記は必要ない。テストは持ち込み可。具体的には以下3点で評価。①定期試験(40点)、②小レポート(30点)、③レスポンスペーパー(30点+α)。①～③すべてに共通する評価基準は、具体的に書けているかどうか。減点主義はとらないので、積極的に書いてマイナスになることは絶対ない。ただし、消極的に受講してプラス評価されることも絶対ない。例えば出席点はいつさいない。
----------	---

学生へのメッセージ	一方通行にならない授業、集中しやすい授業を心がけています。レスポンスペーパー、小レポート、そして試験答案を書いてもらいますが、「やること多い」などとネガティブに考えず、「単位取得のチャンスが多い」とポジティブに捉えることをお勧めします。それにものごとを説明したり、説得的な文章を作成する経験と能力は、他のあらゆる学問にも、さらに大学卒業後の長い人生にも欠かせません。積極的に取り組んで、「単位以上のもの」を得てほしいと思います。
-----------	--

担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)
------------	---------------

科目名	世界の地理	科目名(英文)	World Geography
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	高崎 章裕
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本講義では、空間や場所、スケールといった地理学の概念を理解したうえで、都市や文化、観光といったテーマを、グローバル世界の中に位置づける。後半では具体的な事例について学習し、地理学的なアプローチを理解する。
到達目標	人文地理学の諸分野を概観しながら、地理学の基礎となる空間的な視点を習得していく。 現代世界の地理的事象を系統地理的な理解を図り、現代社会の多様性を把握・理解することで、相対的なものの見方や地理学的想像力の涵養が期待される。
授業方法と留意点	授業はパワーポイントで行う。毎回、資料を配布する。また、必要に応じて映像資料の活用も行う。 講義終了後、毎回、評価対象となる小レポート(リアクション・ペーパー)の提出を求める。 授業中の私語に対しては、厳しく対処し、退出を命じることもある。
科目学習の効果(資格)	中学社会・高校地理歴史教育職員免許関係科目

	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	講義ガイダンス	講義の目的・方法・進め方	次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。 講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
2	地理学の基礎的概念(1)	「空間」の概念について	次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。 講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。	
3	地理学の基礎的概念(2)	「場所」の概念について	次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。 講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。	
4	地理学の基礎的概念(3)	「スケール」について	次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。 講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。	
5	都市	都市地理学の理論と事例の紹介	次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。 講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。	
6	観光	観光地理学の理論と事例の紹介	次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。 講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。	
7	文化	文化地理学の理論と事例の紹介	次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。 講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。	
8	社会	社会地理学の理論と事例の紹介	次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。 講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。	
9	リバブルシティ	住みやすいまちとは	次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。 講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。	
10	ジェントリフィケーション	ジェントリフィケーションとは	次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。 講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。	
11	エスニックコミュニティの形成	エスニシティとは	次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。 講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。	
12	基地問題とオキナワ	基地問題について	次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。 講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。	
13	捕鯨問題と日本	捕鯨問題について	次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した	

				参考文献も確認しておくこと。 講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。																
	14	パレスチナ問題とスペシオサイド (空間の扼殺)	パレスチナ問題について	講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。																
	15	講義まとめ	講義の総括、および定期試験に関する説明。	全講義の内容を復習しておくこと。																
関連科目	地誌学																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1																				
2																				
3																				
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>人文地理学</td> <td>竹中克行・山村亜希・大城直樹・梶田 真編著</td> <td>ミネルヴァ書房</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>政治・空間・場所：「政治の地理学」に向けて</td> <td>山崎孝史</td> <td>ナカニシヤ出版</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1	人文地理学	竹中克行・山村亜希・大城直樹・梶田 真編著	ミネルヴァ書房	2	政治・空間・場所：「政治の地理学」に向けて	山崎孝史	ナカニシヤ出版	3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1	人文地理学	竹中克行・山村亜希・大城直樹・梶田 真編著	ミネルヴァ書房																	
2	政治・空間・場所：「政治の地理学」に向けて	山崎孝史	ナカニシヤ出版																	
3																				
評価方法 (基準)	定期試験および毎回提出を求める小レポート (リアクション・ペーパー) で評価する。																			
学生へのメッセージ	ニュースで扱われる現象や身近な出来事を地理学的視点で見た場合にどのようなことがいえるのか、普段から敏感に考えるようにしてください。また、そこでの気づきをリアクションペーパーに活かしてください。																			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																			
備考																				

科目名	世界の文化の比較	科目名(英文)	Comparative Study of Cultures
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	村上 司樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	グローバル化が進む現在、私たちは好き嫌いに関係なく、多文化社会のなかで生きていかなくてはならない。多様な文化を理解し、柔軟に対処できる感覚が必要である。理解は考察から始まり、考察は比較から始まる。日常生活の基礎を成す衣・食・住の3つの視点から、私たちの文化、他国・他地域の文化について理解を深めよう。
到達目標	学んだことを、結論・理由・具体例に分けて簡潔に説明できるようにする。
授業方法と留意点	暗記は必要ない。教科書も必要ない。図や表もできるだけ多く使って授業する。ただ内容を理解するためには、以下3点を守る必要がある。①授業前には、プリントにあらかじめ目を通しておくこと。②授業後には、プリントを読み返すこと。③授業中に資料を読む際は、線を引くなり印をつけるなり、必ず手を動かすこと。
科目学習の効果(資格)	他国・他地域の文化を具体的に知ると同時に、日本文化についても理解を深める。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	はじめに	授業のルール・方針・全体計画	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
	2	食べる	食の国際化が特徴	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
	3	食べる	和食とは洋食の反対語	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
	4	食べる	肉を食べるか魚を食べるか	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
	5	食べる	日本のオリジナル調味料とは	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
	6	食べる	世界一危うい食卓	同上の課題に加えて「レポートの手引き」を熟読する。
	7	食べる	「洋食=肉食」ではない	同上の課題に加えて「レポートの手引き」を熟読する。
	8	食べる	便利と危険は表裏一体	同上の課題に加えて小レポート。
	9	着る	洋服の反対語は何か	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
	10	着る	恰好よくて快適だから洋服を着たわけではない	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
	11	着る	「洋服は気楽だが着物は窮屈」というウソ	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
	12	着る	日本人はどうして洋服を着るようになったか ー男性の場合ー	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
	13	着る	日本人はどうして洋服を着るようになったか ー女性の場合ー	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
	14	住む	東洋の家・西洋の家	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
	15	住む	現代的な家は50年前から	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。

関連科目	特になし。
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	暗記は必要ない。テストは持ち込み可。具体的には以下3点で評価。①定期試験(40点)、②小レポート(30点)、③レスポンスペーパー(30点+α)。①～③すべてに共通する評価基準は、具体的に書けているかどうか。減点主義はとらないので、積極的に書いてマイナスになることは絶対ない。ただし、消極的に受講してプラス評価されることも絶対ない。例えば出席点はいつさいない。
----------	---

学生へのメッセージ	一方通行にならない授業、集中しやすい授業を心がけています。レスポンスペーパー、小レポート、そして試験答案を書いてもらいますが、「やる人が多い」などとネガティブに考えず、「単位取得のチャンスが多い」とポジティブに捉えることをお勧めします。それにものごを説明したり、説得的な文章を作成する経験と能力は、他のあらゆる学問にも、さらに大学卒業後の長い人生にも欠かせません。積極的に取り組んで、「単位以上のもの」を得てほしいと思います。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	世界の歴史	科目名(英文)	History of the World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	林田 敏子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	イギリスの歴史と文化を、現代社会とのつながりを重視しながら概観する。「サッカー発祥の地」、「紅茶とアンティークの国」など、われわれがイギリスに対して抱いているイメージには、歴史的根拠が存在する。「イギリス料理はなぜまずいのか」、「イギリス人はなぜ傘をささないのか」といった身近な問いを出発点にしながら、政治・経済・文化、あらゆる角度からイギリス社会を読み解いていく。
到達目標	ヨーロッパ、大英帝国など、複数の次元でイギリスをとらえたときの特徴を理解する。一国の歴史にとどまらない、広がりのある歴史解釈をするにはどうすればよいか、その方法論を身につける。
授業方法と留意点	毎回プリントを配布し、図像史料を活用しながら、板書をまじえて授業をすすめる。
科目学習の効果(資格)	歴史学に関する基本的知識を身につけるとともに、「過去」を通して「現代」を見つめる視座を獲得する。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	イギリスとは何か	国のなりたちと地理	「イギリス」の正式名称を調べてくる。
	2	イギリス人のナショナル・アイデンティティ	連合王国、帝国としてのイギリス	ユニオン・ジャックの由来について調べてくる。
	3	イギリスの歴史概観	古代から現代にいたるまでのイギリスの歴史を世界史のなかに位置づける。	年表づくりをおこなう。
	4	イギリスの社会構造	階級からみたイギリス史	貴族制の歴史についてまとめる。
	5	イギリス人はなぜ傘をささないのか?	ステイタス・シンボルとしての傘	傘以外のステイタス・シンボルについて調べる。
	6	イギリス料理はなぜまずいのか?	・食文化からみたイギリスの歴史 ・中間テストの実施	イギリスの国民性を歴史的に考察する。
	7	イギリス人は家が好き?	住宅とアンティークからみたイギリスの歴史	イギリスにおける文化財保護活動について調べてくる。
	8	ナショナル・トラストの歴史(中間テスト)	歴史的建造物の保護運動	イギリスの王室と日本の皇室を比較してみる。
	9	イギリスの王室と政治(中間テスト解説)	王室の果たす役割	王室の歴史についてまとめる。
	10	子ども・老人・女性	社会的マイノリティの歴史	ほかのマリノリティ集団について調べてくる。
	11	動物愛護の国「イギリス」? ~アニマル・スポーツの世界~	ウィリアム・ホガースの『残酷の4段階』を読む	事前に配布したプリントを予習してくる。
	12	イギリスとヨーロッパ	対立と協調のはざままで	イギリスとEUの関係の歴史を整理する。
	13	世界のなかのイギリス(1)	ひらかれた島国「イギリス」	「帝国」の遺産についてまとめる。
	14	世界のなかのイギリス(2)	多民族国家イギリスの歴史	イギリスにおける移民問題についてまとめる。
	15	総括	小テストの実施と解説	全授業内容を復習してくる。

関連科目	歴史に学ぶ、ヨーロッパ史学
------	---------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	第15回目に実施する小テスト(80%)、中間テストおよび提出物(20%)を総合的に評価する。
----------	--

学生へのメッセージ	歴史学とは過去に起こった事件の年号や偉人の名前を暗記する学問ではありません。過去の出来事を通して、現代社会や未来についての思考力を養うためのものです。積極的に関連文献を読み、講義内容を批判的に摂取するよう心がけてください。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館4階(林田研究室)
----------	--------------

備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間。
----	------------------------